

令和7年度 大田区障がい者実態調査結果報告書

18歳以上調査
18歳未満調査
サービス提供事業所調査



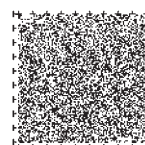
© 大田区

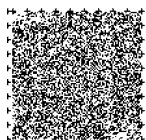
令和8年3月
大 田 区

この冊子は音声コード付きです。

右のマークが音声コードで、コードの位置を示すために切り込みを入れています。

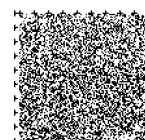
専用の読み上げ装置を使用して読み取ることで、音声で内容を聞き取ることができます。

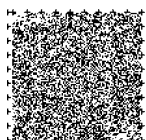




目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査実施概要	1
3. 回収結果	3
4. 調査結果の見方	3
第2章 調査結果の考察	5
1. 調査結果のまとめの視点	5
2. 調査結果のまとめ	6
第3章 アンケート調査結果（当事者）	32
1. 調査票の回答者	32
2. ご本人について	35
3. 障害福祉サービス等	76
4. 情報や相談	121
5. 就労や外出	147
6. 保健・医療	166
7. 災害時の対応	182
8. 権利擁護	204
9. 日中の活動・将来の暮らし方	220
10. ライフステージごとの課題	256
11. 区の施策	269
12. 家族のニーズ	295
第4章 アンケート調査結果（サービス提供事業所）	324
1. 事業所概要について	324
2. 提供サービスについて	334
3. 事業運営の概要について	353
4. 権利擁護	360
5. 障がい者総合サポートセンター（さぽーとぴあ）との連携について	363
6. 大田区の障がい施策について	365
第5章 ヒアリング調査	366
1. ヒアリング調査実施概要	366
2. ヒアリング結果	367
資料編	376





第1章 調査の概要

1. 調査の目的

障がい児・者の増加や高齢化、障がいの重度化・重複化等により、障がい児・者に対する支援のニーズはますます多様化・複雑化している。これらに対応するため、大田区では「おおた障がい施策推進プラン」のもと障がいのある人もない人も互いに認め合いながら共生できる地域づくりをめざし、包括的な支援体制の整備を進めている。

今後の障がい福祉施策をさらに推進させるためには、次期「おおた障がい施策推進プラン（大田区障害者計画、第8期大田区障害福祉計画、第4期大田区障害児福祉計画、大田区発達障がい児・者支援計画）」の策定にあたり、障がい児・者を取り巻く状況や課題について最新のデータの収集、把握は不可欠である。

そのため、計画策定に向け障がい児・者の生活状況や障害福祉サービス等の利用状況、さらにサービス提供事業者の実態などを調査し、これらの結果をもとに障がい特性に応じた支援ニーズ等を様々な視点から分析するための基礎資料を得ることを目的に大田区障がい者実態調査を実施した。

2. 調査実施概要

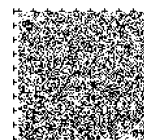
（1）調査対象・調査票発送数

区内在住の障がい児・者、区内でサービスを提供している事業所を対象に調査を実施した。

1）18歳以上調査送付数：6,000件

障がい種別		送付数 (抽出数)
身体障害者手帳所持者	視覚障がい	500
	聴覚・平衡機能障がい	500
	音声・言語・そしゃく機能障がい	170
	肢体不自由	1,000
	内部障がい	800
愛の手帳所持者		1,000
精神障害者保健福祉手帳所持者		915
自立支援医療受給者証（精神通院）所持者		315
特定医療費受給者証所持者		800
合計		6,000

※障がい種別ごとに送付数を割り当てた上での無作為抽出



2) 18歳未満調査送付数：2,000件

障がい種別		送付数 (抽出数)
身体障害者手帳所持者	視覚障がい	17
	聴覚・平衡機能障がい	46
	音声・言語・そしゃく機能障がい	1
	肢体不自由	184
	内部障がい	69
愛の手帳所持者		901
精神障害者保健福祉手帳所持者		103
自立支援医療受給者証（精神通院）所持者		17
特定医療費受給者証所持者		6
通所受給者証所持者		656
合計		2,000

※障がい種別ごとに送付数を割り当てた上での無作為抽出

3) サービス提供事業所調査送付数：250件

事業所の種類	送付数 (抽出数)
指定障害福祉サービス事業者	184
指定障害者支援施設	2
指定一般・特定・障害児相談支援事業者	23
指定障害児通所支援事業者	41
合計	250

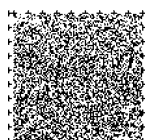
※事業所の種類ごとに送付数を割り当てた上での無作為抽出

(2) 調査期間

令和7年11月5日（水）～11月30日（日）

(3) 調査方法

郵送発送、郵送及びインターネットによる回答



3. 回収結果

【回収率＝（有効回答数＋無効回答数）／発送数】

調査種別	発送数	有効回答数	無効回答数	回収率
①18歳以上調査	6,000 件	3,198 件	39 件	54.0 %
②18歳未満調査	2,000 件	1,010 件	6 件	50.8 %
③サービス提供事業所調査	250 件	138 件	3 件	56.4 %
合計	8,250 件	4,346 件	48 件	53.3 %

※無効回答：白紙回答や調査対象期間を大幅に超過して届いたものなど

4. 調査結果の見方

（1）障がいの特性を踏まえた分析について

各設問における分析にあたっては、障がいの特性を踏まえるため、以下の分類により行った。略称については、分類自体が回答者の回答に基づくものでもあり、困りごとなど共通した傾向が見られやすいと思われる枠組みとしてつけたものであるため、一般的な、身体障がい、知的障がい、精神障がい等と完全に重なるものではない。また、各分類において重複が発生しうることには留意が必要である。

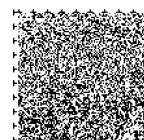
①各障がい種別の分類方法

略称	分類方法
〔身体〕	身体障害者手帳を持っていると回答した方
〔知的〕	愛の手帳を持っていると回答した方
〔精神〕	精神障害者保健福祉手帳または自立支援医療受給者証を持っていると回答した方
〔難病〕	特定医療費受給者証を持っていると回答した方
〔発達〕	発達障がいと診断・認定されたと回答した方
〔高次〕	高次脳機能障がいと診断・認定されたと回答した方
〔強行〕	強度行動障がいと診断・認定されたと回答した方
〔重心〕	重度心身障がいと診断・認定されたと回答した方

また、特に、身体障がいのある方について、さらに詳しく分析を行う場合は、同様に以下の分類のもと、次の略称を用いる。

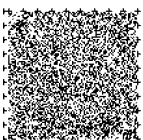
②身体障がいのある方の詳細分析における分類方法

略称	分類方法
〔視覚〕	視覚障がいと診断・認定されたと回答した方
〔聴覚〕	聴覚・平衡機能障がいと診断・認定されたと回答した方
〔音声〕	音声・言語・そしゃく機能障がいと診断・認定されたと回答した方
〔体幹〕	体幹や上肢下肢などの運動機能障がいと診断・認定されたと回答した方
〔内部〕	内臓や免疫機能などの内部障がいと診断・認定されたと回答した方



（２）調査結果を見る上での注意事項

- 原則として調査票の設問の順番に沿って集計結果を示している。
- 集計表及びグラフの「n=〇〇」はその設問についての有効回答数を示している。ただし、前回の調査では、18 歳以上調査及び 18 歳未満調査にて、実際の人口構成比に合わせた回答数の補正を行っているため、「n=〇〇」の記載を省略している。
- 集計対象件数が 10 件未満となる場合、集計の精度を保つことが難しいため、調査結果のコメントや考察の対象外としている。
- 集計結果は、小数点以下第 2 位を四捨五入して表示しているため、数値の合計が 100.0%にならない場合がある。
- 回答の比率（％）は、その質問の回答者数を基礎として算出しているため、複数回答の設問はすべての比率を合計すると、100.0%を超える場合がある。
- 本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の設問等の文言を一部簡略化している場合がある。
- 障がいの特性を踏まえた分析においては、各種障害者手帳等の所持状況に重複があることに留意が必要である。
- 「0.0%」の回答割合が連続する場合において、グラフから各選択肢の回答割合の表記を省略している場合がある。
- 表中の「－」は回答した者がいないものである。
- 表内において、**上位 1 位**、**上位 2 位**には色付けをしている（無回答除く）。



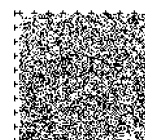
第2章 調査結果の考察

1. 調査結果のまとめの視点

現行の「おおた障がい施策推進プラン」は、10項目の施策目標により構成されています。
今回の実態調査結果について、この10項目をもとに整理、考察を行います。

【現行「おおた障がい施策推進プラン」における施策目標】

施策目標	
(1)	障害福祉サービス等の充実
(2)	希望する暮らしの実現
(3)	社会参加・社会活動の充実
(4)	保健・医療支援体制の充実
(5)	障がい児支援の充実
(6)	障がい特性に応じた支援の充実
(7)	相談支援体制の充実・強化
(8)	障がいへの理解促進
(9)	防災・防犯対策の推進
(10)	権利を守るまちの実現



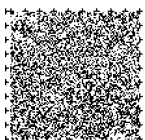
2. 調査結果のまとめ

(1) 障害福祉サービス等の充実

- 障がい特性に応じた障害福祉サービス等の質・量の両面からの充実を図ることが求められています。
- サービスの質の向上のために、福祉人材の確保・育成・定着の支援を図り、事業所が安定した運営ができるようになることが求められています。

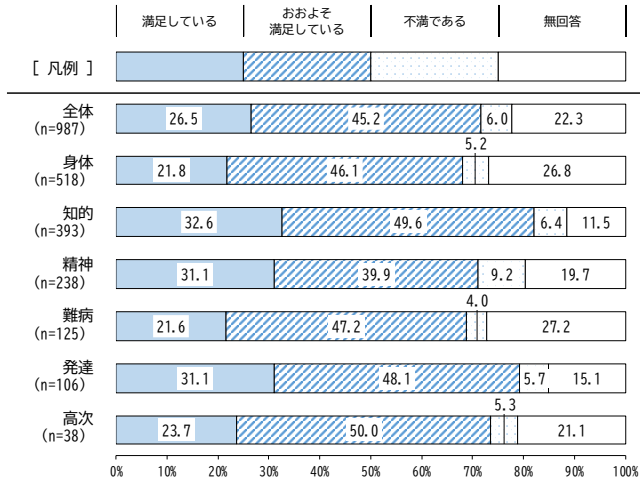
- ・ 現在利用しているサービスの満足度については、「満足している」「おおよそ満足している」の合計は、18 歳以上では 71.7%、18 歳未満では 86.0%となっています。障がい種別ごとにみると、「満足している」との回答は、18 歳以上では [知的]、[精神]、[発達] が多く、[身体]、[高次] が少なく、18 歳未満でも同様の傾向（※）になっており、障がい種別によって満足度に差が見られます。
- ・ 障害福祉サービス等で不満に感じる点として、18 歳以上・未満ともに最も多い「不満は特にない」を除くと、「使いたいときに使えない」、「回数や時間が足りない」、「事業所の職員の専門性やスキル等が不足していると感じた」が上位 3 項目となっています。
- ・ サービス事業所が事業を運営する上での課題については、「人材確保が困難」が 50.0%と最も多く、次いで「事務作業量が多い」が 47.1%、「報酬単価が低い」が 43.5%、「責任者など中堅人材の確保・育成が困難」が 28.3%となっており、依然として、人材の確保・育成に関する課題が残っていることがうかがえます。
- ・ サービスの提供を断った理由については、「職員の数が足りない」と答えた事業所が 60.7%と、顕著に多い結果となっています。さらに、ヒアリングにおいても「職員が充実すればより良いサービスを提供できる」との回答がありました。
- ・ サービス事業所がサービスの質の向上の取組を実施できていない理由の上位 3 項目は、「質の向上に必要な研修の参加や実施する時間的な余裕がないから」が 38.6%で最も多く、次いで「人材の確保や定着が難しく、質の向上を行う余裕がないから」が 26.3%、「質の向上に必要な経費（研修・設備等）を確保できないから」が 23.7%となっており、前述の人材不足のために質の向上が図られていない様子がうかがえます。

※18 歳未満の [難病] や [高次] においては、集計対象件数が 10 件未満と非常に少なくなっており、集計を行う上で精度を保てないため考察を省略しています。

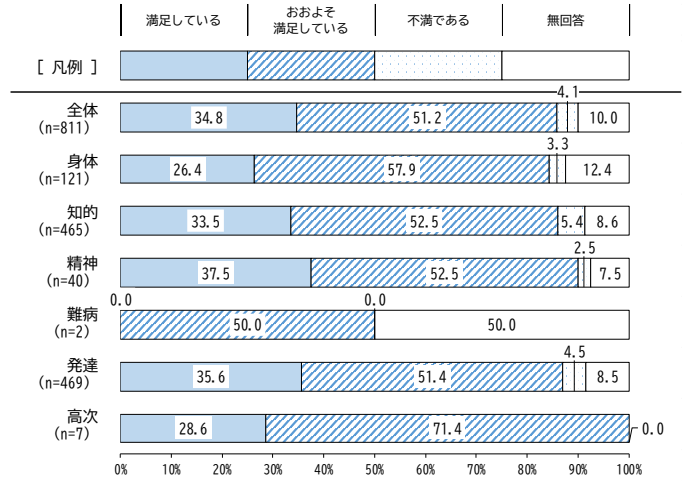


【現在利用しているサービスの満足度】

<18 歳以上>

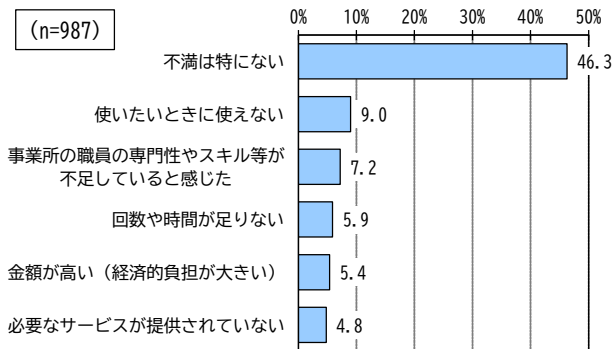


<18 歳未満>



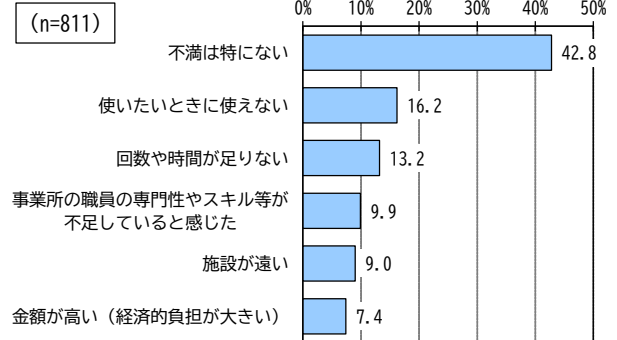
【サービス利用にあたって不満に感じること】

<18 歳以上>



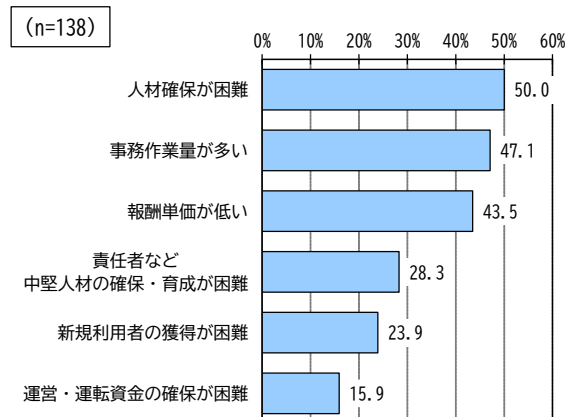
※上位6項目を抜粋して掲載

<18 歳未満>



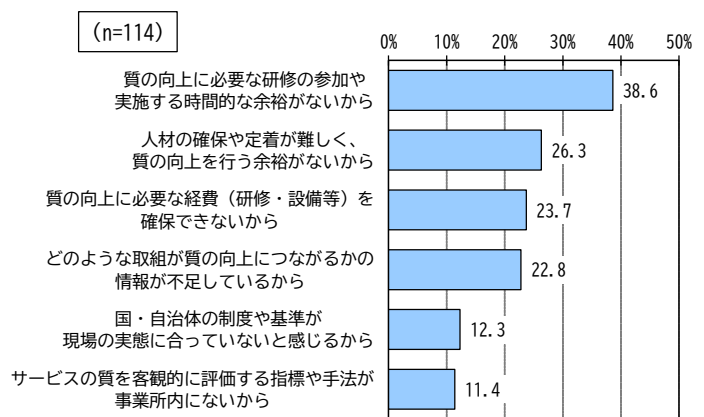
※上位6項目を抜粋して掲載

【事業を運営する上での主な課題】 (サービス提供事業所)

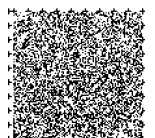


※上位6項目を抜粋して掲載

【サービス向上の取組を実施できていない理由】 (サービス提供事業所)



※上位6項目を抜粋して掲載

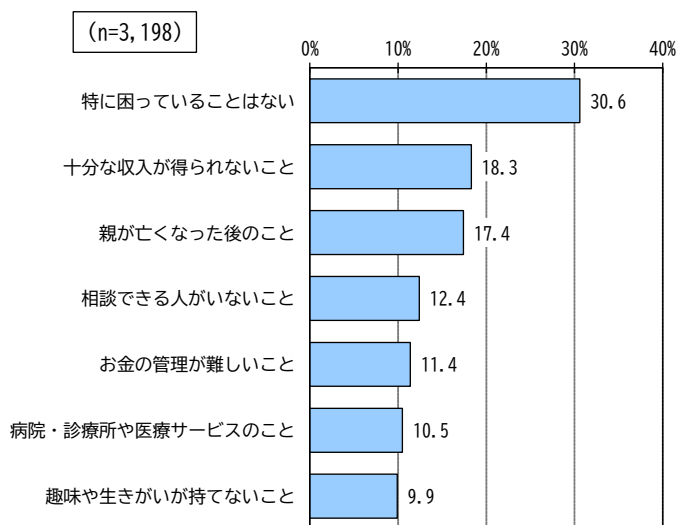


○親亡き後の不安があるなか、緊急時等の支援体制の整備を望む声が寄せられています。

- ・ 介助者や支援者が不在の時の対応方法について、18 歳以上・未満ともに上位 3 項目は、「一緒に住んでいる家族や親せきに頼む」（18 歳以上：35.5%、18 歳未満：77.1%）、「別の家に住んでいる家族や親せきに頼む」（18 歳以上：26.8%、18 歳未満：34.6%）、「特に依頼できる人はいない」（18 歳以上：14.4%、18 歳未満：7.4%）となっており、親族に頼ることが多くなっています。
- ・ 18 歳未満は、日常生活での困りごと・相談したいことについて、「親が亡くなった後のこと」が 40.8%で最も多く、充実を希望する家族に対する支援について「親亡き後の本人のことについて相談できるサービス」が 53.2%で最も多くなっています。
- ・ また、18 歳以上でも日常生活での困りごと・相談したいことについて「親が亡くなった後のこと」が 17.4%で 3 番目に多く、特に [知的] は 51.4%、[発達] は 47.5%と多くなっています。同様に、充実を希望する家族に対する支援でも「親亡き後の本人のことについて相談できるサービス」が 26.5%で 3 番目に多く、特に [知的] は 65.6%、[発達] は 64.2%と多くなっています。

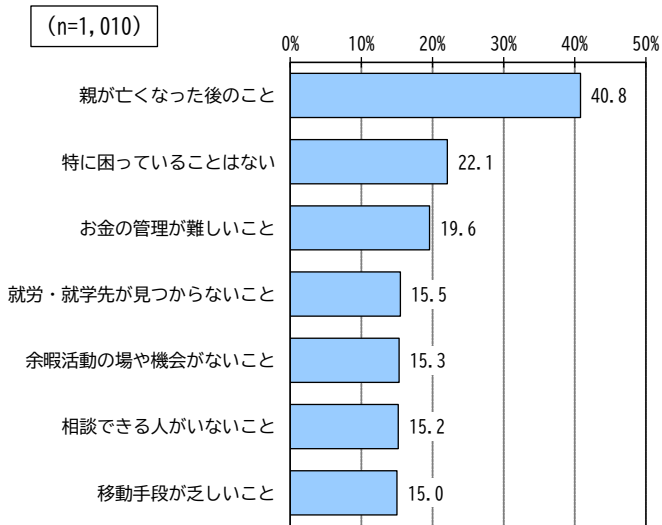
【日常生活での困りごと・相談したいこと】

<18 歳以上>

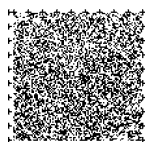


※上位7項目を抜粋して掲載

<18 歳未満>



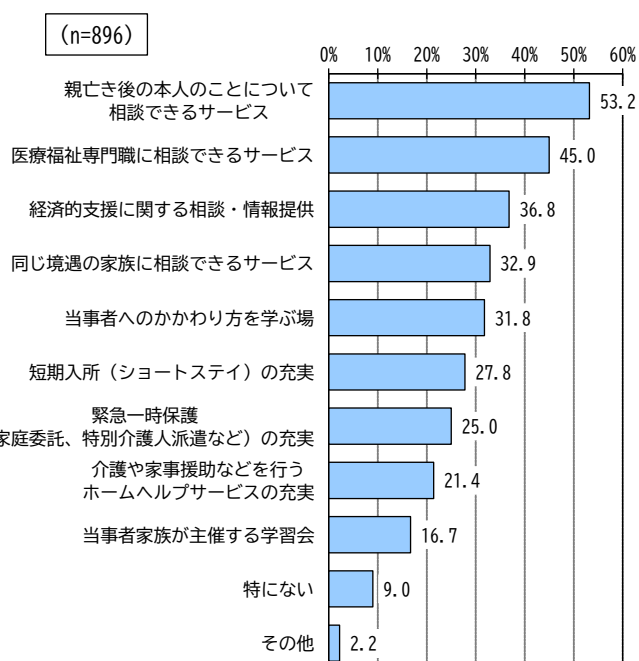
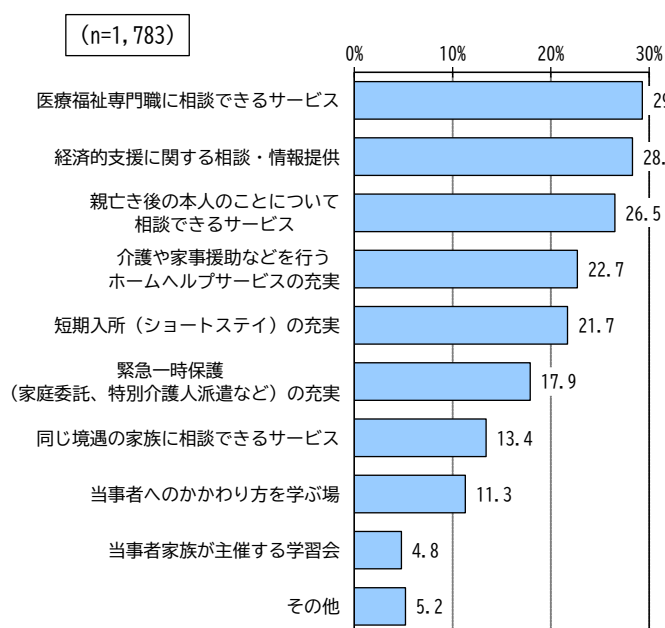
※上位7項目を抜粋して掲載



【充実を希望する家族に対する支援】

<18 歳以上>

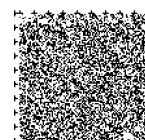
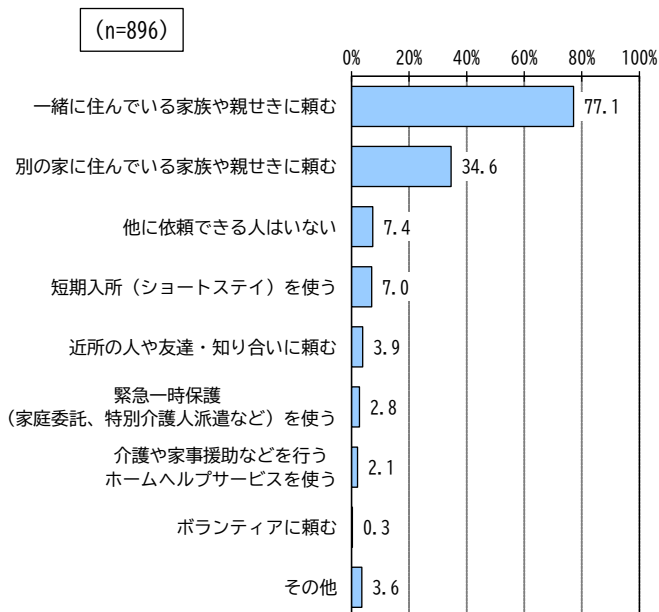
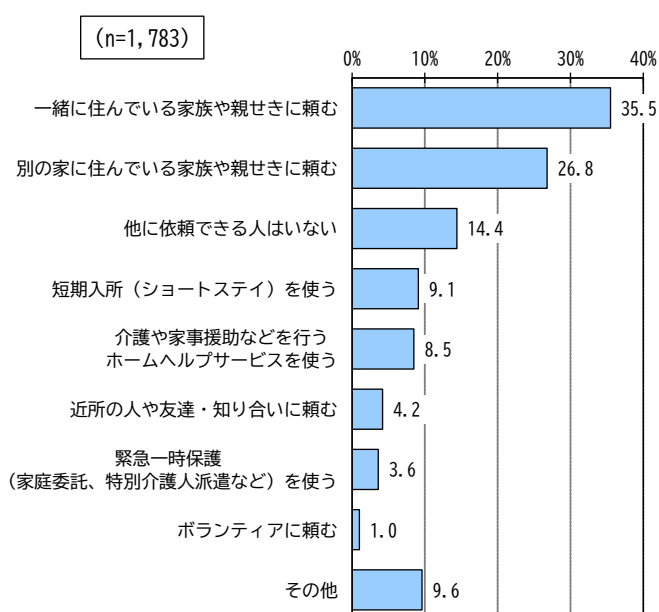
<18 歳未満>



【主な介助者・支援者が不在時の対応】

<18 歳以上>

<18 歳未満>



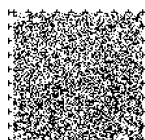
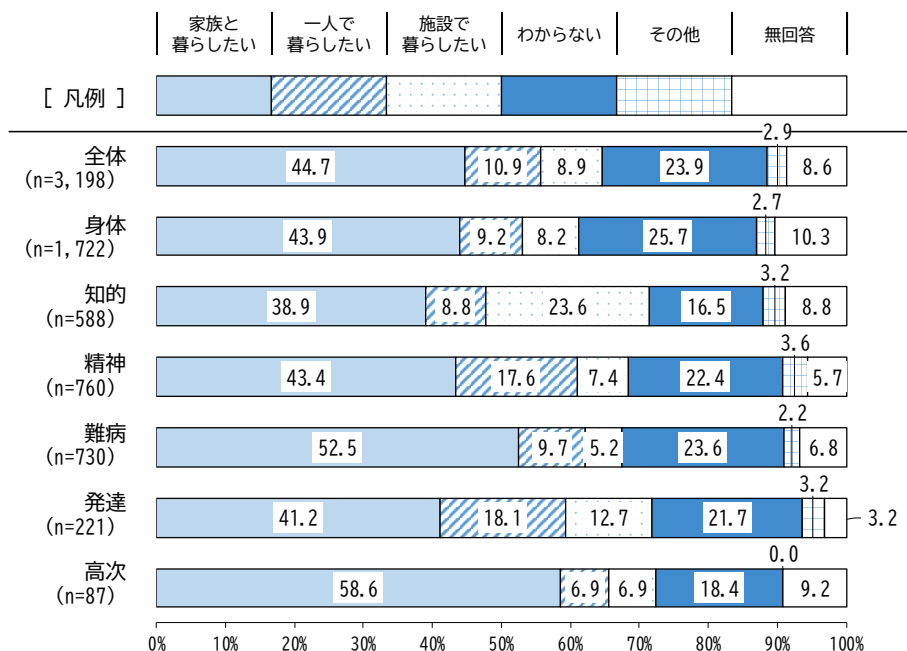
(2) 希望する暮らしの実現

○障がい者が地域で希望する暮らし方や進路・生活設計を実現するためには、困ったときに相談できる場所が求められています。

○住まいの確保や経済的負担の軽減などの生活基盤を整えることに加え、就労をはじめとする自立に向けた支援が求められています。

- ・ 18 歳以上の当事者が希望する将来（10 年後）の暮らし方として、[知的] や [発達] においては「施設で暮らしたい」（知的：23.6%、発達：12.7%）が、[精神] や [発達] においては「一人で暮らしたい」（精神：17.6%、発達：18.1%）が比較的多くなっており、障がい種別によって希望する暮らし方に相違が見られます。
- ・ 希望する暮らし方や進路・生活設計を実現する上で望むこととして、18 歳以上・未満で共通して「家族との関係が良好であること」（18 歳以上：60.9%、18 歳未満：80.0%）、「困ったときに相談できる相手がいること」（18 歳以上：49.1%、18 歳未満：71.9%）、「住まいがあること」（18 歳以上：55.0%、18 歳未満：64.9%）が多くなっています。加えて、18 歳以上は「経済的負担が軽減されること」（43.2%）、「必要な医療が受けられること」（45.7%）、と今後の生活のための支援内容が多く、18 歳未満は「働く場所や仕事があること」（65.8%）と今後の自立に関する内容が多くなっています。
- ・ 18 歳以上の [精神] や [発達] においては、「働く場所や仕事があること」（精神：50.7%、発達：57.9%）が比較的多くなっています。

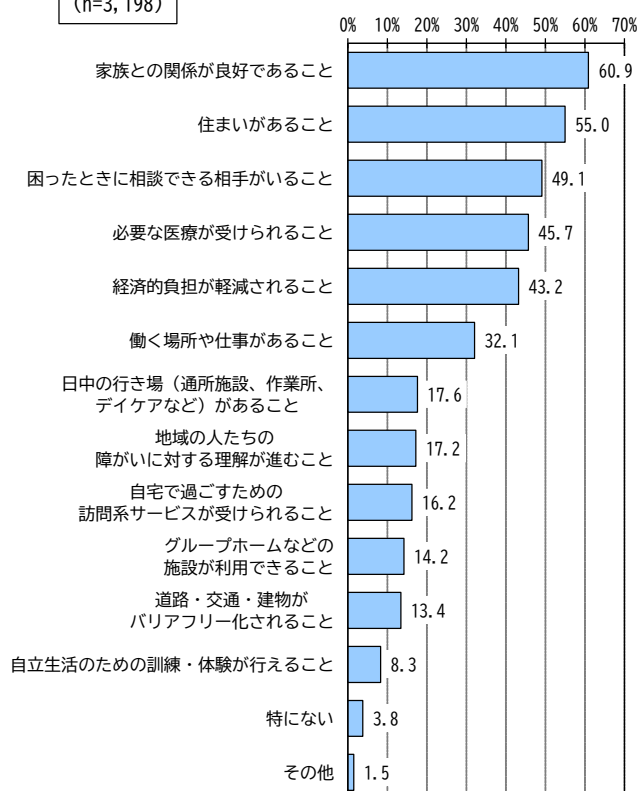
【将来の暮らし方（18 歳以上）】



【今後の進路や生活設計で望むこと】

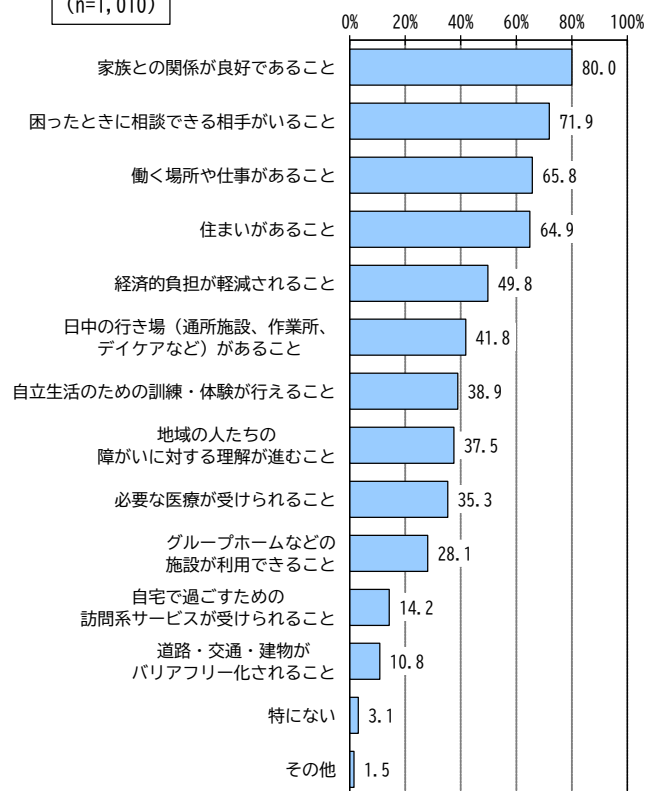
<18 歳以上>

(n=3, 198)



<18 歳未満>

(n=1, 010)

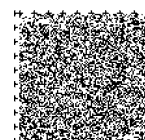


【今後の進路や生活設計で望むこと（精神、発達）】<18 歳以上>

単位：%

回答者数(人)	家族との関係が良好であること	困ったときに相談できる相手がいること	住まいがあること	グループホームなどの施設が利用できること	働く場所や仕事があること	自立生活のための訓練・体験が行えること	日中の行き場（通所施設、作業所、デイケアなど）があること
全体(n=3, 198)	60.9	49.1	55.0	14.2	32.1	8.3	17.6
精神 (n=760)	59.6	60.5	65.7	12.8	50.7	12.2	19.2
発達 (n=221)	65.6	64.3	66.5	25.8	57.9	13.6	29.4

	自宅で過ごすための訪問系サービスが受けられること	経済的負担が軽減されること	必要な医療が受けられること	道路・交通・建物がバリアフリー化されること	地域の人たちの障がいに対する理解が進むこと	特にない	その他	無回答
全体	16.2	43.2	45.7	13.4	17.2	3.8	1.5	11.3
精神	12.9	54.2	50.3	8.7	23.8	2.5	3.0	7.2
発達	15.4	58.4	48.0	10.9	35.3	2.7	1.4	5.9



(3) 社会参加・社会活動の充実

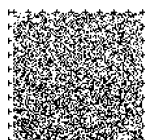
- 障がい者が希望する働き方を踏まえ、就労に向けた支援を適切に行うことが求められています。
- 就労継続のためには、健康状態や障がい特性に合わせた働きやすい環境づくりへの支援が求められています。

- ・ 障がい者が就労する上で大切だと思うことについては、「健康状態に合わせて働ける」(47.3%)、「自分の家や、家の近くで働ける」(38.2%)、「職場の人の障がいへの理解」(37.5%)、「障がいの程度や能力に応じた仕事の内容」(32.1%)が上位にあがっています。また、障がい種別によって就労する上で大切だと思うことの順位は異なります。
- ・ 仕事をする上での不安や不満については、「特に不安や不満はない」(40.0%)が多いものの、「給料（もらえるお金）が少ない」(27.1%)、「職場の人たちとの人間関係が難しい」(14.4%)、「障がいの重度化や体調不良」(14.2%)、「障がいへの理解が十分でない」(13.5%)、「一般の社員と比べて昇給や昇進に違いがある」(12.9%)といった回答もあり、特に「精神」や「発達」においては、複数の項目で20%以上の回答があります。

【障がい者が就労する上で大切だと思うこと（18歳以上）】

単位：％

		自分の家や、家の近くで働ける	健康状態に合わせて働ける	働くところの紹介や相談が受けられる	職業訓練ができる施設の充実	企業（会社）への雇用の働きかけ	職場の人の障がいへの理解	障がい者の利用に配慮された設備や職場	障がいの程度や能力に応じた仕事の内容	障がいの程度や能力に応じた仕事の内容	一般の社員並みの賃金	重度の障がいや医療的ケアが必要であっても働けること	わからない	その他	無回答
全体（n=3,198）		38.2	47.3	22.8	10.6	15.3	37.5	25.2	32.1	18.7	9.8	11.3	3.6	16.9	
障がい種別	身体（n=1,722）	34.6	41.3	18.1	8.4	13.1	32.0	23.6	27.2	14.6	9.5	13.2	3.4	22.4	
	知的（n=588）	38.6	36.6	23.1	14.3	14.3	43.7	34.0	47.1	14.1	14.3	10.2	3.1	13.1	
	精神（n=760）	47.6	62.2	31.7	17.5	22.5	51.3	30.0	42.4	33.2	10.7	8.4	5.3	7.8	
	難病（n=730）	36.6	55.8	22.6	9.3	13.7	33.8	22.2	26.2	14.2	9.6	11.2	3.0	15.3	
	発達（n=221）	47.1	52.0	36.2	21.7	29.4	59.7	43.0	52.0	39.4	14.5	5.9	7.2	8.1	
	高次（n=87）	42.5	51.7	24.1	16.1	21.8	46.0	37.9	46.0	19.5	21.8	13.8	1.1	12.6	

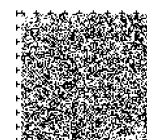


【仕事をする上での不安や不満（18歳以上）】

単位：％

		給料（もらえる お金）が少ない	仕事が難しい	障がいの重度化や 体調不良	相談する人や 場所がない	仕事内容が単調 （単純）すぎる	職場の人たちとの人 間関係が難しい	技能習得や研修等の 機会が少ない
全体（n=1,083）		27.1	5.6	14.2	8.4	3.3	14.4	2.7
障 が い 種 別	身体（n=478）	24.1	3.6	14.0	5.0	2.9	8.8	1.5
	知的（n=178）	30.9	3.4	2.2	8.4	4.5	24.2	5.6
	精神（n=272）	38.2	11.4	22.1	16.9	7.7	26.5	5.5
	難病（n=322）	23.9	4.3	16.8	5.9	1.2	8.1	1.6
	発達（n=101）	40.6	13.9	17.8	22.8	9.9	38.6	12.9
	高次（n=27）	29.6	-	14.8	3.7	3.7	18.5	3.7

		障がいへの理解が 十分でない	トイレなど障がい者用 の設備が十分でない	通うのが大変	働く条件や契約の 内容に不安がある	一般の社員と比べて昇 給や昇進に違いがある	特に不安や不満はない	その他	無回答
全体		13.5	1.9	8.7	8.7	12.9	40.0	6.2	4.0
障 が い 種 別	身体	12.8	2.9	7.7	5.4	9.8	43.5	5.2	4.8
	知的	14.0	1.7	6.7	9.6	16.9	37.6	3.9	5.1
	精神	22.1	-	11.8	15.4	23.9	23.9	9.6	1.8
	難病	7.8	2.2	9.6	8.1	8.1	47.8	5.0	3.1
	発達	26.7	-	11.9	20.8	32.7	21.8	11.9	1.0
	高次	22.2	7.4	3.7	3.7	7.4	37.0	3.7	3.7



(4) 保健・医療支援体制の充実

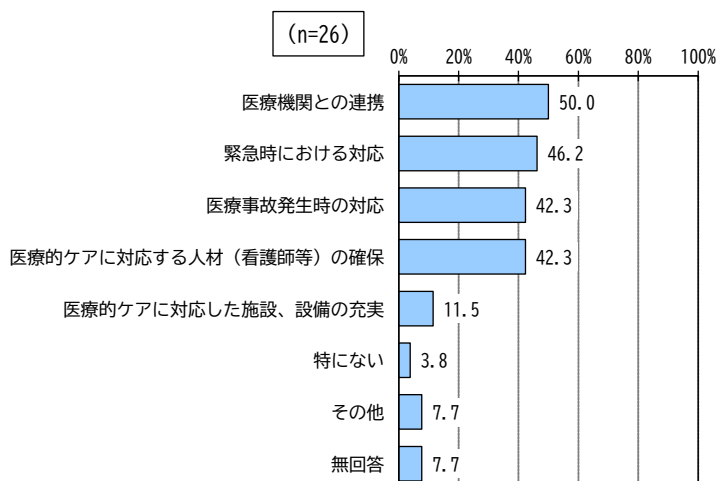
○18 歳以上では障がいの重度化や病気の悪化への不安が見受けられ、18 歳未満では移行期医療に関する不安がうかがえます。

○医療的ケア児・者等への適切な情報提供やサービスの充実及び人材の確保に向けた支援の充実が求められています。

- 健康や医療についての不安、困っていることについて、18 歳以上は、「特にない」(31.6%)を除くと「障がいの重度化や病気が悪くなる」(26.0%)が共通して多くなっています。障がい種別にみると、18 歳以上は[知的]、[精神]、[発達]、[高次]で「今のかかりつけの医師にいつまで診てもらえるか不安」(知的：19.2%、精神：23.2%、発達：27.1%、高次：21.8%)が多くなっています。
- 18 歳未満(※)の健康や医療についての不安、困っていることについて、「特にない」(40.8%)を除くと、[身体]では「障がいの重度化や病気が悪くなる」(33.0%)、[知的]と[精神]では「今のかかりつけの医師にいつまで診てもらえるか不安」(知的：32.2%、精神：36.8%)が最も多くなっています。
- サービス事業所の現在の医療的ケアへの対応状況は、「医療的ケア者に対応している」が15.9%、「現在対応しておらず、今後対応の予定はない」が64.5%、「現在対応していないが、今後検討する」が12.3%となっています。
- 東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修修了者は、予定者も含めて9.4%と1割を切っています。研修受講に前向きでない理由は、「現状のサービス提供で医療的ケア児の支援がないため」が55.4%で最も多いものの、「相談支援専門員や、保健師、看護師などコーディネーターに適任な職員がいなかったため」が24.8%、「コーディネーターの配置に対する経済的なインセンティブが少ない」が20.7%となっています。
- 現在医療的ケアを実施している事業所の課題については、「医療機関との連携」が50.0%で最も多く、次いで「緊急時における対応」が46.2%、「医療事故発生時の対応」と「医療的ケアに対応する人材(看護師等)の確保」がともに42.3%となっており、医療機関との連携と医療的ケアに対応できる職員の確保が課題となっています。

※18 歳未満の[難病]や[高次]においては、集計対象件数が10 件未満と非常に少なくなっており、集計を行う上で精度を保てないため考察を省略しています。

【医療的ケアを実施する上での課題（サービス提供事業所）】

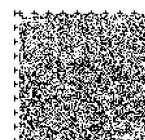


【健康や医療についての不安、困っていること（障がい種別）】

単位：％

回答者数(人)		障がいの重度化や 病気が悪くなる	栄養管理や 服薬管理が難しい	障がいがあっても 受診しやすい 病院がない	かかりつけの 医療機関や 医師がいない	今のかかりつけの 医師にいつまで 診てもらえるか不安	治療内容の 説明がわからない	病院にかかる お金の負担が 大きい
18歳以上	全体 (n=3,198)	26.0	9.9	5.5	3.0	15.4	4.0	17.0
	障がい種別							
	身体 (n=1,722)	29.3	7.2	4.4	2.8	11.8	3.3	12.9
	知的 (n=588)	14.6	15.3	14.5	4.6	19.2	8.5	9.5
	精神 (n=760)	23.6	16.1	6.1	3.2	23.2	5.7	23.4
	難病 (n=730)	37.1	9.5	3.2	1.5	14.7	1.8	21.2
	発達 (n=221)	21.7	26.2	16.3	4.1	27.1	10.0	23.5
	高次 (n=87)	26.4	17.2	8.0	3.4	21.8	6.9	20.7
18歳未満	全体 (n=1,010)	14.0	14.2	15.6	5.6	24.8	5.4	4.8
	障がい種別							
	身体 (n=182)	33.0	18.7	12.6	3.8	28.0	3.3	8.2
	知的 (n=550)	16.9	17.1	22.5	6.4	32.2	7.1	4.5
	精神 (n=68)	14.7	29.4	17.6	2.9	36.8	2.9	7.4
	難病 (n=3)	-	-	33.3	-	33.3	-	-
	発達 (n=555)	12.3	16.0	16.4	6.8	25.9	5.6	5.2
	高次 (n=9)	22.2	22.2	33.3	11.1	55.6	11.1	11.1

		障がいを含めた 健康状態を相談 できる医療機関 がない	通院のための 介助者がいない	感染症に 対する不安	病院にかかる ことへの心理的 な抵抗がある	特 に ない	その他	無回答
18歳以上	全体	5.3	4.2	11.9	5.3	31.6	5.1	9.1
	障がい種別							
	身体	4.1	4.5	11.1	3.4	33.8	3.9	11.6
	知的	8.7	5.3	10.9	7.0	35.7	4.6	8.5
	精神	8.6	3.8	10.0	8.3	25.9	8.7	6.2
	難病	2.2	3.6	17.9	5.2	28.2	5.1	5.6
	発達	14.9	5.4	12.2	12.2	21.7	10.0	3.6
	高次	4.6	1.1	8.0	1.1	33.3	3.4	9.2
18歳未満	全 体	8.6	-	4.7	7.2	40.8	4.3	4.6
	障がい種別							
	身体	7.7	-	10.4	2.7	30.2	6.6	3.8
	知的	11.5	-	4.0	8.5	30.5	4.5	4.7
	精神	16.2	-	4.4	16.2	26.5	8.8	4.4
	難病	-	-	-	-	-	-	33.3
	発達	8.3	-	2.9	8.3	40.2	4.0	5.4
	高次	44.4	-	-	22.2	-	22.2	11.1



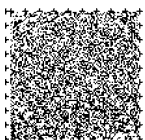
(5) 障がい児支援の充実

○障がい児に対する療育や教育の充実に加え、情報発信の強化や早期発見・早期支援にむけた取組の強化が求められています。

○関係機関の連携強化による、家族を含めた相談支援体制の充実が求められています。

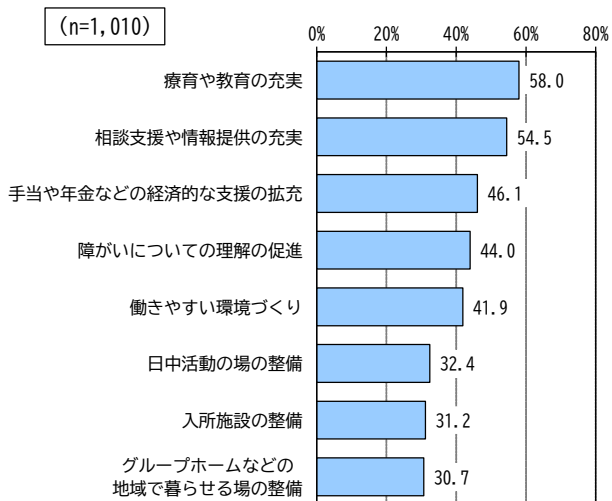
- ・ 18歳未満の今後充実を希望する障がい施策について、「療育や教育の充実」が58.0%で最も多く、次いで「相談支援や情報提供の充実」が54.5%となっています。障がい種別（※）でみると、[知的]、[発達]は「療育や教育の充実」（知的：55.5%、発達：62.0%）、[精神]は「相談支援や情報提供の充実」（55.9%）が最も多くなっています。
- ・ 障害福祉サービス利用時に「事業者から断られた」ことがある方のうち、その理由の回答は、「既に定員いっぱいである」が77.3%と顕著に多くなっています。
- ・ 教育の場面で充実させてほしいこととして、「障がいに応じた専門的な教育」が56.4%で最も多く、次いで「学校での受入れ体制」が43.5%、「状況に応じて学ぶ場を変更できる制度」が37.6%となっており、全ての障がい種別で同様の傾向となっています。
- ・ ライフステージごとの課題で見ると、乳幼児期は、「発達の支援サービスをすぐに利用できなかった」が25.9%で最も多く、次いで「発達の遅れや特性について、気軽に相談できる場所がなかった」が24.0%、「同じくらいの年齢の子どもと交流したり、一緒に遊んだりする機会が少なかった」が22.5%、「障がいや特性への理解がある保育園や幼稚園がなかなか見つからなかった」が20.5%となっています。学齢期になると、「特に困ったことはなかった」が最も多くなるため、乳幼児期の早い段階からの支援が求められています。
- ・ 障がいの疑いや障害認定があったとき初めに必要なこととして、「専門家（医師、心理士など）としっかり話ができる機会」が74.4%で最も多く、次いで「障がいの特性や、今後の成長の見通しについての情報」が70.8%、「療育や児童発達支援などを、すぐに開始できる体制」が67.3%、「利用できる福祉サービスや療育、支援制度の全体像がまとまった情報」が67.0%、「将来への不安などを安心して話せる相談窓口」が66.5%となっており、相談や情報提供に関する項目となっています。また、ヒアリングでも「保護者が障がい分野に限らない子育て全般についてワンストップで相談できることが重要」との意見が多くありました。
- ・ 障害福祉サービス利用計画の作成者は、「本人または家族」が56.5%と最も多く、「相談支援事業所」は36.6%でした。計画相談支援を利用しない理由は、「計画相談支援を利用するための手続きが大変そうだったから」が31.4%で最も多く、次いで「自分が使うサービスは自分で決めたかったから」が28.4%、「相談支援のサービスがあることを知らなかったから」が17.9%となっています。
- ・ サービス利用時に困ったことについて、「手続きが大変」が49.4%で最も多く、次いで「制度や手続きがわかりにくい」が39.2%、と上位2項目が制度や手続きの難しさについてで、全ての障がい種別で同様の傾向になっています。

※18歳未満の[難病]や[高次]においては、集計対象件数が10件未満と非常に少なくっており、集計を行う上で精度を保てないため考察を省略しています。なお、回答者が限定される設問の場合は、[精神]も10件未満となり、同様の理由で考察を省略しています。

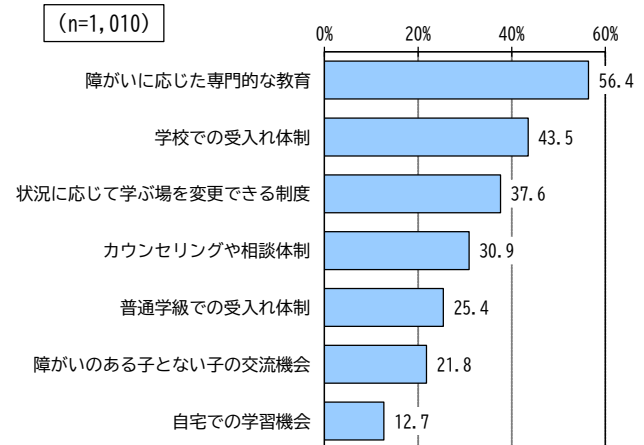


【今後充実を希望する障がい施策（18 歳未満）】

【教育の場面で特に充実してほしいこと（18 歳未満）】

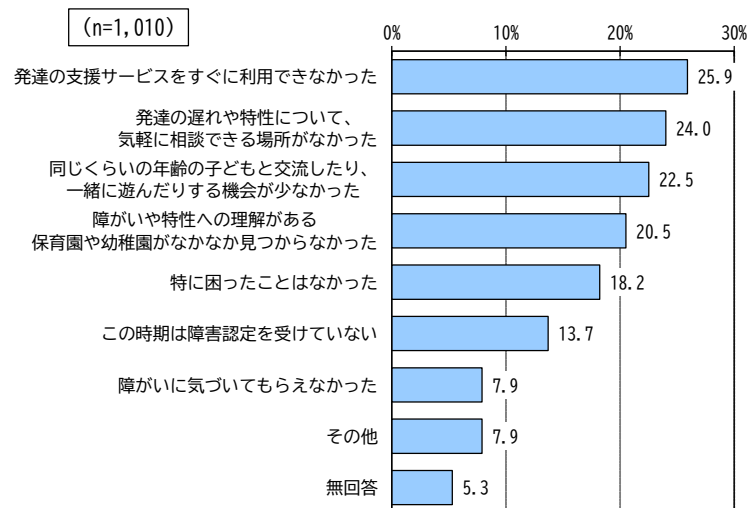


※上位8項目を抜粋して掲載

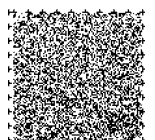
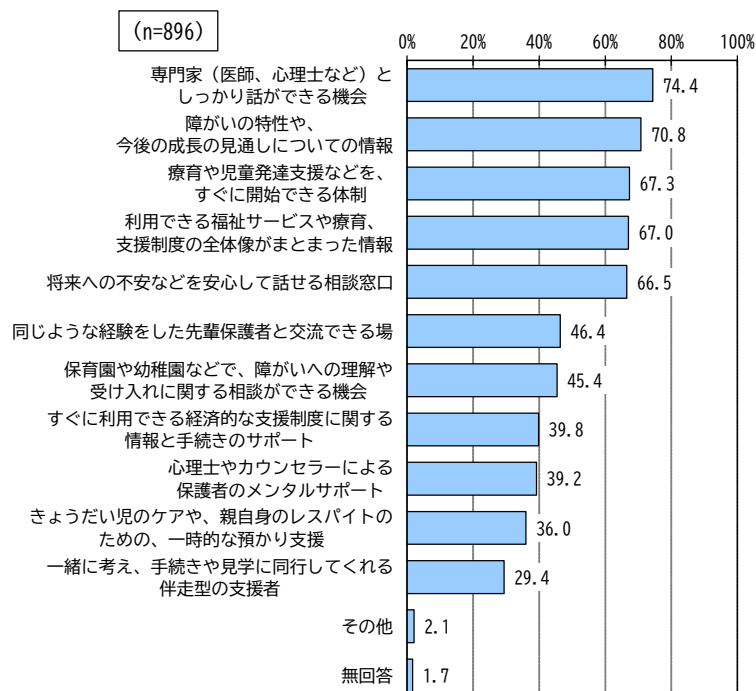


※上位7項目を抜粋して掲載

【ライフステージごとの課題（乳幼児期≪就学前≫）（18 歳未満）】



【障がいの疑いや障害認定があったとき、初めに必要なこと（18 歳未満）】

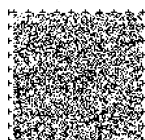
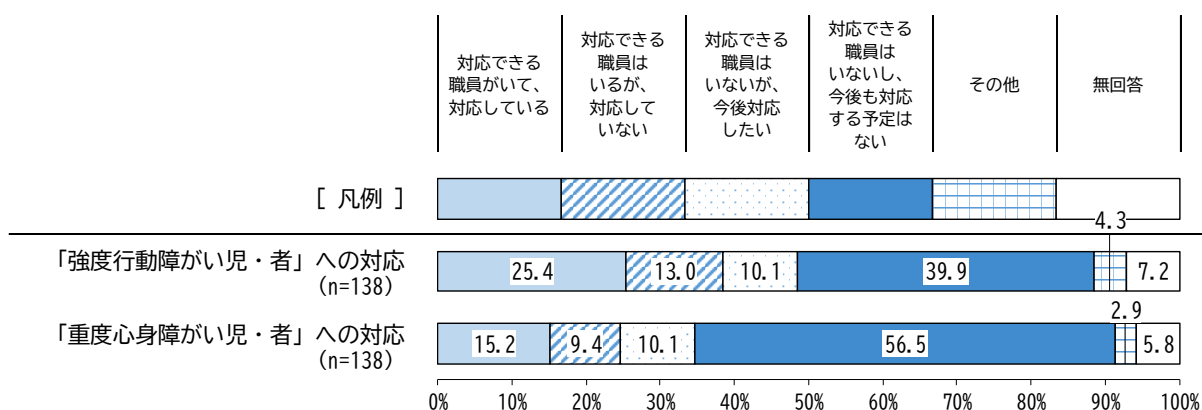


(6) 障がい特性に応じた支援の充実

○発達障がい、高次脳機能障がい、強度行動障がい、重度心身障がいなど、より個々の特性に応じた配慮が必要な障がいに対し、各特性に基づいた相談支援と情報提供の充実を望む声が寄せられています。

- ・ 認定・診断を受けている障がい種別について、「発達障がい」と回答した方は、18歳以上では6.9%、18歳未満では55.0%となっています。また、「高次脳機能障がい」と回答した方は、18歳以上では2.7%、18歳未満では0.9%、「強度行動障がい」と回答した方は、18歳以上では0.8%、18歳未満では1.5%、「重度心身障がい」と回答した方は、18歳以上では1.7%、18歳未満では4.4%となっています。
- ・ 障害福祉サービスを利用しやすくするために必要だと思うことについて、18歳以上では、[発達]は「サービス利用に関する決まりや仕組みをわかりやすくすること」(52.5%)、[高次]と[強行]は「通いやすい場所にサービスを利用できる施設・事業所があること」(高次：39.1%、強行：76.0%)、[重心]は「重度の障がいや医療的ケアにも対応できること」(60.4%)が最も多くなっています。18歳未満では、[発達]、[高次]、[強行]、[重心]のすべてにおいて、「通いやすい場所にサービスを利用できる施設・事業所があること」(発達：65.0%、高次：88.9%、強行：80.0%、重心：84.1%)が最も多くなっています。また、[重心]は「重度の障がいや医療的ケアにも対応できること」も84.1%で最も多くなっています。
- ・ 日常生活での困りごと・相談したいことについて、「親が亡くなった後のこと」との回答が多くなっています。また、18歳未満の[高次]、[強行]、[重心]と18歳以上の[重心]では「身の回りの介助をしてくれる人のこと」や「相談できる人がいないこと」との回答が多く見られます。
- ・ サービス事業所の、強度行動障がい児・者、及び、重度心身障がい児・者への対応については、「対応できる職員がいて、対応している」との回答が強度行動障がい児・者は25.4%、重度心身障がい児・者は15.2%となっています。また、各事業所で対応する場合の課題（自由記述）では、「人材確保」「知識・技術の不足や偏り」「環境整備」に関する回答が多く見られました。

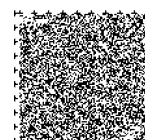
【「強度行動障がい児・者」「重度心身障がい児・者」への対応状況（サービス提供事業所）】



【サービスを利用しやすくするために必要だと思うこと（障がい種別）】

単位：％

回答者数(人)			特に必要と思うことはない	サービス利用に関する決まりや仕組みをわかりやすくすること	自分に合った事業所が選べること	重度の障がいや医療的ケアにも対応できること	使いたいときに使えるように利用できる曜日・時間を増やすこと	サービスに携わるスタッフ・人材の知識・技術・意識を高めること	サービスを提供している部屋や建物を広げること	通いやすい場所にサービスを利用できる施設・事業所があること	その他	無回答
18歳以上	全体 (n=3, 198)		18.9	35.6	24.5	10.9	22.1	20.5	7.8	29.6	3.7	25.6
	障がい種別	発達 (n=221)	13.6	52.5	42.5	11.8	37.6	33.0	15.8	48.4	6.8	13.6
		高次 (n=87)	13.8	35.6	32.2	11.5	23.0	23.0	9.2	39.1	4.6	23.0
		強行 (n=25)	-	52.0	44.0	56.0	64.0	68.0	40.0	76.0	8.0	20.0
		重心 (n=53)	5.7	50.9	45.3	60.4	47.2	50.9	24.5	58.5	13.2	13.2
18歳未満	全体(n=1, 010)		7.2	55.0	59.0	18.6	53.1	50.0	23.2	64.9	7.4	5.7
	障がい種別	発達(n=555)	6.5	54.1	62.5	15.0	55.5	50.5	22.7	65.0	8.3	4.5
		高次(n=9)	-	77.8	44.4	44.4	77.8	55.6	22.2	88.9	11.1	-
		強行(n=15)	6.7	73.3	66.7	60.0	66.7	66.7	40.0	80.0	6.7	-
		重心(n=44)	2.3	61.4	61.4	84.1	77.3	63.6	34.1	84.1	9.1	4.5



(7) 相談支援体制の充実・強化

○相談支援の充実にあたっては、身近な相談窓口の増設、分かりやすい窓口情報の発信、相談対応を行う人材の育成が求められています。

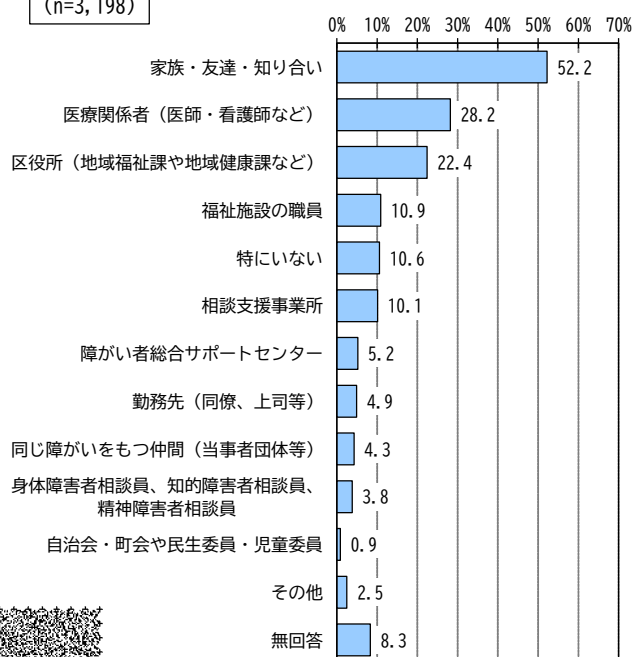
○家族への相談体制においては、専門的な相談や親亡き後の当事者についての相談体制の充実が求められています。

- ・ 現在の相談相手について、18 歳以上では、「特にいない」の回答が 10.6%と、1 割以上の方が「相談相手はいない」と回答しています。
- ・ 日常生活での困りごとを相談しやすくするために必要なことについて、18 歳以上・未満ともに、「身近な場所で相談できること」(18 歳以上：39.4%、18 歳未満：57.7%)、「どこで、どんな相談ができるかわかりやすいこと」(18 歳以上：25.5%、18 歳未満：39.1%)「対応する人が障がい特性を理解していること」(18 歳以上：25.4%、18 歳未満：53.0%)、「専門的な相談や助言ができる人材がいること」(18 歳以上：23.0%、18 歳未満：47.5%)が上位4項目となっており、身近な場所での対応、わかりやすい情報、専門的な対応が求められています。
- ・ 今後充実を希望する障がい施策については、「相談支援や情報提供の充実」との回答が、18 歳以上は 35.2%、18 歳未満は 54.5%と共に2 番目に多く、当事者ニーズとしても優先順位の高い施策であると言えます。
- ・ また、当事者家族のニーズとして、充実を希望する家族に対する支援のうち、18 歳以上・未満ともに「医療福祉専門職に相談できるサービス」(18 歳以上：29.3%、18 歳未満：45.0%)、「経済的支援に関する相談・情報提供」(18 歳以上：28.3%、18 歳未満：36.8%)、「親亡き後の本人のことについて相談できるサービス」(18 歳以上：26.5%、18 歳未満：53.2%)が上位を占めています。

【相談相手・相談先】

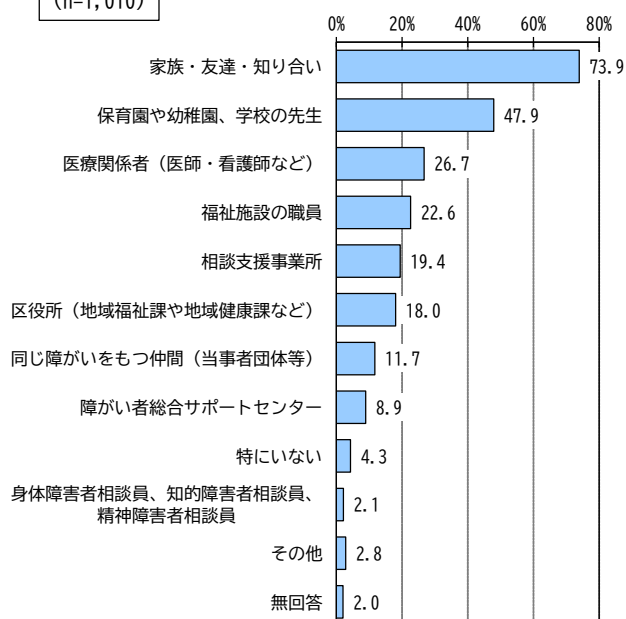
<18 歳以上>

(n=3,198)



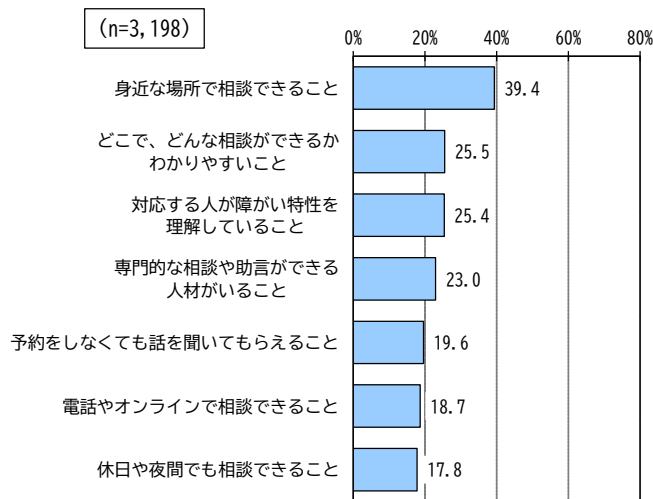
<18 歳未満>

(n=1,010)



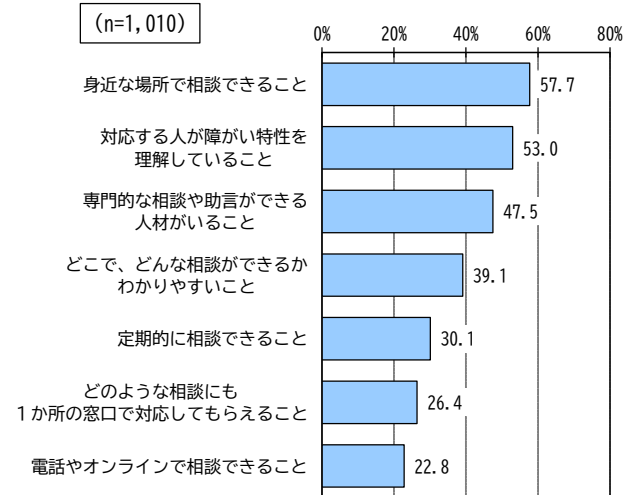
【日常生活での困りごとを相談しやすくするために必要なこと】

<18 歳以上>



※上位7項目を抜粋して掲載

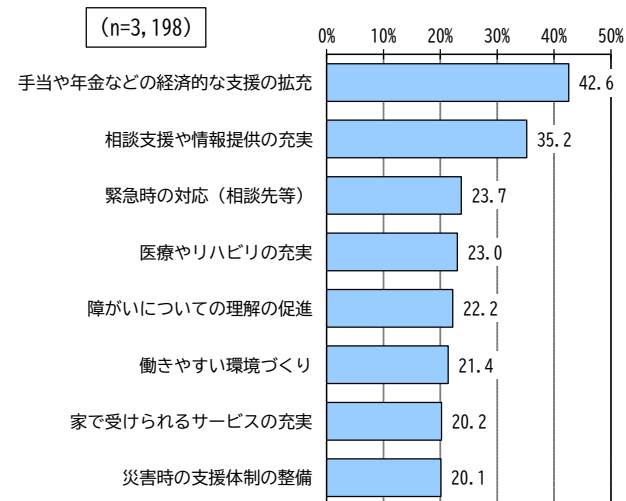
<18 歳未満>



※上位7項目を抜粋して掲載

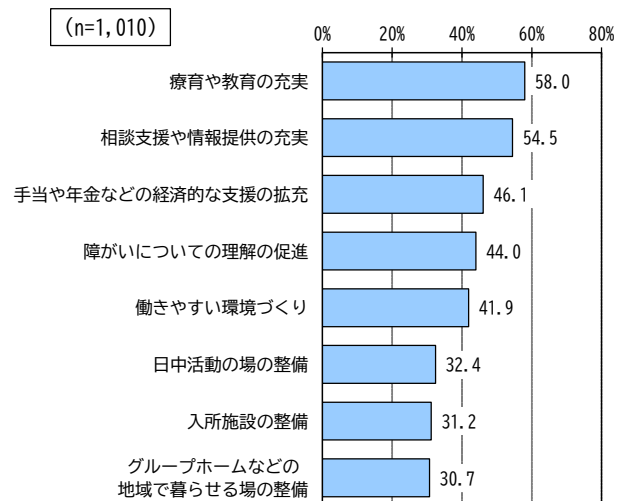
【今後充実を希望する障がい施策】

<18 歳以上>



※上位8項目を抜粋して掲載

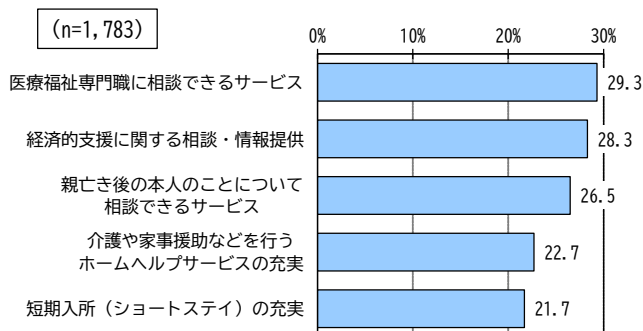
<18 歳未満>



※上位8項目を抜粋して掲載

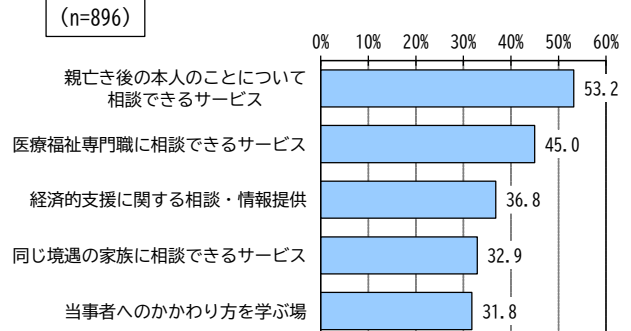
【充実を希望する家族に対する支援】

<18 歳以上>

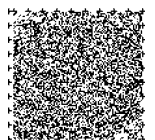


※上位5項目を抜粋して掲載

<18 歳未満>



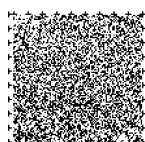
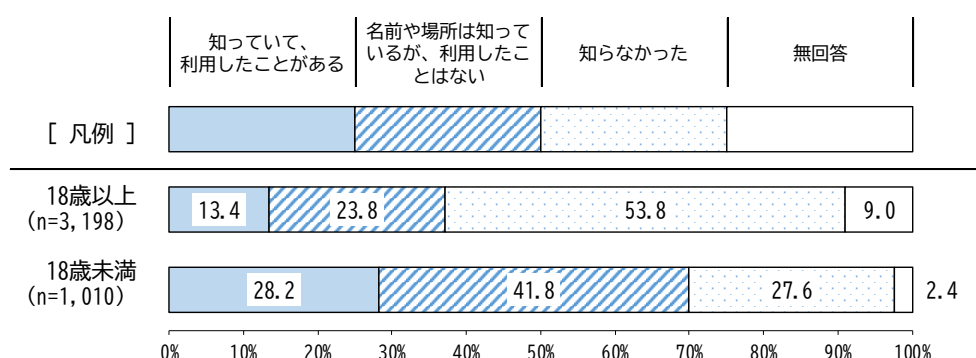
※上位5項目を抜粋して掲載



- 「さぽーとぴあ」については、年齢や障がい種別によって利用意向は様々です。
- 「さぽーとぴあ」を拠点とした、事業者ネットワーク同士の結びつきのさらなる強化が求められています。

- ・「さぽーとぴあ」の認知度について、18歳未満は「知っていて、利用したことがある」と「名前や場所は知っているが、利用したことはない」を合わせると70.0%が“知っている”と回答しています。一方で、18歳以上は53.8%が「知らなかった」と回答しています。
- ・「さぽーとぴあ」の利用意向について、18歳以上は「特に使いたいと思わない」(41.1%)が最も多いですが、18歳未満は「専門的な職員に相談したい」(44.5%)、「就労(働くこと)の支援を受けたい」(33.0%)が多くなっています。ただし、18歳以上も[精神]、[発達]は「専門的な職員に相談したい」(精神：29.1%、発達：37.6%)、「就労(働くこと)の支援を受けたい」(精神：21.4%、発達：25.8%)が多くなっており、年齢や障がい種別で「さぽーとぴあ」の利用意向が異なります。
- ・サービス提供事業所調査では、「さぽーとぴあ」の「相談支援部門(障がいのある方の総合相談窓口)」と連携・活用したことがある事業所は52.9%と半数を超えていますが、令和4年度の前回調査(58.8%)から5.9ポイント減少しています。また、「さぽーとぴあ」と「特に連携している部門・事業はない」事業所は22.5%となっており、前回調査(17.6%)から4.9ポイント増加しています。
- ・また、「さぽーとぴあ」と連携する際の課題について、「特に課題はない」(47.1%)が最も多いものの、「連携したい部門・事業の業務に関する知識が乏しく、連絡しづらい」(19.6%)、「連携したい部門・事業との交流がない」(14.5%)との回答も多くあり、連携を図るきっかけがない事業者があることがうかがえます。

【「さぽーとぴあ」の認知度】

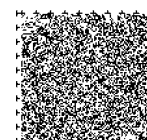
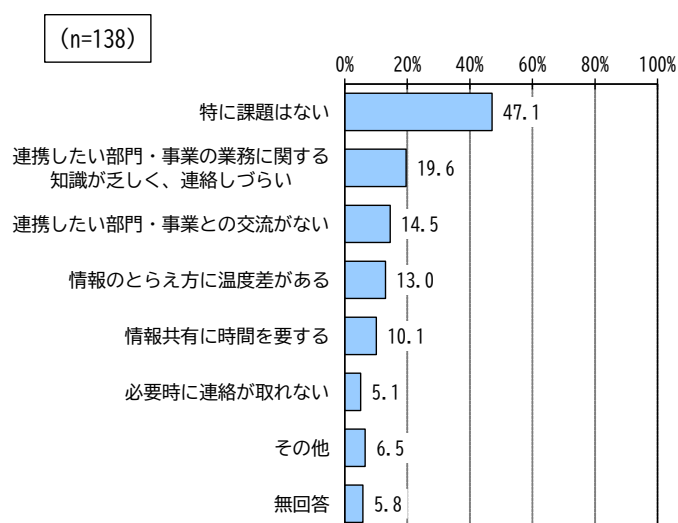


【「さぽーとぴあ」の利用意向（障がい種別）】

単位：％

回答者数(人)		専門的な職員に 相談したい	就労（働くこと）の 支援を受けたい	短期入所を使いたい	自立訓練に通いたい	自分が興味のある内容 の講座等に参加したい	障がい者スポーツを 体験したい	本や雑誌を読んだり、 情報を得たい	ボランティアや団体の 活動に参加したい	カフェの販売品に 興味がある	特に使いたいと 思わない	無回答
18 歳 以上	全体(n=3,198)	17.3	10.4	4.9	4.0	13.6	5.4	9.0	3.9	6.7	41.1	16.7
	障がい種別											
	身体(n=1,722)	12.5	5.1	4.1	2.9	13.1	5.1	8.2	3.0	4.6	43.1	21.0
	知的(n=588)	21.1	13.9	16.7	5.4	11.6	13.3	5.8	4.1	9.0	30.4	13.8
	精神(n=760)	29.1	21.4	3.9	7.5	17.2	5.0	12.8	5.3	10.0	34.2	9.1
	難病(n=730)	14.9	7.8	2.5	3.7	13.8	3.2	7.9	4.8	5.9	47.5	15.9
	発達(n=221)	37.6	25.8	10.0	8.6	22.2	11.3	10.4	3.2	13.1	28.5	4.1
	高次(n=87)	21.8	16.1	4.6	8.0	13.8	6.9	3.4	4.6	4.6	31.0	20.7
18 歳 未 満	全体(n=1,010)	44.5	33.0	16.9	21.1	20.9	18.0	9.3	6.4	9.7	19.6	7.3
	障がい種別											
	身体(n=182)	40.7	21.4	28.0	17.6	18.1	23.1	8.2	7.7	8.8	15.4	10.4
	知的(n=550)	45.5	43.6	26.5	27.3	22.2	26.0	9.3	8.4	12.2	14.5	6.5
	精神(n=68)	45.6	39.7	14.7	23.5	25.0	13.2	13.2	8.8	16.2	23.5	7.4
	難病(n=3)	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	66.7	-
	発達(n=555)	47.4	33.2	15.9	22.3	22.0	16.0	9.5	5.8	9.5	19.8	7.0
	高次(n=9)	55.6	22.2	22.2	33.3	22.2	22.2	11.1	11.1	-	22.2	-

【さぽーとぴあと連携する際の課題（サービス提供事業所）】



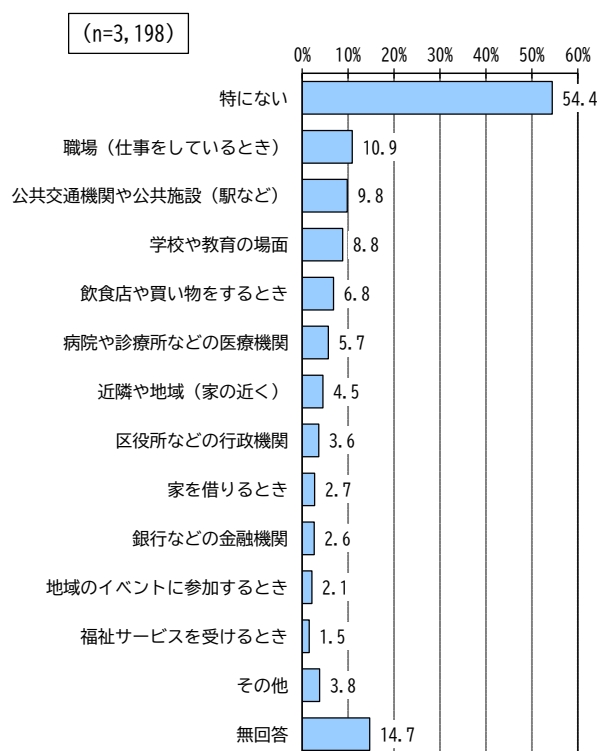
(8) 障がいへの理解促進

○当事者の半数以上が差別を感じた場所や場面は「特にない」と回答している一方で、日常的な場所や場面で差別を感じている方も多くおり、引き続き障がい理解の促進を図る必要があります。

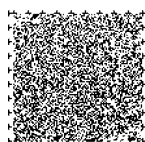
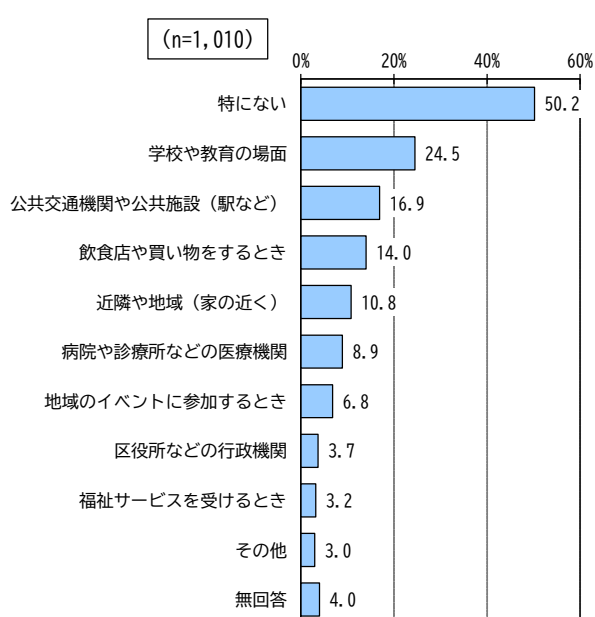
- ・ 障がいがあることを理由に差別を感じた場所や場面として、18 歳以上・未満ともに「特にない」が最も多く、18 歳以上で 54.4%、18 歳未満で 50.2%と共に半数を超えています。一方で、18 歳以上は「職場（仕事をしているとき）」が 10.9%、「公共交通機関や公共施設（駅など）」が 9.8%、18 歳未満は「学校や教育の場面」が 24.5%、「公共交通機関や公共施設（駅など）」が 16.9%と、日常的な場所や場面で差別を感じていることも多くなっています。
- ・ 「障害者差別解消法」の認知度は、「知らない」との回答が 18 歳以上は 61.2%、18 歳未満は 65.9%となっています。また、令和 6 年度からすべての障害福祉サービス事業者等において合理的配慮の提供が義務化されましたが、「特に取り組んでいない」との回答が 8.7%あります。

【障がいがあることを理由に差別を感じた場所や場面】

<18 歳以上>

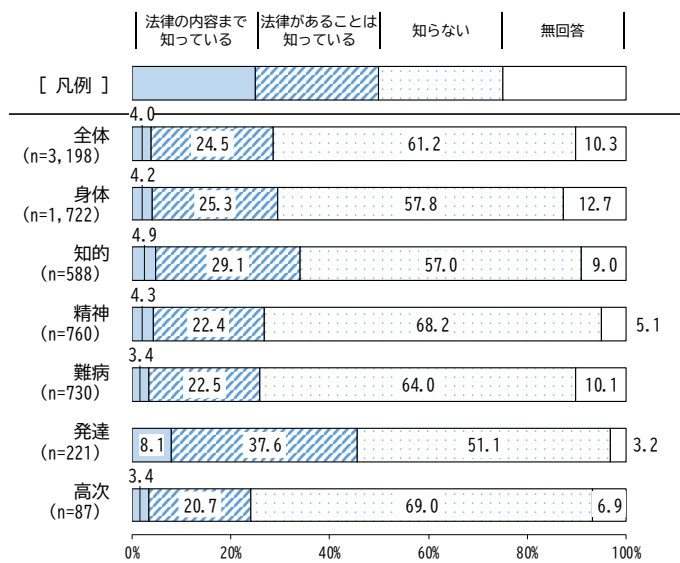


<18 歳未満>

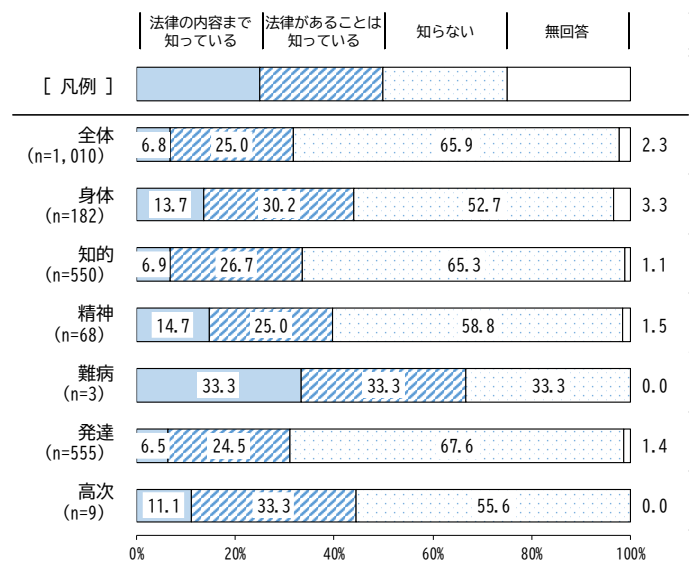


【「障害者差別解消法」の認知度】

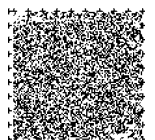
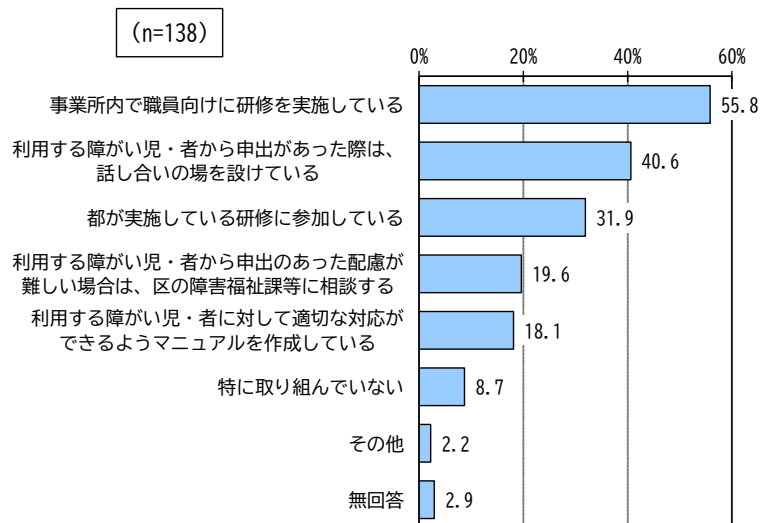
<18歳以上>



<18歳未満>



【合理的配慮の提供に関する取組（サービス提供事業所）】

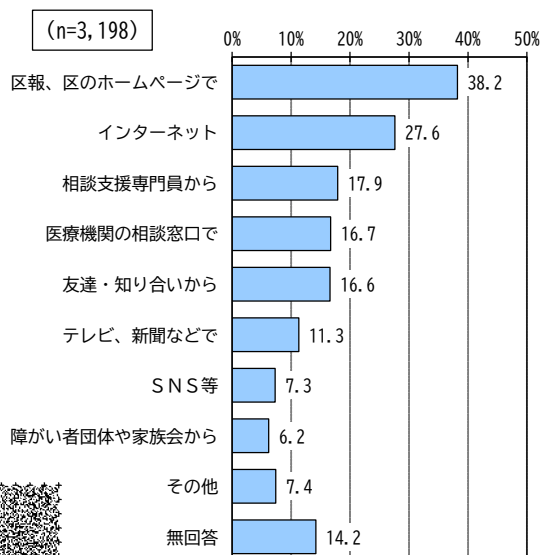


○年齢や障がい特性に応じた情報アクセシビリティの促進、円滑な意思疎通を可能にする配慮と支援が求められています。

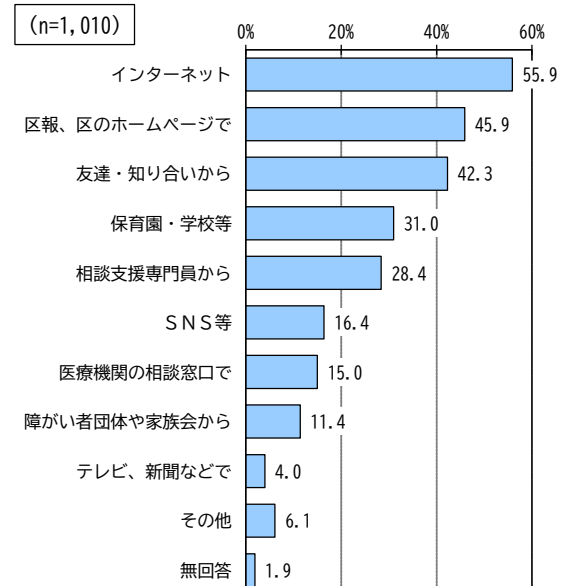
- 福祉情報の入手方法では、18 歳以上は「区報、区のホームページで」（38.2%）、「インターネット」（27.6%）、「相談支援専門員から」（17.9%）、「医療機関の相談窓口で」（16.7%）の順になっており、18 歳未満では「インターネット」（55.9%）、「区報、区のホームページで」（45.9%）、「友達・知り合いから」（42.3%）、「保育園・学校等」（31.0%）の順になっており、年齢による差があります。また、18 歳以上の [知的]、[発達]、[高次] は「相談支援専門員から」（知的：41.2%、発達：30.3%、高次：29.9%）との回答も多く見られます。
- 福祉情報の入手で困ったことについては、18 歳以上・未満ともに、「どのように調べればよいか、どこで相談すればよいかわからなかった」（18 歳以上：33.1%、18 歳未満：54.2%）が最も多くなっていますが、18 歳以上は次いで「特に困ったことはなかった」（30.9%）が多いのに対し、18 歳未満は「ホームページなどの情報量が多すぎて、自分に必要な情報がわからなかった」（32.6%）が多くなっています。
- コミュニケーションや意思の伝達等の困った場面については、18 歳以上は「全体」では「特に困ったことはない」（38.1%）が最も多くなっていますが、[知的]、[発達]、[高次] は「相手の話している内容を、正確に理解することが難しかった」（知的：57.0%、発達：63.8%、高次：44.8%）、「専門用語や手続きの説明が難しく、内容がよく理解できなかった」（知的：51.4%、発達：49.8%、高次：48.3%）、「自分の希望や意見、症状等を、正確に伝えることができなかった」（知的：54.6%、発達：61.1%、高次：48.3%）が多くなっています。また、[視覚] は「文書を読み書きすることが難しかった」（58.7%）、[聴覚] は「相手の話している内容を、正確に理解することが難しかった」（64.5%）、[音声] は「自分の希望や意見、症状等を、正確に伝えることができなかった」（56.9%）が多くなっています。
- 18 歳未満は回答数の少ない [難病] と [高次] を除き、「相手の話している内容を、正確に理解することが難しかった」、「自分の希望や意見、症状等を、正確に伝えることができなかった」が多くなっています。

【福祉情報の入手方法】

<18 歳以上>



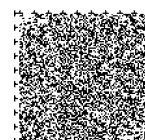
<18 歳未満>



【コミュニケーションや意思の伝達等の困った場面（障がい種別・詳細）】

単位：％

回答者数(人)		相手の話している内容を、 正確に理解することが難しかった	文書を読み書きすることが 難しかった	専門用語や手続きの説明が難しく、 内容がよく理解できなかった	案内表示やアナウンスが、 わかりにくかった	自分の希望や意見、症状等を、 正確に伝えることができなかった	相手の障がいに対する 理解が足りなかった	その他	特に困ったことはない	無回答
18歳以上	全体(n=3,198)	28.3	24.7	25.1	15.6	25.6	12.7	5.0	38.1	4.2
	障がい種別	身体(n=1,722)	24.1	24.0	19.2	17.1	8.2	5.6	39.8	5.1
		知的(n=588)	57.0	47.6	51.4	29.3	54.6	25.5	4.3	15.1
		精神(n=760)	36.6	25.3	33.8	13.3	42.0	22.2	6.8	24.1
		難病(n=730)	11.1	15.2	15.6	7.7	11.9	5.8	3.6	59.9
		発達(n=221)	63.8	36.7	49.8	24.4	61.1	39.4	4.1	11.8
		高次(n=87)	44.8	39.1	48.3	20.7	48.3	21.8	3.4	18.4
	身体障がい詳細	視覚(n=298)	16.1	58.7	18.1	26.5	12.8	9.4	7.7	17.1
		聴覚(n=276)	64.5	17.0	23.2	36.2	17.8	12.3	7.2	15.9
		音声(n=144)	34.0	31.3	29.2	18.8	56.9	15.3	11.8	13.9
		体幹(n=560)	21.8	24.5	23.4	14.5	24.5	10.4	5.9	47.1
		内部(n=429)	11.7	10.3	15.9	8.2	8.9	6.8	1.9	65.3
18歳未満	全体(n=1,010)	61.1	47.8	35.7	29.0	55.6	21.7	5.3	14.5	2.4
	障がい種別	身体(n=182)	50.5	41.8	33.0	29.1	44.0	19.8	8.8	22.5
		知的(n=550)	74.9	62.9	51.5	43.1	70.5	30.0	4.9	5.1
		精神(n=68)	55.9	41.2	35.3	29.4	54.4	23.5	7.4	10.3
		難病(n=3)	-	33.3	-	-	33.3	33.3	-	33.3
		発達(n=555)	65.6	48.6	37.1	29.0	60.7	23.2	4.1	12.1
		高次(n=9)	66.7	55.6	44.4	44.4	55.6	-	22.2	11.1
	身体障がい詳細	視覚(n=19)	36.8	47.4	10.5	15.8	31.6	15.8	-	15.8
		聴覚(n=31)	74.2	45.2	32.3	29.0	35.5	19.4	9.7	12.9
		音声(n=34)	64.7	52.9	52.9	44.1	70.6	32.4	11.8	11.8
		体幹(n=110)	55.5	46.4	43.6	36.4	57.3	25.5	7.3	18.2
		内部(n=46)	43.5	23.9	26.1	23.9	30.4	15.2	8.7	43.5



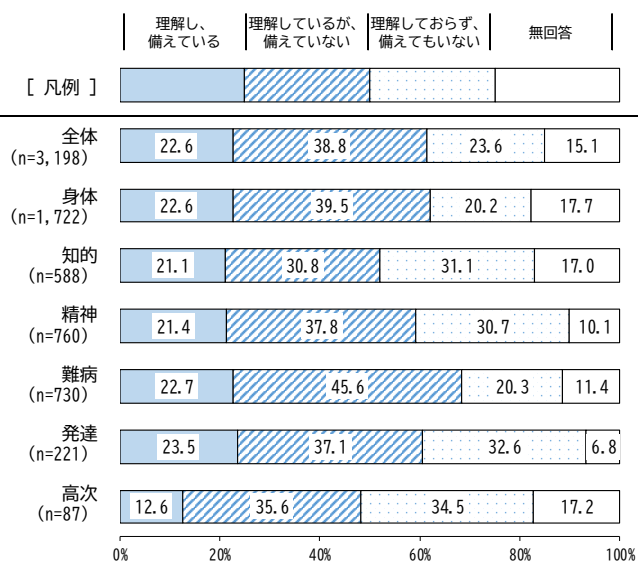
(9) 防災・防犯対策の推進

○災害時の備えや避難の手助けとなる取組等の認知度向上が求められています。
○年齢や障がい特性に応じた災害時の配慮や支援が求められています。

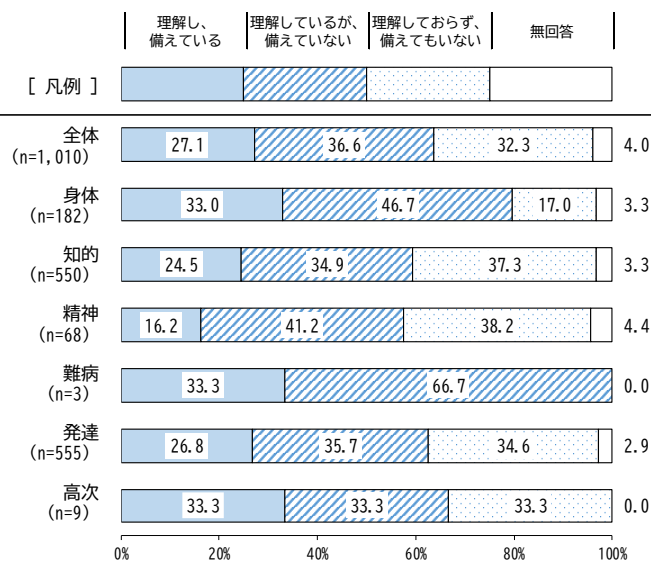
- ・ 18 歳以上は、「避難行動要支援者名簿」、「個別避難計画」については 65%以上が存在を知らず、「マイ・タイムライン」は約 75%が「言葉も目的も知らない」と回答しており、認知度は高くありません。
- ・ 一方で、[知的] は他の障がい種別と比較して各施策の取組の認知度は高くなっています。しかし、災害時の備えや行動への理解をみると、実際に備えている割合（「理解し、備えている」）は他の障がい種別とほぼ変わりません。
- ・ 18 歳未満は、「避難行動要支援者名簿」、「個別避難計画」については 18 歳以上より認知度は高いですが、「避難行動要支援者名簿」は 52.5%、「個別避難計画」は 59.0%が存在を知らず、「マイ・タイムライン」は 66.8%が「言葉も目的も知らない」と回答しており、こちらも認知度は高くありません。
- ・ 18 歳未満の中で [身体] と [知的] は他の障がい種別と比較して各施策の取組の認知度は高くなっていますが、災害時の備えや行動への理解をみると、実際に備えている割合（「理解し、備えている」）（身体：33.0%、知的：24.5%）は他の障がい種別と大きく変わりません。
- ・ 災害時の不安、困ることについて、18 歳以上・未満ともに、備蓄や備えである「自宅での避難の備蓄や備えが不十分/家で過ごすための準備が不十分」（18 歳以上：47.9%、18 歳未満：42.5%）、「家族と連絡が取れるか不安だ/家族と連絡ができなくなること」（18 歳以上：44.6%、18 歳未満：69.5%）、「実際に被害にあったとき、どう行動していいかわからない」（18 歳以上：39.1%、18 歳未満：51.7%）との回答が多くなっています。

【災害時の備えや行動への理解】

<18 歳以上>



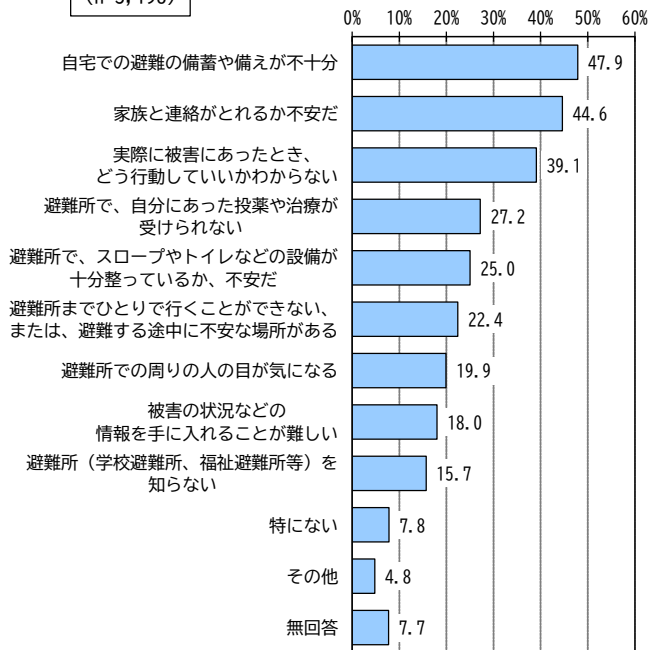
<18 歳未満>



【災害時の不安、困ること】

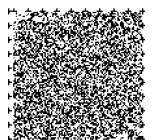
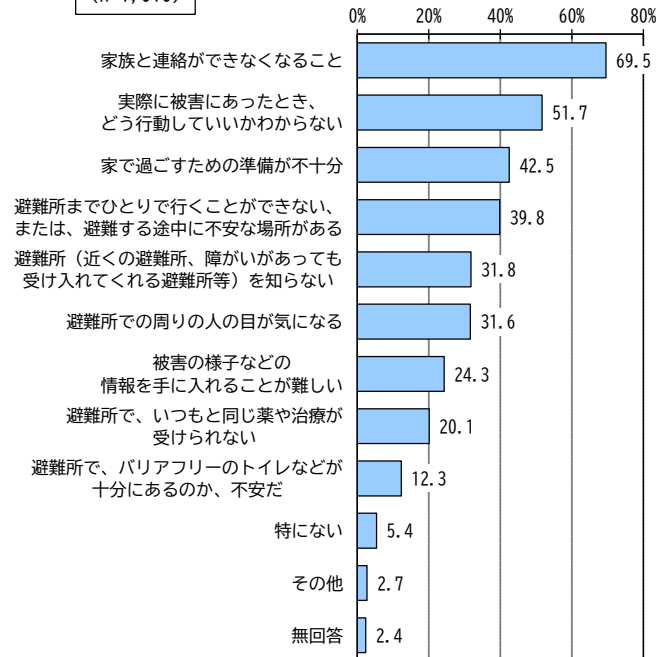
<18 歳以上>

(n=3,198)



<18 歳未満>

(n=1,010)



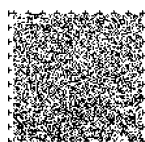
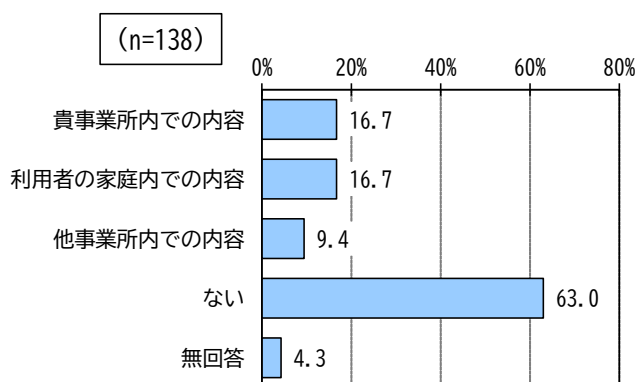
(10) 権利を守るまちの実現

○多くのサービス事業所で近年義務化された虐待防止に向けた取組が行われています。一方で、取組の実施が不十分なサービス事業所も見られます。

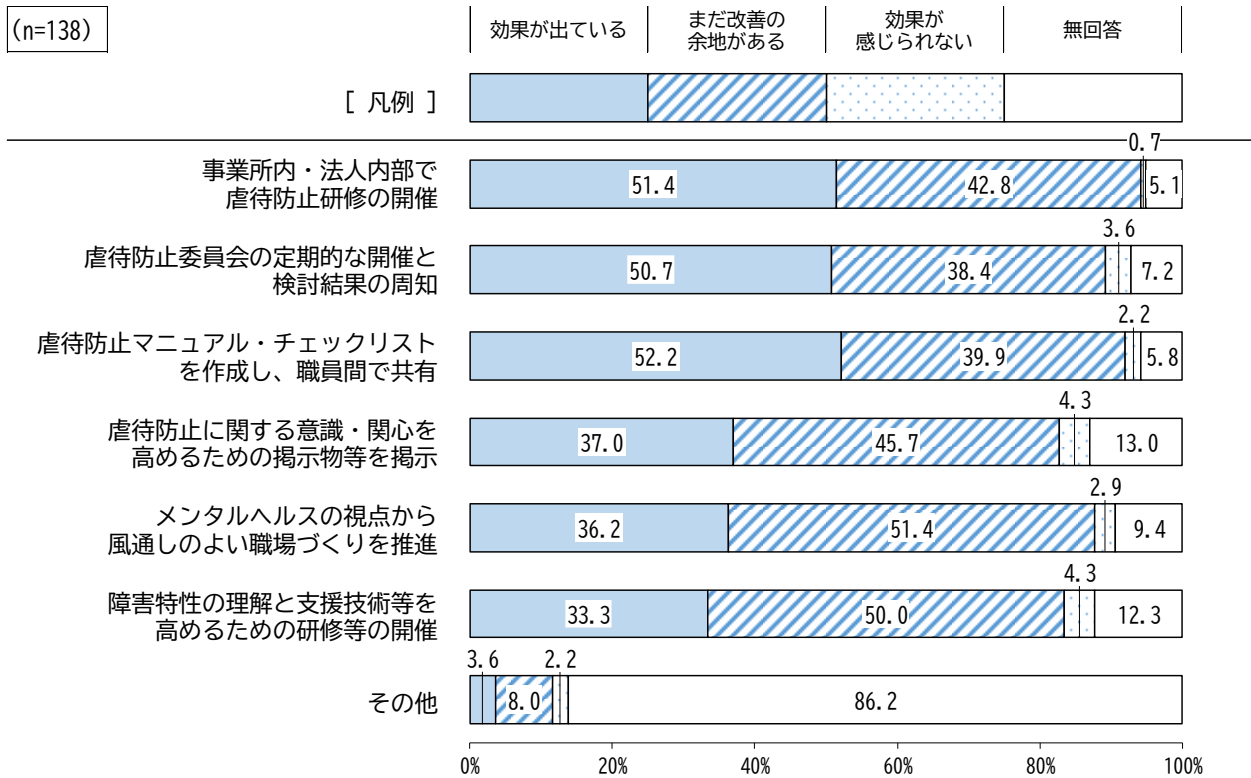
○当事者の虐待防止センターの認知度は低いままとなっており、周知啓発が求められています。

- ・虐待防止に向けた取組と効果について、「事業所内・法人内部で虐待防止研修の開催」(51.4%)、「虐待防止委員会の定期的な開催と検討結果の周知」(50.7%)、「虐待防止マニュアル・チェックリストを作成し、職員間で共有」(52.2%)は半数以上が「効果が出ている」と回答しており、「虐待防止に関する意識・関心を高めるための掲示物等を掲示」(45.7%)、「メンタルヘルスの視点から風通しのよい職場づくりを推進」(51.4%)、「障害特性の理解と支援技術等を高めるための研修等の開催」(50.0%)は半数近くが「まだ改善の余地がある」と回答しています。また、全ての取組において「効果が感じられない」との回答はほとんど見られません。
- ・一方で、令和4年度からすべての障害福祉サービス事業者等において、障害者虐待防止のための具体的な取組が義務化されましたが、虐待防止に向けた取組と効果で「特にない」との回答が18.8%あり、いまだ取組ができていないサービス事業所が2割近くあります。
- ・当事者の「障害者虐待防止センター」の認知度については、18歳以上・未満ともに約7割が「知らない」との回答でした。また、サービス事業所の虐待発見時の通報先の認知について「把握している」が89.1%、「把握していない」が6.5%となっており、把握できていないサービス事業所もあり、さらなる周知が必要です。

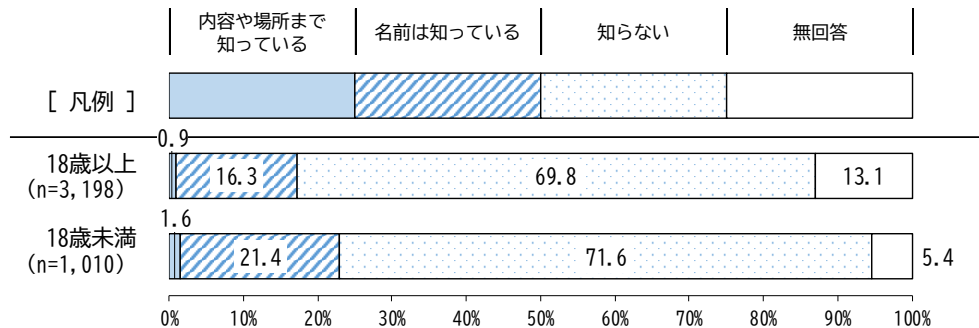
【虐待通報の有無（サービス提供事業所）】



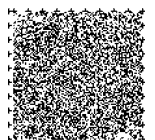
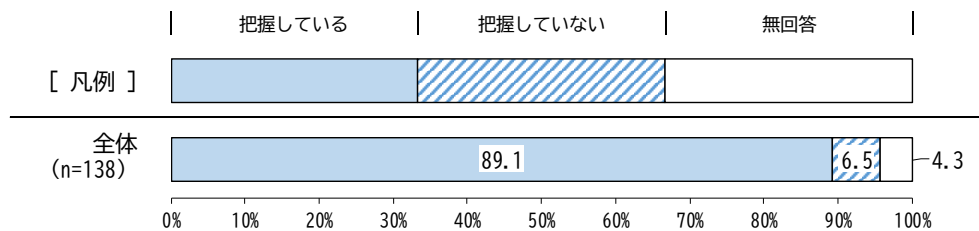
【虐待防止に向けた取組と効果（サービス提供事業所）】



【「障害者虐待防止センター」の認知度】



【虐待発見時の通報先の認知（サービス提供事業所）】



第3章 アンケート調査結果（当事者）

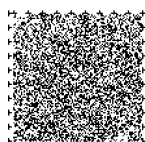
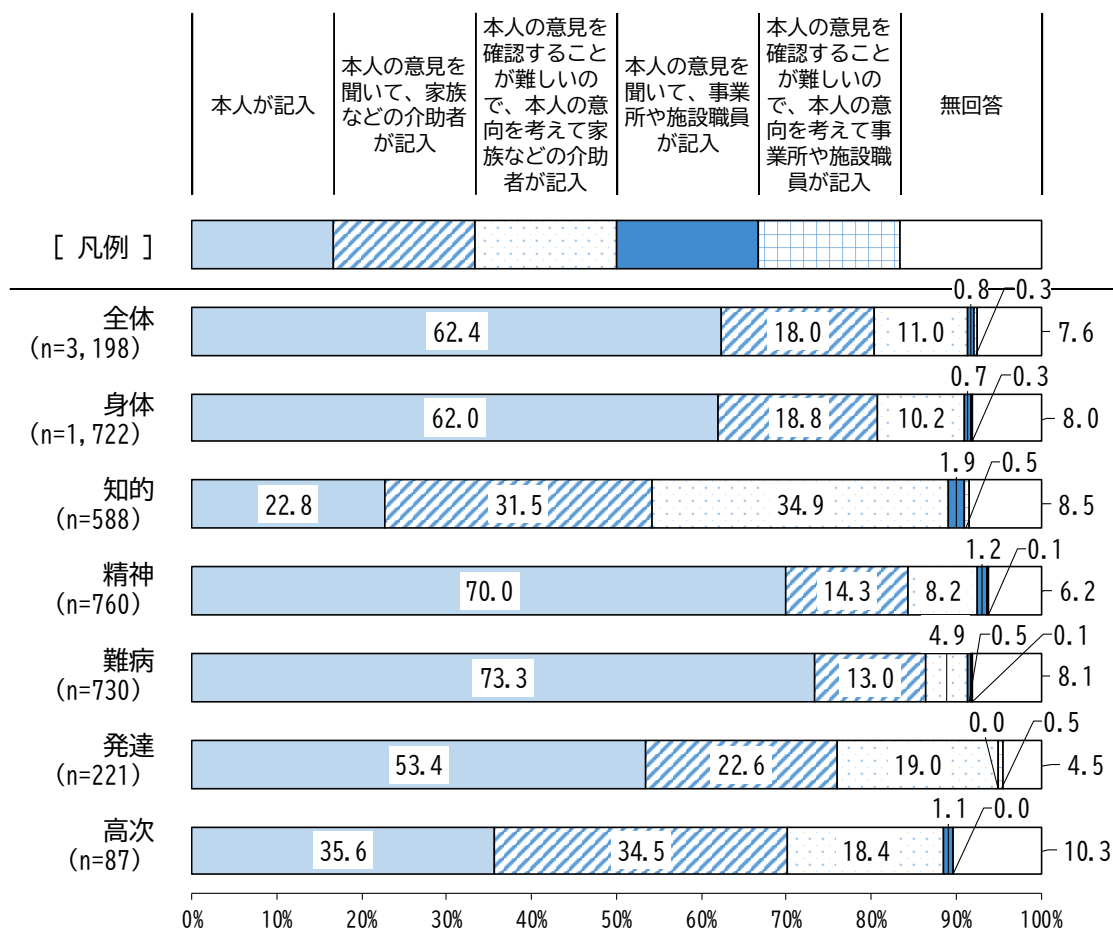
1. 調査票の回答者

（1）調査票の回答者

- 調査票の回答者について、18 歳以上の方全体では、「本人が記入」が 62.4%で最も多く、次いで「本人の意見を聞いて、家族などの介助者が記入」が 18.0%、「本人の意見を確認することが難しいので、本人の意向を考えて家族などの介助者が記入」が 11.0%となっています。

【18 歳以上 問 1】 この調査票はどなたが記入されますか。（単一回答）

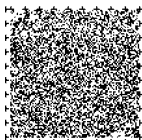
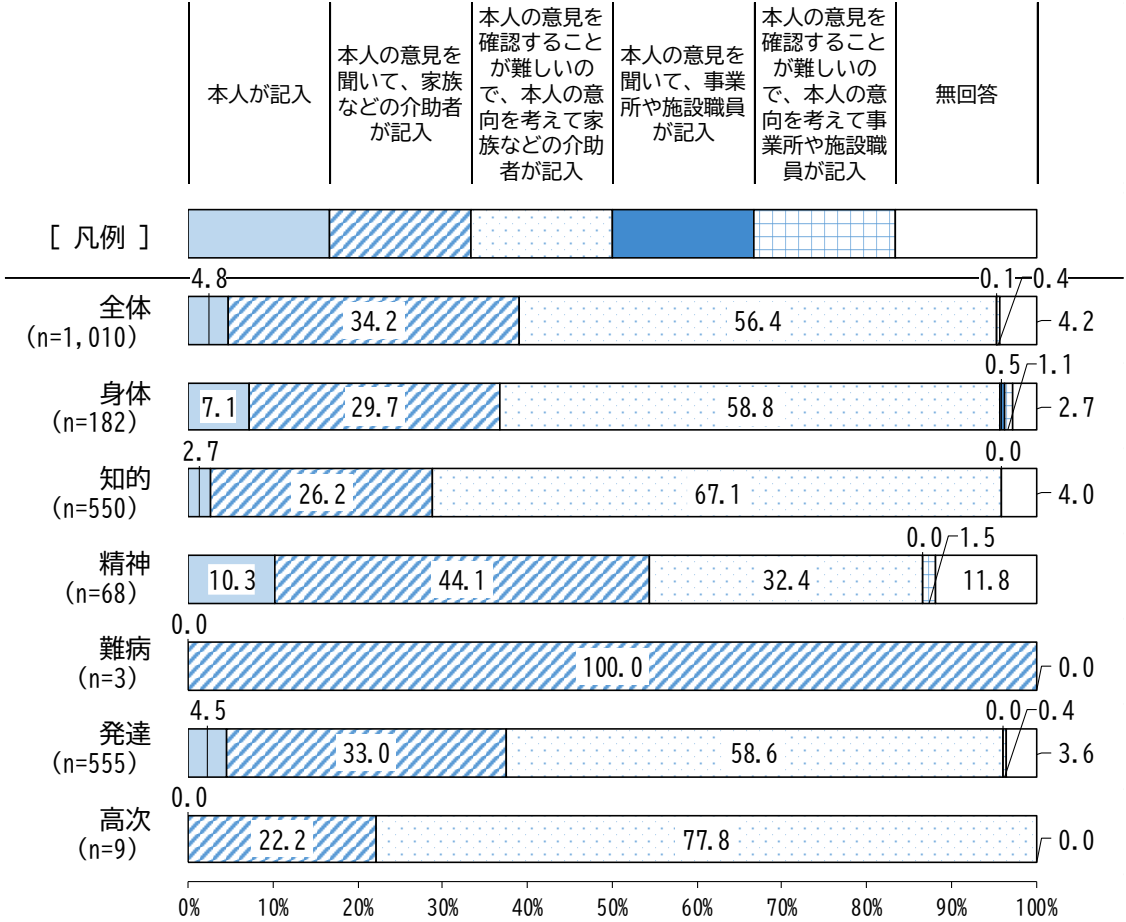
【調査票の回答者（18 歳以上）】



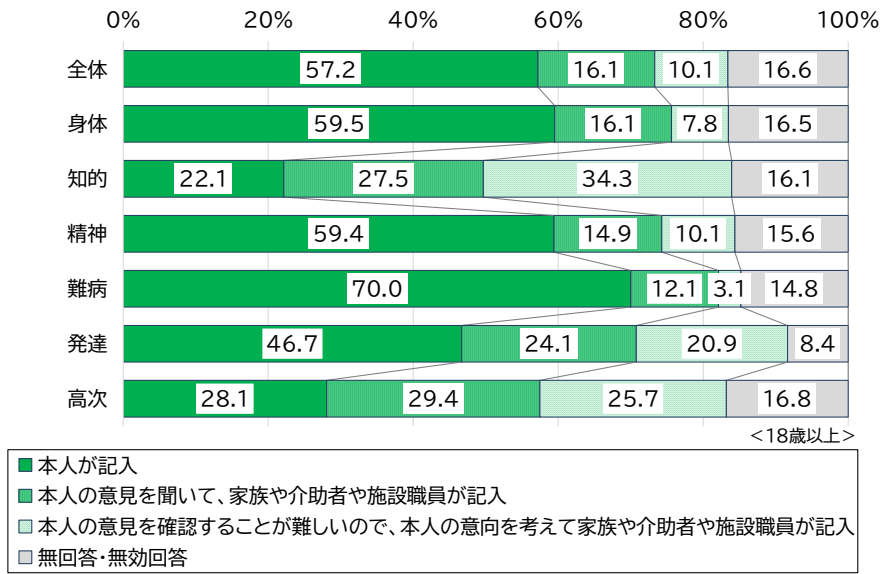
○ 18 歳未満の方全体では、「本人の意見を確認することが難しいので、本人の意向を考えて家族などの介助者が記入」が 56.4%で最も多く、次いで「本人の意見を聞いて、家族などの介助者が記入」が 34.2%、「本人が記入」が 4.8%となっています。

【18 歳未満 問 1】 この調査票はどなたが記入されますか。（単一回答）

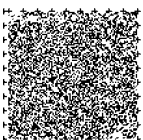
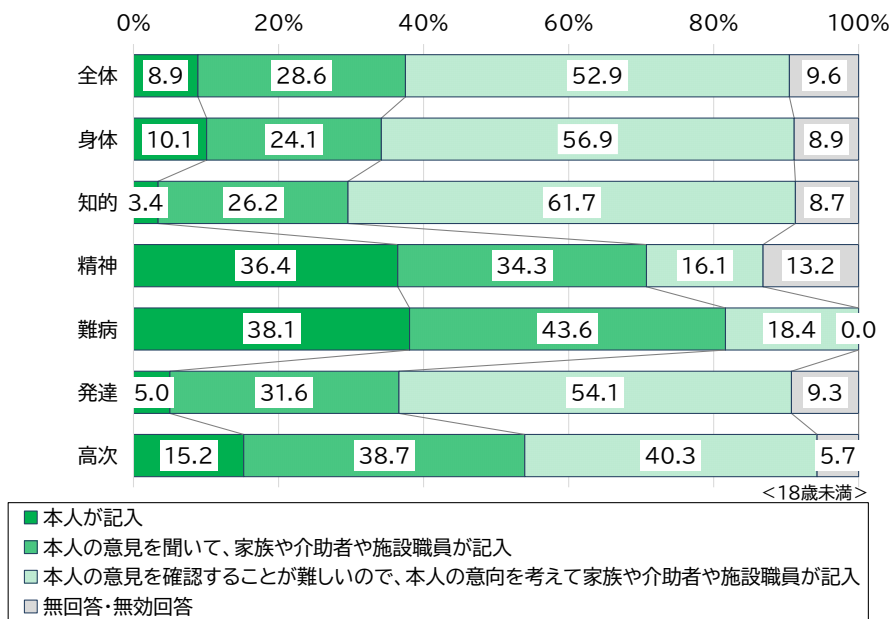
【調査票の回答者（18 歳未満）】



参考：前回調査結果 調査票の回答者（18歳以上）



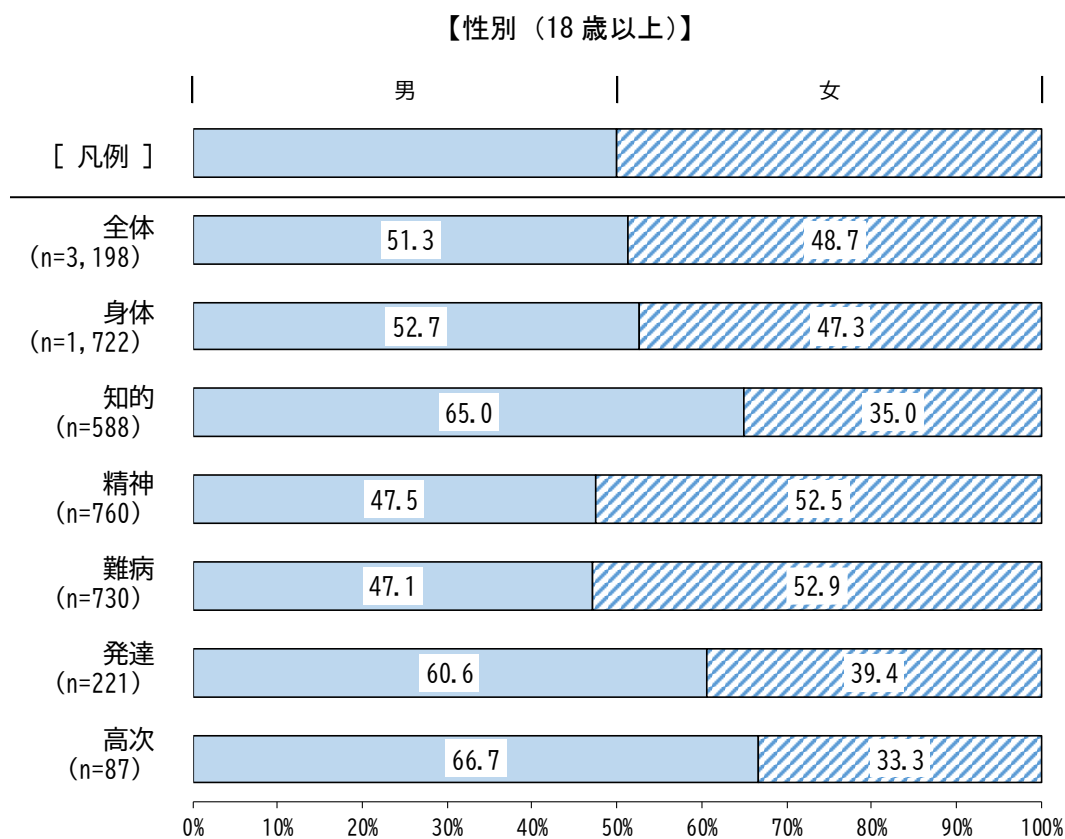
参考：前回調査結果 調査票の回答者（18歳未満）



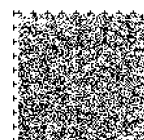
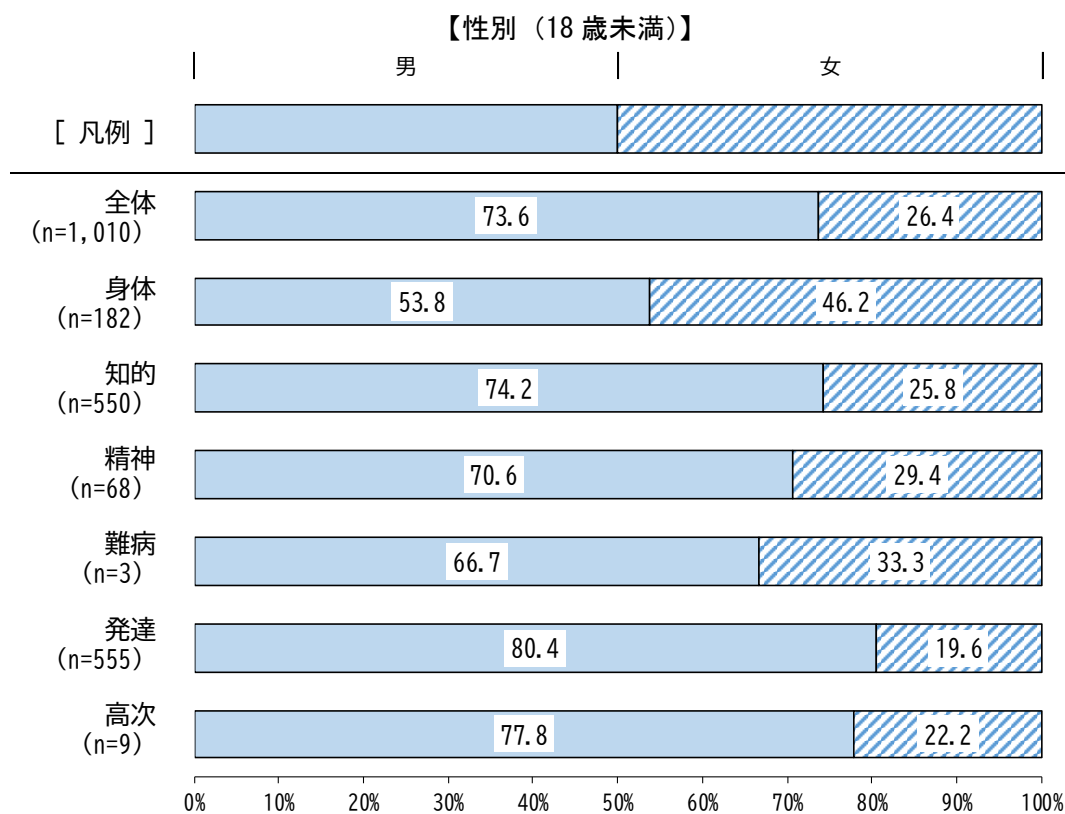
2. ご本人について

(1) 性別

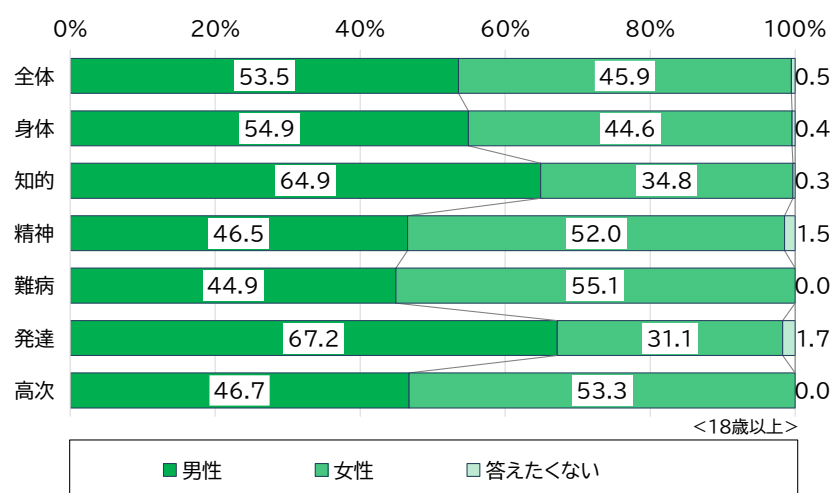
○ 性別について、18歳以上の方全体では、「男」が51.3%、「女」が48.7%となっています。



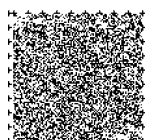
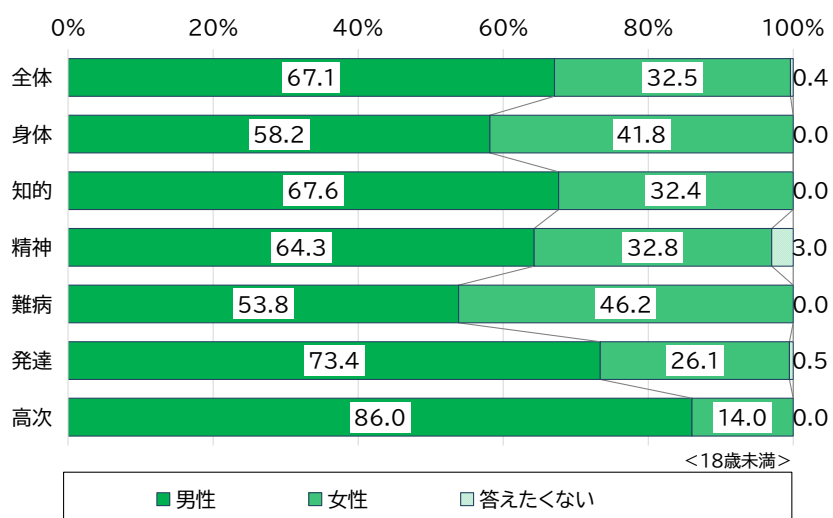
○ 18歳未満の方全体では、「男」が73.6%、「女」が26.4%となっています。



参考：前回調査結果 性別（18 歳以上）

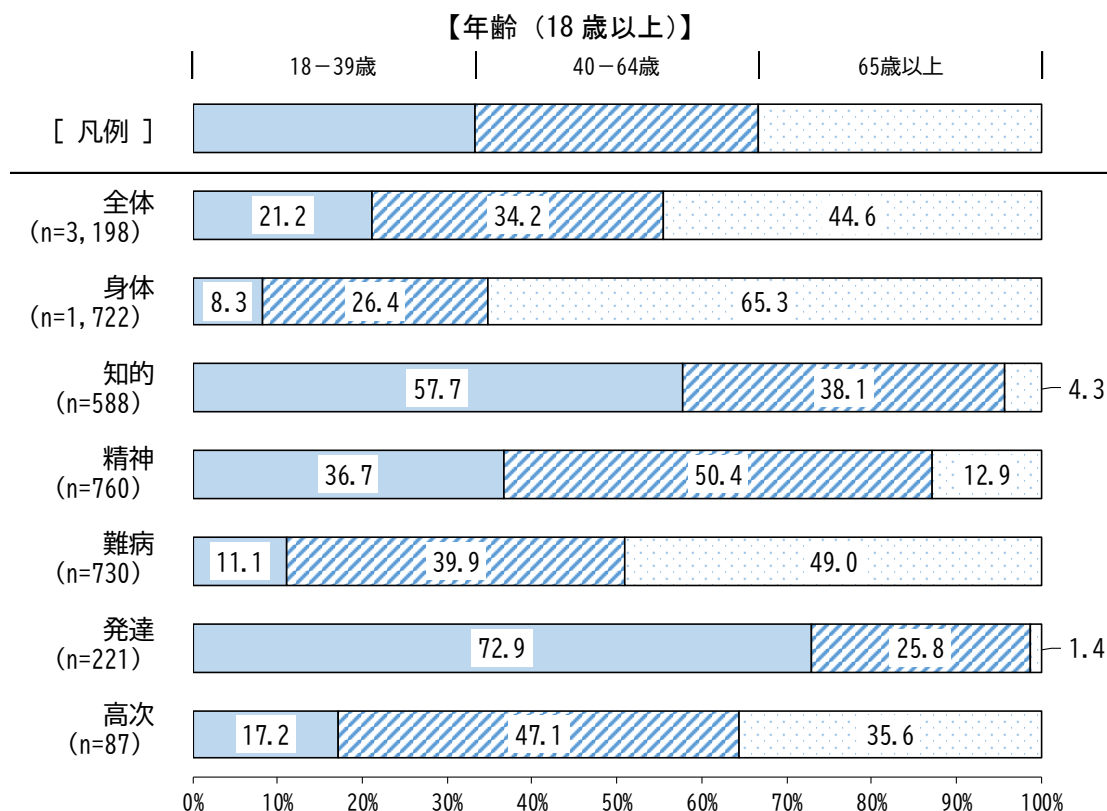


参考：前回調査結果 性別（18 歳未満）

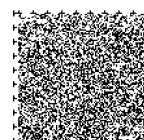
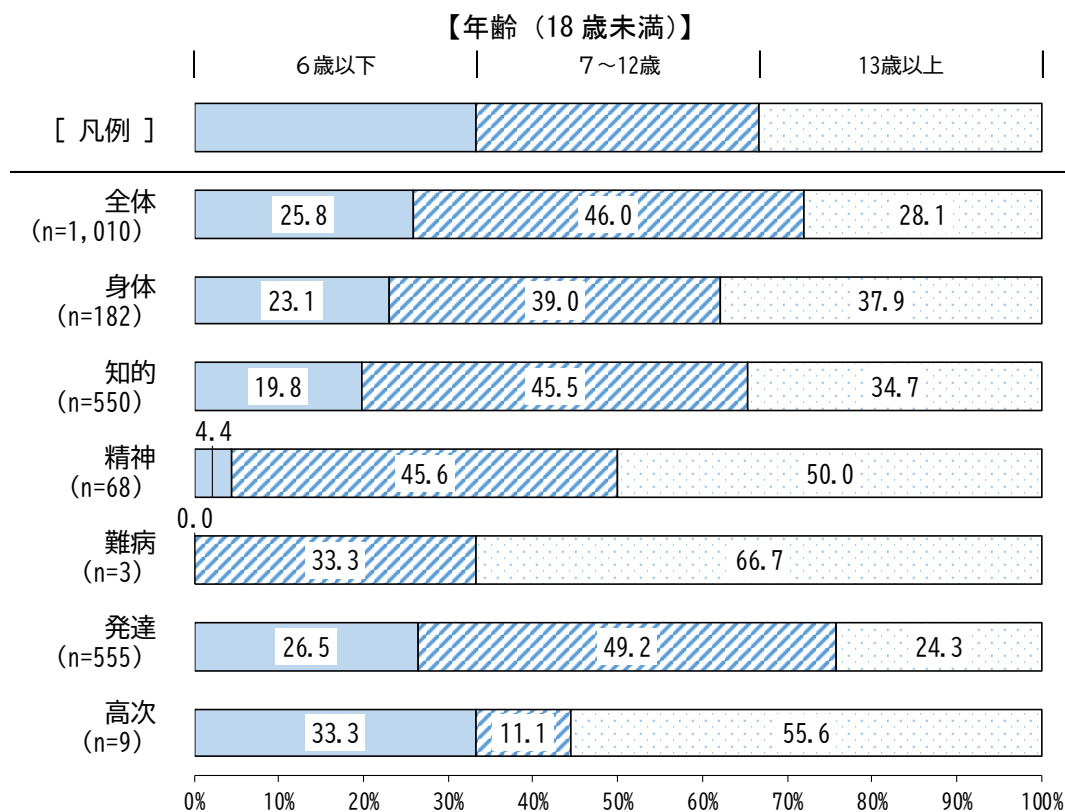


(2) 年齢

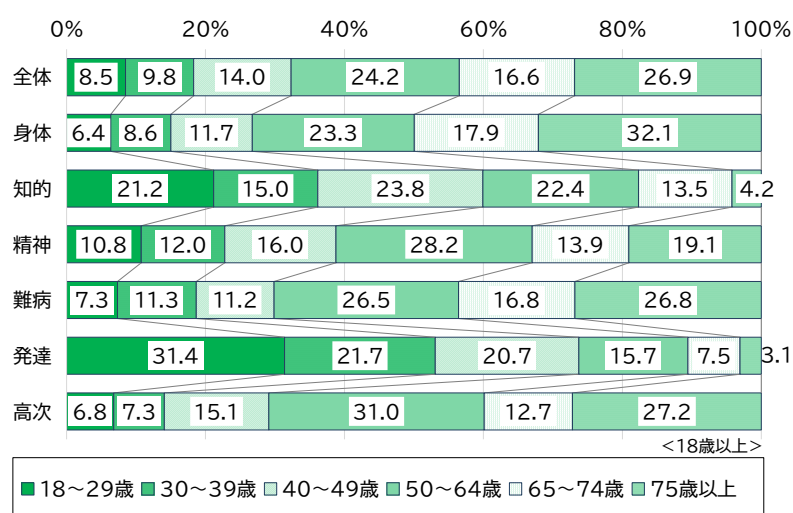
- 年齢について、18 歳以上の方全体では、「65 歳以上」が 44.6%で最も多く、次いで「40-64 歳」が 34.2%、「18-39 歳」が 21.2%となっています。



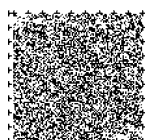
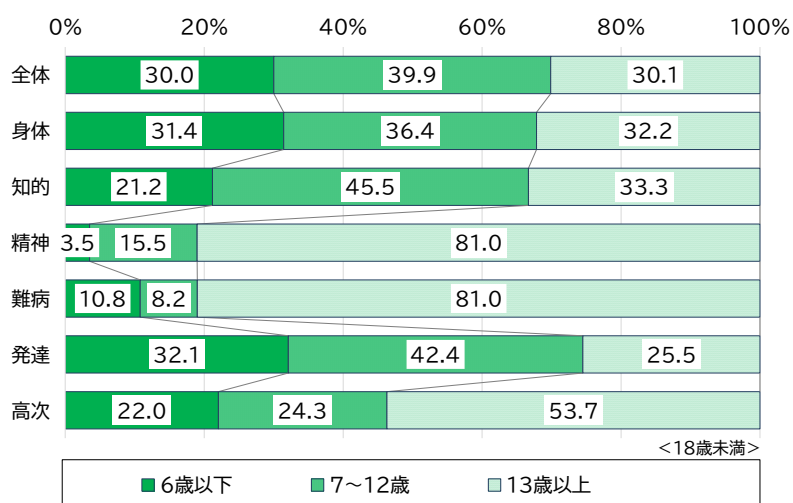
- 18 歳未満の方全体では、「7~12 歳」が 46.0%で最も多く、次いで「13 歳以上」が 28.1%、「6 歳以下」が 25.8%となっています。



参考：前回調査結果 年齢（18 歳以上）



参考：前回調査結果 年齢（18 歳未満）



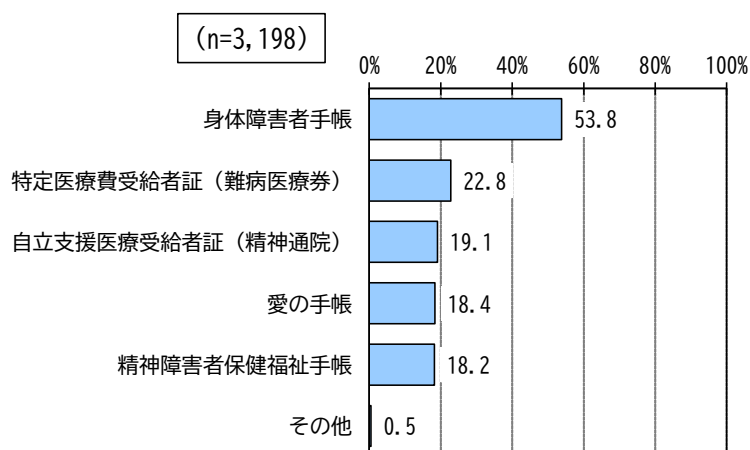
(3) 障がい等の状況

1) 手帳・受給者証の保有状況

- 手帳・受給者証の保有状況について、18 歳以上の方全体では、「身体障害者手帳」が 53.8% で最も多く、次いで「特定医療費受給者証（難病医療券）」が 22.8%、「自立支援医療受給者証（精神通院）」が 19.1%となっています。

【18 歳以上 問 2-1】 あなたがお持ちの手帳・受給者証はどれですか。（複数回答）

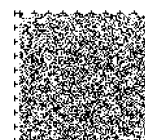
【手帳・受給者証の保有状況（18 歳以上）】



【手帳・受給者証の保有状況（18 歳以上）（障がい種別）】

単位：%

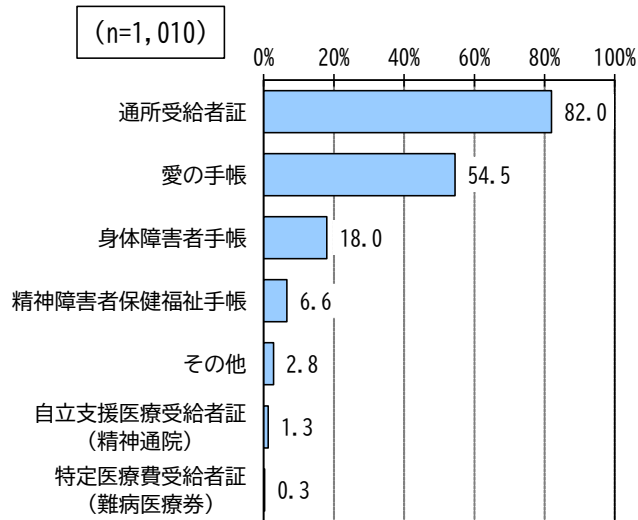
回答者数(人)		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	自立支援医療受給者証 (精神通院)	特定医療費受給者証 (難病医療券)	その他
全体(n=3,198)		53.8	18.4	18.2	19.1	22.8	0.5
障がい種別	身体(n=1,722)	100.0	6.3	3.1	3.0	15.6	0.6
	知的(n=588)	18.5	100.0	8.8	18.7	2.4	0.2
	精神(n=760)	760	17.2	76.4	80.5	3.4	0.7
	難病(n=730)	36.8	1.9	2.6	2.6	100.0	1.0
	発達(n=221)	8.1	47.5	57.9	52.0	1.4	-
	高次(n=87)	81.6	6.9	39.1	24.1	5.7	-



- 18 歳未満の方全体では、「通所受給者証」が 82.0%で最も多く、次いで「愛の手帳」が 54.5%、「身体障がい者手帳」が 18.0%となっています。

【18 歳未満 問 2-1】 あなたがお持ちの手帳・受給者証はどれですか。（複数回答）

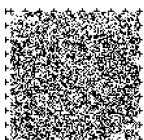
【手帳・受給者証の保有状況（18 歳未満）】



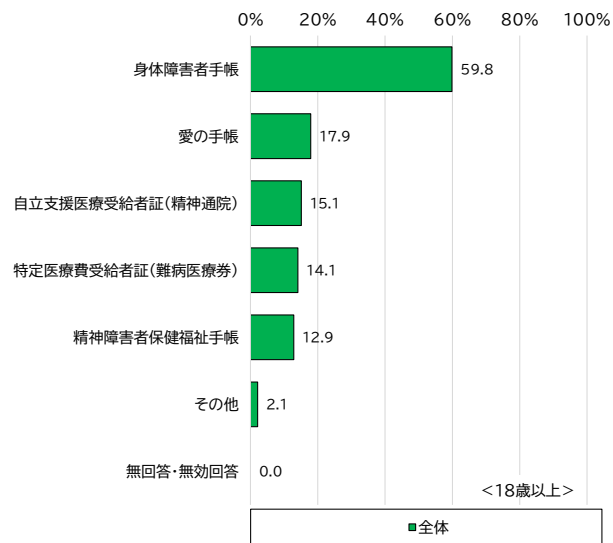
【手帳・受給者証の保有状況（18 歳未満）（障がい種別）】

単位：%

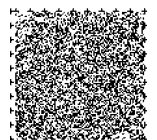
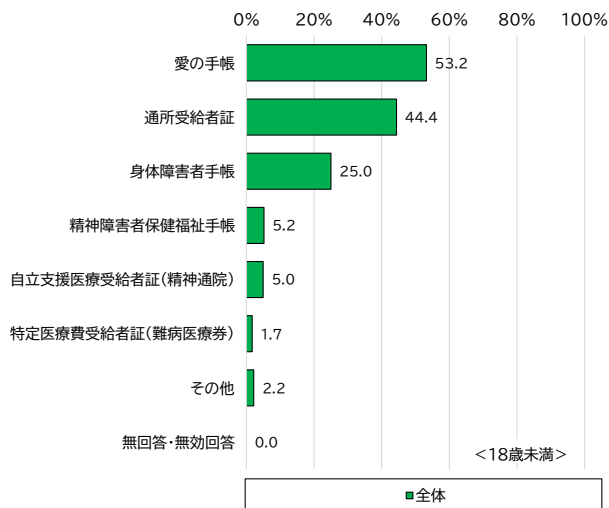
回答者数（人）		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	自立支援医療受給者証 (精神通院)	特定医療費受給者証 (難病医療券)	その他	通所受給者証
全体(n=1,010)		18.0	54.5	6.6	1.3	0.3	2.8	82.0
障がい種別	身体(n=182)	100.0	41.8	3.3	0.5	1.1	3.8	57.1
	知的(n=550)	13.8	100.0	3.1	0.7	-	1.1	83.8
	精神(n=68)	8.8	25.0	98.5	19.1	-	1.5	55.9
	難病(n=3)	66.7	-	-	-	100.0	-	-
	発達(n=555)	5.4	53.3	8.6	2.0	-	2.9	88.6
	高次(n=9)	55.6	55.6	33.3	11.1	-	11.1	77.8



参考：前回調査結果 手帳・受給者証の保有状況（18歳以上）



参考：前回調査結果 手帳・受給者証の保有状況（18歳未満）

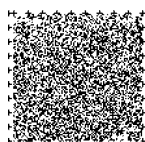
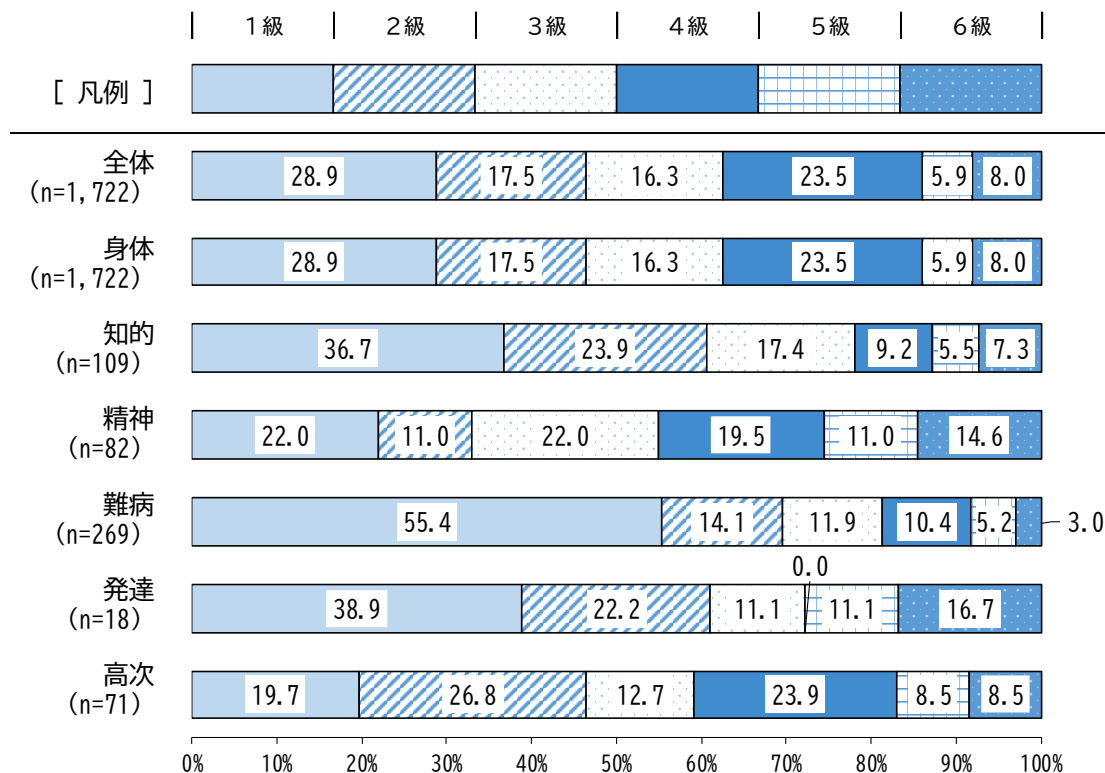


2) 身体障害者手帳の等級

- 身体障害者手帳の等級について、18 歳以上の方全体では、「1 級」が 28.9%で最も多く、次いで「4 級」が 23.5%、「2 級」が 17.5%となっています。

【18 歳以上 問 2-1】 身体障害者手帳の等級（単一回答）

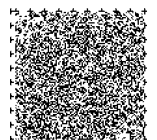
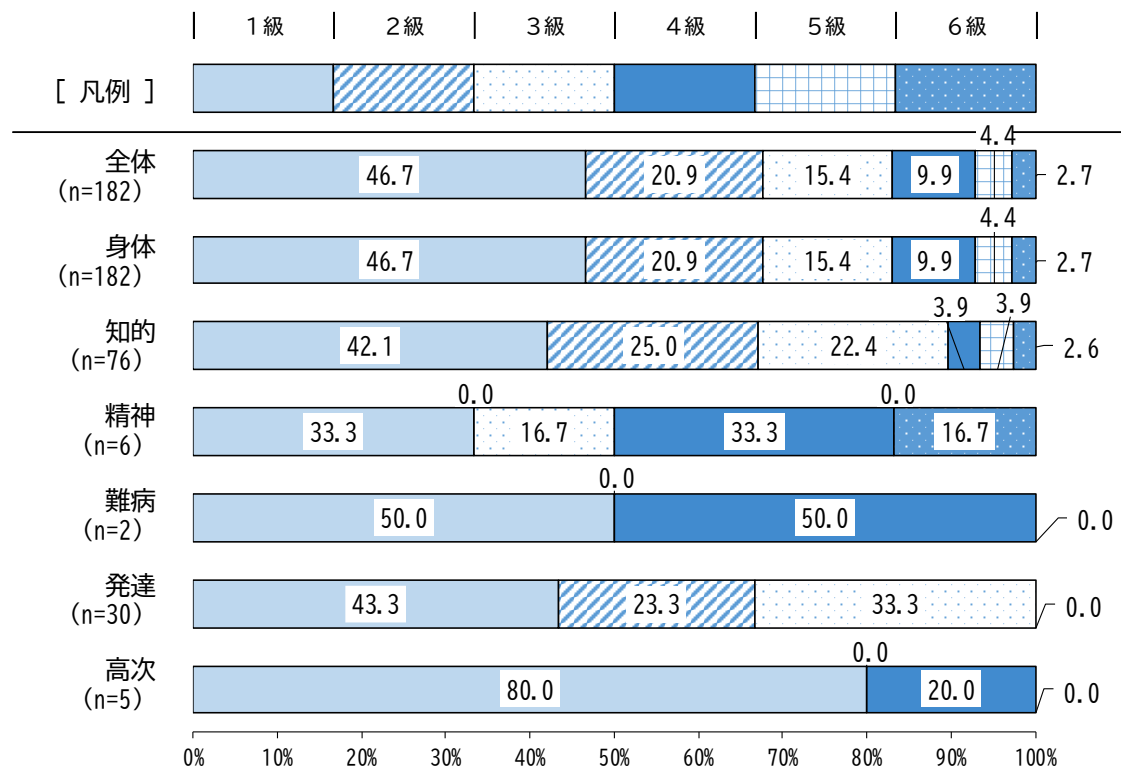
【身体障害者手帳の等級（18 歳以上）】



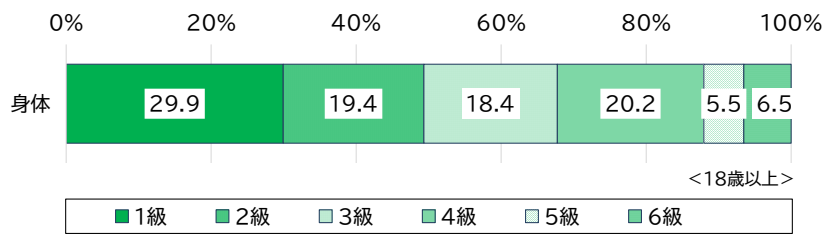
○ 18歳未満の方全体では、「1級」が46.7%で最も多く、次いで「2級」が20.9%、「3級」が15.4%となっています。

【18歳未満 問2-1】 身体障害者手帳の等級（単一回答）

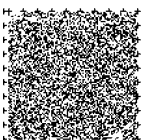
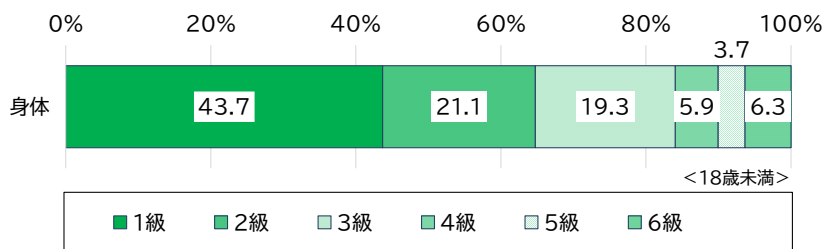
【身体障害者手帳の等級（18歳未満）】



参考：前回調査結果 身体障害者手帳の等級（18 歳以上）



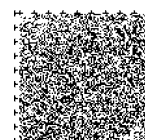
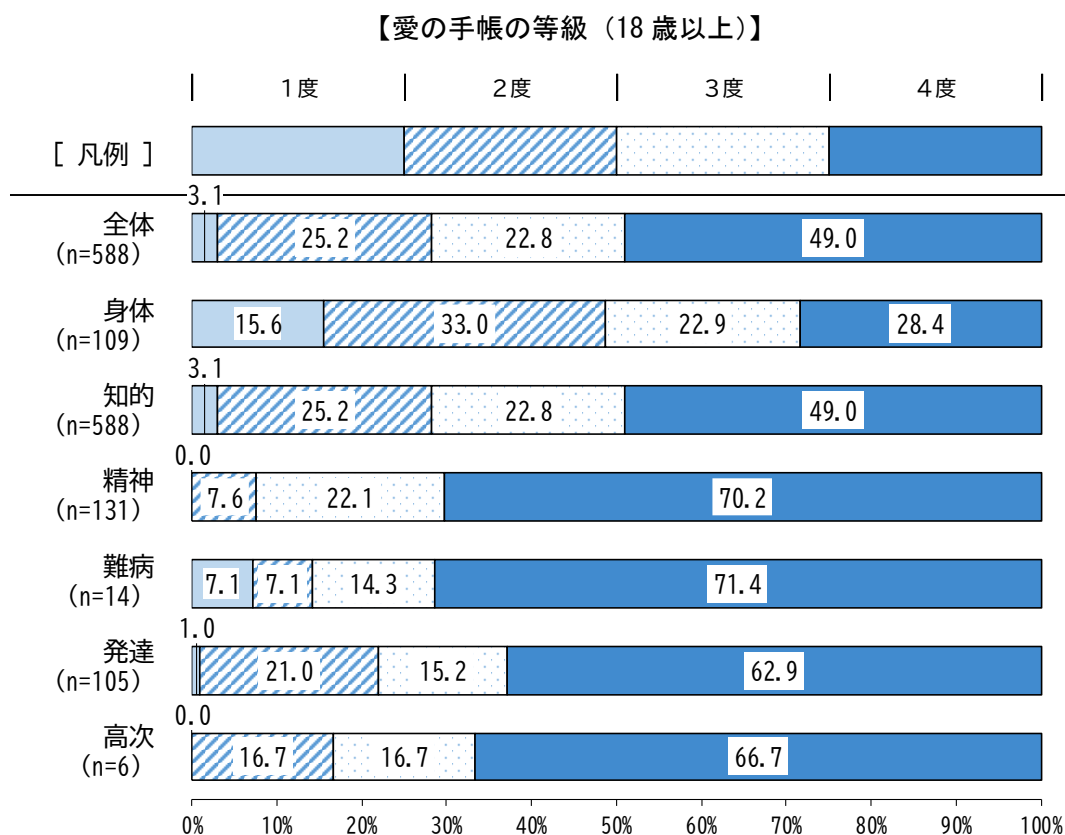
参考：前回調査結果 身体障害者手帳の等級（18 歳未満）



3) 愛の手帳の等級

- 愛の手帳の等級について、18 歳以上の方全体では、「4 度」が 49.0%で最も多く、次いで「2 度」が 25.2%、「3 度」が 22.8%となっています。

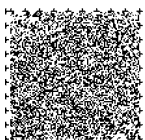
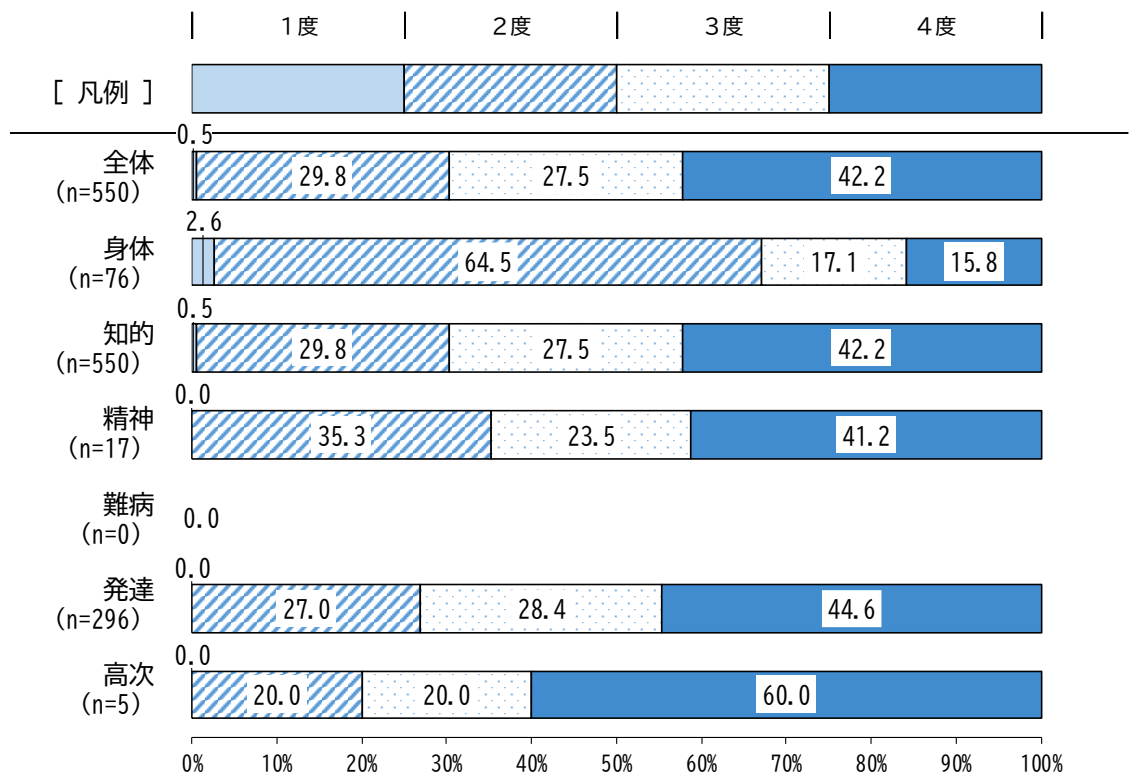
【18 歳以上 問 2-1】 愛の手帳の等級（単一回答）



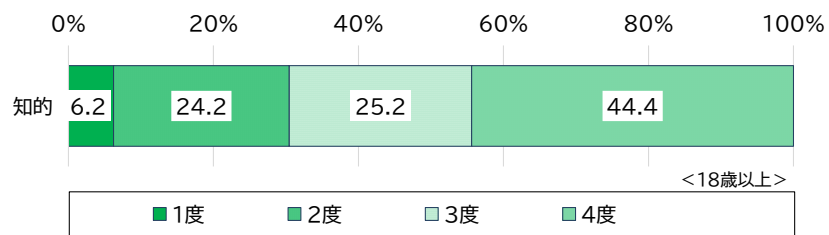
○ 18歳未満の方全体では、「4度」が42.2%で最も多く、次いで「2度」が29.8%、「3度」が27.5%となっています。

【18歳未満 問2-1】 愛の手帳の等級（単一回答）

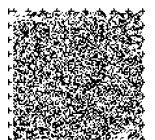
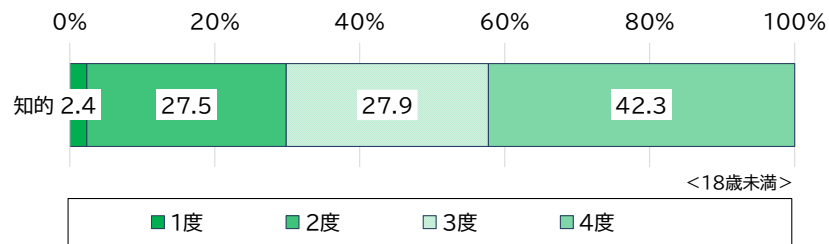
【愛の手帳の等級（18歳未満）】



参考：前回調査結果 愛の手帳の等級（18歳以上）



参考：前回調査結果 愛の手帳の等級（18歳未満）

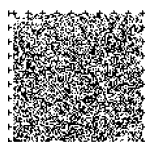
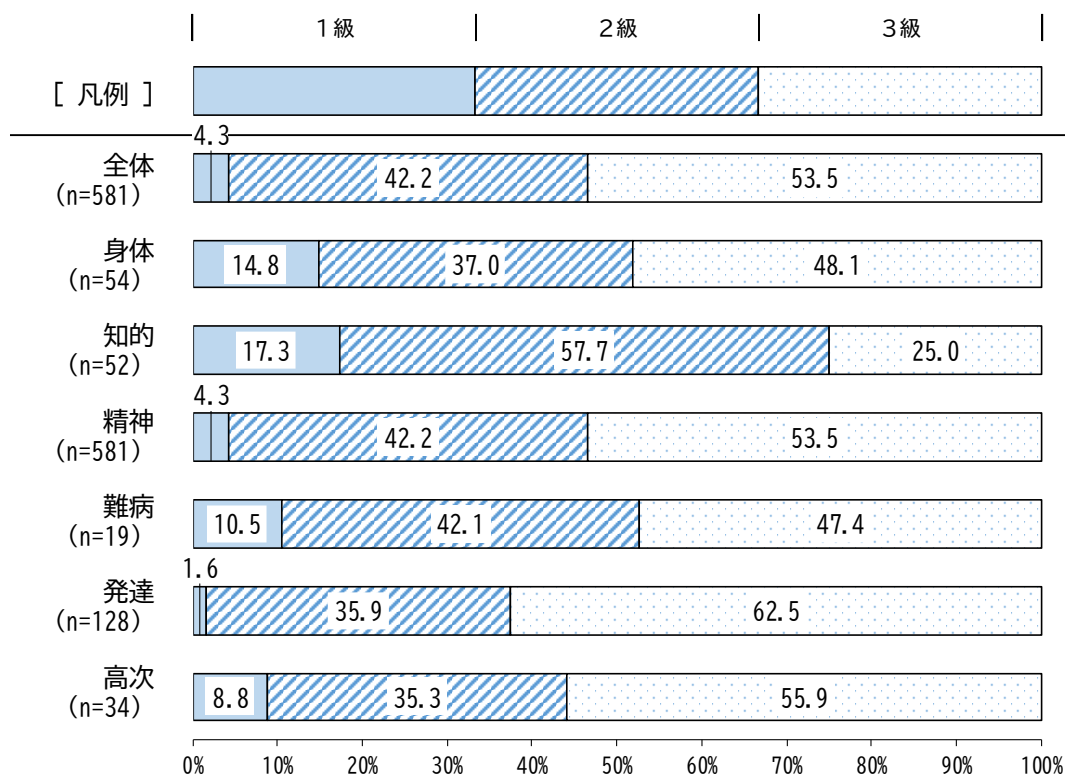


4) 精神障害者保健福祉手帳の等級

- 精神障害者保健福祉手帳の等級について、18 歳以上の方全体では、「3 級」が 53.5%で最も多く、次いで「2 級」が 42.2%、「1 級」が 4.3%となっています。

【18 歳以上 問 2-1】 精神障害者保健福祉手帳の等級（単一回答）

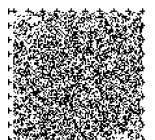
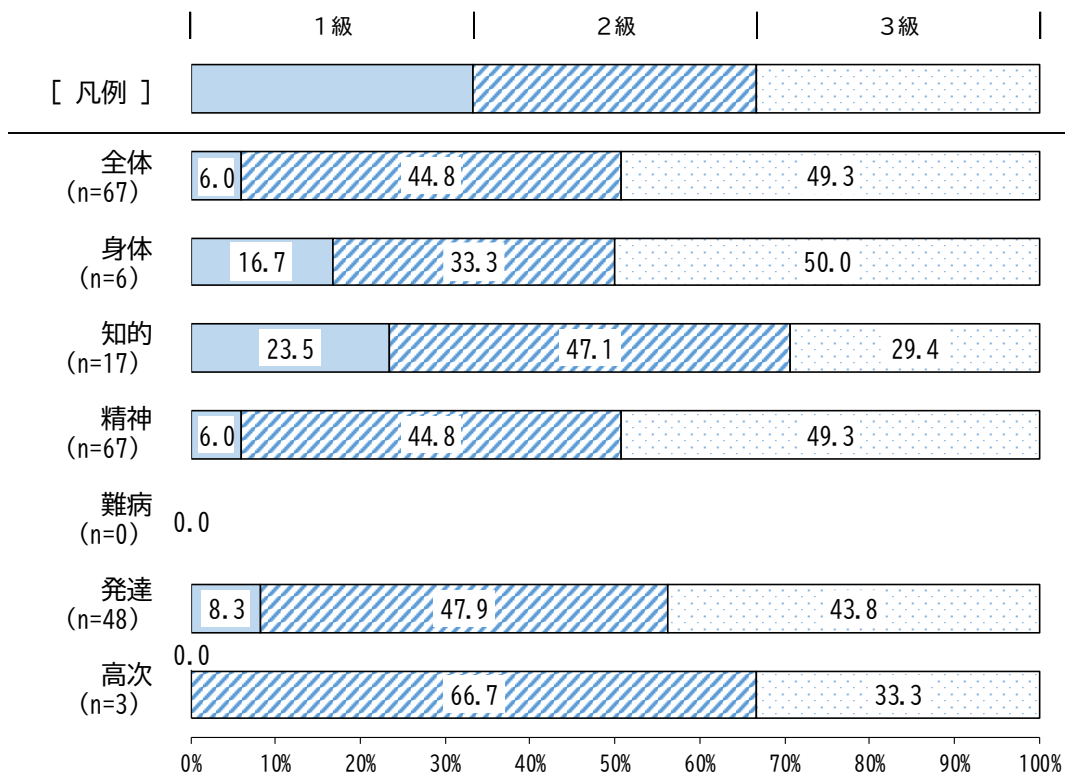
【精神障害者保健福祉手帳の等級（18 歳以上）】



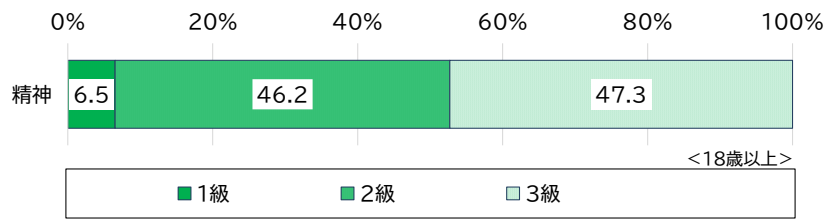
○ 18歳未満の方全体では、「3級」が49.3%で最も多く、次いで「2級」が44.8%、「1級」が6.0%となっています。

【18歳未満 問2-1】 精神障害者保健福祉手帳の等級（単一回答）

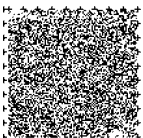
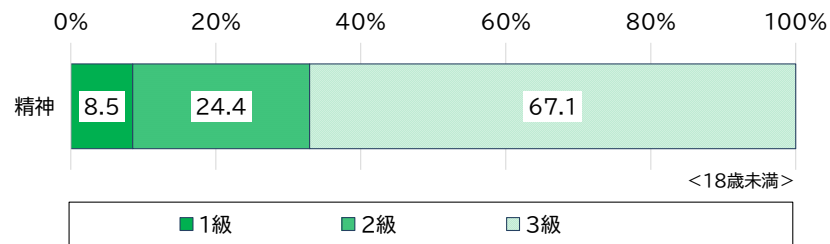
【精神障害者保健福祉手帳の等級（18歳未満）】



参考：前回調査結果 精神障害者保健福祉手帳の等級（18 歳以上）



参考：前回調査結果 精神障害者保健福祉手帳の等級（18 歳未満）

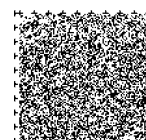
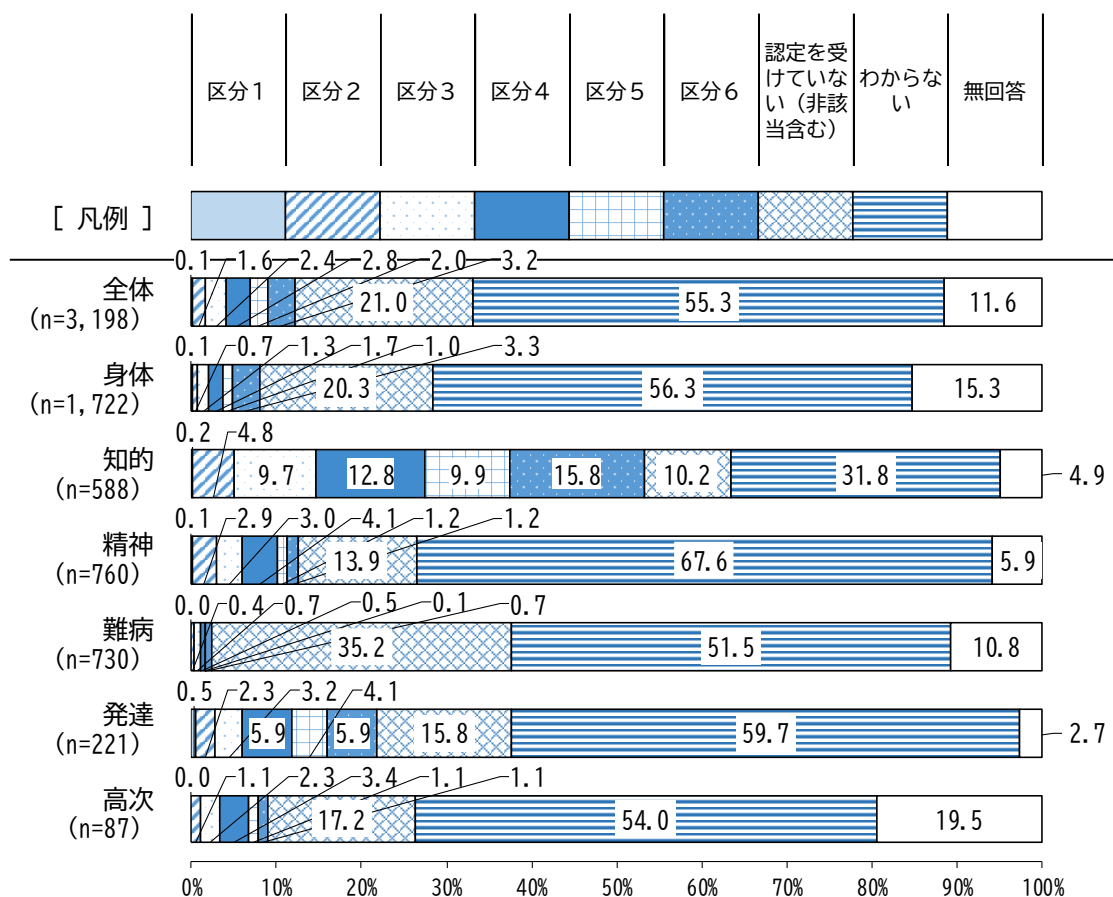


5) 障害支援区分 (18歳以上)

- 障害支援区分について、18 歳以上の方全体では、「わからない」が 55.3%で最も多く、次いで「認定を受けていない (非該当の方を含む)」が 21.0%、「区分 6」が 3.2%となっています。

【18 歳以上 問 2-2】 あなたの障害者総合支援法に基づく障害支援区分はどれですか。
(単一回答)

【障害支援区分 (18 歳以上)】

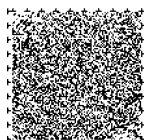
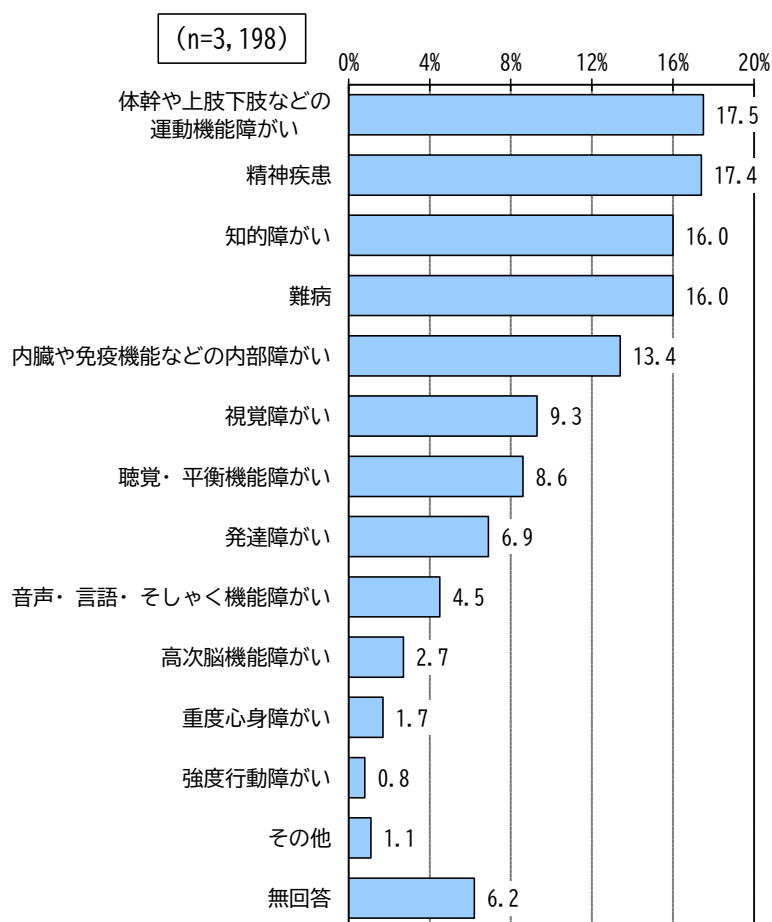


6) 障がいの診断・認定など

- 障がいの診断・認定などについて、18 歳以上の方全体では、「体幹や上肢下肢などの運動機能障がい」が 17.5%で最も多く、次いで「精神疾患」が 17.4%、「知的障がい」「難病」が 16.0%となっています。

【18 歳以上 問 2-3】 あなたは、次のうちどれに診断・認定などされていますか。（複数回答）

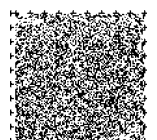
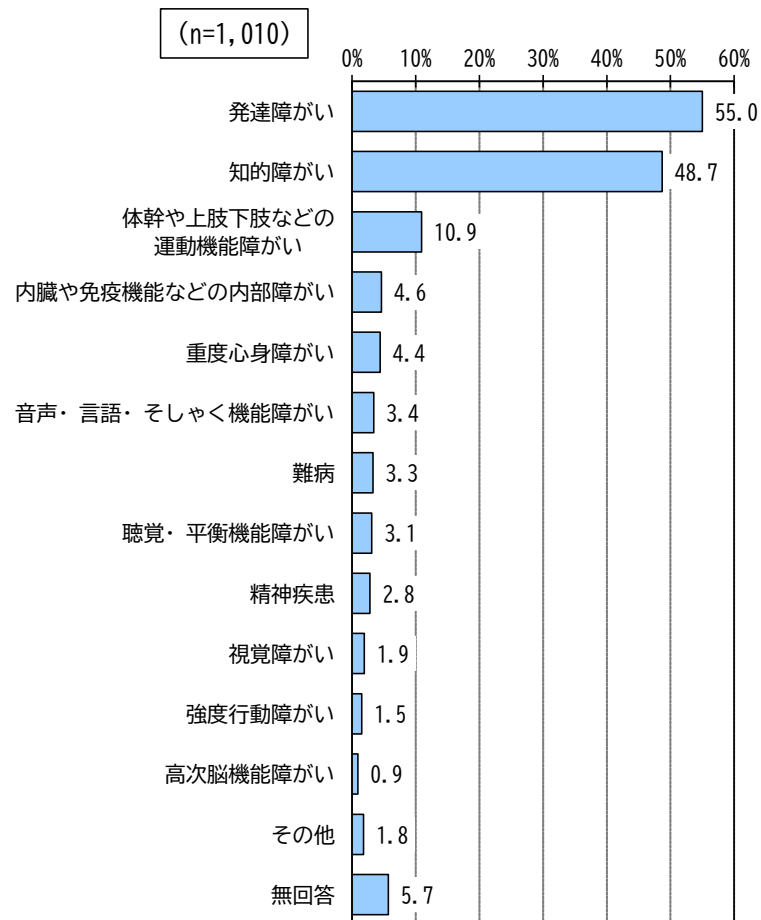
【障がいの診断・認定など（18 歳以上）】



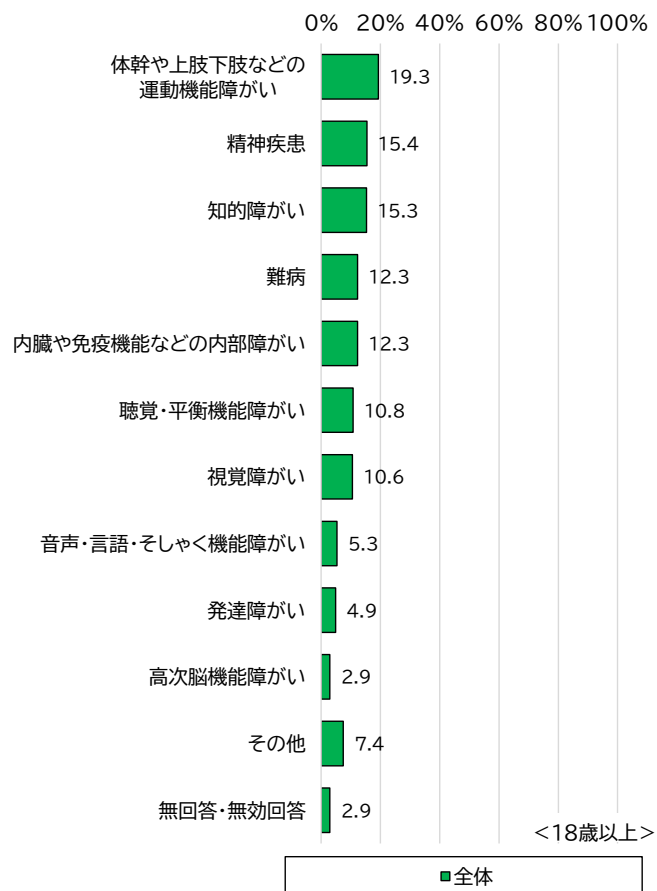
- 18 歳未満の方全体では、「発達障がい」が 55.0%で最も多く、次いで「知的障がい」が 48.7%、「体幹や上肢下肢などの運動機能障がい」が 10.9%となっています。

【18 歳未満 問 2-2】 あなたは、次のうちどれに診断・認定などされていますか。（複数回答）

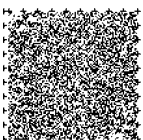
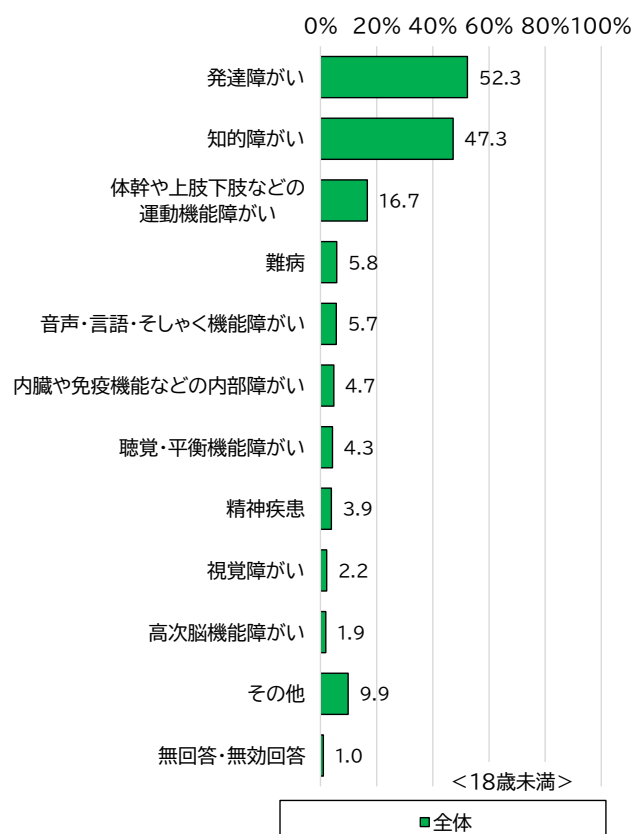
【障がいの診断・認定など（18 歳未満）】



参考：前回調査結果 障害者手帳や受給者証を持つようになったきっかけ（18 歳以上）



参考：前回調査結果 障害者手帳や受給者証を持つようになったきっかけ（18 歳未満）

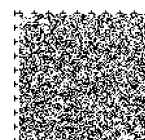
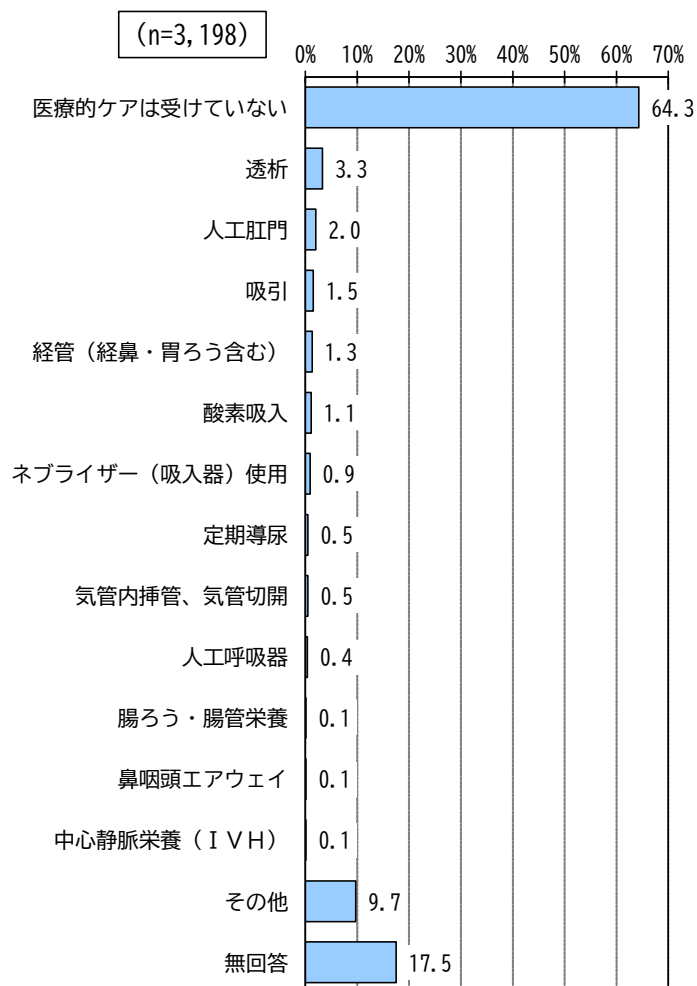


7) 医療的ケアの有無

- 医療的ケアの有無について、18 歳以上の方全体では、「医療的ケアは受けていない」が 64.3%で最も多く、次いで「透析」が 3.3%、「人工肛門」が 2.0%となっています。
- なお、「その他」では、「服薬管理」、「インスリン注射」などがあります。

【18 歳以上 問3】 あなたは、どのような「医療的ケア」を受けていますか。（複数回答）

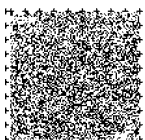
【医療的ケアの有無（18 歳以上）】



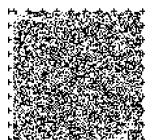
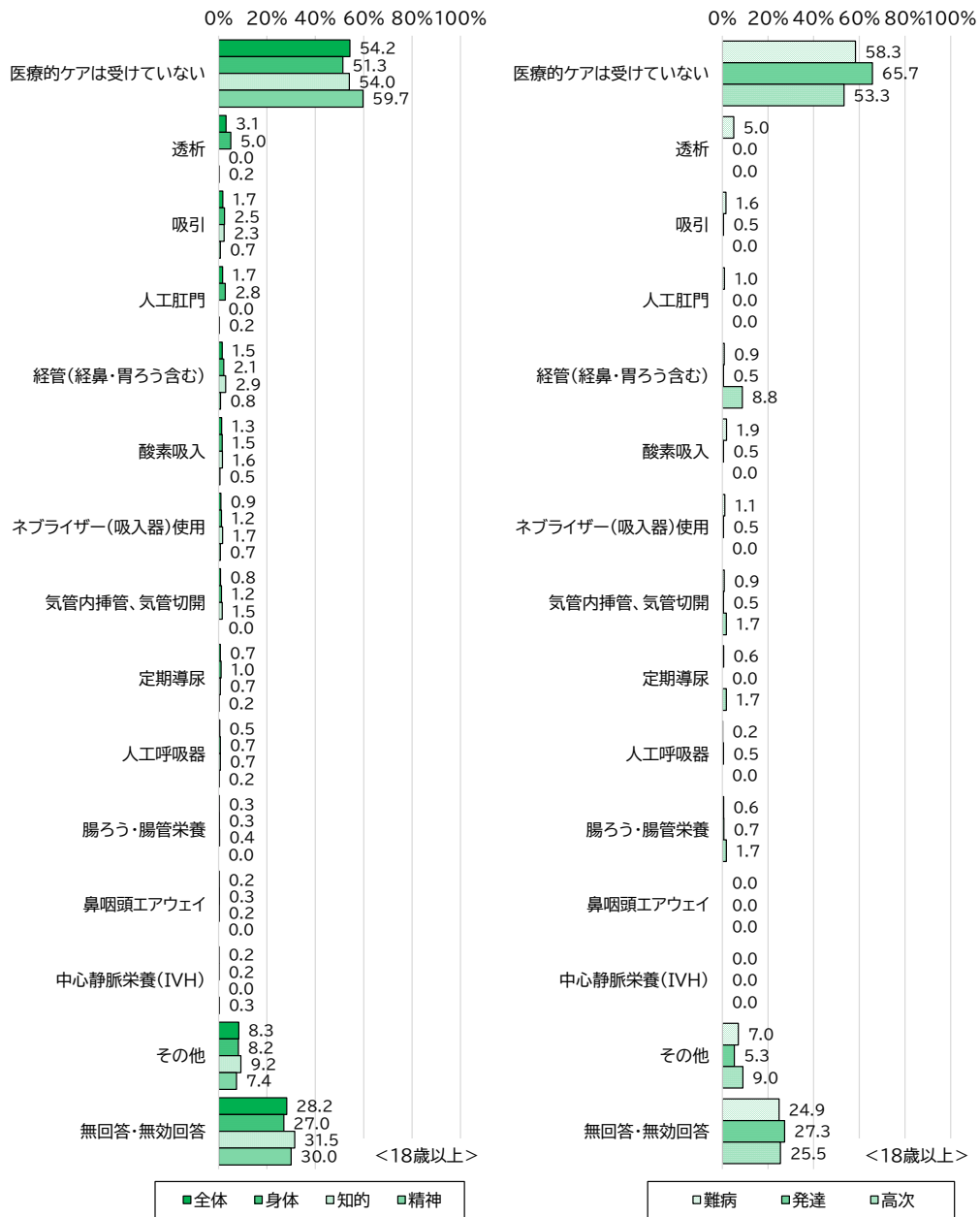
- 18 歳未満の方全体では、「医療的ケアは受けていない」が 75.1%で最も多く、次いで「吸引」「経管（経鼻・胃ろう含む）」が 2.4%、「ネブライザー（吸入器）使用」「人工呼吸器」が 1.4%となっています。
- なお、「その他」では、「服薬管理」、「排便管理（浣腸・洗腸・摘便）」などがあります。

【18 歳未満 問 3】 あなたは、どのような「医療的ケア」を受けていますか。（複数回答）

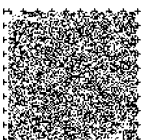
【医療的ケアの有無（18 歳未満）】



参考：前回調査結果 医療的ケアの有無（18歳以上）



参考：前回調査結果 医療的ケアの有無（18歳未満）

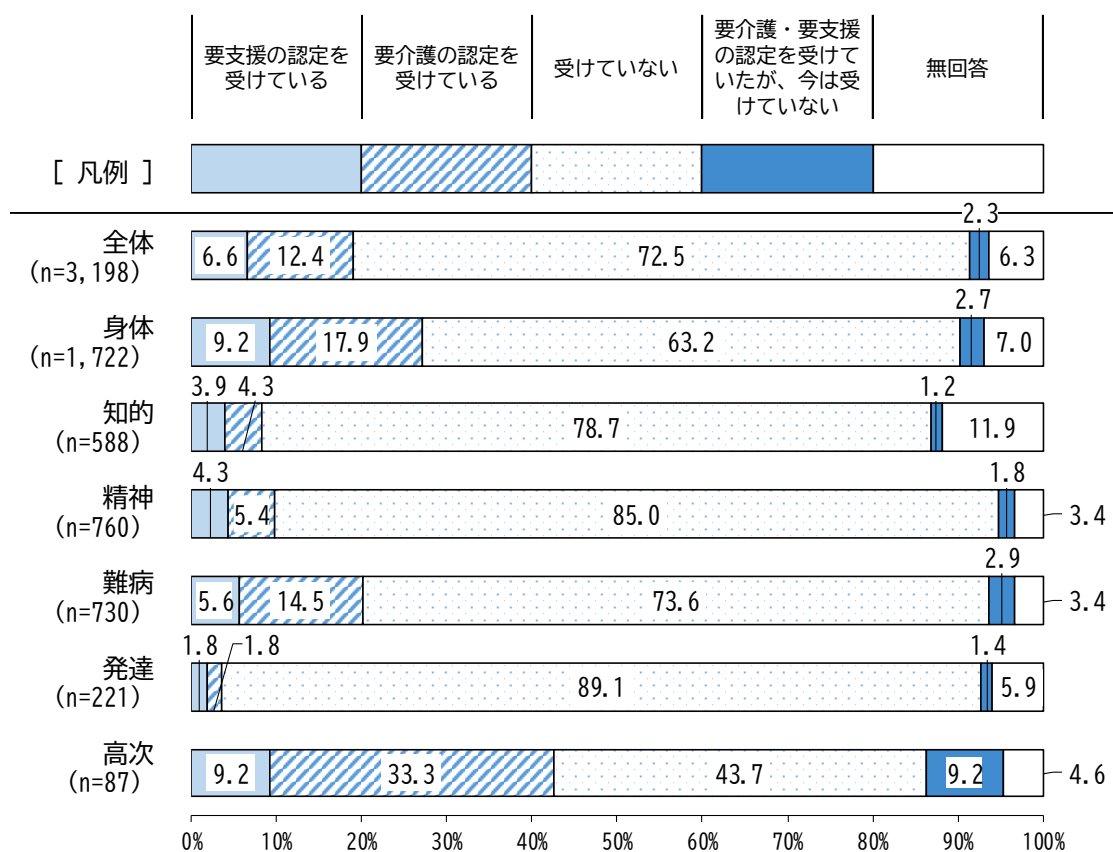


8) 要支援・要介護認定の有無（18歳以上）

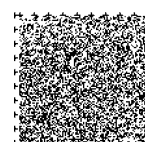
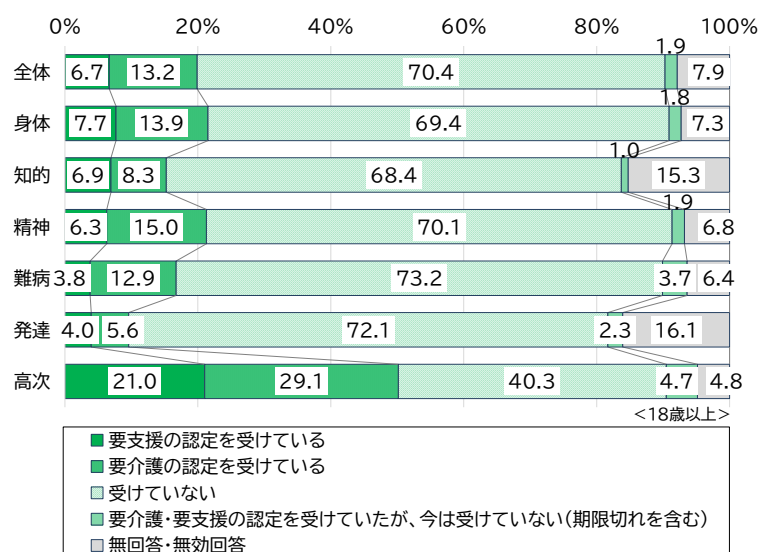
- 要支援・要介護認定の有無について、18歳以上の方全体では、「受けていない」が72.5%で最も多く、次いで「要介護の認定を受けている」が12.4%、「要支援の認定を受けている」が6.6%となっています。

【18歳以上 問4】 あなたは、介護保険制度で要支援または要介護の認定を受けていますか。
(単一回答)

【要支援・要介護認定の有無（18歳以上）】



参考：前回調査結果 要支援・要介護認定の有無（18歳以上）

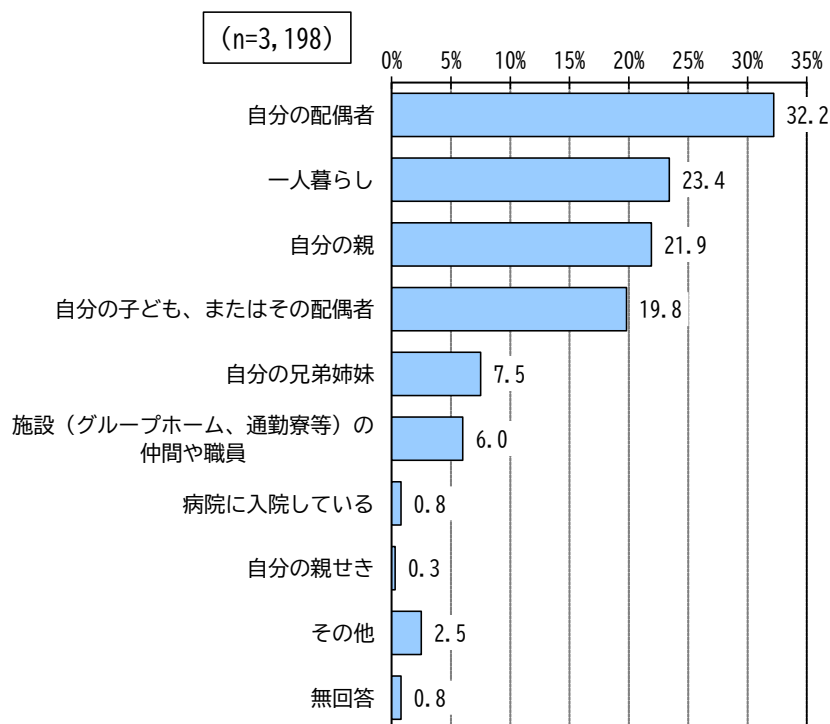


(4) 一緒に暮らしている人

- 一緒に暮らしている人について、18 歳以上の方全体では、「自分の配偶者」が 32.2%で最も多く、次いで「一人暮らし」が 23.4%、「自分の親」が 21.9%となっています。

【18 歳以上 問5】 あなたは、どなたと暮らしていますか。(複数回答)

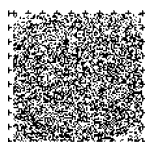
【一緒に暮らしている人 (18 歳以上)】



【一緒に暮らしている人 (18 歳以上) (障がい種別)】

単位：%

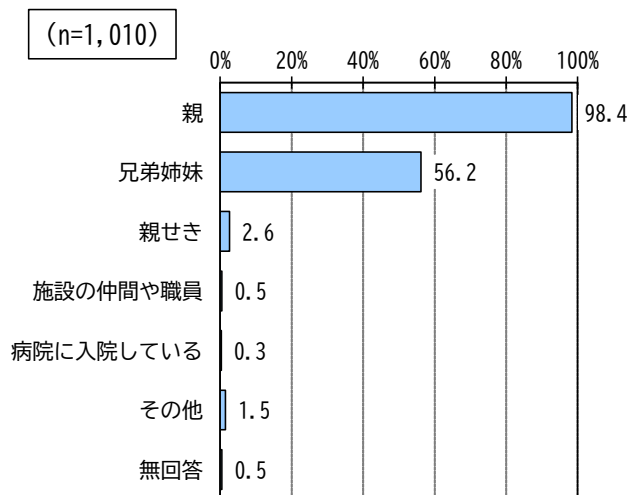
回答者数(人)		一人暮らし	自分の親	自分の兄弟姉妹	自分の配偶者	自分の子ども、またはその配偶者	自分の親せき	施設（グループホーム、通所寮等）の仲間や職員	病院に入院している	その他	無回答
全体(n=3, 198)		23.4	21.9	7.5	32.2	19.8	0.3	6.0	0.8	2.5	0.8
障がい種別	身体(n=1, 722)	25.3	10.6	4.2	38.4	24.9	0.2	4.5	0.7	2.7	1.0
	知的(n=588)	5.6	67.2	20.4	2.0	0.9	0.9	18.7	0.9	1.7	1.4
	精神(n=760)	27.0	32.4	10.3	23.3	11.7	0.1	7.0	1.1	2.9	0.3
	難病(n=730)	22.6	11.2	4.2	47.0	25.2	0.5	3.0	1.1	1.9	0.1
	発達(n=221)	22.2	56.6	16.3	11.3	4.1	0.9	7.2	-	3.2	-
	高次(n=87)	10.3	29.9	11.5	40.2	19.5	-	8.0	1.1	2.3	-



- 18 歳未満の方全体では、「親」が 98.4%で最も多く、次いで「兄弟姉妹」が 56.2%、「親せき」が 2.6%となっています。

【18 歳未満 問4】 あなたは、どなたと暮らしていますか。（複数回答）

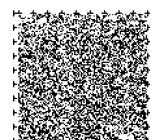
【一緒に暮らしている人（18 歳未満）】



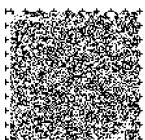
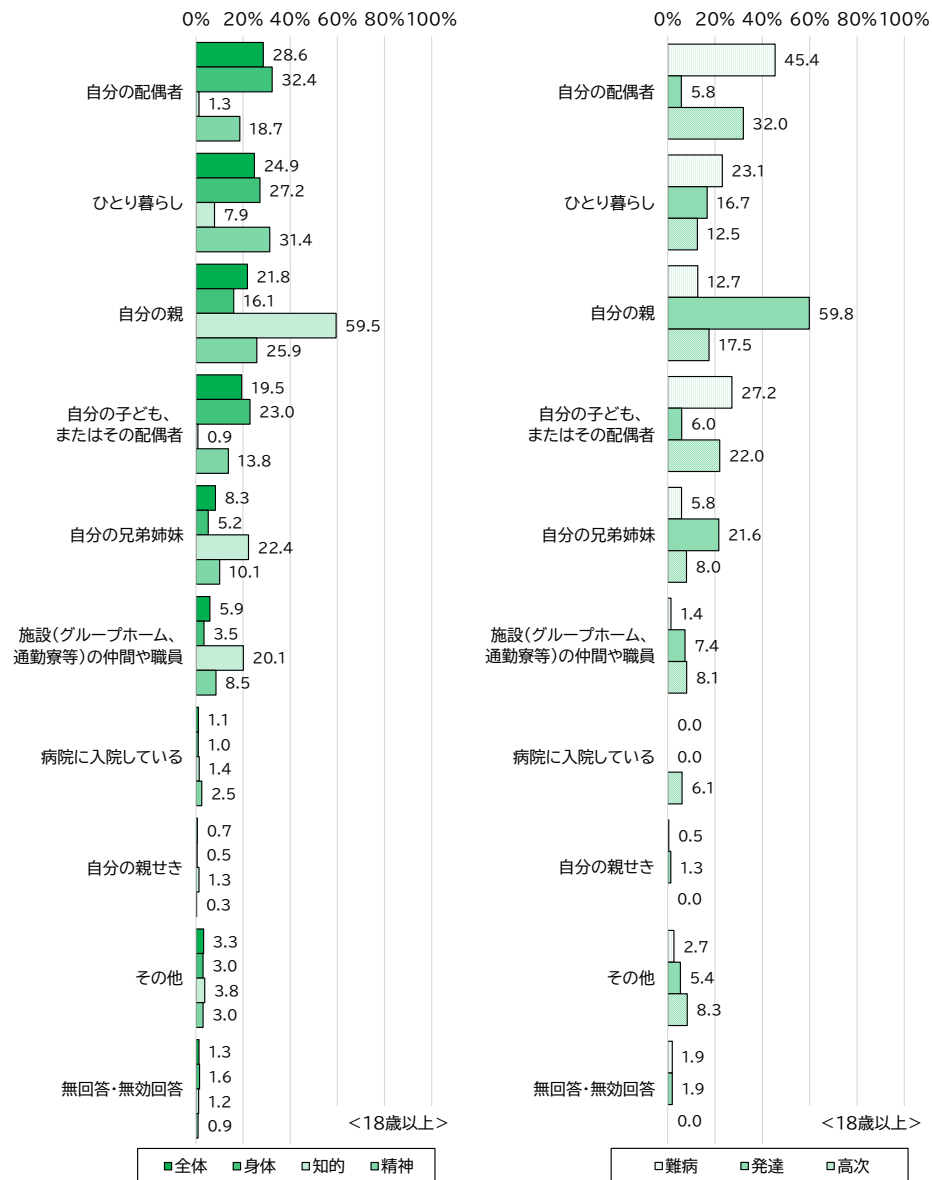
【一緒に暮らしている人（18 歳未満）（障がい種別）】

単位：%

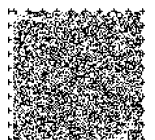
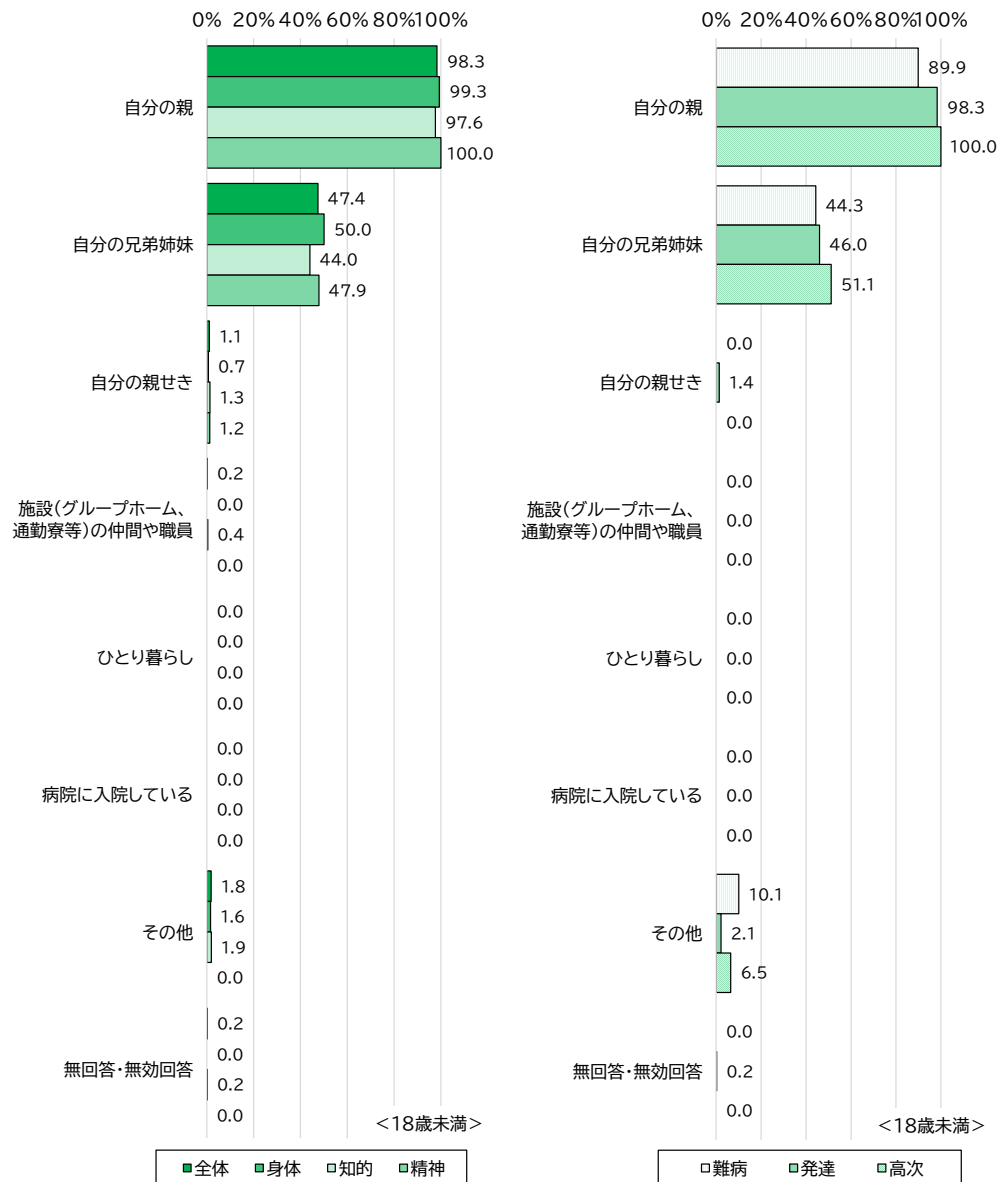
回答者数（人）		親	兄弟姉妹	親せき	施設の仲間や職員	病院に入院している	その他	無回答
全体(n=1,010)		98.4	56.2	2.6	0.5	0.3	1.5	0.5
障がい種別	身体(n=182)	97.8	59.9	1.6	—	1.6	1.6	0.5
	知的(n=550)	97.8	56.7	3.3	0.9	0.2	1.3	0.7
	精神(n=68)	97.1	57.4	1.5	1.5	—	1.5	—
	難病(n=3)	100.0	66.7	—	—	—	—	—
	発達(n=555)	98.7	54.4	3.2	0.5	—	1.3	0.2
	高次(n=9)	100.0	77.8	—	—	—	—	—



参考：前回調査結果 一緒に暮らしている人（18歳以上）



参考：前回調査結果 一緒に暮らしている人（18歳未満）

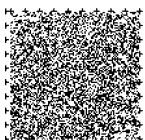
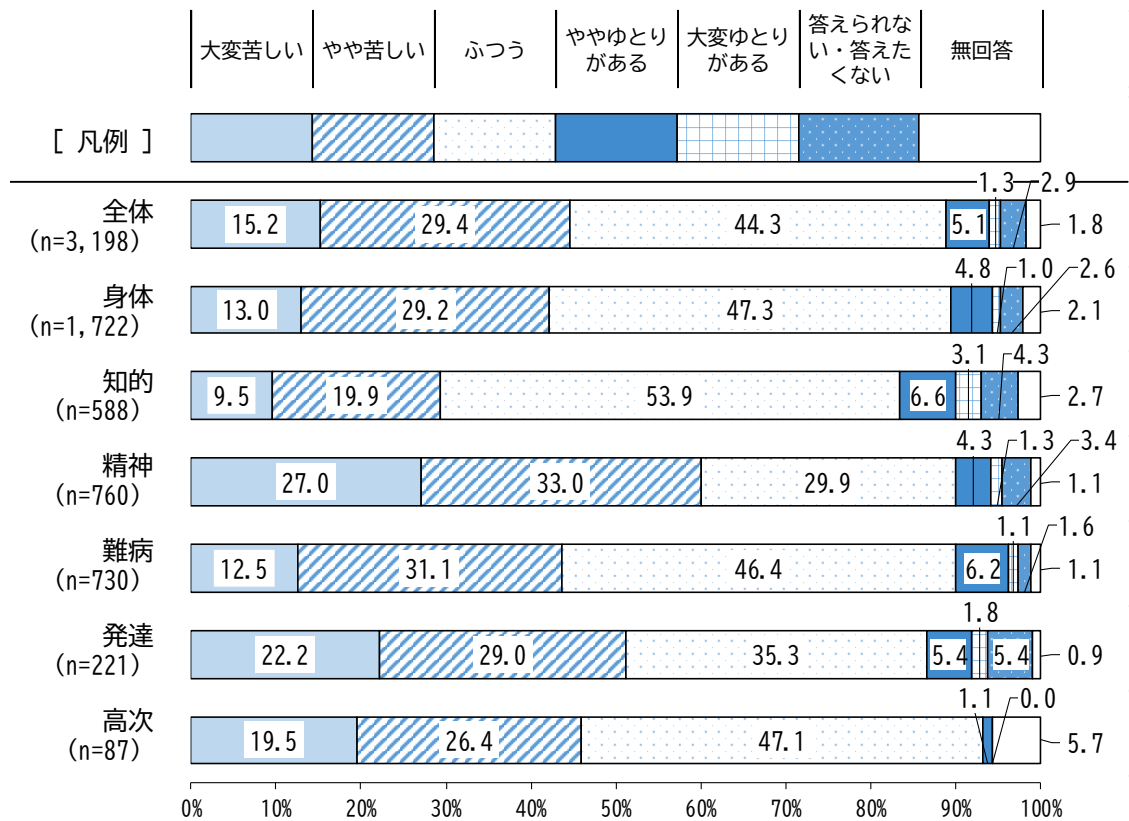


(5) 経済的な状況

- 経済的な状況について、18 歳以上の方全体では、「ふつう」が 44.3%で最も多く、次いで「やや苦しい」が 29.4%、「大変苦しい」が 15.2%となっています。

【18 歳以上 問6】 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(単一回答)

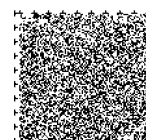
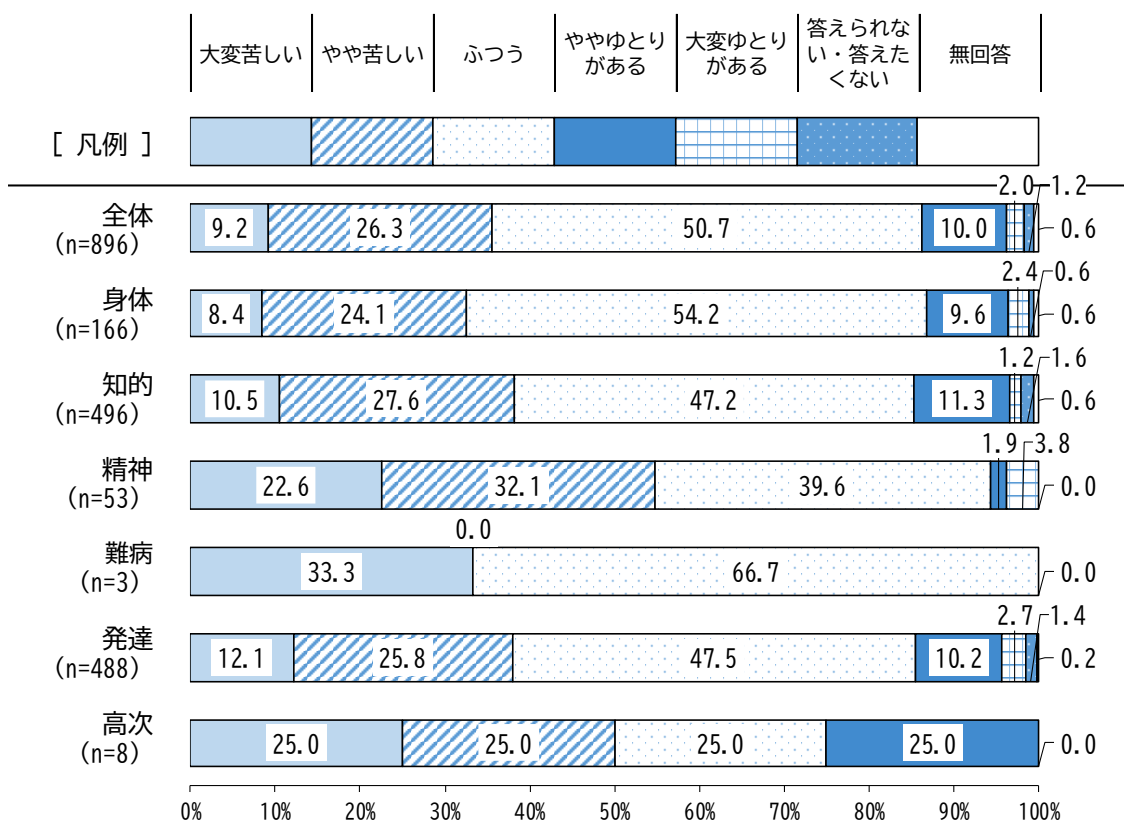
【経済的な状況（18 歳以上）】



○ 18 歳未満の方全体では、「ふつう」が 50.7%で最も多く、次いで「やや苦しい」が 26.3%、「ややゆとりがある」が 10.0%となっています。

【18 歳未満 問 51】 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（単一回答）

【経済的な状況（18 歳未満）】



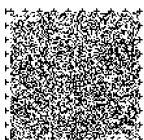
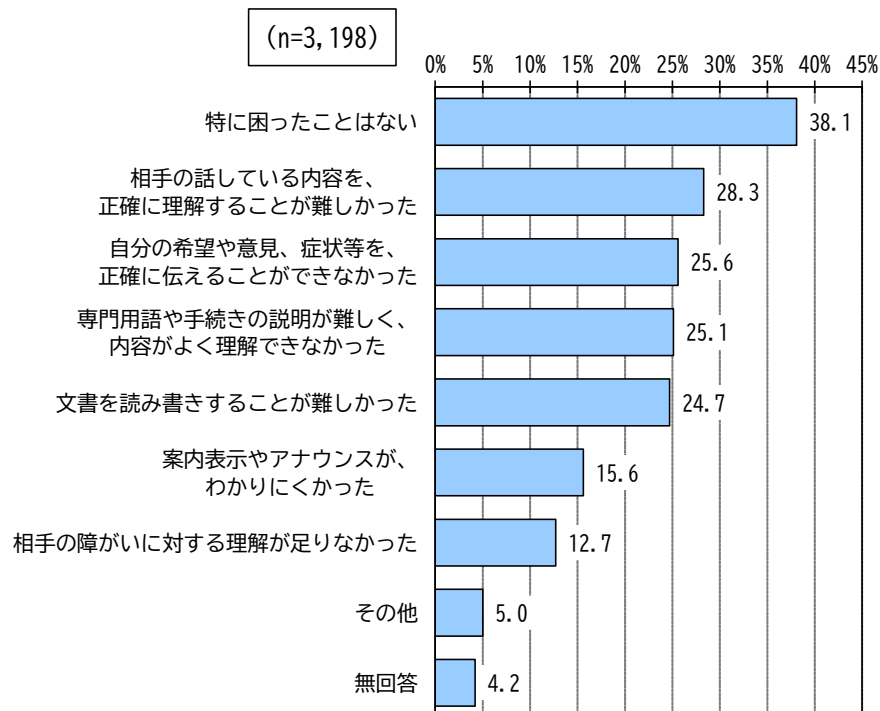
(6) コミュニケーションや意思の伝達等

1) コミュニケーションや意思の伝達で困った場面

- 困った場面について、18 歳以上の方全体では、「特に困ったことはない」が 38.1%で最も多く、次いで「相手の話している内容を、正確に理解することが難しかった」が 28.3%、「自分の希望や意見、症状等を、正確に伝えることができなかった」が 25.6%となっています。

【18 歳以上 問7】 この一年間でコミュニケーションや意思の伝達等においてどのような場面で困りましたか。(複数回答)

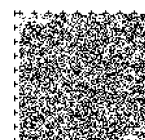
【コミュニケーションや意思の伝達で困った場面 (18 歳以上)】



【コミュニケーションや意思の伝達で困った場面（18歳以上）（障がい種別・詳細）】

単位：％

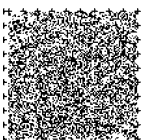
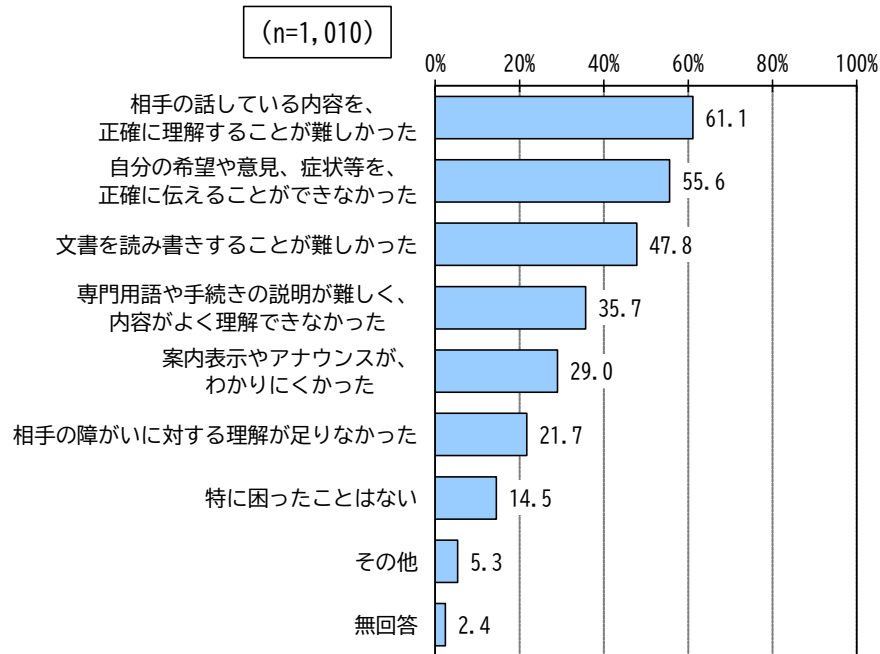
回答者数(人)		相手の話している内容を、 正確に理解することが 難しかった	文書を読み書きする ことが難しかった	専門用語や手続きの 説明が難しく、内容が よく理解できなかった	案内表示やアナウンスが、 わかりにくかった	自分の希望や意見、 症状等を、正確に伝える ことができなかった	相手の障がいに対する 理解が足りなかった	その他	特に困ったことはない	無回答
全体(n=3, 198)		28.3	24.7	25.1	15.6	25.6	12.7	5.0	38.1	4.2
障 が い 種 別	身体(n=1, 722)	24.1	24.0	19.2	17.1	18.2	8.2	5.6	39.8	5.1
	知的(n=588)	57.0	47.6	51.4	29.3	54.6	25.5	4.3	15.1	5.1
	精神(n=760)	36.6	25.3	33.8	13.3	42.0	22.2	6.8	24.1	1.8
	難病(n=730)	11.1	15.2	15.6	7.7	11.9	5.8	3.6	59.9	3.4
	発達(n=221)	63.8	36.7	49.8	24.4	61.1	39.4	4.1	11.8	1.4
	高次(n=87)	44.8	39.1	48.3	20.7	48.3	21.8	3.4	18.4	2.3
身 体 障 が い 詳 細	視覚(n=298)	16.1	58.7	18.1	26.5	12.8	9.4	7.7	17.1	4.4
	聴覚(n=276)	64.5	17.0	23.2	36.2	17.8	12.3	7.2	15.9	2.9
	音声(n=144)	34.0	31.3	29.2	18.8	56.9	15.3	11.8	13.9	4.2
	体幹(n=560)	21.8	24.5	23.4	14.5	24.5	10.4	5.9	47.1	3.6
	内部(n=429)	11.7	10.3	15.9	8.2	8.9	6.8	1.9	65.3	3.3



- 18 歳未満の方全体では、「相手の話している内容を、正確に理解することが難しかった」が 61.1%で最も多く、次いで「自分の希望や意見、症状等を、正確に伝えることができなかった」が 55.6%、「文書を読み書きすることが難しかった」が 47.8%となっています。

【18 歳未満 問5】 この一年間でコミュニケーションや意思の伝達等においてどのような場面で困りましたか。（複数回答）

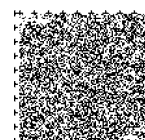
【コミュニケーションや意思の伝達で困った場面（18 歳未満）】



【コミュニケーションや意思の伝達で困った場面（18歳未満）（障がい種別・詳細）】

単位：％

回答者数（人）		相手の話している内容を、 正確に理解することが 難しかった	文書を読み書きする ことが難しかった	専門用語や手続きの 説明が難しく、内容が よく理解できなかった	案内表示やアナウンスが、 わかりにくかった	自分の希望や意見、 症状等を、正確に伝える ことができなかった	相手の障がいに対する 理解が足りなかった	その他	特に困ったことはない	無回答
全体(n=1,010)		61.1	47.8	35.7	29.0	55.6	21.7	5.3	14.5	2.4
障 が い 種 別	身体(n=182)	50.5	41.8	33.0	29.1	44.0	19.8	8.8	22.5	4.9
	知的(n=550)	74.9	62.9	51.5	43.1	70.5	30.0	4.9	5.1	1.6
	精神(n=68)	55.9	41.2	35.3	29.4	54.4	23.5	7.4	10.3	2.9
	難病(n=3)	-	33.3	-	-	33.3	33.3	-	33.3	33.3
	発達(n=555)	65.6	48.6	37.1	29.0	60.7	23.2	4.1	12.1	1.1
	高次(n=9)	66.7	55.6	44.4	44.4	55.6	-	22.2	11.1	-
身 体 障 が い 詳 細	視覚(n=19)	36.8	47.4	10.5	15.8	31.6	15.8	-	15.8	5.3
	聴覚(n=31)	74.2	45.2	32.3	29.0	35.5	19.4	9.7	12.9	-
	音声(n=34)	64.7	52.9	52.9	44.1	70.6	32.4	11.8	11.8	-
	体幹(n=110)	55.5	46.4	43.6	36.4	57.3	25.5	7.3	18.2	4.5
	内部(n=46)	43.5	23.9	26.1	23.9	30.4	15.2	8.7	43.5	2.2

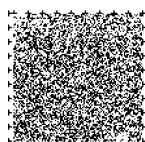
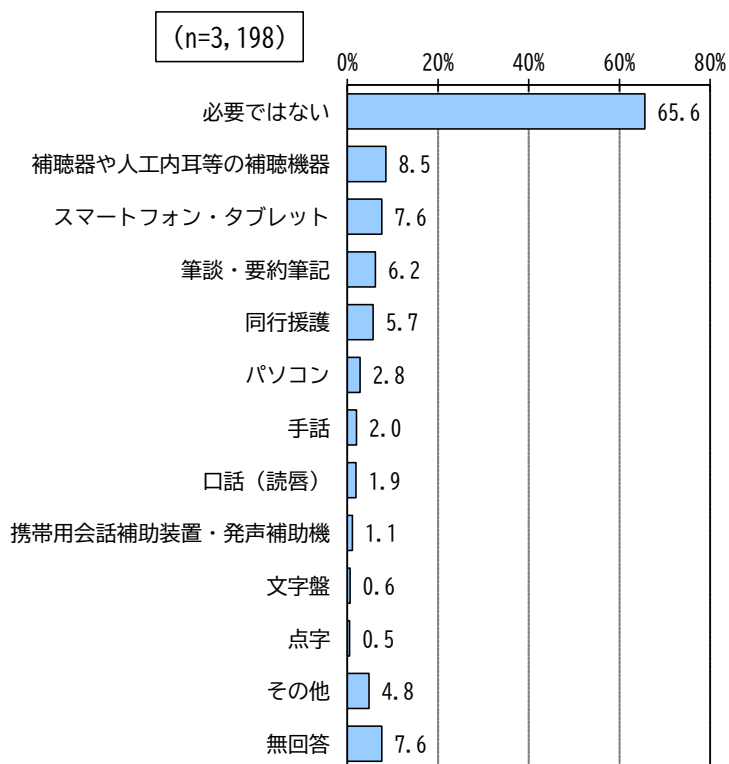


2) 意思の伝達方法

- 意思の伝達方法について、18 歳以上の方全体では、「必要ではない」が 65.6%で最も多く、次いで「補聴器や人工内耳等の補聴機器」が 8.5%、「スマートフォン・タブレット」が 7.6%となっています。

【18 歳以上 問 8】 意思の伝達を図る際に、特別な手段や道具や用具等を使っていますか。
(複数回答)

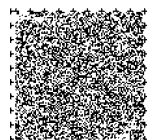
【意思の伝達方法（18 歳以上）】



【意志の伝達方法（18歳以上）（障がい種別・詳細）】

単位：％

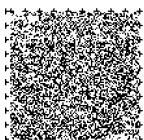
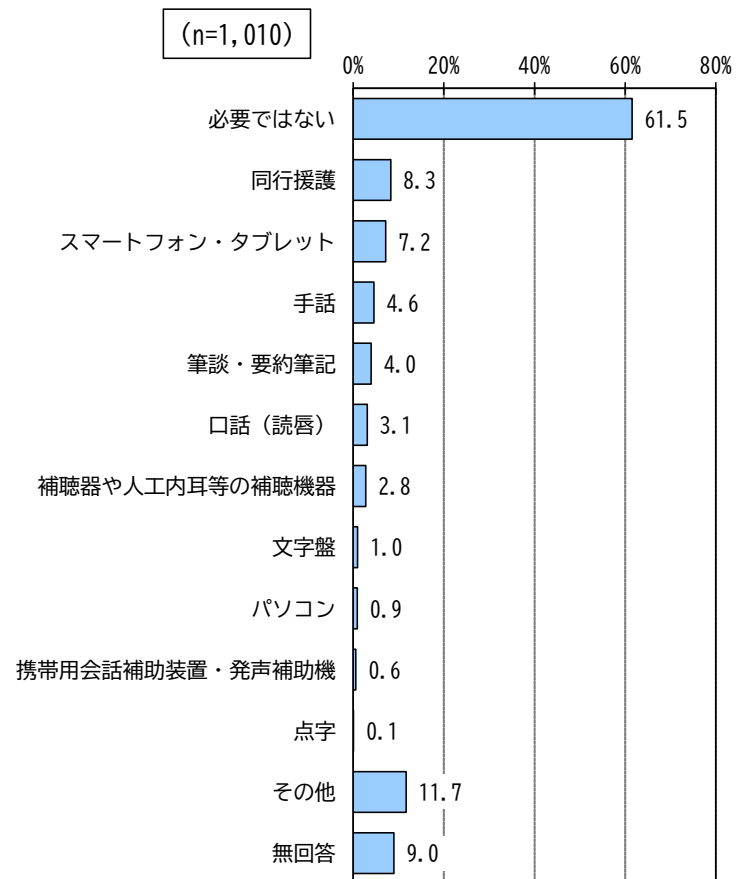
回答者数(人)		必要ではない	口話 (読唇)	手話	補聴器や人工内耳等の補聴機器	筆談・要約筆記	文字盤	点字	パソコン	スマートフォン・タブレット	携帯用会話補助装置・発声補助機	同行援護	その他	無回答
全体(n=3,198)		65.6	1.9	2.0	8.5	6.2	0.6	0.5	2.8	7.6	1.1	5.7	4.8	7.6
障がい種別	身体(n=1,722)	57.8	3.0	3.6	15.1	9.1	0.9	0.9	3.1	8.8	1.9	5.9	5.1	8.0
	知的(n=588)	59.0	1.2	1.2	1.0	4.1	0.9	-	2.0	7.5	-	10.4	9.0	12.6
	精神(n=760)	72.2	0.9	0.4	1.2	4.7	0.3	0.3	3.8	8.7	0.4	4.9	4.6	6.6
	難病(n=730)	81.0	1.0	0.4	3.8	1.4	0.5	0.3	1.6	4.0	0.3	3.3	2.3	5.3
	発達(n=221)	66.1	1.8	0.9	0.9	5.4	0.9	-	6.3	12.7	-	7.2	8.1	6.8
	高次(n=87)	62.1	2.3	-	2.3	12.6	-	-	1.1	8.0	-	10.3	8.0	6.9
身体障がい詳細	視覚(n=298)	51.0	1.7	-	7.7	2.0	-	5.0	4.4	11.1	0.3	20.5	9.1	7.4
	聴覚(n=276)	9.1	14.9	20.7	69.6	31.5	3.3	-	7.2	23.6	2.5	5.4	3.6	1.4
	音声(n=144)	22.2	3.5	4.9	4.2	39.6	4.2	-	6.9	18.8	14.6	8.3	11.8	5.6
	体幹(n=560)	70.9	1.1	0.7	3.8	2.3	0.7	-	2.7	5.4	0.2	4.3	5.5	10.4
	内部(n=429)	84.1	0.5	0.2	4.9	1.9	0.2	-	1.9	3.0	0.5	1.9	2.6	3.5



- 18 歳未満の方全体では、「必要ではない」が 61.5%で最も多く、次いで「同行援護」が 8.3%、「スマートフォン・タブレット」が 7.2%となっています。

【18 歳未満 問 6】 意志の伝達を図る際に、特別な手段や道具や用具等を使っていますか。
(複数回答)

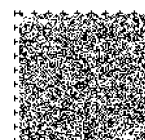
【意志の伝達方法（18 歳未満）】



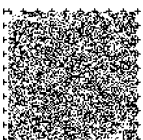
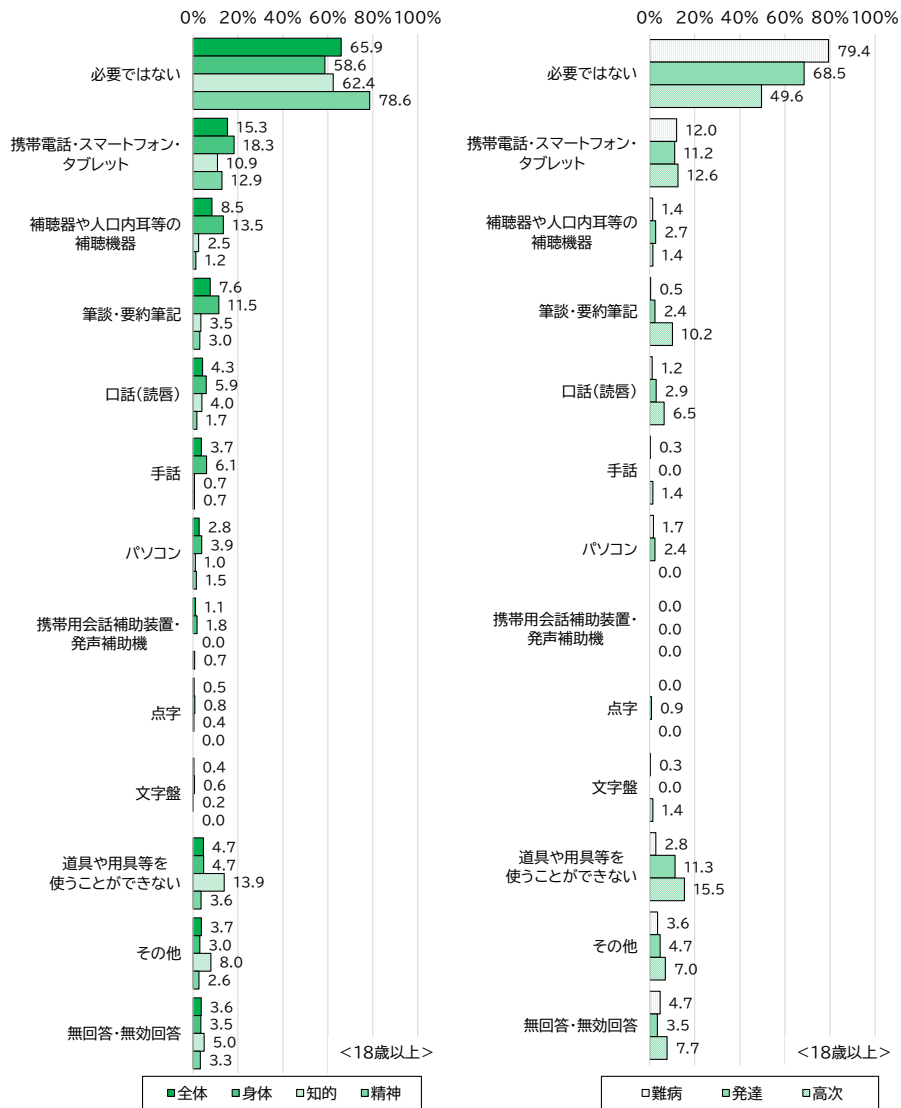
【意志の伝達方法（18歳未満）（障がい種別・詳細）】

単位：％

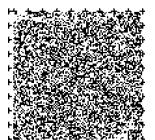
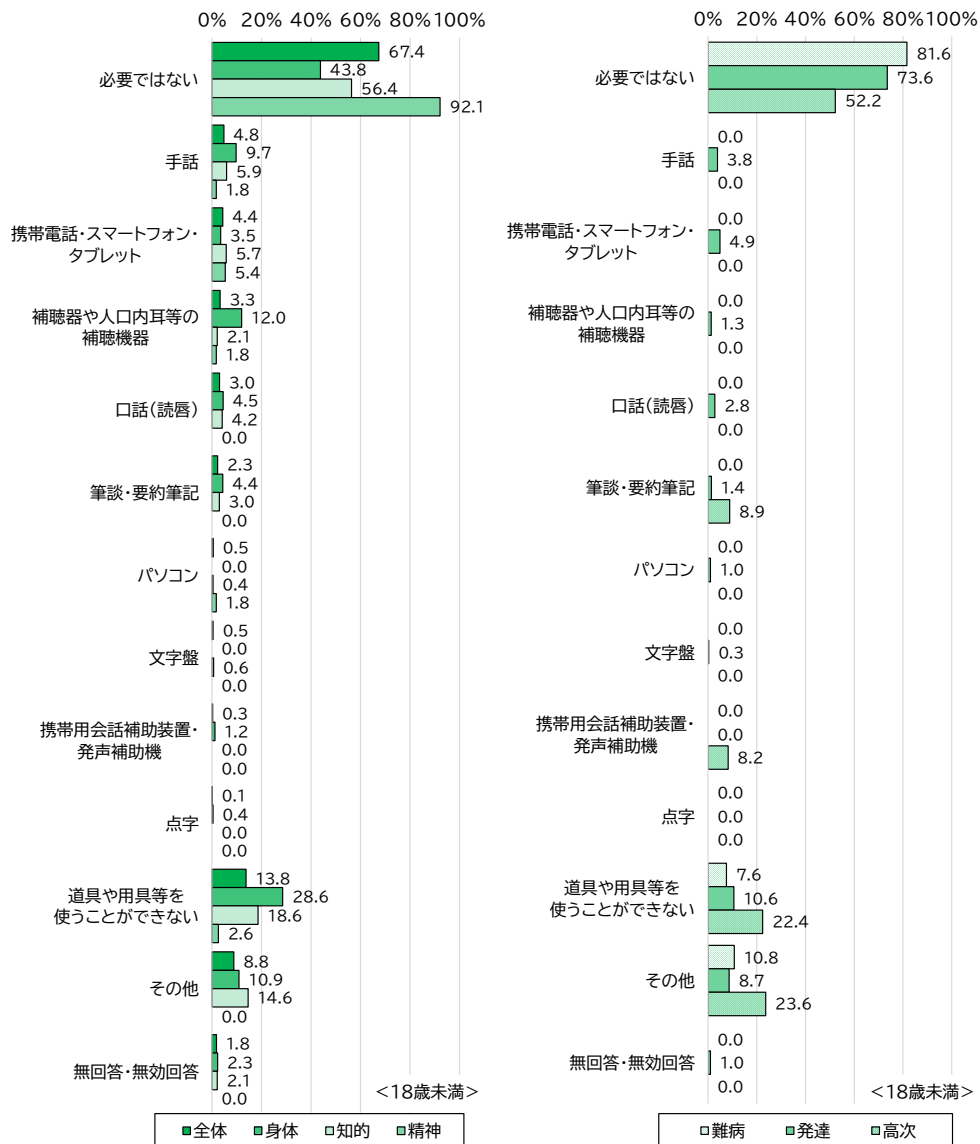
回答者数（人）		必要ではない	口話（読唇）	手話	補聴器や人工内耳等の補聴機器	筆談・要約筆記	文字盤	点字	パソコン	スマートフォン・タブレット	携帯用会話補助装置・発声補助機	同行援護	その他	無回答
全体(n=1,010)		61.5	3.1	4.6	2.8	4.0	1.0	0.1	0.9	7.2	0.6	8.3	11.7	9.0
障がい種別	身体(n=182)	45.6	6.6	7.7	12.6	4.4	0.5	0.5	2.2	8.8	1.1	9.3	18.7	12.1
	知的(n=550)	49.8	4.4	6.9	2.2	5.5	1.6	-	0.7	9.6	0.9	13.1	16.5	8.2
	精神(n=68)	61.8	2.9	1.5	-	5.9	-	-	1.5	11.8	-	10.3	7.4	7.4
	難病(n=3)	66.7	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3	-	33.3	33.3	-
	発達(n=555)	63.4	2.5	4.1	0.7	5.2	1.1	-	0.5	7.9	0.5	9.7	10.1	7.9
	高次(n=9)	11.1	-	11.1	-	11.1	-	-	-	11.1	-	11.1	33.3	33.3
身体障がい詳細	視覚(n=19)	36.8	10.5	5.3	10.5	-	-	5.3	5.3	10.5	-	15.8	31.6	5.3
	聴覚(n=31)	3.2	25.8	35.5	80.6	19.4	3.2	-	3.2	29.0	6.5	6.5	9.7	3.2
	音声(n=34)	38.2	11.8	14.7	-	11.8	5.9	-	-	8.8	2.9	14.7	17.6	8.8
	体幹(n=110)	46.4	4.5	2.7	3.6	0.9	-	-	1.8	4.5	0.9	10.0	23.6	14.5
	内部(n=46)	67.4	2.2	6.5	6.5	4.3	2.2	-	-	6.5	2.2	6.5	10.9	6.5



参考：前回調査結果 意志の伝達方法（18歳以上）



参考：前回調査結果 意志の伝達方法（18歳未満）



3. 障害福祉サービス等

(1) サービスの利用状況及び今後の利用意向

1) 現在の利用状況及び今後の利用意向

- 現在利用しているサービスについて、18 歳以上の方全体では、「相談支援、サービス等利用計画の作成」が 14.8%、「外出・移動のサポート」が 9.4%、「働くための支援」が 9.2%となっています。
- 今後利用したいサービスについては、「相談支援、サービス等利用計画の作成」が 21.3%、「外出・移動のサポート」が 18.4%、「自宅での生活支援（ホームヘルプ）等」が 15.8%となっています。
- 現在利用していないが今後利用したいサービスについては、「外出・移動のサポート」が 11.9%、「相談支援、サービス等利用計画の作成」が 11.7%、「住む場所の提供と支援」が 11.5%となっています。

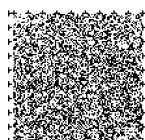
【18 歳以上 問 9】以下の障害福祉サービス等において、あなたが、「(1) 現在利用している」サービスと、「(2) 今後利用する予定（今後も利用する予定）」のサービスを教えてください。（それぞれ複数回答）

【サービスの利用状況及び今後の利用意向（18 歳以上）】

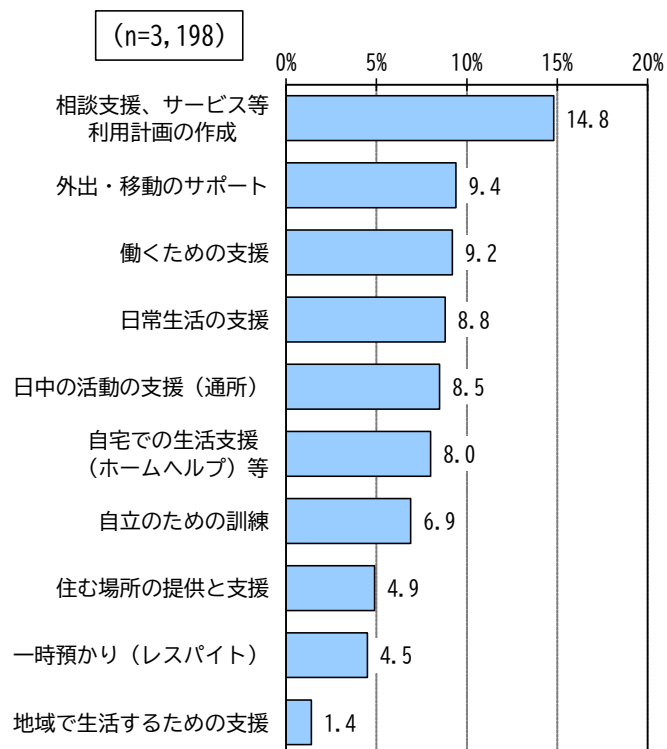
単位：％

サービスの種類	現在利用しているサービス	今後（も）利用したいサービス	現在利用していないが今後利用したいサービス
自宅での生活支援（ホームヘルプ）等	8.0	15.8	11.0
外出・移動のサポート	9.4	18.4	11.9
一時預かり（レスパイト）	4.5	14.2	11.1
日常生活の支援	8.8	15.7	10.0
相談支援、サービス等利用計画の作成	14.8	21.3	11.7
日中の活動の支援（通所）	8.5	14.7	9.4
自立のための訓練	6.9	12.7	8.8
働くための支援	9.2	12.8	7.0
住む場所の提供と支援	4.9	14.5	11.5
地域で生活するための支援	1.4	9.3	8.9

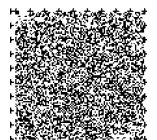
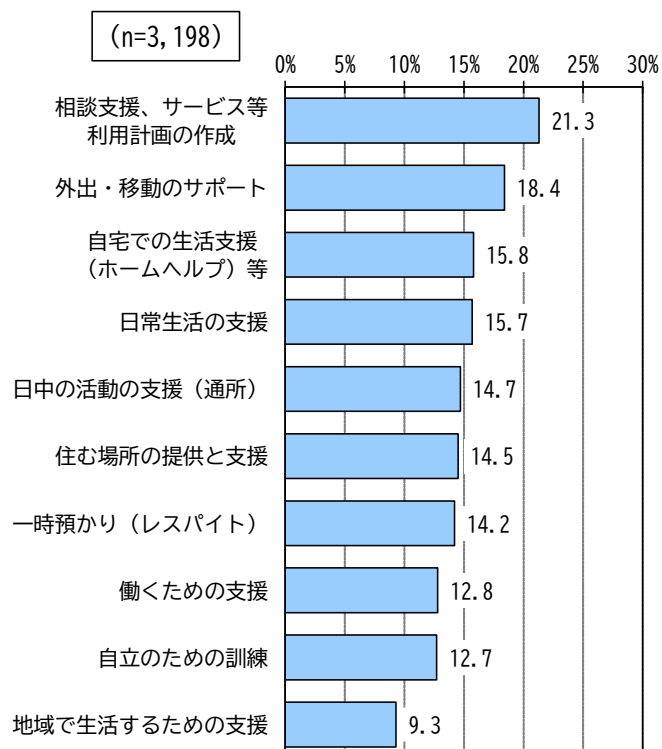
※「サービスの種類」の個別サービス名については、377、378 ページ参照。



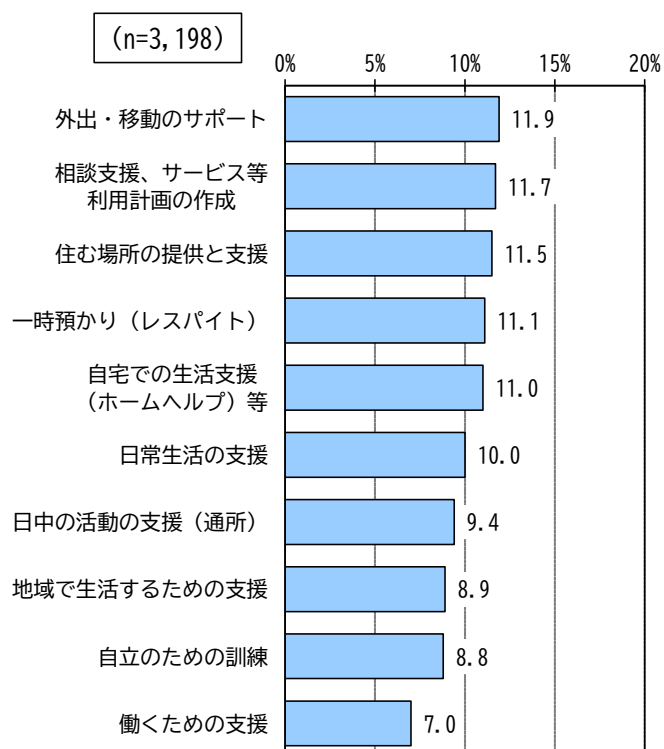
【現在利用しているサービス（18歳以上）】



【今後（も）利用したいサービス（18歳以上）】



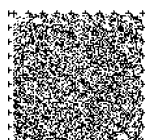
【現在利用していないが今後利用したいサービス（18歳以上）】



【今後利用したいサービス（18歳以上）（障がい種別）】

単位：%

回答者数(人)		自宅での生活支援 (ホームヘルプ)等	外出・移動のサポート	一時預かり (レスパイト)	日常生活の支援	相談支援、サービス等 利用計画の作成	日中の活動の支援(通所)	自立のための訓練	働くための支援	住む場所の提供と支援	地域で生活するための支援	無回答
全体(n=3,198)		15.8	18.4	14.2	15.7	21.3	14.7	12.7	12.8	14.5	9.3	61.5
障がい種別	身体(n=1,722)	20.1	21.0	15.9	21.3	19.6	16.7	13.7	7.3	13.0	8.9	61.0
	知的(n=588)	16.2	34.4	28.7	15.5	44.0	24.3	19.2	28.9	37.2	15.8	35.0
	精神(n=760)	10.1	11.6	8.2	7.6	21.2	8.9	9.1	19.6	11.3	8.8	63.7
	難病(n=730)	16.4	14.9	11.5	16.2	16.6	13.7	12.6	8.5	10.3	7.3	72.3
	発達(n=221)	12.7	21.3	17.2	12.7	36.7	13.1	14.5	30.8	21.7	15.8	48.4
	高次(n=87)	18.4	21.8	21.8	18.4	28.7	18.4	23.0	20.7	9.2	11.5	46.0
	強行(n=25)	20.0	56.0	40.0	20.0	48.0	48.0	24.0	16.0	52.0	16.0	32.0
	重心(n=53)	35.8	47.2	52.8	45.3	47.2	54.7	18.9	1.9	35.8	13.2	32.1



- 現在利用しているサービスについて、18 歳未満の方全体では、「こどもの発達支援、療育」が 77.8%、「相談支援、サービス等利用計画の作成」が 29.0%、「外出・移動のサポート」が 11.7%となっています。
- 今後利用したいサービスについては、「こどもの発達支援、療育」が 64.5%、「相談支援、サービス等利用計画の作成」が 33.2%、「外出・移動のサポート」が 24.3%となっています。
- 現在利用していないが今後利用したいサービスについては、「外出・移動のサポート」が 15.1%、「一時預かり（レスパイト）」が 13.8%、「相談支援、サービス等利用計画の作成」が 12.2%となっています。

【18 歳未満 問 7-1】 以下 A～F の障害福祉サービス等において、あなたが、「(1) 現在利用している」サービスと「(2) 今後利用する予定（今後も利用する予定）」のサービスを教えてください。

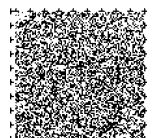
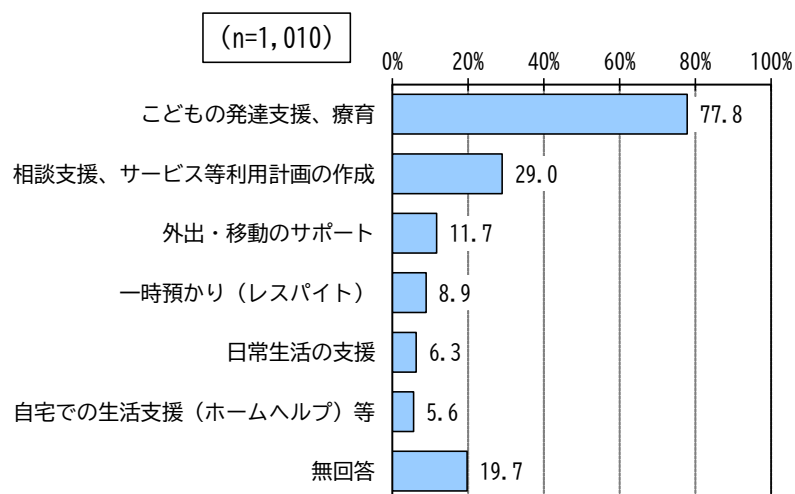
【サービスの利用状況及び今後の利用意向（18 歳未満）】

単位：%

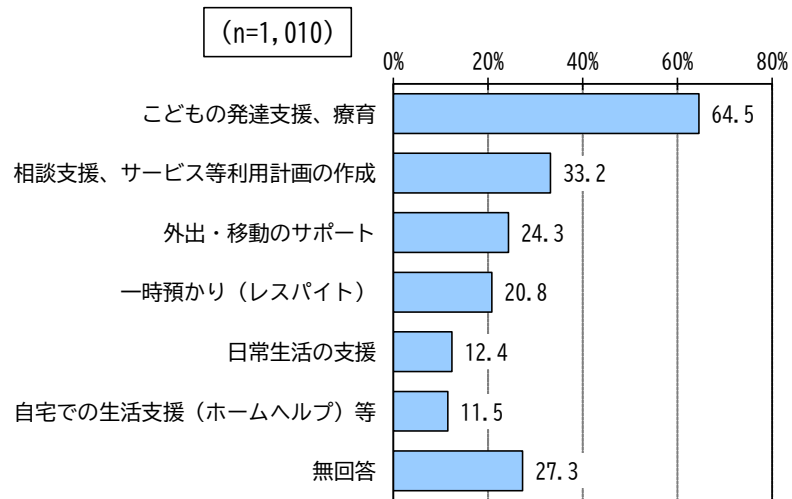
サービスの種類	現在利用しているサービス	今後（も）利用したいサービス	現在利用していないが今後利用したいサービス
こどもの発達支援、療育	77.8	64.5	5.8
自宅での生活支援（ホームヘルプ）等	5.6	11.5	7.0
外出・移動のサポート	11.7	24.3	15.1
一時預かり（レスパイト）	8.9	20.8	13.8
日常生活の支援	6.3	12.4	7.2
相談支援、サービス等利用計画の作成	29.0	33.2	12.2

※「サービスの種類」の個別サービス名については、387、388 ページ参照。

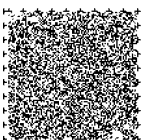
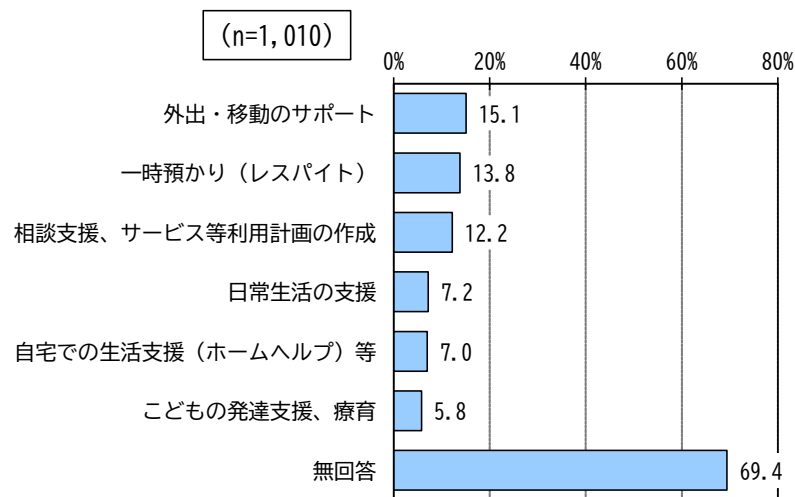
【現在利用しているサービス（18 歳未満）】



【今後（も）利用したいサービス（18 歳未満）】



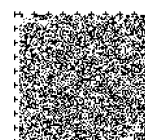
【現在利用していないが今後利用したいサービス（18 歳未満）】



【今後利用したいサービス（18歳未満）（障がい種別）】

単位：％

回答者数(人)		こどもの発達支援、療育	自宅での生活支援 (ホームヘルプ)等	外出・移動のサポート	一時預かり(レスパイト)	日常生活の支援	相談支援、サービス等 利用計画の作成	日中の活動の支援(通所)	自立のための訓練	働くための支援	住む場所の提供と支援	地域で生活するための支援	無回答
全体(n=1,010)		64.5	11.5	24.3	20.8	12.4	33.2	27.8	39.1	51.5	31.4	30.8	17.0
障がい種別	身体(n=182)	53.3	34.1	34.6	36.3	38.5	41.8	44.0	48.4	40.1	36.8	26.4	23.6
	知的(n=550)	68.7	14.7	34.9	30.5	14.4	43.8	42.7	54.4	70.2	50.9	44.7	9.1
	精神(n=68)	50.0	4.4	20.6	13.2	7.4	22.1	16.2	33.8	45.6	22.1	29.4	23.5
	難病(n=3)	-	-	66.7	-	66.7	-	-	33.3	33.3	-	-	33.3
	発達(n=555)	69.0	7.9	22.2	19.1	8.3	32.4	25.4	37.1	51.5	28.1	29.5	15.1
	高次(n=9)	66.7	33.3	33.3	55.6	33.3	55.6	55.6	77.8	33.3	44.4	33.3	11.1
	強行(n=15)	66.7	46.7	53.3	46.7	33.3	60.0	73.3	73.3	66.7	73.3	33.3	-
	重心(n=44)	79.5	63.6	54.5	68.2	68.2	72.7	81.8	61.4	34.1	68.2	29.5	2.3

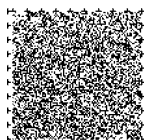
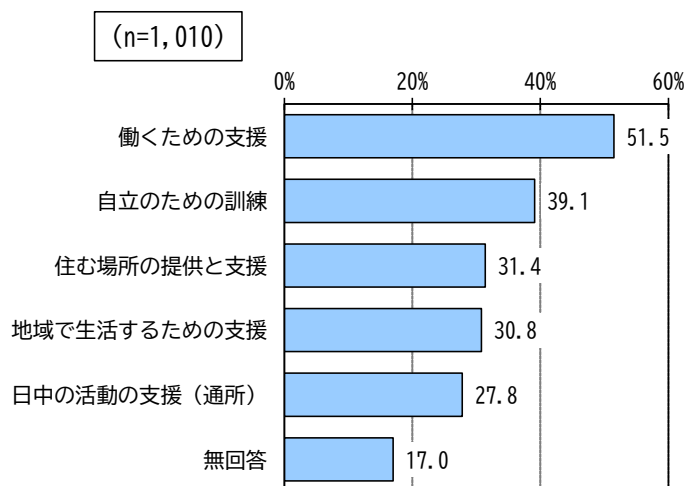


2) 18歳以降のサービス利用意向（18歳未満）

- 18 歳以降のサービス利用意向について、18 歳未満の方全体では、「働くための支援」が 51.5%で最も多く、次いで「自立のための支援」が 39.1%、「住む場所の提供と支援」が 31.4%となっています。

【18 歳未満 問 7-2】 以下 G～K の障害福祉サービス等について、将来（18 歳以降）の利用意向を教えてください。（複数回答）

【18 歳以降のサービス利用意向（18 歳未満）】

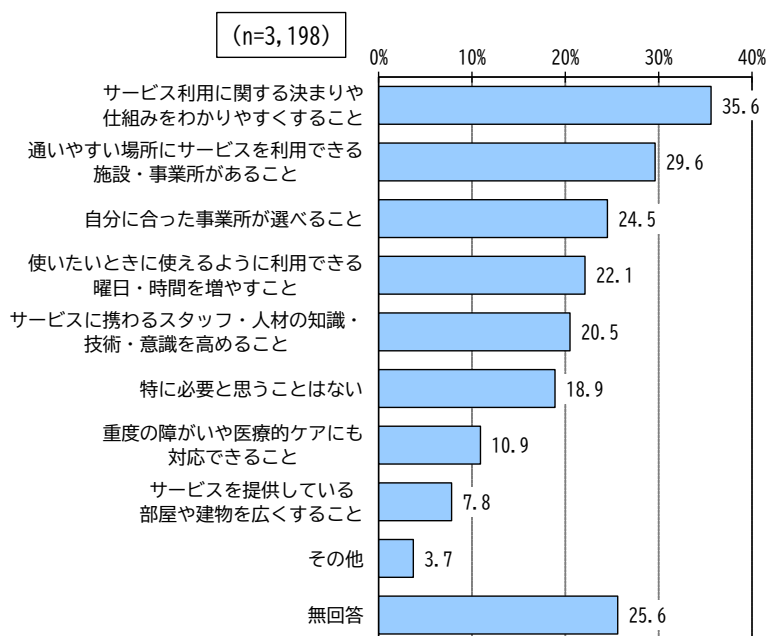


(2) サービスを利用しやすくするために必要だと思うこと

- サービスを利用しやすくするために必要だと思うことについて、18 歳以上の方全体では、「サービス利用に関する決まりや仕組みをわかりやすくすること」が 35.6%で最も多く、次いで「通いやすい場所にサービスを利用できる施設・事業所があること」が 29.6%、「自分に合った事業所が選べること」が 24.5%となっています。

【18 歳以上 問 10】 サービスを利用しやすくするために必要だと思うことは何ですか。（複数回答）

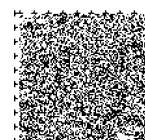
【サービスを利用しやすくするために必要だと思うこと（18 歳以上）】



【サービスを利用しやすくするために必要だと思うこと（18 歳以上）（障がい種別）】

単位：%

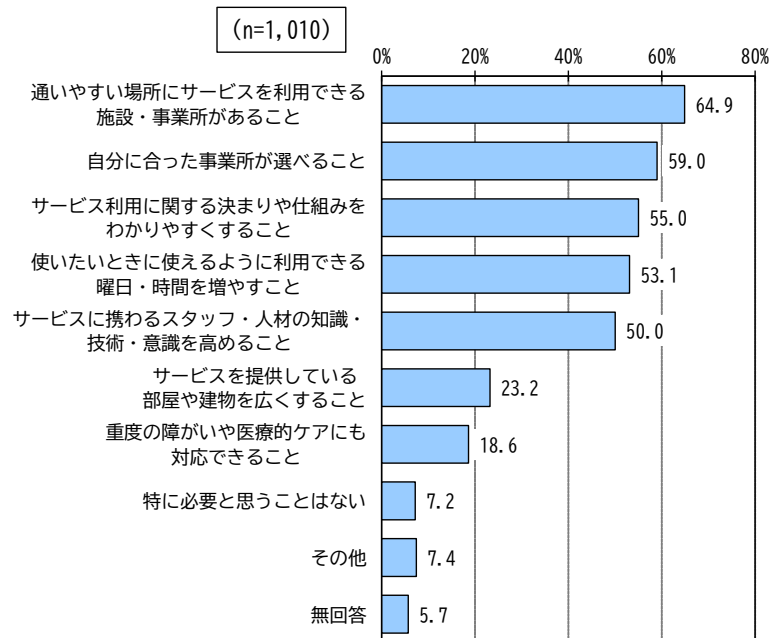
回答者数(人)		特に必要と思うことはない	サービス利用に関する決まりや仕組みをわかりやすくすること	自分に合った事業所が選べること	重度の障がいや医療的ケアにも対応できること	使いたいときに使えるように利用できる曜日・時間を増やすこと	サービスに携わるスタッフ・人材の知識・技術・意識を高めること	サービスを提供している部屋や建物を広げること	通いやすい場所にサービスを利用できる施設・事業所があること	その他	無回答
全体(n=3,198)		18.9	35.6	24.5	10.9	22.1	20.5	7.8	29.6	3.7	25.6
障がい種別	身体(n=1,722)	19.7	34.5	22.0	12.1	20.6	17.8	6.9	26.0	3.0	27.5
	知的(n=588)	15.0	44.6	38.3	20.9	35.5	36.2	14.5	46.1	4.4	13.8
	精神(n=760)	16.6	39.1	30.4	7.8	25.1	23.4	8.0	35.0	6.4	20.7
	難病(n=730)	19.7	34.7	19.7	11.2	19.3	17.5	7.4	26.2	2.3	30.0
	発達(n=221)	13.6	52.5	42.5	11.8	37.6	33.0	15.8	48.4	6.8	9.5
	高次(n=87)	13.8	35.6	32.2	11.5	23.0	23.0	9.2	39.1	4.6	23.0
	強行(n=25)	-	52.0	44.0	56.0	64.0	68.0	40.0	76.0	8.0	20.0
	重心(n=53)	5.7	50.9	45.3	60.4	47.2	50.9	24.5	58.5	13.2	13.2



○ 18 歳未満の方全体では、「通いやすい場所にサービスを利用できる施設・事業所があること」が 64.9%で最も多く、次いで「自分に合った事業所が選べること」が 59.0%、「サービス利用に関する決まりや仕組みをわかりやすくすること」が 55.0%となっています。

【18 歳未満 問 8】 サービスを利用しやすくするために必要だと思うことは何ですか。（複数回答）

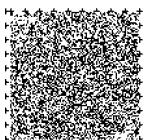
【サービスを利用しやすくするために必要だと思うこと（18 歳未満）】



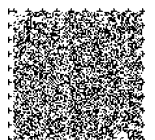
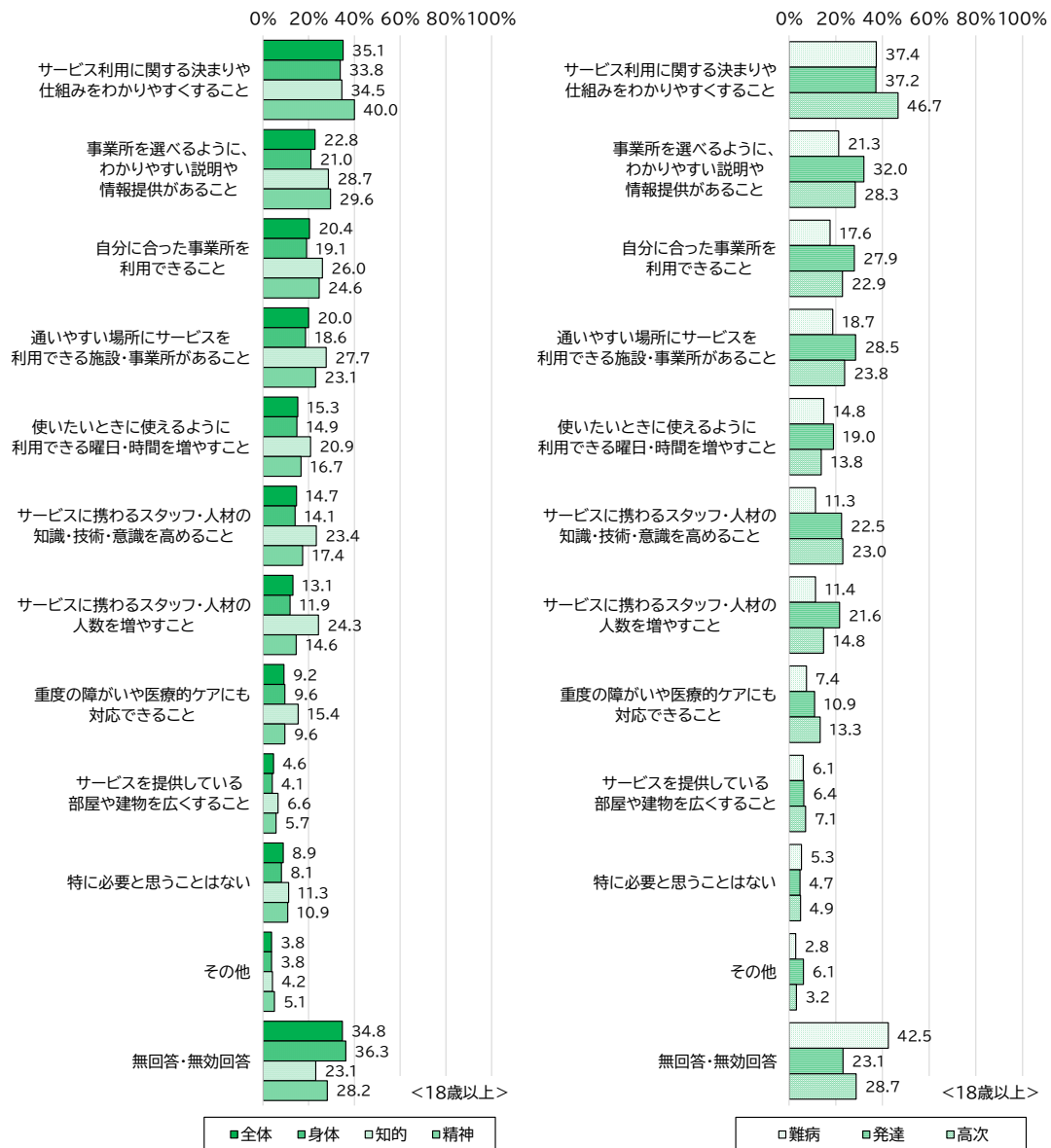
【サービスを利用しやすくするために必要だと思うこと（18 歳未満）（障がい種別）】

単位：%

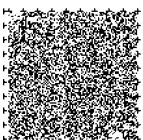
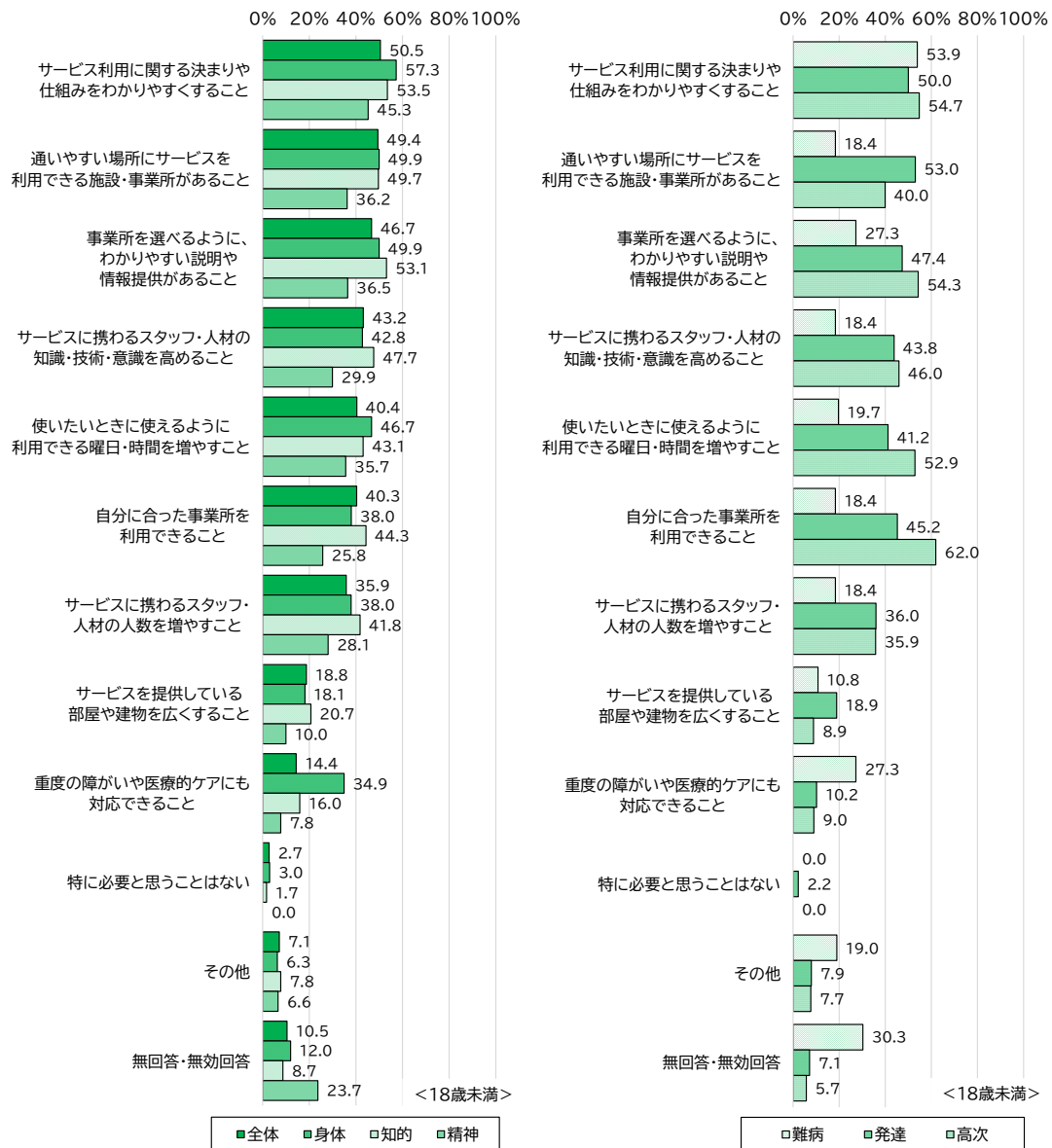
回答者数（人）		特に必要と思うことはない	サービス利用に関する決まりや仕組みをわかりやすくすること	自分に合った事業所が選べること	重度の障がいや医療的ケアにも対応できること	使いたいときに使えるように利用できる曜日・時間を増やすこと	サービスに携わるスタッフ・人材の知識・技術・意識を高めること	サービスを提供している部屋や建物を広げること	通いやすい場所にサービスを利用できる施設・事業所があること	その他	無回答
全体(n=1,010)		7.2	55.0	59.0	18.6	53.1	50.0	23.2	64.9	7.4	5.7
障がい種別	身体(n=182)	8.2	61.0	53.8	44.0	57.1	47.8	23.1	63.7	6.6	8.2
	知的(n=550)	5.8	60.0	67.8	25.5	60.7	60.4	30.0	72.4	7.8	3.3
	精神(n=68)	5.9	57.4	54.4	8.8	50.0	39.7	19.1	55.9	10.3	13.2
	難病(n=3)	-	66.7	33.3	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-
	発達(n=555)	6.5	54.1	62.5	15.0	55.5	50.5	22.7	65.0	8.3	4.5
	高次(n=9)	-	77.8	44.4	44.4	77.8	55.6	22.2	88.9	11.1	-
	強行(n=15)	6.7	73.3	66.7	60.0	66.7	66.7	40.0	80.0	6.7	-
重心(n=44)		2.3	61.4	61.4	84.1	77.3	63.6	34.1	84.1	9.1	4.5



参考：前回調査結果 サービスを利用しやすくするために必要だと思うこと（18歳以上）



参考：前回調査結果 サービスを利用しやすくするために必要だと思うこと（18歳未満）

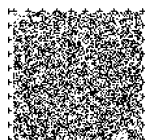
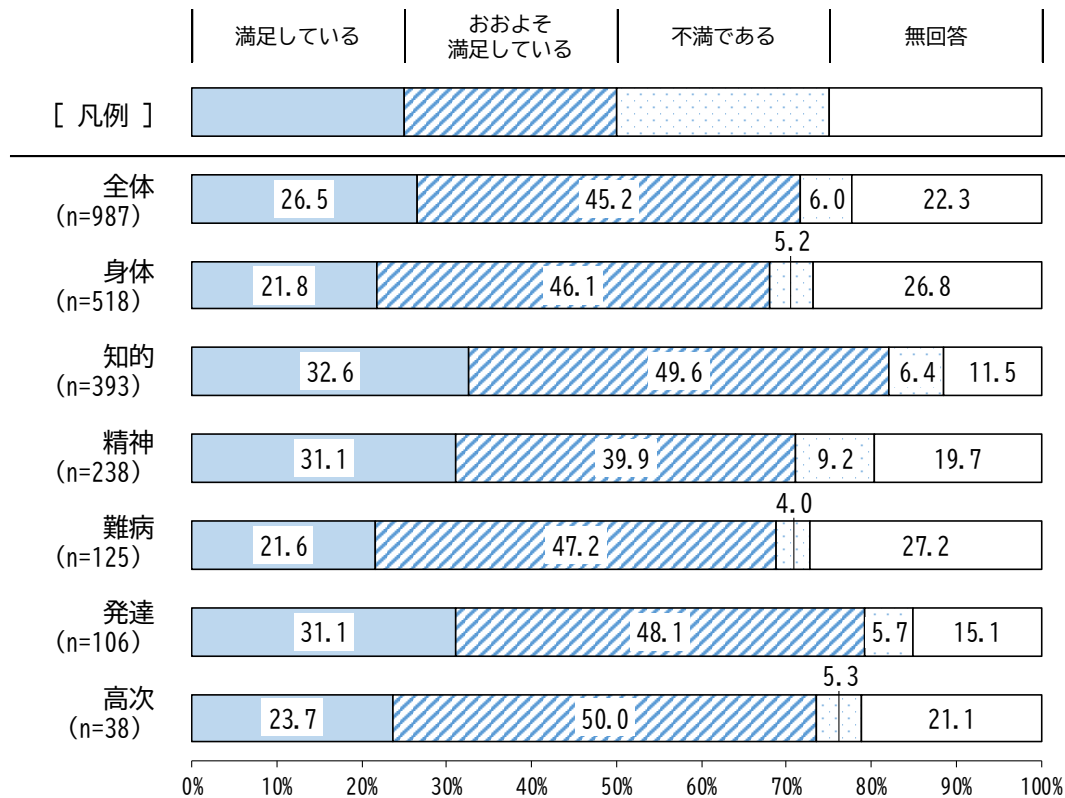


(3) 現在利用しているサービスの満足度

- 現在利用しているサービスの満足度について、18 歳以上の方全体では、「おおよそ満足している」が 45.2%で最も多く、次いで「満足している」が 26.5%、「不満である」が 6.0%となっています。

【18 歳以上 問 11】 現在、利用しているサービスの満足度について教えてください。(単一回答)

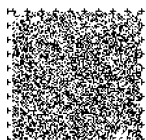
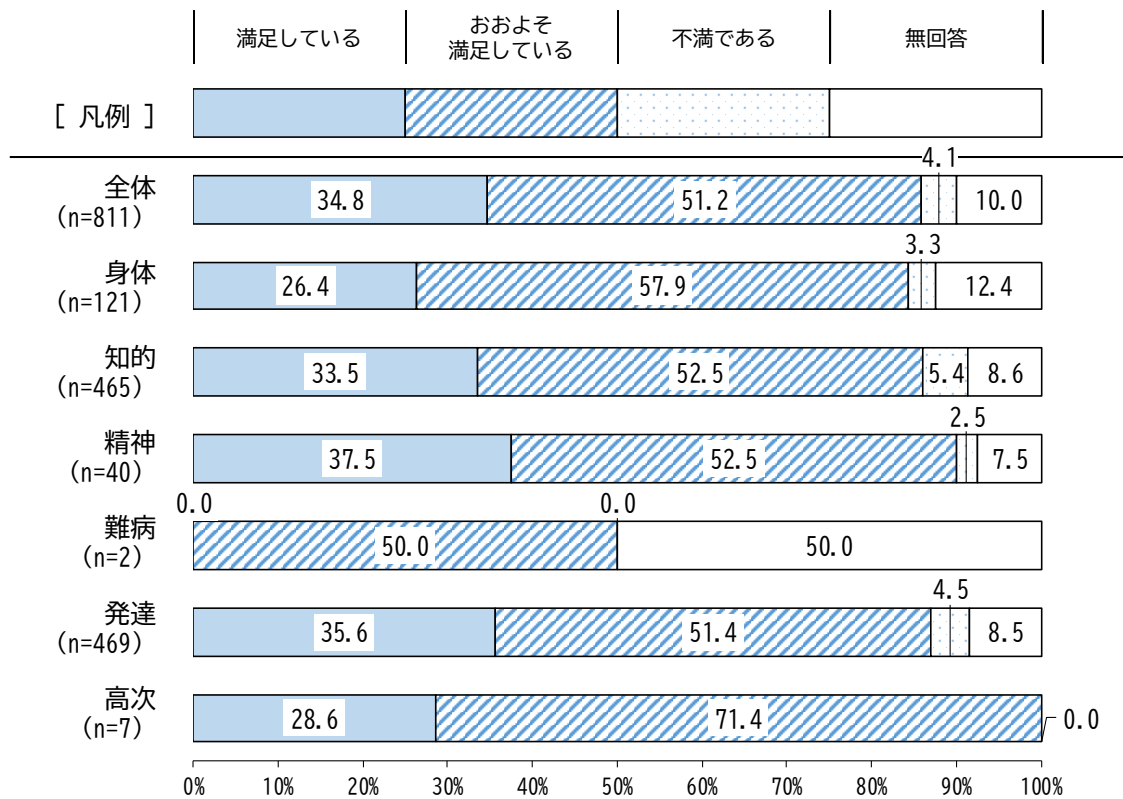
【現在利用しているサービスの満足度 (18 歳以上)】



○ 18 歳未満の方全体では、「おおよそ満足している」が 51.2%で最も多く、次いで「満足している」が 34.8%、「不満である」が 4.1%となっています。

【18 歳未満 問9】 現在、利用しているサービスの満足度について教えてください。（単一回答）

【現在利用しているサービスの満足度（18 歳未満）】

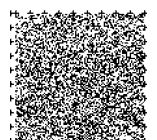
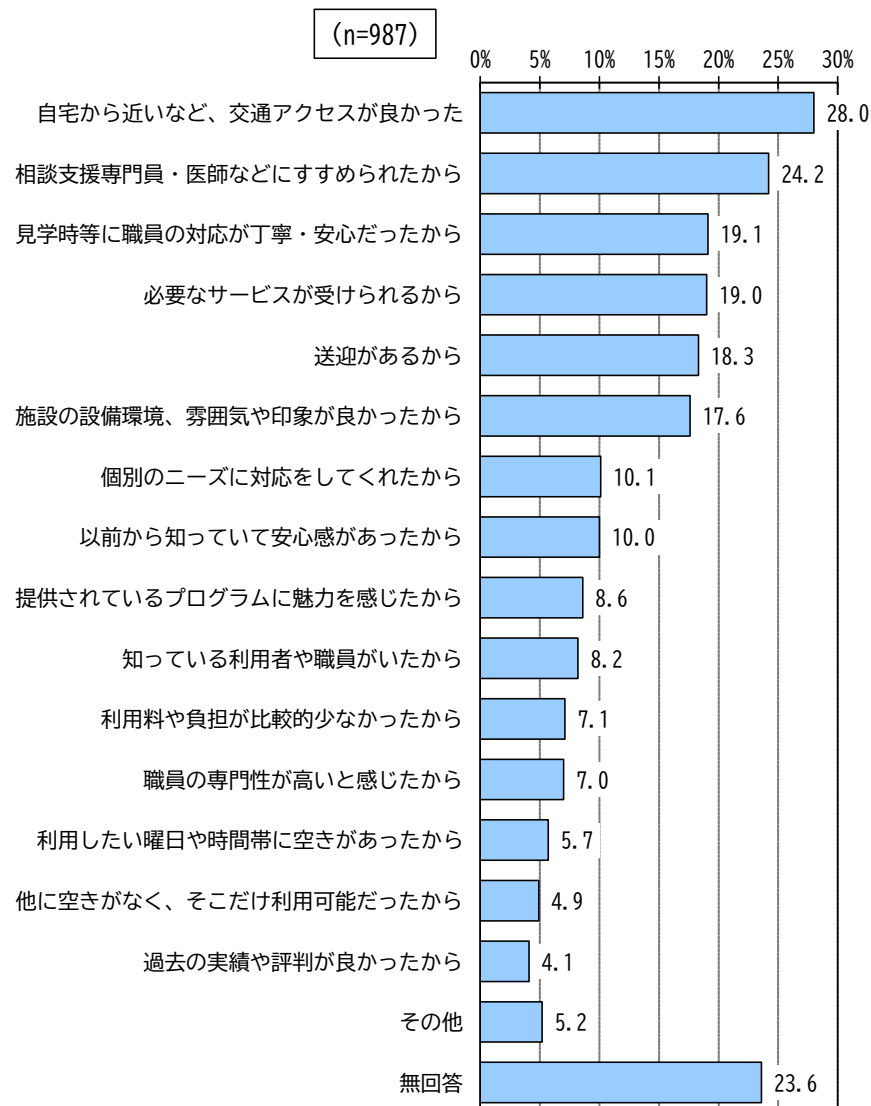


(4) 現在のサービス事業所を選んだ理由

- 現在のサービス事業所を選んだ理由について、18 歳以上の方全体では、「自宅から近いなど、交通アクセスが良かった」が 28.0%で最も多く、次いで「相談支援専門員・医師などにすすめられたから」が 24.2%、「見学時等に職員の対応が丁寧・安心だったから」が 19.1%となっています。

【18 歳以上 問 12】 あなたが現在利用しているサービス事業所を選んだ理由は何ですか。(複数回答)

【現在のサービス事業所を選んだ理由 (18 歳以上)】

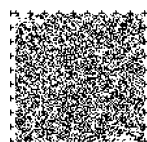


【現在のサービス事業所を選んだ理由（18歳以上）（障がい種別）】

単位：％

回答者数(人)		自宅から近いなど、交通 アクセスが良かった	送迎があるから	相談支援専門員・医師などに すすめられたから	以前から知っていて 安心感があつたから	知っている利用者や 職員がいたから	必要なサービスが 受けられるから	提供されているプログラムに 魅力を感じたから	見学時等に職員の対応が 丁寧・安心だったから
全体(n=987)		28.0	18.3	24.2	10.0	8.2	19.0	8.6	19.1
障 が い 種 別	身体(n=518)	21.0	21.6	24.5	9.5	5.8	18.1	5.4	12.9
	知的(n=393)	39.9	18.6	18.6	13.2	12.7	22.1	10.2	26.5
	精神(n=238)	31.5	7.1	26.9	6.3	8.4	19.3	14.7	24.8
	難病(n=125)	21.6	21.6	27.2	6.4	7.2	17.6	6.4	12.8
	発達(n=106)	42.5	11.3	15.1	9.4	9.4	22.6	21.7	31.1
	高次(n=38)	44.7	28.9	36.8	-	-	18.4	7.9	18.4

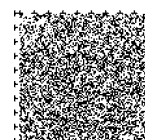
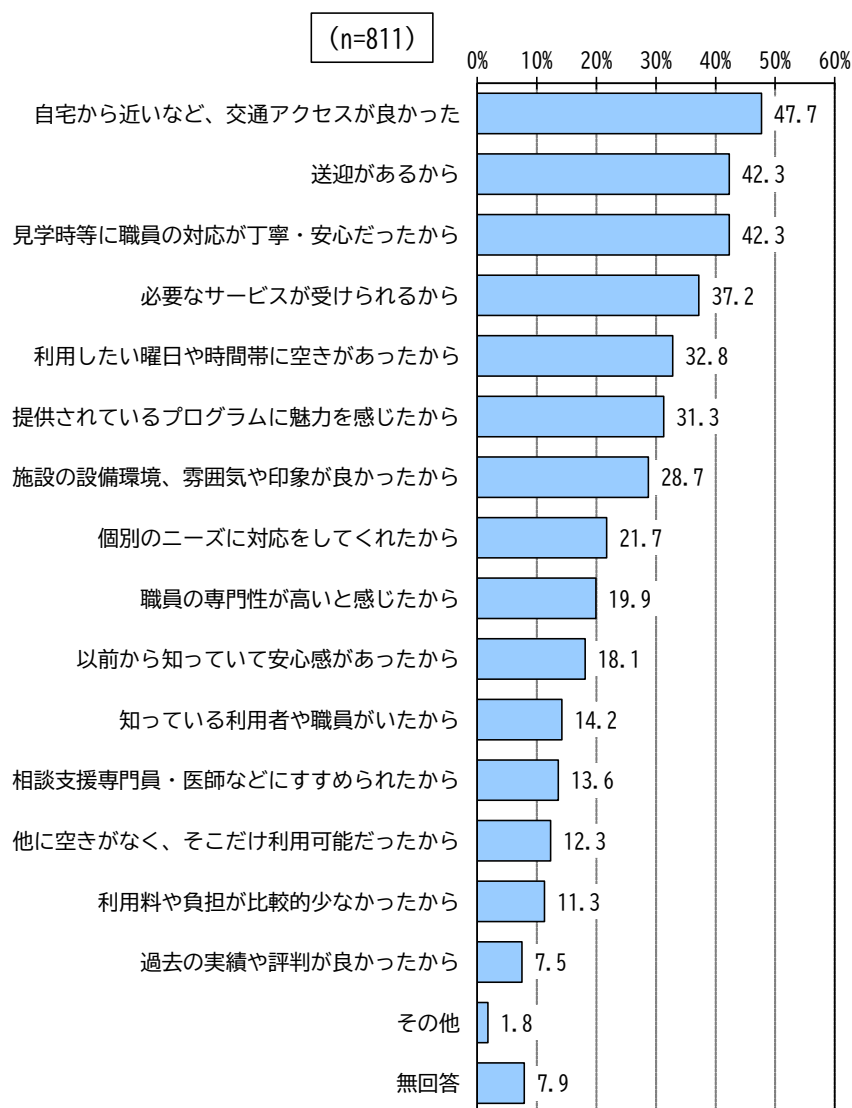
		職員の専門性が高 いと感じたから	施設の設備環境、雰囲気や 印象が良かったから	過去の実績や評判が 良かったから	個別のニーズに対応を してくれたから	利用料や負担が比較的 少なかったから	他に空きがなく、そこだけ 利用可能だったから	利用したい曜日や時間帯に 空きがあつたから	その他	無回答
全体		7.0	17.6	4.1	10.1	7.1	4.9	5.7	5.2	23.6
障 が い 種 別	身体	6.9	11.6	2.9	8.1	6.9	4.4	5.8	4.8	31.1
	知的	8.1	25.7	5.9	14.5	6.1	7.6	4.3	6.1	10.2
	精神	7.1	21.0	4.2	10.1	8.8	5.5	7.1	7.6	18.5
	難病	7.2	12.8	0.8	8.8	5.6	4.0	4.8	5.6	28.8
	発達	8.5	26.4	5.7	14.2	7.5	6.6	2.8	8.5	12.3
	高次	10.5	13.2	-	13.2	10.5	7.9	10.5	-	13.2



- 18 歳未満の方全体では、「自宅から近いなど、交通アクセスが良かった」が 47.7%で最も多く、次いで「送迎があるから」「見学時等に職員の対応が丁寧・安心だったから」が 42.3%、「必要なサービスが受けられるから」が 37.2%となっています。

【18 歳未満 問 10】 あなたが現在利用しているサービス事業所を選んだ理由は何ですか。（複数回答）

【現在のサービス事業所を選んだ理由（18 歳未満）】

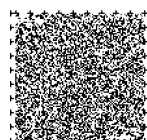


【現在のサービス事業所を選んだ理由（18歳未満）（障がい種別）】

単位：％

回答者数(人)		自宅から近いなど、 交通アクセスが良かった	送迎があるから	相談支援専門員・医師などに すすめられたから	以前から知っていて 安心感があつたから	知っている利用者や 職員がいたから	必要なサービスが 受けられるから	提供されているプログラムに 魅力を感じたから	見学時等に職員の対応が 丁寧・安心だったから
全体(n=811)		47.7	42.3	13.6	18.1	14.2	37.2	31.3	42.3
障がい種別	身体(n=121)	41.3	56.2	25.6	12.4	13.2	47.9	23.1	40.5
	知的(n=465)	48.4	55.9	11.0	21.9	15.9	39.8	28.8	45.2
	精神(n=40)	42.5	40.0	20.0	35.0	17.5	37.5	40.0	32.5
	難病(n=2)	-	-	-	-	-	50.0	-	-
	発達(n=469)	48.4	37.3	13.6	17.5	14.1	37.7	32.2	41.2
	高次(n=7)	-	42.9	42.9	28.6	-	57.1	57.1	28.6

		職員の専門性が高 いと感じたから	施設の設備環境、雰囲気や 印象が良かったから	過去の実績や評判が 良かったから	個別のニーズに対応を してくれたから	利用料や負担が比較的 少なかったから	他に空きがなく、そこだけ 利用可能だったから	利用したい曜日や時間帯に 空きがあつたから	その他	無回答
全体		19.9	28.7	7.5	21.7	11.3	12.3	32.8	1.8	7.9
障がい種別	身体	21.5	31.4	3.3	23.1	10.7	13.2	33.9	-	11.6
	知的	18.5	30.8	8.6	23.2	9.5	13.8	36.8	1.1	6.7
	精神	20.0	22.5	10.0	32.5	12.5	17.5	27.5	-	5.0
	難病	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
	発達	19.4	28.6	7.7	23.0	12.6	12.8	32.4	2.6	6.4
	高次	14.3	42.9	14.3	28.6	42.9	-	14.3	-	-

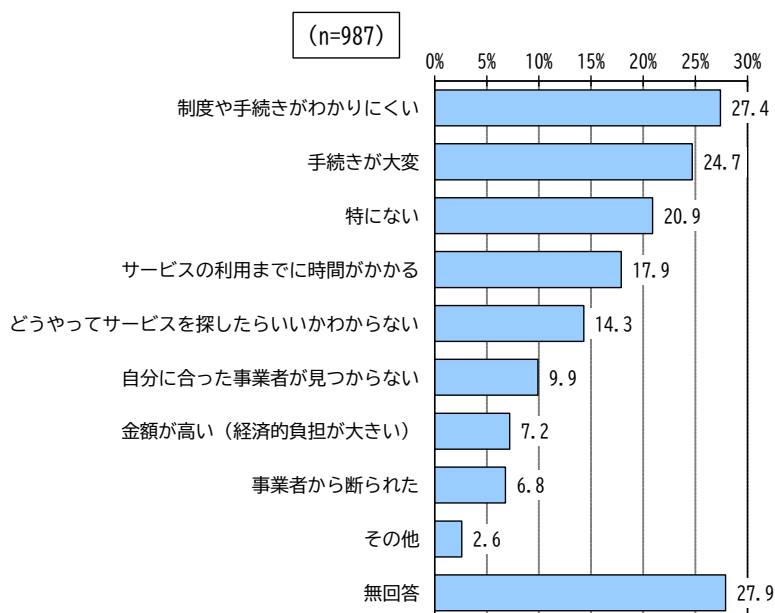


(5) サービス利用時に困ったこと

- サービス利用時に困ったことについて、18 歳以上の方全体では、「制度や手続きがわかりにくい」が 27.4%で最も多く、次いで「手続きが大変」が 24.7%、「特にない」が 20.9%となっています。

【18 歳以上 問 13-1】あなたが、「障害福祉サービス等」を使いたいと思ったときに、困ったことはどのようなことですか。（複数回答）

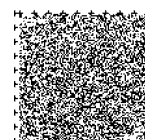
【サービス利用時に困ったこと（18 歳以上）】



【サービス利用時に困ったこと（18 歳以上）（障がい種別）】

単位：%

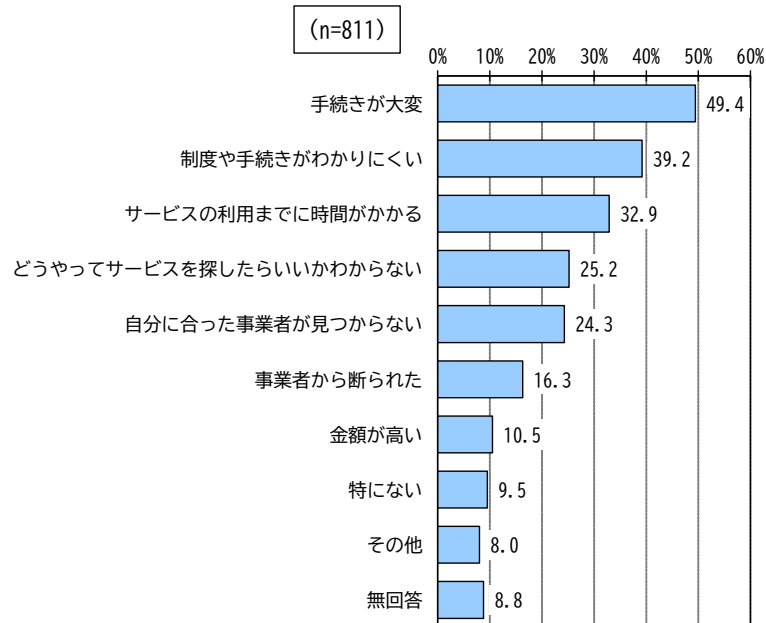
回答者数(人)		制度や手続きがわかりにくい	手続きが大変	サービスの利用までに時間がかかる	自分に合った事業者が見つからない	事業者から断られた	金額が高い（経済的負担が大きい）	どうやってサービスを探したらいいかわからない	特にない	その他	無回答
全体(n=987)		27.4	24.7	17.9	9.9	6.8	7.2	14.3	20.9	2.6	27.9
障がい種別	身体(n=518)	21.8	19.5	15.3	8.7	6.0	8.3	11.6	18.9	2.5	36.1
	知的(n=393)	32.8	32.3	21.6	13.0	11.5	3.6	16.3	22.1	2.8	17.3
	精神(n=238)	33.6	29.8	21.0	14.3	6.3	8.0	16.8	21.8	4.6	19.7
	難病(n=125)	23.2	23.2	16.8	8.0	5.6	16.0	13.6	16.8	4.0	33.6
	発達(n=106)	36.8	40.6	19.8	17.0	13.2	8.5	19.8	17.9	1.9	15.1
	高次(n=38)	42.1	26.3	26.3	15.8	7.9	5.3	21.1	15.8	2.6	18.4
	強行(n=16)	50.0	68.8	56.3	43.8	50.0	12.5	31.3	-	12.5	6.3
	重心(n=39)	33.3	33.3	28.2	20.5	25.6	2.6	17.9	-	5.1	25.6



○ 18 歳未満の方全体では、「手続きが大変」が 49.4%で最も多く、次いで「制度や手続きがわかりにくい」が 39.2%、「サービスの利用までに時間がかかる」が 32.9%となっています。

【18 歳未満 問 11-1】 あなたが、「障害福祉サービス等」を使いたいと思ったときに、困ったことはどのようなことですか。（複数回答）

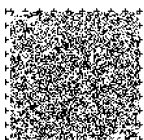
【サービス利用時に困ったこと（18 歳未満）】



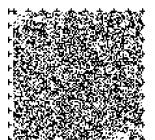
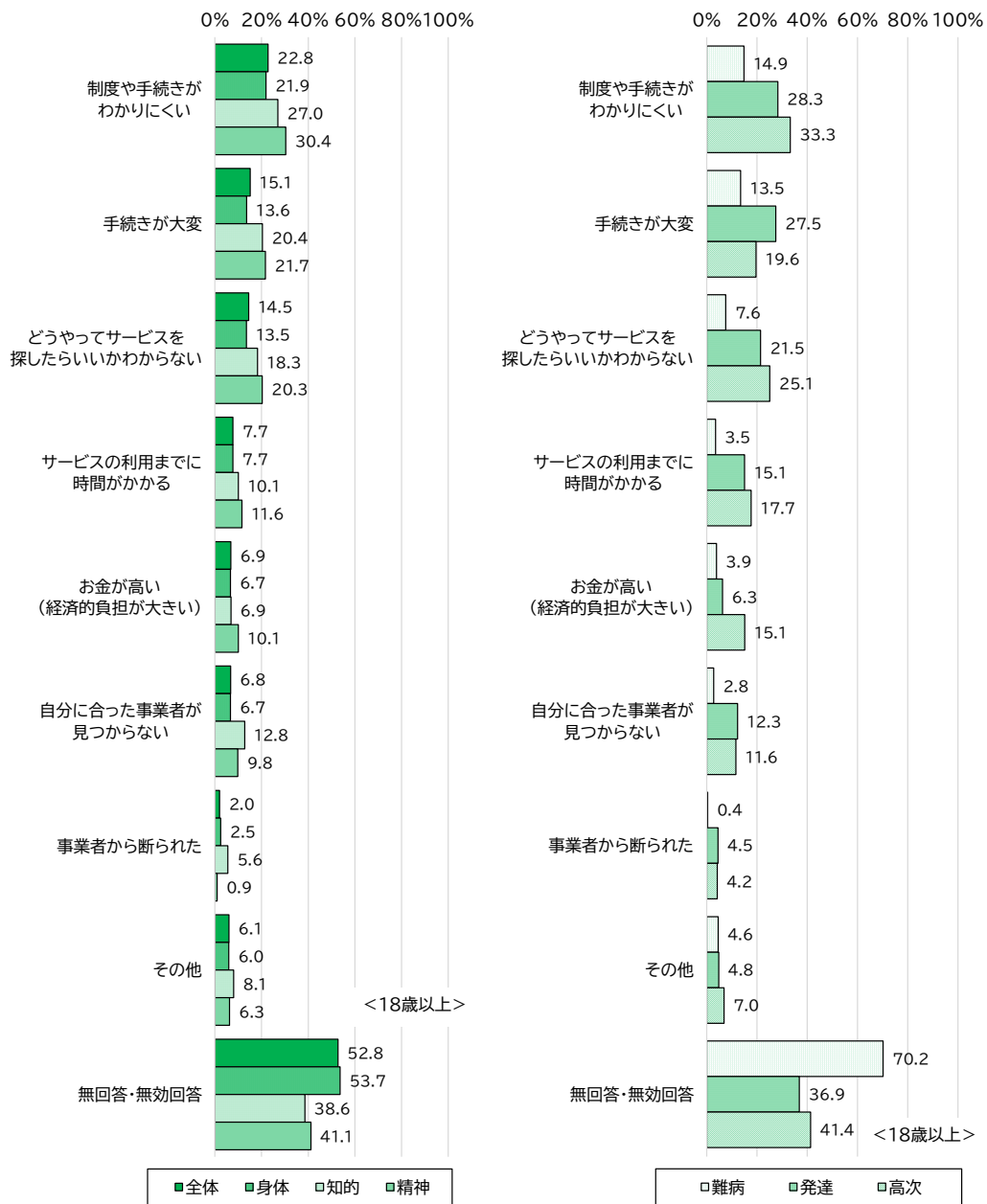
【サービス利用時に困ったこと（18 歳未満）（障がい種別）】

単位：%

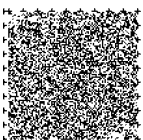
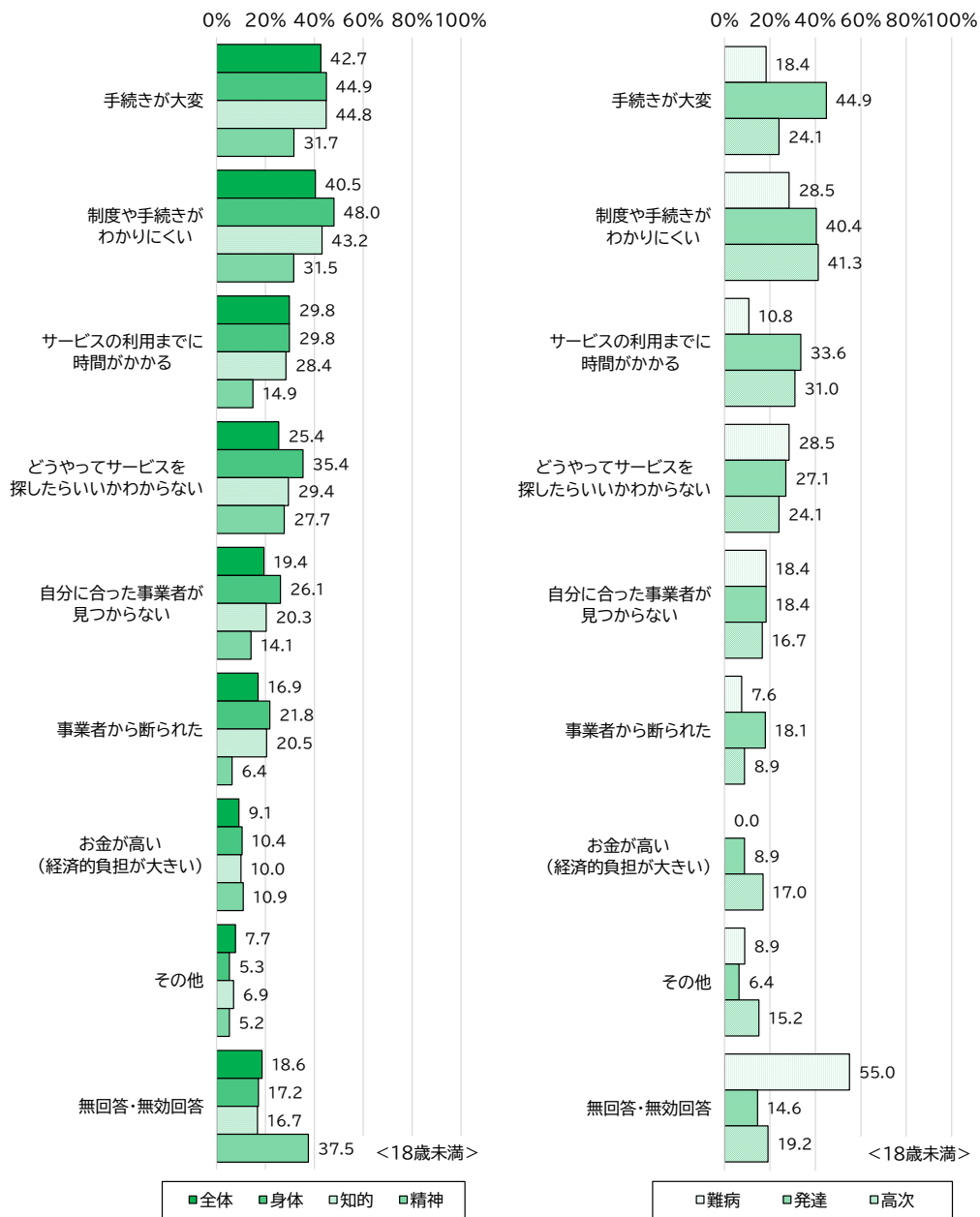
回答者数（人）		制度や手続きがわかりにくい	手続きが大変	サービスの利用までに時間がかかる	自分に合った事業者が見つからない	事業者から断られた	金額が高い（経済的負担が大きい）	どうやってサービスを探したらいいかわからない	特にない	その他	無回答
全体(n=811)		39.2	49.4	32.9	24.3	16.3	10.5	25.2	9.5	8.0	8.8
障がい種別	身体(n=121)	45.5	55.4	41.3	28.1	23.1	10.7	21.5	5.8	5.8	14.9
	知的(n=465)	42.2	51.6	34.6	24.1	20.9	10.5	26.7	8.4	8.6	7.5
	精神(n=40)	42.5	50.0	32.5	37.5	17.5	22.5	22.5	15.0	10.0	-
	難病(n=2)	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0
	発達(n=469)	38.0	49.7	33.9	26.9	16.6	12.6	25.6	10.0	7.7	6.8
	高次(n=7)	42.9	57.1	42.9	28.6	-	14.3	-	14.3	28.6	-
	強行(n=12)	66.7	66.7	33.3	50.0	33.3	25.0	50.0	8.3	16.7	-
	重心(n=41)	48.8	63.4	46.3	22.0	31.7	9.8	17.1	7.3	7.3	4.9



参考：前回調査結果 サービス利用時に困ったこと（18歳以上）



参考：前回調査結果 サービス利用時に困ったこと（18歳未満）

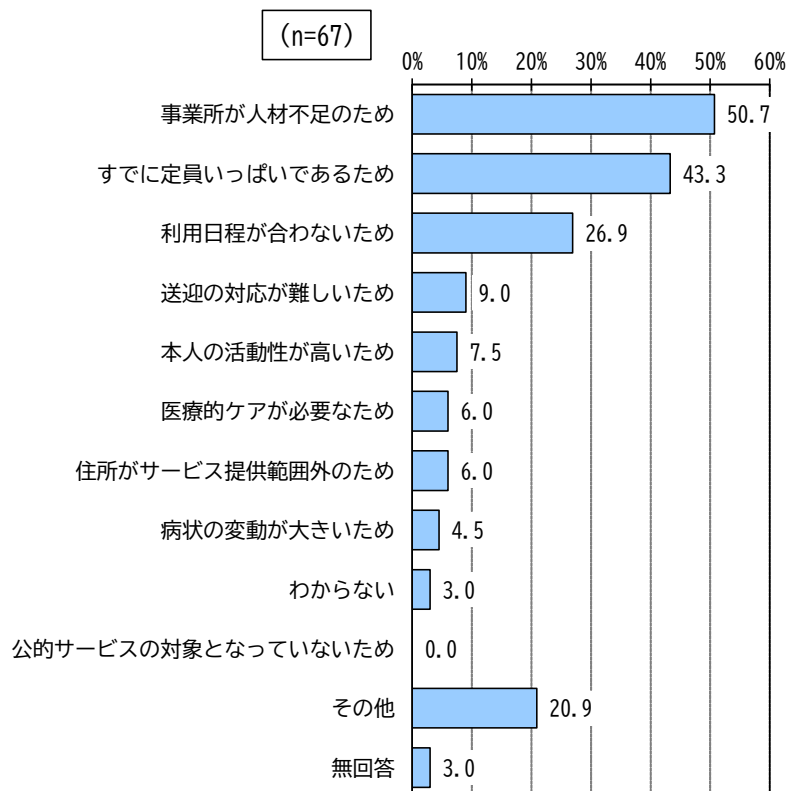


(6) サービス利用を事業者から断られた理由

- サービス利用を事業者から断られた理由について、18 歳以上の方全体では、「事業所が人材不足のため」が 50.7%で最も多く、次いで「すでに定員いっぱいであるため」が 43.3%、「利用日程が合わないため」が 26.9%となっています。

【18 歳以上 問 13-2】事業者から断られた理由について、差し支えない範囲で教えてください。(複数回答)

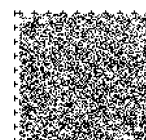
【サービス利用を事業者から断られた理由 (18 歳以上)】



【サービス利用を事業者から断られた理由 (18 歳以上) (障がい種別)】

単位：%

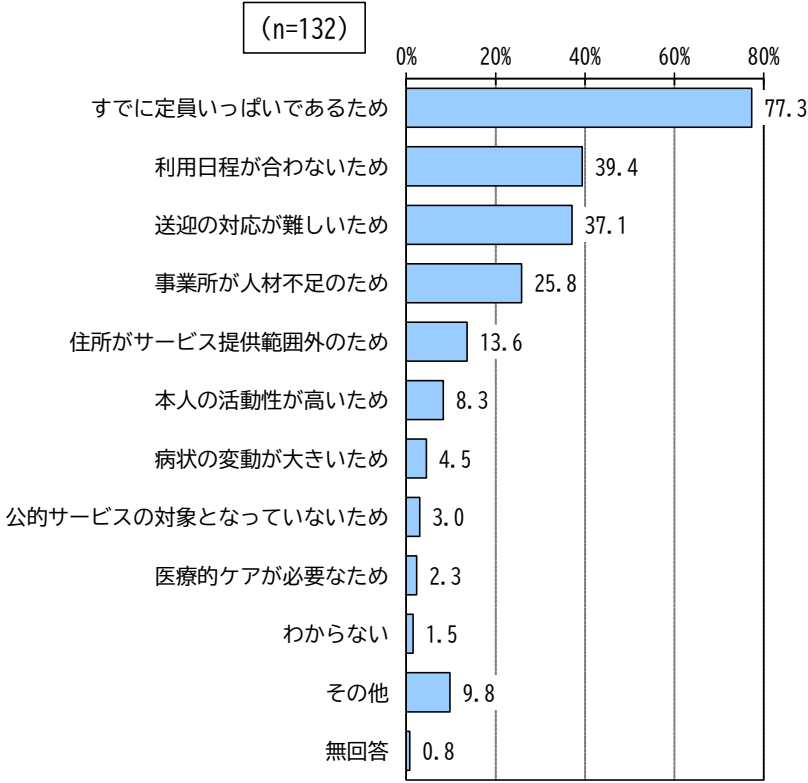
回答者数(人)		医療的ケアが必要なため	本人の活動性が高いため	住所がサービス提供範囲外のため	病状の変動が大きい	事業所が人材不足のため	すでに定員いっぱいであるため	利用日程が合わないため	送迎の対応が難しいため	公的サービスの対象となっていないため	わからない	その他	無回答
全体(n=67)		6.0	7.5	6.0	4.5	50.7	43.3	26.9	9.0	-	3.0	20.9	3.0
障がい種別	身体(n=31)	9.7	3.2	9.7	6.5	61.3	51.6	29.0	12.9	-	-	16.1	3.2
	知的(n=45)	6.7	11.1	2.2	4.4	51.1	42.2	22.2	8.9	-	4.4	22.2	2.2
	精神(n=15)	-	-	6.7	-	46.7	60.0	46.7	-	-	-	26.7	-
	難病(n=7)	-	-	14.3	-	28.6	57.1	28.6	-	-	-	42.9	-
	発達(n=14)	7.1	7.1	7.1	-	57.1	21.4	35.7	7.1	-	-	35.7	-
	高次(n=3)	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-



○ 18 歳未満の方全体では、「すでに定員いっぱいであるため」が 77.3%で最も多く、次いで「利用日程が合わないため」が 39.4%、「送迎の対応が難しいため」が 37.1%となっています。

【18 歳未満 問 11-2】事業者から断られた理由について、差し支えない範囲で教えてください。（複数回答）

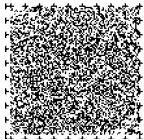
【サービス利用を事業者から断られた理由（18 歳未満）】



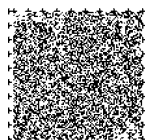
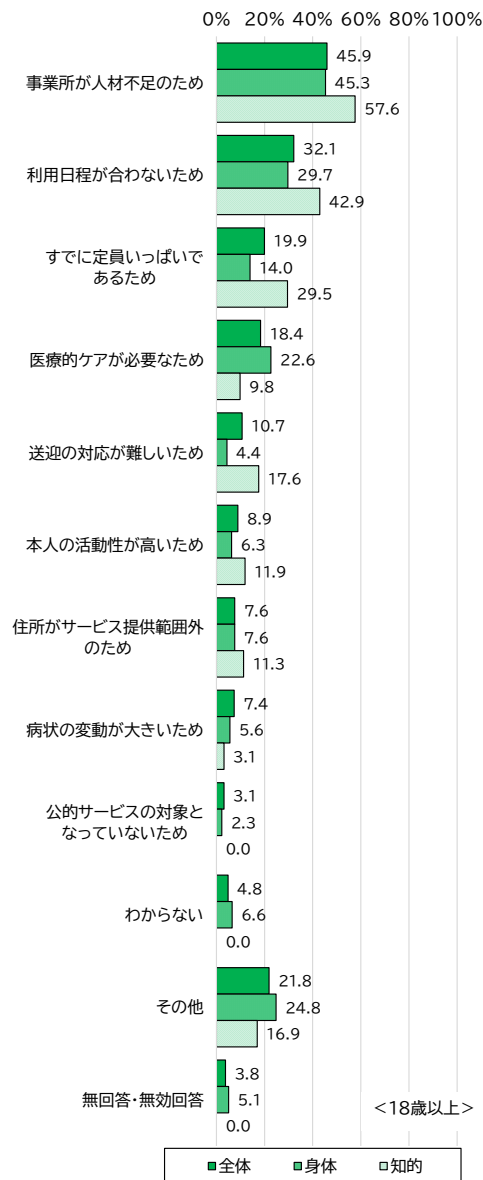
【サービス利用を事業者から断られた理由（18 歳未満）（障がい種別）】

単位：%

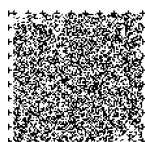
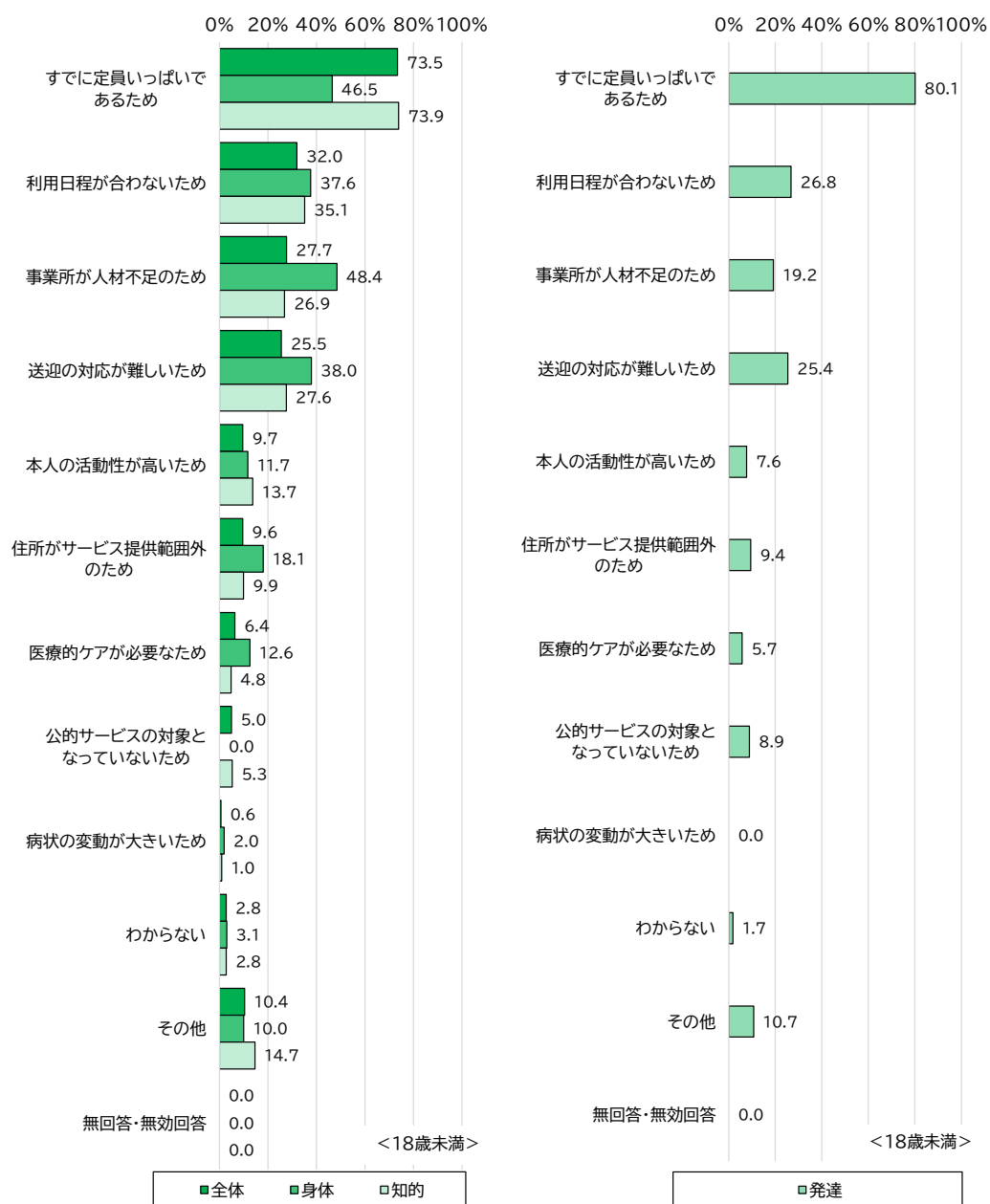
回答者数（人）		医療的ケアが必要なため	本人の活動性が高いため	住所がサービス提供範囲外のため	病状の変動が大きいため	事業所が人材不足のため	すでに定員いっぱいであるため	利用日程が合わないため	送迎の対応が難しいため	公的サービスの対象となっていないため	わからない	その他	無回答
全体(n=132)		2.3	8.3	13.6	4.5	25.8	77.3	39.4	37.1	3.0	1.5	9.8	0.8
障がい種別	身体(n=28)	-	21.4	21.4	10.7	25.0	67.9	42.9	35.7	-	-	10.7	-
	知的(n=97)	2.1	9.3	15.5	5.2	26.8	77.3	37.1	38.1	2.1	2.1	9.3	-
	精神(n=7)	-	-	14.3	14.3	28.6	100.0	71.4	42.9	14.3	-	-	-
	難病(n=1)	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-
	発達(n=78)	3.8	7.7	17.9	6.4	26.9	71.8	34.6	34.6	2.6	2.6	7.7	1.3
	高次(-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



参考：前回調査結果 サービス利用を事業者から断られた理由（18歳以上）



参考：前回調査結果 サービス利用を事業者から断られた理由（18歳未満）

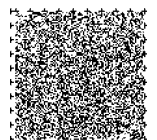
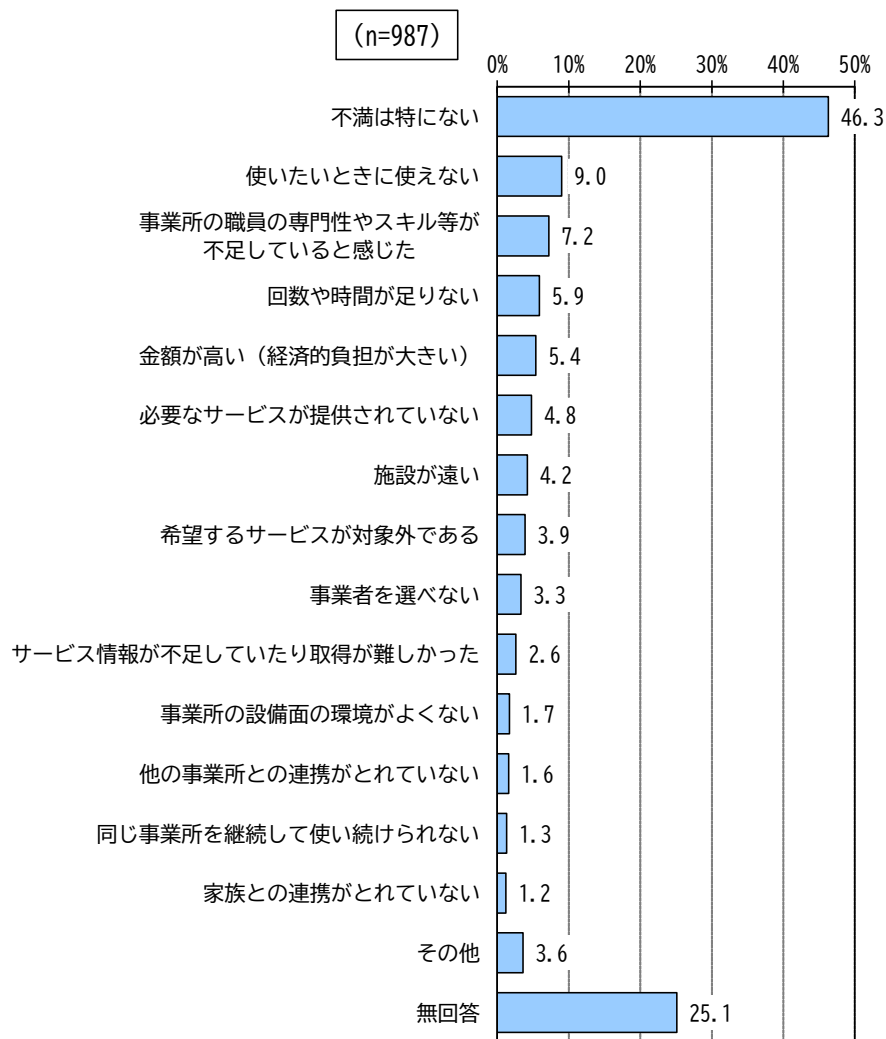


(7) サービス利用にあたって不満に感じること

- サービス利用にあたって不満に感じることにについて、18 歳以上の方全体では、「不満は特にない」が 46.3%で最も多く、次いで「使いたいときに使えない」が 9.0%、「事業所の職員の専門性やスキル等が不足していると感じた」が 7.2%となっています。

【18 歳以上 問 14】 あなたが現在利用されているサービスに不満はありますか。不満がある場合は、どのような点ですか。（複数回答）

【サービス利用にあたって不満に感じること（18 歳以上）】

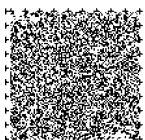


【サービス利用にあたって不満に感じること（18歳以上）（障がい種別）】

単位：％

回答者数(人)		不満は特 にない	必要 なサー ビスが 提供さ れてい ない	回数 や時間 が足り ない	使いた いとき に使え ない	希望す るサー ビスが 対象外 である	サービ ス情報 が不足 してい たり取 得が難 しかった	事業 者を選 べない	事業 所の職 員の専 門性や スキル 等が不 足して いると 感じた
全体(n=987)		46.3	4.8	5.9	9.0	3.9	2.6	3.3	7.2
障 が い 種 別	身体(n=518)	43.2	4.1	6.0	8.5	4.4	2.1	3.9	5.6
	知的(n=393)	50.4	4.1	6.4	14.2	3.8	2.5	3.3	10.7
	精神(n=238)	46.6	6.7	7.1	10.5	3.8	2.9	3.8	8.4
	難病(n=125)	44.8	4.8	4.0	4.8	4.0	4.0	4.0	6.4
	発達(n=106)	48.1	7.5	5.7	13.2	4.7	1.9	4.7	7.5
	高次(n=38)	50.0	5.3	10.5	7.9	2.6	5.3	2.6	13.2

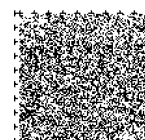
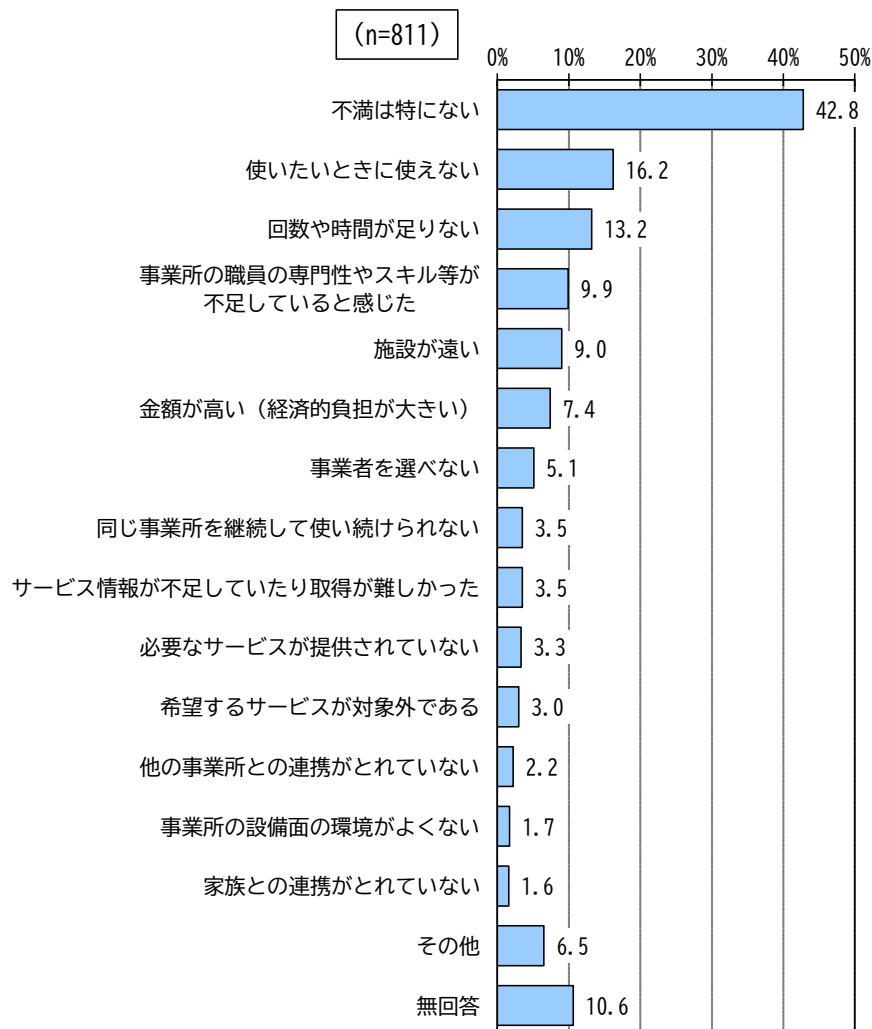
		家族 との連 携がと れてい ない	他の 事業 所と の連 携が とれて いない	事業 所の 設備 面の 環境 がよ くない	施設 が遠 い	同じ 事業 所を 継続 して 使い 続け られ ない	金額 が高 い(経 済的 負担 が大 きい)	その他	無回 答
全体		1.2	1.6	1.7	4.2	1.3	5.4	3.6	25.1
障 が い 種 別	身体	0.8	1.2	1.5	2.1	0.8	6.8	1.7	31.1
	知的	2.3	2.0	2.0	5.9	1.8	2.0	5.1	14.8
	精神	2.1	2.5	2.5	8.0	2.5	5.0	7.1	20.2
	難病	1.6	3.2	1.6	2.4	2.4	9.6	2.4	29.6
	発達	1.9	2.8	4.7	8.5	2.8	2.8	7.5	14.2
	高次	-	-	7.9	2.6	-	5.3	2.6	15.8



○ 18 歳未満の方全体では、「不満は特にない」が 42.8%で最も多く、次いで「使いたいときに使えない」が 16.2%、「回数や時間が足りない」が 13.2%となっています。

【18 歳未満 問 12】 あなたが現在利用されているサービスに不満はありますか。不満がある場合は、どのような点ですか。（複数回答）

【サービス利用にあたって不満に感じること（18 歳未満）】



【サービス利用にあたって不満に感じること（18歳未満）（障がい種別）】

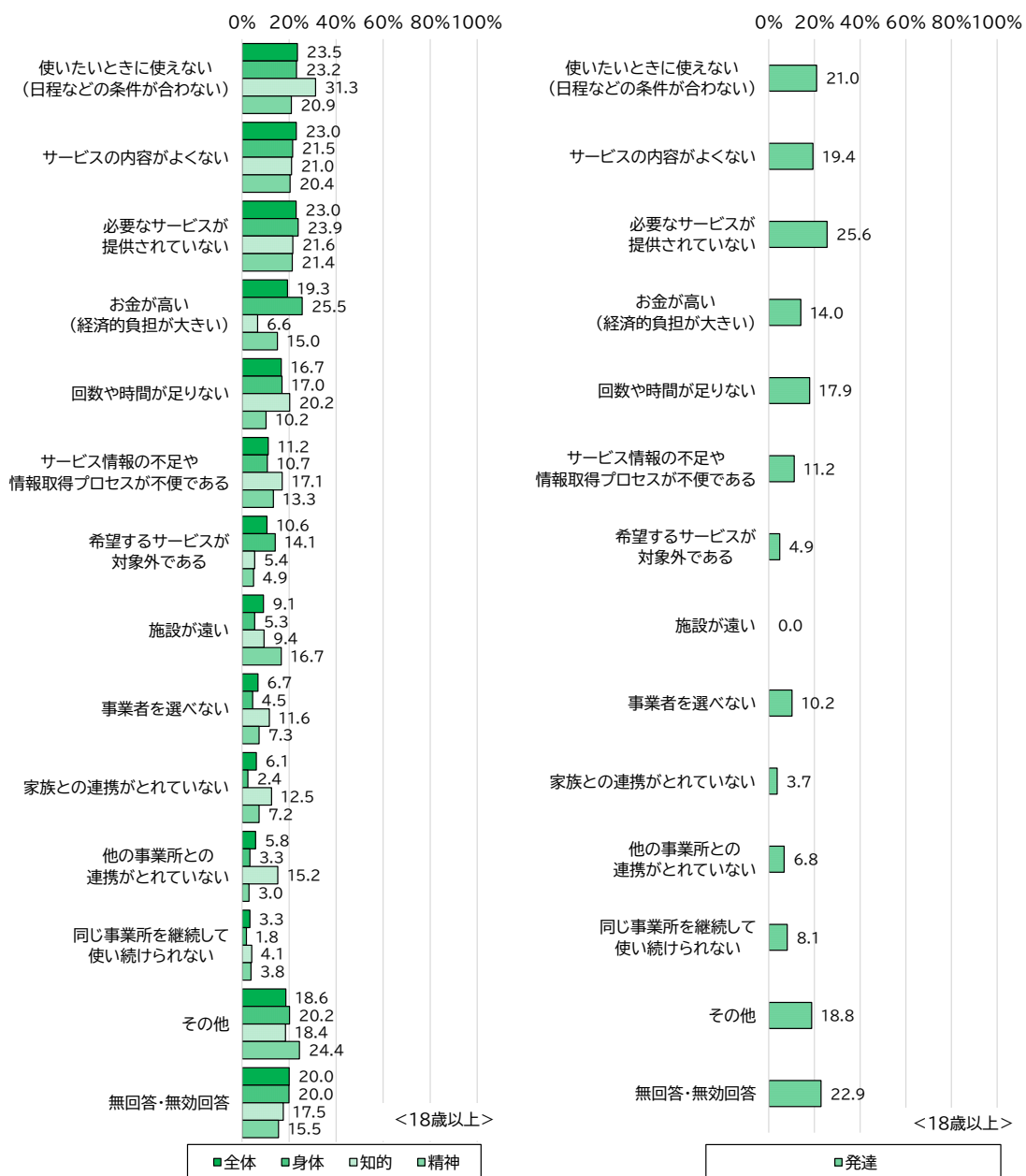
単位：％

回答者数(人)		不満は特 にない	必要 なサー ビスが 提供さ れてい ない	回数 や時間 が足り ない	使いた いとき に使え ない	希望す るサー ビスが 対象外 である	サービ ス情報 が不足 してい たり取 得が難 しかった	事業 者を選 べない	事業 所の職 員の専 門性や スキ ル等が 不足し ていて いると 感じた
全体(n=811)		42.8	3.3	13.2	16.2	3.0	3.5	5.1	9.9
障 が い 種 別	身体(n=121)	33.1	2.5	24.8	28.1	2.5	4.1	7.4	9.9
	知的(n=465)	43.2	2.8	15.7	17.8	2.4	2.8	6.5	9.9
	精神(n=40)	45.0	7.5	7.5	15.0	5.0	2.5	5.0	5.0
	難病(n=2)	-	-	-	50.0	-	-	-	-
	発達(n=469)	43.1	4.1	11.3	15.1	3.2	3.8	5.5	11.3
	高次(n=7)	28.6	-	42.9	42.9	-	-	-	-

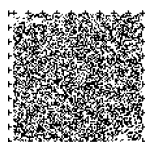
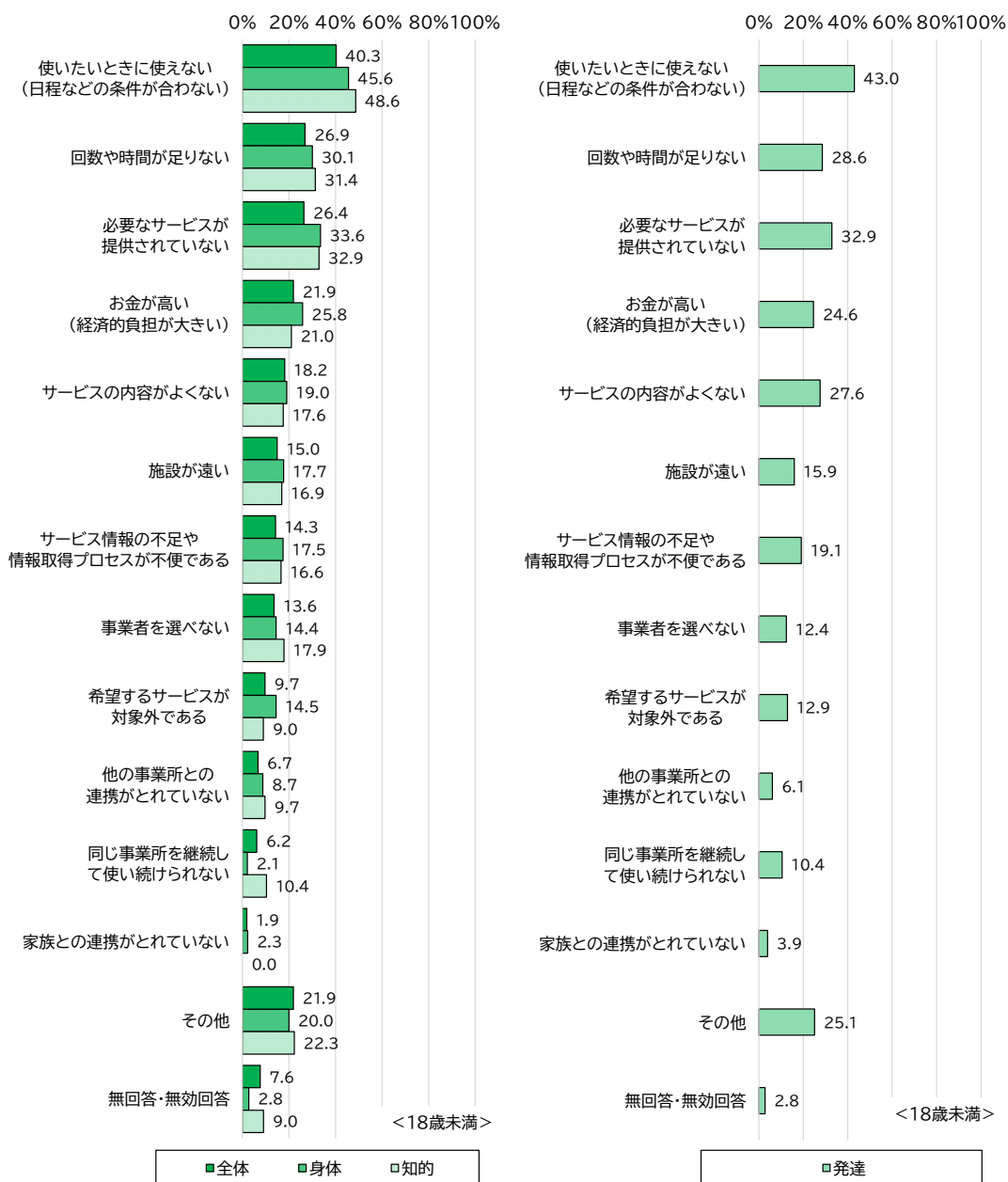
		家族 との連 携がと れてい ない	他の 事業 所との 連携が とれて いない	事業 所の設 備面の 環境が よくない	施設 が遠い	同じ 事業 所を継 続して 使い続 けられ ない	金額 が高い (経済 的負担 が大き い)	その他	無回答
全体		1.6	2.2	1.7	9.0	3.5	7.4	6.5	10.6
障 が い 種 別	身体	2.5	2.5	2.5	5.8	2.5	5.0	5.0	13.2
	知的	1.3	2.8	2.4	6.9	3.0	8.6	7.5	8.6
	精神	-	2.5	2.5	10.0	2.5	17.5	5.0	10.0
	難病	-	-	-	-	-	-	-	50.0
	発達	1.7	2.6	1.7	9.8	4.1	9.0	6.2	9.8
	高次	-	-	-	28.6	-	14.3	14.3	-



参考：前回調査結果 サービス利用にあたって不満に感じること（18歳以上）



参考：前回調査結果 サービス利用にあたって不満に感じること（18歳未満）

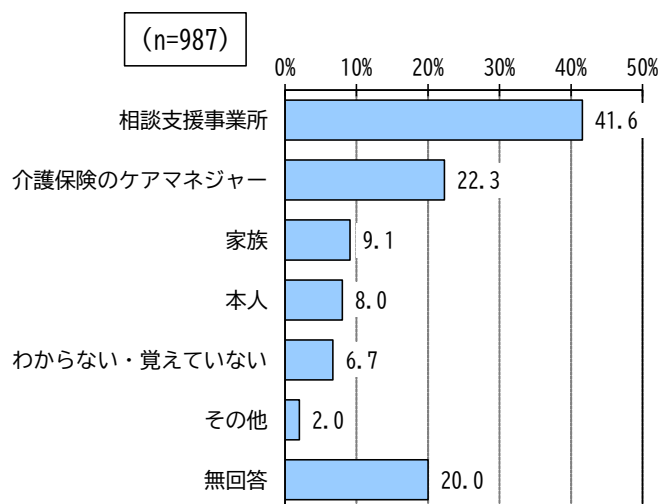


(8) 障害福祉サービス利用計画の作成者

- 障害福祉サービス利用計画の作成者について、18 歳以上の方全体では、「相談支援事業所」が 41.6%で最も多く、次いで「介護保険のケアマネジャー」が 22.3%、「家族」が 9.1%となっています。

【18 歳以上 問 15-1】 あなたの障害福祉サービスの利用計画は誰が作成していますか。(複数回答)

【障害福祉サービス利用計画の作成者 (18 歳以上)】



【障害福祉サービス利用計画の作成者 (18 歳以上) (障がい種別)】

単位：%

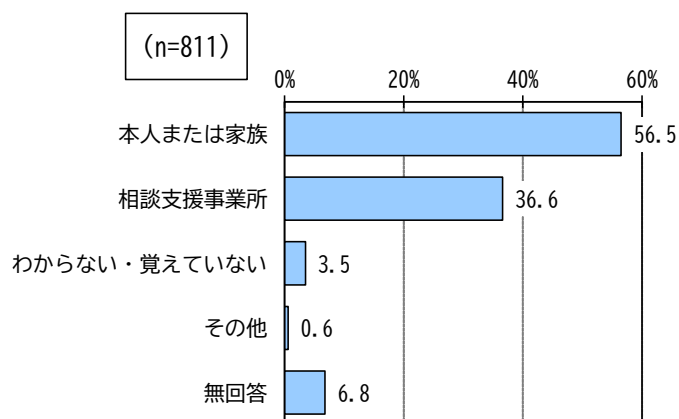
回答者数(人)		本人	家族	相談支援事業所	介護保険の ケアマネジャー	わからない・ 覚えていない	その他	無回答
全体(n=987)		8.0	9.1	41.6	22.3	6.7	2.0	20.0
障がい種別	身体(n=518)	8.1	8.1	23.6	34.2	5.6	1.9	26.6
	知的(n=393)	5.1	13.5	73.8	1.3	4.8	2.3	9.7
	精神(n=238)	8.4	3.8	57.6	11.3	12.2	2.5	11.8
	難病(n=125)	8.8	8.8	13.6	44.8	5.6	1.6	26.4
	発達(n=106)	7.5	6.6	63.2	0.9	16.0	2.8	9.4
	高次(n=38)	-	-	28.9	57.9	7.9	-	13.2



- 18 歳未満の方全体では、「本人または家族」が 56.5%で最も多く、次いで「相談支援事業所」が 36.6%、「わからない・覚えていない」が 3.5%となっています。

【18 歳未満 問 13-1】 あなたの障害福祉サービスの利用計画は誰が作成していますか。（複数回答）

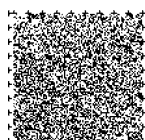
【障害福祉サービス利用計画の作成者（18 歳未満）】



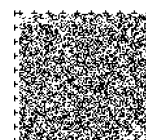
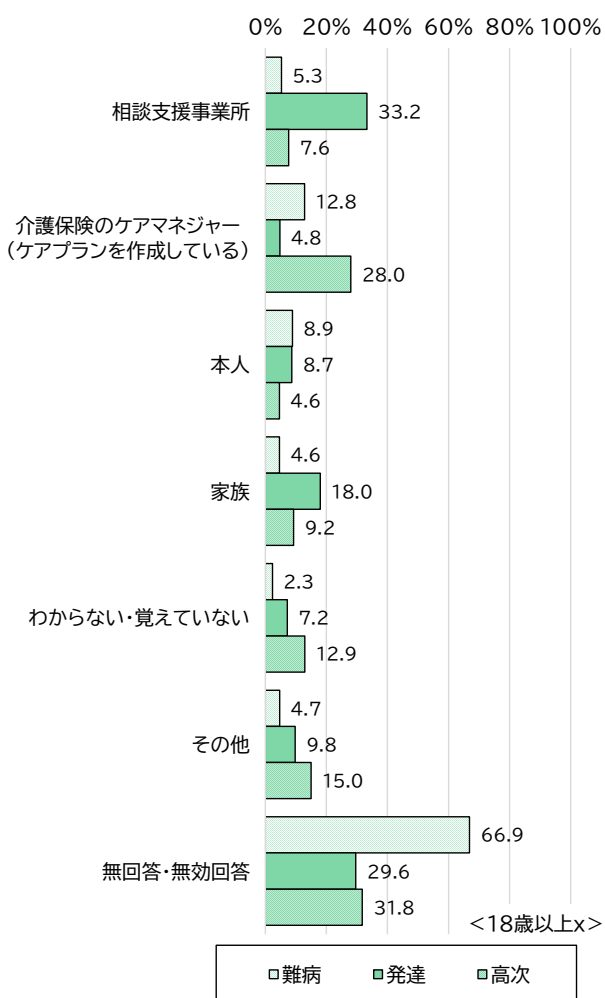
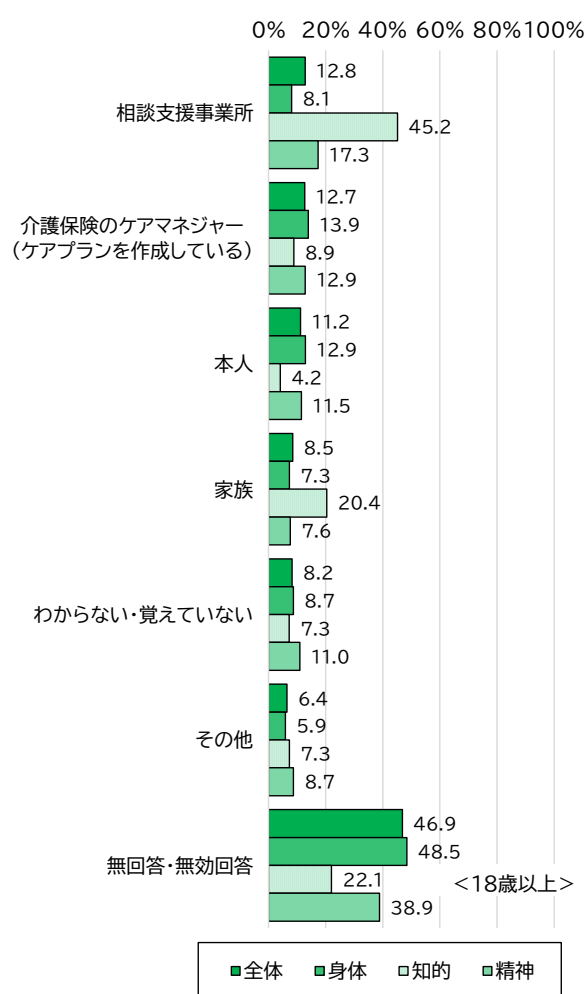
【障害福祉サービス利用計画の作成者（18 歳未満）（障がい種別）】

単位：%

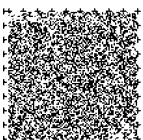
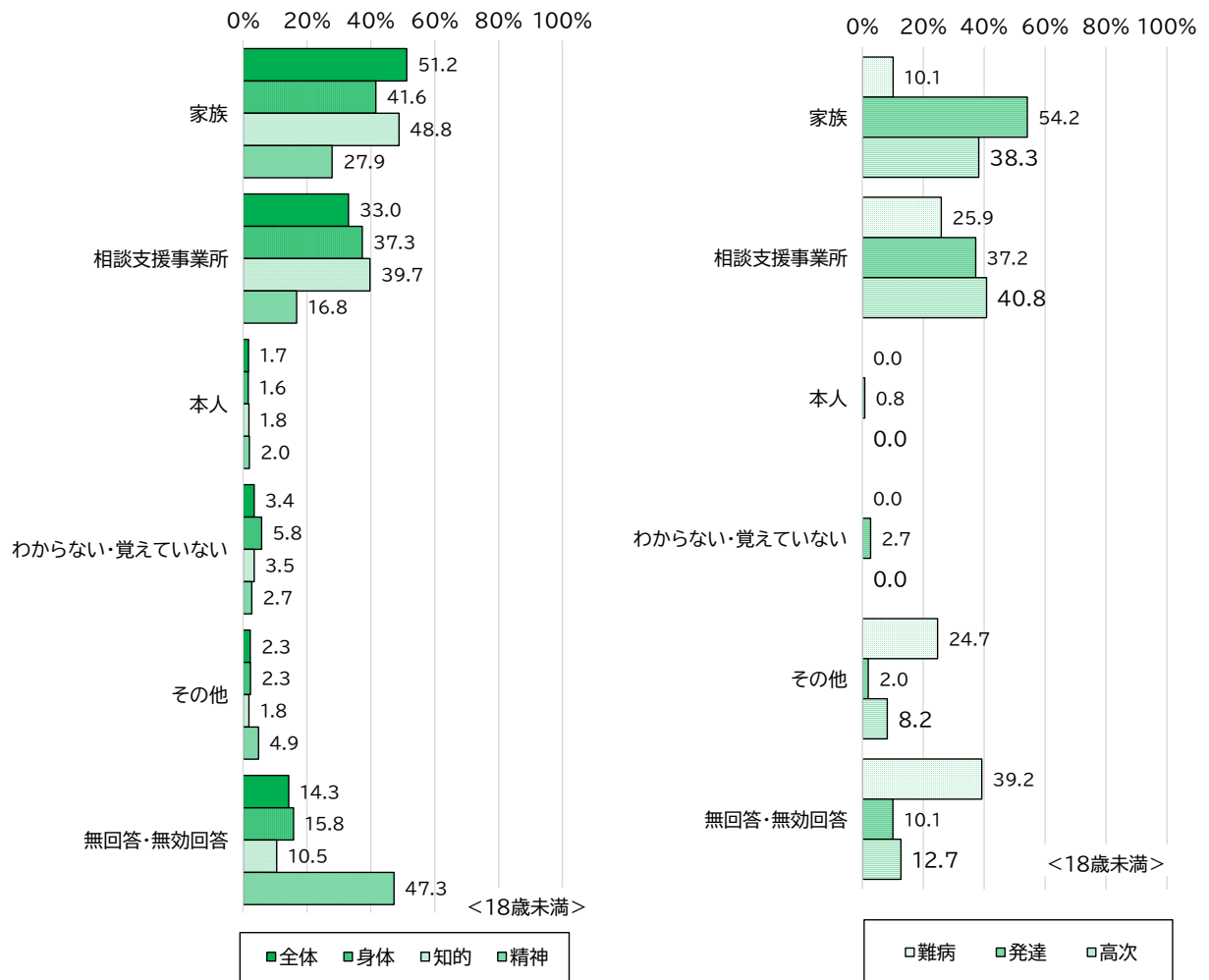
回答者数（人）		本人または家族	相談支援事業所	わからない・覚えていない	その他	無回答
全体(n=811)		56.5	36.6	3.5	0.6	6.8
障がい種別	身体(n=121)	37.2	54.5	4.1	-	9.9
	知的(n=465)	52.0	43.4	2.2	0.2	5.6
	精神(n=40)	60.0	37.5	2.5	2.5	5.0
	難病(n=2)	-	-	50.0	-	50.0
	発達(n=469)	57.6	34.8	4.3	0.9	5.3
	高次(n=7)	28.6	71.4	-	-	-



参考：前回調査結果 障害福祉サービス利用計画の作成者（18歳以上）



参考：前回調査結果 障害福祉サービス利用計画の作成者（18歳未満）

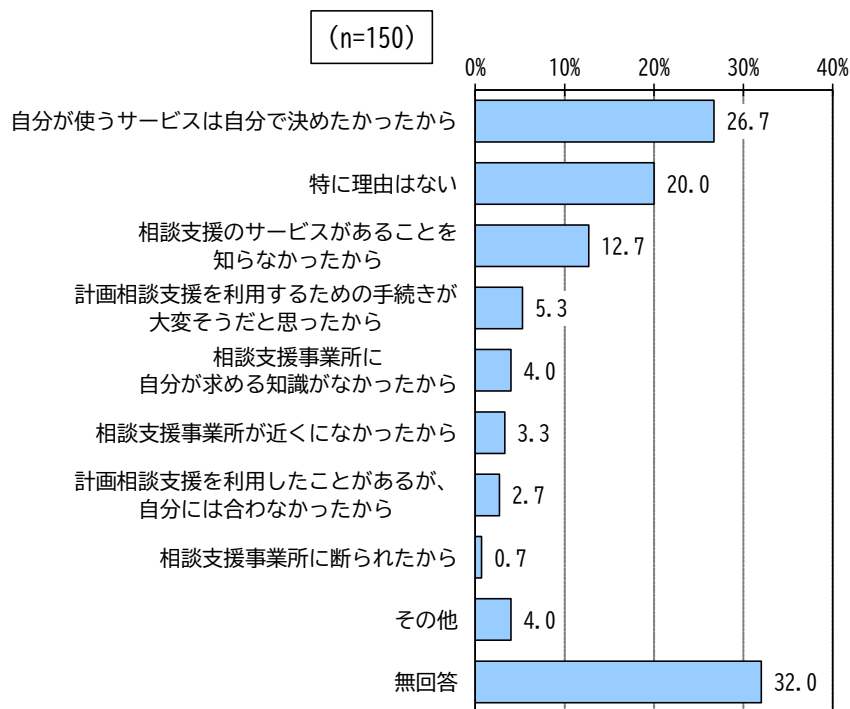


(9) 計画相談支援を利用しない理由

- 計画相談支援を利用しない理由について、18 歳以上の方全体では、「自分が使うサービスは自分で決めたかったから」が 26.7%で最も多く、次いで「特に理由はない」が 20.0%、「相談支援のサービスがあることを知らなかったから」が 12.7%となっています。

【18 歳以上 問 15-2】計画相談支援を利用しない理由は何ですか。(複数回答)

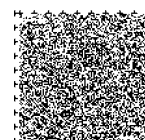
【計画相談支援を利用しない理由（18 歳以上）】



【計画相談支援を利用しない理由（18 歳以上）（障がい種別）】

単位：%

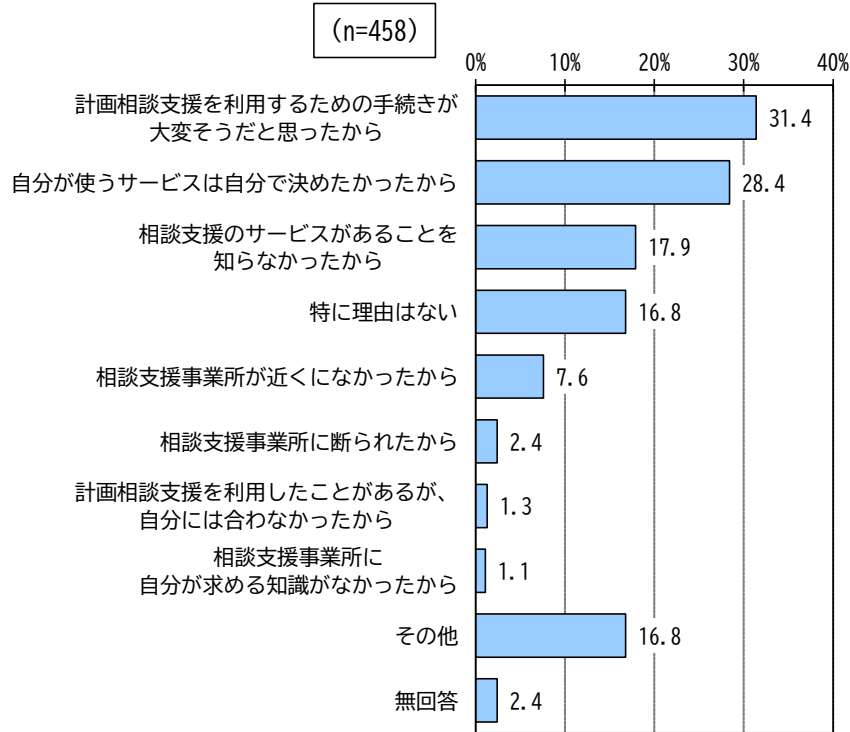
回答者数(人)		自分が使うサービスは自分で決めたかったから	相談支援のサービスがあることを知らなかったから	相談支援事業所が近くになかったから	計画相談支援を利用するための手続きが大変そうだったから	相談支援事業所に断られたから	計画相談支援を利用したことがあるが、自分には合わなかったから	相談支援事業所に自分が求める知識がなかったから	特に理由はない	その他	無回答
全体(n=150)		26.7	12.7	3.3	5.3	0.7	2.7	4.0	20.0	4.0	32.0
障がい種別	身体(n=78)	37.2	14.1	5.1	3.8	-	2.6	3.8	14.1	2.6	28.2
	知的(n=63)	9.5	6.3	3.2	6.3	1.6	-	4.8	28.6	6.3	39.7
	精神(n=26)	23.1	15.4	3.8	7.7	-	7.7	3.8	30.8	-	26.9
	難病(n=18)	55.6	22.2	-	5.6	-	5.6	5.6	-	-	22.2
	発達(n=12)	16.7	16.7	8.3	16.7	-	-	8.3	33.3	8.3	8.3
	高次(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



○ 18 歳未満の方全体では、「計画相談支援を利用するための手続きが大変そうだったから」が 31.4%で最も多く、次いで「自分が使うサービスは自分で決めたかったから」が 28.4%、「相談支援のサービスがあることを知らなかったから」が 17.9%となっています。

【18 歳未満 問 13-2】計画相談支援を利用しない理由は何ですか。（複数回答）

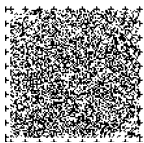
【計画相談支援を利用しない理由（18 歳未満）】



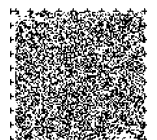
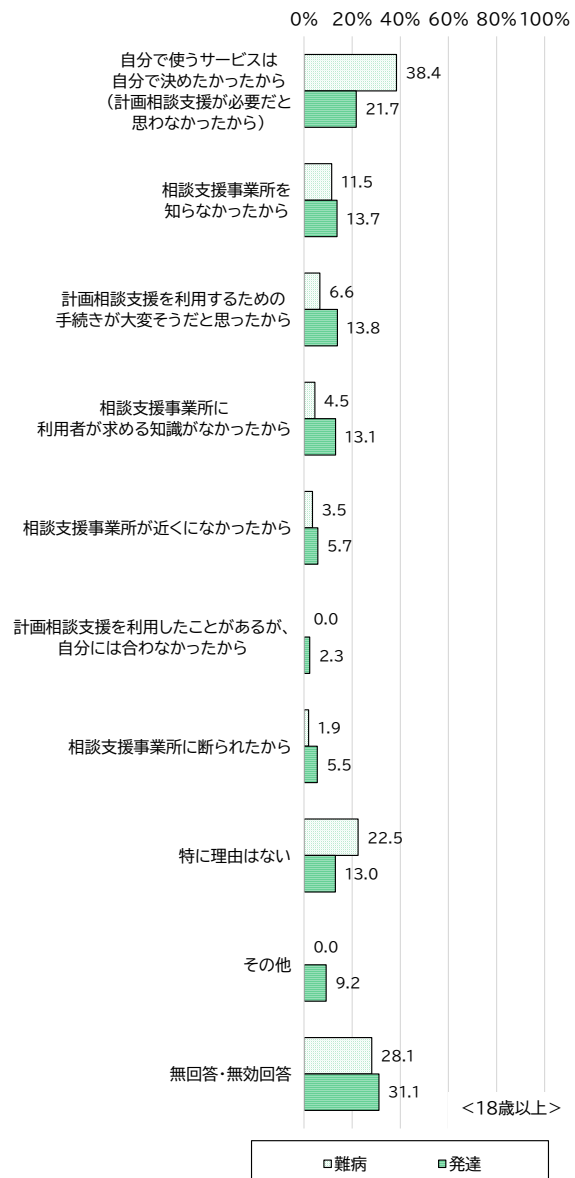
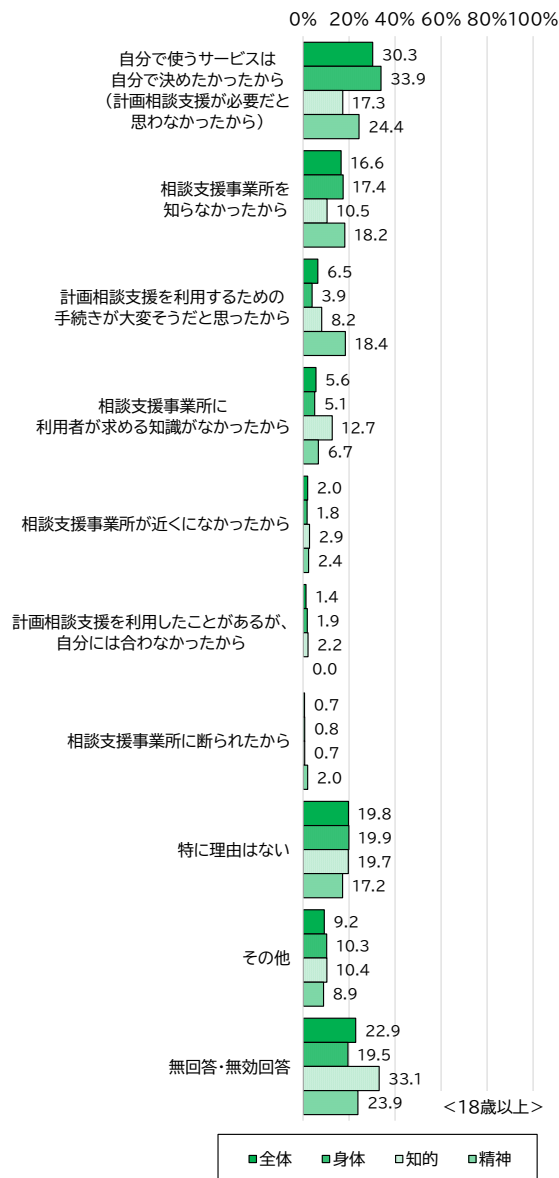
【計画相談支援を利用しない理由（18 歳未満）（障がい種別）】

単位：%

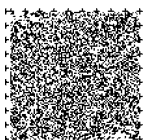
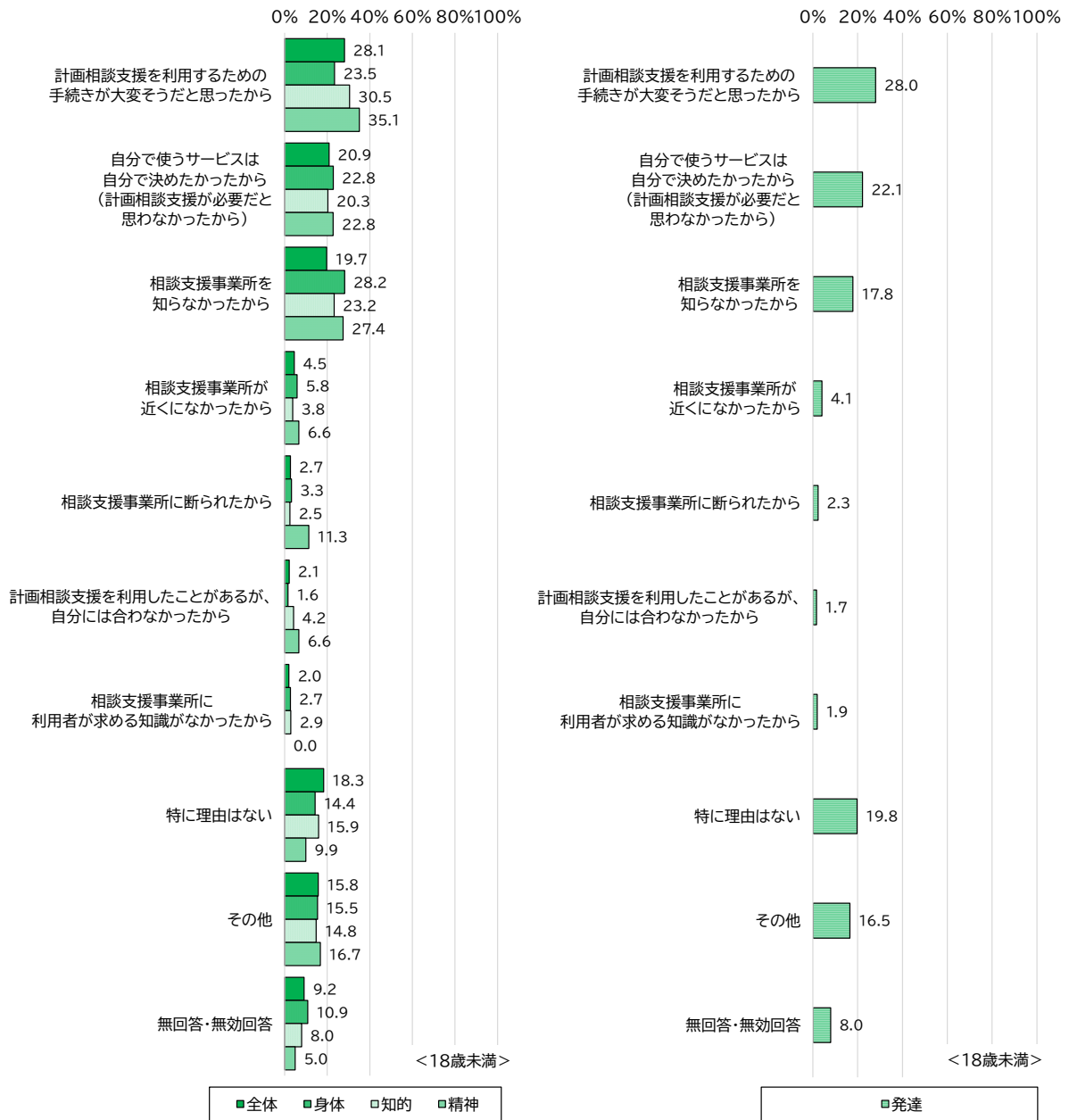
回答者数（人）		自分が使うサービスは自分で決めたかったから	相談支援のサービスがあることを知らなかったから	相談支援事業所が近くになかったから	計画相談支援を利用するための手続きが大変そうだったから	相談支援事業所に断られたから	計画相談支援を利用したことがあるが、自分には合わなかったから	相談支援事業所に自分が求める知識がなかったから	特に理由はない	その他	無回答
全体(n=458)		28.4	17.9	7.6	31.4	2.4	1.3	1.1	16.8	16.8	2.4
障がい種別	身体(n=45)	26.7	24.4	11.1	26.7	2.2	-	2.2	22.2	11.1	2.2
	知的(n=242)	30.2	18.2	8.3	34.7	2.9	2.1	1.2	14.0	12.8	2.9
	精神(n=24)	25.0	12.5	4.2	29.2	8.3	-	4.2	25.0	20.8	-
	難病(-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	発達(n=270)	30.4	16.3	7.8	34.1	3.3	0.7	0.4	15.9	17.4	2.2
	高次(n=2)	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-



参考：前回調査結果 計画相談支援を利用しない理由（18歳以上）



参考：前回調査結果 計画相談支援を利用しない理由（18歳未満）

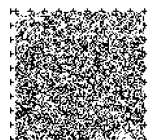
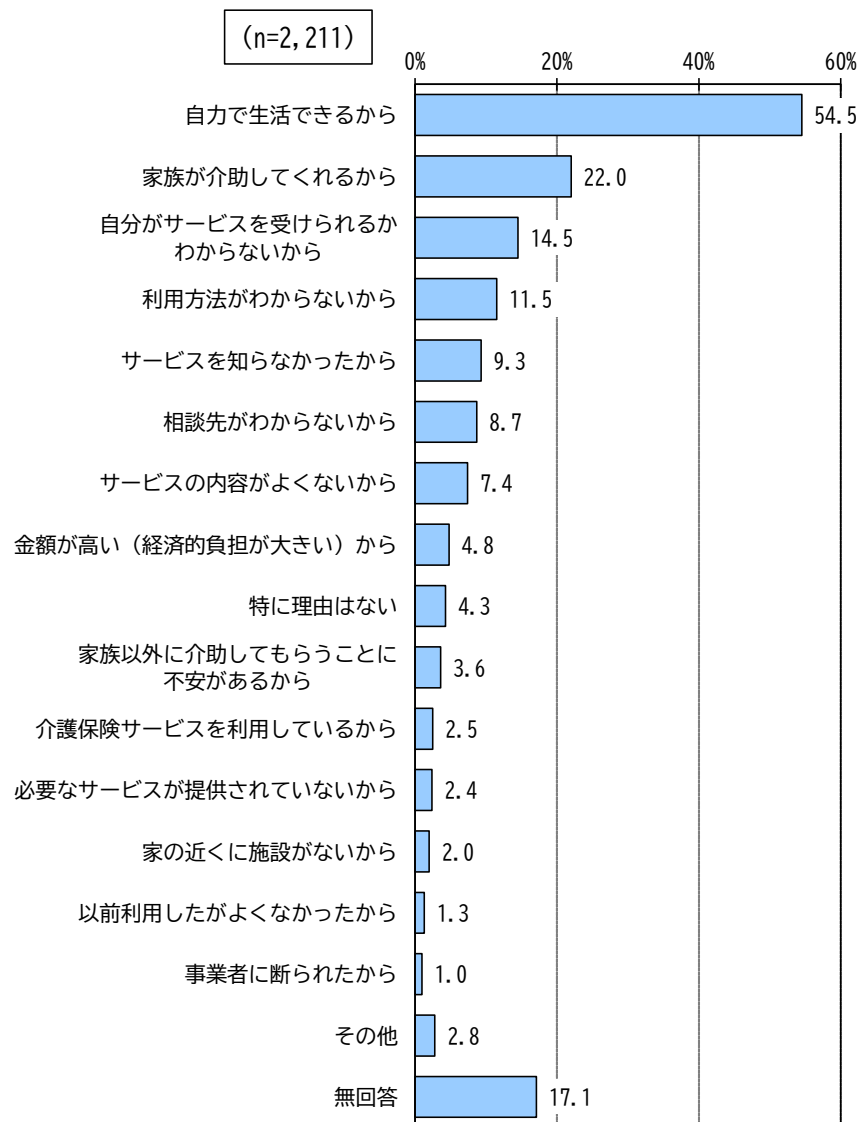


(10) サービスを利用しない理由

- サービスを利用しない理由について、18 歳以上の方全体では、「自力で生活できるから」が 54.5%で最も多く、次いで「家族が介助してくれるから」が 22.0%、「自分がサービスを受けられるかわからないから」が 14.5%となっています。

【18 歳以上 問 16】 あなたがサービスを利用していない理由は何ですか。(複数回答)

【サービスを利用しない理由（18 歳以上）】

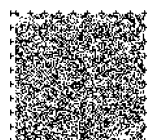


【サービスを利用しない理由（18歳以上）（障がい種別）】

単位：％

回答者数(人)		自力で生活できるから	家族が介助してくれるから	介護保険サービスを利用しているから	知らなかったから	自分がサービスを受けられるかわからないから	利用方法がわからないから	サービスの内容がよくないから	必要なサービスが提供されていないから
全体(n=2,211)		54.5	22.0	2.5	9.3	14.5	11.5	7.4	2.4
障がい種別	身体(n=1,204)	56.6	23.1	3.7	8.1	12.9	10.3	7.0	2.2
	知的(n=195)	24.1	33.8	-	5.6	9.2	10.8	3.6	1.5
	精神(n=522)	42.9	24.9	1.0	16.3	25.3	20.3	12.6	5.0
	難病(n=605)	66.8	15.7	2.5	6.3	10.7	6.3	5.5	0.8
	発達(n=115)	33.9	32.2	-	20.9	33.0	28.7	15.7	6.1
	高次(n=49)	34.7	40.8	6.1	6.1	18.4	16.3	8.2	2.0

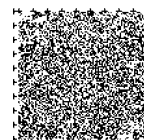
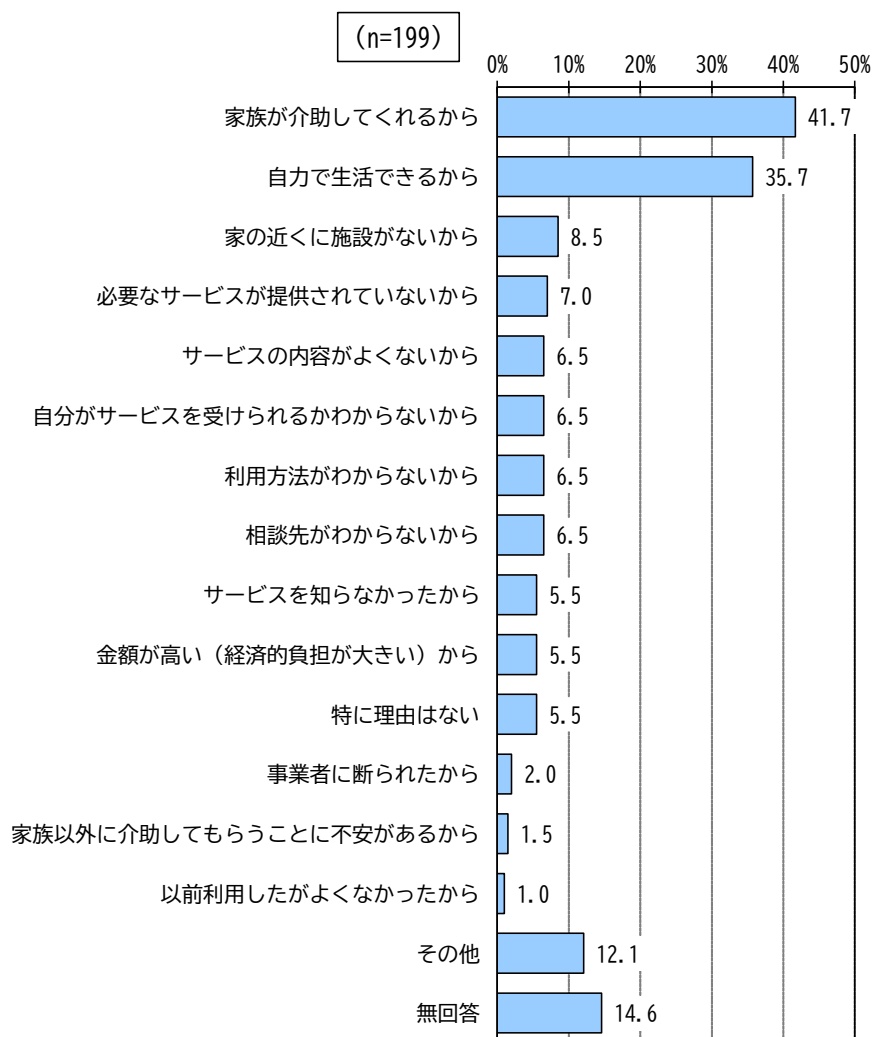
		金額が高い（経済的負担が大きい）から	家の近くに施設がないから	家族以外に介助してもらいうことに不安があるから	事業者には断られたから	以前利用したがよくなかったから	相談先がわからないから	特に理由はない	その他	無回答
全体		4.8	2.0	3.6	1.0	1.3	8.7	4.3	2.8	17.1
障がい種別	身体	4.1	1.3	2.2	0.7	0.7	7.0	2.9	2.5	17.9
	知的	5.1	4.6	10.8	2.6	1.5	6.2	10.8	4.6	26.7
	精神	8.4	4.2	7.1	1.7	2.9	18.8	5.2	4.0	15.1
	難病	3.8	0.2	1.5	1.0	0.7	4.8	4.0	2.1	15.7
	発達	14.8	7.0	13.9	5.2	7.0	25.2	2.6	6.1	8.7
	高次	2.0	2.0	8.2	2.0	2.0	10.2	-	4.1	18.4



○ 18 歳未満の方全体では、「家族が介助してくれるから」が 41.7%で最も多く、次いで「自力で生活できるから」が 35.7%、「家の近くに施設がないから」が 8.5%となっています。

【18 歳未満 問 14】 あなたがサービスを利用していない理由は何ですか。（複数回答）

【サービスを利用しない理由（18 歳未満）】

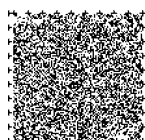


【サービスを利用しない理由（18歳未満）（障がい種別）】

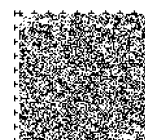
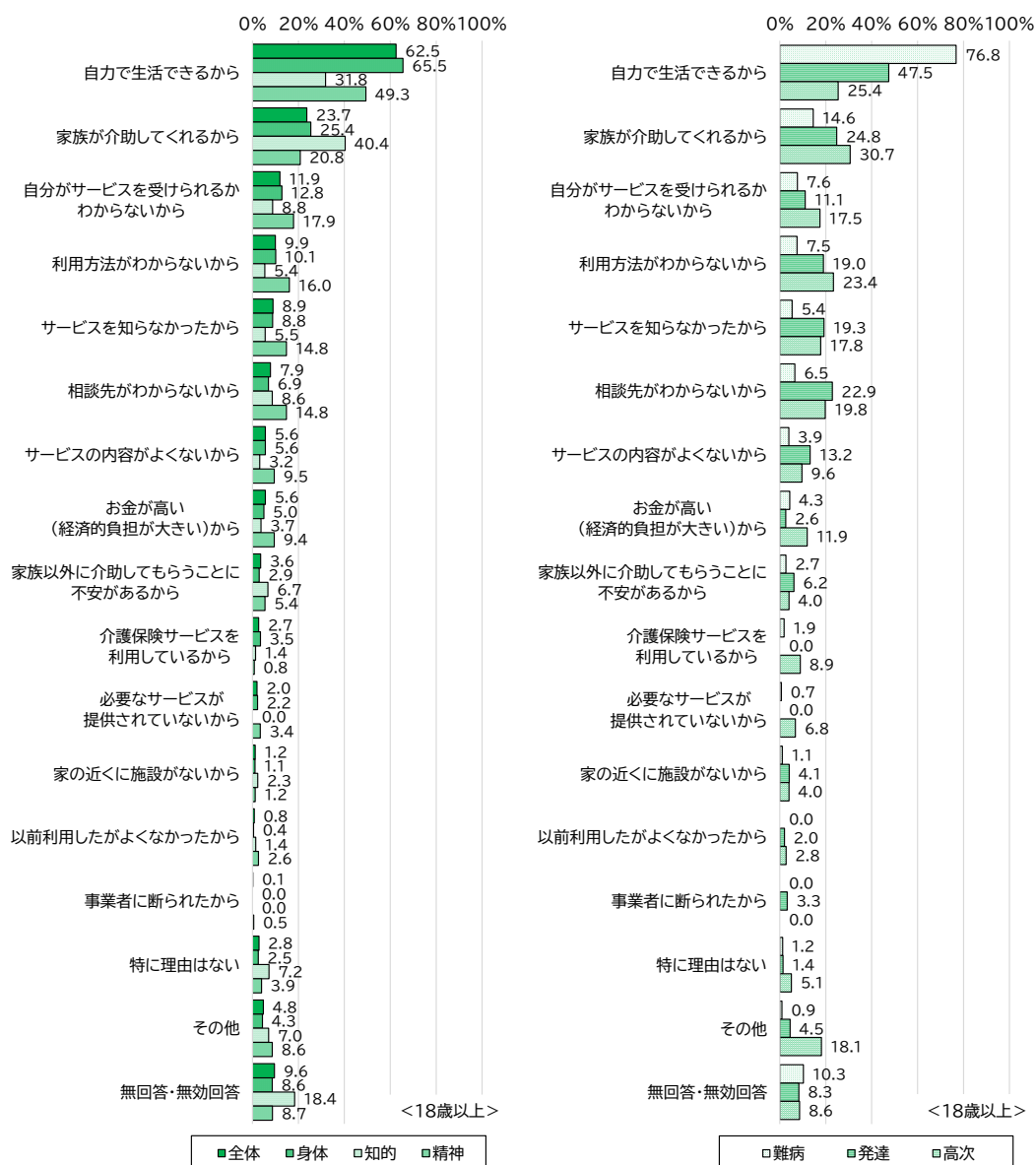
単位：％

回答者数(人)		自力で生活できるから	家族が介助してくれるから	サービスを知らなかったから	自分がサービスを受けられるかわからないから	利用方法がわからないから	サービスの内容がよくないから	必要なサービスが提供されていないから	金額が高い（経済的負担が大きい）から
全体(n=199)		35.7	41.7	5.5	6.5	6.5	6.5	7.0	5.5
障がい種別	身体(n=61)	47.5	57.4	6.6	6.6	4.9	4.9	6.6	-
	知的(n=85)	30.6	48.2	7.1	5.9	4.7	7.1	5.9	8.2
	精神(n=28)	25.0	32.1	3.6	17.9	17.9	17.9	17.9	14.3
	難病(n=1)	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	発達(n=86)	27.9	34.9	4.7	5.8	8.1	5.8	8.1	9.3
	高次(n=2)	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-

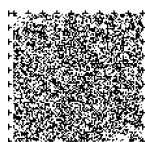
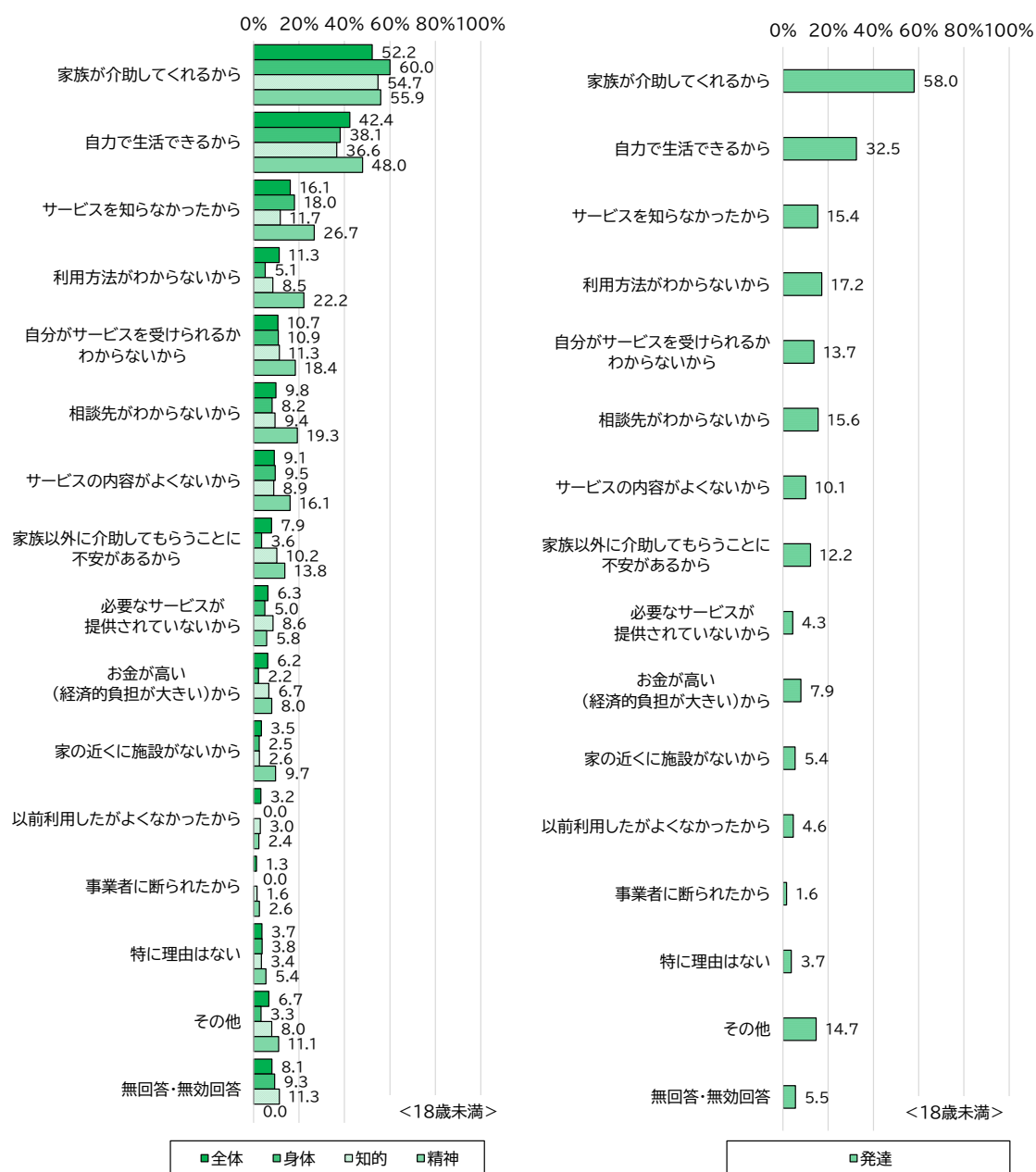
		家の近くに施設がないから	家族以外に介助してもらうことに不安があるから	事業者には断られたから	以前利用したがよくなかったから	相談先がわからないから	特に理由はない	その他	無回答
全体		8.5	1.5	2.0	1.0	6.5	5.5	12.1	14.6
障がい種別	身体	1.6	1.6	-	-	1.6	4.9	1.6	9.8
	知的	11.8	2.4	2.4	1.2	8.2	5.9	12.9	11.8
	精神	14.3	7.1	7.1	-	17.9	7.1	14.3	21.4
	難病	-	-	-	-	-	-	-	-
	発達	14.0	2.3	4.7	2.3	8.1	5.8	20.9	17.4
	高次	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-



参考：前回調査結果 サービスを利用しない理由（18歳以上）



参考：前回調査結果 サービスを利用しない理由（18歳未満）



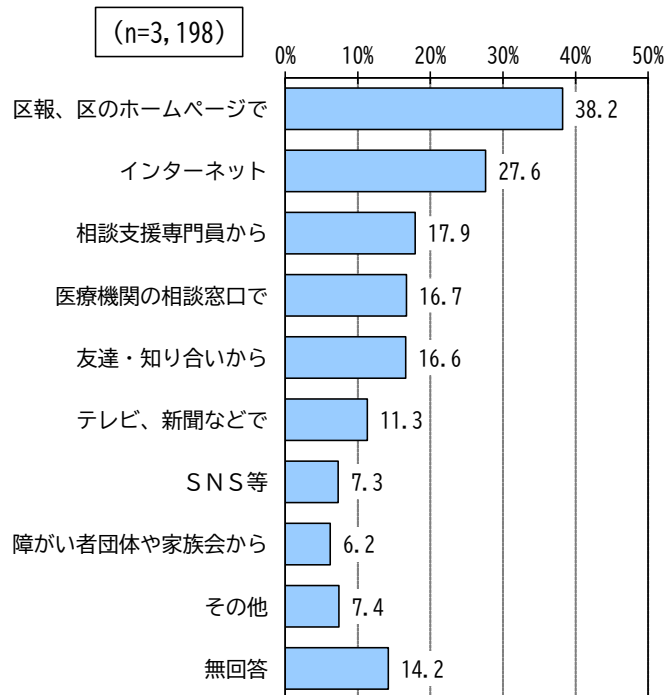
4. 情報や相談

(1) 福祉情報の入手方法

- 福祉情報の入手方法について、18 歳以上の方全体では、「区報、区のホームページで」が 38.2%で最も多く、次いで「インターネット」が 27.6%、「相談支援専門員から」が 17.9%となっています。

【18 歳以上 問 17】 福祉についての情報などを、どのような方法で手に入れていますか。(複数回答)

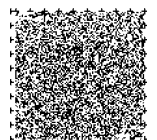
【福祉情報の入手方法 (18 歳以上)】



【福祉情報の入手方法 (18 歳以上) (障がい種別)】

単位: %

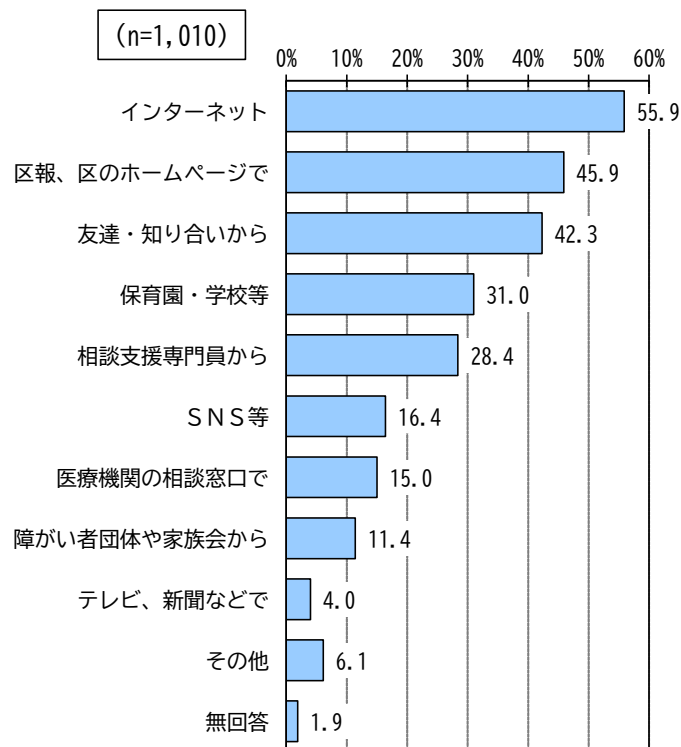
回答者数(人)		友達・知り合いから	区報、区のホームページで	インターネット	SNS等	相談支援専門員から	医療機関の相談窓口で	障がい者団体や家族会から	テレビ、新聞などで	その他	無回答
全体(n=3,198)		16.6	38.2	27.6	7.3	17.9	16.7	6.2	11.3	7.4	14.2
障がい種別	身体(n=1,722)	15.6	40.0	23.0	4.3	14.9	13.7	5.1	13.2	6.5	17.4
	知的(n=588)	24.1	33.8	19.0	5.4	41.2	7.3	21.4	7.3	9.2	11.6
	精神(n=760)	17.2	34.1	39.1	14.7	21.4	22.5	4.9	7.6	10.1	9.5
	難病(n=730)	13.8	40.8	32.7	7.1	10.0	23.8	1.9	10.4	6.6	12.3
	発達(n=221)	24.4	38.9	46.2	19.5	30.3	18.1	12.2	10.0	8.1	4.5
	高次(n=87)	12.6	35.6	29.9	3.4	29.9	14.9	9.2	2.3	9.2	11.5



○ 18 歳未満の方全体では、「インターネット」が 55.9%で最も多く、次いで「区報、区のホームページで」が 45.9%、「友達・知り合いから」が 42.3%となっています。

【18 歳未満 問 15】 福祉についての情報などを、どのような方法で手に入れていますか。（複数回答）

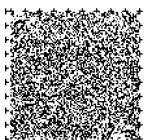
【福祉情報の入手方法（18 歳未満）】



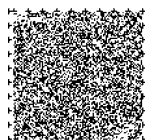
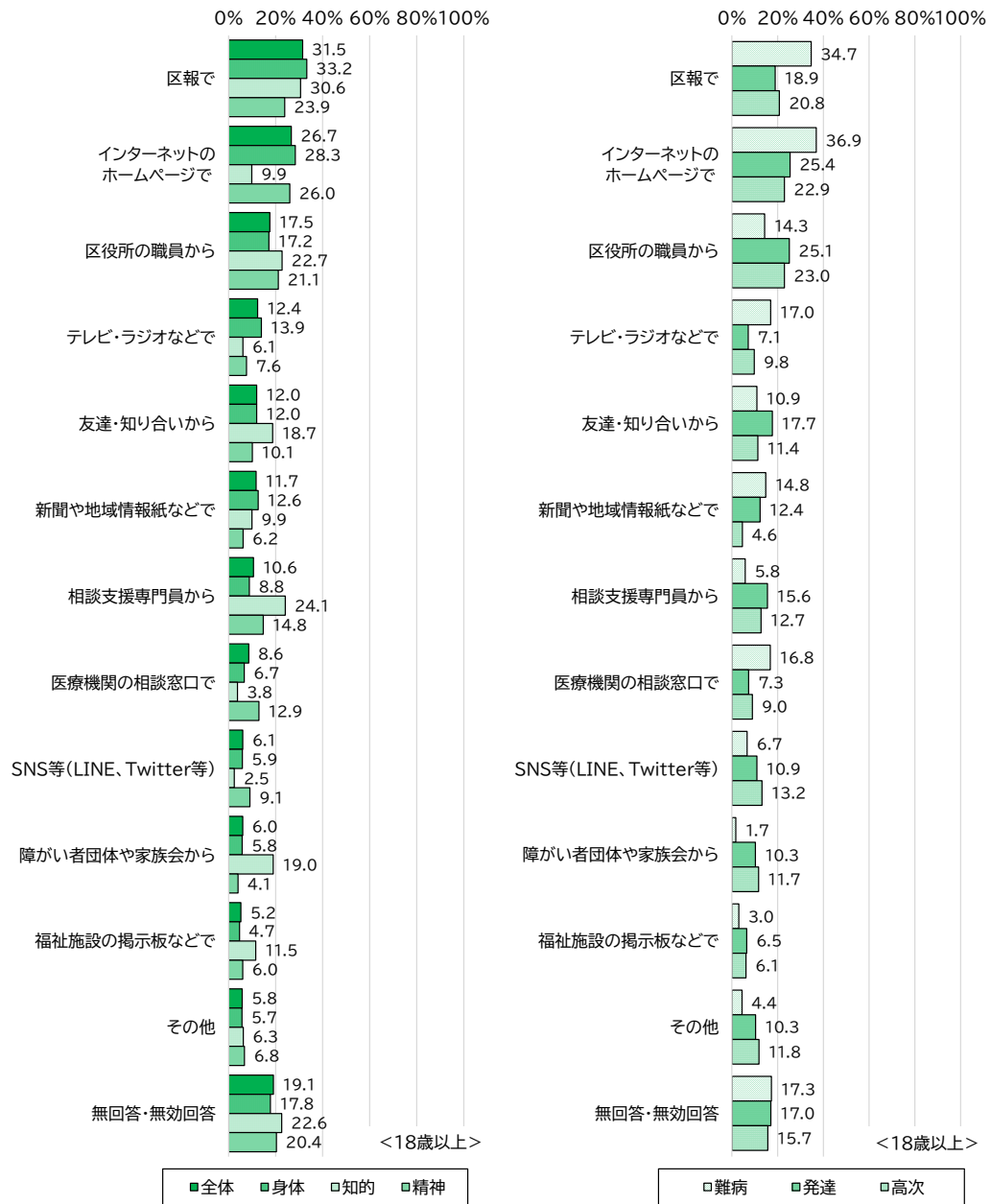
【福祉情報の入手方法（18 歳未満）（障がい種別）】

単位：%

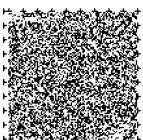
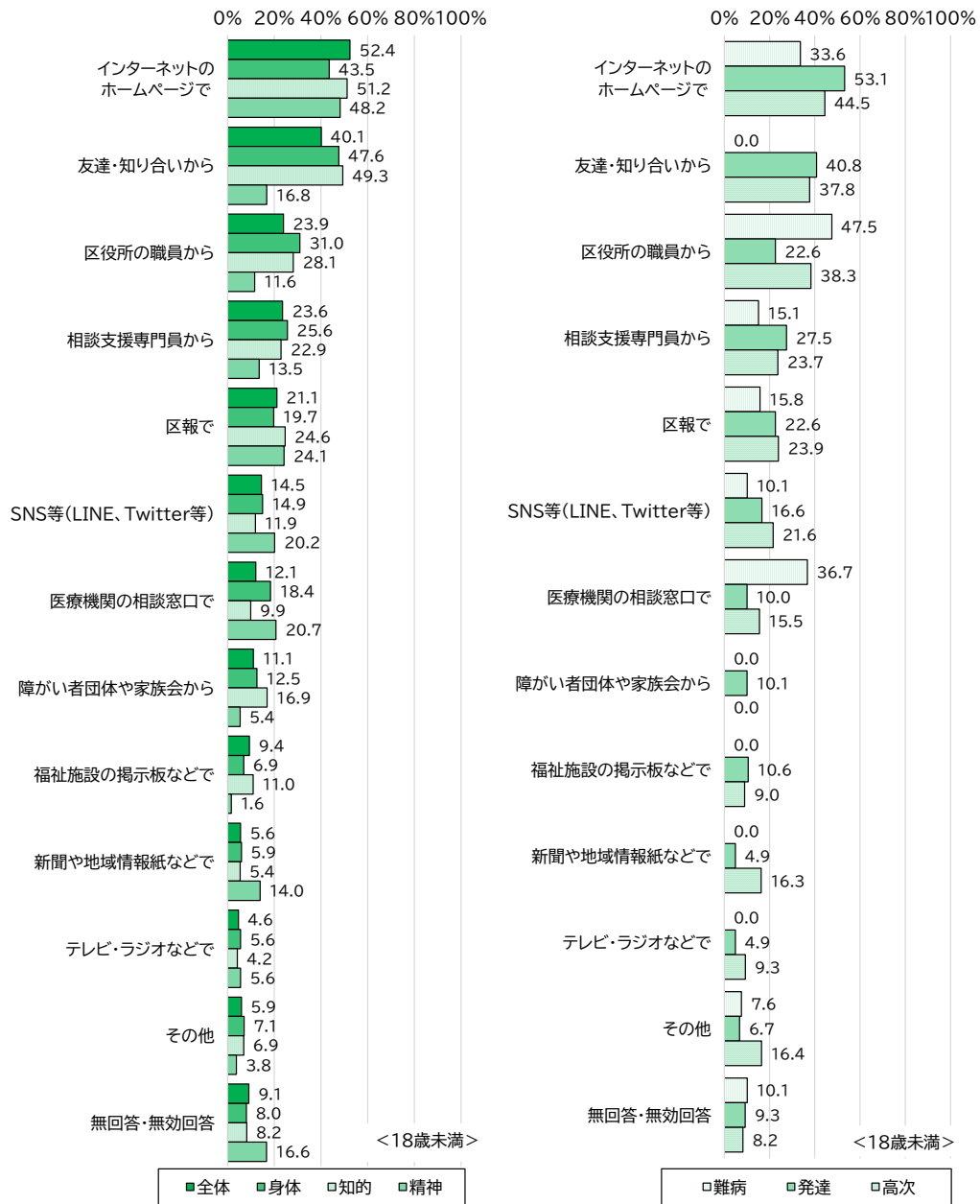
回答者数(人)		友達・知り合いから	区報、区のホームページで	インターネット	SNS等	相談支援専門員から	医療機関の相談窓口で	障がい者団体や家族会から	テレビ、新聞などで	保育園・学校等	その他	無回答
全体(n=1,010)		42.3	45.9	55.9	16.4	28.4	15.0	11.4	4.0	31.0	6.1	1.9
障がい種別	身体(n=182)	46.7	43.4	56.0	18.7	26.9	20.9	13.2	3.3	26.4	7.1	1.1
	知的(n=550)	50.4	47.1	54.7	17.1	30.0	13.3	16.5	4.2	38.0	5.5	1.5
	精神(n=68)	26.5	44.1	54.4	22.1	25.0	13.2	14.7	2.9	17.6	4.4	2.9
	難病(n=3)	-	-	33.3	-	33.3	66.7	33.3	-	-	-	-
	発達(n=555)	42.3	46.3	56.2	17.3	30.8	14.6	10.3	5.0	32.1	7.6	1.1
	高次(n=9)	44.4	44.4	33.3	22.2	22.2	33.3	22.2	22.2	11.1	22.2	-



参考：前回調査結果 福祉情報の入手方法（18歳以上）



参考：前回調査結果 福祉情報の入手方法（18歳未満）

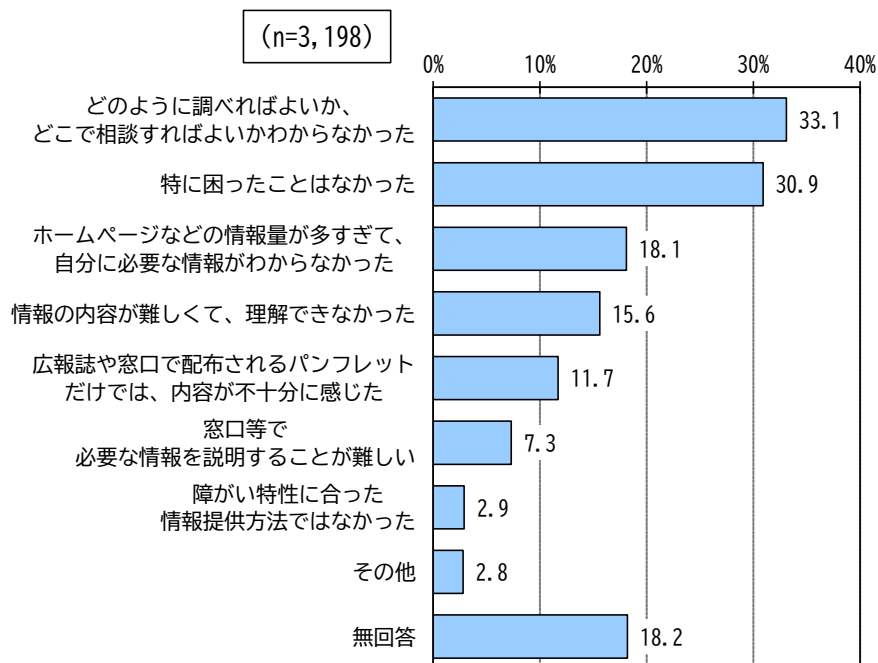


(2) 福祉情報の入手で困ったこと

- 福祉情報の入手で困ったことについて、18 歳以上の方全体では、「どのように調べればよいかわ、どこで相談すればよいかわからなかった」が 33.1%で最も多く、次いで「特に困ったことはなかった」が 30.9%、「ホームページなどの情報量が多すぎて、自分に必要な情報がわからなかった」が 18.1%となっています。

【18 歳以上 問 18】 福祉についての情報などを、手に入れるときに困ったことは何ですか。(複数回答)

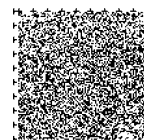
【福祉情報の入手で困ったこと (18 歳以上)】



【福祉情報の入手で困ったこと (18 歳以上) (障がい種別)】

単位: %

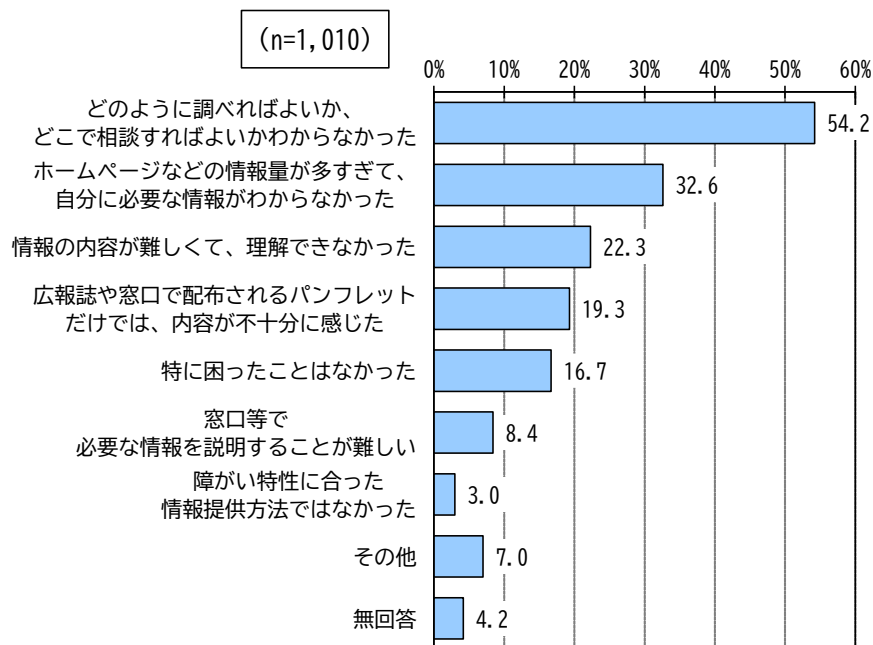
回答者数(人)		どのように調べればよいかわからなかった	ホームページなどの情報量が多すぎて、自分に必要な情報がわからなかった	情報の内容が難しく、理解できなかった	広報誌や窓口で配布されるパンフレットだけでは、内容が不十分に感じた	障がい特性に合った情報提供方法ではなかった	窓口等で必要な情報を説明することが難しい	その他	特に困ったことはなかった	無回答
全体(n=3,198)		33.1	18.1	15.6	11.7	2.9	7.3	2.8	30.9	18.2
障がい種別	身体(n=1,722)	28.3	13.8	10.4	10.5	3.2	5.2	2.2	32.2	23.7
	知的(n=588)	34.4	15.5	18.7	15.5	3.6	10.5	2.2	30.3	16.8
	精神(n=760)	46.3	28.8	25.9	15.8	3.0	12.8	4.7	22.2	9.9
	難病(n=730)	30.4	20.3	15.6	11.1	1.9	5.3	2.6	34.2	15.2
	発達(n=221)	45.7	30.8	29.9	21.3	5.4	17.6	4.1	22.6	7.7
	高次(n=87)	36.8	23.0	19.5	11.5	6.9	13.8	4.6	25.3	18.4



- 18 歳未満の方全体では、「どのように調べればよいか、どこで相談すればよいかわからなかった」が 54.2%で最も多く、次いで「ホームページなどの情報量が多すぎて、自分に必要な情報がわからなかった」が 32.6%、「情報の内容が難しく、理解できなかった」が 22.3%となっています。

【18 歳未満 問 16】 福祉についての情報などを、手に入れるときに困ったことは何ですか。（複数回答）

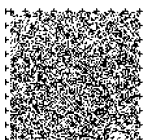
【福祉情報の入手で困ったこと（18 歳未満）】



【福祉情報の入手で困ったこと（18 歳未満）（障がい種別）】

単位：%

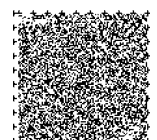
回答者数(人)		どのように調べればよいか、どこで相談すればよいかわからなかった	ホームページなどの情報量が多すぎて、自分に必要な情報がわからなかった	情報の内容が難しく、理解できなかった	広報誌や窓口で配布されるパンフレットだけでは、内容が不十分に感じた	障がい特性に合った情報提供方法ではなかった	窓口等で必要な情報を説明することが難しい	その他	特に困ったことはなかった	無回答
全体(n=1,010)		54.2	32.6	22.3	19.3	3.0	8.4	7.0	16.7	4.2
障がい種別	身体(n=182)	48.4	33.5	26.4	18.1	4.4	8.2	11.5	21.4	3.8
	知的(n=550)	57.1	33.8	25.5	20.5	4.5	9.8	7.1	14.9	3.5
	精神(n=68)	50.0	33.8	25.0	22.1	2.9	13.2	7.4	20.6	5.9
	難病(n=3)	33.3	-	-	33.3	-	-	33.3	-	-
	発達(n=555)	53.0	33.2	20.4	21.1	3.1	9.7	5.9	16.2	4.3
	高次(n=9)	77.8	55.6	33.3	22.2	-	22.2	11.1	11.1	-



【福祉情報の入手で困ったこと（18歳未満）（回答者別）】

単位：％

回答者数(人)		どこのように調べればよいか、どこで相談すればよいかわからなかった	ホームページなどの情報量が多すぎて、自分に必要な情報がわからなかった	情報の内容が難しく、理解できなかった	広報誌や窓口で配布されるパンフレットだけでは、内容が不十分に感じた	障がい特性に合った情報提供方法ではなかった	窓口等で必要な情報を説明することが難しい	その他	特に困ったことはなかった	無回答
全体(n=1,010)		54.2	32.6	22.3	19.3	3.0	8.4	7.0	16.7	4.2
回答者別	本人(n=48)	25.0	12.5	6.3	6.3	-	6.3	4.2	52.1	6.3
	本人の意見を聞いて家族回答(n=345)	51.0	30.1	22.0	16.5	2.9	8.7	7.0	19.1	4.9
	本人の意向を考えて家族回答(n=570)	59.1	36.7	24.6	22.1	3.3	8.4	7.5	11.9	3.0

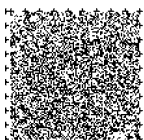
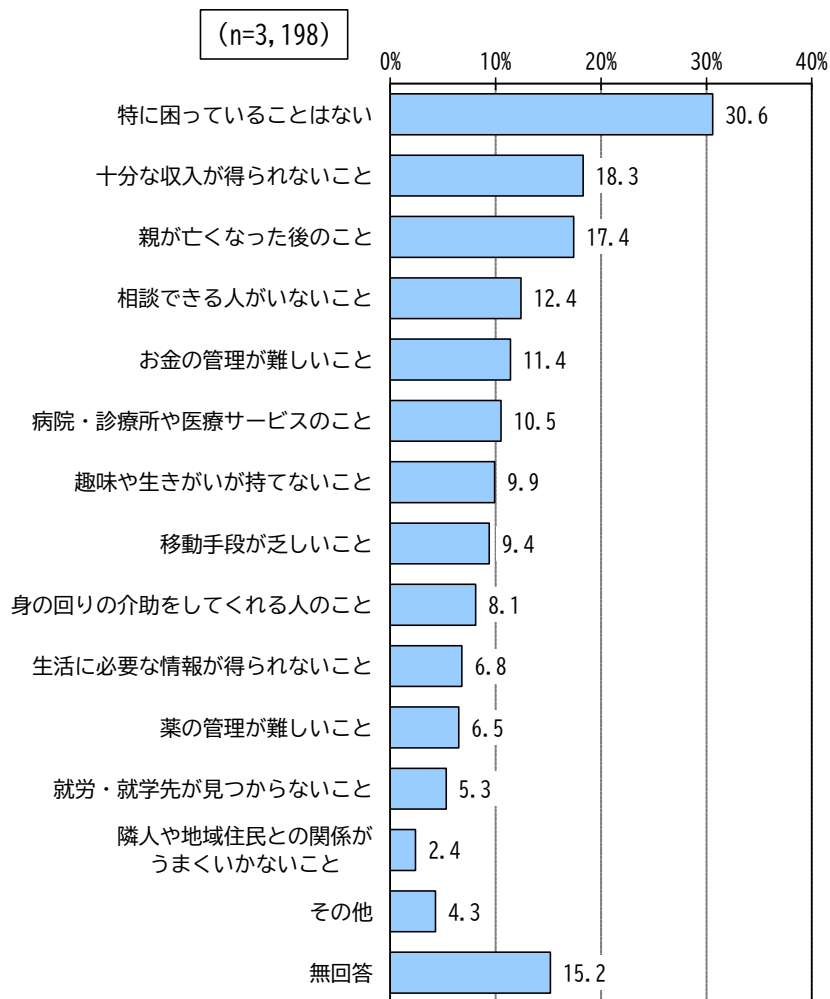


(3) 日常生活での困りごと・相談したいこと

- 日常生活での困りごと・相談したいことについて、18 歳以上の方全体では、「特に困っていることはない」が 30.6%で最も多く、次いで「十分な収入が得られないこと」が 18.3%、「親が亡くなった後のこと」が 17.4%となっています。

【18 歳以上 問 19】 あなたが日常の生活で困っていたり、相談したいと思っていることはどのようなことですか。(複数回答)

【日常生活での困りごと・相談したいこと (18 歳以上)】

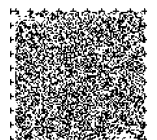


【日常生活での困りごと・相談したいこと（18歳以上）（障がい種別）】

単位：％

回答者数(人)		身の回りの介助をしてくれる人のこと	相談できる人がいないこと	移動手段が乏しいこと	就労・就学先が見つからないこと	十分な収入が得られないこと	趣味や生きがいがないこと	生活に必要な情報が得られないこと
全体(n=3,198)		8.1	12.4	9.4	5.3	18.3	9.9	6.8
障がい種別	身体(n=1,722)	8.9	8.8	11.7	2.3	13.0	7.3	5.7
	知的(n=588)	13.1	12.1	8.8	6.6	16.5	8.8	6.3
	精神(n=760)	7.9	25.7	8.0	12.9	36.6	20.8	12.2
	難病(n=730)	6.2	8.5	9.2	3.7	14.8	7.0	4.1
	発達(n=221)	10.9	26.7	11.8	14.9	36.7	20.4	15.4
	高次(n=87)	17.2	17.2	13.8	11.5	27.6	9.2	14.9
	強行(n=25)	24.0	16.0	20.0	12.0	16.0	24.0	20.0
	重心(n=53)	32.1	7.5	15.1	1.9	13.2	15.1	3.8

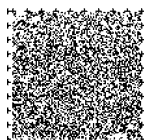
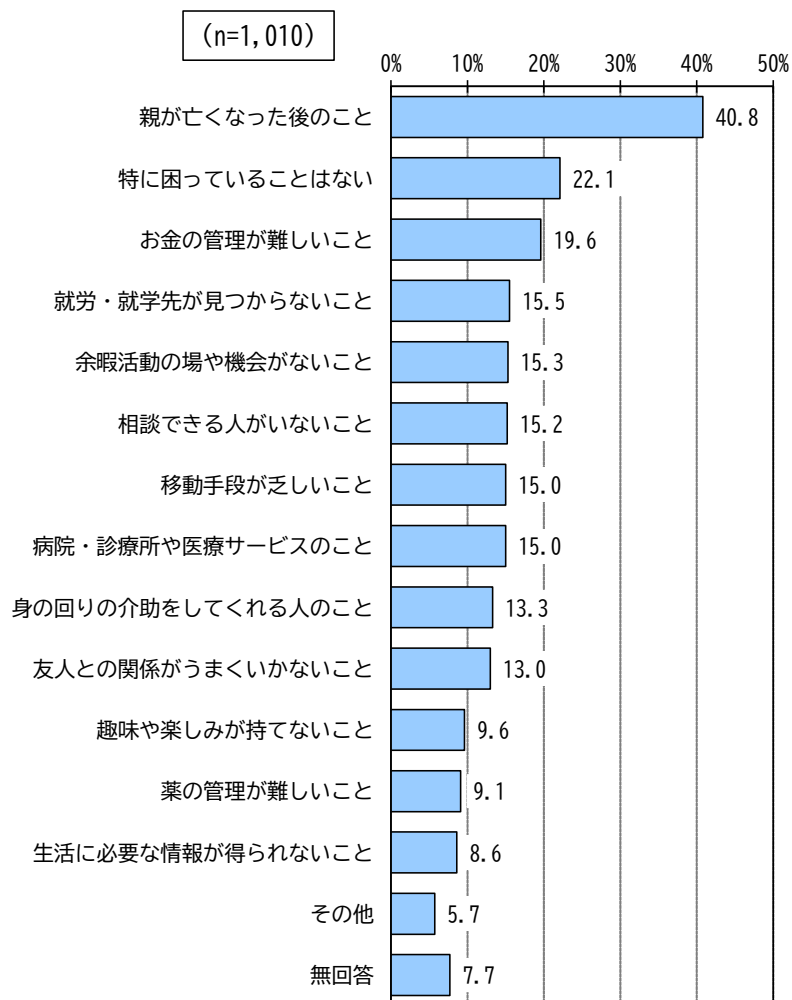
		病院・診療所や医療サービスのこと	薬の管理が難しいこと	隣人や地域住民との関係がうまくいかないこと	お金の管理が難しいこと	親が亡くなった後のこと	特に困っていることはない	その他	無回答
全体		10.5	6.5	2.4	11.4	17.4	30.6	4.3	15.2
障がい種別	身体	9.4	4.4	1.5	4.9	8.3	34.6	3.9	19.6
	知的	11.6	12.8	3.9	27.2	51.4	17.7	3.4	11.2
	精神	11.3	11.1	4.7	23.4	28.3	15.4	7.4	8.9
	難病	12.7	4.8	1.0	3.8	6.6	41.6	3.7	14.5
	発達	14.5	15.8	6.8	40.3	47.5	11.3	6.8	5.0
	高次	14.9	11.5	3.4	19.5	23.0	19.5	1.1	13.8
	強行	28.0	16.0	12.0	32.0	64.0	4.0	12.0	12.0
	重心	18.9	7.5	1.9	15.1	60.4	5.7	11.3	17.0



○ 18 歳未満の方全体では、「親が亡くなった後のこと」が 40.8%で最も多く、次いで「特に困っていることはない」が 22.1%、「お金の管理が難しいこと」が 19.6%となっています。

【18 歳未満 問 17】 あなたが日常の生活で困っていたり、相談したいと思っていることはどのようなことですか。（複数回答）

【日常生活での困りごと・相談したいこと（18 歳未満）】

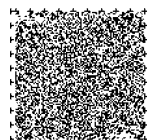


【日常生活での困りごと・相談したいこと（18歳未満）（障がい種別）】

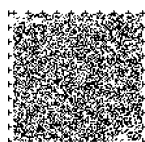
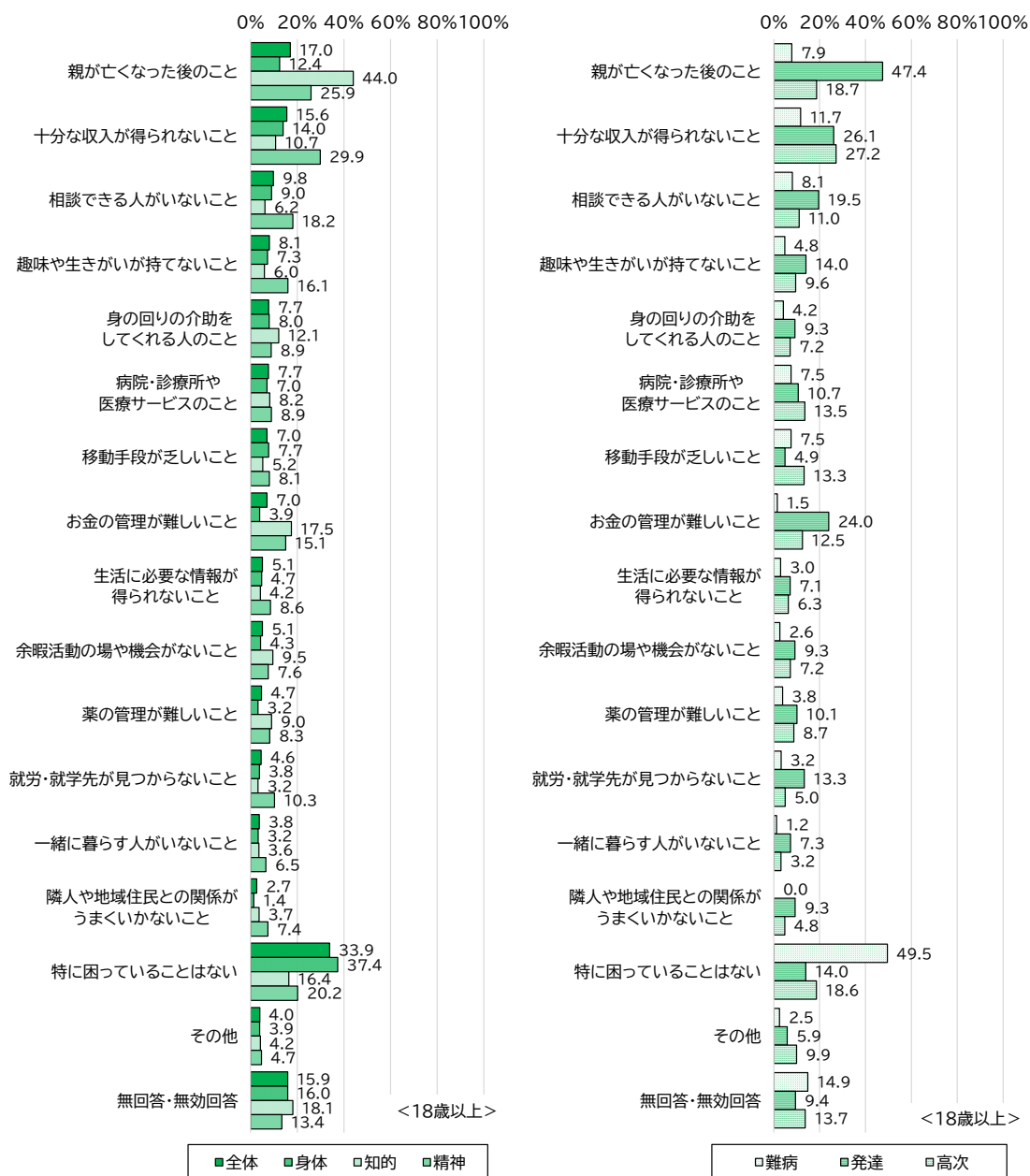
単位：％

回答者数(人)		身の回りの介助をしてくれる人のこと	相談できる人がいないこと	移動手段が乏しいこと	就労・就学先が見つからないこと	趣味や楽しみが持てないこと	生活に必要な情報が得られないこと	病院・診療所や医療サービスのこと
全体(n=1,010)		13.3	15.2	15.0	15.5	9.6	8.6	15.0
障がい種別	身体(n=182)	23.1	13.2	23.6	17.0	9.3	11.0	18.1
	知的(n=550)	19.8	15.8	20.0	17.5	12.7	11.8	19.3
	精神(n=68)	16.2	25.0	17.6	23.5	19.1	14.7	22.1
	難病(n=3)	-	-	-	-	33.3	-	-
	発達(n=555)	11.5	16.4	15.0	16.2	10.8	9.5	15.0
	高次(n=9)	44.4	44.4	33.3	11.1	22.2	22.2	33.3
	強行(n=15)	26.7	40.0	33.3	26.7	26.7	26.7	20.0
重心(n=44)		38.6	11.4	34.1	11.4	9.1	15.9	29.5

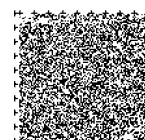
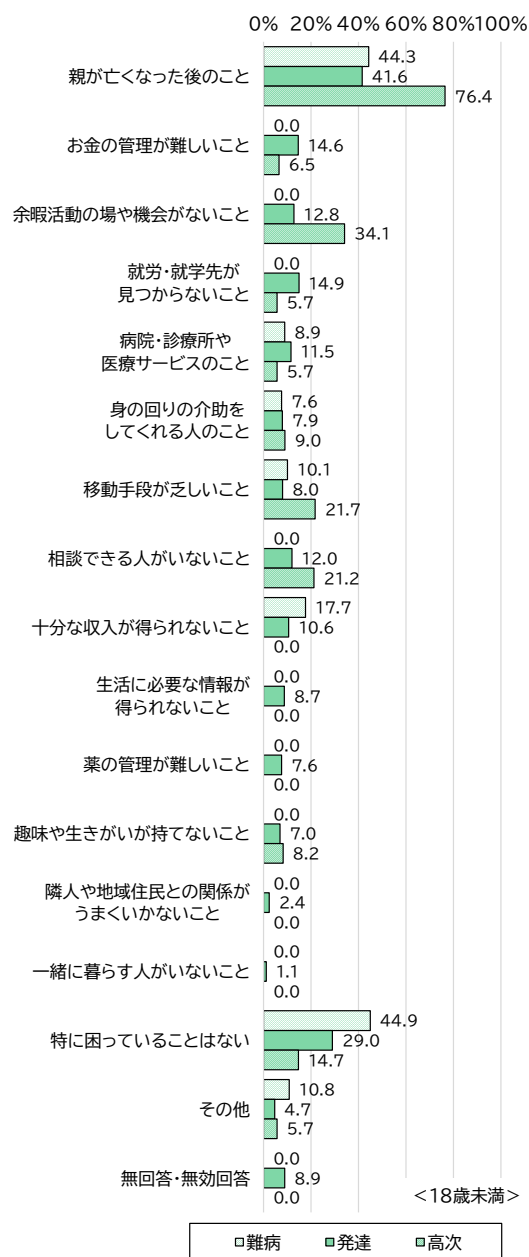
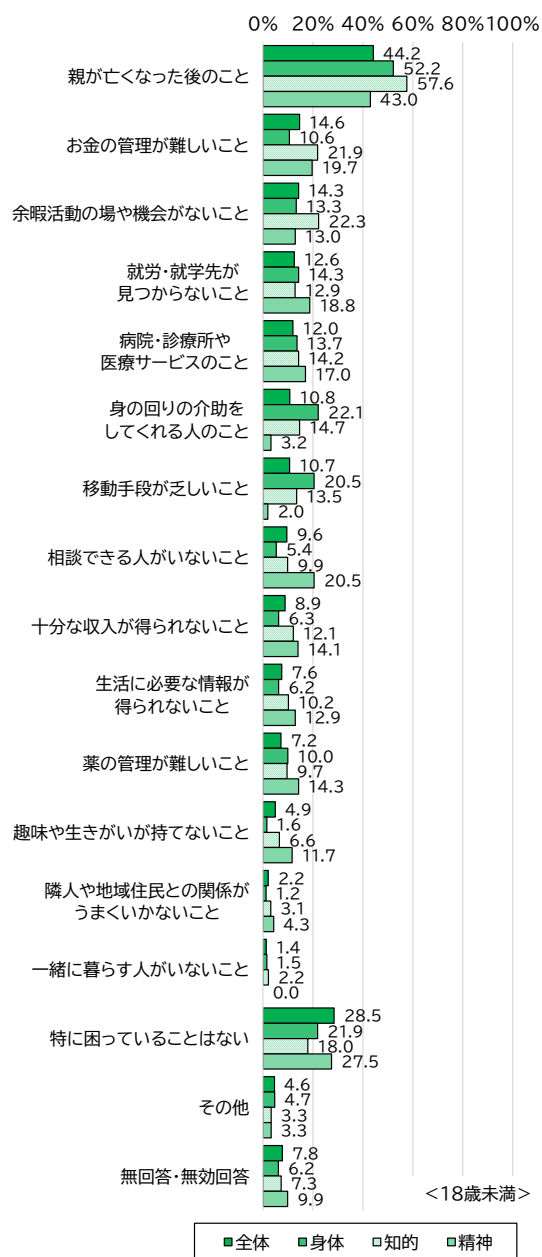
		友人との関係がうまくいかないこと	余暇活動の場や機会がないこと	薬の管理が難しいこと	お金の管理が難しいこと	親が亡くなった後のこと	特に困っていることはない	その他	無回答
全体		13.0	15.3	9.1	19.6	40.8	22.1	5.7	7.7
障がい種別	身体	3.3	13.2	9.3	17.0	46.7	20.3	7.7	6.0
	知的	9.6	23.5	11.6	27.5	59.6	12.0	5.3	5.8
	精神	25.0	14.7	23.5	30.9	44.1	11.8	7.4	4.4
	難病	-	-	33.3	-	-	33.3	33.3	-
	発達	16.9	16.8	10.8	21.4	38.4	22.5	5.9	7.6
	高次	11.1	44.4	11.1	33.3	55.6	11.1	22.2	-
	強行	20.0	40.0	20.0	20.0	46.7	13.3	13.3	-
重心		-	13.6	2.3	13.6	70.5	9.1	4.5	2.3



参考：前回調査結果 日常生活での困りごと・相談したいこと（18歳以上）



参考：前回調査結果 日常生活での困りごと・相談したいこと（18歳未満）

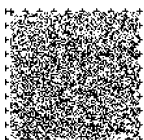
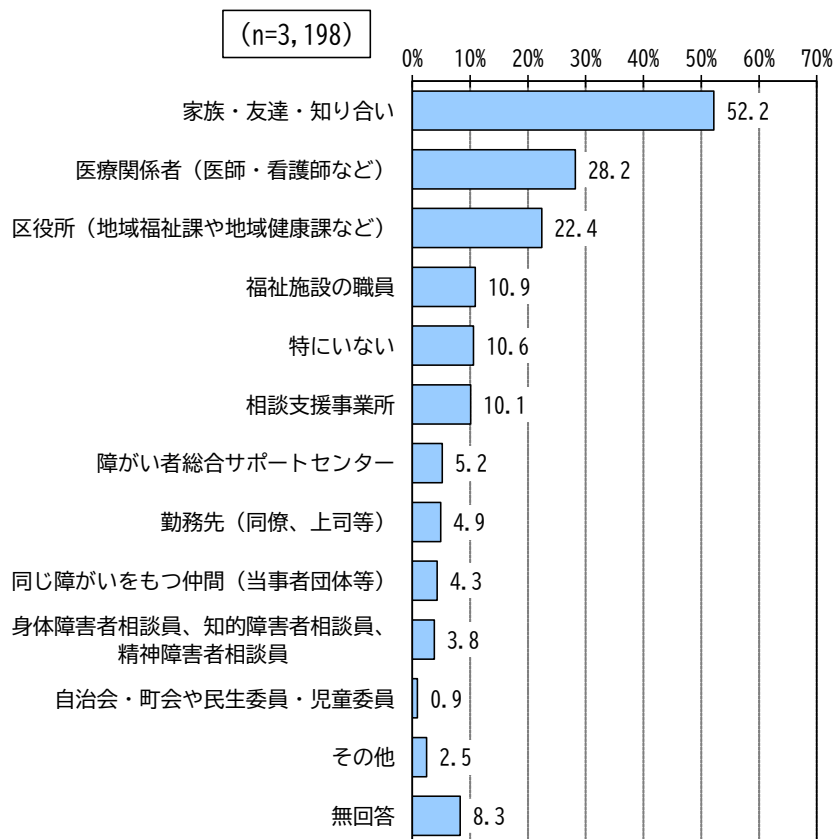


(4) 相談相手・相談先

- 相談相手・相談先について、18 歳以上の方全体では、「家族・友達・知り合い」が 52.2%で最も多く、次いで「医療関係者（医師・看護師など）」が 28.2%、「区役所（地域福祉課や地域健康課など）」が 22.4%となっています。

【18 歳以上 問 20-1】 いま、あなたが相談できるのは、どのようなところ（人）ですか。（複数回答）

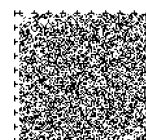
【相談相手・相談先（18 歳以上）】



【相談相手・相談先（18歳以上）（障がい種別）】

単位：％

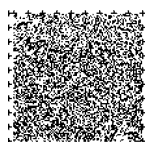
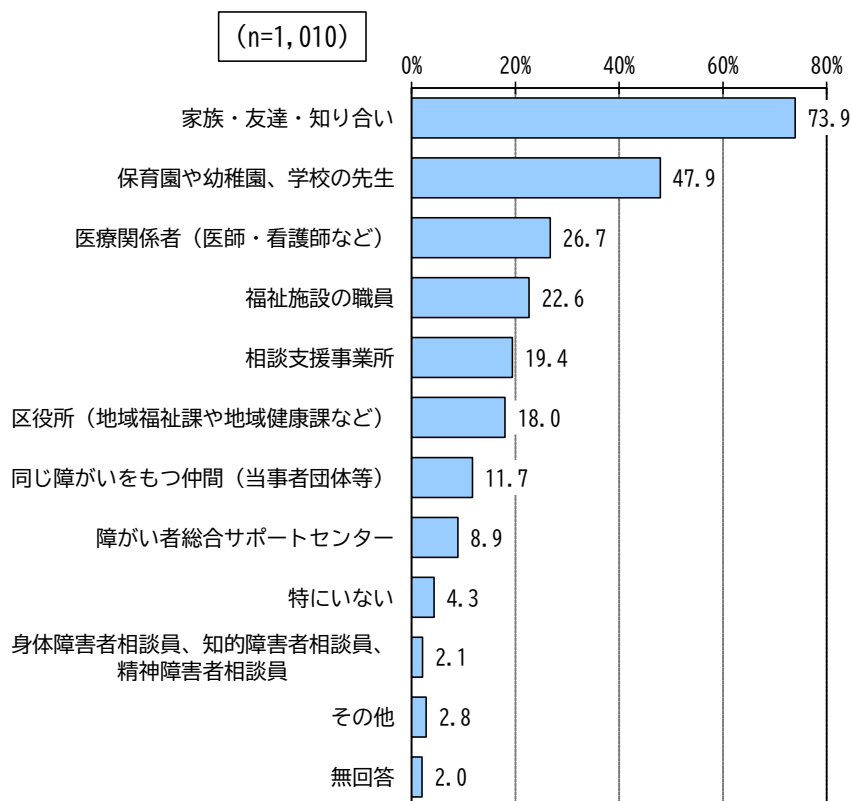
回答者数(人)		(地域福祉課や地域健康課など) 区役所	障がい者総合サポートセンター	相談支援事業所	身体障害者相談員、知的障害者相談員、 精神障害者相談員	家族・友達・知り合い	福祉施設の職員	(医師・看護師など) 医療関係者	同じ障がいをもつ仲間 (当事者団体等)	自治会・町会や民生委員・児童委員	(同僚、上司等) 勤務先	特にいない	その他	無回答
全体(n=3,198)		22.4	5.2	10.1	3.8	52.2	10.9	28.2	4.3	0.9	4.9	10.6	2.5	8.3
障がい種別	身体(n=1,722)	23.9	4.2	7.7	3.1	49.4	8.1	22.5	3.9	1.3	3.1	11.1	2.4	11.4
	知的(n=588)	22.3	12.8	29.3	9.4	58.0	35.5	17.5	6.3	0.9	7.5	4.9	2.0	4.9
	精神(n=760)	26.2	6.8	11.1	5.8	52.0	13.0	42.1	6.1	0.5	7.9	9.2	4.2	4.5
	難病(n=730)	21.1	1.6	5.9	0.7	54.0	3.3	37.5	2.9	0.5	4.1	13.0	1.8	6.6
	発達(n=221)	25.3	11.8	23.1	3.2	61.1	16.3	37.6	7.7	0.9	9.0	8.1	2.3	0.9
高次(n=87)		20.7	4.6	12.6	4.6	52.9	10.3	28.7	5.7	2.3	10.3	6.9	2.3	6.9



- 18 歳未満の方全体では、「家族・友達・知り合い」が 73.9%で最も多く、次いで「保育園や幼稚園、学校の先生」が 47.9%、「医療関係者（医師・看護師など）」が 26.7%となっています。

【18 歳未満 問 18-1】 いま、あなたが相談できるのは、どのようなところ（人）ですか。（複数回答）

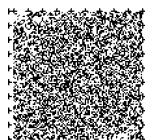
【相談相手・相談先（18 歳未満）】



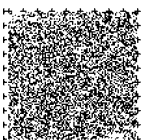
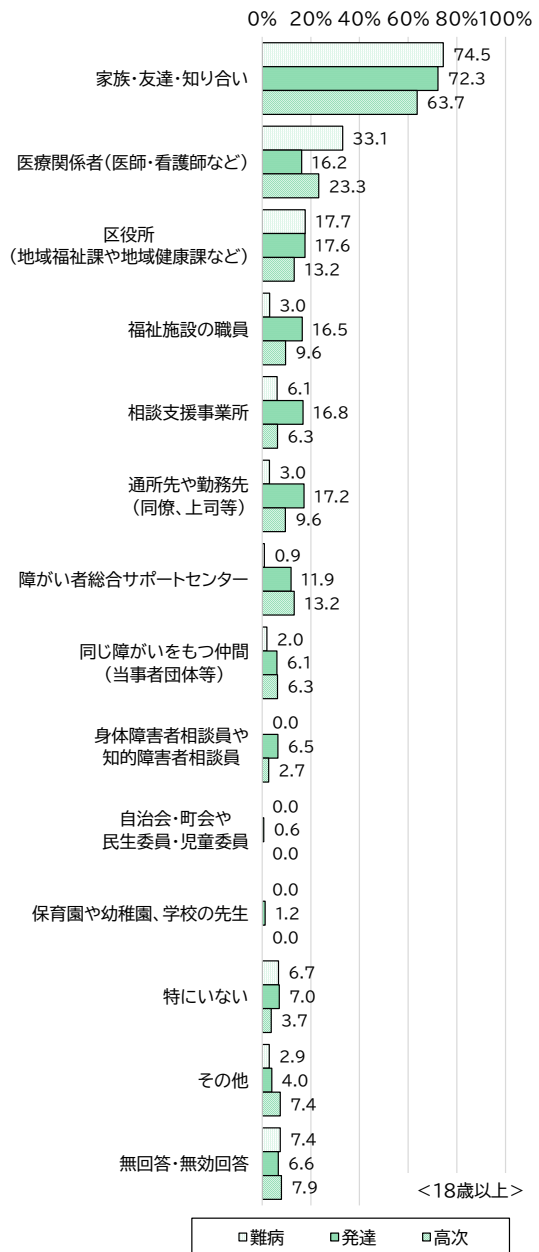
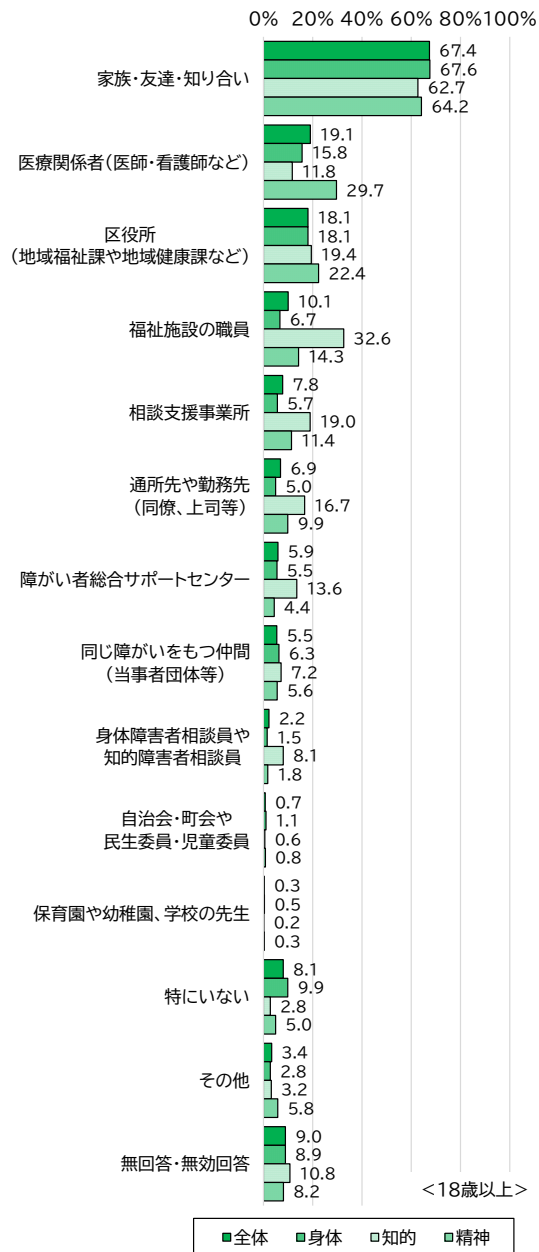
【相談相手・相談先（18歳未満）（障がい種別）】

単位：％

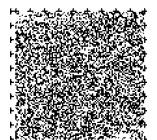
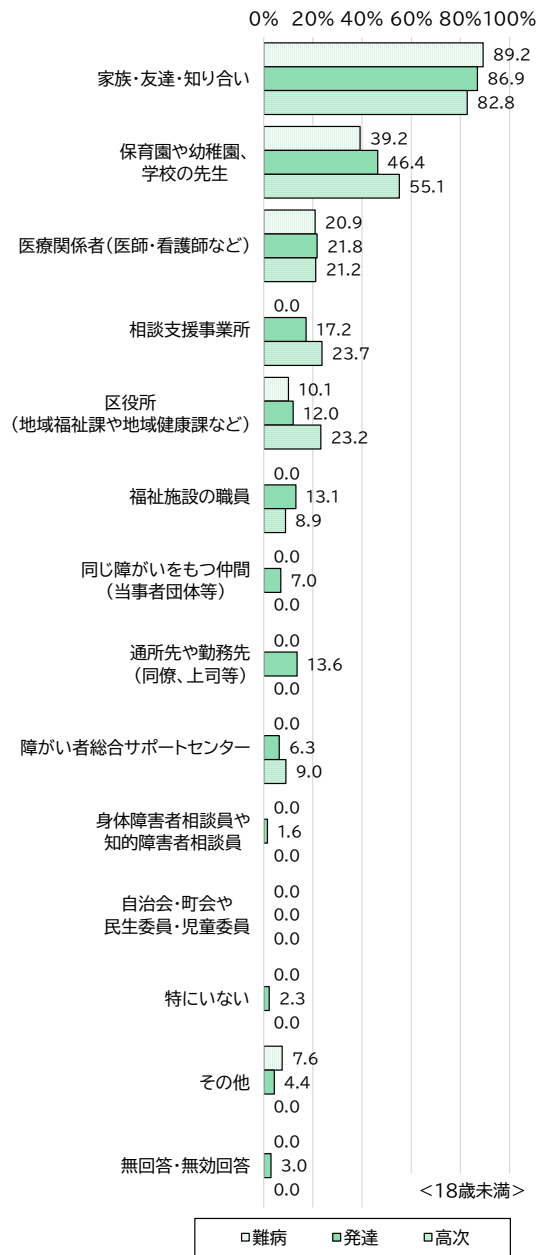
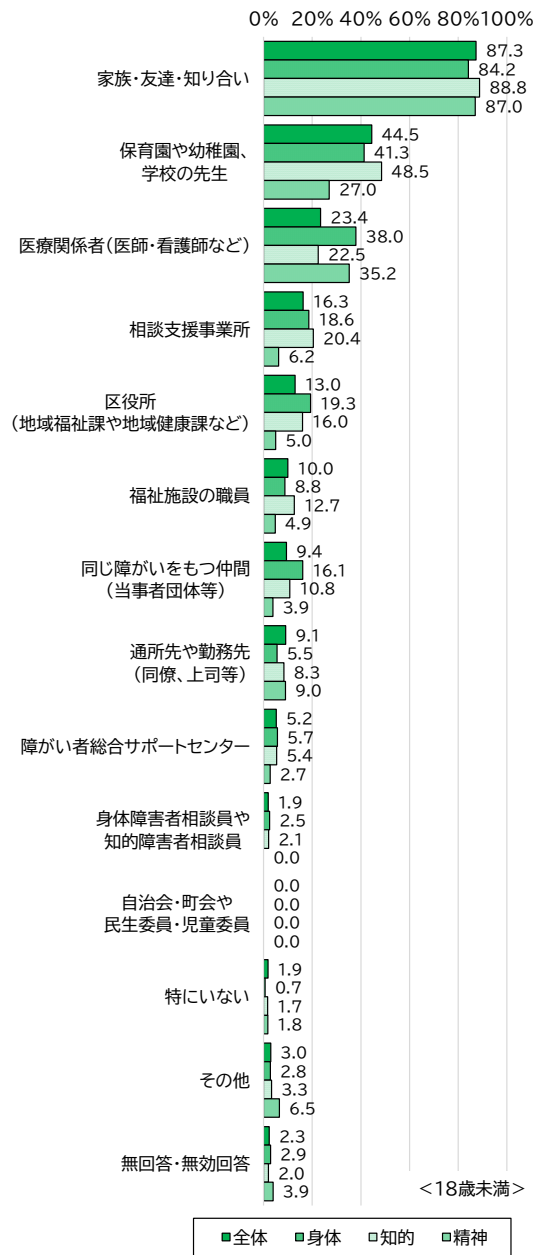
回答者数(人)		区役所 (地域福祉課や地域健康課など)	障がい者総合サポートセンター	相談支援事業所	身体障害者相談員、知的障害者相談員、 精神障害者相談員	家族・友達・知り合い	福祉施設の職員	医療関係者 (医師・看護師など)	同じ障がいをもつ仲間 (当事者団体等)	保育園や幼稚園、学校の先生	特にいない	その他	無回答
全体(n=1,010)		18.0	8.9	19.4	2.1	73.9	22.6	26.7	11.7	47.9	4.3	2.8	2.0
障がい種別	身体(n=182)	22.5	11.0	21.4	2.2	76.4	13.2	43.4	22.0	41.8	3.3	1.1	1.6
	知的(n=550)	22.5	7.6	24.2	1.5	73.8	24.0	26.9	13.5	52.4	4.0	2.5	1.6
	精神(n=68)	14.7	10.3	13.2	5.9	64.7	13.2	41.2	10.3	30.9	11.8	4.4	2.9
	難病(n=3)	33.3	-	-	-	66.7	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-
	発達(n=555)	16.6	9.9	20.7	2.3	73.0	25.4	26.5	9.5	49.4	4.5	3.1	1.8
	高次(n=9)	22.2	22.2	11.1	11.1	88.9	22.2	66.7	22.2	11.1	-	-	-



参考：前回調査結果 相談相手・相談先（18歳以上）



参考：前回調査結果 相談相手・相談先（18歳未満）

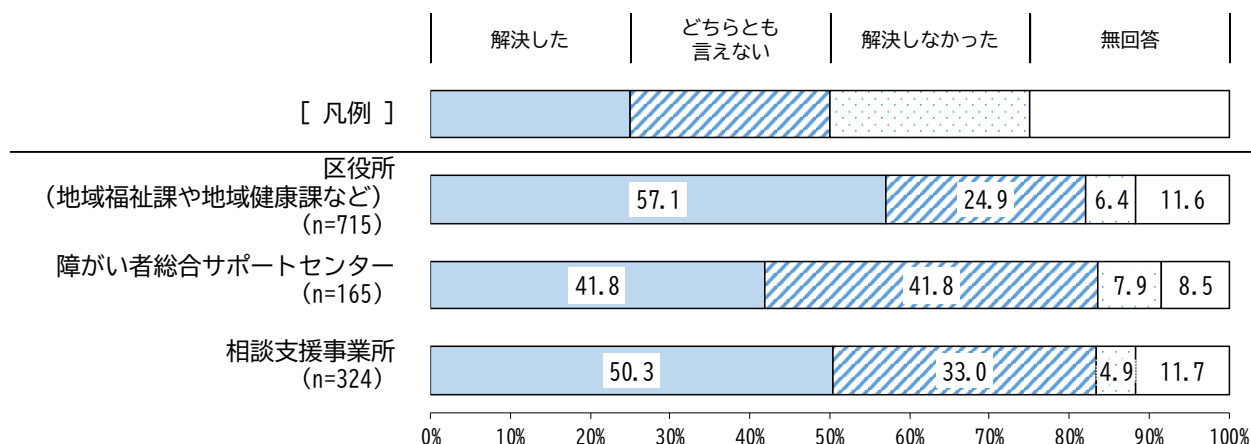


(5) 行政への相談での解決の有無

- 行政への相談での解決の有無について、18 歳以上の方全体では、「区役所（地域福祉課や地域健康課など）」が 57.1%、「相談支援事業所」が 50.3%と半数以上が「解決した」となっていますが、「障がい者総合サポートセンター」では「解決した」と「どちらとも言えない」がそれぞれ 41.8%と同じ割合になっています。

【18 歳以上 問 20-2】その相談によって、あなたの悩みや困りごとは解決しましたか。（単一回答）

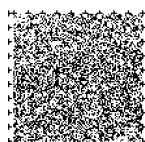
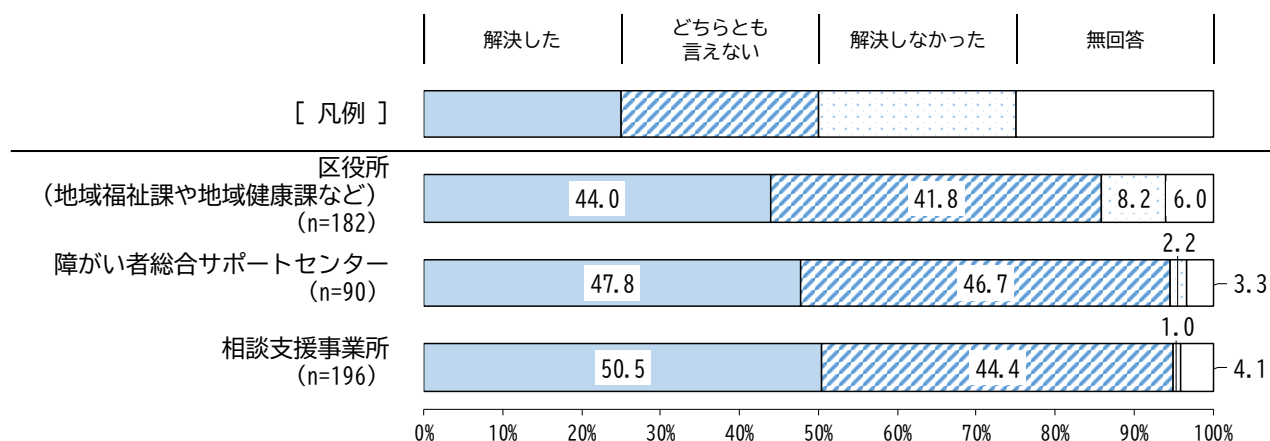
【行政への相談での解決の有無（18 歳以上）】



- 18 歳未満の方全体では、「相談支援事業所」が 50.5%と半数以上が「解決した」となっていますが、「区役所（地域福祉課や地域健康課など）」「障がい者総合サポートセンター」では「解決した」が半数を下回っています。「区役所（地域福祉課や地域健康課など）」では、「解決しなかった」が 8.2%と他の 2 つに比べて 5 ポイント以上多くなっています。

【18 歳未満 問 18-2】その相談によって、あなたの悩みや困りごとは解決しましたか。（単一回答）

【行政への相談での解決の有無（18 歳未満）】

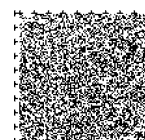
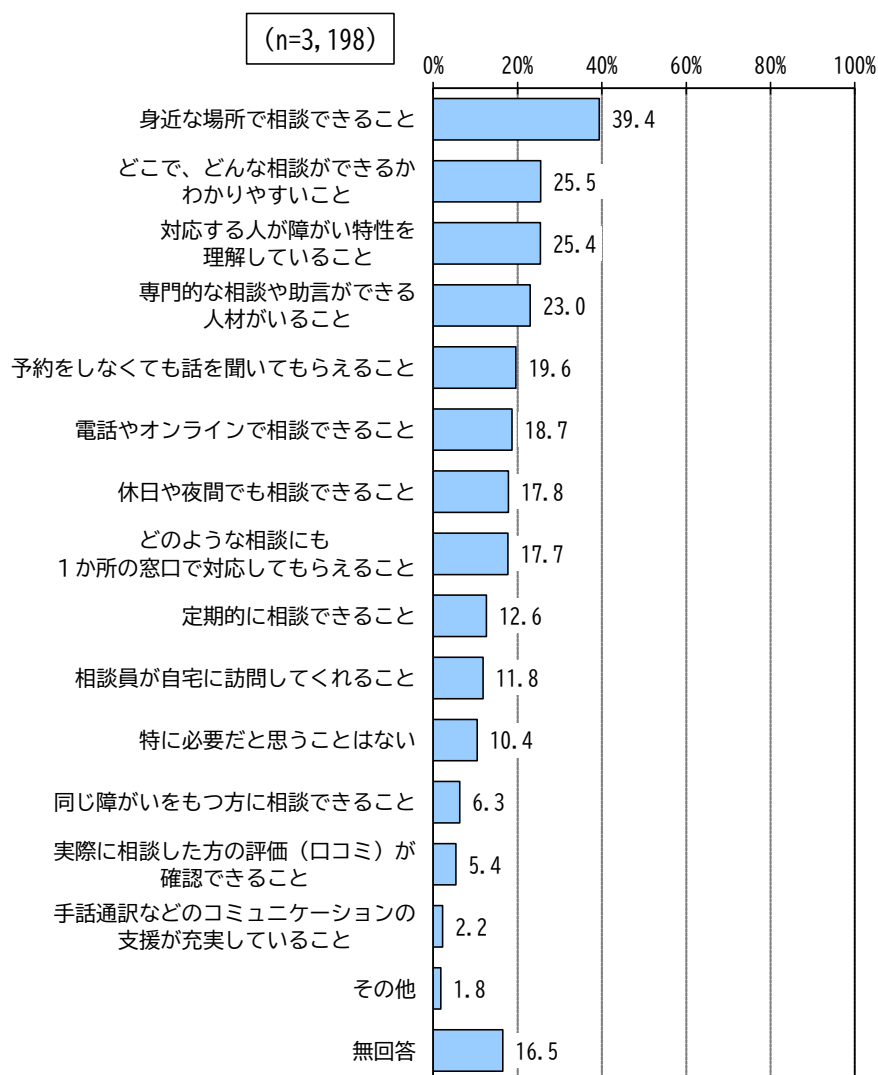


(6) 日常生活での困りごとを相談しやすくするために必要なこと

- 日常生活での困りごとを相談しやすくするために必要なことについて、18 歳以上の方全体では、「身近な場所で相談できること」が 39.4%で最も多く、次いで「どこで、どんな相談ができるかわかりやすいこと」が 25.5%、「対応する人が障がい特性を理解していること」が 25.4%となっています。

【18 歳以上 問 21】 日常生活での困りごとなどを相談しやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

【日常生活での困りごとを相談しやすくするために必要なこと（18 歳以上）】

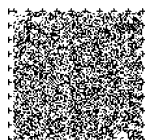


【日常生活での困りごとを相談しやすくするために必要なこと（18歳以上）（障がい種別）】

単位：％

回答者数(人)		身近な場所で相談できること	相談員が自宅に訪問してくれること	休日や夜間でも相談できること	対応する人が障がい特性を理解していること	専門的な相談や助言ができる人材がいること	同じ障がいをもつ方に相談できること	電話やオンラインで相談できること	手話通訳などのコミュニケーションの支援が充実していること
全体(n=3,198)		39.4	11.8	17.8	25.4	23.0	6.3	18.7	2.2
障がい種別	身体(n=1,722)	36.1	12.6	14.6	20.8	20.2	5.3	16.3	3.3
	知的(n=588)	45.9	11.6	18.7	40.1	28.7	6.0	14.5	1.0
	精神(n=760)	46.3	13.7	27.4	40.5	29.6	10.4	26.3	1.6
	難病(n=730)	38.8	10.7	17.5	17.3	23.8	5.6	22.6	1.5
	発達(n=221)	49.8	14.0	27.6	52.9	40.3	14.5	24.0	2.7
	高次(n=87)	43.7	17.2	14.9	41.4	29.9	9.2	17.2	-

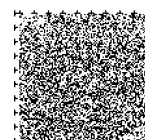
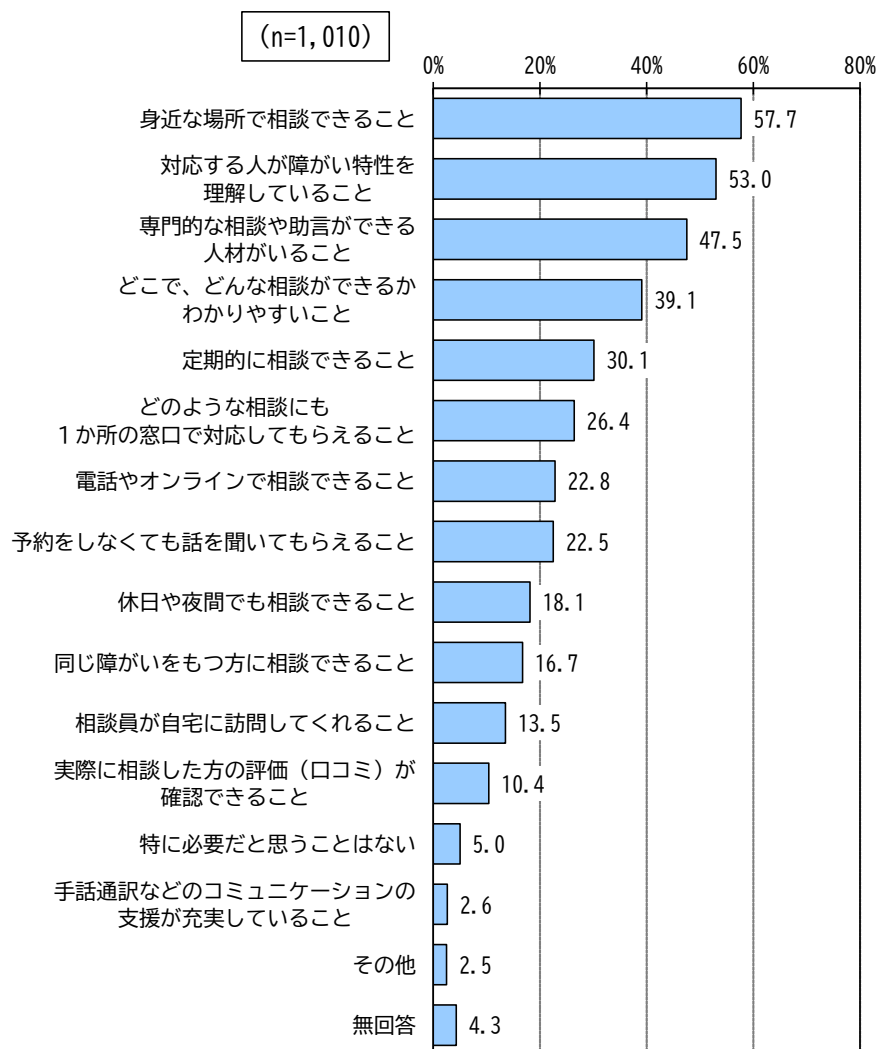
		話を聞いてもらなくても予約をしなくても	定期的に相談できること	どのような相談にも1か所の窓口で対応してもらえること	どこで、どんな相談ができるかわかりやすいこと	実際に相談した方の評価(口コミ)が確認できること	その他	特に必要だと思うことはない	無回答
全体		19.6	12.6	17.7	25.5	5.4	1.8	10.4	16.5
障がい種別	身体	17.2	8.2	16.8	22.5	3.4	1.1	10.9	20.7
	知的	23.6	19.2	21.1	26.0	6.0	2.4	10.9	11.9
	精神	27.6	23.2	20.0	30.9	11.3	3.6	6.4	9.7
	難病	19.3	9.0	17.9	27.9	4.7	1.4	10.5	15.1
	発達	29.9	30.3	23.5	42.1	12.7	2.7	5.0	6.8
	高次	24.1	13.8	24.1	24.1	4.6	1.1	6.9	16.1



- 18 歳未満の方全体では、「身近な場所で相談できること」が 57.7%で最も多く、次いで「対応する人が障がい特性を理解していること」が 53.0%、「専門的な相談や助言ができる人材がいること」が 47.5%となっています。

【18 歳未満 問 19】 日常生活での困りごとなどを相談しやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

【日常生活での困りごとを相談しやすくするために必要なこと（18 歳未満）】

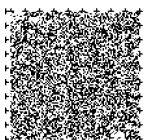


【日常生活での困りごとを相談しやすくするために必要なこと（18歳未満）（障がい種別）】

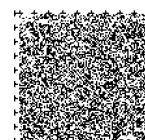
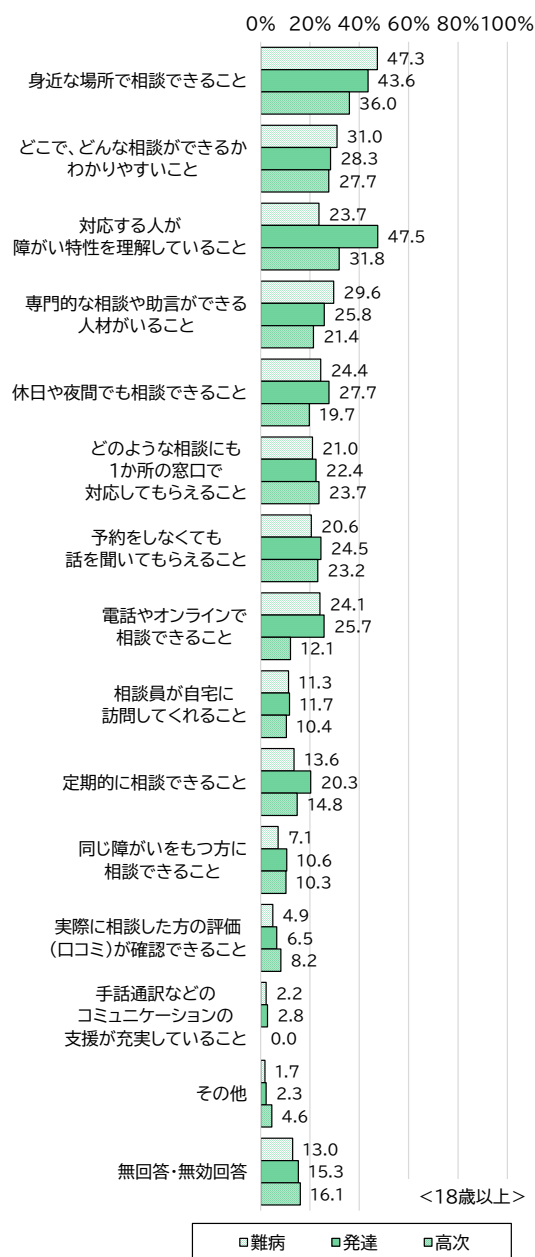
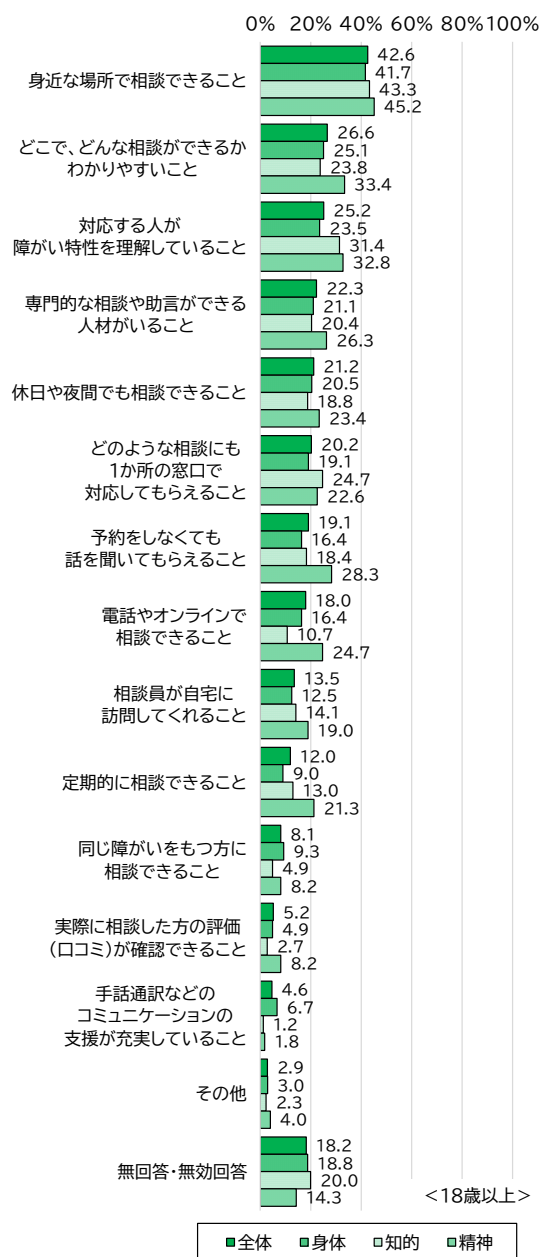
単位：％

回答者数(人)		身近な場所で相談できること	相談員が自宅に訪問してくれること	休日や夜間でも相談できること	対応する人が障がい特性を理解していること	専門的な相談や助言ができる人材がいること	同じ障がいをもつ方に相談できること	電話やオンラインで相談できること	手話通訳などのコミュニケーションの支援が充実していること
全体(n=1,010)		57.7	13.5	18.1	53.0	47.5	16.7	22.8	2.6
障がい種別	身体(n=182)	56.0	14.8	18.7	48.4	48.4	23.1	22.5	6.6
	知的(n=550)	60.0	16.9	20.0	59.6	50.7	16.4	23.3	3.3
	精神(n=68)	57.4	16.2	30.9	57.4	42.6	20.6	33.8	-
	難病(n=3)	33.3	-	-	66.7	-	-	33.3	-
	発達(n=555)	59.3	13.2	17.8	54.2	49.5	15.9	24.1	1.6
	高次(n=9)	77.8	-	11.1	66.7	55.6	22.2	11.1	-

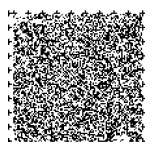
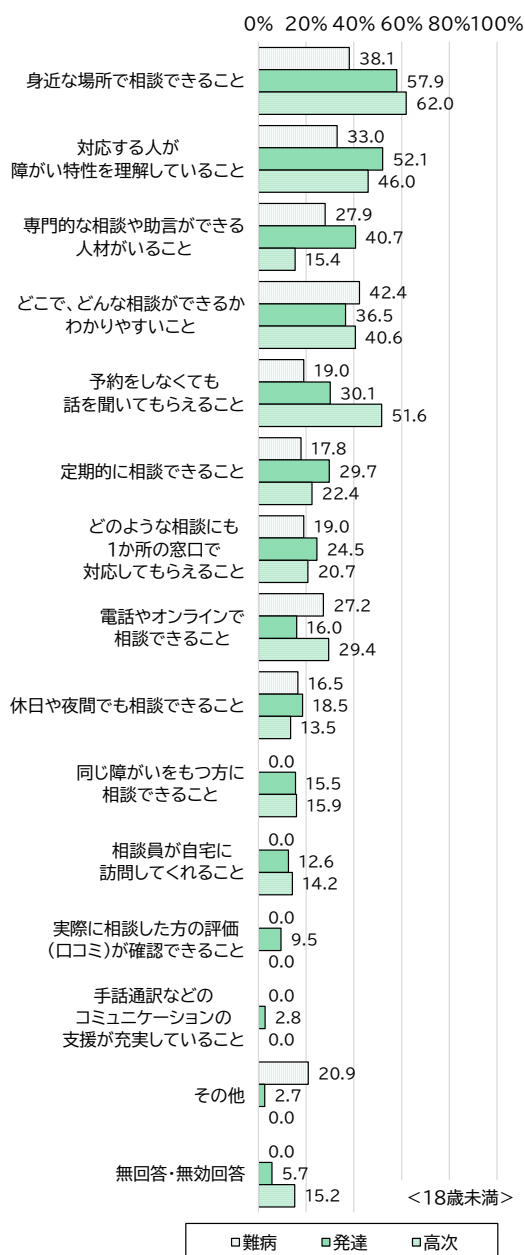
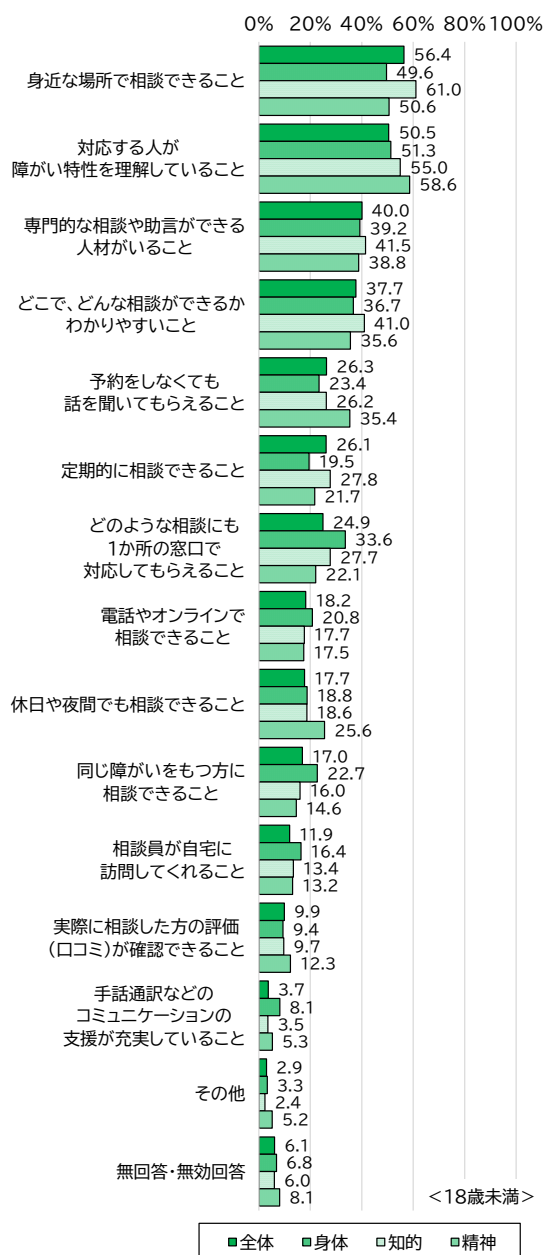
		話を聞いてもらうことも予約をしなくても	定期的に相談できること	どのような相談にも1か所の窓口で対応してもらえること	どこで、どんな相談ができるかわかりやすいこと	実際に相談した方の評価(口コミ)が確認できること	その他	特に必要だと思いうことはない	無回答
全体		22.5	30.1	26.4	39.1	10.4	2.5	5.0	4.3
障がい種別	身体	20.9	25.8	29.7	34.6	9.3	3.8	5.5	4.9
	知的	22.9	31.6	31.1	41.8	9.3	1.8	3.1	3.8
	精神	30.9	36.8	25.0	45.6	16.2	5.9	4.4	7.4
	難病	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-
	発達	24.1	31.5	26.1	38.2	12.4	2.5	4.9	2.7
	高次	22.2	44.4	55.6	11.1	11.1	11.1	-	-



参考：前回調査結果 日常生活での困りごとを相談しやすくするために必要なこと（18歳以上）



参考：前回調査結果 日常生活での困りごとを相談しやすくするために必要なこと（18歳未満）



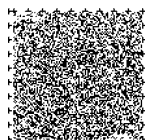
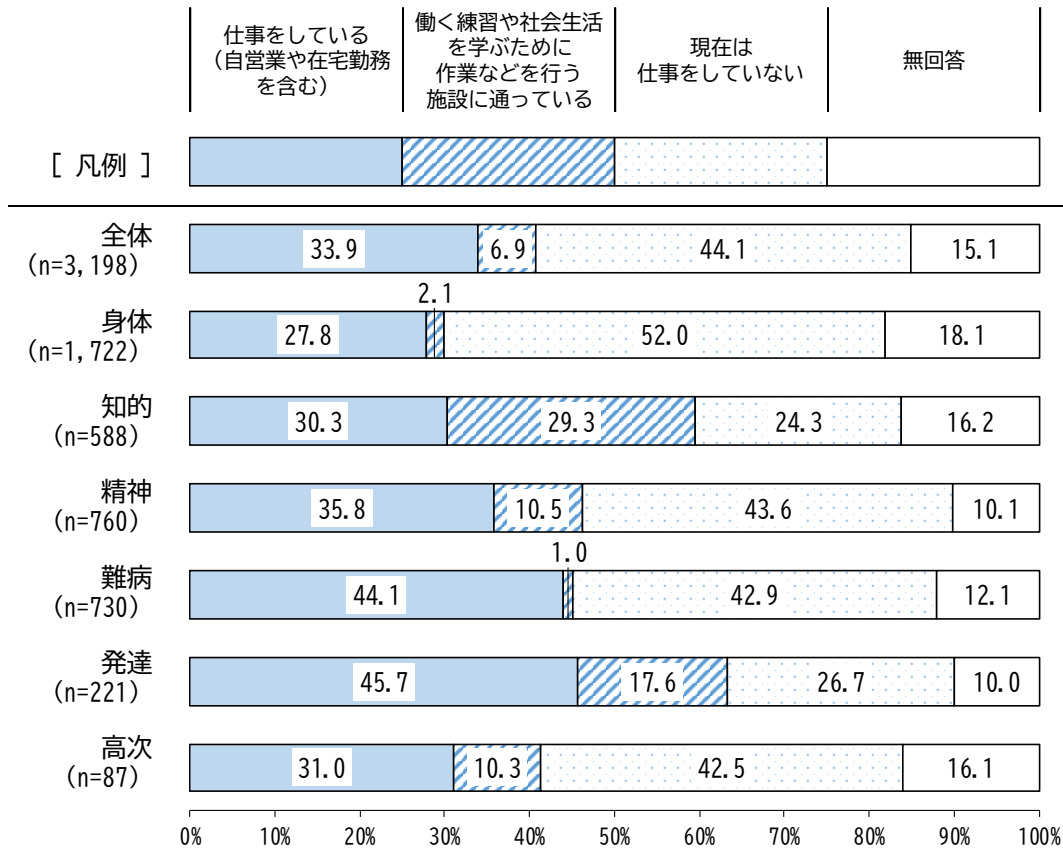
5. 就労や外出

(1) 現在の就労の有無（18歳以上）

- 現在の就労の有無について、18歳以上の方全体では、「現在は仕事をしていない」が44.1%で最も多く、次いで「仕事をしている（自営業や在宅勤務を含む）」が33.9%、「働く練習や社会生活を学ぶために作業などを行う施設に通っている」が6.9%となっています。

【18歳以上 問22-1】 あなたは、現在、仕事をしていますか。（単一回答）

【現在の就労の有無（18歳以上）】

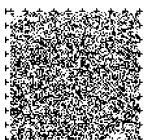
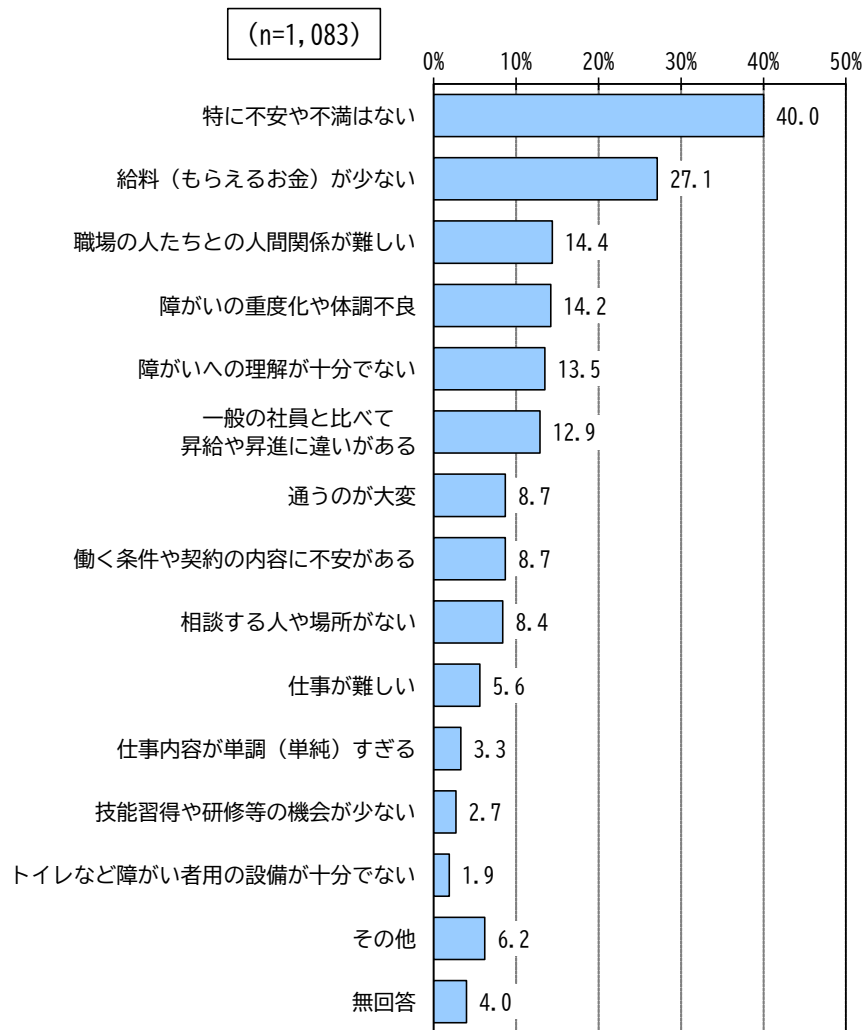


(2) 仕事をする上での不安や不満 (18歳以上)

- 仕事をする上での不安や不満について、18 歳以上の方全体では、「特に不安や不満はない」が 40.0%で最も多く、次いで「給料（もらえるお金）が少ない」が 27.1%、「職場の人たちとの人間関係が難しい」が 14.4%となっています。

【18 歳以上 問 22-2】仕事をする上で不安や不満はありますか。(複数回答)

【仕事をする上での不安や不満 (18 歳以上)】

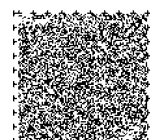


【仕事をする上での不安や不満（18歳以上）（障がい種別）】

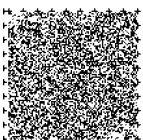
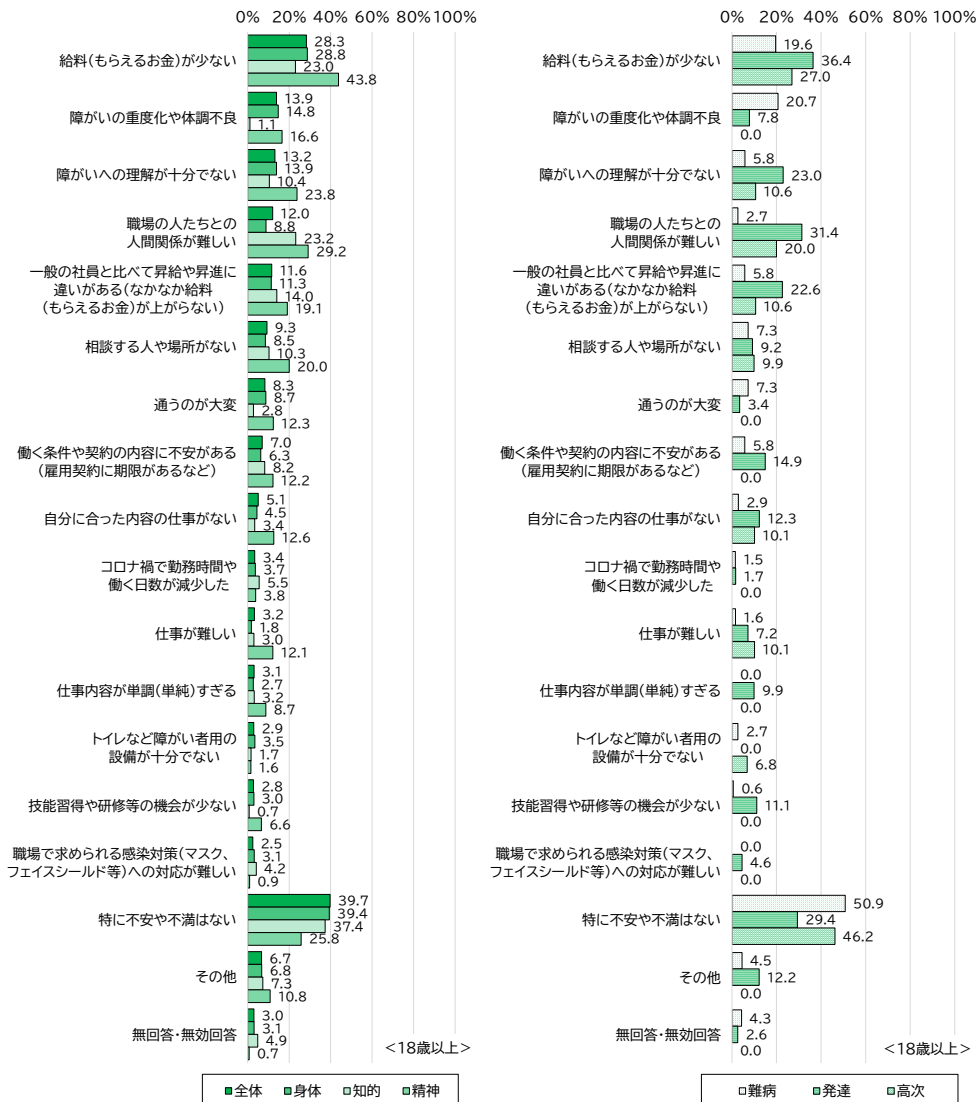
単位：％

回答者数(人)		給料（もらえるお金）が少ない	仕事が多い	障がいの重度化や体調不良	相談する人や場所がない	仕事内容が単調（単純）すぎる	職場の人たちとの人間関係が難しい	技能習得や研修等の機会が少ない
全体(n=1,083)		27.1	5.6	14.2	8.4	3.3	14.4	2.7
障がい種別	身体(n=478)	24.1	3.6	14.0	5.0	2.9	8.8	1.5
	知的(n=178)	30.9	3.4	2.2	8.4	4.5	24.2	5.6
	精神(n=272)	38.2	11.4	22.1	16.9	7.7	26.5	5.5
	難病(n=322)	23.9	4.3	16.8	5.9	1.2	8.1	1.6
	発達(n=101)	40.6	13.9	17.8	22.8	9.9	38.6	12.9
	高次(n=27)	29.6	-	14.8	3.7	3.7	18.5	3.7

		障がいへの理解が十分でない	トイレなど障がい者用の設備が十分でない	通うのが大変	働く条件や契約の内容に不安がある	一般の社員と比べて昇給や昇進に違いがある	特に不安や不満はない	その他	無回答
全体		13.5	1.9	8.7	8.7	12.9	40.0	6.2	4.0
障がい種別	身体	12.8	2.9	7.7	5.4	9.8	43.5	5.2	4.8
	知的	14.0	1.7	6.7	9.6	16.9	37.6	3.9	5.1
	精神	22.1	-	11.8	15.4	23.9	23.9	9.6	1.8
	難病	7.8	2.2	9.6	8.1	8.1	47.8	5.0	3.1
	発達	26.7	-	11.9	20.8	32.7	21.8	11.9	1.0
	高次	22.2	7.4	3.7	3.7	7.4	37.0	3.7	3.7



参考：前回調査結果 仕事をする上での不安や不満（18歳以上）

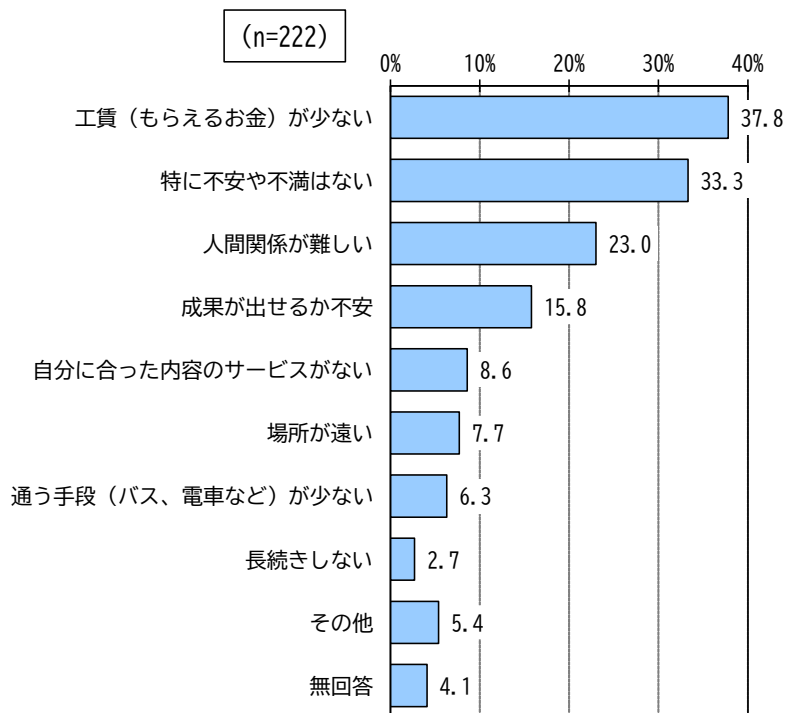


(3) 就労継続支援などの施設での不安や不満（18歳以上）

- 就労継続支援などの施設での不安や不満について、18 歳以上の方全体では、「工賃（もらえるお金）が少ない」が 37.8%で最も多く、次いで「特に不安や不満はない」が 33.3%、「人間関係が難しい」が 23.0%となっています。

【18 歳以上 問 22-3】 自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、生活介護などの施設に通う上で、不安や不満はありますか。（複数回答）

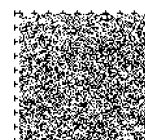
【就労継続支援などの施設での不安や不満（18 歳以上）】



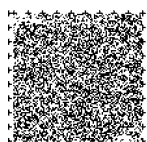
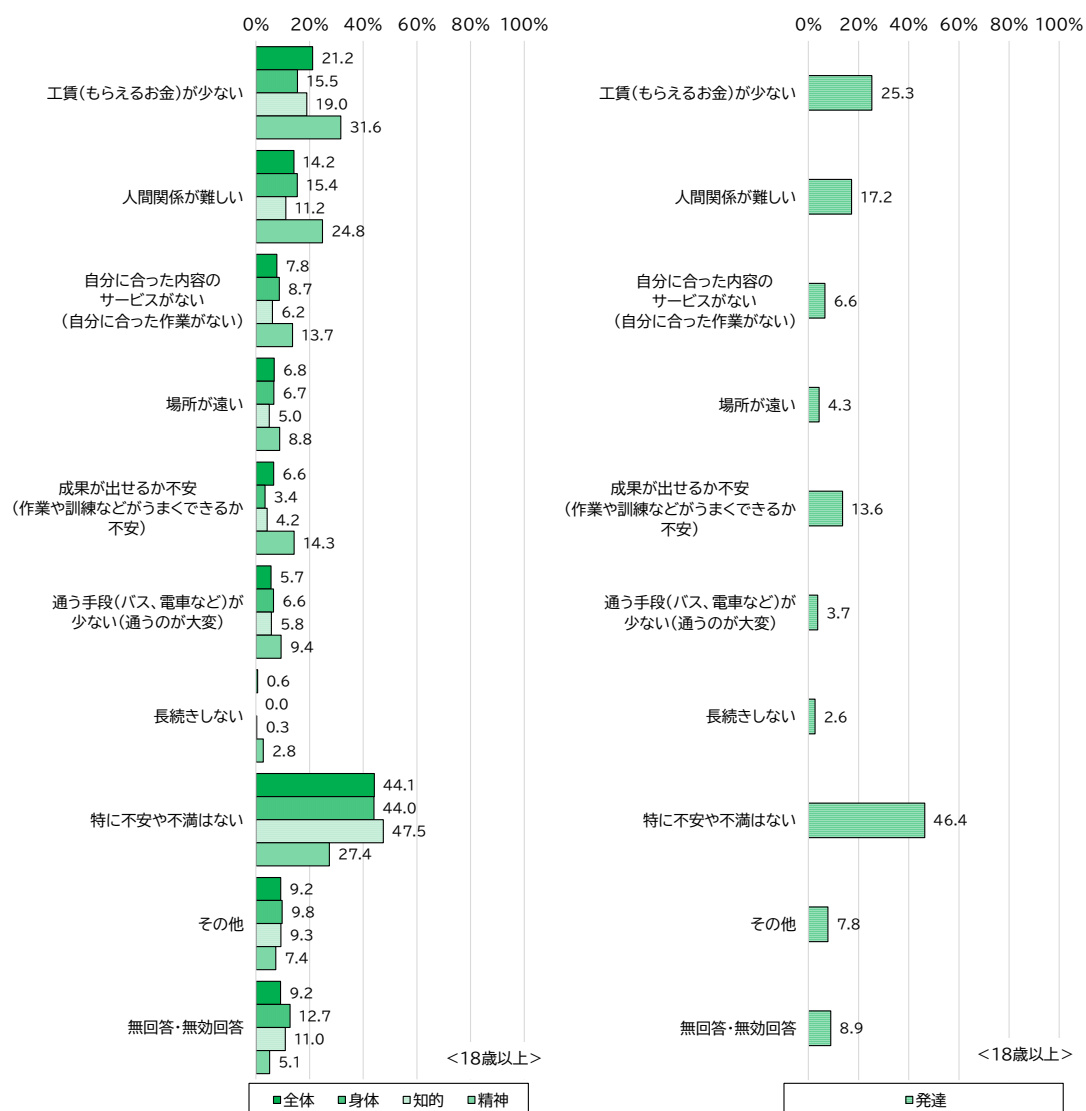
【就労継続支援などの施設での不安や不満（18 歳以上）（障がい種別）】

単位：%

回答者数(人)		人間関係が難しい	長続きしない	工賃（もらえるお金）が少ない	場所が遠い	通う手段（バス、電車など）が少ない	自分に合った内容のサービスがない	成果が出せるか不安	特に不安や不満はない	その他	無回答
全体(n=222)		23.0	2.7	37.8	7.7	6.3	8.6	15.8	33.3	5.4	4.1
障がい種別	身体(n=37)	16.2	-	40.5	5.4	5.4	10.8	18.9	29.7	5.4	10.8
	知的(n=172)	22.1	2.9	36.0	7.6	7.0	7.6	12.2	37.2	4.1	5.2
	精神(n=80)	32.5	6.3	46.3	8.8	6.3	12.5	27.5	22.5	5.0	2.5
	難病(n=7)	14.3	-	28.6	42.9	14.3	28.6	14.3	28.6	14.3	-
	発達(n=39)	28.2	-	46.2	7.7	-	7.7	28.2	25.6	7.7	-
	高次(n=9)	-	-	66.7	11.1	-	11.1	22.2	11.1	11.1	-



参考：前回調査結果 就労継続支援などの施設での不安や不満（18歳以上）

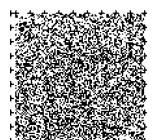
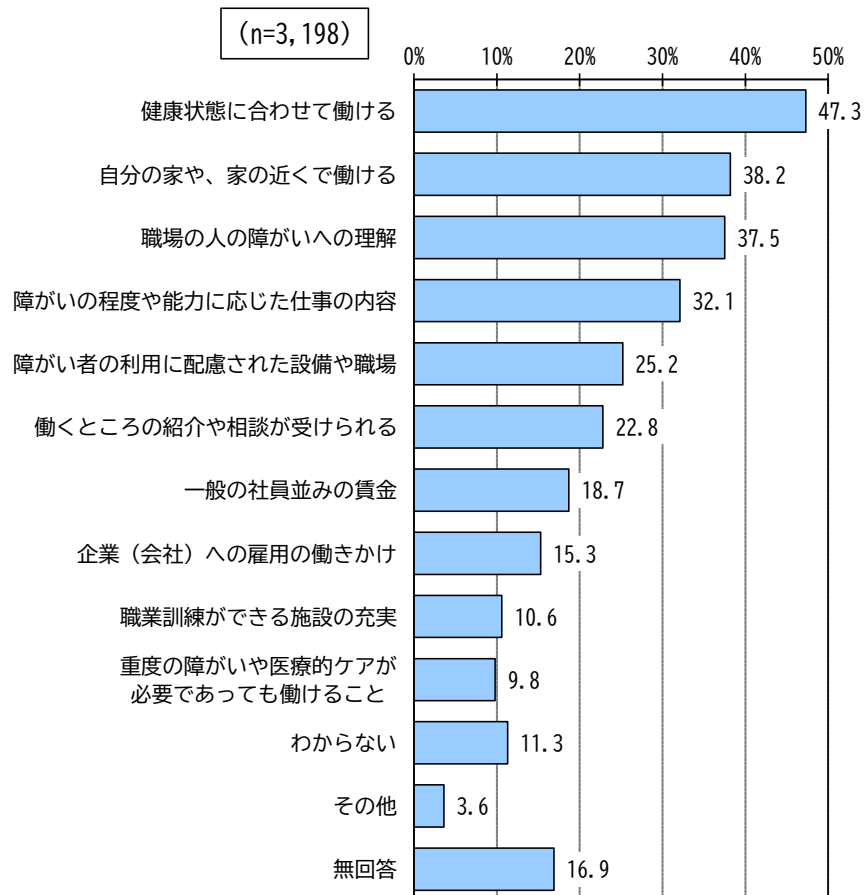


（４）障がい者が就労する上で大切だと思うこと（18歳以上）

- 障がい者が就労する上で大切だと思うことについて、18 歳以上の方全体では、「健康状態に合わせて働ける」が 47.3%で最も多く、次いで「自分の家や、家の近くで働ける」が 38.2%、「職場の人の障がいへの理解」が 37.5%となっています。

【18 歳以上 問 23】 あなたは、障がいのある方が働くためには、特にどのようなことが大切だと思いますか。（複数回答）

【障がい者が就労する上で大切だと思うこと（18 歳以上）】

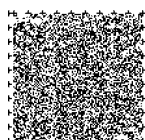


【障がい者が就労する上で大切だと思うこと（18歳以上）（障がい種別）】

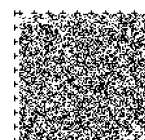
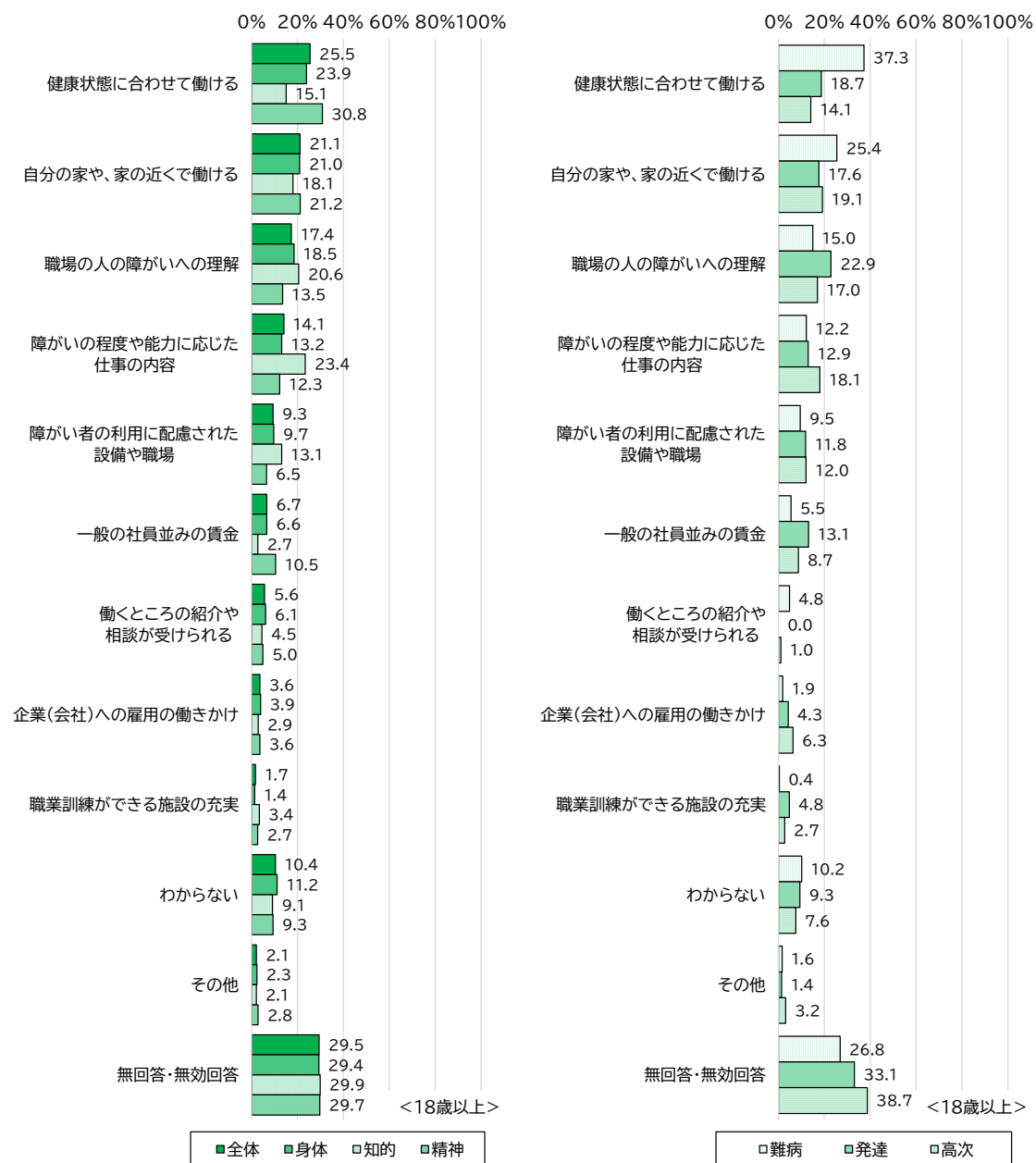
単位：％

回答者数(人)		自分の家や、家の近くで働ける	健康状態に合わせて働ける	働くところの紹介や相談が受けられる	職業訓練ができる施設の充実	企業（会社）への雇用の働きかけ	職場の人の障がいへの理解
全体(n=3,198)		38.2	47.3	22.8	10.6	15.3	37.5
障がい種別	身体(n=1,722)	34.6	41.3	18.1	8.4	13.1	32.0
	知的(n=588)	38.6	36.6	23.1	14.3	14.3	43.7
	精神(n=760)	47.6	62.2	31.7	17.5	22.5	51.3
	難病(n=730)	36.6	55.8	22.6	9.3	13.7	33.8
	発達(n=221)	47.1	52.0	36.2	21.7	29.4	59.7
	高次(n=87)	42.5	51.7	24.1	16.1	21.8	46.0

		障がい者の利用に配慮された設備や職場	障がいの程度や能力に応じた仕事の内容	一般の社員並みの賃金	重度の障がいや医療的ケアが必要であっても働けること	わからない	その他	無回答
全体		25.2	32.1	18.7	9.8	11.3	3.6	16.9
障がい種別	身体	23.6	27.2	14.6	9.5	13.2	3.4	22.4
	知的	34.0	47.1	14.1	14.3	10.2	3.1	13.1
	精神	30.0	42.4	33.2	10.7	8.4	5.3	7.8
	難病	22.2	26.2	14.2	9.6	11.2	3.0	15.3
	発達	43.0	52.0	39.4	14.5	5.9	7.2	8.1
	高次	37.9	46.0	19.5	21.8	13.8	1.1	12.6



参考：前回調査結果 障がい者が就労する上で大切だと思うこと（18歳以上）

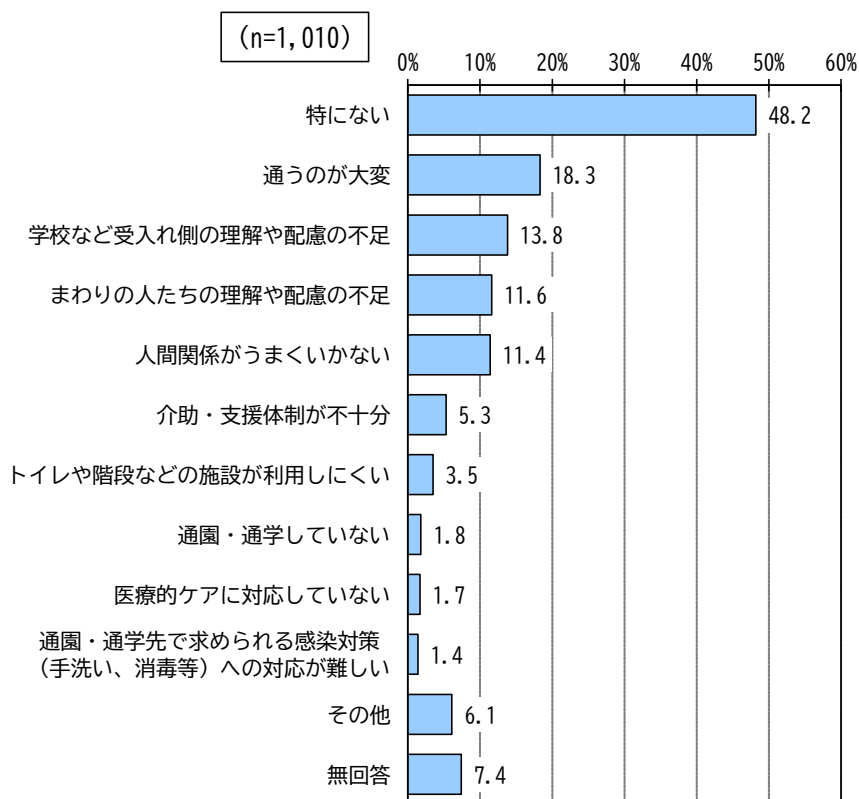


(5) 通園・通学での困りごと (18歳未満)

- 通園・通学での困りごとについて、18 歳未満の方全体では、「特にない」が 48.2%で最も多く、次いで「通うのが大変」が 18.3%、「学校など受入れ側の理解や配慮の不足」が 13.8%となっています。

【18 歳未満 問 20】 あなたは、通園や通学で困っていることがありますか。(複数回答)

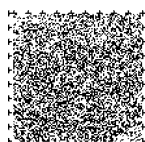
【通園・通学での困りごと (18 歳未満)】



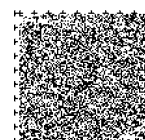
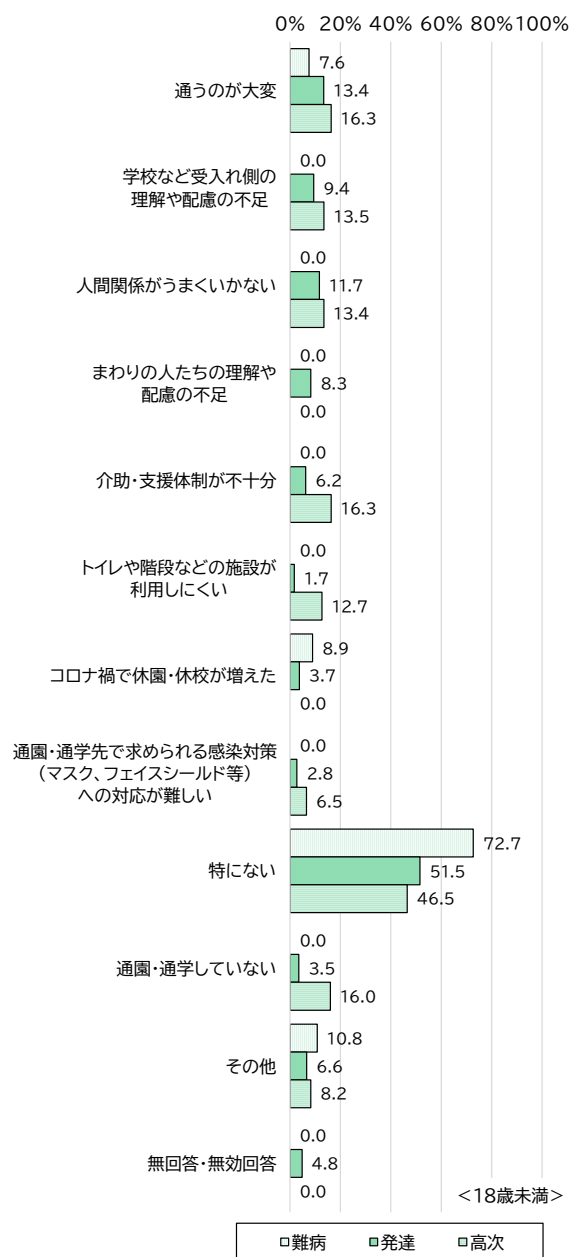
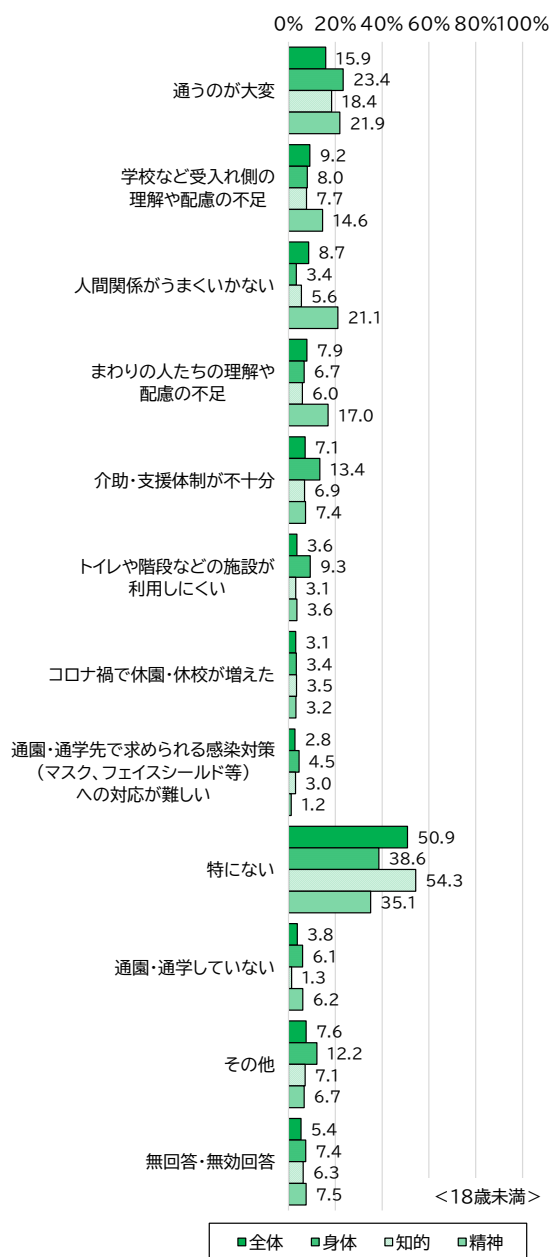
【通園・通学での困りごと (18 歳未満) (障がい種別)】

単位：%

回答者数(人)		通うのが大変	トイレや階段などの施設が利用しにくい	介助・支援体制が不十分	学校など受入れ側の理解や配慮の不足	まわりの人たちの理解や配慮の不足	人間関係がうまくいかない	通園・通学先で求められる感染対策 (手洗い、消毒等) への対応が難しい	医療的ケアに対応していない	特にない	通園・通学していない	その他	無回答
全体(n=1,010)		18.3	3.5	5.3	13.8	11.6	11.4	1.4	1.7	48.2	1.8	6.1	7.4
障がい種別	身体(n=182)	23.6	8.8	7.1	11.5	8.8	2.7	1.1	4.9	45.1	3.3	5.5	9.3
	知的(n=550)	21.3	3.6	5.6	12.0	9.1	7.3	1.8	1.1	51.5	0.2	5.8	6.9
	精神(n=68)	20.6	-	5.9	25.0	23.5	26.5	-	2.9	32.4	4.4	14.7	8.8
	難病(n=3)	33.3	-	-	33.3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	33.3
	発達(n=555)	17.5	2.3	5.0	16.2	13.2	15.5	1.3	1.6	46.5	1.6	6.1	7.2
	高次(n=9)	33.3	-	-	-	11.1	-	-	-	33.3	-	-	22.2



参考：前回調査結果 通園・通学での困りごと（18歳未満）

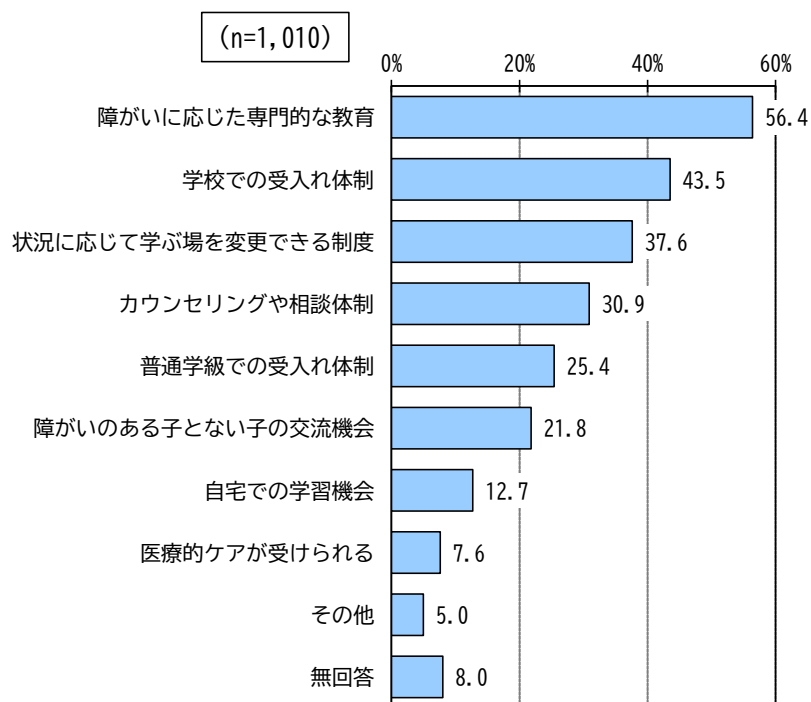


(6) 教育の場面で、特に充実させてほしいこと (18歳未満)

- 教育の場面で特に充実してほしいことについて、18 歳未満の方全体では、「障がいに応じた専門的な教育」が 56.4%で最も多く、次いで「学校での受入れ体制」が 43.5%、「状況に応じて学ぶ場を変更できる制度」が 37.6%となっています。

【18 歳未満 問 21】 あなたが、教育の場面で、特に充実させてほしいのはどのようなことですか。
(複数回答)

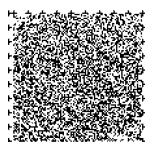
【教育の場面で特に充実してほしいこと (18 歳未満)】



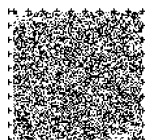
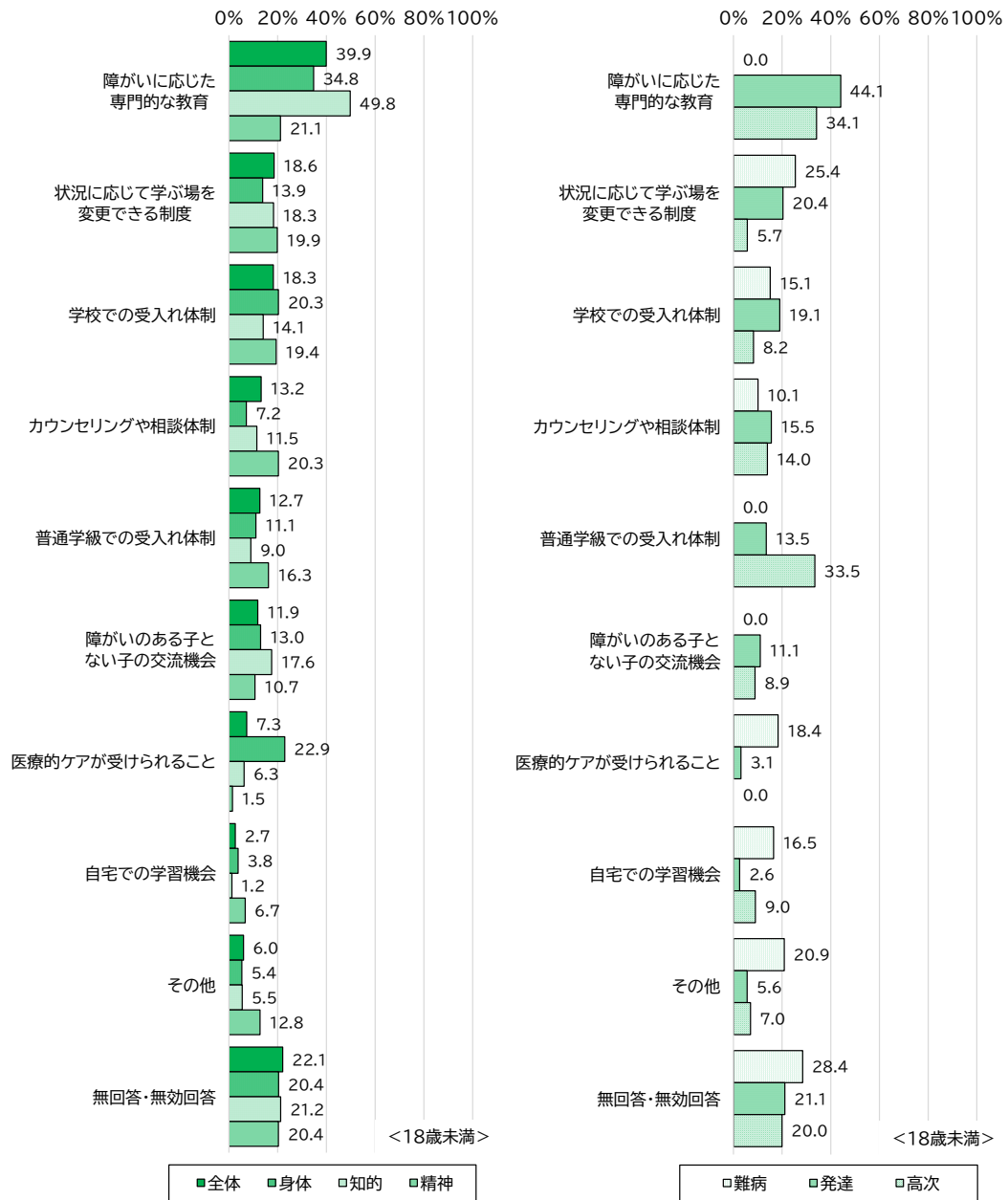
【教育の場面で特に充実してほしいこと (18 歳未満) (障がい種別)】

単位：%

回答者数(人)		障がいに応じた専門的な教育	学校での受入れ体制	普通学級での受入れ体制	状況に応じて学ぶ場を変更できる制度	障がいのある子とない子の交流機会	医療的ケアが受けられる	自宅での学習機会	カウンセリングや相談体制	その他	無回答
全体(n=1,010)		56.4	43.5	25.4	37.6	21.8	7.6	12.7	30.9	5.0	8.0
障がい種別	身体(n=182)	54.4	40.1	24.7	29.7	22.0	18.7	9.9	17.6	3.3	13.7
	知的(n=550)	69.8	39.1	16.4	33.6	26.2	8.0	10.7	30.5	5.3	6.7
	精神(n=68)	60.3	55.9	27.9	45.6	20.6	10.3	25.0	44.1	5.9	7.4
	難病(n=3)	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3
	発達(n=555)	56.6	42.5	27.0	42.3	20.4	5.8	14.2	34.8	5.8	7.0
	高次(n=9)	55.6	33.3	-	22.2	22.2	22.2	22.2	22.2	11.1	11.1



参考：前回調査結果 教育の場面で特に充実してほしいこと（18歳未満）



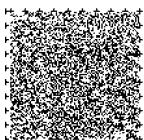
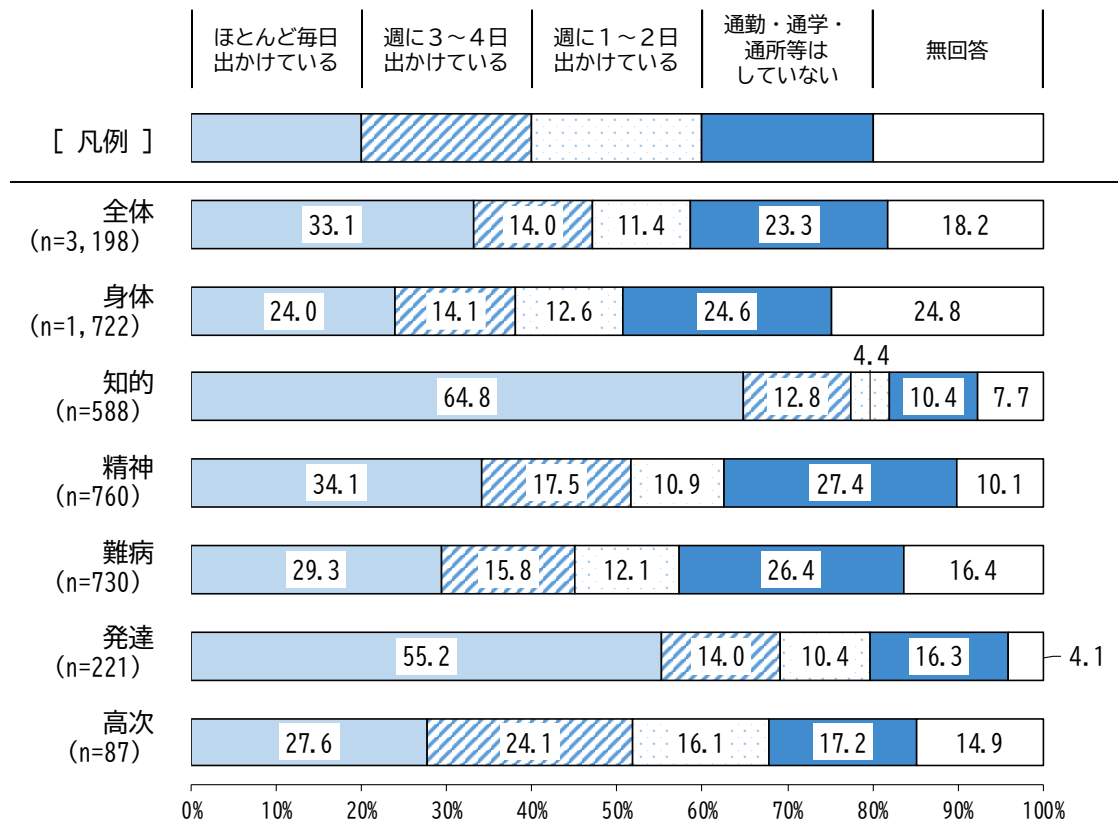
(7) 外出頻度

1) 通勤・通学・通所等の外出頻度

- 通勤・通学・通所等の外出頻度について、18 歳以上の方全体では、「ほとんど毎日出かけている」が 33.1%で最も多く、次いで「通勤・通学・通所等はしていない」が 23.3%、「週に 3～4 日出かけている」が 14.0%となっています。

【18 歳以上 問 24】ふだん、あなたはどのくらい外に出かけていますか。「(1) 通勤・通学・通所等」と「(2) レジャー・余暇等」の目的ごとに教えてください。(それぞれ単一回答)

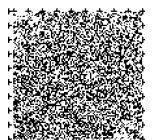
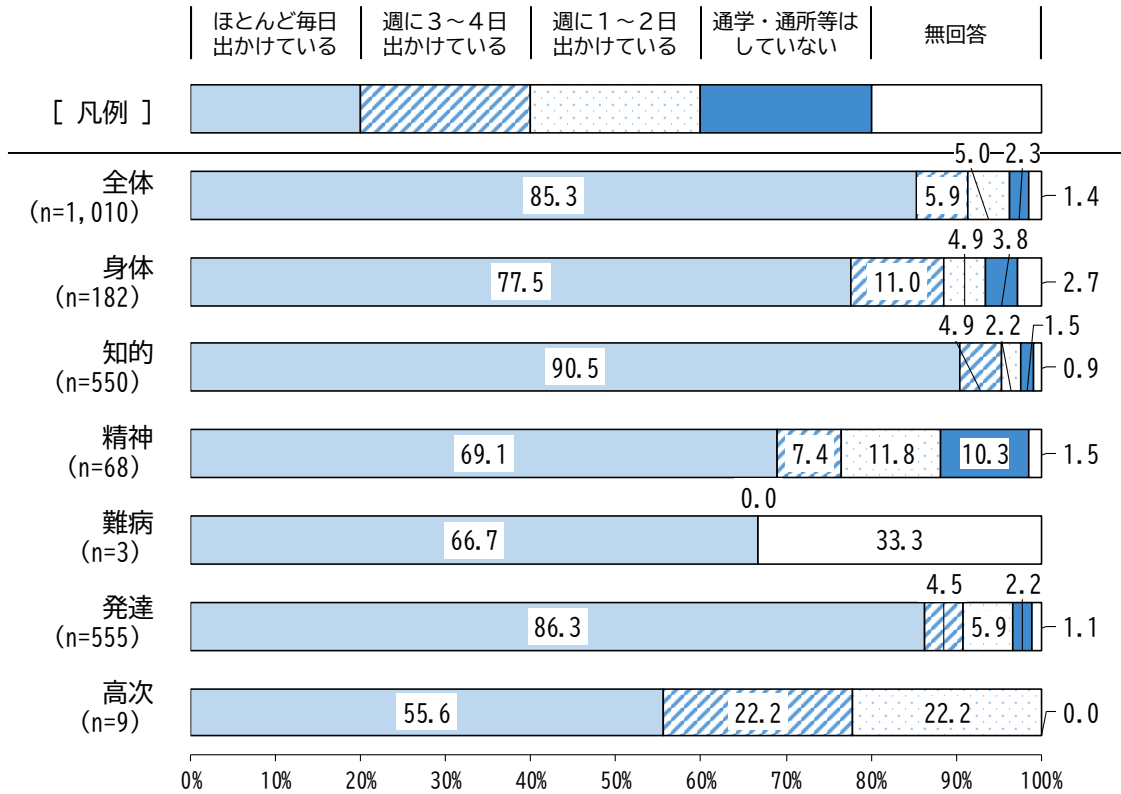
【通勤・通学・通所等の外出頻度 (18 歳以上)】



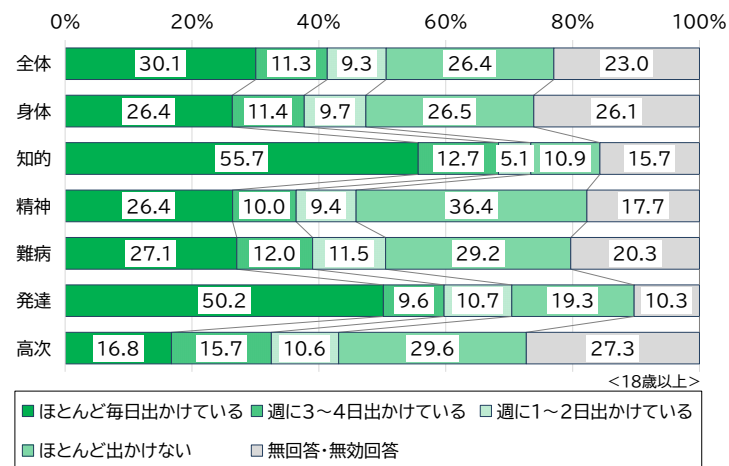
- 18 歳未満の方全体では、「ほとんど毎日出かけている」が 85.3%で最も多く、次いで「週に 3～4 日出かけている」が 5.9%、「週に 1～2 日出かけている」が 5.0%となっています。

【18 歳未満 問 22】 ふだん、あなたはどのくらい外に出かけていますか。「(1) 通学・通所等」と「(2) レジャー・余暇等」の目的ごとに教えてください。(それぞれ単一回答)

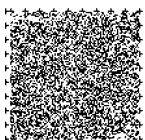
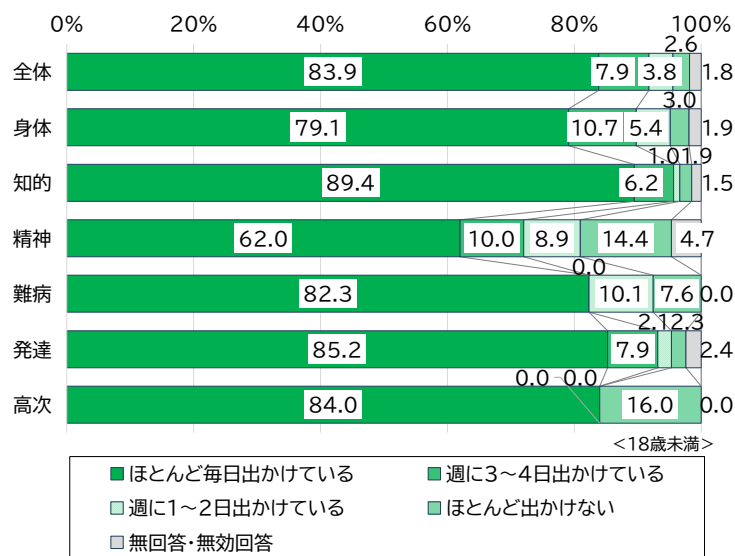
【通勤・通学・通所等の外出頻度 (18 歳未満)】



参考：前回調査結果 通勤・通学・通所等の外出頻度（18歳以上）



参考：前回調査結果 通勤・通学・通所等の外出頻度（18歳未満）

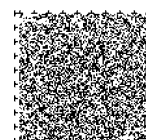
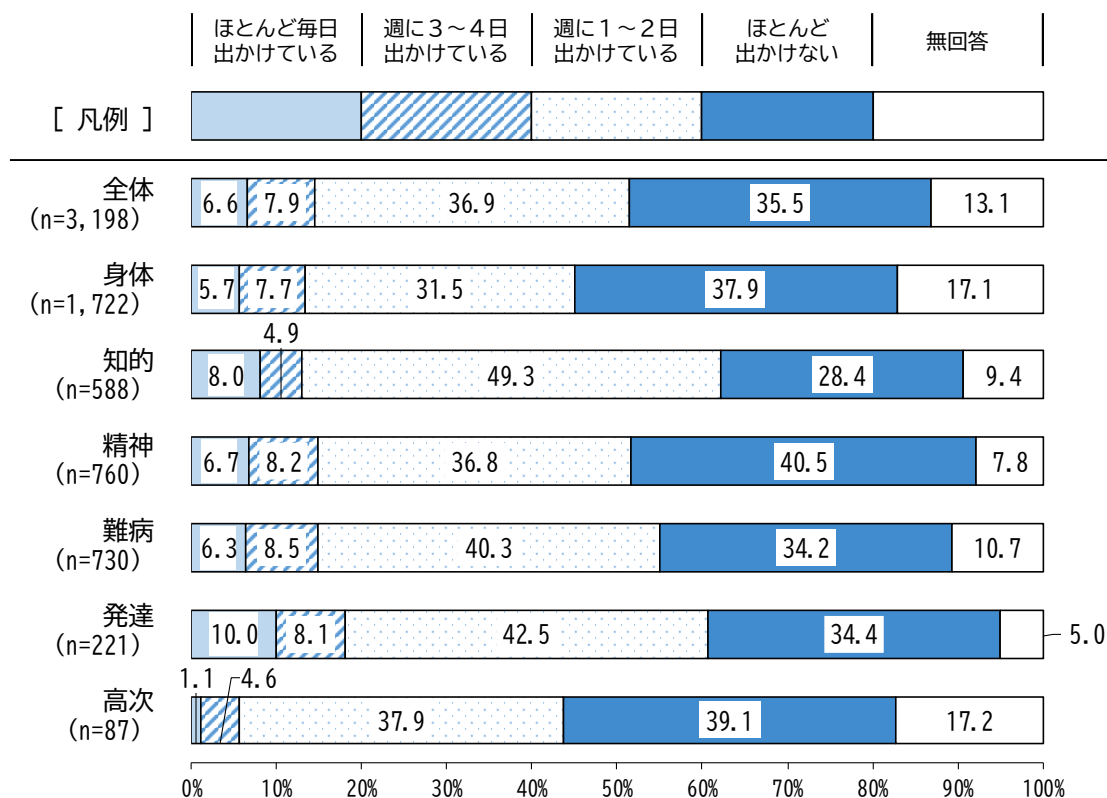


2) レジャー・余暇等の外出頻度

- レジャー・余暇等の外出頻度について、18 歳以上の方全体では、「週に 1～2 日外出している」が 36.9%で最も多く、次いで「ほとんど出掛けない」が 35.5%、「週に 3～4 日外出している」が 7.9%となっています。

【18 歳以上 問 24】 ふだん、あなたはどのくらい外に出かけていますか。「(1) 通勤・通学・通所等」と「(2) レジャー・余暇等」の目的ごとに教えてください。(それぞれ単一回答)

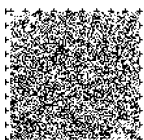
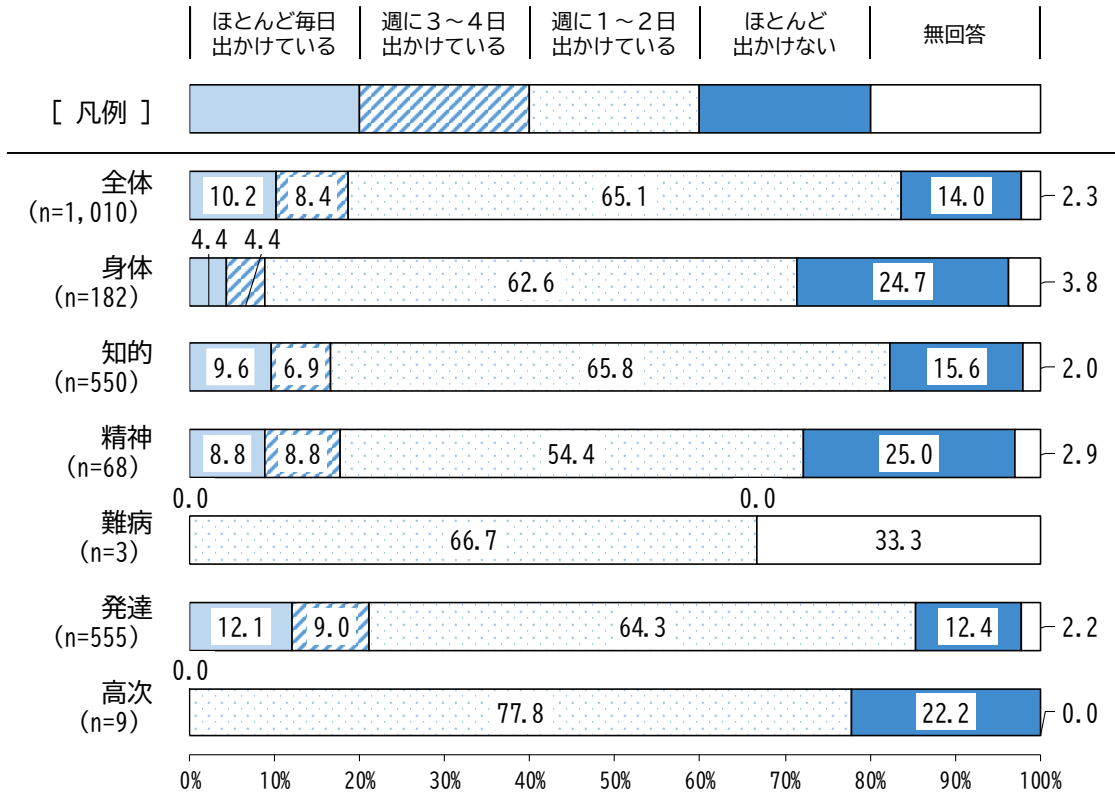
【レジャー・余暇等の外出頻度 (18 歳以上)】



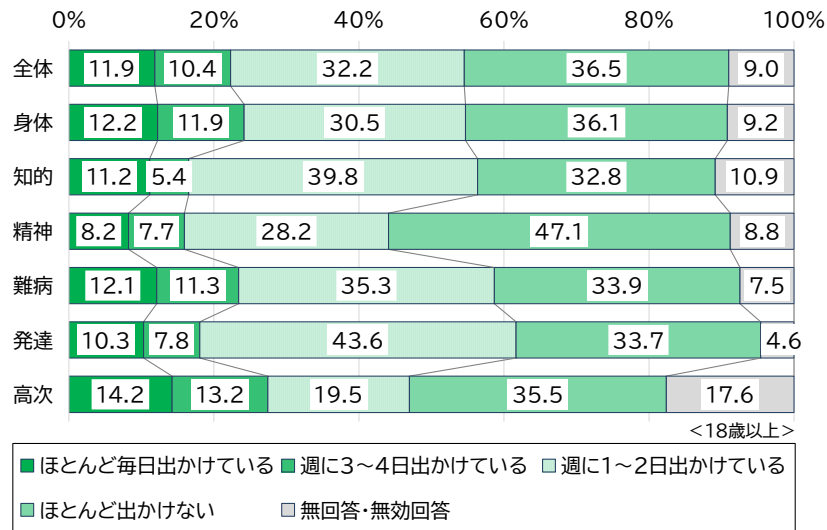
○ 18 歳未満の方全体では、「週に 1～2 日出かけている」が 65.1%で最も多く、次いで「ほとんど出かけない」が 14.0%、「ほとんど毎日出かけている」が 10.2%となっています。

【18 歳未満 問 22】 ふだん、あなたはどのくらい外に出かけていますか。「(1) 通学・通所等」と「(2) レジャー・余暇等」の目的ごとに教えてください。(それぞれ単一回答)

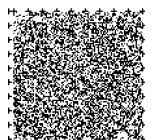
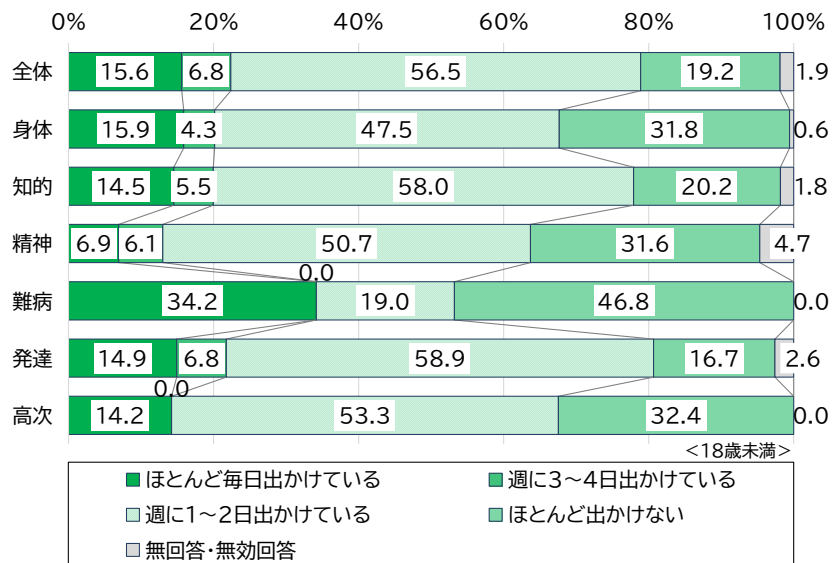
【レジャー・余暇等の外出頻度 (18 歳未満)】



参考：前回調査結果 レジャー・余暇等の外出頻度（18歳以上）



参考：前回調査結果 レジャー・余暇等の外出頻度（18歳未満）



6. 保健・医療

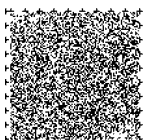
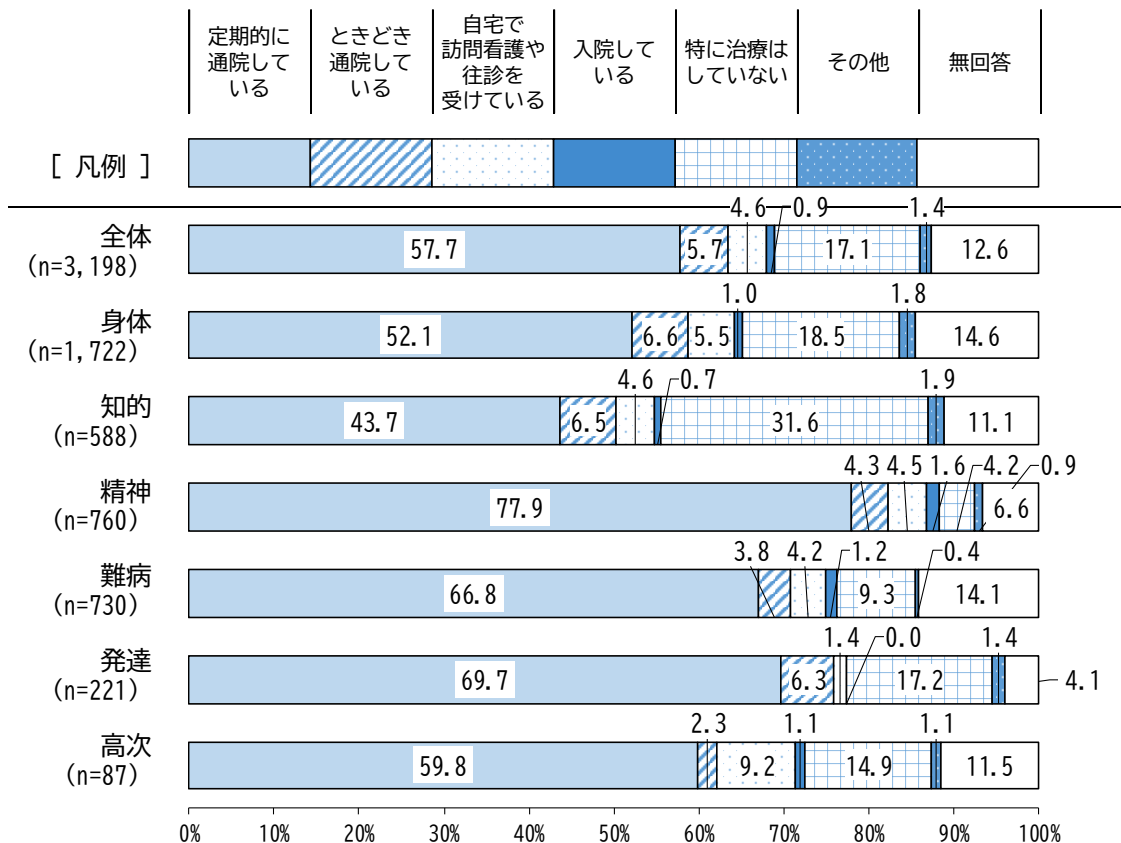
(1) 医療の利用状況

1) 障がいに関わる医療の利用

- 障がいに関わる医療の利用について、18 歳以上の方全体では、「定期的に通院している」が 57.7%で最も多く、次いで「特に治療はしていない」が 17.1%、「ときどき通院している」が 5.7%となっています。

【18 歳以上 問 25】あなたは、現在、医師の治療（歯科診療を含む）を受けていますか。「(1) 障がいに関わること」と「(2) 障がい以外のこと」のそれぞれで教えてください。
(それぞれ単一回答)

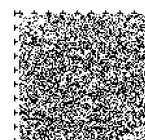
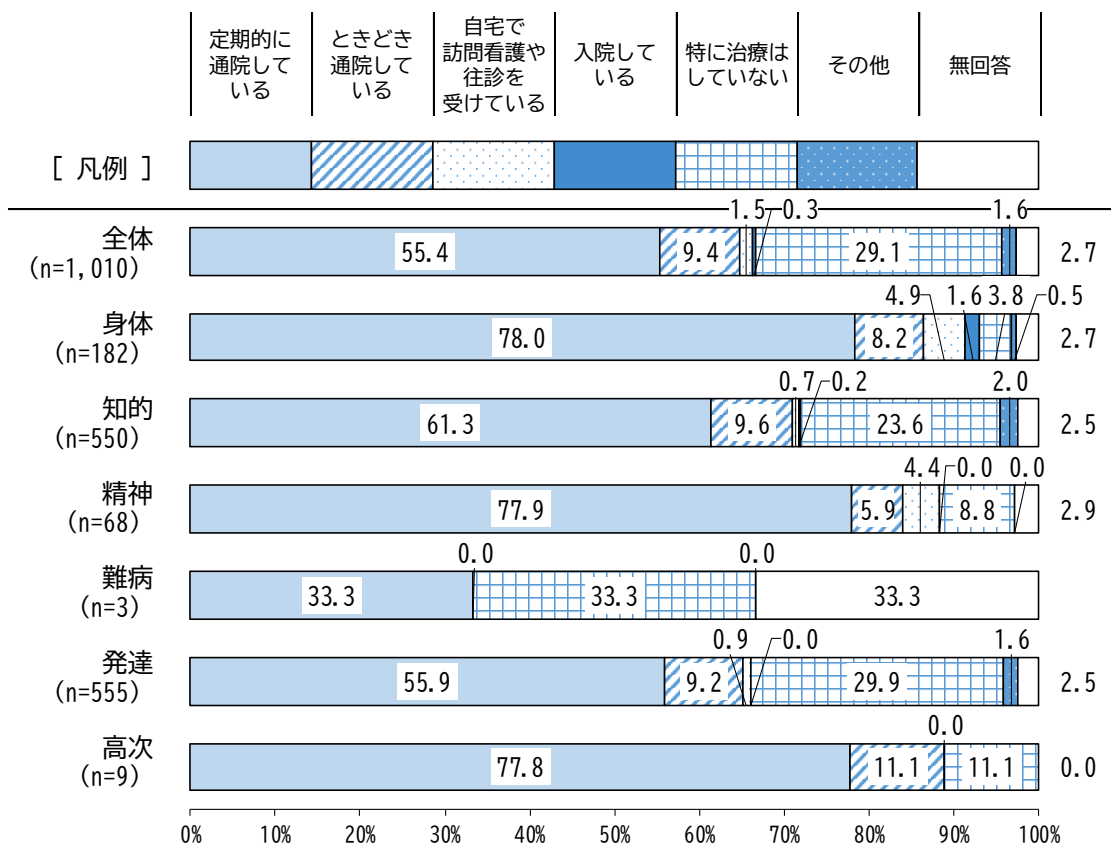
【障がいに関わる医療の利用（18 歳以上）】



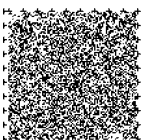
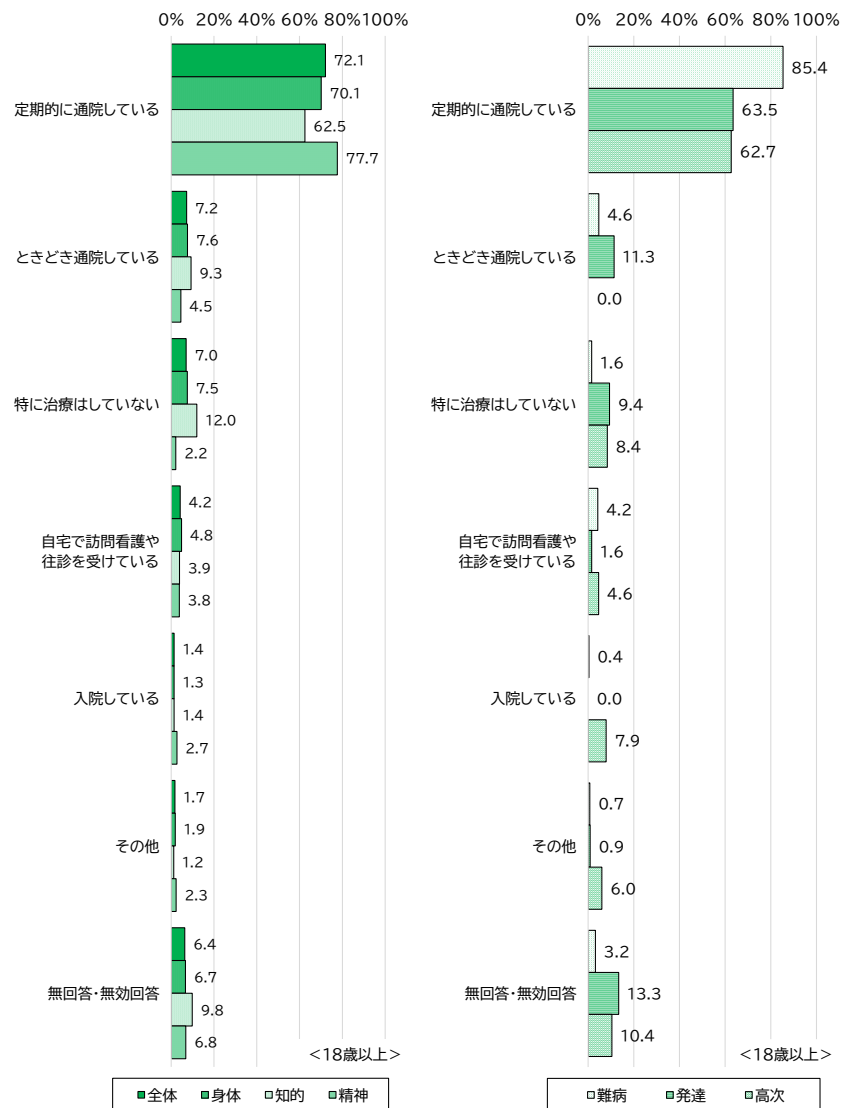
○ 18 歳未満の方全体では、「定期的に通院している」が 55.4%で最も多く、次いで「特に治療はしていない」が 29.1%、「ときどき通院している」が 9.4%となっています。

【18 歳未満 問 23】 あなたは、現在、医師の治療（歯科診療を含む）を受けていますか。「（１）障がいに関わること」と「（２）障がい以外のこと」のそれぞれで教えてください。（それぞれ単一回答）

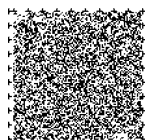
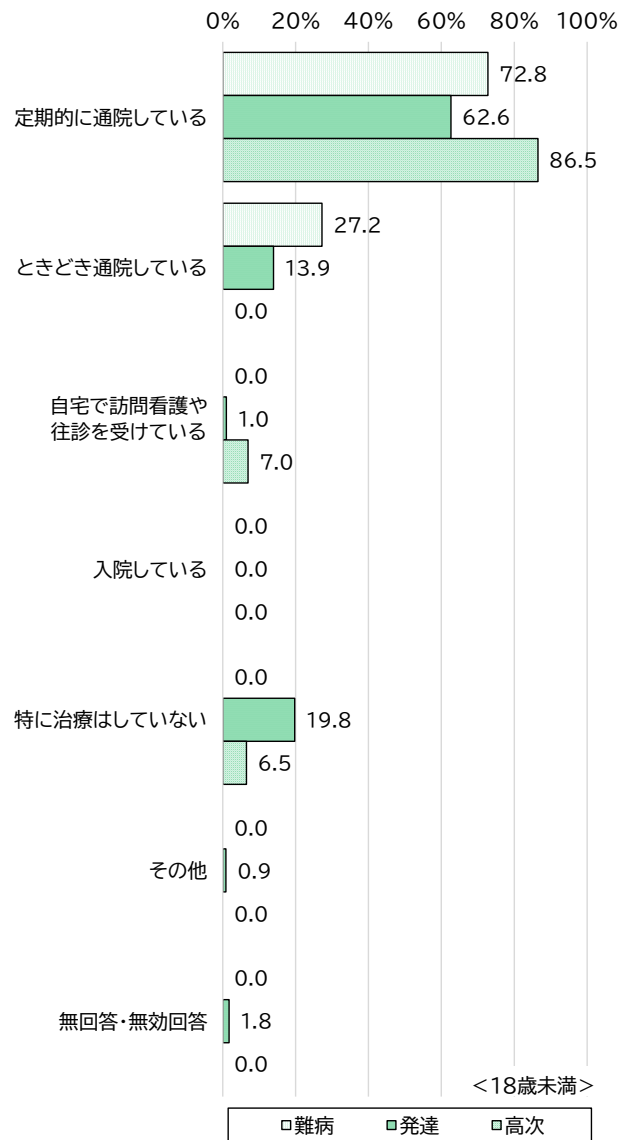
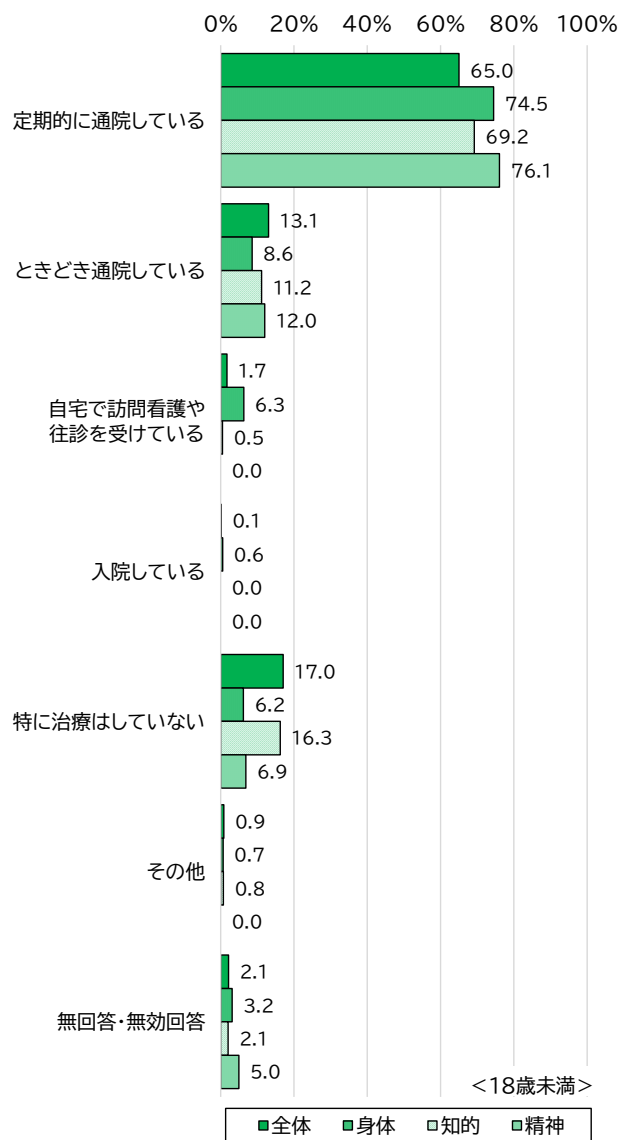
【障がいに関わる医療の利用（18 歳未満）】



参考：前回調査結果 障がいに関わる医療の利用（18歳以上）



参考：前回調査結果 障がいに関わる医療の利用（18歳未満）

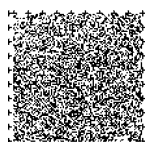
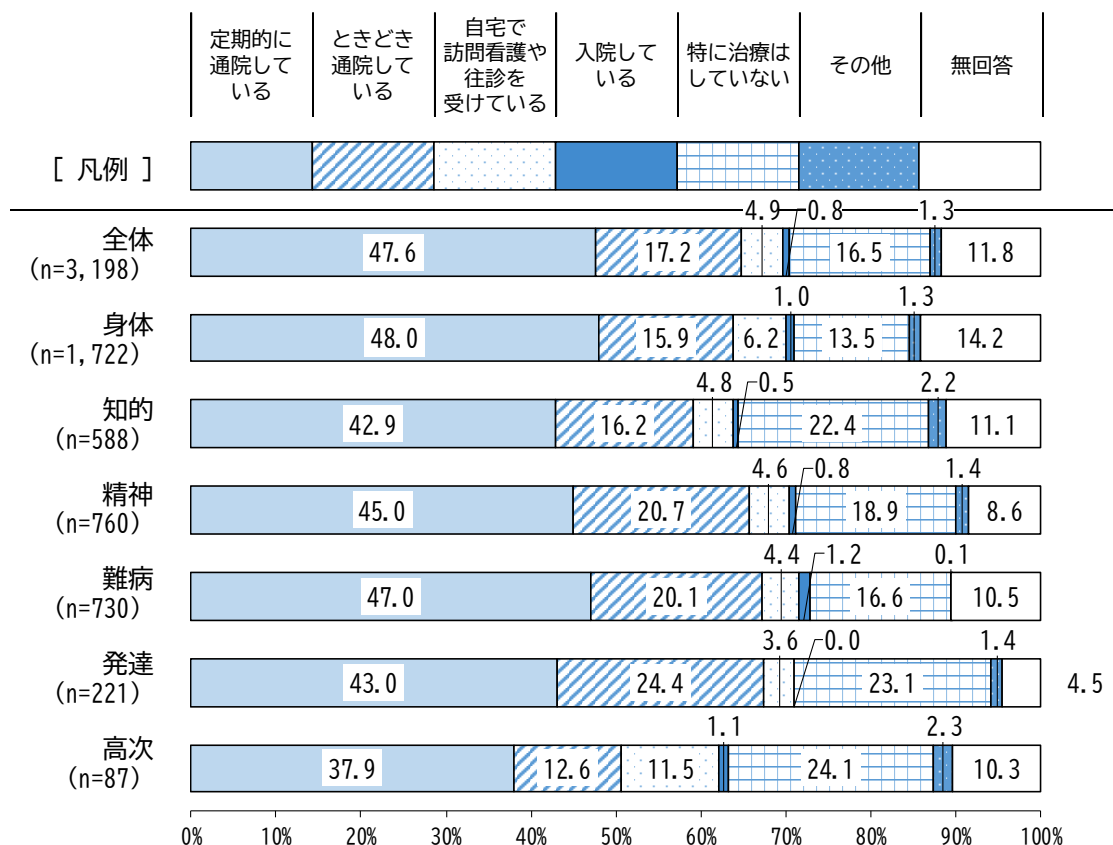


2) 障がい以外の医療の利用

- 障がい以外の医療の利用について、18 歳以上の方全体では、「定期的に通院している」が 47.6%で最も多く、次いで「ときどき通院している」が 17.2%、「特に治療はしていない」が 16.5%となっています。

【18 歳以上 問 25】あなたは、現在、医師の治療（歯科診療を含む）を受けていますか。「(1) 障がいに関すること」と「(2) 障がい以外のこと」のそれぞれで教えてください。
(それぞれ単一回答)

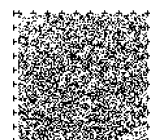
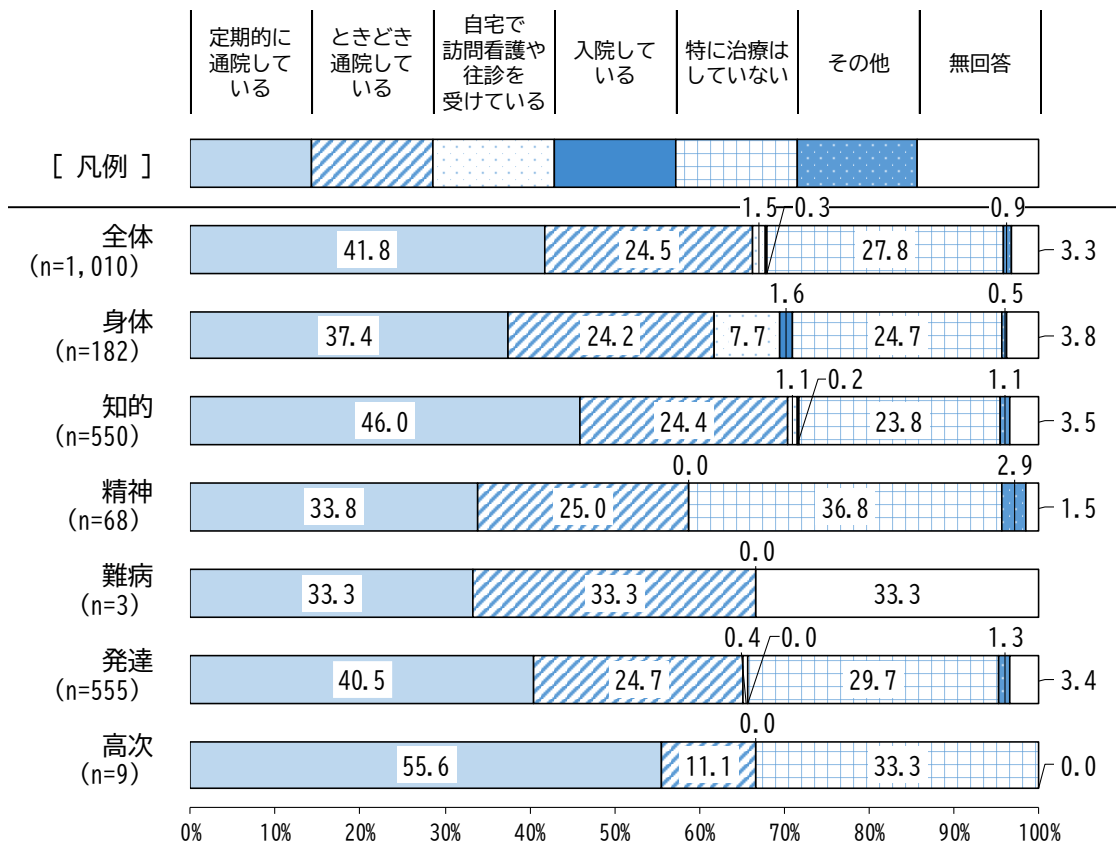
【障がい以外の医療の利用（18 歳以上）】



○ 18 歳未満の方全体では、「定期的に通院している」が 41.8%で最も多く、次いで「特に治療はしていない」が 27.8%、「ときどき通院している」が 24.5%となっています。

【18 歳未満 問 23】 あなたは、現在、医師の治療（歯科診療を含む）を受けていますか。「（１）障がいに関わること」と「（２）障がい以外のこと」のそれぞれで教えてください。（それぞれ単一回答）

【障がい以外の医療の利用（18 歳未満）】

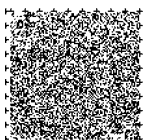
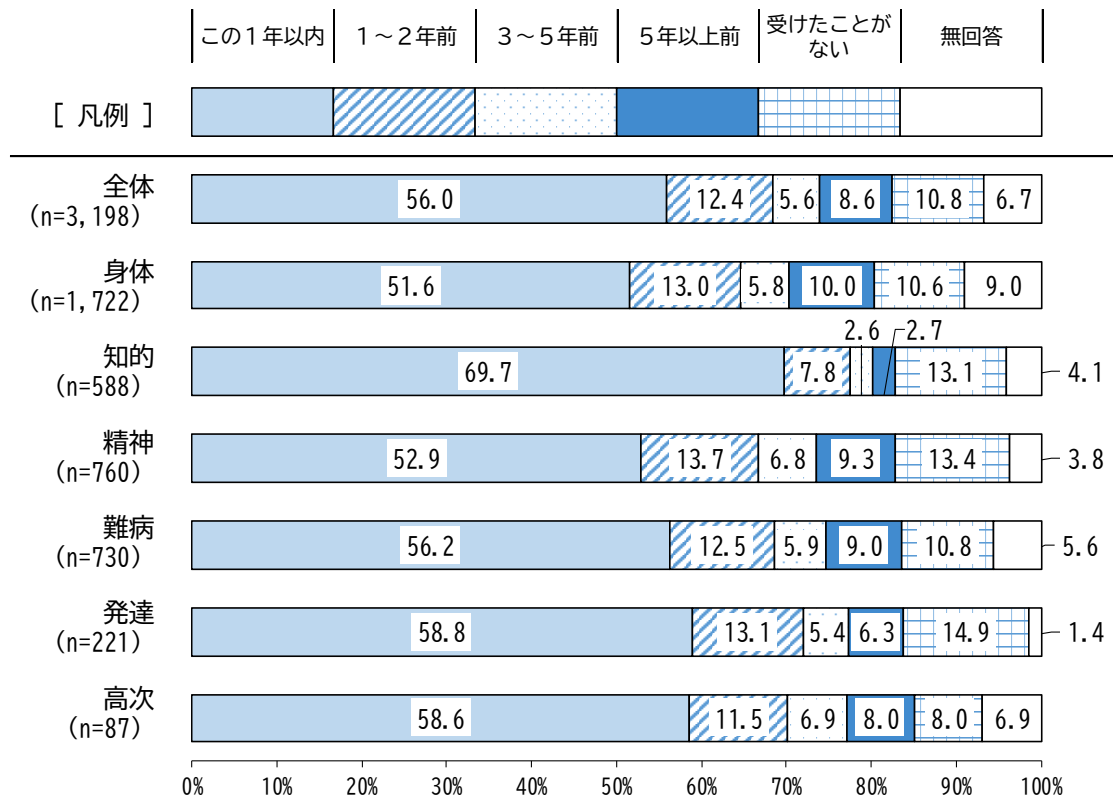


(2) 最後に健康診断等を受けた時期

- 最後に健康診断等を受けた時期について、18 歳以上の方全体では、「この1年以内」が 56.0% で最も多く、次いで「1～2年前」が 12.4%、「受けたことがない」が 10.8%となっています。

【18 歳以上 問 26】 最後に健康診断（人間ドックを含む）を受けたのはいつですか。（単一回答）

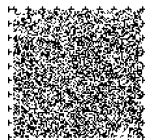
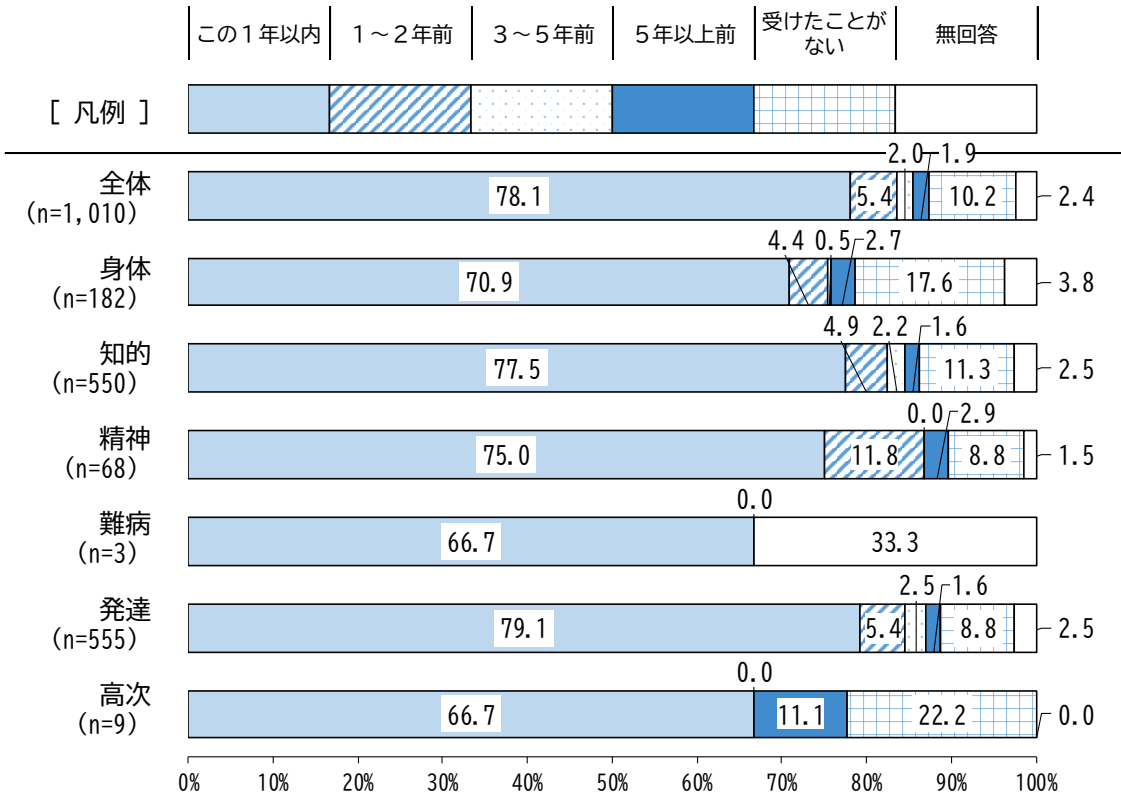
【最後に健康診断等を受けた時期（18 歳以上）】



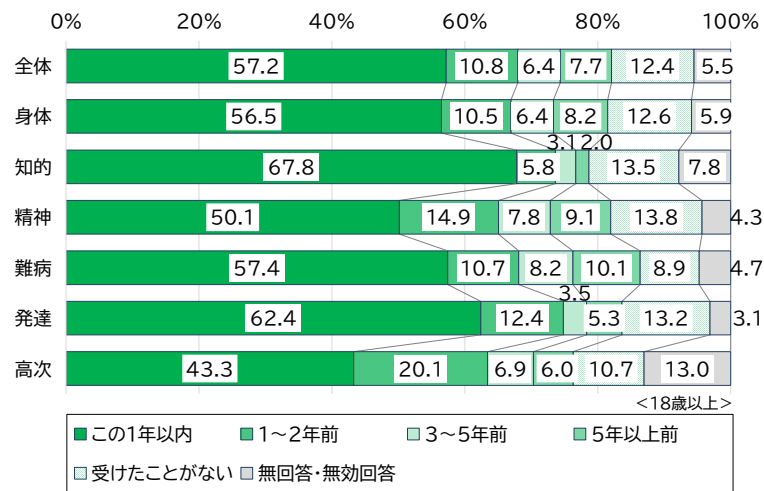
○ 18 歳未満の方全体では、「この1年以内」が 78.1%で最も多く、次いで「受けたことがない」が 10.2%、「1～2年前」が 5.4%となっています。

【18 歳未満 問 24】 最後に健康診断を受けたのはいつですか。（単一回答）

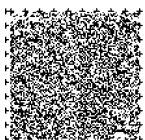
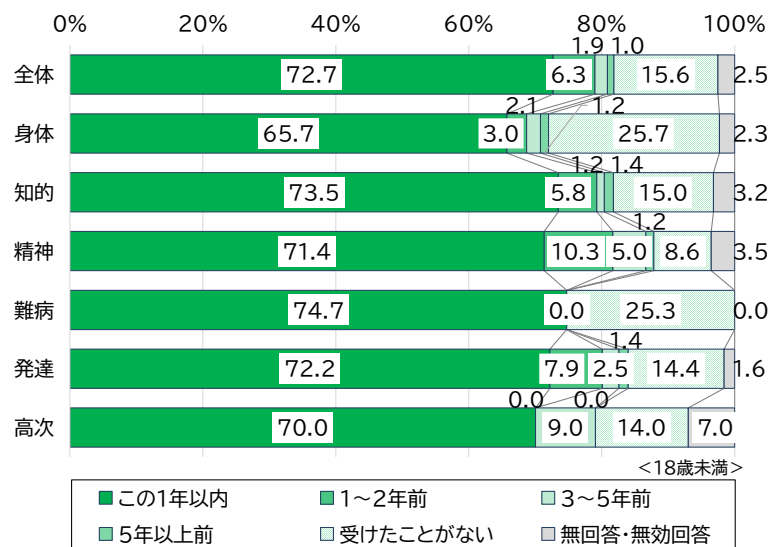
【最後に健康診断等を受けた時期（18 歳未満）】



参考：前回調査結果 最後に健康診断等を受けた時期（18歳以上）



参考：前回調査結果 最後に健康診断等を受けた時期（18歳未満）

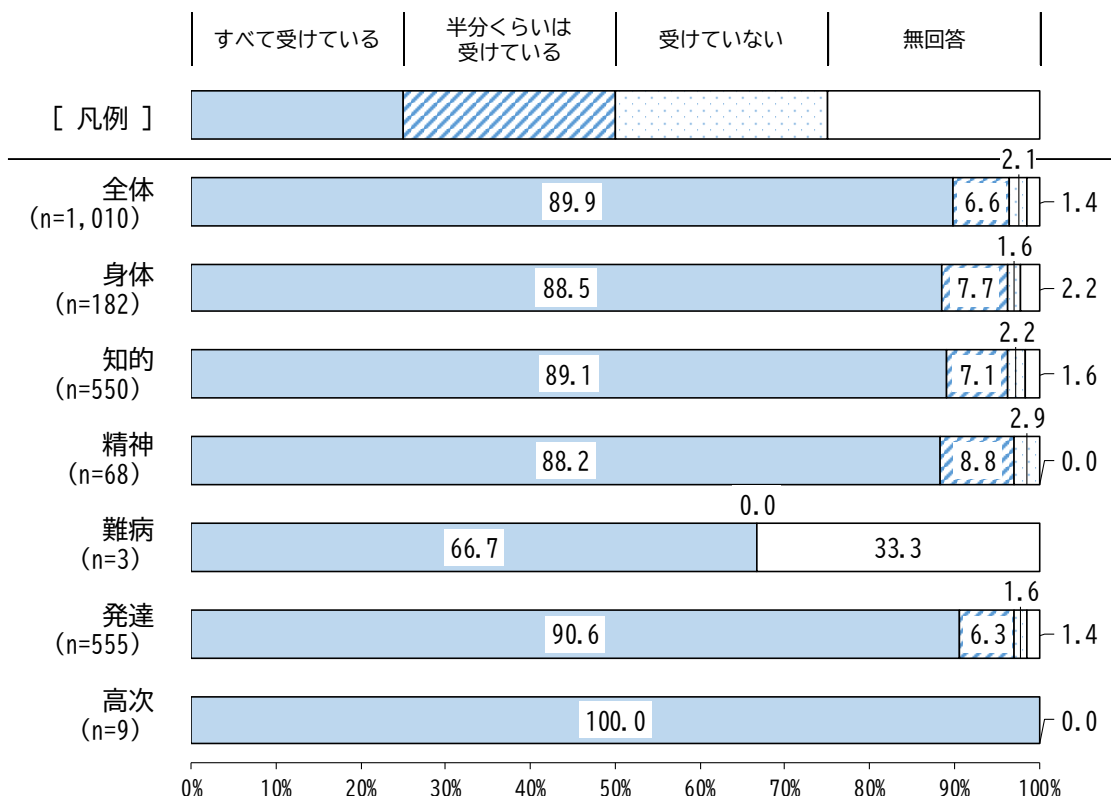


(3) 予防接種を受けているか (18歳未満)

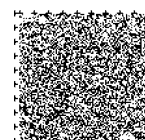
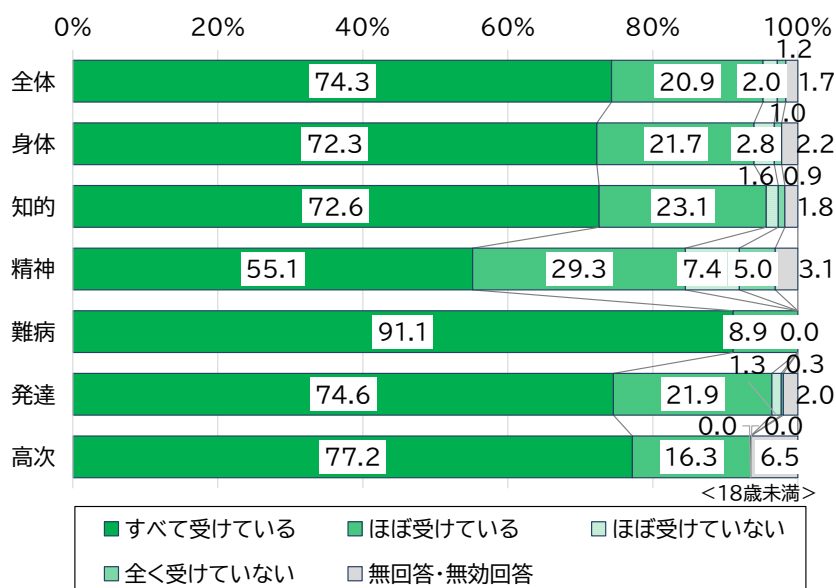
- 予防接種を受けているかについて、18歳未満の方全体では、「すべて受けている」が89.9%で最も多く、次いで「半分くらいは受けている」が6.6%、「受けていない」が2.1%となっています。

【18歳未満 問25】 あなたは予防接種（ジフテリア・百日せき・麻しん（はしか）、風しん等）を受けていますか。（単一回答）

【予防接種を受けているか (18歳未満)】



参考：前回調査結果 予防接種を受けているか (18歳未満)

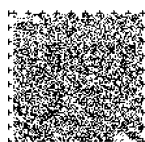
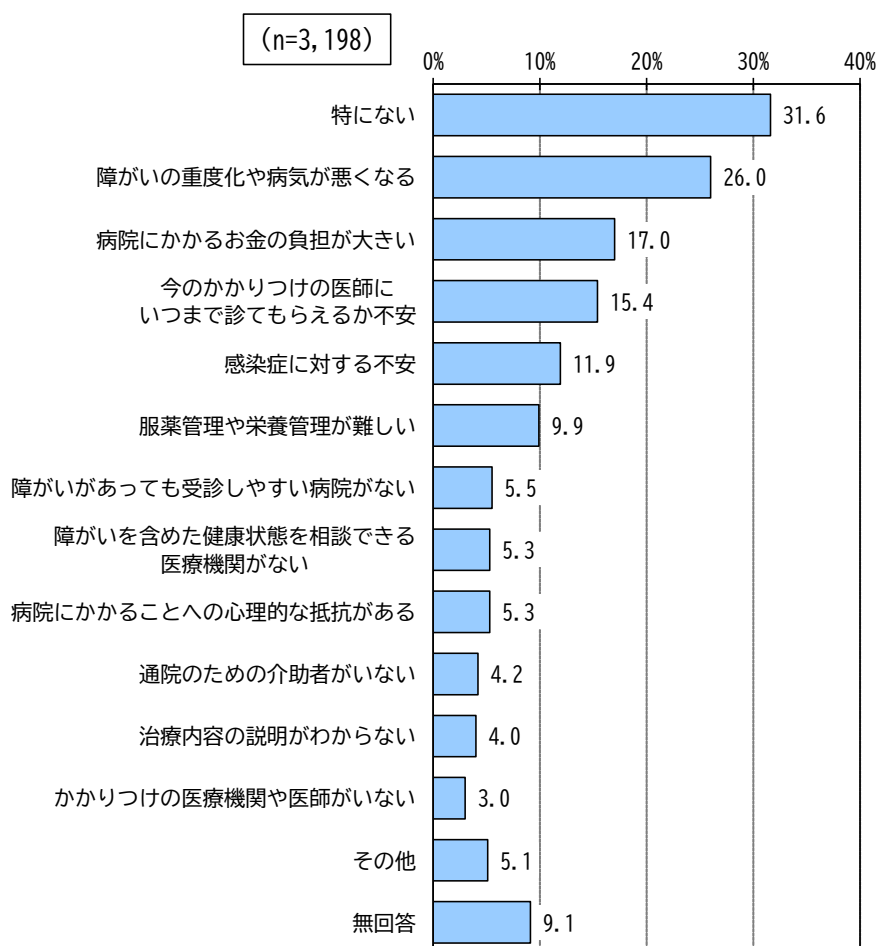


(4) 健康や医療についての不安、困っていること

- 健康や医療についての不安、困っていることについて、18 歳以上の方全体では、「特にない」が 31.6%で最も多く、次いで「障がいの重度化や病気が悪くなる」が 26.0%、「病院にかかるお金の負担が大きい」が 17.0%となっています。

【18 歳以上 問 27】 あなたは、ご自分の健康や医療のことで、困っていることや不安に思っていることがありますか。(複数回答)

【健康や医療についての不安、困っていること (18 歳以上)】

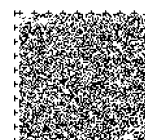


【健康や医療についての不安、困っていること（18歳以上）（障がい種別・詳細）】

単位：％

回答者数(人)		障がいの重度化や 病気が悪くなる	栄養管理や 服薬管理が難しい	障がいがあっても 受診しやすい 病院がない	かかりつけの 医療機関や 医師がいない	今のかかりつけの 医師にいつまで 診てもらえるか不安	治療内容の 説明がわからない	病院にかかる お金の負担が 大きい
全体(n=3,198)		26.0	9.9	5.5	3.0	15.4	4.0	17.0
障がい種別	身体(n=1,722)	29.3	7.2	4.4	2.8	11.8	3.3	12.9
	知的(n=588)	14.6	15.3	14.5	4.6	19.2	8.5	9.5
	精神(n=760)	23.6	16.1	6.1	3.2	23.2	5.7	23.4
	難病(n=730)	37.1	9.5	3.2	1.5	14.7	1.8	21.2
	発達(n=221)	21.7	26.2	16.3	4.1	27.1	10.0	23.5
	高次(n=87)	26.4	17.2	8.0	3.4	21.8	6.9	20.7
身体障がい詳細	視覚(n=298)	49.7	7.0	4.4	2.3	14.8	3.4	12.1
	聴覚(n=276)	24.3	5.8	6.5	2.2	9.1	4.3	13.0
	音声(n=144)	22.9	11.1	1.4	2.8	14.6	3.5	18.8
	体幹(n=560)	32.9	8.9	6.6	3.9	14.3	4.1	11.8
	内部(n=429)	28.9	9.3	2.3	1.6	13.5	3.0	14.7

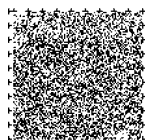
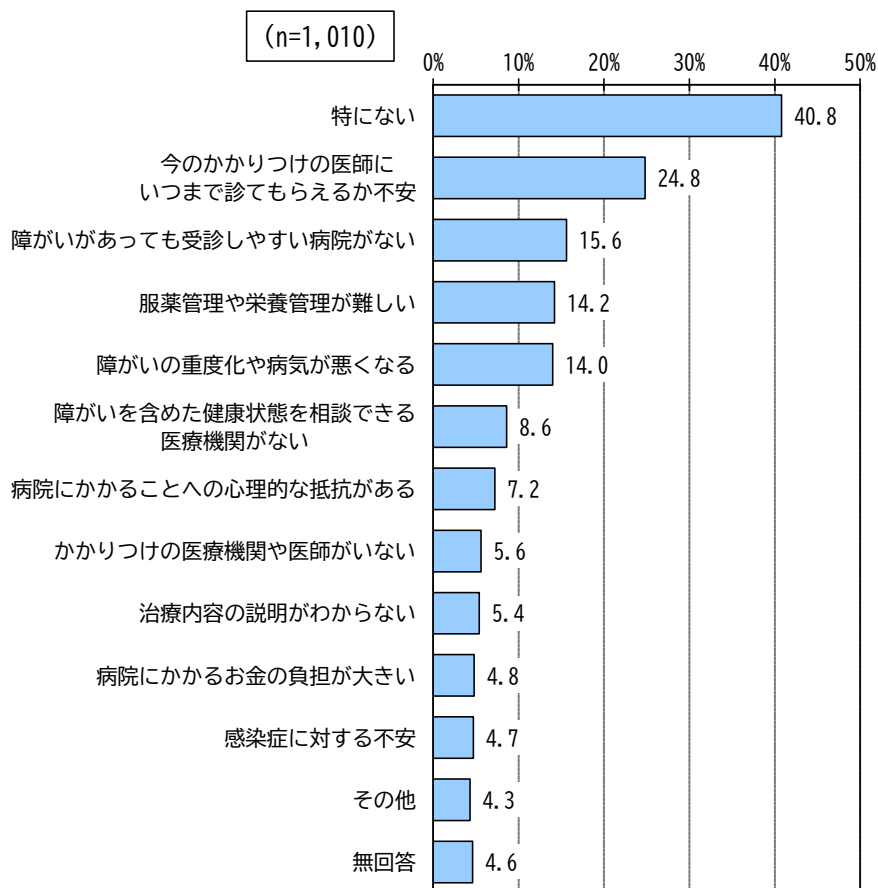
		健康状態を相談できる 医療機関がない	通院のための 介助者がいない	感染症に対する不安	病院にかかることへの 心理的な抵抗がある	特にない	その他	無回答
全体		5.3	4.2	11.9	5.3	31.6	5.1	9.1
障がい種別	身体	4.1	4.5	11.1	3.4	33.8	3.9	11.6
	知的	8.7	5.3	10.9	7.0	35.7	4.6	8.5
	精神	8.6	3.8	10.0	8.3	25.9	8.7	6.2
	難病	2.2	3.6	17.9	5.2	28.2	5.1	5.6
	発達	14.9	5.4	12.2	12.2	21.7	10.0	3.6
	高次	4.6	1.1	8.0	1.1	33.3	3.4	9.2
身体障がい詳細	視覚	5.4	4.7	8.7	2.7	22.1	5.0	9.7
	聴覚	4.3	4.3	5.4	3.3	36.2	4.3	14.1
	音声	4.2	4.9	13.9	4.2	23.6	5.6	16.7
	体幹	6.6	7.0	10.7	3.8	31.6	5.0	10.0
	内部	1.6	3.0	19.3	3.5	37.1	2.3	6.8



- 18 歳未満の方全体では、「特にない」が 40.8%で最も多く、次いで「今のかかりつけの医師にいつまで診てもらえるか不安」が 24.8%、「障がいがあっても受診しやすい病院がない」が 15.6%となっています。

【18 歳未満 問 26】 あなたは、ご自分の健康や医療のことで、困っていることや不安に思っていることがありますか。（複数回答）

【健康や医療についての不安、困っていること（18 歳未満）】

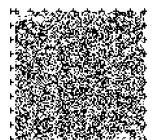


【健康や医療についての不安、困っていること（18歳未満）（障がい種別）】

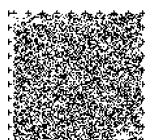
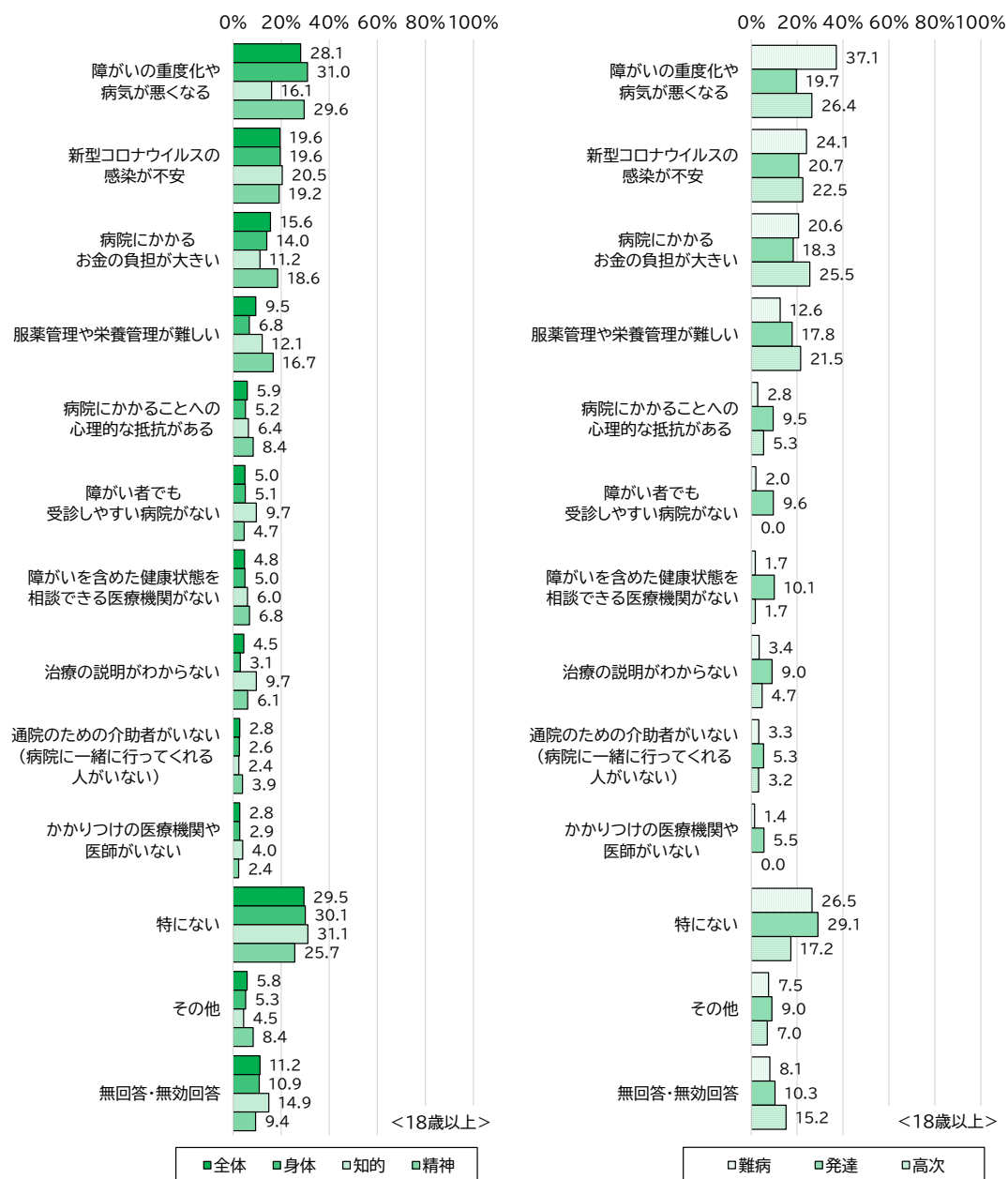
単位：％

回答者数(人)		障がいの重度化や病気が悪くなる	服薬管理や栄養管理が難しい	障がいがあっても受診しやすい 病院がない	かかりつけの医療機関や医師がいない	今のかかりつけの医師に いつまで診てもらえるか不安	治療内容の説明がわからない	病院にかかるお金の負担が大きい
全体(n=1,010)		14.0	14.2	15.6	5.6	24.8	5.4	4.8
障がい種別	身体(n=182)	33.0	18.7	12.6	3.8	28.0	3.3	8.2
	知的(n=550)	16.9	17.1	22.5	6.4	32.2	7.1	4.5
	精神(n=68)	14.7	29.4	17.6	2.9	36.8	2.9	7.4
	難病(n=3)	-	-	33.3	-	33.3	-	-
	発達(n=555)	12.3	16.0	16.4	6.8	25.9	5.6	5.2
	高次(n=9)	22.2	22.2	33.3	11.1	55.6	11.1	11.1

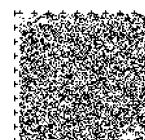
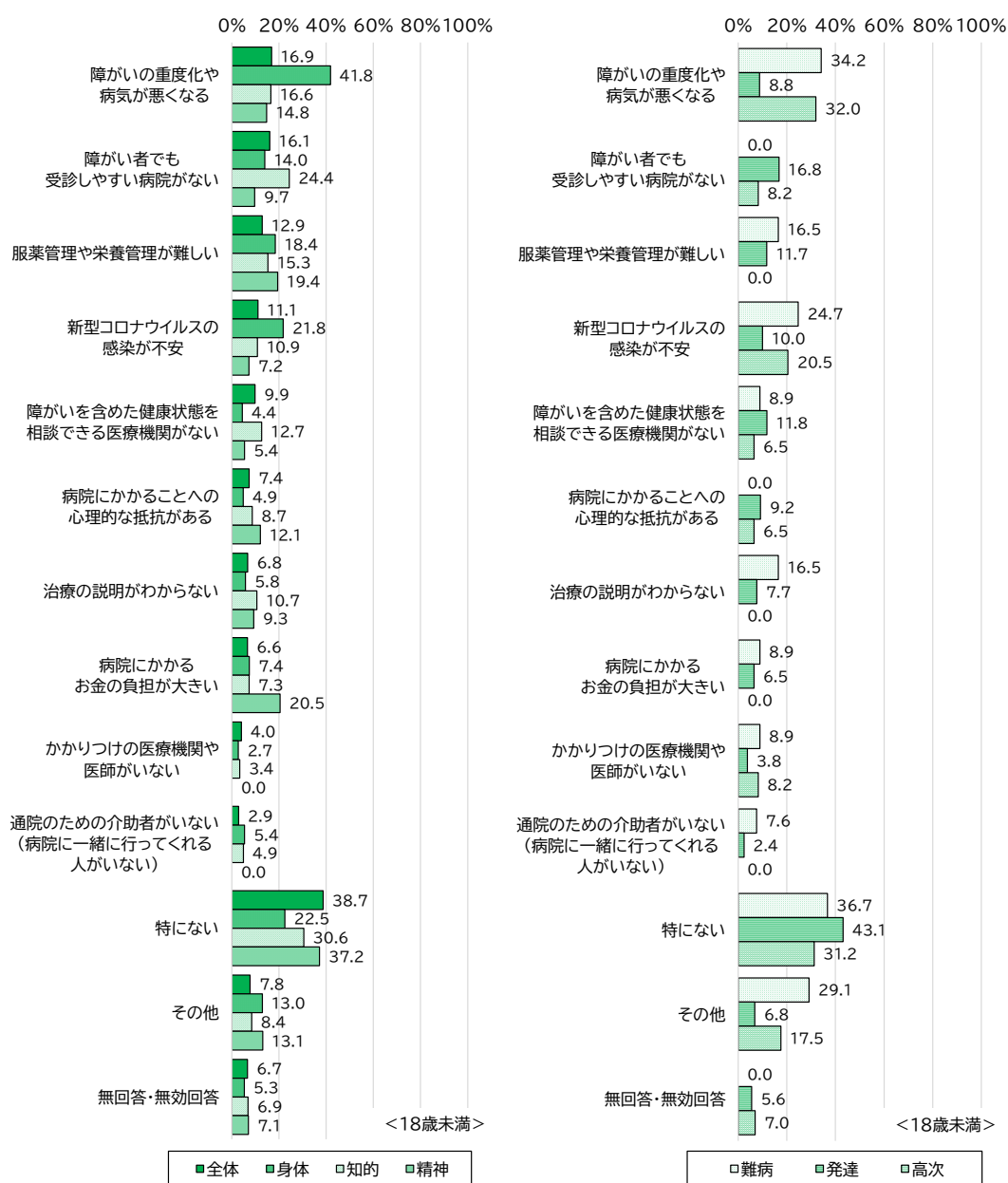
		障がいを含めた健康状態を 相談できる医療機関がない	感染症に対する不安	病院にかかることへの 心理的な抵抗がある	特にない	その他	無回答
全体		8.6	4.7	7.2	40.8	4.3	4.6
障がい種別	身体	7.7	10.4	2.7	30.2	6.6	3.8
	知的	11.5	4.0	8.5	30.5	4.5	4.7
	精神	16.2	4.4	16.2	26.5	8.8	4.4
	難病	-	-	-	-	-	33.3
	発達	8.3	2.9	8.3	40.2	4.0	5.4
	高次	44.4	-	22.2	-	22.2	11.1



参考：前回調査結果 健康や医療についての不安、困っていること（18歳以上）



参考：前回調査結果 健康や医療についての不安、困っていること（18歳未満）



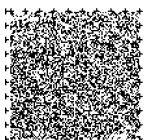
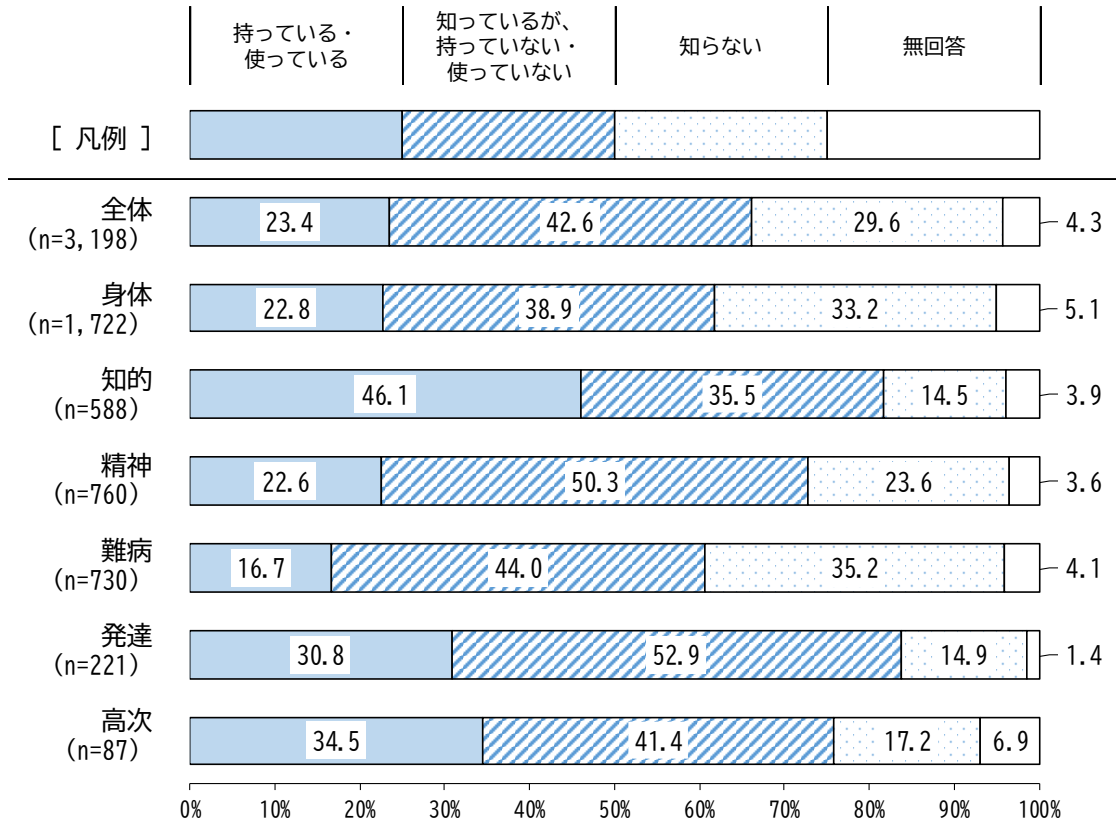
7. 災害時の対応

(1) 「ヘルプカード（たすけてねカード）」の認知度

- 「ヘルプカード（たすけてねカード）」の認知度について、18歳以上の方全体では、「知っているが、持っていない・使っていない」が42.6%で最も多く、次いで「知らない」が29.6%、「持っている・使っている」が23.4%となっています。

【18歳以上 問28】 あなたは「ヘルプカード（たすけてねカード）」を知っていますか。（単一回答）

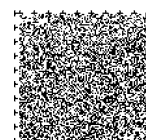
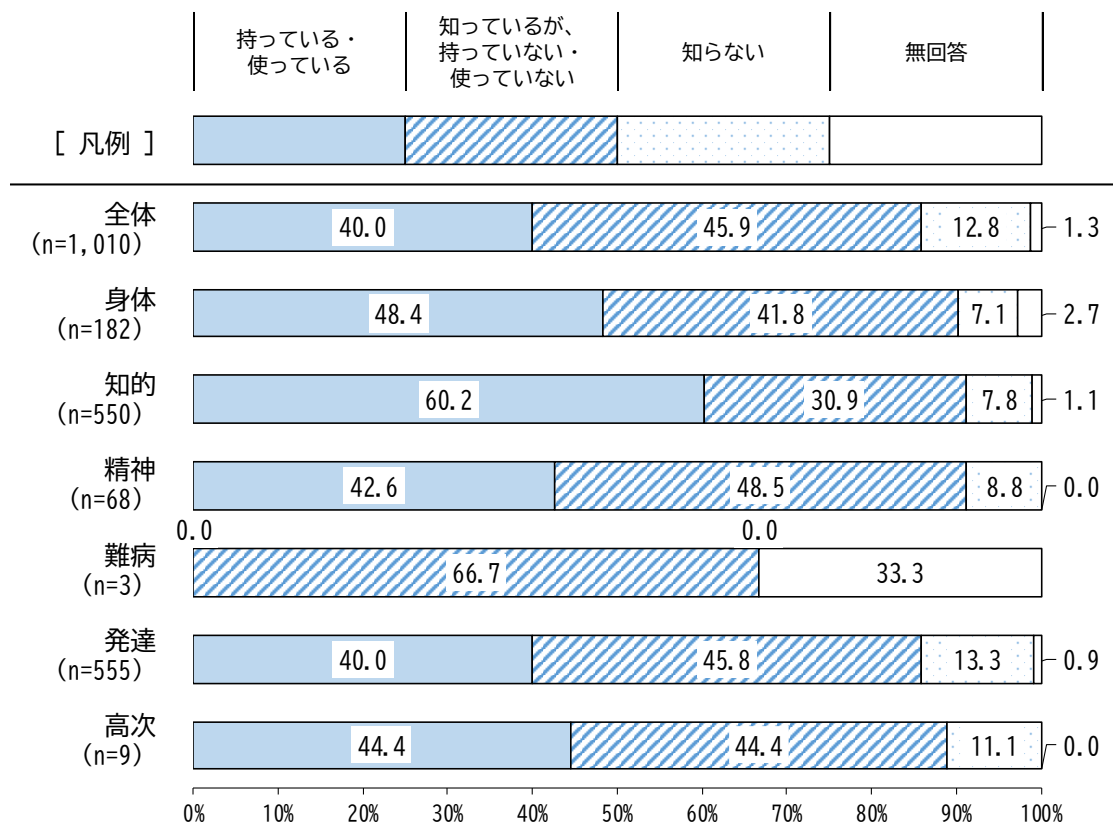
【「ヘルプカード（たすけてねカード）」の認知度（18歳以上）】



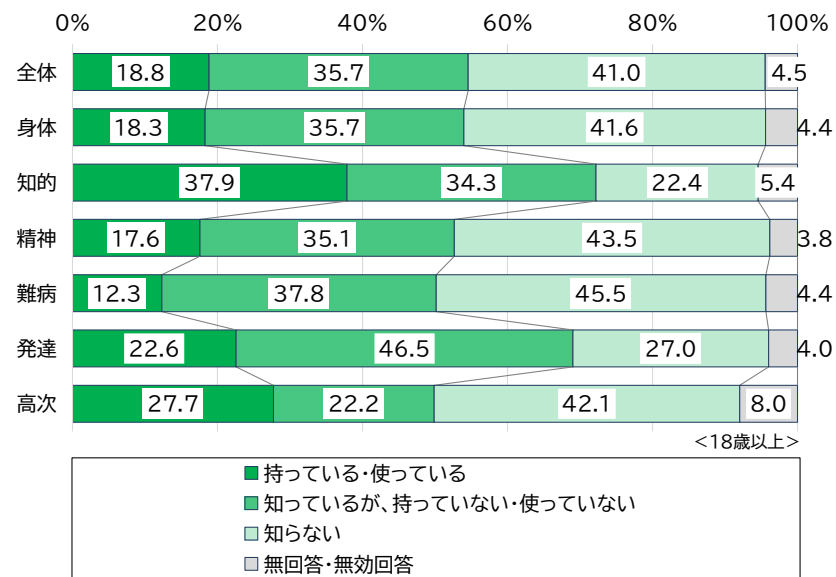
○ 18 歳未満の方全体では、「知っているが、持っていない・使っていない」が 45.9%で最も多く、次いで「持っている・使っている」が 40.0%、「知らない」が 12.8%となっています。

【18 歳未満 問 27】 あなたは「ヘルプカード（たすけてねカード）」を知っていますか。（単一回答）

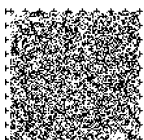
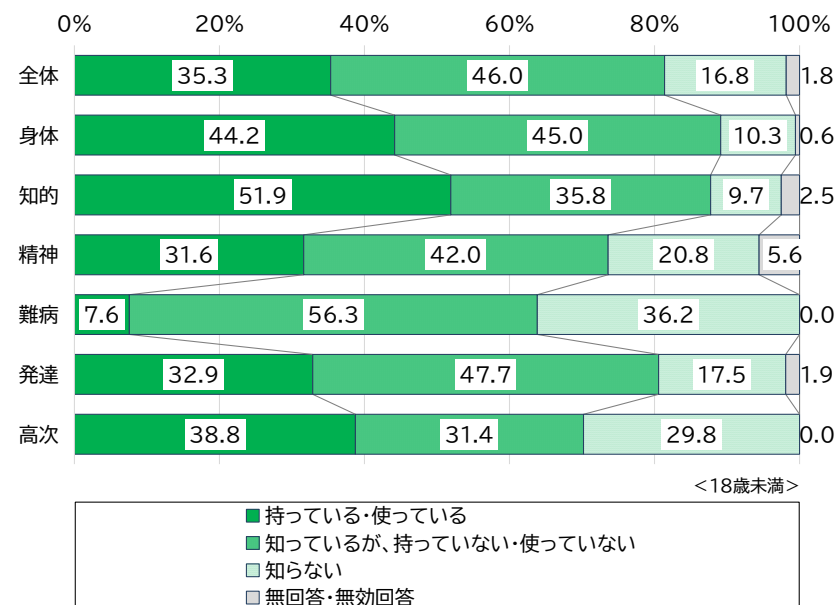
【「ヘルプカード（たすけてねカード）」の認知度（18 歳未満）】



参考：前回調査結果 「ヘルプカード（たすけてねカード）」の認知度（18歳以上）



参考：前回調査結果 「ヘルプカード（たすけてねカード）」の認知度（18歳未満）

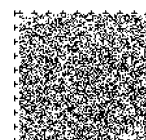
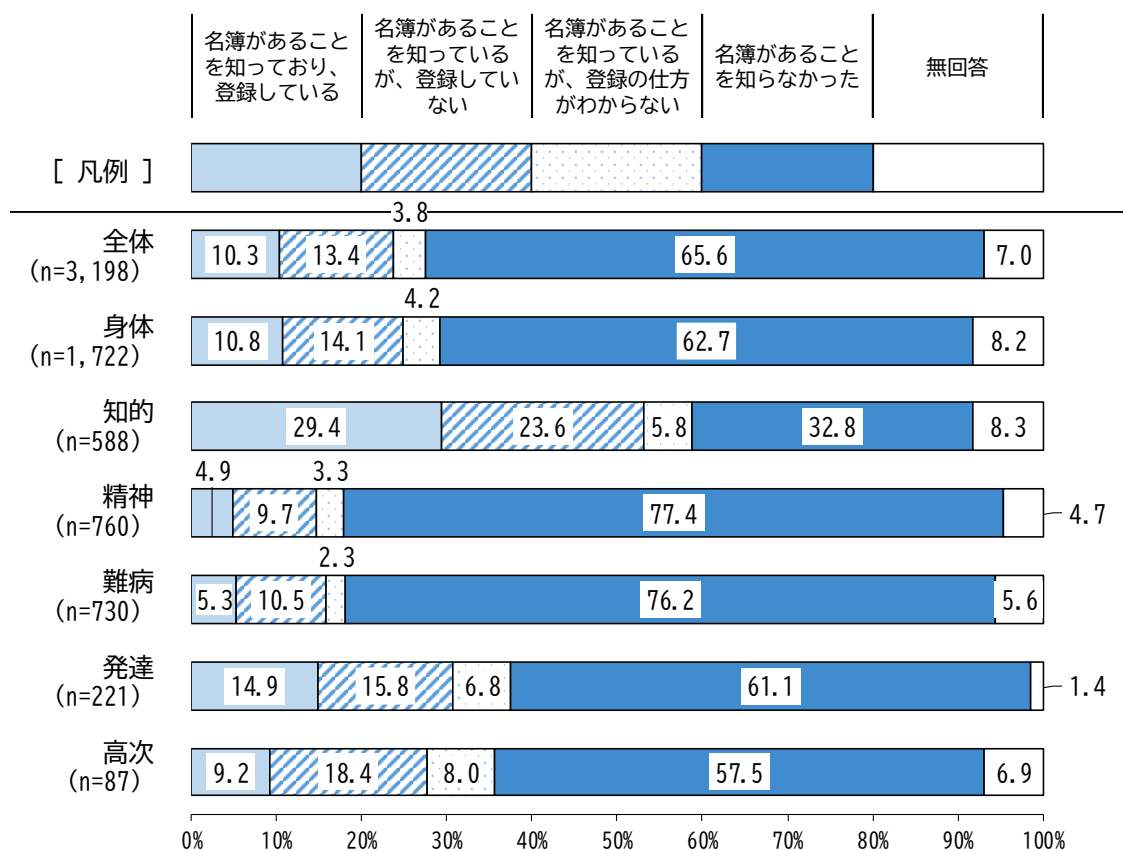


(2)「避難行動要支援者名簿」の認知度

- 「避難行動要支援者名簿」の認知度について、18 歳以上の方全体では、「名簿があることを知らなかった」が 65.6%で最も多く、次いで「名簿があることを知っているが、登録していない」が 13.4%、「名簿があることを知っており、登録している」が 10.3%となっています。

【18 歳以上 問 29】 あなたは、災害（地震や台風など）のとき、無事かどうかの確認や避難の手助けなどのために作成されている「避難行動要支援者名簿」を知っていますか。（単一回答）

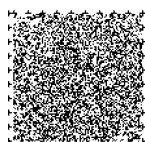
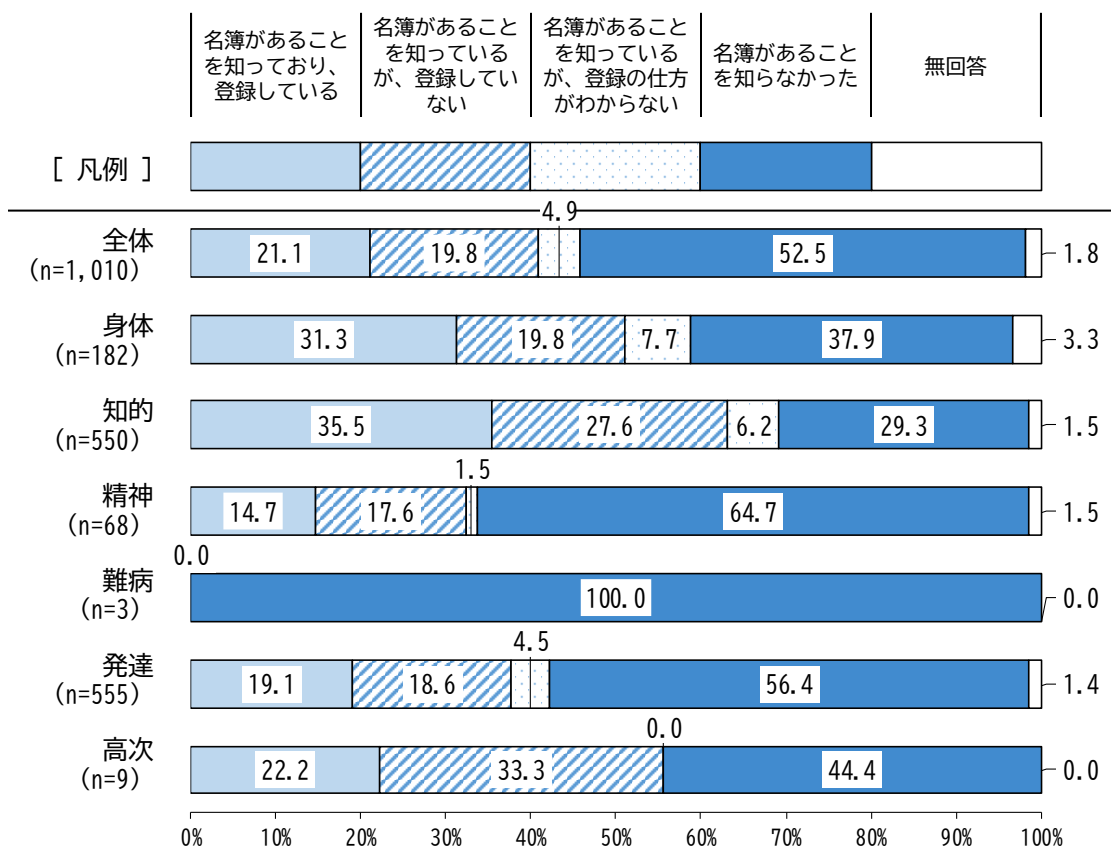
【「避難行動要支援者名簿」の認知度（18 歳以上）】



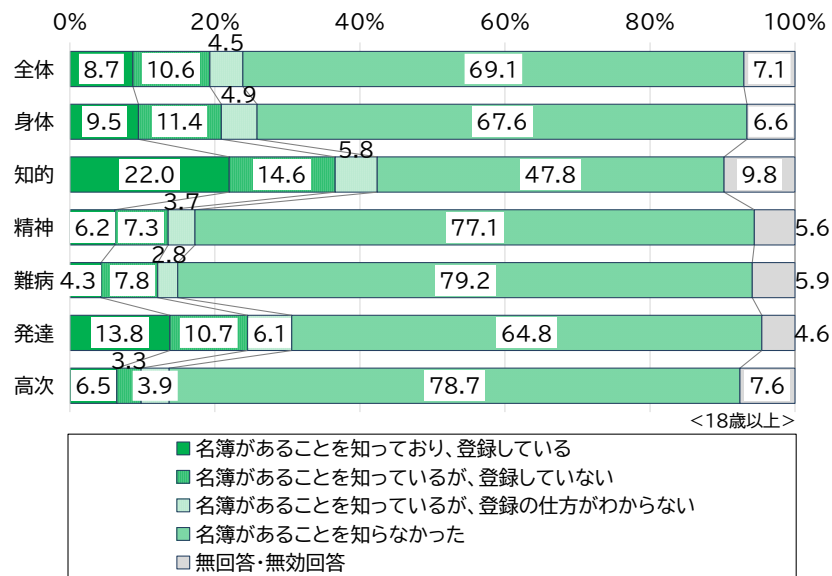
- 18 歳未満の方全体では、「名簿があることを知らなかった」が 52.5%で最も多く、次いで「名簿があることを知っており、登録している」が 21.1%、「名簿があることを知っているが、登録していない」が 19.8%となっています。

【18 歳未満 問 28】 あなたは、災害（地震や台風など）のとき、無事かどうかの確認や避難の手助けなどのために作成されている「避難行動要支援者名簿」を知っていますか。（単一回答）

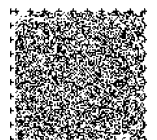
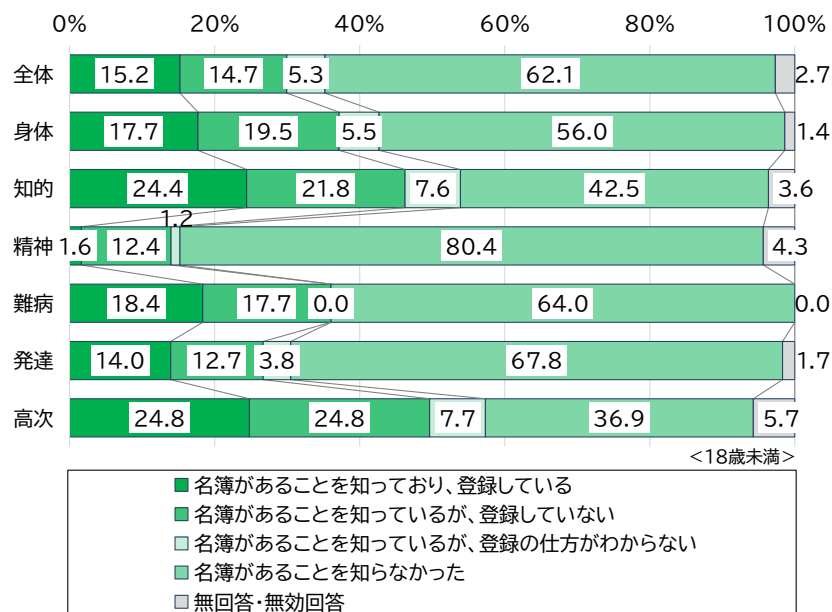
【「避難行動要支援者名簿」の認知度（18 歳未満）】



参考：前回調査結果 「避難行動要支援者名簿」の認知度（18歳以上）



参考：前回調査結果 「避難行動要支援者名簿」の認知度（18歳未満）

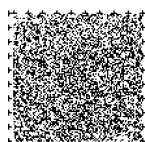
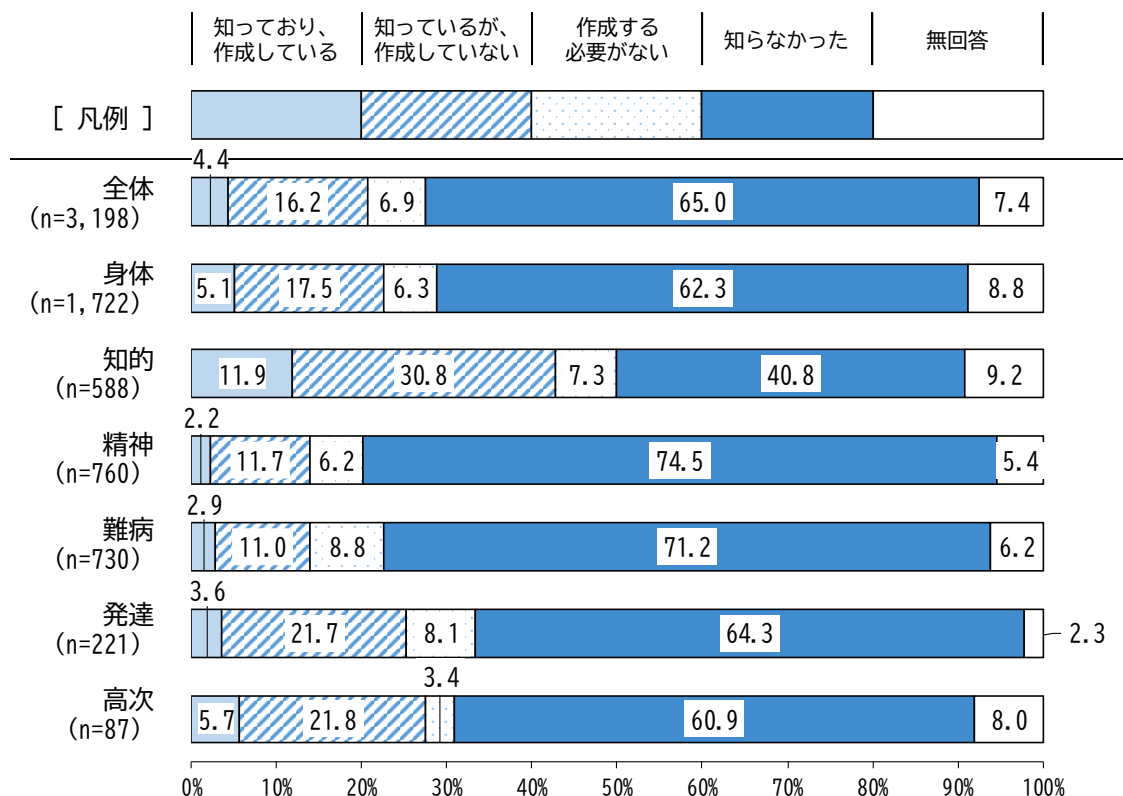


(3) 「個別避難計画」の認知度

- 「個別避難計画」の認知度について、18 歳以上の方全体では、「知らなかった」が 65.0%で最も多く、次いで「知っているが、作成していない」が 16.2%、「作成する必要がある」が 6.9%となっています。

【18 歳以上 問 30】 あなたは、災害（地震や台風など）時に自ら避難することが困難な避難行動要支援者が作成することを推奨されている、「個別避難計画」を知っており作成していますか。
(単一回答)

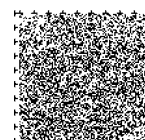
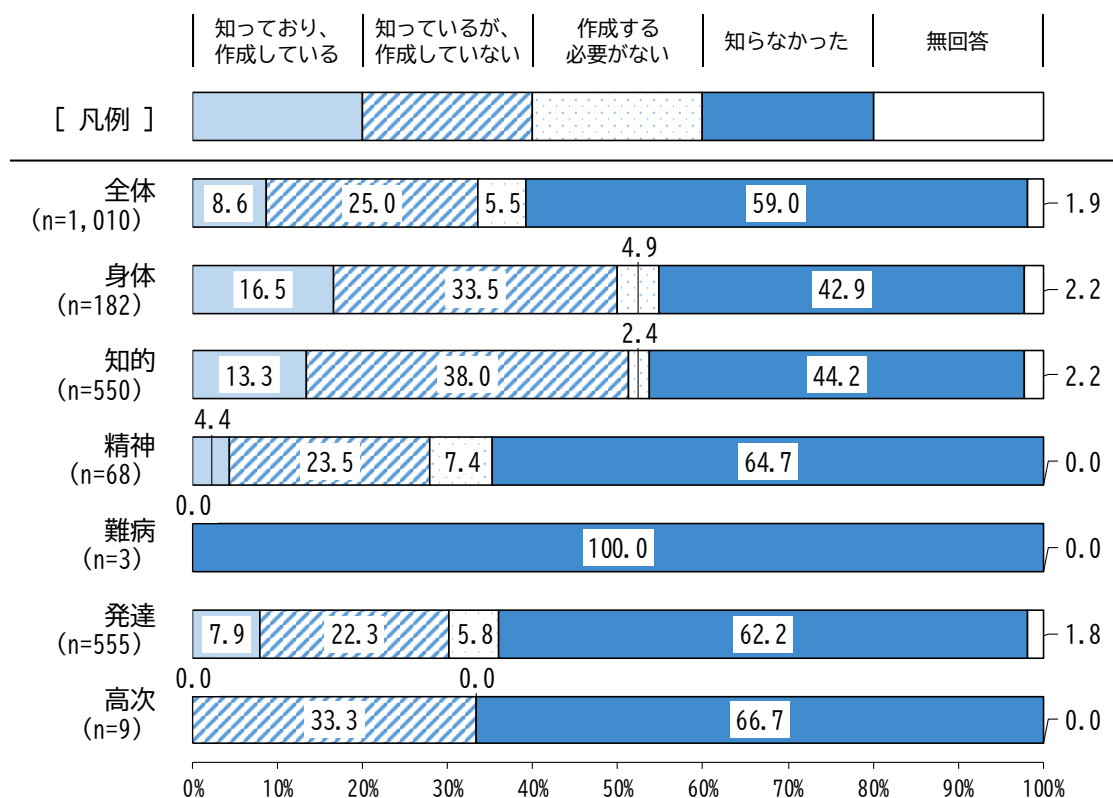
【「個別避難計画」の認知度（18 歳以上）】



○ 18 歳未満の方全体では、「知らなかった」が 59.0%で最も多く、次いで「知っているが、作成していない」が 25.0%、「知っており、作成している」が 8.6%となっています。

【18 歳未満 問 29】 あなたは、災害（地震や台風など）時に自ら避難することが困難な避難行動要支援者が作成することを推奨されている、「個別避難計画」を知っており作成していますか。
（単一回答）

【「個別避難計画」の認知度（18 歳未満）】

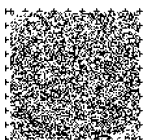
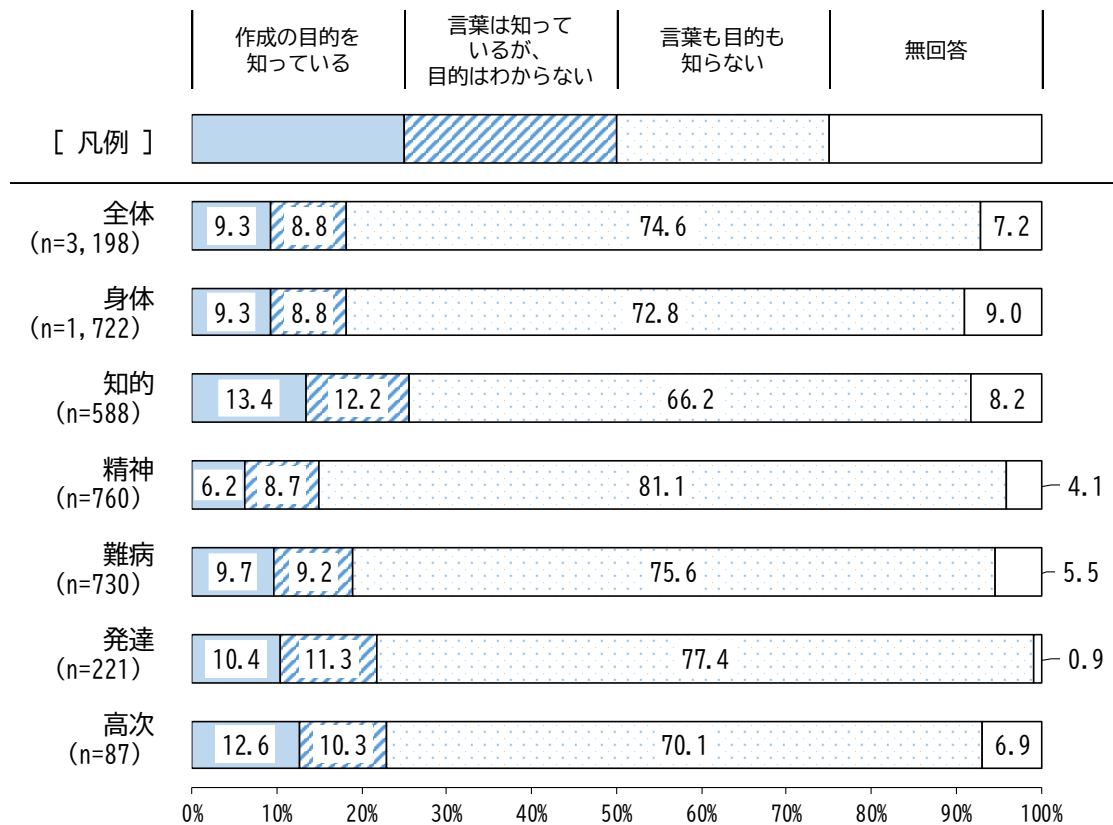


(4)「マイ・タイムライン」の認知度

- 「マイ・タイムライン」の認知度について、18 歳以上の方全体では、「言葉も目的も知らない」が 74.6%で最も多く、次いで「作成の目的を知っている」が 9.3%、「言葉は知っているが、目的はわからない」が 8.8%となっています。

【18 歳以上 問 31】 あなたは「マイ・タイムライン」を知っていますか。(単一回答)

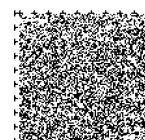
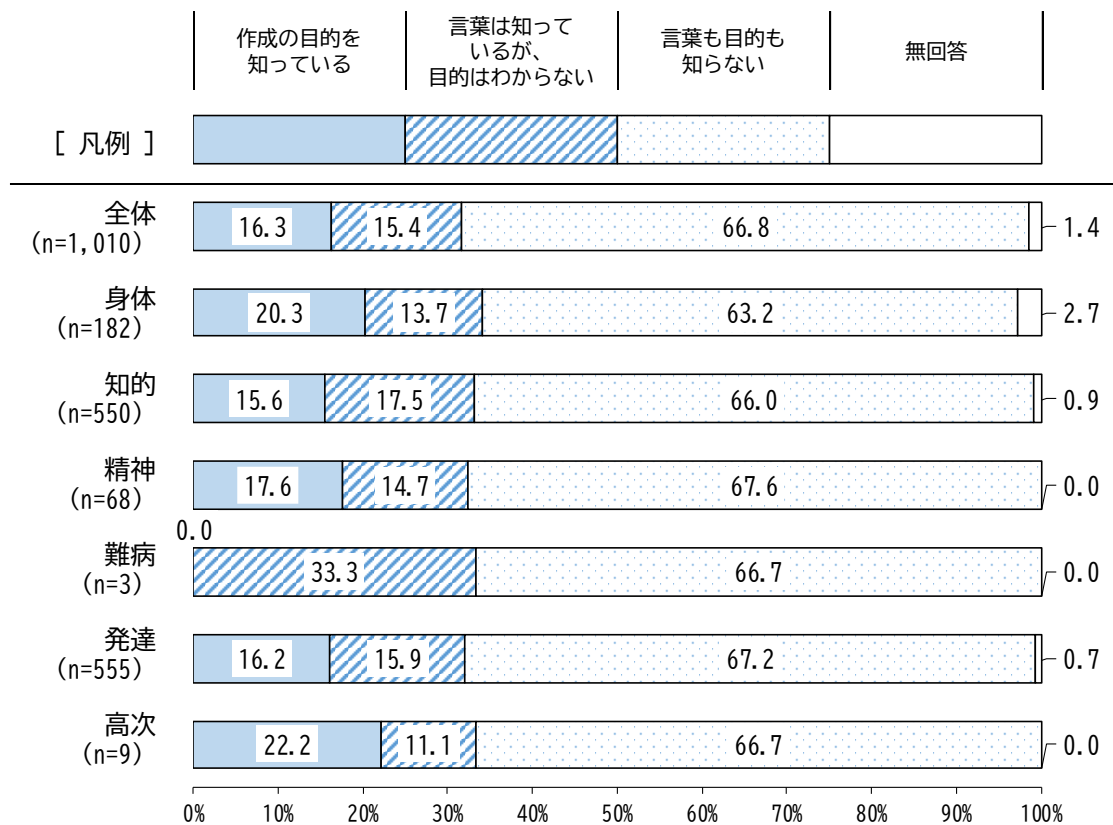
【「マイ・タイムライン」の認知度 (18 歳以上)】



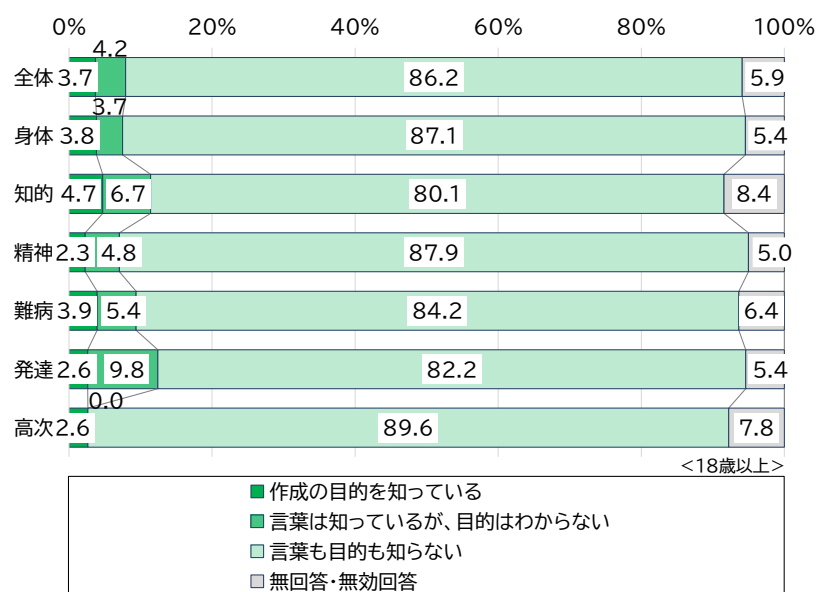
○ 18 歳未満の方全体では、「言葉も目的も知らない」が 66.8%で最も多く、次いで「作成の目的を知っている」が 16.3%、「言葉は知っているが、目的はわからない」が 15.4%となっています。

【18 歳未満 問 30】 あなたは「マイ・タイムライン」を知っていますか。(単一回答)

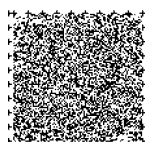
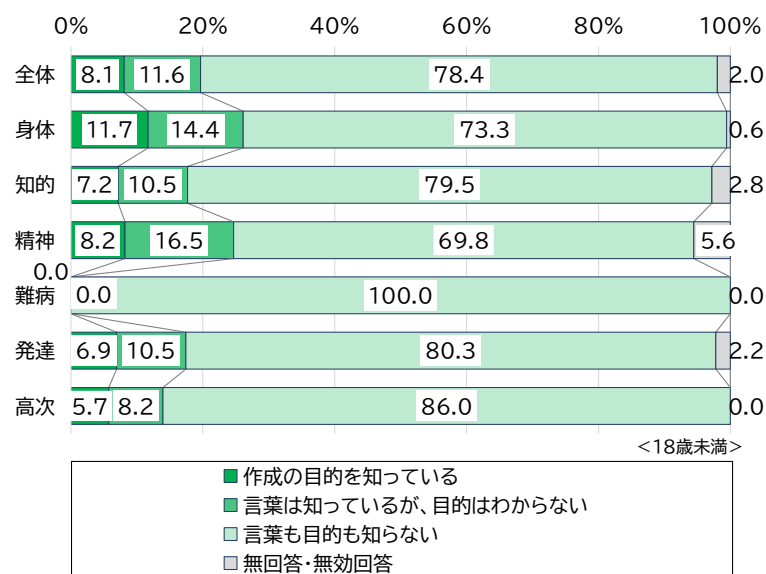
【「マイ・タイムライン」の認知度 (18 歳未満)】



参考：前回調査結果 「マイ・タイムライン」の認知度（18歳以上）



参考：前回調査結果 「マイ・タイムライン」の認知度（18歳未満）

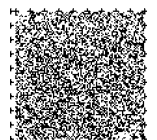
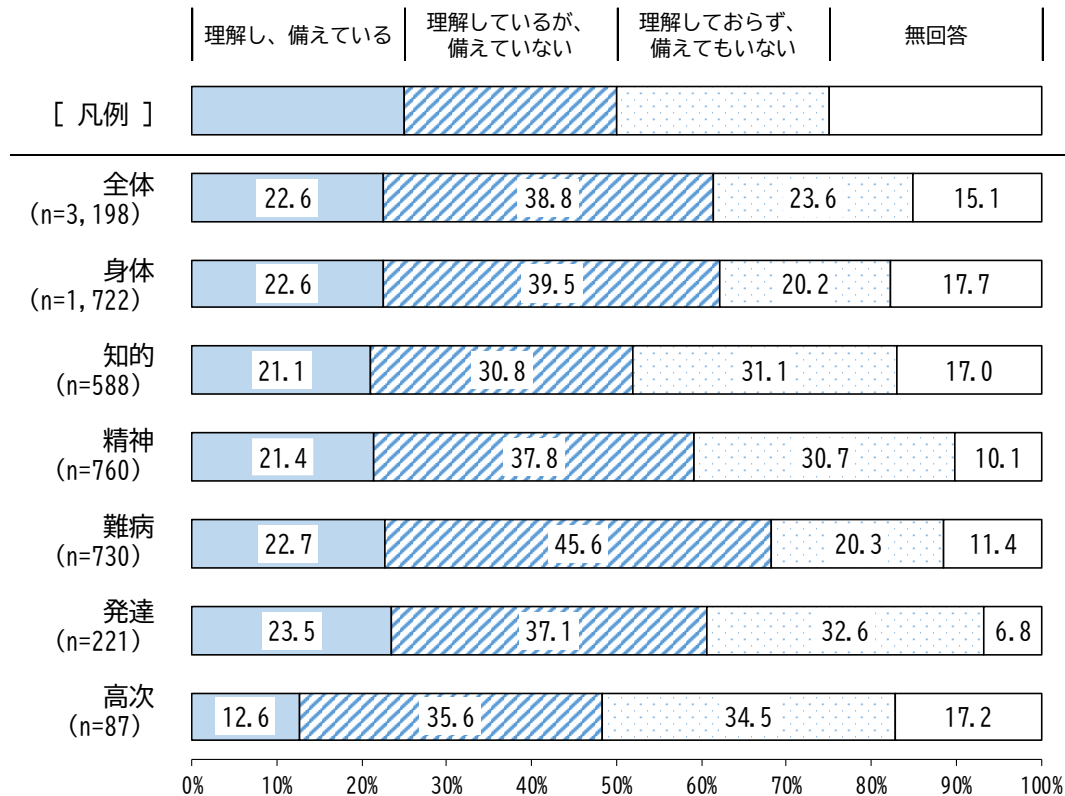


(5) 災害時の備えや行動への理解

- 災害時の備えや行動への理解について、18 歳以上の方全体では、「理解しているが、備えていない」が 38.8%で最も多く、次いで「理解しておらず、備えてもない」が 23.6%、「理解し、備えている」が 22.6%となっています。

【18 歳以上 問 32-1】あなたは、災害（台風の水害等含む）が起きた際に、どのような行動（避難など）をすればよいか理解し、備えていますか。（単一回答）

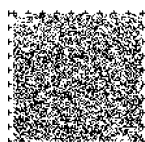
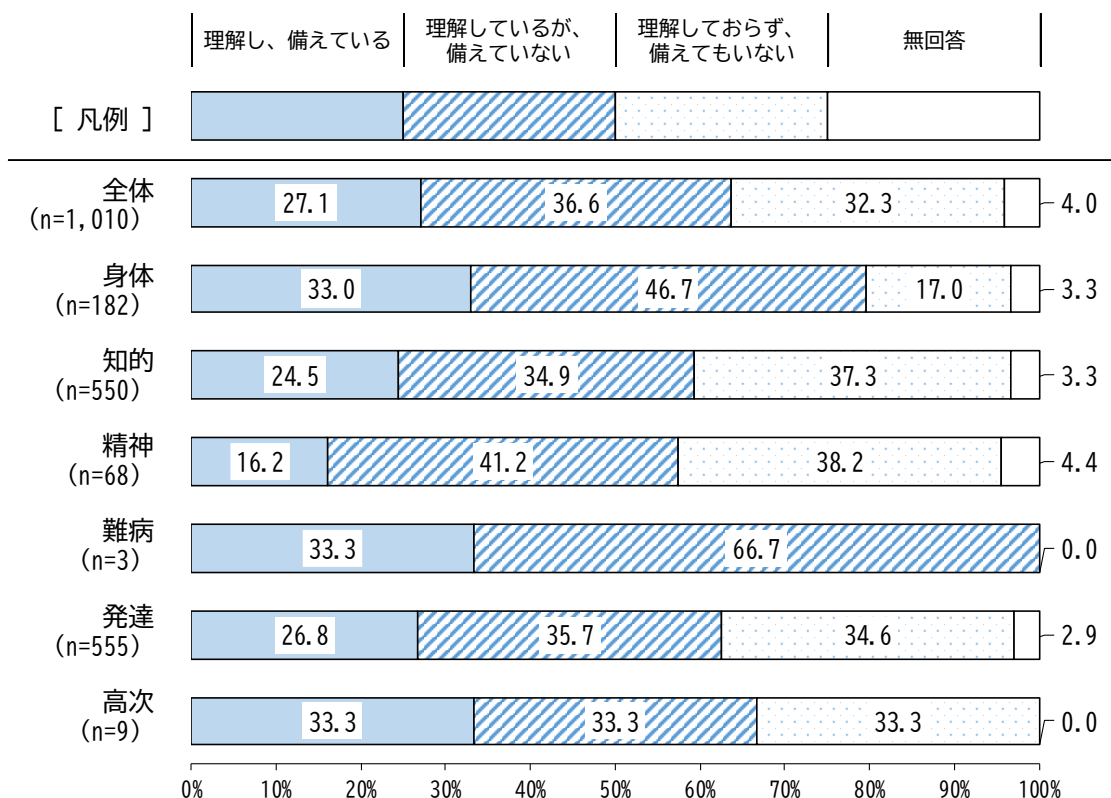
【災害時の備えや行動への理解（18 歳以上）】



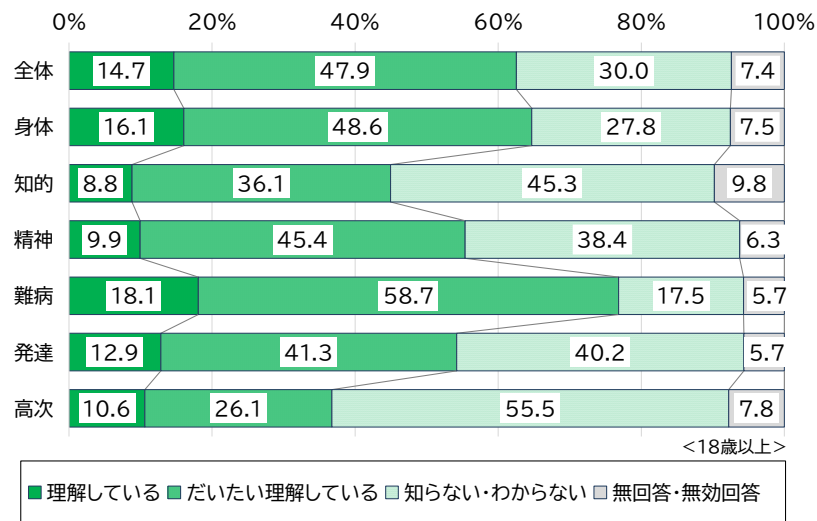
○ 18 歳未満の方全体では、「理解しているが、備えていない」が 36.6%で最も多く、次いで「理解しておらず、備えてもない」が 32.3%、「理解し、備えている」が 27.1%となっています。

【18 歳未満 問 31-1】 あなたは、災害（台風の水害等含む）が起きた際に、どのような行動（避難など）をすればよいか理解し、備えていますか。（単一回答）

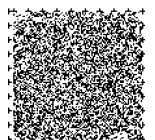
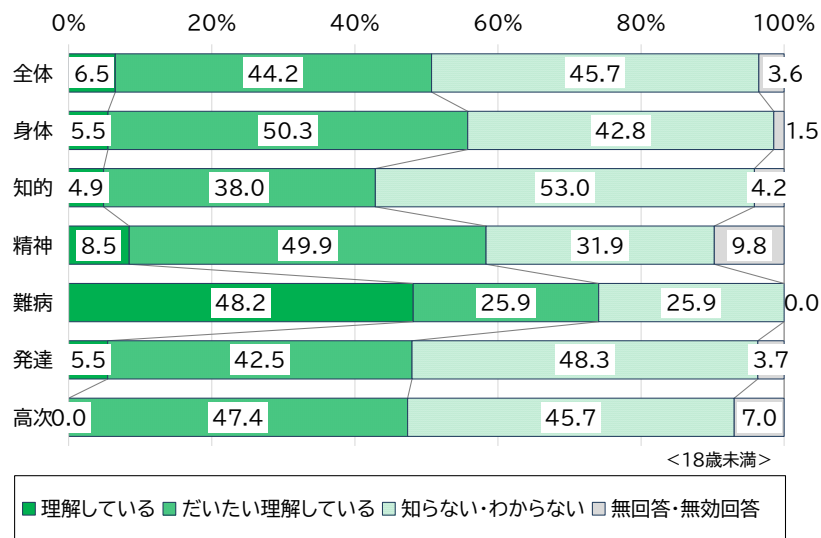
【災害時の備えや行動への理解（18 歳未満）】



参考：前回調査結果 災害時の備えや行動への理解（18 歳以上）



参考：前回調査結果 災害時の備えや行動への理解（18 歳未満）

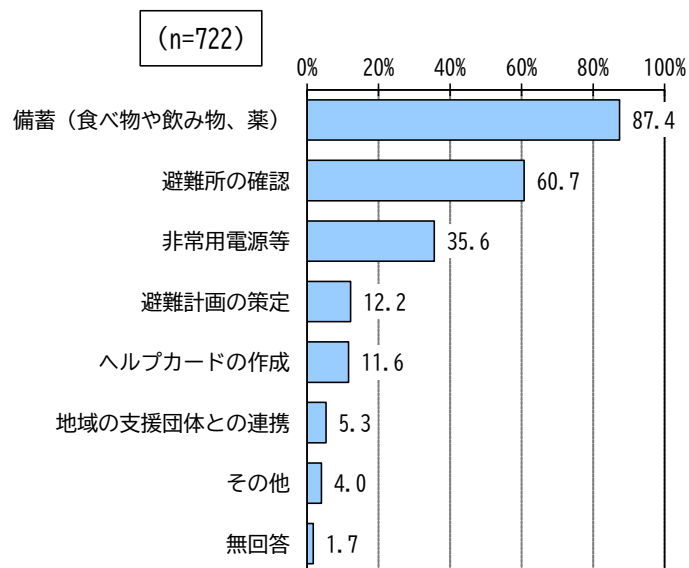


(6) 備えている内容

- 備えている内容について、18 歳以上の方全体では、「備蓄（食べ物や飲み物、薬）」が 87.4% で最も多く、次いで「避難所の確認」が 60.7%、「非常用電源等」が 35.6%となっています。

【18 歳以上 問 32-2】どのような備えをされていますか。（複数回答）

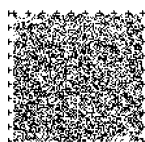
【備えている内容（18 歳以上）】



【備えている内容（18 歳以上）（障がい種別）】

単位：%

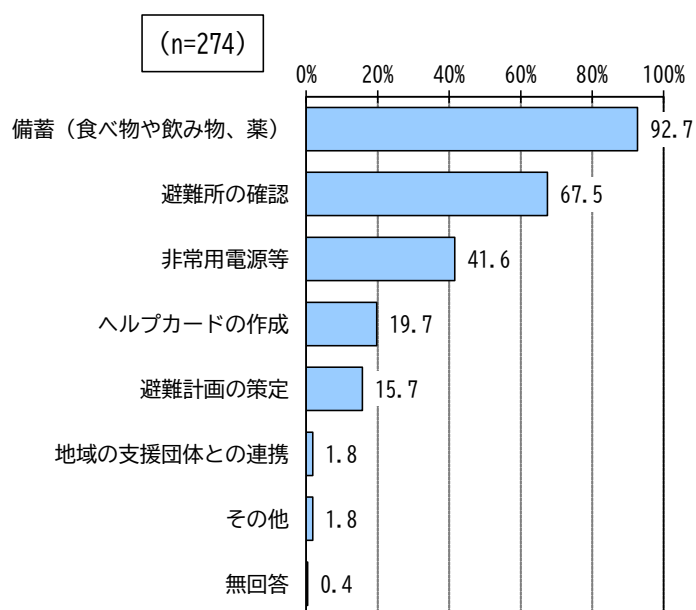
回答者数(人)		避難計画の策定	(食べ物や飲み物、薬) 備蓄	非常用電源等	避難所の確認	地域の支援団体との連携	ヘルプカードの作成	その他	無回答
全体(n=722)		12.2	87.4	35.6	60.7	5.3	11.6	4.0	1.7
障がい種別	身体(n=390)	12.3	88.2	37.9	55.9	4.9	9.7	3.1	2.3
	知的(n=124)	20.2	80.6	33.9	67.7	14.5	31.5	7.3	1.6
	精神(n=163)	10.4	88.3	34.4	66.9	4.9	12.3	4.9	1.2
	難病(n=166)	12.7	91.6	40.4	55.4	3.0	9.6	3.0	1.8
	発達(n=52)	9.6	82.7	32.7	73.1	3.8	19.2	5.8	1.9
	高次(n=11)	36.4	81.8	27.3	54.5	-	27.3	9.1	-



○ 18 歳未満の方全体では、「備蓄（食べ物や飲み物、薬）」が 92.7%で最も多く、次いで「避難所の確認」が 67.5%、「非常用電源等」が 41.6%となっています。

【18 歳未満 問 31-2】どのような備えをされていますか。（複数回答）

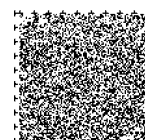
【備えている内容（18 歳未満）】



【備えている内容（18 歳未満）（障がい種別）】

単位：%

回答者数(人)		避難計画の策定	(食べ物や飲み物、薬) 備蓄	非常用電源等	避難所の確認	地域の支援団体との連携	ヘルプカードの作成	その他	無回答
全体(n=274)		15.7	92.7	41.6	67.5	1.8	19.7	1.8	0.4
障がい種別	身体(n=60)	15.0	91.7	41.7	65.0	1.7	20.0	-	-
	知的(n=135)	17.0	92.6	42.2	65.9	2.2	31.9	0.7	0.7
	精神(n=11)	18.2	90.9	36.4	72.7	-	27.3	-	-
	難病(n=1)	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	発達(n=149)	15.4	90.6	45.0	69.8	0.7	19.5	2.7	0.7
	高次(n=3)	-	100.0	66.7	66.7	-	-	-	-

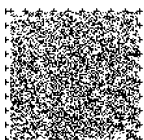
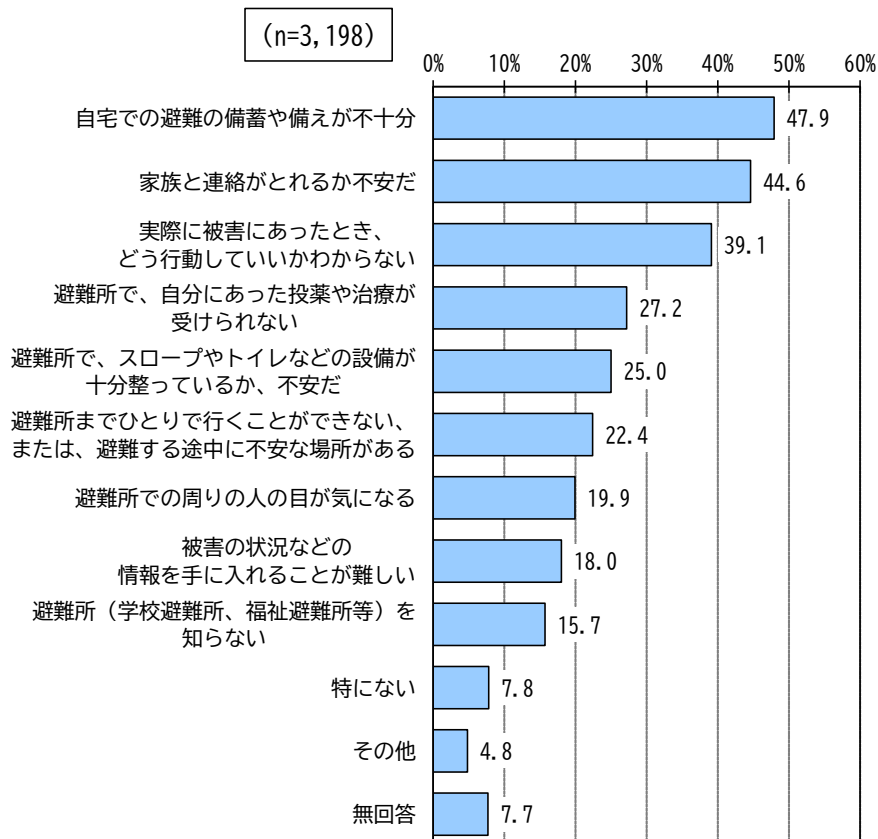


(7) 災害時の不安、困ること

- 災害時の不安、困ることについて、18 歳以上の方全体では、「自宅での避難の備蓄や備えが不十分」が 47.9%で最も多く、次いで「家族と連絡がとれるか不安だ」が 44.6%、「実際に被害にあったとき、どう行動していいかわからない」が 39.1%となっています。

【18 歳以上 問 33】 あなたが、災害（地震や台風など）があったときに、困ることや不安に思うことは何ですか。（複数回答）

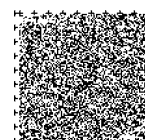
【災害時の不安、困ること（18 歳以上）】



【災害時の不安、困ること（18歳以上）（障がい種別・詳細）】

単位：％

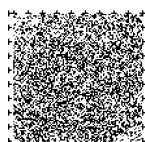
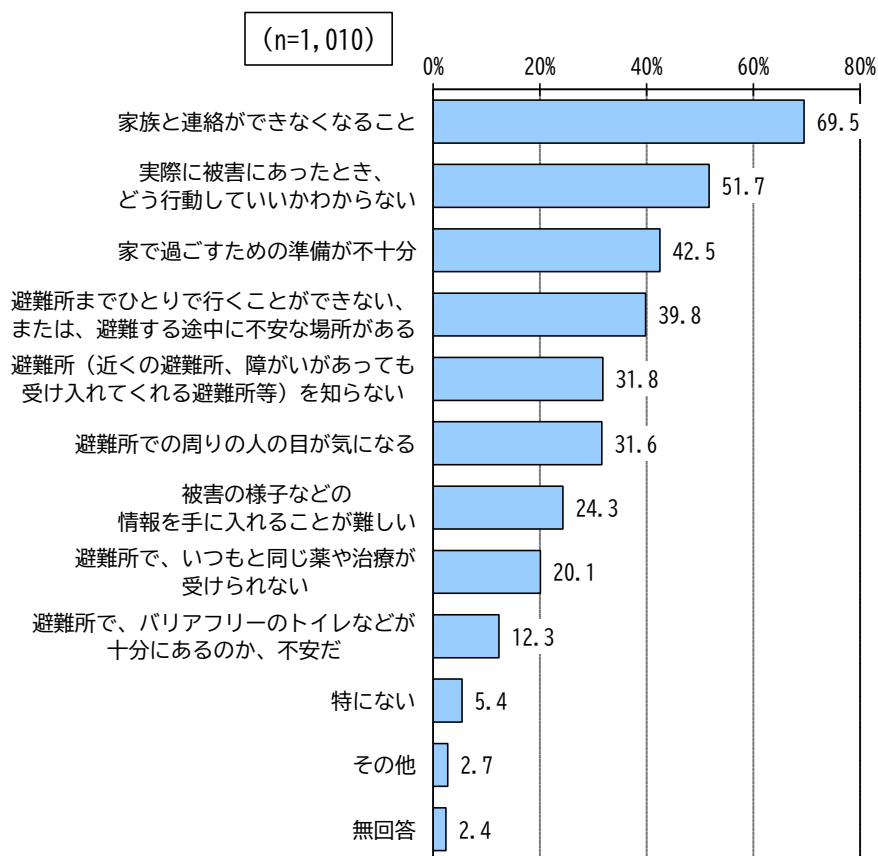
回答者数(人)		自宅での避難の備蓄や備えが不十分	家族と連絡がとれるか不安だ	実際に被害にあったとき、 どう行動していいかわからない	避難所（学校避難所、福祉避難所等） を知らない	避難所までひとりで行くことができない、 または、避難する途中に不安な場所がある	被害の状況などの情報を手に入れることが 難しい	避難所で、スロープやトイレなどの設備が 十分整っているか、不安だ	避難所で、自分にあった投薬や治療が 受けられない	避難所での周りの人の目が気になる	特にない	その他	無回答
全体(n=3,198)		47.9	44.6	39.1	15.7	22.4	18.0	25.0	27.2	19.9	7.8	4.8	7.7
障がい種別	身体(n=1,722)	44.8	38.7	34.3	13.3	26.6	17.7	28.7	24.0	14.6	8.4	4.9	9.6
	知的(n=588)	37.6	56.0	53.2	21.1	32.8	28.2	23.6	19.9	29.6	8.2	5.8	8.5
	精神(n=760)	56.3	52.0	49.3	21.4	14.7	18.6	21.6	37.1	32.0	5.3	6.6	5.3
	難病(n=730)	49.5	43.2	31.8	12.6	20.7	12.7	26.0	36.7	14.0	8.5	5.8	4.9
	発達(n=221)	53.4	61.5	58.4	25.3	22.2	26.7	24.9	30.8	42.1	4.1	10.0	2.7
	高次(n=87)	46.0	47.1	52.9	17.2	33.3	25.3	36.8	35.6	20.7	5.7	4.6	9.2
身体障がい詳細	視覚(n=298)	44.3	36.6	36.6	15.1	34.9	20.1	28.5	16.4	16.8	8.4	4.0	7.7
	聴覚(n=276)	49.6	46.4	38.0	12.0	19.9	27.2	20.3	18.5	15.9	6.2	5.1	8.0
	音声(n=144)	47.2	39.6	34.0	12.5	22.9	16.0	18.8	25.7	13.2	8.3	5.6	12.5
	体幹(n=560)	43.6	40.4	38.4	15.9	39.8	17.7	41.4	24.5	18.4	7.7	5.5	7.0
	内部(n=429)	50.8	40.8	28.7	12.8	14.7	14.5	22.4	37.3	12.8	9.8	4.7	7.2



- 18 歳未満の方全体では、「家族と連絡ができなくなる事」が 69.5%で最も多く、次いで「実際に被害にあったとき、どう行動していいかわからない」が 51.7%、「家で過ごすための準備が不十分」が 42.5%となっています。

【18 歳未満 問 32】 あなたが、災害（地震や台風など）があったときに、困ることや不安に思うことは何ですか。（複数回答）

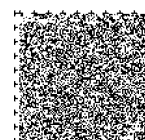
【災害時の不安、困ること（18 歳未満）】



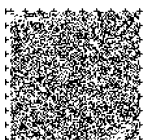
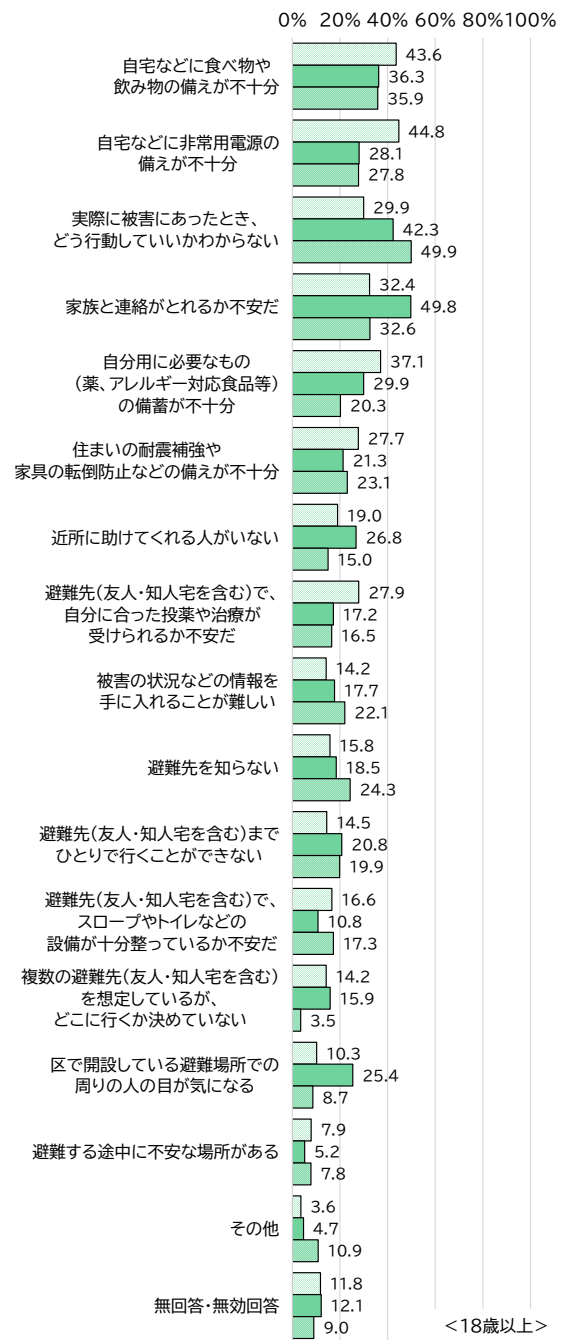
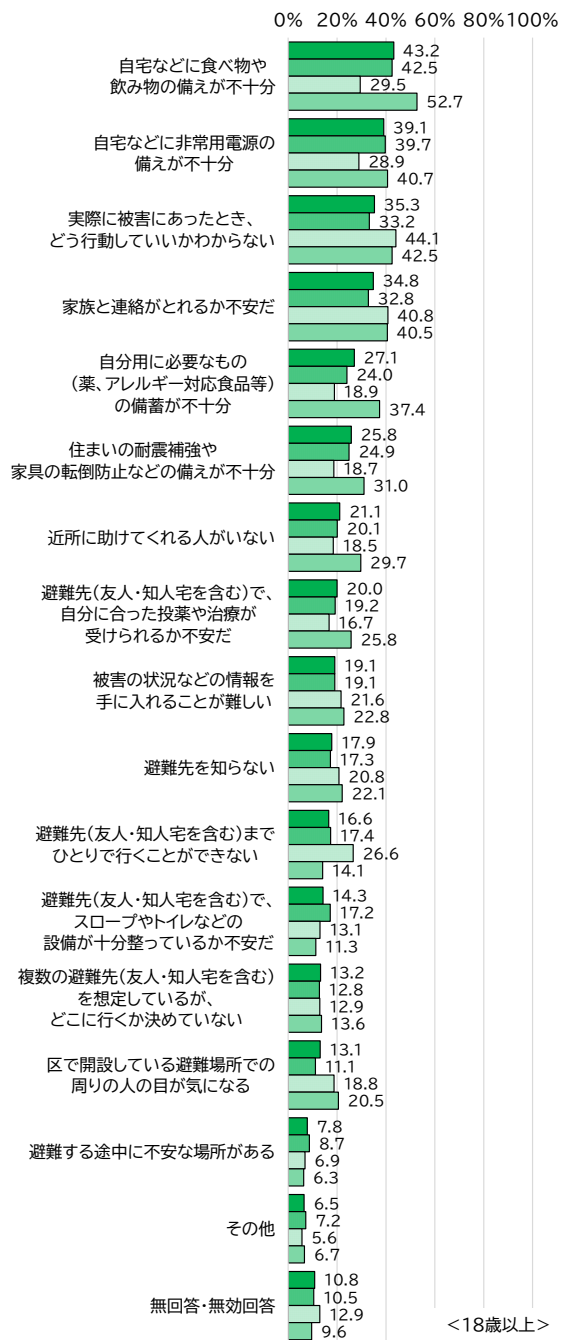
【災害時の不安、困ること（18歳未満）（障がい種別）】

単位：％

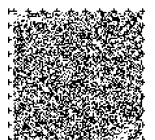
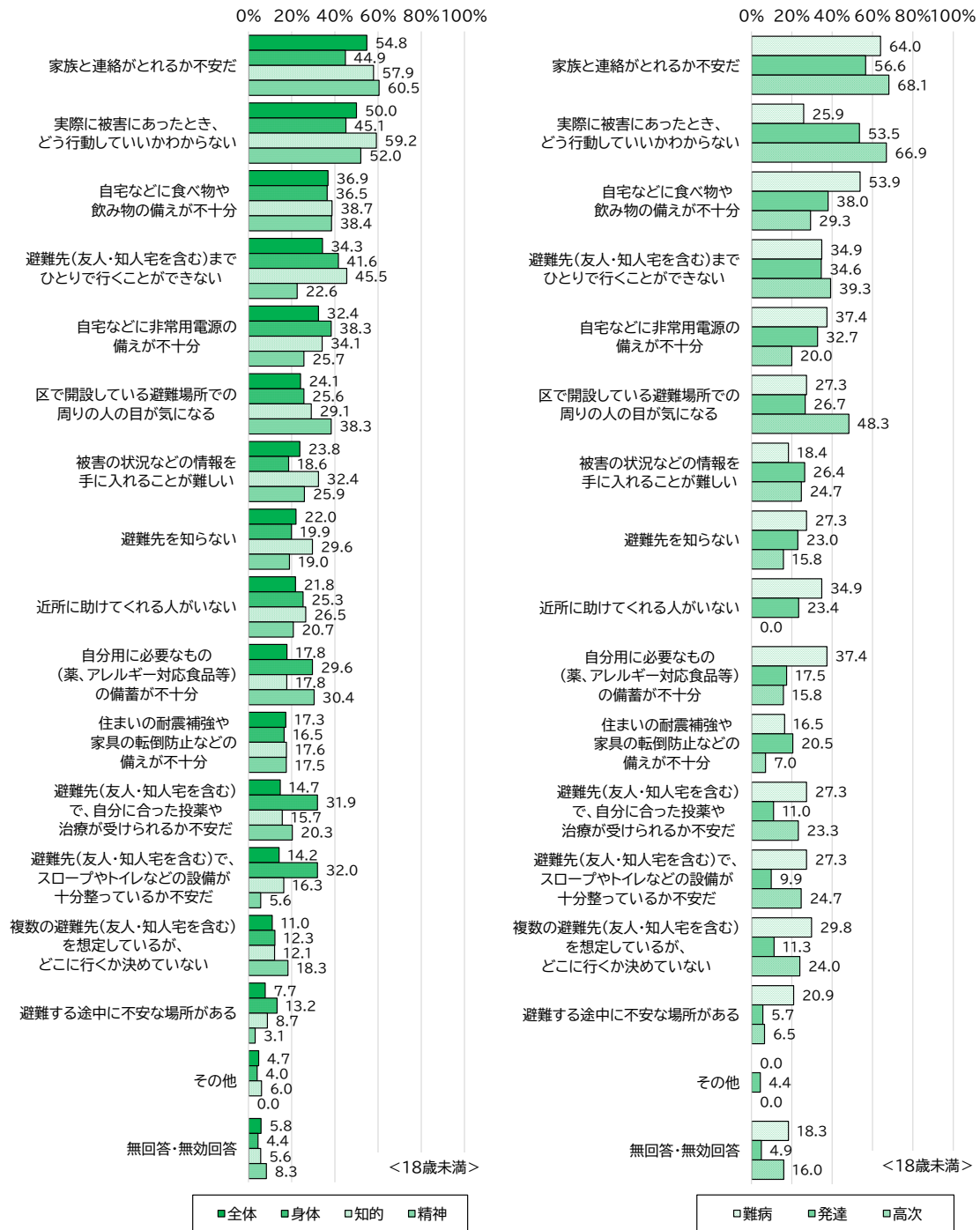
回答者数(人)		家で過ごすための準備が 不十分	家族と連絡ができなくなる こと	実際に被害にあったとき、 どう行動していいかわからない	避難所（近くの避難所、障がいがあっても 受け入れてくれる避難所等）を知らない	避難所までひとりで行くことができない、 または、避難する途中に不安な場所がある	被害の様子などの情報を手に入れることが 難しい	避難所で、バリアフリーのトイレなどが 十分にあるのか、不安だ	避難所で、いつもと同じ薬や治療が 受けられない	避難所での周りの人の目が気になる	特にない	その他	無回答
全体(n=1,010)		42.5	69.5	51.7	31.8	39.8	24.3	12.3	20.1	31.6	5.4	2.7	2.4
障 が い 種 別	身体(n=182)	47.3	63.7	33.5	37.4	42.3	22.0	29.7	39.6	33.0	3.8	4.9	2.2
	知的(n=550)	44.5	70.5	56.7	41.1	51.8	29.8	14.7	21.1	37.8	3.5	2.9	1.8
	精神(n=68)	45.6	72.1	50.0	27.9	33.8	23.5	13.2	39.7	42.6	5.9	2.9	4.4
	難病(n=3)	-	66.7	66.7	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-
	発達(n=555)	42.2	70.5	55.0	28.3	41.3	23.2	8.1	20.2	32.4	5.4	2.7	2.2
	高次(n=9)	44.4	66.7	44.4	11.1	33.3	11.1	22.2	44.4	33.3	-	11.1	-



参考：前回調査結果 災害時の不安、困ること（18歳以上）



参考：前回調査結果 災害時の不安、困ること（18歳未満）



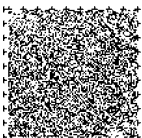
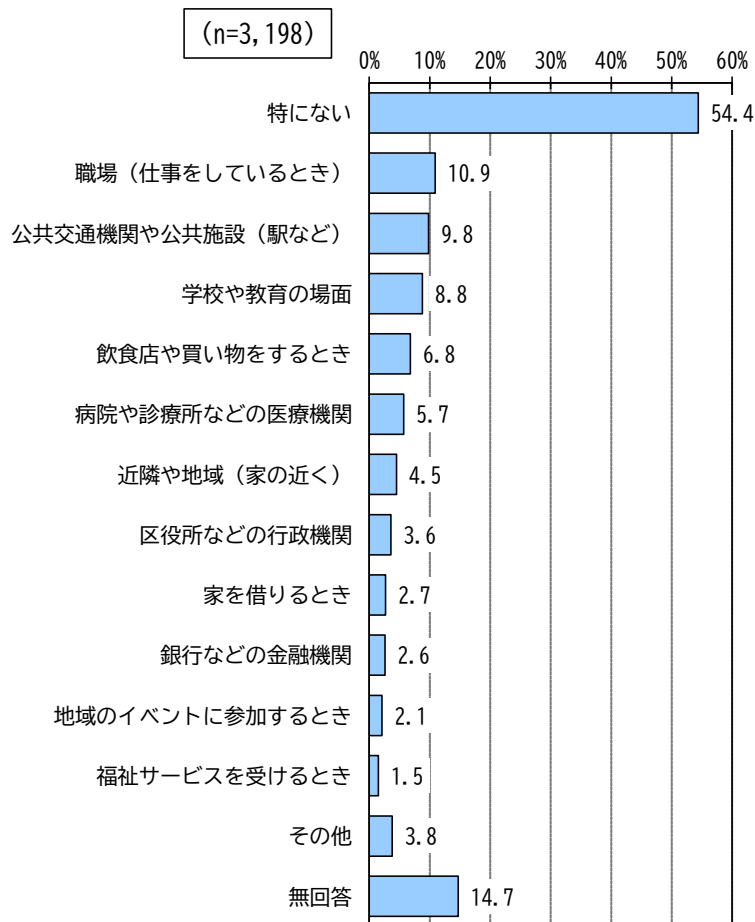
8. 権利擁護

(1) 障がいがあることを理由に差別を感じた場所や場面

- 障がいがあることを理由に差別を感じた場所や場面について、18 歳以上の方全体では、「特にない」が 54.4%で最も多く、次いで「職場（仕事をしているとき）」が 10.9%、「公共交通機関や公共施設（駅など）」が 9.8%となっています。

【18 歳以上 問 34-1】障がいがあることを理由として差別をされたと感じた・いやな思いをしたことがありますか。あった方はどのような場所や場面でそのようなことがあったか教えてください。（複数回答）

【障がいがあることを理由に差別を感じた場所や場面（18 歳以上）】

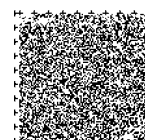


【障がいがあることを理由に差別を感じた場所や場面（18歳以上）（障がい種別）】

単位：％

回答者数(人)		学校や教育の場面	職場（仕事をしているとき）	公共交通機関や公共施設（駅など）	区役所などの行政機関	病院や診療所などの医療機関	銀行などの金融機関	飲食店や買い物をするとき
全体(n=3,198)		8.8	10.9	9.8	3.6	5.7	2.6	6.8
障がい種別	身体(n=1,722)	5.2	8.0	9.9	2.8	4.6	2.5	6.9
	知的(n=588)	24.0	13.1	19.0	3.4	8.2	4.4	17.2
	精神(n=760)	13.0	20.0	10.4	6.8	8.7	3.4	5.3
	難病(n=730)	3.0	8.1	6.4	2.3	3.2	1.1	3.3
	発達(n=221)	30.3	26.2	14.9	8.1	11.3	5.0	12.2
	高次(n=87)	5.7	11.5	18.4	5.7	5.7	4.6	9.2

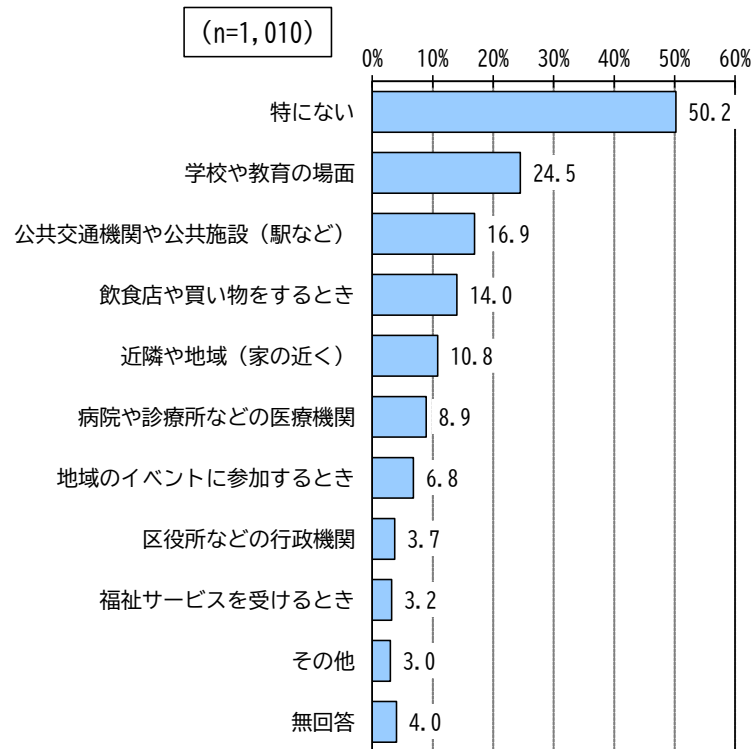
		福祉サービスを受けるとき	家を借りるとき	地域のイベントに参加するとき	近隣や地域（家の近く）	特にない	その他	無回答
全体		1.5	2.7	2.1	4.5	54.4	3.8	14.7
障がい種別	身体	1.0	2.4	1.6	3.1	56.6	2.6	17.9
	知的	1.7	2.2	6.0	10.5	37.6	3.6	12.1
	精神	3.4	5.3	1.8	6.7	46.2	6.8	8.3
	難病	0.7	1.0	0.7	1.5	65.9	2.5	15.2
	発達	5.4	5.0	3.6	12.7	34.8	7.7	3.6
	高次	3.4	2.3	-	9.2	41.4	2.3	13.8



○ 18 歳未満の方全体では、「特にない」が 50.2%で最も多く、次いで「学校や教育の場面」が 24.5%、「公共交通機関や公共施設（駅など）」が 16.9%となっています。

【18 歳未満 問 33-1】 障がいがあることを理由として差別をされたと感じた・いやな思いをしたことがありますか。あった方はどのような場所や場面でそのようなことがあったか教えてください。（複数回答）

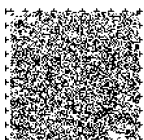
【障がいがあることを理由に差別を感じた場所や場面（18 歳未満）】



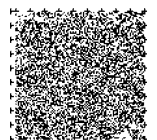
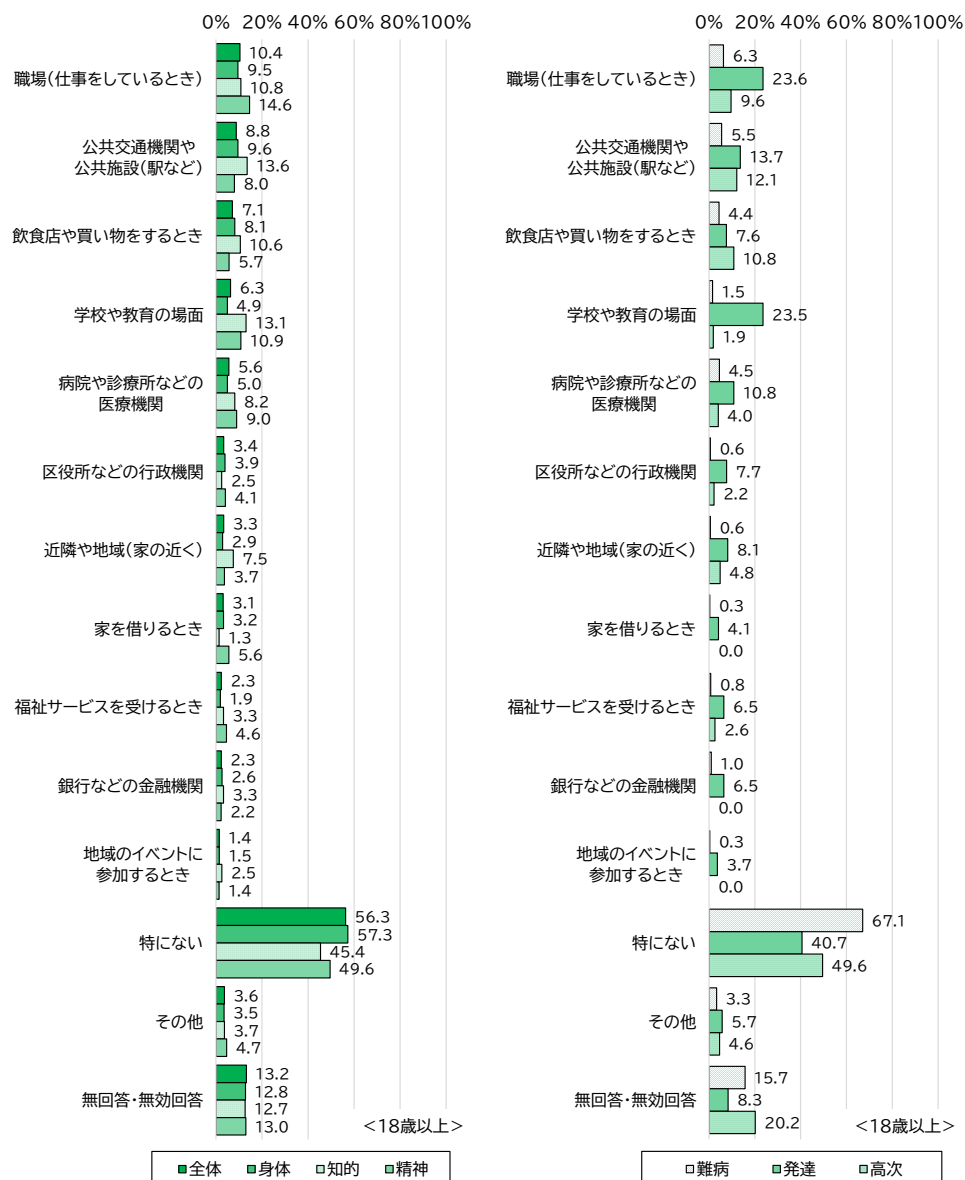
【障がいがあることを理由に差別を感じた場所や場面（18 歳未満）（障がい種別）】

単位：%

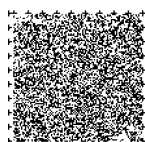
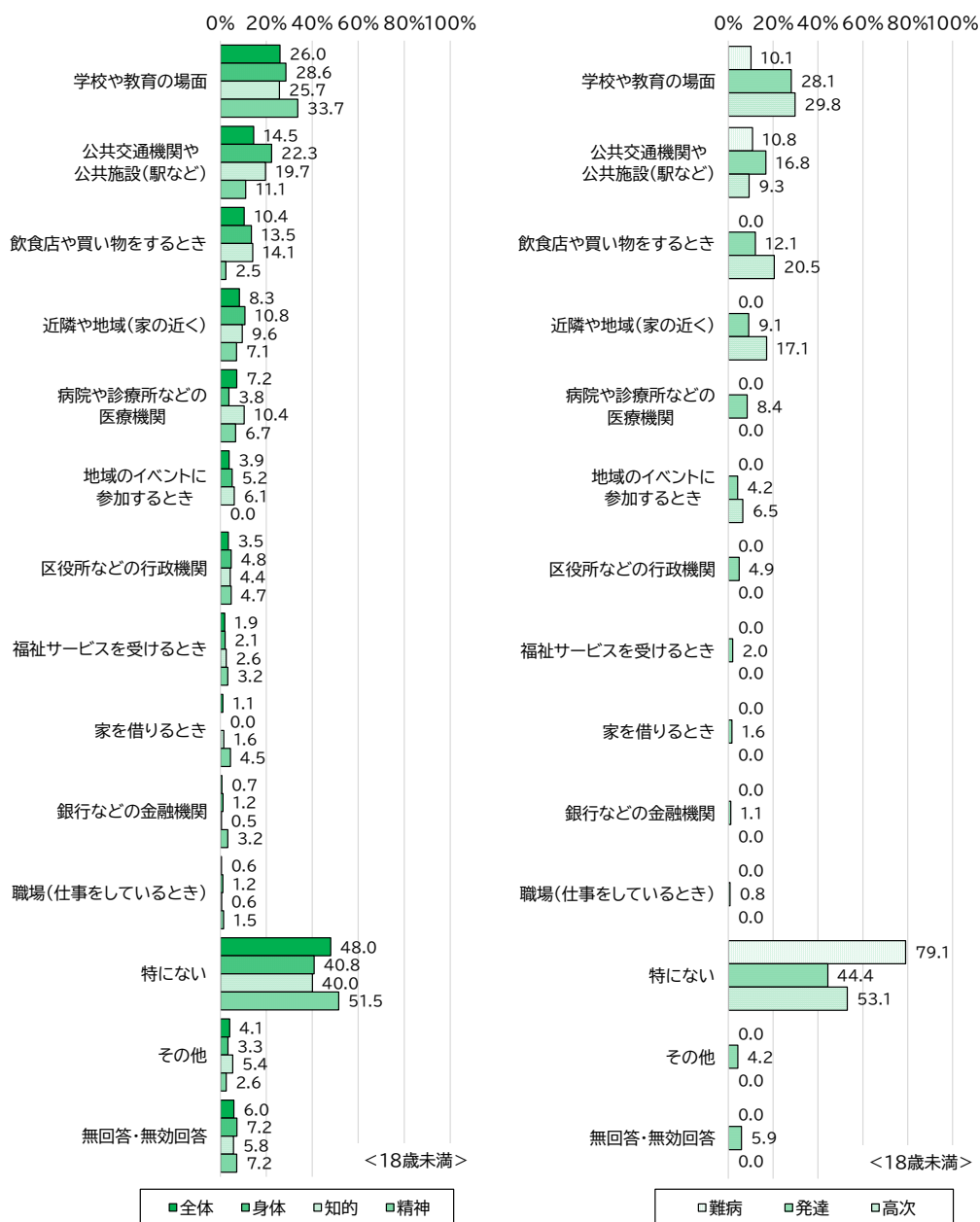
回答者数(人)		学校や教育の場面	公共交通機関や公共施設（駅など）	区役所などの行政機関	病院や診療所などの医療機関	飲食店や買い物をするとき	福祉サービスを受けるとき	地域のイベントに参加するとき	近隣や地域（家の近く）	特にない	その他	無回答
全体(n=1,010)		24.5	16.9	3.7	8.9	14.0	3.2	6.8	10.8	50.2	3.0	4.0
障がい種別	身体(n=182)	19.2	20.9	6.6	6.0	17.0	1.1	5.5	8.2	54.9	2.7	4.9
	知的(n=550)	22.4	26.0	4.2	13.3	20.7	3.5	10.5	16.0	42.9	3.1	2.9
	精神(n=68)	45.6	14.7	5.9	13.2	10.3	5.9	4.4	10.3	35.3	4.4	1.5
	難病(n=3)	-	-	-	-	-	-	-	33.3	66.7	-	-
	発達(n=555)	25.2	18.6	3.8	10.6	16.0	4.3	7.7	12.1	48.5	3.4	3.1
	高次(n=9)	44.4	55.6	33.3	22.2	44.4	11.1	11.1	22.2	22.2	11.1	-



参考：前回調査結果 障がいがあることを理由に差別を感じた場所や場面（18歳以上）



参考：前回調査結果 障がいがあることを理由に差別を感じた場所や場面（18歳未満）



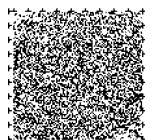
(2) 差別を感じた・いやな思いをした内容

18 歳以上では、前問で回答のあった「差別を感じた場所や場面」について、以下のような回答がありました。(自由記述・抜粋)

【18 歳以上 問 34-2】問 34-1 の場所や場面で、あなたが差別をされたと感じた・いやな思いをしたのは、どのような内容でしたか。よろしければお書きください。(自由記述)

【差別を感じた・いやな思いをした内容 (18 歳以上)】

場所・場面		差別を感じた・いやな思いをした内容 (例)
1	学校や教育の場面	・ 小学校の時クラスメイトにいじめられた。 ・ 教員から無理解な言葉をかけられたり、授業中にからかわれることがあった。 ・ 苦手な課題を強要された。
2	職場 (仕事をしているとき)	・ 職場で嫌がらせを受けたり、大げさに心配されたり、大騒ぎされたりした。 ・ 正社員になれなかった。 ・ 特性を上司に理解してもらえず、軽い症状と考えているような発言をされた。 ・ 障がいについて職場に報告したところ、すぐに契約終了となった。
3	公共交通機関や 公共施設 (駅など)	・ スロープ利用や乗降に手間取るため、他の乗客に嫌な顔や舌打ちされたり、文句を言われた。 ・ バスの運転手に障害者手帳を見せたとき面倒くさそうに対応された。 ・ 優先席やエレベータの利用の際、譲ってもらえないことがあった。
4	区役所などの 行政機関	・ 幼い人を相手するように話し方や扱いをされて嫌だった。 ・ 文字が書けないのに「漢字の署名が必要」と言われ手続きできなかった。 ・ 障がいに対する配慮を要求したが、面倒がられて諦めてしまった。
5	病院や診療所などの 医療機関	・ ペースメーカーで検査できないと周囲に聞こえるように言われた。 ・ 神経科以外で受診した際、神経科に病名を確認され診察を拒否された。 ・ 血液検査の際、暴れることはないかと聞かれ、検査を断られた。 ・ 救急で「メンタルのせいだから診られない」と言われ、帰らされた。
6	銀行などの金融機関	・ 自分で文字が書けないために、銀行での口座開設を断られた。 ・ 自分の口座にも関わらず、預金をおろす理由をしつこく確認された。 ・ 金融機関での手続きの際、後見人を付けるように言われ、手続きができなかった。
7	飲食店や買い物を するとき	・ 買い物の際、難聴でよく聞き取れず何度かたずねると嫌な顔をされた。 ・ 言語障がいのため、何度も聞き直され、繰り返し話すことになる。 ・ 「車いすは他のお客様に迷惑がかかる」と入店を断られた。 ・ 手の湿疹を見たレジの人が、釣銭を投げてきた。
8	福祉サービスを 受けるとき	・ 職員から笑われたり、他の利用者と比較され罵られたりすることがあった。
9	家を借りるとき	・ 障がいがあることを理由に大家や不動産会社から契約を断られた。 ・ 入居者からの拒否で、一度決まった物件を断られた。
10	地域のイベントに 参加するとき	・ 地域のイベントに参加した時に邪魔者扱いをされた。 ・ 事前に許可を得た行動が、周知されずに注意され、周囲から野次られた。 ・ ライブで手話通訳の費用と通訳士のチケット代が必要になることが多い。
11	近隣や地域 (家の近く)	・ 近所の人から陰口を言われたり、心ない言葉をかけられた。 ・ 近隣の人に偏見の目で見られたり、怪しい人と誤解されて警察に通報されたことがあった。

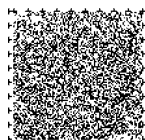


18 歳未満では、前問で回答のあった「差別を感じた場所や場面」について、以下のような回答がありました。（自由記述・抜粋）

【18 歳未満 問 33-2】 問 33-1 の場所や場面で、あなたが差別をされたと感じた・いやな思いをしたのは、どのような内容でしたか。よろしければお書きください。（自由記述）

【差別を感じた・いやな思いをした内容（18 歳未満）】

場所・場面		差別を感じた・いやな思いをした内容（例）
1	学校や教育の場面	・ 障がい特性ゆえのことが、だらしないと言われ、理解が得られない。 ・ サポートルームを利用していることで、クラスメイトから馬鹿にされた。 ・ 幼稚園の入園を断られた。 ・ 通常級のこどもから「障がい者」と言われたり、いじめられたりした。 ・ 小学校の担任からプール授業と校外学習に親の付き添いを求められた。
2	公共交通機関や公共施設（駅など）	・ タクシーから乗車を拒否された。 ・ バスの乗車を嫌がられた。 ・ 大きな声を出したときに目線を感じる。 ・ 電車やバスが混雑している時間帯に、車イスなどで利用した際、「邪魔」、「この時間に乗るな」などと、怒られた。 ・ 路線バスで停車後、座席から降り口までの移動に時間がかかっていると何度もドアを閉めるブザーを鳴らされた。
3	区役所などの行政機関	・ 障がいがあることを隠したいのに、区役所から福祉や障がいと大きく書いてある封筒が届く。 ・ 通所受給者証の更新している際に、区民に、障がい者を揶揄するようなことを大声で言われた。
4	病院や診療所などの医療機関	・ 障がいを理由に、治療を拒否され、病院を変更するように言われた。 ・ 長時間待合室で待つことが難しいため、立ち歩いたり、落ち着きのない行動をとってしまうが、そのことを注意された。 ・ 医師がまるで本人が存在しないかのように親とだけやりとりをする。 ・ 夜間救急で病院を探していた際、症状も聞かずに見られないと言われた。 ・ 病院で最初に障がいの説明をしたにも関わらず、行く度に同じ話をしなければならないことが苦痛に感じる。
5	飲食店や買い物をするとき	・ 車いすだと、飲食店やスーパー、コンビニ等も段差や幅で入れないことが多い。 ・ 弱視のため、商品を近くで見えていたら「買わないのに触るな」と言われた ・ 車いすでの入店を断られたり、お店の人に手伝いを拒否されたりした。
6	福祉サービスを受けるとき	・ 福祉施設の見学の際、先天性の症状なのにも関わらず、育て方について注意された。 ・ 利用を断られたり、職員に嫌なことを言われることがあった。
7	地域のイベントに参加するとき	・ 地域のラジオ体操に行った際、動きを笑われて真似された。 ・ 地域のイベントへの参加を断られたり、物を投げられたり、こどもの顔をジロジロ見て笑われたりした。
8	近隣や地域（家の近く）	・ かんしゃくを起こした際、地域の人に嫌な目・顔で見られる。 ・ パニックになった時、知らない高齢者に虐待を疑われた。 ・ ヘルプマークをして自転車に乗っていたら障がい者は乗るなど言われた。

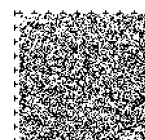
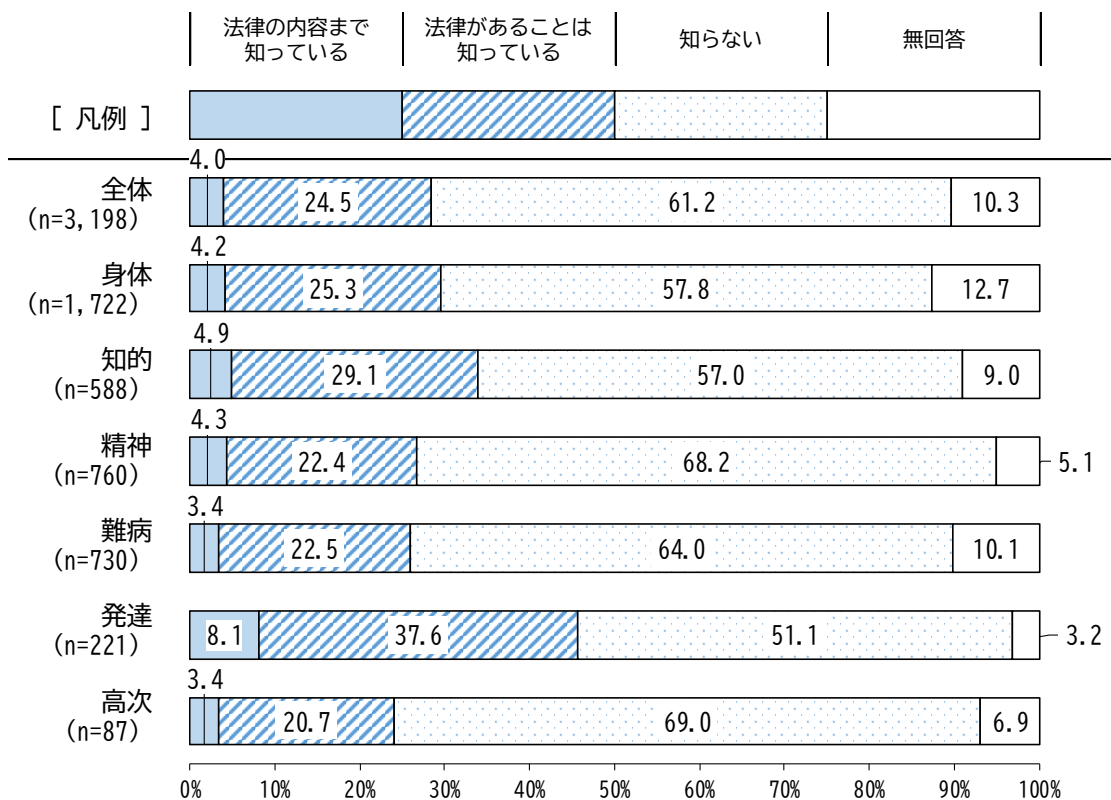


(3) 「障害者差別解消法」の認知度

- 「障害者差別解消法」の認知度について、18 歳以上の方全体では、「知らない」が 61.2%で最も多く、次いで「法律があることは知っている」が 24.5%、「法律の内容まで知っている」が 4.0%となっています。

【18 歳以上 問 35】 あなたは、「障害者差別解消法※」を知っていますか。(単一回答)

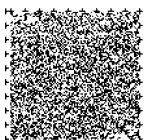
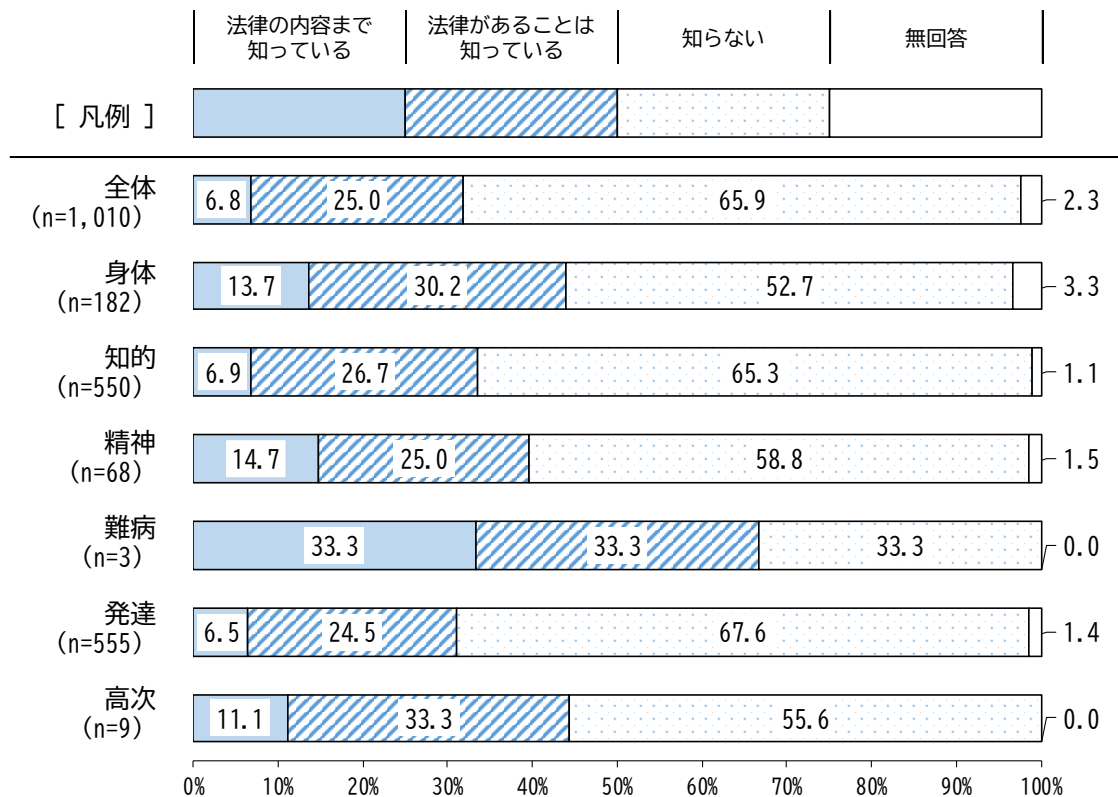
【「障害者差別解消法」の認知度 (18 歳以上)】



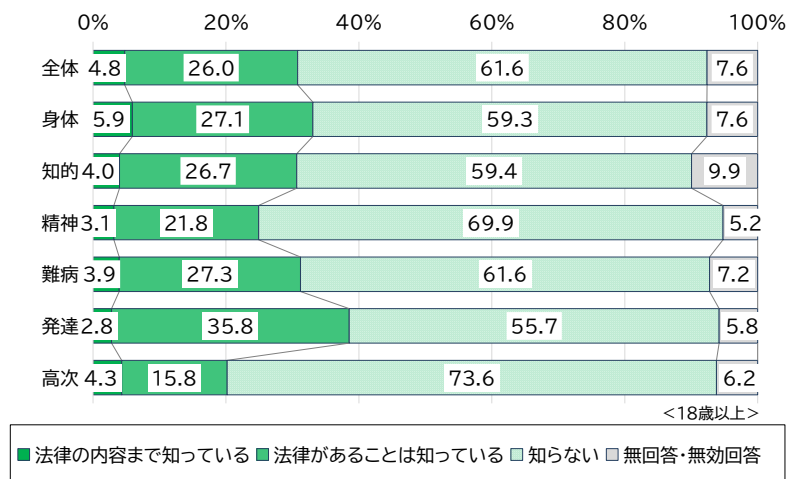
○ 18 歳未満の方全体では、「知らない」が 65.9%で最も多く、次いで「法律があることは知っている」が 25.0%、「法律の内容まで知っている」が 6.8%となっています。

【18 歳未満 問 34】 あなたは、「障害者差別解消法」を知っていますか。(単一回答)

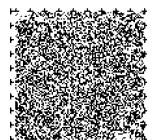
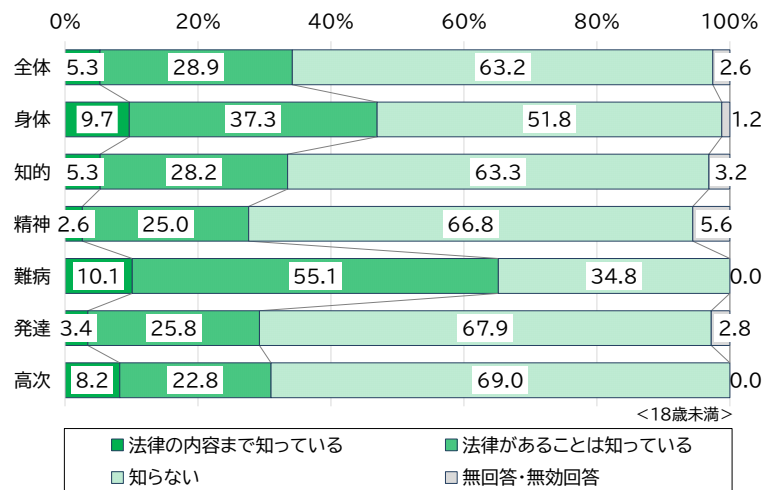
【「障害者差別解消法」の認知度 (18 歳未満)】



参考：前回調査結果 「障害者差別解消法」の認知度（18歳以上）



参考：前回調査結果 「障害者差別解消法」の認知度（18歳未満）

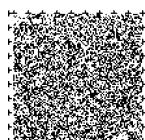
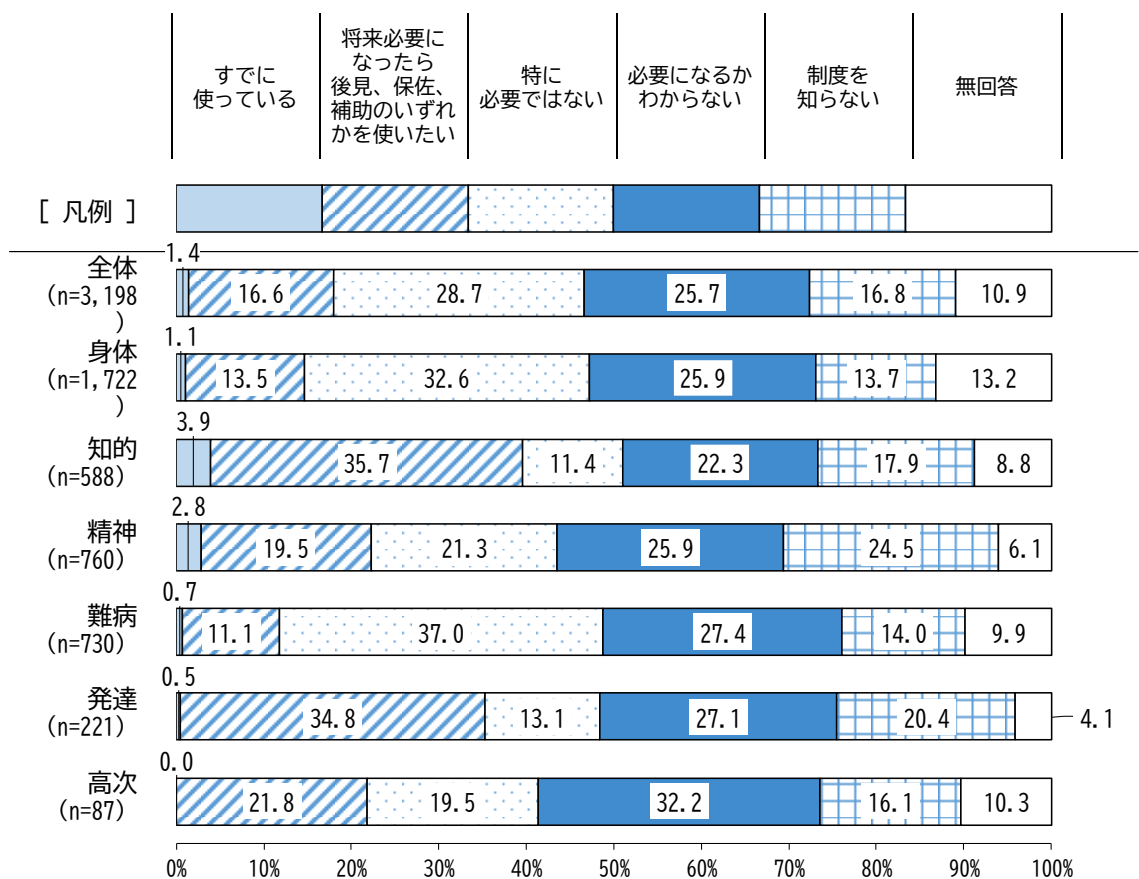


(4)「成年後見制度」の活用意向

- 「成年後見制度」の活用意向について、18 歳以上の方全体では、「特に必要ではない」が 28.7%で最も多く、次いで「必要になるかわからない」が 25.7%、「制度を知らない」が 16.8%となっています。

【18 歳以上 問 36】 あなたは、成年後見制度を使いたいですか。(単一回答)

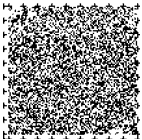
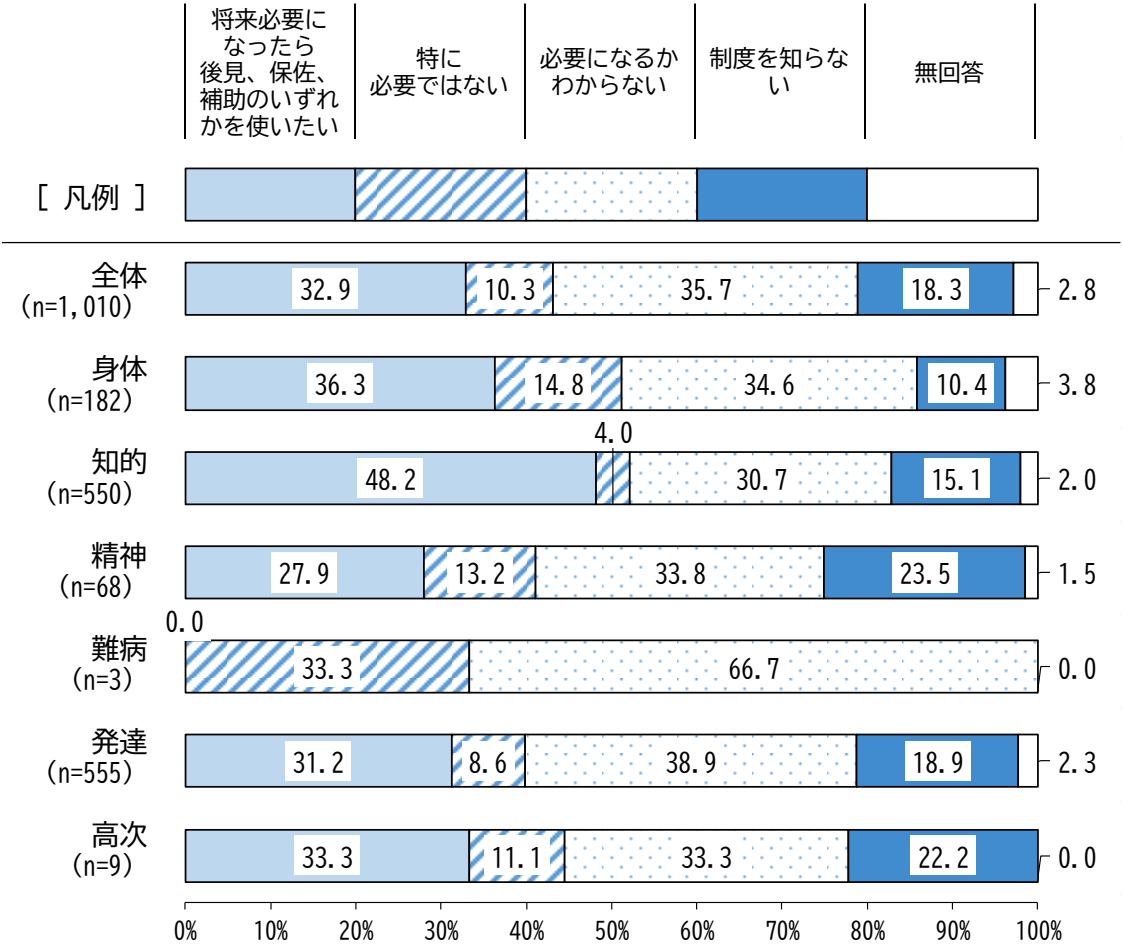
【「成年後見制度」の活用意向 (18 歳以上)】



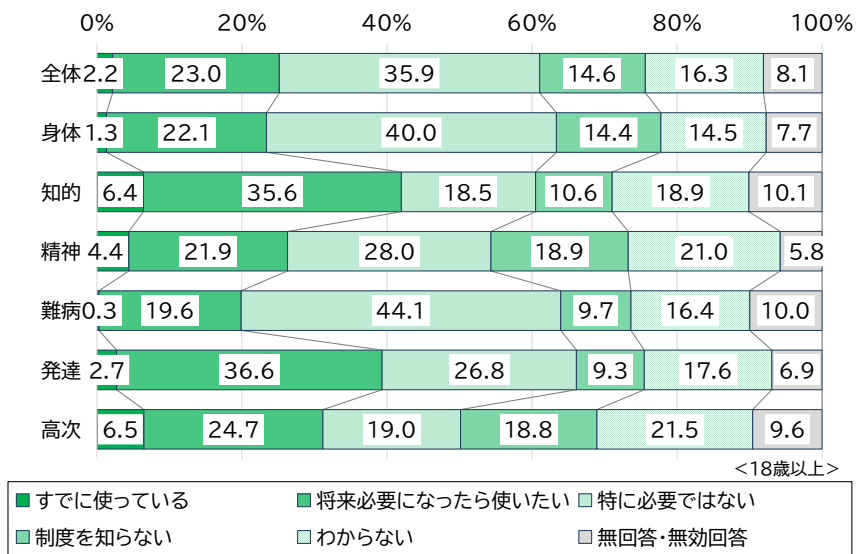
○ 18 歳未満の方全体では、「必要になるかわからない」が 35.7%で最も多く、次いで「将来必要になったら後見、保佐、補助のいずれかを使いたい」が 32.9%、「制度を知らない」が 18.3%となっています。

【18 歳未満 問 35】 あなたは、将来、成年後見制度を使ってみたいですか。（単一回答）

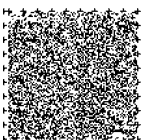
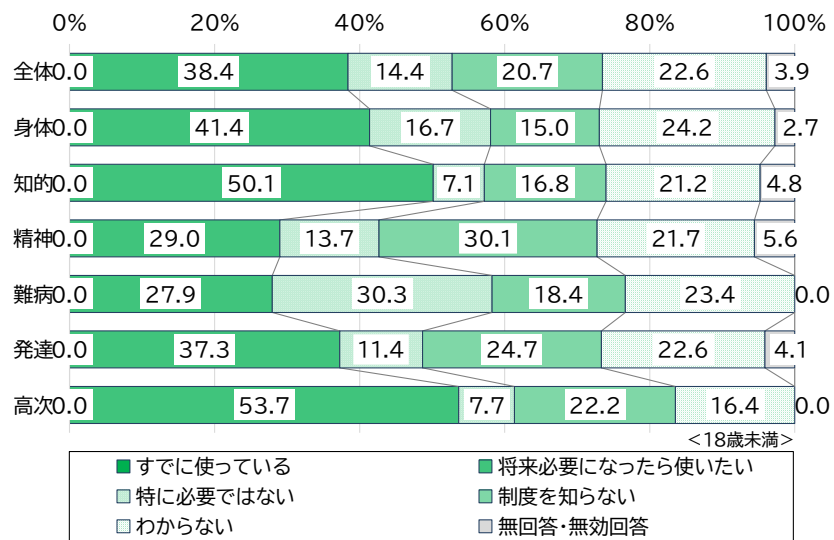
【「成年後見制度」の活用意向（18 歳未満）】



参考：前回調査結果 「成年後見制度」の活用意向（18歳以上）



参考：前回調査結果 「未成年後見制度」の活用意向（18歳未満）

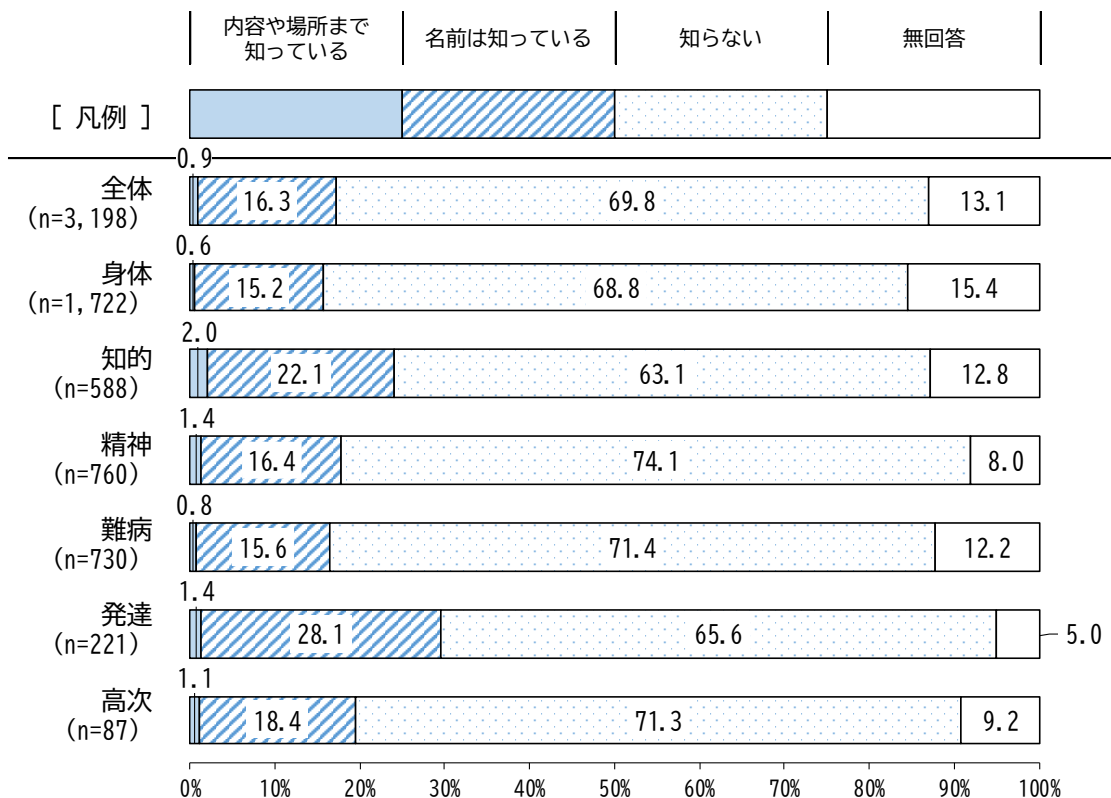


(5)「障害者虐待防止センター」の認知度

- 「障害者虐待防止センター」の認知度について、18 歳以上の方全体では、「知らない」が 69.8%で最も多く、次いで「名前は知っている」が 16.3%、「内容や場所まで知っている」が 0.9%となっています。

【18 歳以上 問 37】 あなたは、障害者虐待防止センターがあることを知っていますか。(単一回答)

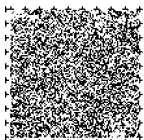
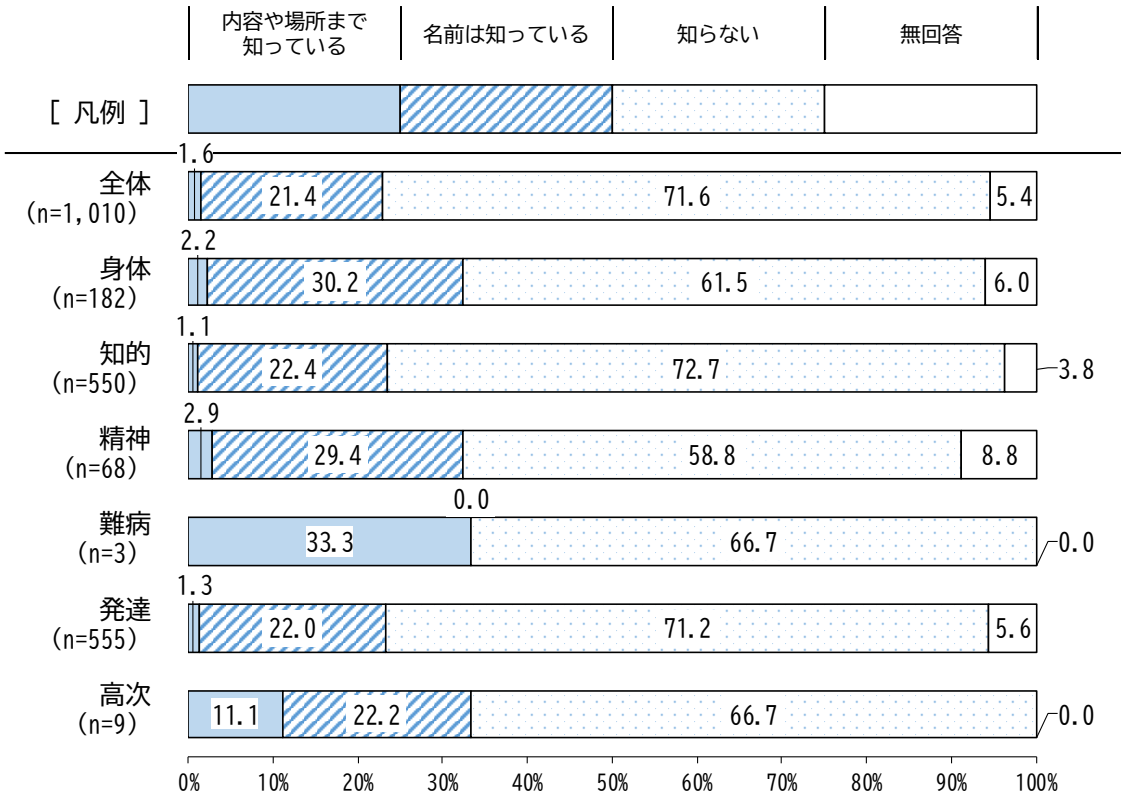
【「障害者虐待防止センター」の認知度（18 歳以上）】



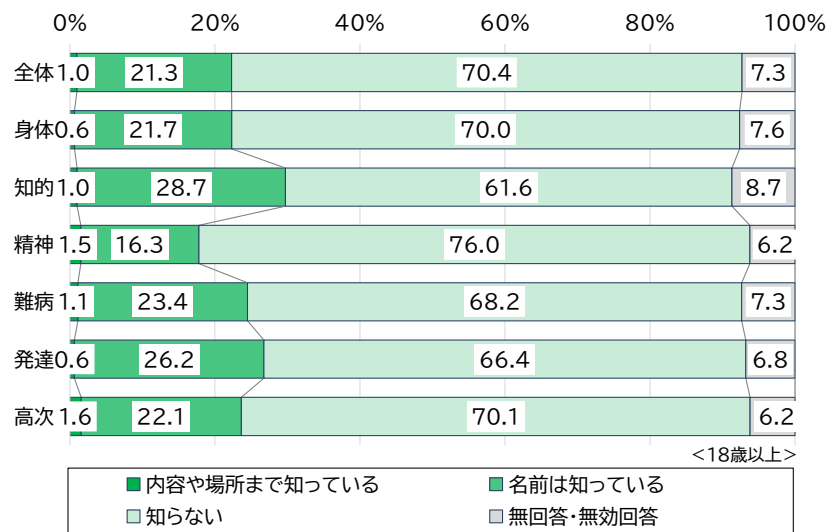
○ 18 歳未満の方全体では、「知らない」が 71.6%で最も多く、次いで「名前は知っている」が 21.4%、「内容や場所まで知っている」が 1.6%となっています。

【18 歳未満 問 36】 あなたは、障害者虐待防止センターがあることを知っていますか。（単一回答）

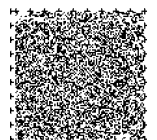
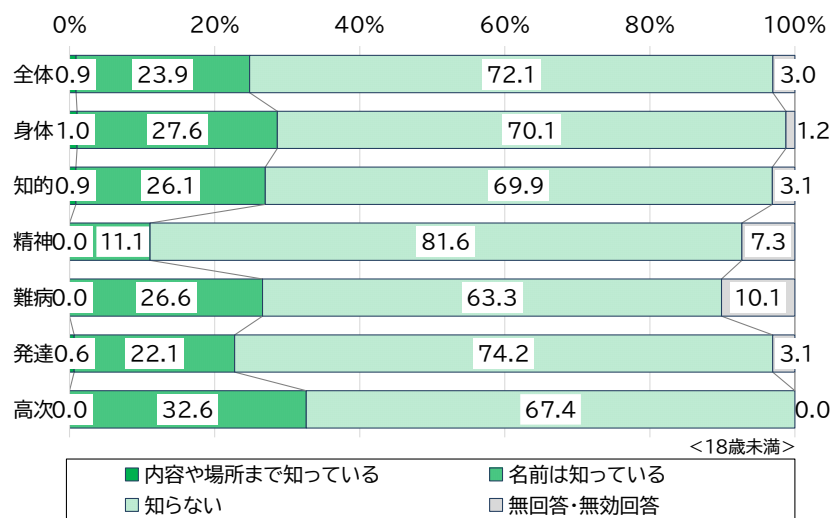
【「障害者虐待防止センター」の認知度（18 歳未満）】



参考：前回調査結果 「障害者虐待防止センター」の認知度（18歳以上）



参考：前回調査結果 「障害者虐待防止センター」の認知度（18歳未満）



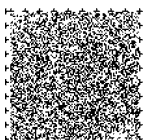
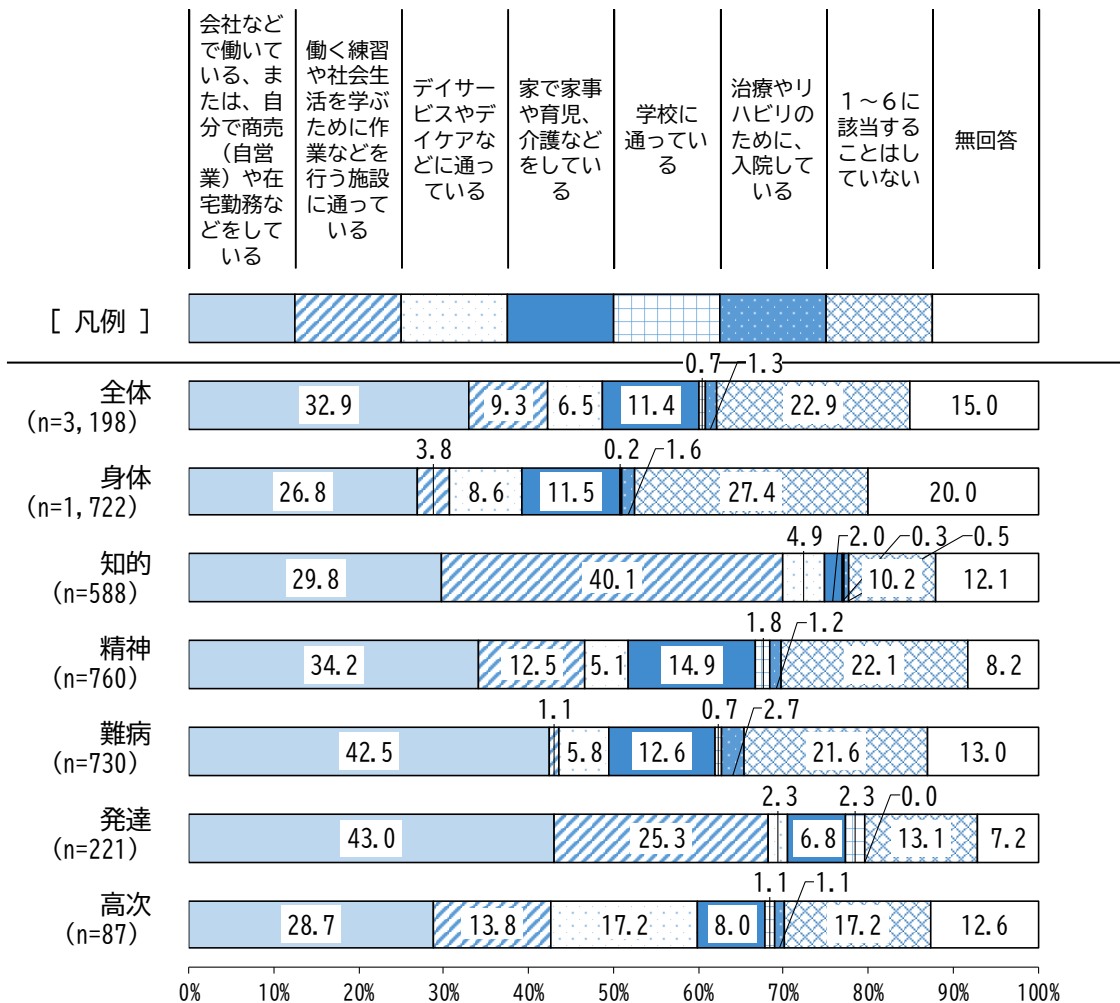
9. 日中の活動・将来の暮らし方

(1) 日中の過ごし方 (18歳以上)

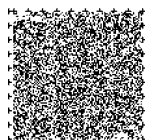
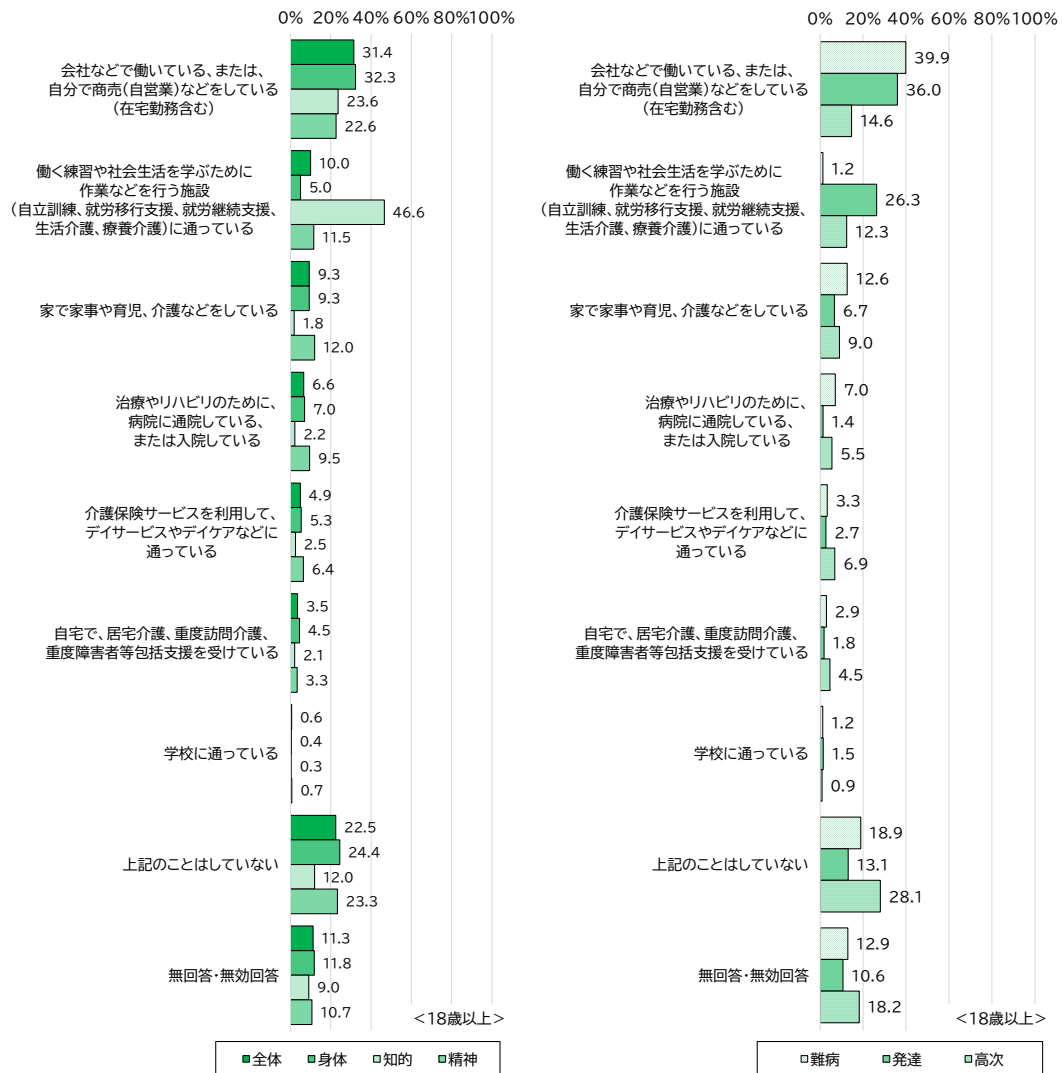
- 日中の過ごし方について、18 歳以上の方全体では、「会社などで働いている、または、自分で商売（自営業）や在宅勤務などを行っている」が 32.9%で最も多く、次いで「1～6に該当することはしていない」が 22.9%、「家で家事や育児、介護などを行っている」が 11.4%となっています。

【18 歳以上 問 38-1】 あなたは、日中（昼間）、主にどのように過ごしていますか。（単一回答）

【日中の過ごし方（18 歳以上）】



参考：前回調査結果 平日の日中を主に過ごす場所（18歳以上）

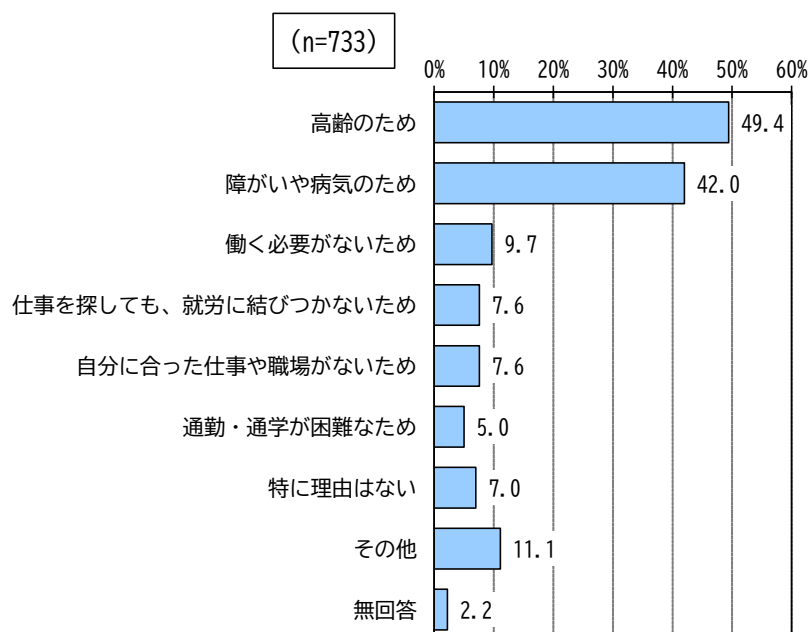


(2) 仕事・就学・家事等をしていない理由（18歳以上）

- 仕事・就学・家事等をしていない理由について、18歳以上の方全体では、「高齢のため」が49.4%で最も多く、次いで「障がいや病気のため」が42.0%、「その他」が11.1%となっています。

【18歳以上 問38-2】仕事・就学・家事等をしていない理由は何ですか。（複数回答）

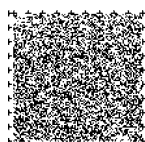
【仕事・就学・家事等をしていない理由（18歳以上）】



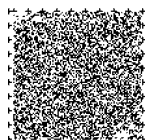
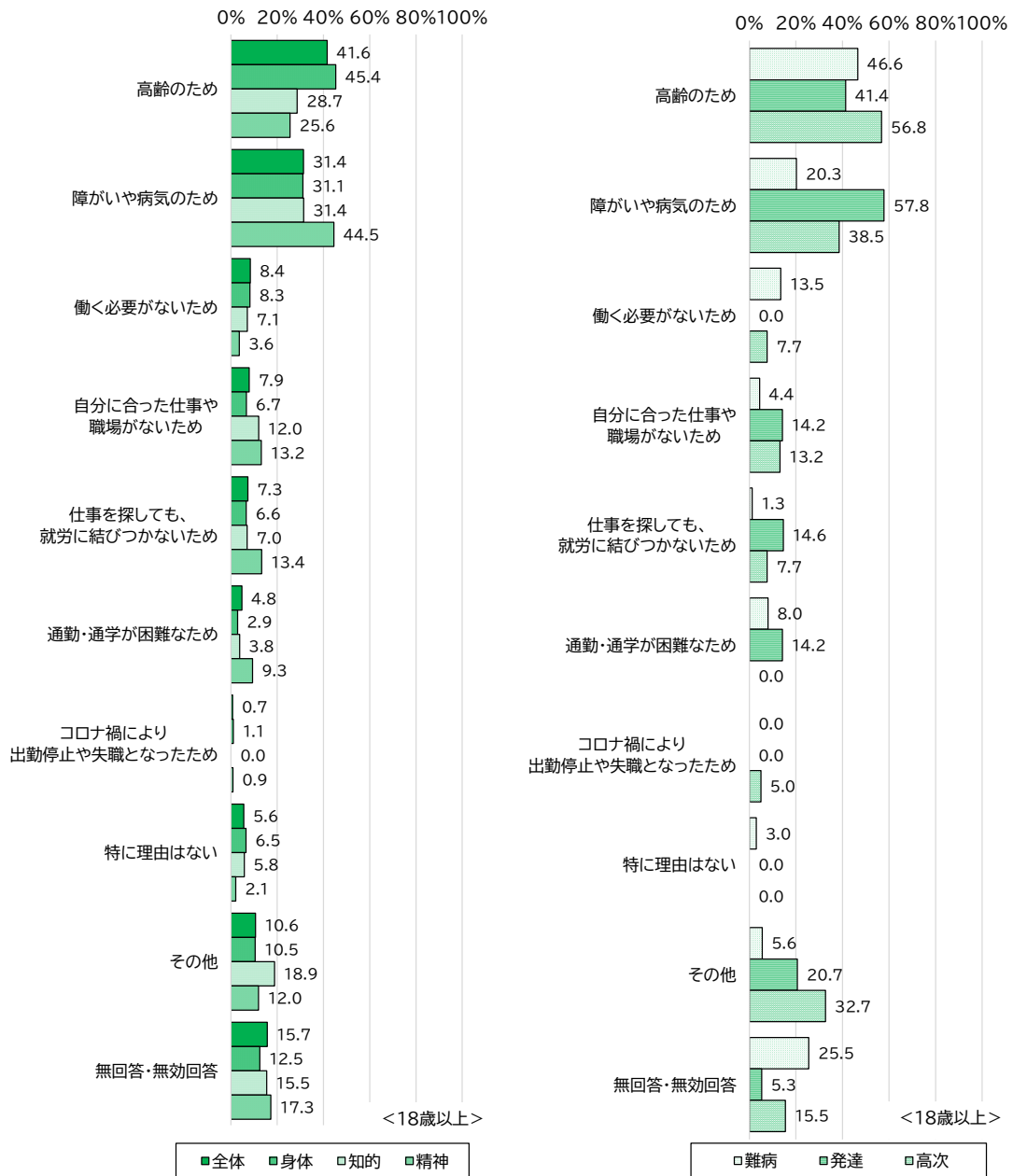
【仕事・就学・家事等をしていない理由（18歳以上）（障がい種別）】

単位：%

回答者数(人)		高齢のため	障がいや病気のため	自分に合った仕事や職場がないため	通勤・通学が困難なため	仕事を探しても、就労に結びつかないため	働く必要がないため	特に理由はない	その他	無回答
全体(n=733)		49.4	42.0	7.6	5.0	7.6	9.7	7.0	11.1	2.2
障がい種別	身体(n=472)	60.6	40.5	4.7	3.6	5.1	11.0	5.5	8.5	2.3
	知的(n=60)	8.3	46.7	10.0	6.7	5.0	3.3	11.7	28.3	3.3
	精神(n=168)	14.3	57.1	19.6	11.3	18.5	3.0	7.7	17.3	2.4
	難病(n=158)	57.6	44.9	3.8	3.8	3.8	14.6	9.5	5.7	1.9
	発達(n=29)	-	48.3	31.0	13.8	27.6	3.4	-	24.1	10.3
	高次(n=15)	40.0	60.0	13.3	6.7	6.7	6.7	6.7	13.3	-



参考：前回調査結果 仕事・就学・家事等をしていない理由（18歳以上）

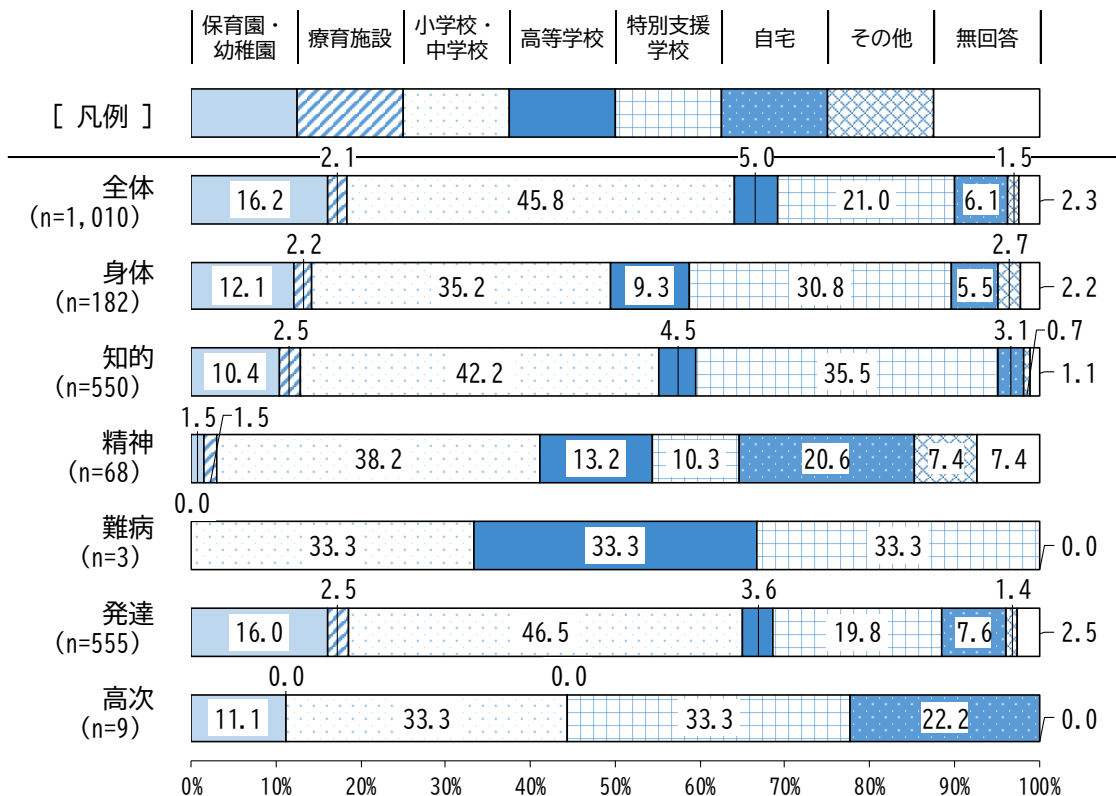


(3) 日中を過ごす場所 (18歳未満)

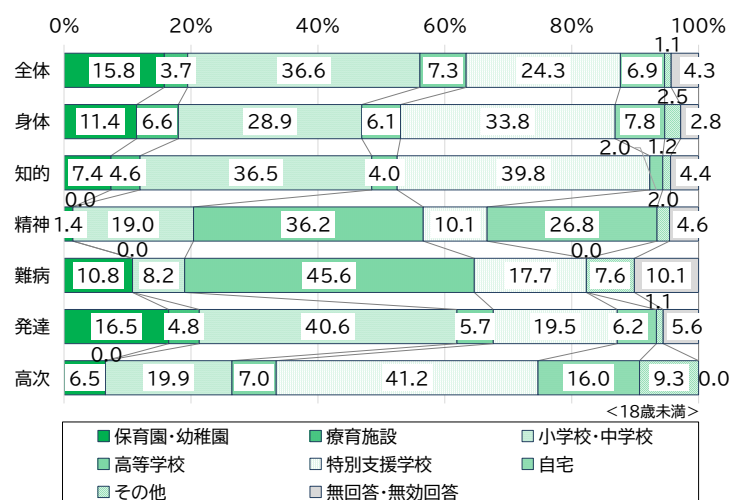
- 日中を過ごす場所について、18 歳未満の方全体では、「小学校・中学校」が 45.8%で最も多く、次いで「特別支援学校」が 21.0%、「保育園・幼稚園」が 16.2%となっています。

【18 歳未満 問 37】 あなたが、日中（昼間）、主に過ごしている場所はどこですか。（単一回答）

【日中を過ごす場所 (18 歳未満)】



参考：前回調査結果 平日の日中を主に過ごす場所 (18 歳未満)



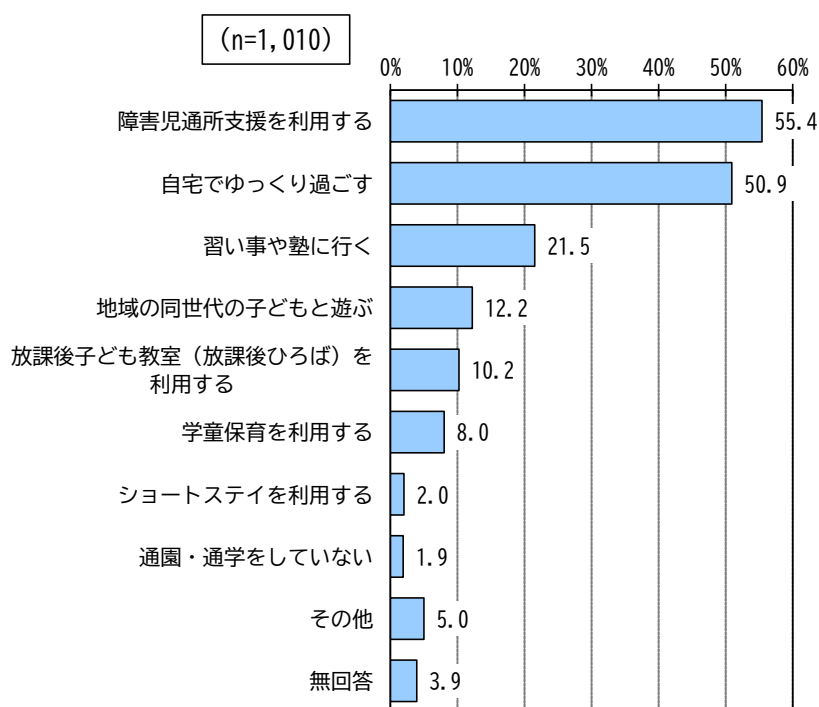
(4) 放課後の時間の過ごし方 (18歳未満)

1) 現在の過ごし方

- 現在の過ごし方について、18歳未満の方全体では、「障害児通所支援を利用する」が55.4%で最も多く、次いで「自宅でゆっくり過ごす」が50.9%、「習い事や塾に行く」が21.5%となっています。

【18歳未満 問38】 放課後の時間の過ごし方についてお尋ねします。(1) 現在、どのように過ごしていますか。(複数回答)

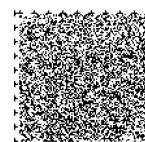
【現在の放課後の過ごし方 (18歳未満)】



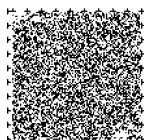
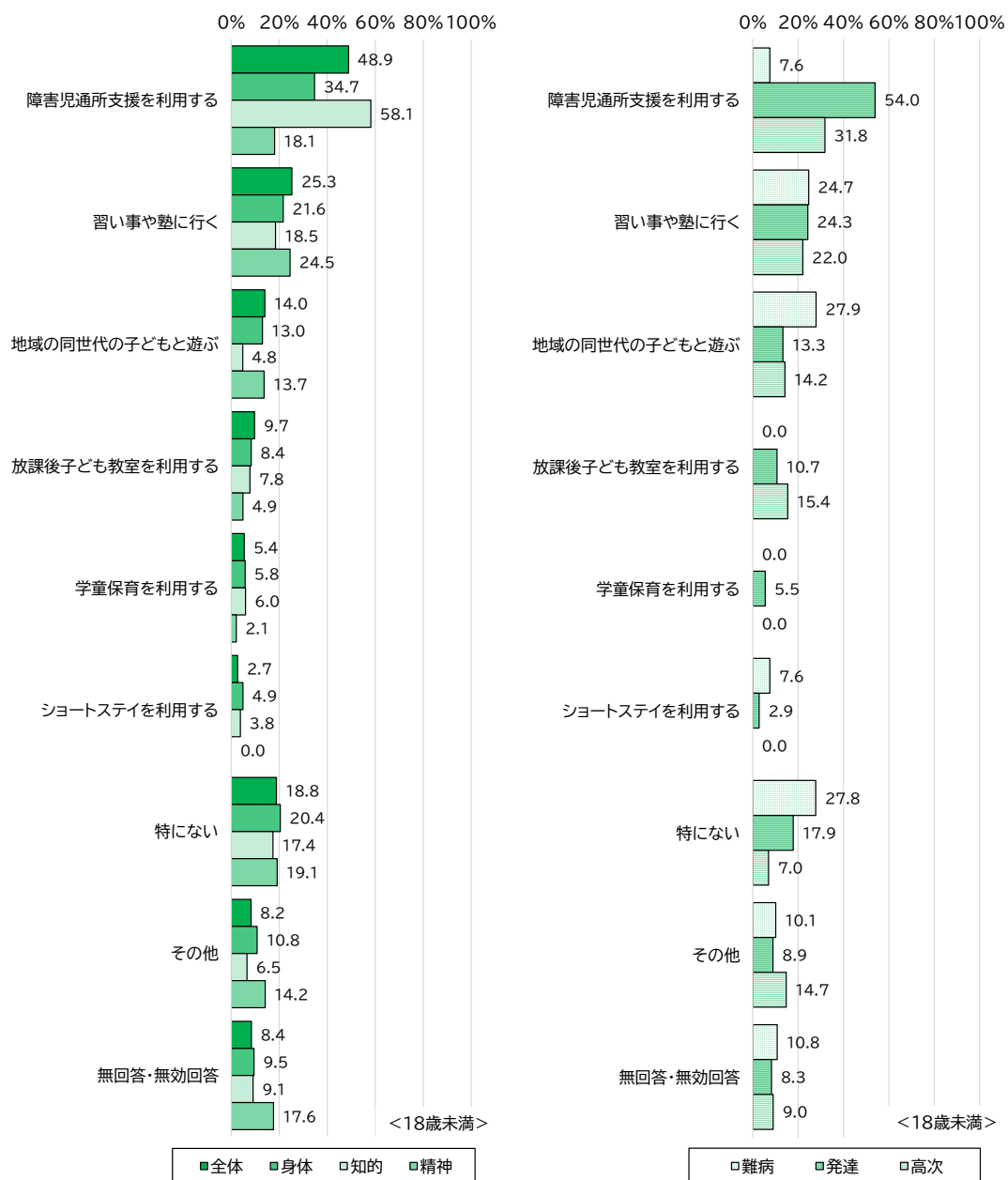
【現在の放課後の過ごし方 (18歳未満) (障がい種別)】

単位: %

回答者数(人)		地域の同世代の子どもと遊ぶ	学童保育を利用する	放課後子ども教室(放課後ひろば)を利用する	習い事や塾に行く	障害児通所支援を利用する	ショートステイを利用する	自宅でゆっくり過ごす	通園・通学をしていない	その他	無回答
全体(n=1,010)		12.2	8.0	10.2	21.5	55.4	2.0	50.9	1.9	5.0	3.9
障がい種別	身体(n=182)	7.7	5.5	6.0	17.0	40.1	2.7	52.2	2.2	6.0	4.4
	知的(n=550)	5.6	5.8	9.5	9.8	66.0	3.1	44.7	0.7	5.5	3.1
	精神(n=68)	8.8	10.3	7.4	22.1	33.8	1.5	55.9	5.9	5.9	5.9
	難病(n=3)	-	-	33.3	33.3	-	-	100.0	-	-	-
	発達(n=555)	13.5	8.5	11.0	23.2	57.3	2.2	50.5	2.2	5.2	4.0
	高次(n=9)	-	-	22.2	11.1	11.1	11.1	66.7	-	-	-



参考：前回調査結果 放課後や休みの日の現在の過ごし方（18歳未満）

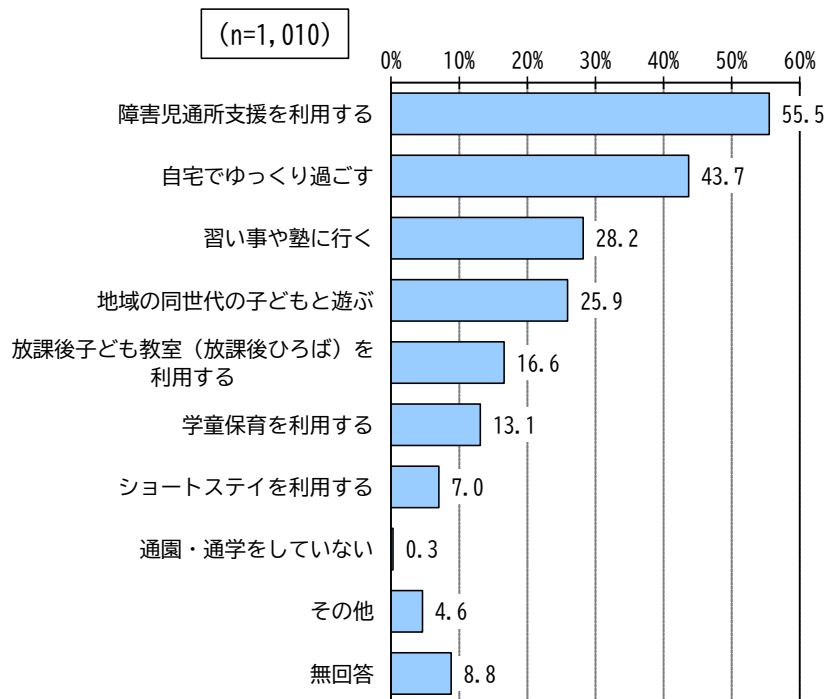


2) 今後の過ごし方

- 今後の過ごし方について、18 歳未満の方全体では、「障害児通所支援を利用する」が 55.5% で最も多く、次いで「自宅でゆっくり過ごす」が 43.7%、「習い事や塾に行く」が 28.2% となっています。

【18 歳未満 問 38】 放課後の時間の過ごし方についてお尋ねします。(2) 今後、どのような過ごし方を希望しますか。(複数回答)

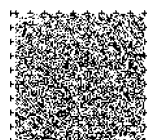
【今後の放課後の過ごし方 (18 歳未満)】



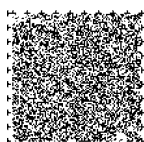
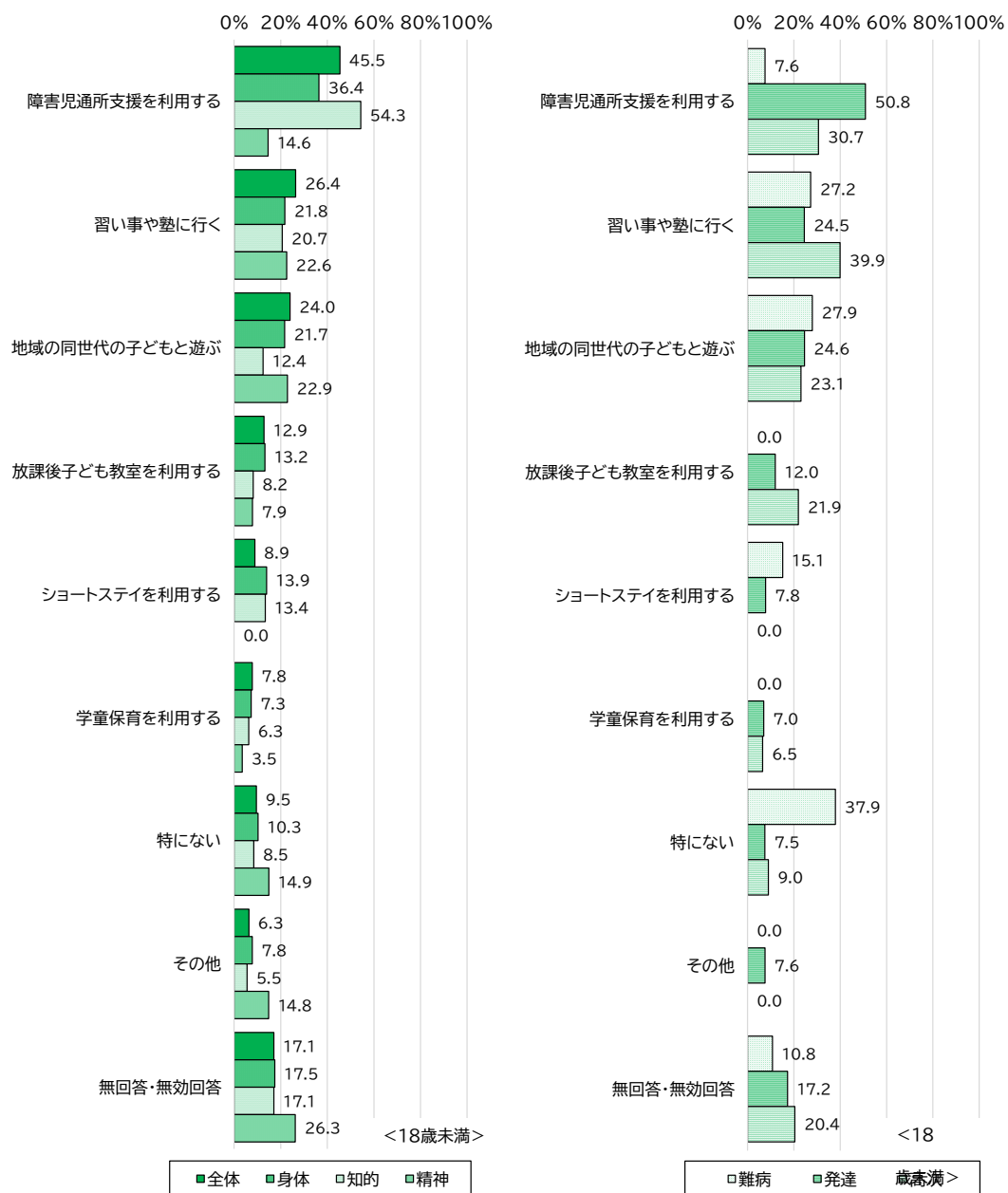
【今後の放課後の過ごし方 (18 歳未満) (障がい種別)】

単位：%

回答者数(人)		地域の同世代の子どもと遊ぶ	学童保育を利用する	放課後子ども教室(放課後ひろば)を利用する	習い事や塾に行く	障害児通所支援を利用する	ショートステイを利用する	自宅でゆっくり過ごす	通園・通学をしていない	その他	無回答
全体(n=1,010)		25.9	13.1	16.6	28.2	55.5	7.0	43.7	0.3	4.6	8.8
障がい種別	身体(n=182)	19.2	11.5	10.4	23.6	46.7	11.5	42.9	-	4.9	12.1
	知的(n=550)	15.6	8.7	12.7	16.7	66.7	11.3	40.2	0.2	5.8	6.7
	精神(n=68)	25.0	10.3	7.4	17.6	39.7	8.8	51.5	-	7.4	16.2
	難病(n=3)	-	-	33.3	66.7	-	-	100.0	-	-	-
	発達(n=555)	27.9	13.5	16.9	30.5	56.6	6.8	45.0	0.4	5.0	6.3
	高次(n=9)	-	-	33.3	11.1	44.4	22.2	44.4	-	11.1	-



参考：前回調査結果 放課後や休業日の今後の過ごし方の希望（18歳未満）



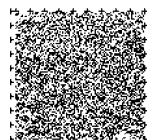
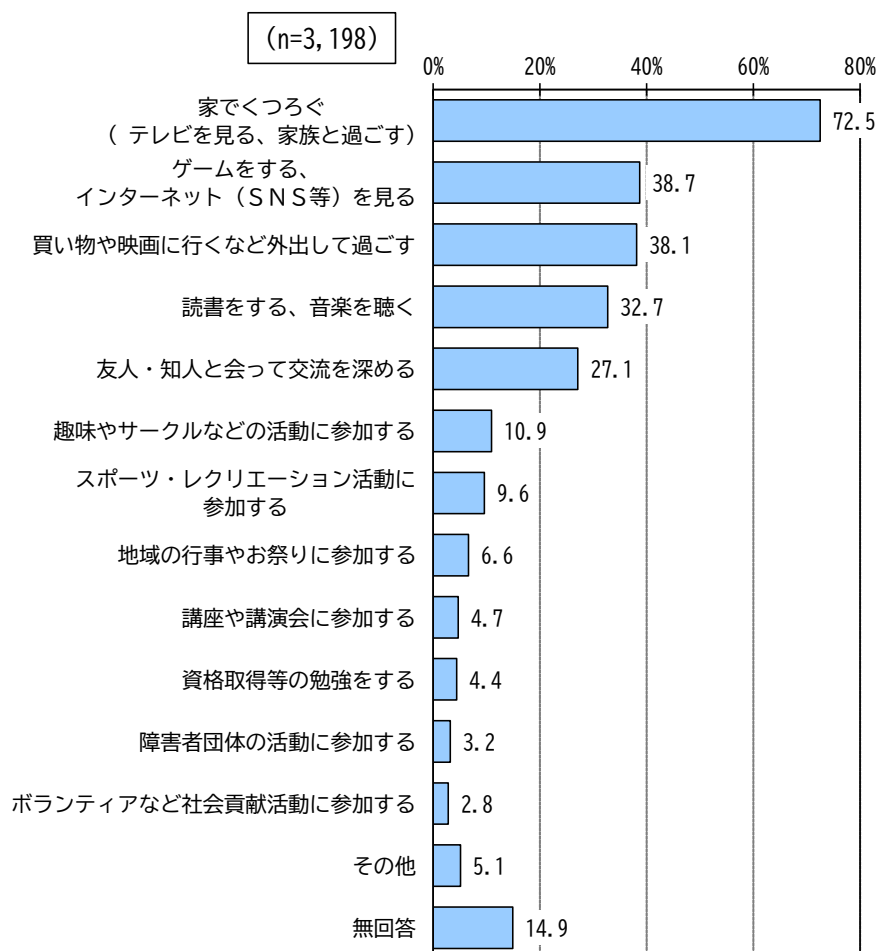
(5) 余暇の時間の過ごし方

1) 現在の余暇時間の過ごし方

- 現在の余暇時間の過ごし方について、18 歳以上の方全体では、「家でくつろぐ(テレビを見る、家族と過ごす)」が 72.5%で最も多く、次いで「ゲームをする、インターネット (SNS 等)を見る」が 38.7%、「買い物や映画に行くなど外出して過ごす」が 38.1%となっています。

【18 歳以上 問 39】 勤務時間や学校・施設に通っている時間以外の、余暇の時間の過ごし方についてお伺いします。(1) 現在、どのように過ごしていますか。(複数回答)

【現在の余暇時間の過ごし方 (18 歳以上)】

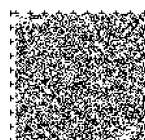


【現在の余暇時間の過ごし方（18歳以上）（障がい種別）】

単位：％

回答者数(人)		家でくつろぐ（テレビを見る、家族と過ごす）	ゲームをする、インターネット（SNS等）を見る	友人・知人と会って交流を深める	買い物や映画に行くなど外出して過ごす	講座や講演会に参加する	読書をする、音楽を聴く	スポーツ・レクリエーション活動に参加する
全体(n=3,198)		72.5	38.7	27.1	38.1	4.7	32.7	9.6
障がい種別	身体(n=1,722)	70.8	28.2	26.7	32.5	4.9	28.3	8.2
	知的(n=588)	76.4	48.5	15.0	45.6	1.4	28.9	11.6
	精神(n=760)	69.9	55.3	23.9	41.1	4.2	41.8	7.6
	難病(n=730)	77.5	39.9	34.9	42.3	6.7	37.4	11.9
	発達(n=221)	75.1	75.6	25.8	53.8	4.1	45.7	10.9
	高次(n=87)	75.9	37.9	20.7	27.6	4.6	28.7	4.6

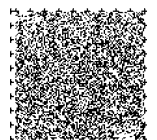
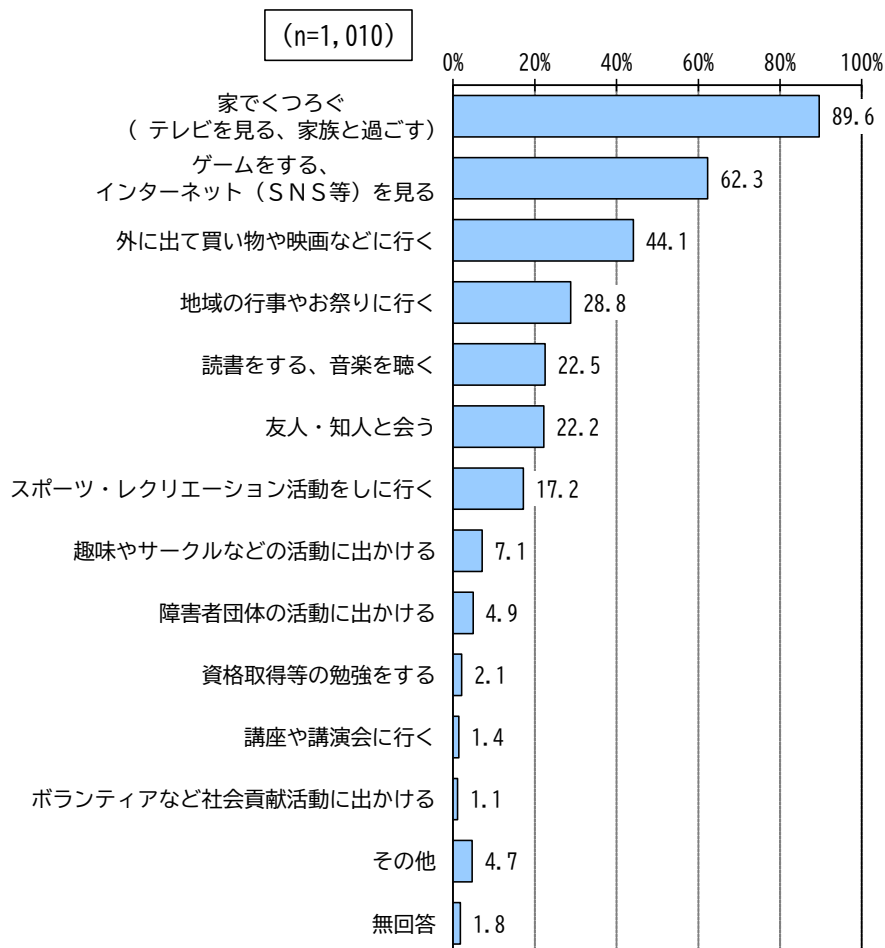
		障害者団体の活動に参加する	地域の行事やお祭りに参加する	ボランティアなど社会貢献活動に参加する	趣味やサークルなどの活動に参加する	資格取得等の勉強をする	その他	無回答
全体		3.2	6.6	2.8	10.9	4.4	5.1	14.9
障がい種別	身体	2.9	4.9	3.0	10.9	2.6	4.3	19.1
	知的	8.8	13.8	1.2	9.7	1.7	4.6	12.4
	精神	2.5	6.8	2.5	9.5	8.3	8.2	9.9
	難病	1.0	6.0	2.9	11.1	5.3	3.7	11.5
	発達	5.4	8.6	0.9	14.0	8.6	3.6	3.2
	高次	3.4	5.7	2.3	4.6	3.4	2.3	16.1



- 18 歳未満の方全体では、「家でくつろぐ（ テレビを見る、家族と過ごす）」が 89.6%で最も多く、次いで「ゲームをする、インターネット（SNS等）を見る」が 62.3%、「外に出て買い物や映画などに行く」が 44.1%となっています。

【18 歳未満 問 39】 学校・施設に通っている時間以外の、余暇の時間の過ごし方についてお伺いします。（１）現在、どのように過ごしていますか。（複数回答）

【現在の余暇時間の過ごし方（18 歳未満）】

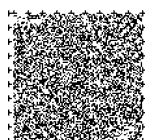


【現在の余暇時間の過ごし方（18歳未満）（障がい種別）】

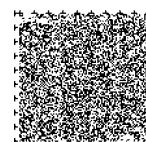
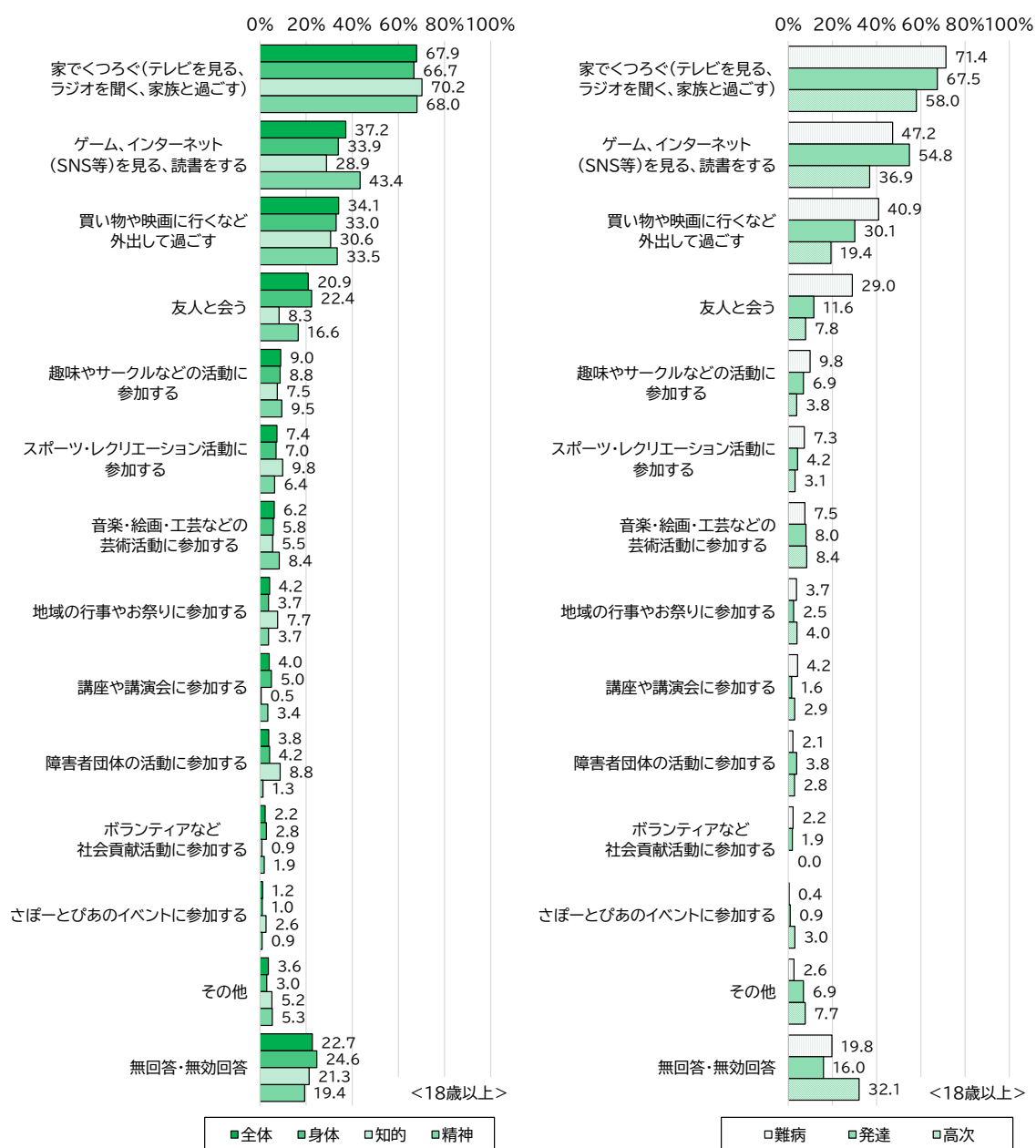
単位：％

回答者数(人)		家でくつろぐ(テレビを見る、家族と過ごす)	ゲームをする、インターネット(SNS等)を見る	友人・知人と会う	外に出て買い物や映画などに行く	講座や講演会に行く	読書をする、音楽を聴く	スポーツ・レクリエーション活動をしに行く
全体(n=1,010)		89.6	62.3	22.2	44.1	1.4	22.5	17.2
障がい種別	身体(n=182)	91.8	47.3	30.2	34.6	-	23.1	17.6
	知的(n=550)	89.3	58.4	12.2	47.3	0.5	17.6	13.8
	精神(n=68)	85.3	80.9	14.7	38.2	2.9	26.5	2.9
	難病(n=3)	66.7	100.0	66.7	33.3	-	66.7	66.7
	発達(n=555)	89.4	66.3	19.8	45.8	1.8	22.7	16.0
	高次(n=9)	100.0	55.6	22.2	44.4	-	11.1	-

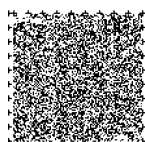
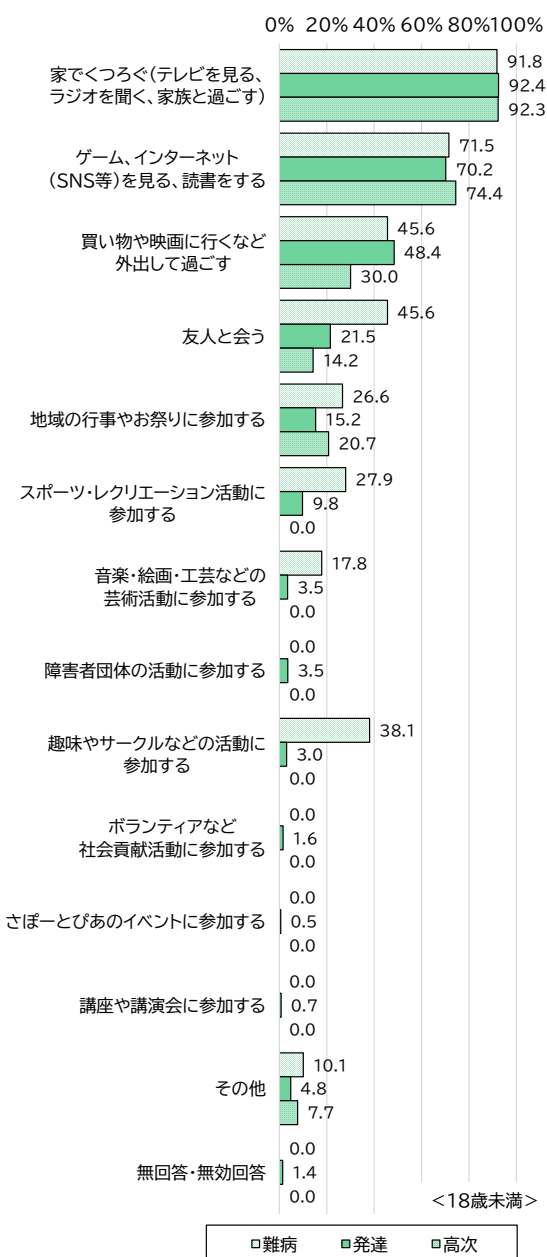
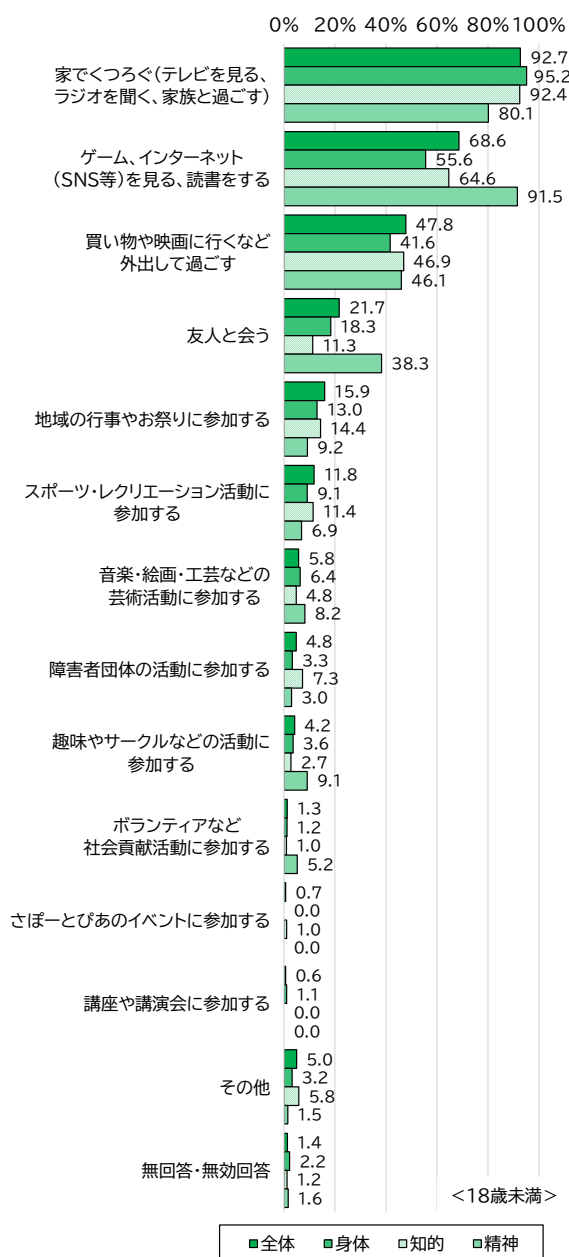
		障害者団体の活動に出かける	地域の行事やお祭りに行く	ボランティアなど社会貢献活動に出かける	趣味やサークルなどの活動に出かける	資格取得等の勉強をする	その他	無回答
全体		4.9	28.8	1.1	7.1	2.1	4.7	1.8
障がい種別	身体	3.8	28.6	0.5	8.2	3.3	5.5	2.7
	知的	6.4	26.2	0.9	6.7	1.5	5.8	1.1
	精神	7.4	19.1	2.9	4.4	5.9	4.4	2.9
	難病	-	33.3	-	33.3	66.7	-	-
	発達	4.3	28.1	0.9	7.6	2.0	5.0	2.0
	高次	-	-	-	-	-	-	-



参考：前回調査結果 現在の余暇の時間の過ごし方（18歳以上）



参考：前回調査結果 現在の余暇の時間の過ごし方（18歳未満）

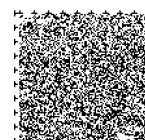
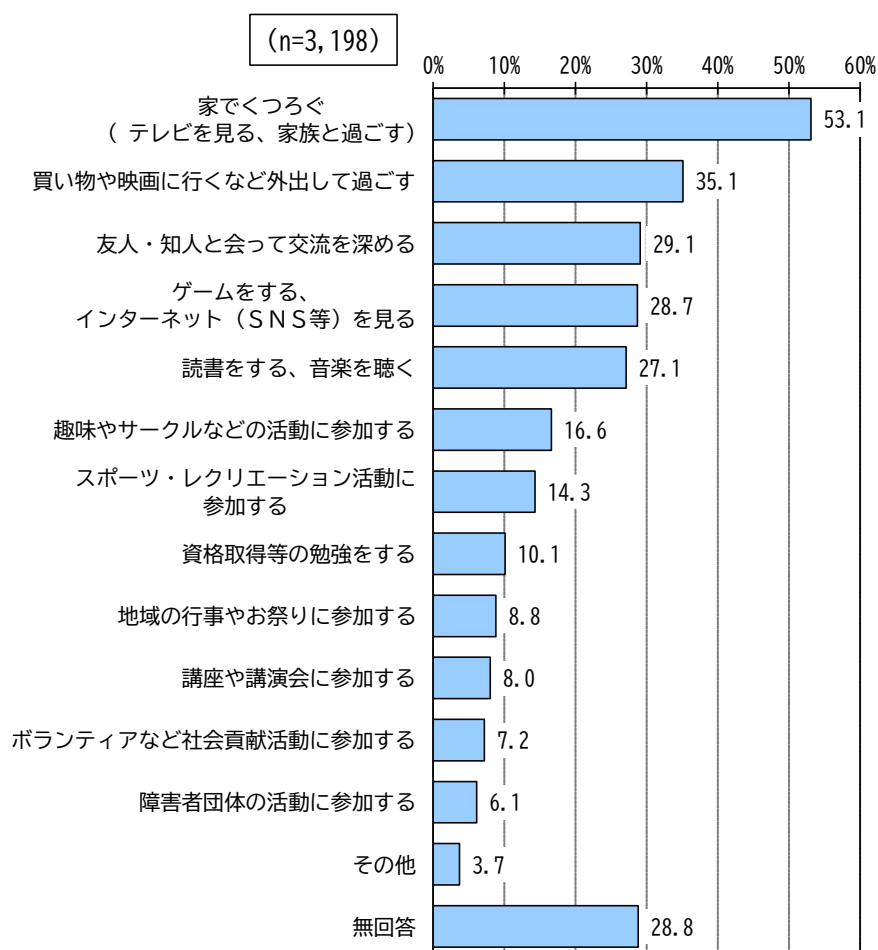


2) 今後の余暇時間の過ごし方

- 今後の余暇時間の過ごし方について、18 歳以上の方全体では、「家でくつろぐ(テレビを見る、家族と過ごす)」が 53.1%で最も多く、次いで「買い物や映画に行くなど外出して過ごす」が 35.1%、「友人・知人と会って交流を深める」が 29.1%となっています。

【18 歳以上 問 39】 勤務時間や学校・施設に通っている時間以外の、余暇の時間の過ごし方についてお伺いします。(2) 今後、どのように過ごしたいですか。(複数回答)

【今後の余暇時間の過ごし方 (18 歳以上)】

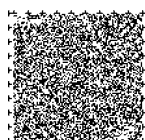


【今後の余暇時間の過ごし方（18歳以上）（障がい種別）】

単位：％

回答者数(人)		家でくつろぐ(テレビを見る、家族と過ごす)	ゲームをする、インターネット(SNS等)を見る	友人・知人と会って交流を深める	買い物や映画に行くなど外出して過ごす	講座や講演会に参加する	読書をする、音楽を聴く	スポーツ・レクリエーション活動に参加する
全体(n=3,198)		53.1	28.7	29.1	35.1	8.0	27.1	14.3
障がい種別	身体(n=1,722)	48.7	20.8	23.6	27.4	6.8	21.8	10.2
	知的(n=588)	57.1	35.7	21.4	39.5	4.8	22.6	17.3
	精神(n=760)	53.3	39.6	37.0	43.7	10.4	37.5	16.1
	難病(n=730)	60.0	31.0	35.5	38.9	10.5	31.8	17.9
	発達(n=221)	60.6	52.9	36.2	49.3	12.7	37.6	20.4
	高次(n=87)	55.2	29.9	23.0	33.3	5.7	25.3	5.7

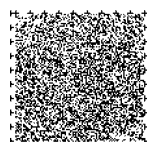
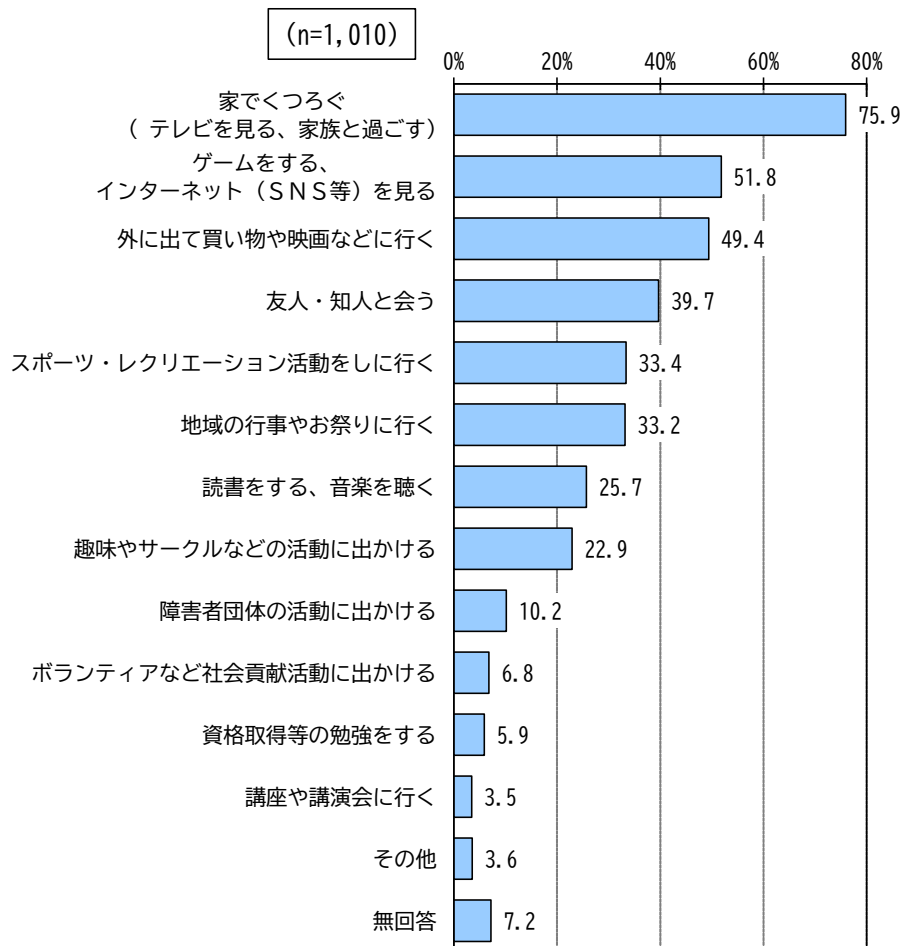
		障害者団体の活動に参加する	地域の行事やお祭りに参加する	ボランティアなど社会貢献活動に参加する	趣味やサークルなどの活動に参加する	資格取得等の勉強をする	その他	無回答
全体		6.1	8.8	7.2	16.6	10.1	3.7	28.8
障がい種別	身体	4.0	6.0	5.5	13.2	5.7	3.3	36.1
	知的	12.9	16.2	6.5	15.3	4.4	4.3	25.9
	精神	8.6	10.9	9.5	21.2	19.1	5.0	19.5
	難病	3.8	8.6	8.2	17.9	12.9	2.7	23.0
	発達	13.1	16.7	10.4	24.0	23.1	4.5	13.6
	高次	8.0	3.4	5.7	10.3	9.2	5.7	31.0



- 18 歳未満の方全体では、「家でくつろぐ(テレビを見る、家族と過ごす)」が 75.9%で最も多く、次いで「ゲームをする、インターネット（SNS等）を見る」が 51.8%、「外に出て買い物や映画などに行く」が 49.4%となっています。

【18 歳未満 問 39】 学校・施設に通っている時間以外の、余暇の時間の過ごし方についてお伺いします。（2）今後、どのような過ごし方を希望しますか。（複数回答）

【今後の余暇時間の過ごし方（18 歳未満）】

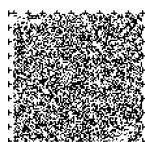


【今後の余暇時間の過ごし方（18歳未満）（障がい種別）】

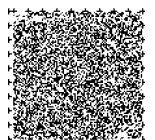
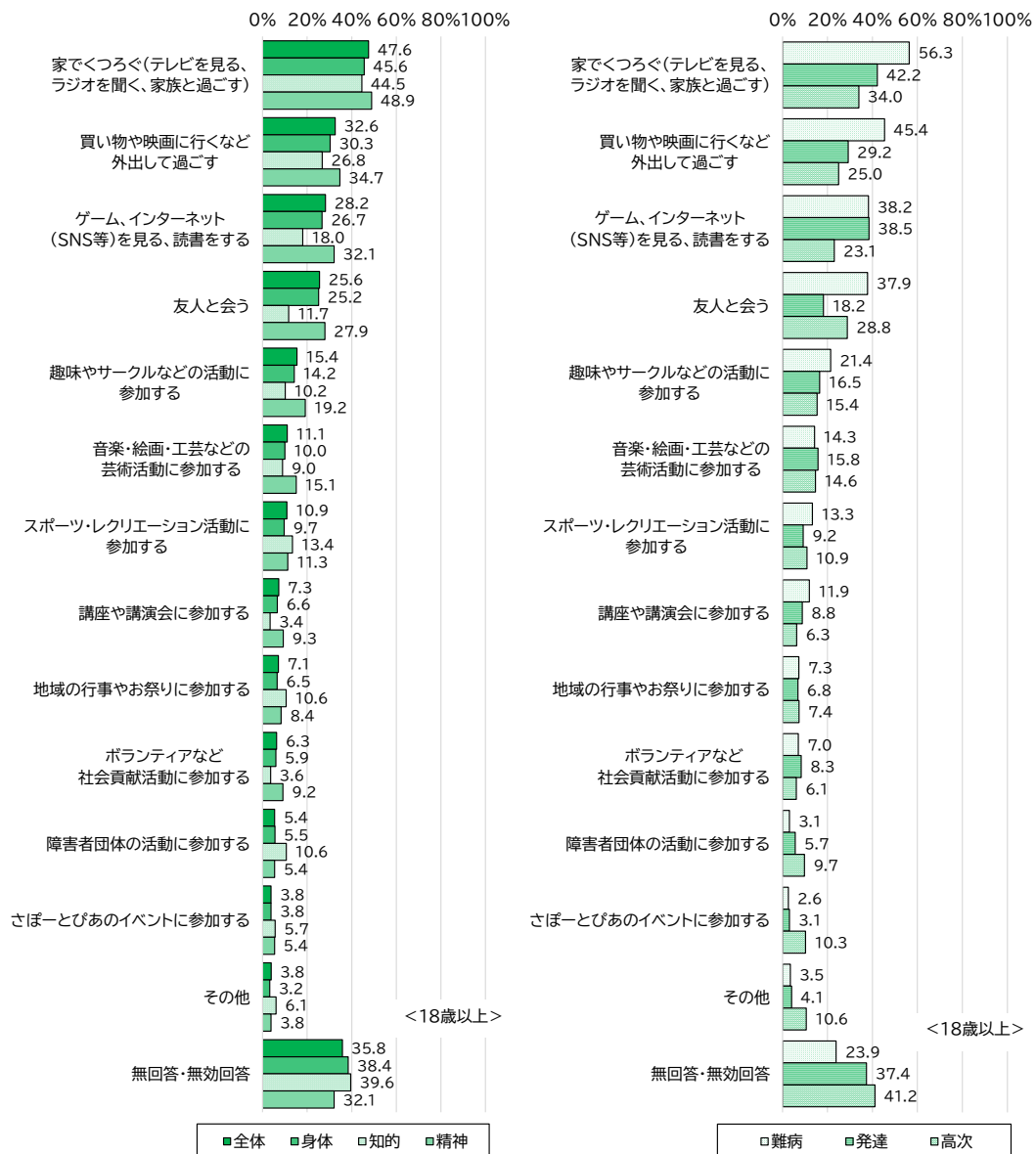
単位：％

回答者数(人)		家でくつろぐ(テレビを見る、家族と過ごす)	ゲームをする、インターネット(SNS等)を見る	友人・知人と会う	外に出て買い物や映画などに行く	講座や講演会に行く	読書をする、音楽を聴く	スポーツ・レクリエーション活動に参加する
全体(n=1,010)		75.9	51.8	39.7	49.4	3.5	25.7	33.4
障がい種別	身体(n=182)	79.7	42.9	43.4	46.7	2.2	25.8	30.2
	知的(n=550)	75.3	47.1	30.4	51.3	3.1	21.3	34.0
	精神(n=68)	67.6	61.8	36.8	42.6	2.9	27.9	22.1
	難病(n=3)	100.0	100.0	66.7	33.3	-	33.3	33.3
	発達(n=555)	74.6	54.2	38.2	51.2	3.8	25.9	33.3
	高次(n=9)	100.0	55.6	22.2	66.7	-	22.2	-

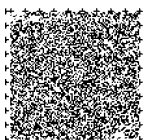
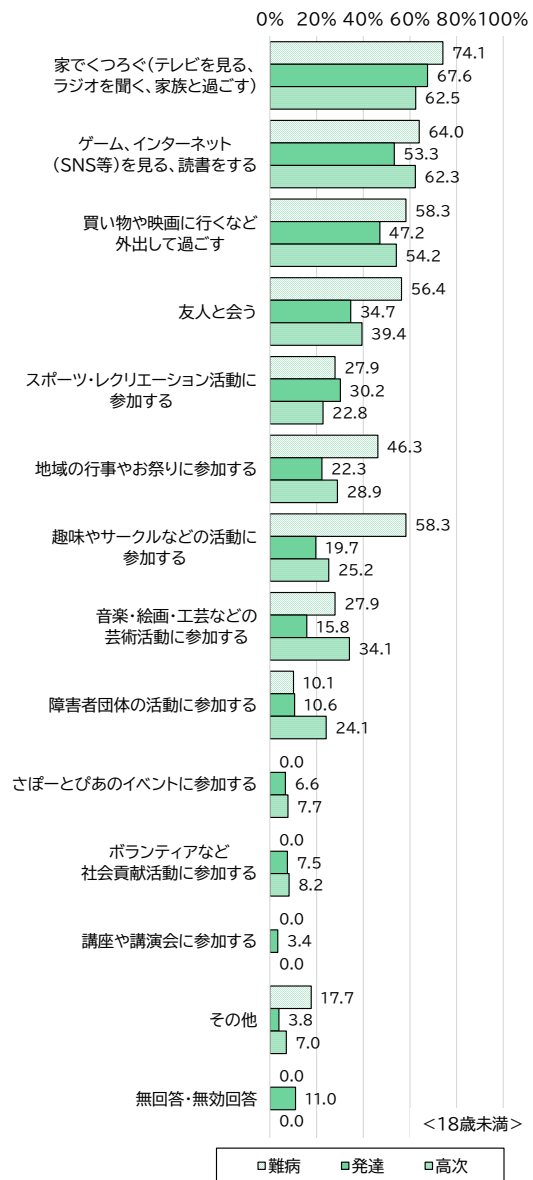
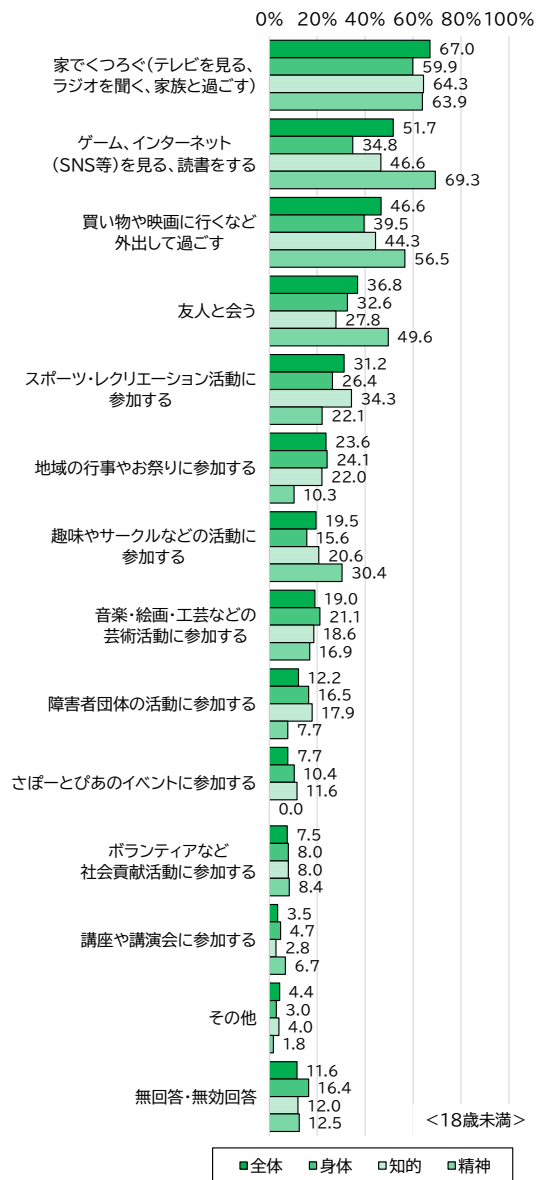
		障害者団体の活動に出かける	地域の行事やお祭りに行く	ボランティアなど社会貢献活動に出かける	趣味やサークルなどの活動に出かける	資格取得等の勉強をする	その他	無回答
全体		10.2	33.2	6.8	22.9	5.9	3.6	7.2
障がい種別	身体	5.5	33.5	7.1	23.6	6.0	2.2	8.8
	知的	15.6	32.7	7.5	25.3	3.8	5.1	5.8
	精神	10.3	25.0	10.3	25.0	10.3	-	10.3
	難病	-	33.3	-	33.3	66.7	-	-
	発達	9.5	32.8	6.5	22.3	6.1	4.3	6.1
	高次	-	-	11.1	11.1	-	-	-



参考：前回調査結果 今後の余暇の時間の過ごし方の希望（18歳以上）



参考：前回調査結果 今後の余暇の時間の過ごし方の希望（18歳未満）

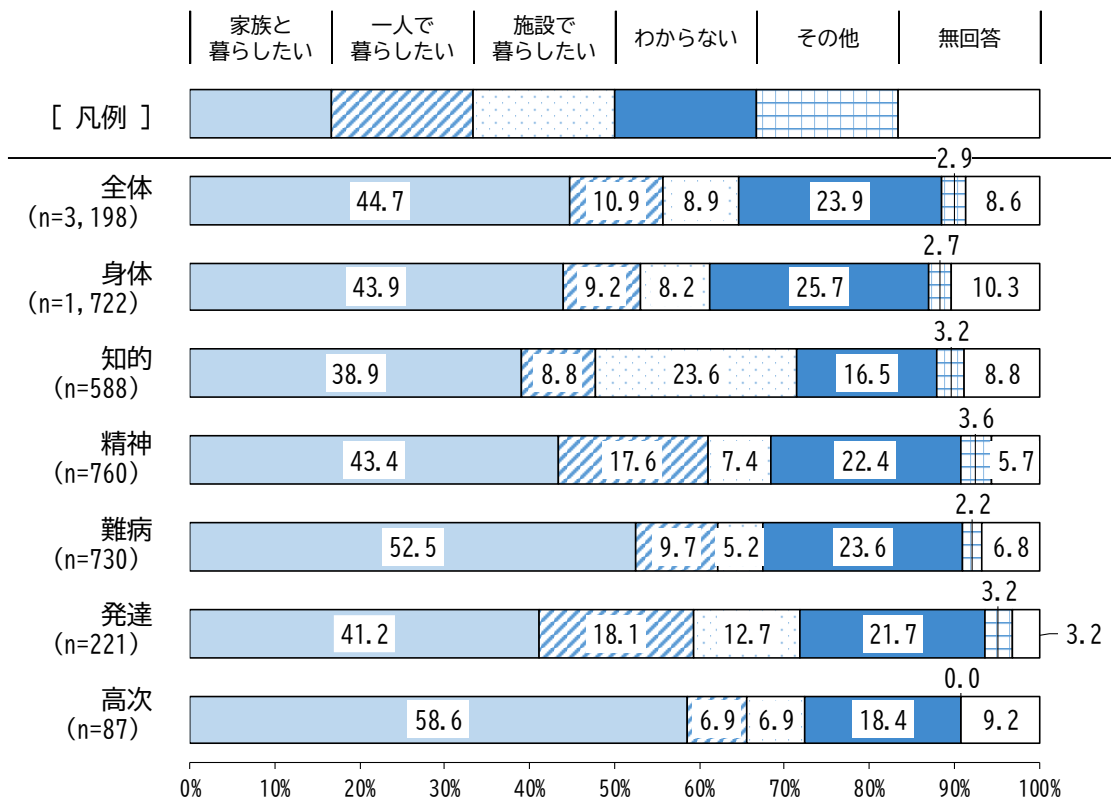


(6) 将来の暮らし方 (18歳以上)

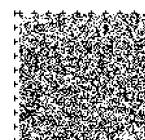
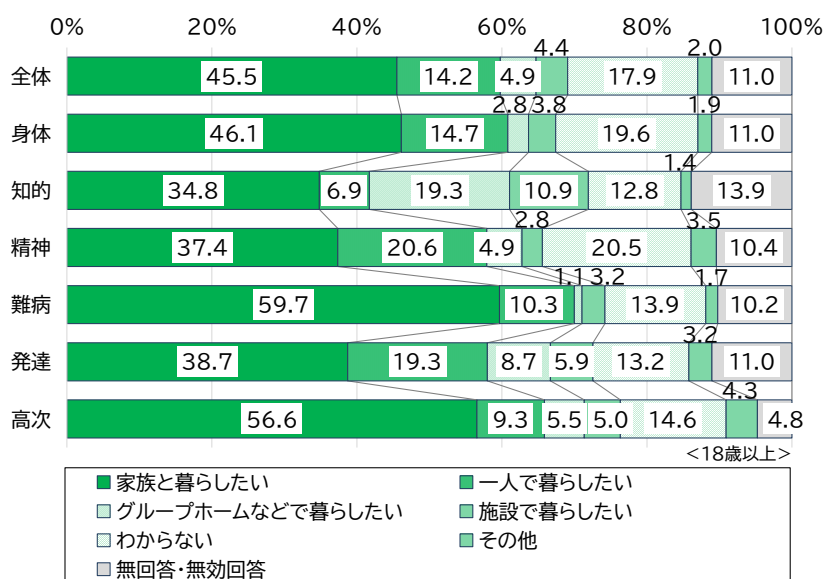
○ 将来の暮らし方について、18 歳以上の方全体では、「家族と暮らしたい」が 44.7%で最も多く、次いで「わからない」が 23.9%、「一人で暮らしたい」が 10.9%となっています。

【18 歳以上 問 40-1】 10 年後、あなたはどのように暮らしたいと思っていますか。(単一回答)

【将来の暮らし方 (18 歳以上)】



参考：前回調査結果 将来の暮らし方 (18 歳以上)

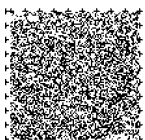
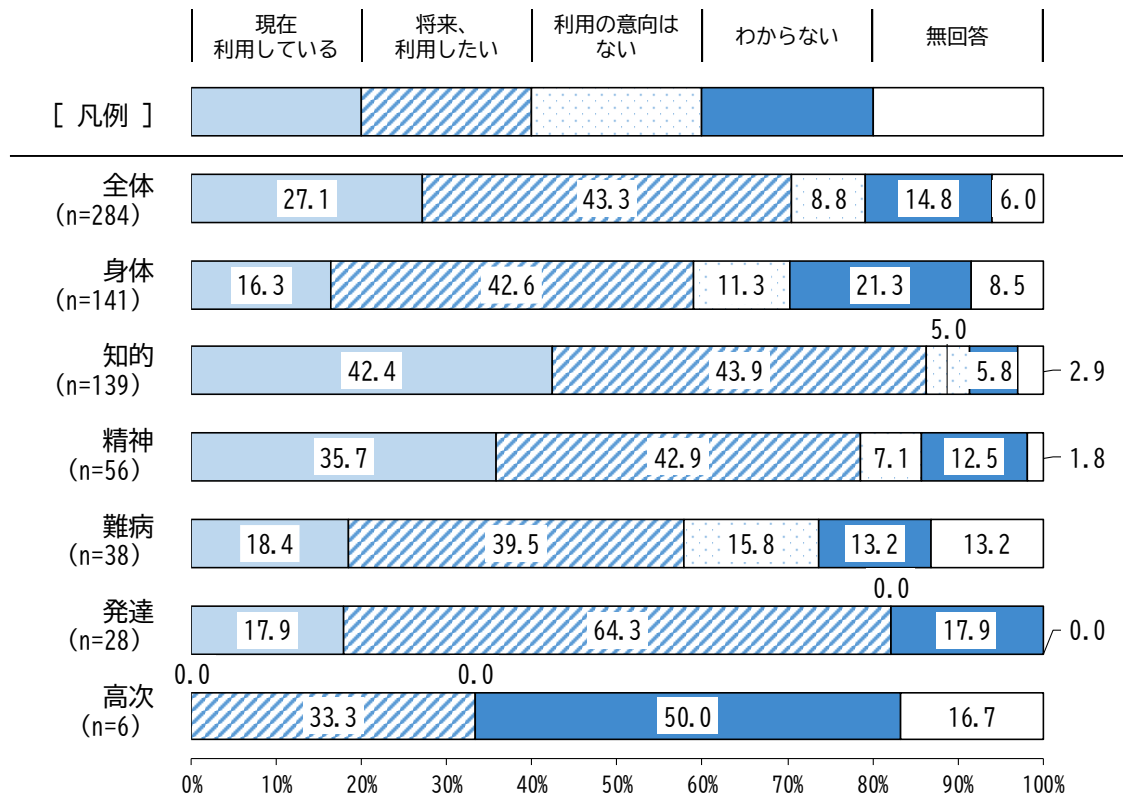


(7) グループホームの利用意向 (18歳以上)

- グループホームの利用意向について、18 歳以上の方全体では、「将来、利用したい」が 43.3% で最も多く、次いで「現在利用している」が 27.1%、「わからない」が 14.8%となっています。

【18 歳以上 問 40-2】グループホームを利用する意向はありますか。(単一回答)

【グループホームの利用意向 (18 歳以上)】



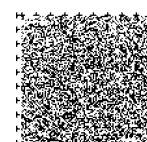
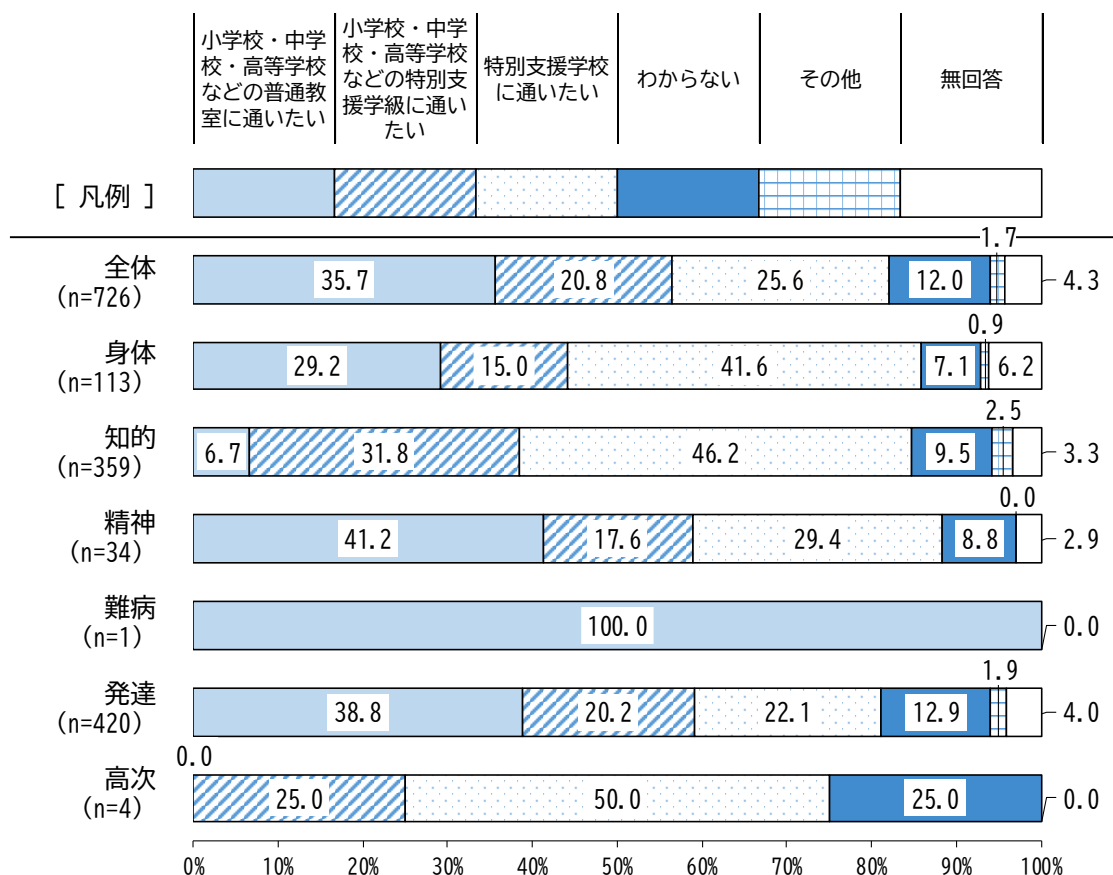
(8) 将来の暮らし方 (18歳未満)

1) 5年後に18歳未満の方

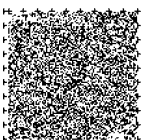
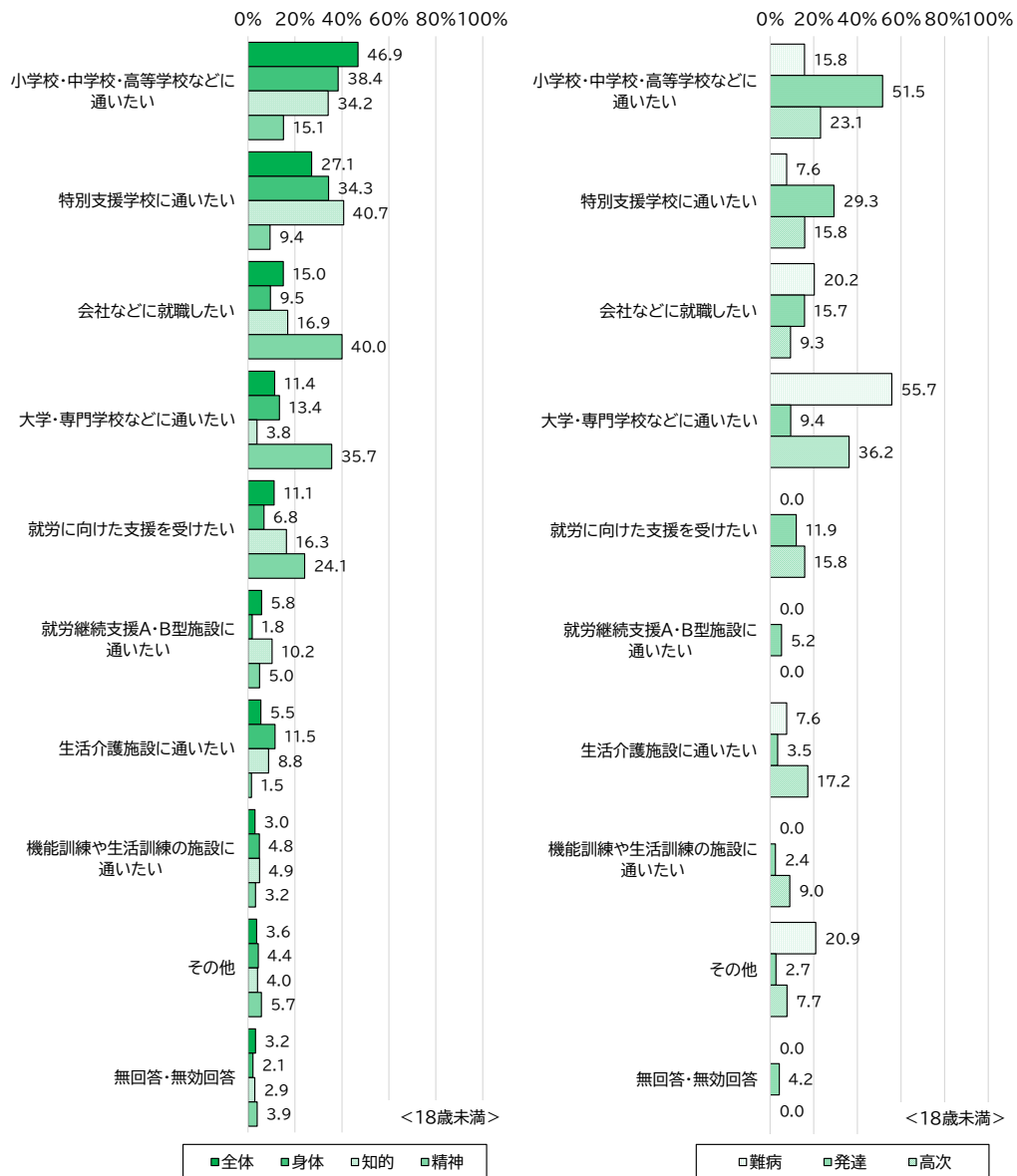
- 5年後に18歳未満の方の将来の暮らし方について、18歳未満の方全体では、「小学校・中学校・高等学校などの普通教室に通いたい」が35.7%で最も多く、次いで「特別支援学校に通いたい」が25.6%、「小学校・中学校・高等学校などの特別支援学級に通いたい」が20.8%となっています。

【18歳未満 問40】 あなたは、今後（5年後）の進路をどのようにしたいと思っていますか。
(単一回答)

【5年後に18歳未満の方 (18歳未満)】



参考：前回調査結果 今後の進路や生活設計（18歳未満）

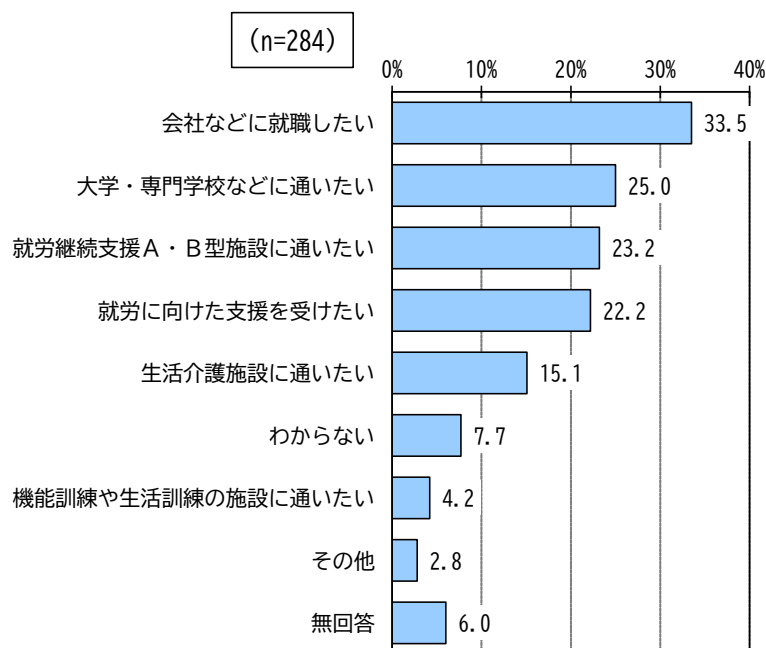


2) 5年後に18歳を超える方

- 5年後に18歳を超える方の将来の暮らし方について、18歳未満の方全体では、「会社などに就職したい」が33.5%で最も多く、次いで「大学・専門学校などに通いたい」が25.0%、「就労継続支援A・B型施設に通いたい」が23.2%となっています。

【18歳未満 問40】あなたは、今後（5年後）の進路をどのようにしたいと思っていますか。
（2つまで回答）

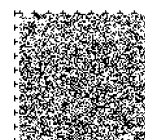
【5年後に18歳を超える方（18歳未満）】



【5年後に18歳を超える方（18歳未満）（障がい種別）】

単位：%

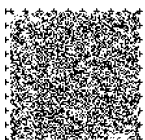
回答者数(人)		大学・専門学校などに通いたい	会社などに就職したい	就労に向けた支援を受けたい	A・B型施設に通いたい 就労継続支援	機能訓練や生活訓練の施設に通いたい	生活介護施設に通いたい	わからない	その他	無回答
全体(n=284)		25.0	33.5	22.2	23.2	4.2	15.1	7.7	2.8	6.0
障がい種別	身体(n=69)	34.8	31.9	11.6	8.7	4.3	26.1	5.8	2.9	4.3
	知的(n=191)	7.3	29.8	27.2	33.0	5.8	20.9	7.9	3.7	6.3
	精神(n=34)	41.2	32.4	23.5	14.7	-	2.9	8.8	2.9	8.8
	難病(n=2)	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-
	発達(n=135)	24.4	29.6	23.7	23.7	5.2	14.1	11.9	3.7	8.1
	高次(n=5)	20.0	20.0	40.0	20.0	-	20.0	-	20.0	-



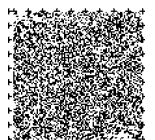
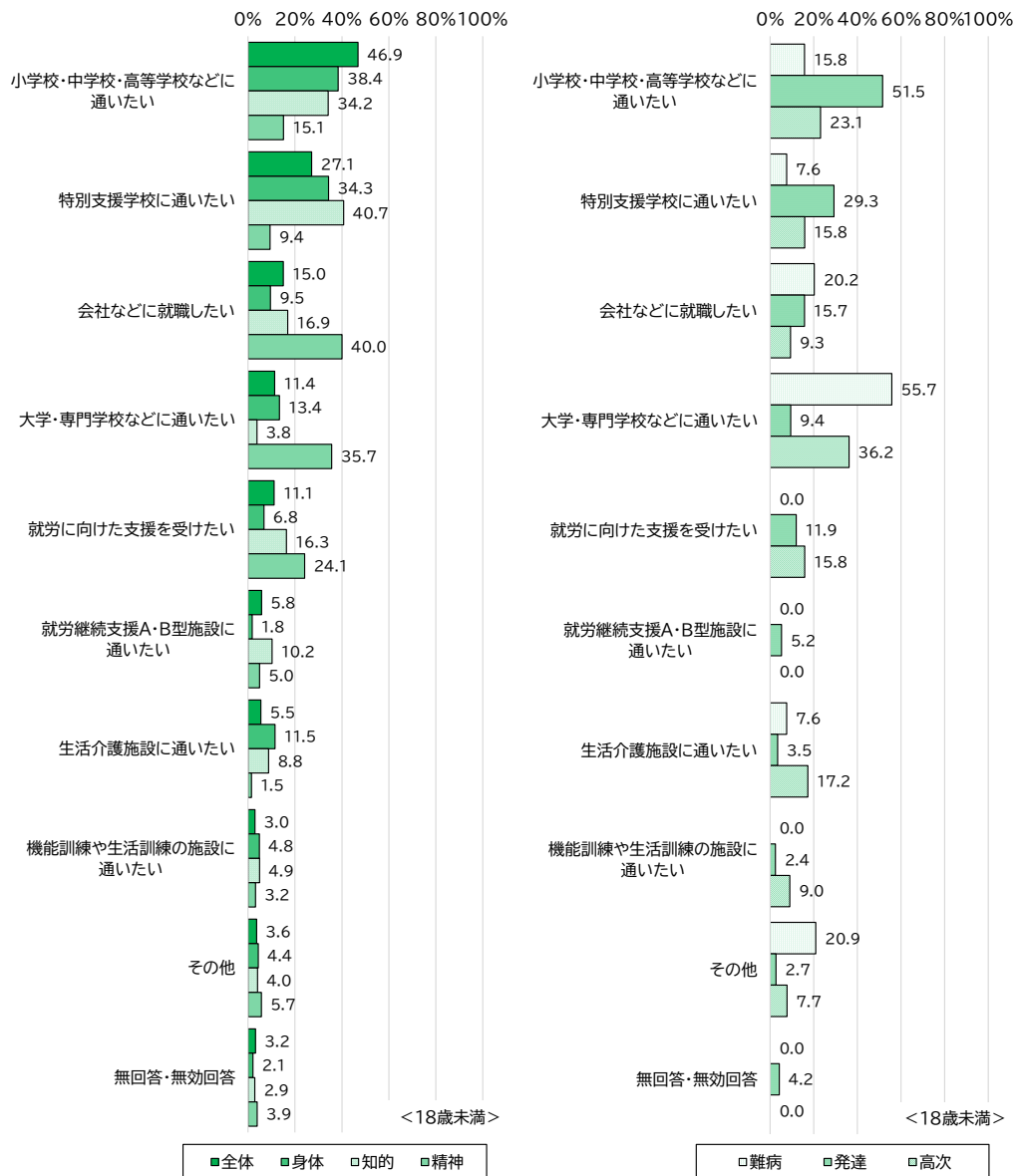
【5年後に18歳を超える方（18歳未満）（回答者別）】

単位：％

回答者数(人)		大学・専門学校などに 通いたい	会社などに就職したい	就労に向けた支援を 受けたい	A・B型施設に通いたい 就労継続支援	機能訓練や生活訓練の 施設に通いたい	生活介護施設に通いたい	わからない	その他	無回答
全体(n=284)		25.0	33.5	22.2	23.2	4.2	15.1	7.7	2.8	6.0
回答者別	本人(n=38)	55.3	55.3	7.9	-	-	-	10.5	-	2.6
	本人の意見を 聞いて家族回答 (n=112)	31.3	44.6	29.5	18.8	0.9	0.9	7.1	4.5	5.4
	本人の意向を 考えて家族回答 (n=111)	5.4	15.3	22.5	36.9	9.9	36.9	6.3	2.7	6.3



参考：前回調査結果 今後の進路や生活設計（18歳未満）（再掲）

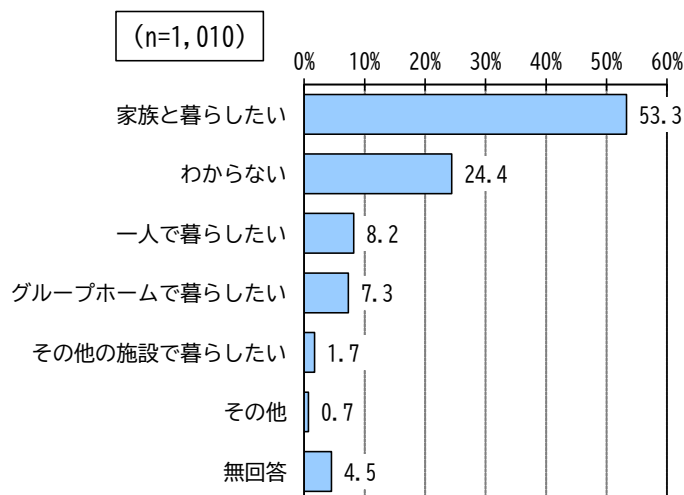


3) 18歳を過ぎたらどのように暮らしたいか

- 18歳を過ぎた際の暮らし方について、18歳未満の方全体では、「家族と暮らしたい」が53.3%で最も多く、次いで「わからない」が24.4%、「一人で暮らしたい」が8.2%となっています。

【18歳未満 問41】 将来18歳を越えたら、あなたはどのように暮らしたいと思っていますか。
(単一回答)

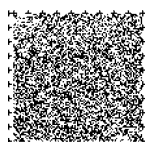
【18歳を過ぎた際の暮らし方（18歳未満）】



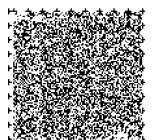
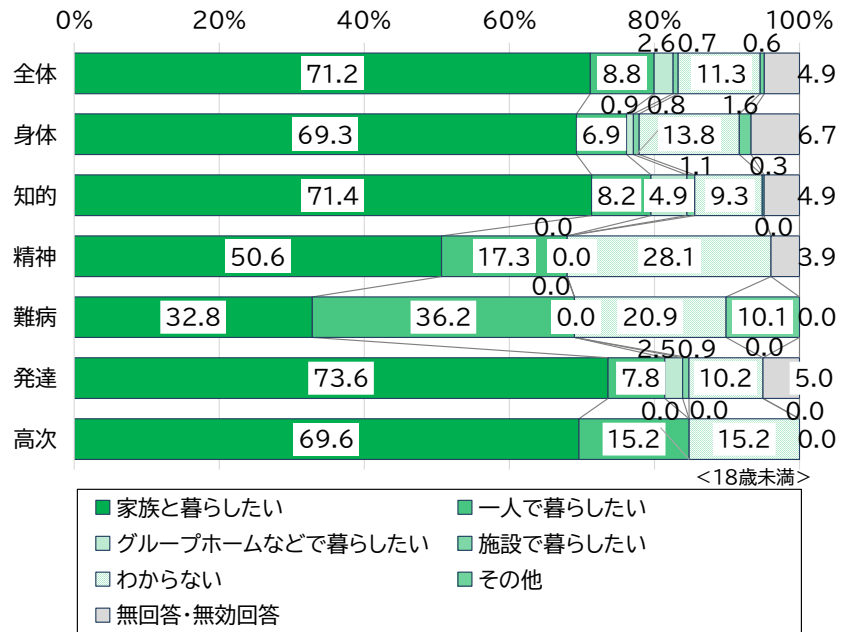
【18歳を過ぎた際の暮らし方（18歳未満）（障がい種別）】

単位：%

回答者数(人)		家族と暮らしたい	一人で暮らしたい	グループホームで暮らしたい	その他の施設で暮らしたい	わからない	その他	無回答
全体(n=1,010)		53.3	8.2	7.3	1.7	24.4	0.7	4.5
障がい種別	身体(n=182)	52.7	9.3	7.7	3.3	20.9	1.1	4.9
	知的(n=550)	56.4	3.8	13.5	2.2	20.5	1.1	2.5
	精神(n=68)	48.5	17.6	5.9	-	20.6	1.5	5.9
	難病(n=3)	33.3	-	-	-	66.7	-	-
	発達(n=555)	53.0	8.6	7.2	1.6	24.1	0.9	4.5
	高次(n=9)	33.3	-	11.1	11.1	22.2	-	22.2



参考：前回調査結果 将来の暮らし方（18歳未満）

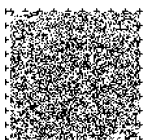
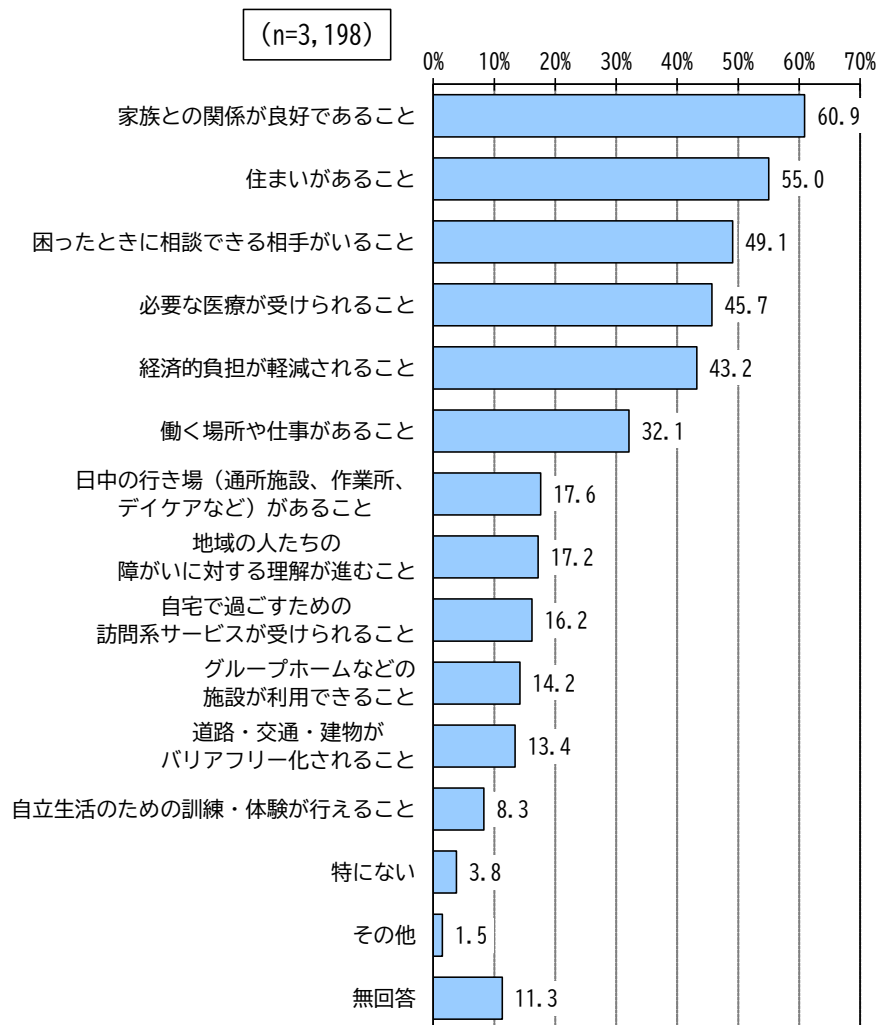


（９）今後の進路や生活設計で望むこと

- 今後の進路や生活設計で望むことについて、18 歳以上の方全体では、「家族との関係が良好であること」が 60.9%で最も多く、次いで「住まいがあること」が 55.0%、「困ったときに相談できる相手がいること」が 49.1%となっています。

【18 歳以上 問 41】 希望する暮らし方や進路・生活設計を実現する上で、どのようなことを望みますか。
(複数回答)

【今後の進路や生活設計で望むこと（18 歳以上）】

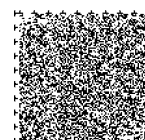


【今後の進路や生活設計で望むこと（18歳以上）（障がい種別）】

単位：％

回答者数(人)		家族との関係が良好であること	困ったときに相談できる相手がいること	住まいがあること	グループホームなどの施設が利用できること	働く場所や仕事があること	自立生活のための訓練・体験が行えること	日中の行き場（通所施設、作業所、デイケアなど）があること
全体(n=3, 198)		60.9	49.1	55.0	14.2	32.1	8.3	17.6
障がい種別	身体(n=1, 722)	59.0	43.8	50.4	11.0	20.4	5.8	15.1
	知的(n=588)	58.5	53.1	49.0	39.1	37.9	14.3	39.3
	精神(n=760)	59.6	60.5	65.7	12.8	50.7	12.2	19.2
	難病(n=730)	66.2	48.4	58.2	9.3	31.5	7.0	11.6
	発達(n=221)	65.6	64.3	66.5	25.8	57.9	13.6	29.4
	高次(n=87)	63.2	44.8	56.3	13.8	37.9	14.9	20.7
	強行(n=25)	48.0	64.0	56.0	52.0	16.0	24.0	64.0
	重心(n=53)	58.5	50.9	47.2	37.7	9.4	9.4	49.1

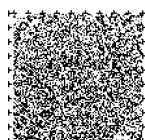
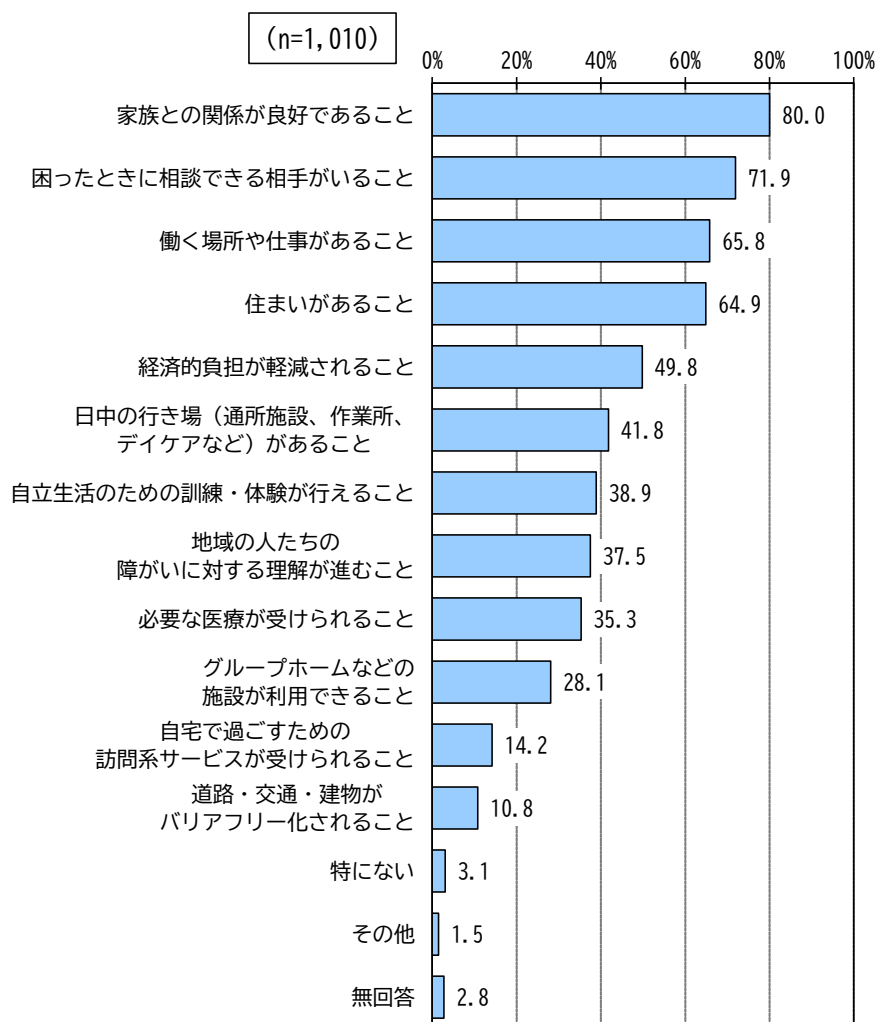
		自宅で過ごすための訪問系サービスが受けられること	経済的負担が軽減されること	必要な医療が受けられること	道路・交通・建物がバリアフリー化されること	地域の人たちの障がいに対する理解が進むこと	特にない	その他	無回答
全体		16.2	43.2	45.7	13.4	17.2	3.8	1.5	11.3
障がい種別	身体	19.3	39.0	43.4	17.7	14.3	4.2	1.0	13.8
	知的	14.5	37.1	40.0	11.1	31.6	3.6	1.7	11.9
	精神	12.9	54.2	50.3	8.7	23.8	2.5	3.0	7.2
	難病	17.5	45.6	55.5	14.8	11.1	3.8	0.4	7.7
	発達	15.4	58.4	48.0	10.9	35.3	2.7	1.4	5.9
	高次	14.9	44.8	41.4	24.1	26.4	3.4	3.4	11.5
	強行	32.0	48.0	52.0	12.0	44.0	-	16.0	8.0
	重心	41.5	35.8	60.4	35.8	28.3	1.9	11.3	15.1



- 18 歳未満の方全体では、「家族との関係が良好であること」が 80.0%で最も多く、次いで「困ったときに相談できる相手がいること」が 71.9%、「働く場所や仕事があること」が 65.8%となっています。

【18 歳未満 問 42】 希望する暮らし方や進路・生活設計を実現する上で、どのようなことを望みますか。
(複数回答)

【今後の進路や生活設計で望むこと (18 歳未満)】

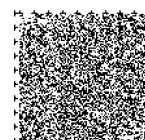


【今後の進路や生活設計で望むこと（18歳未満）（障がい種別）】

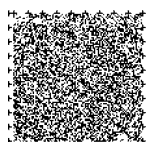
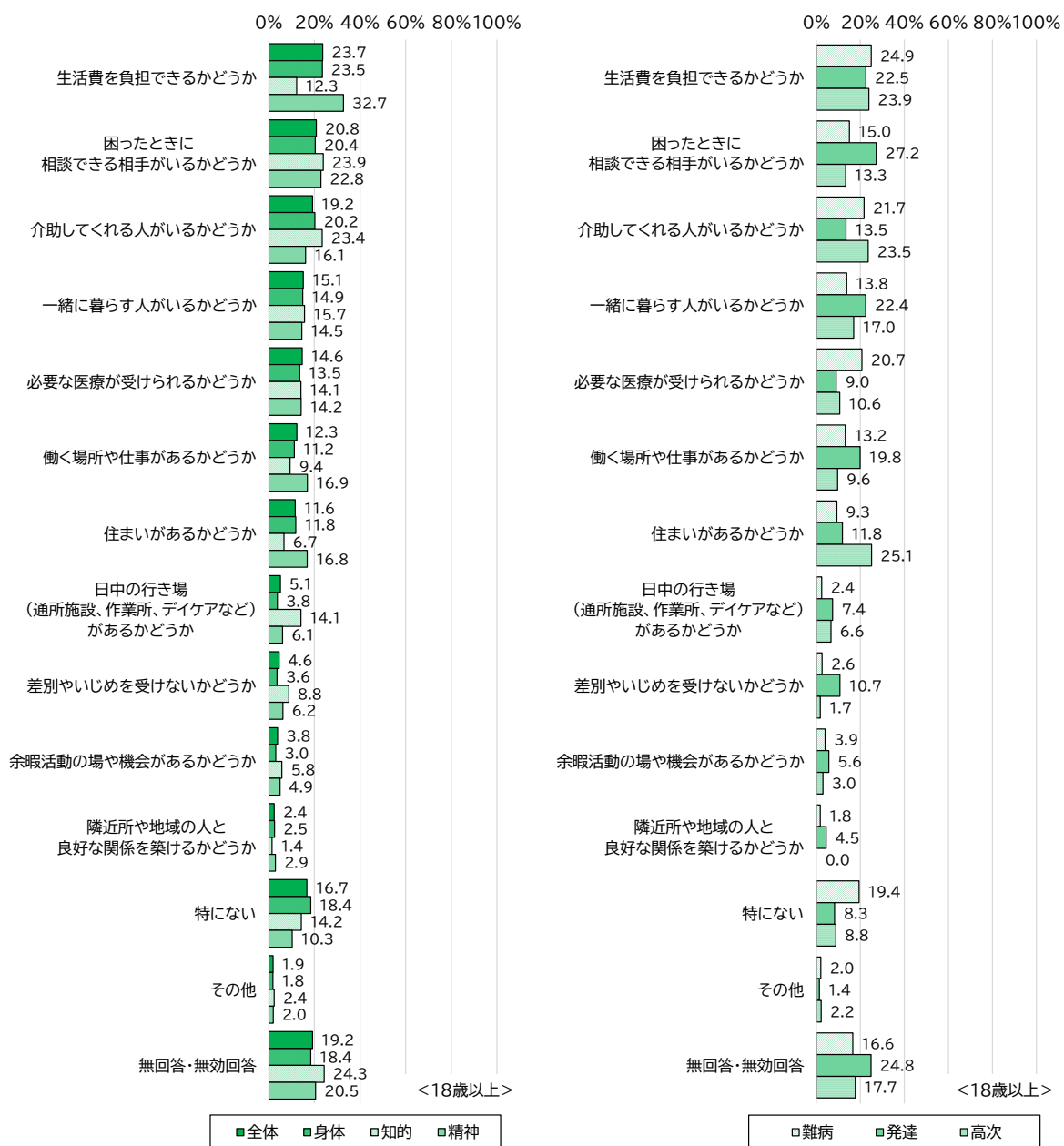
単位：％

回答者数(人)		家族との関係が良好であること	困ったときに相談できる相手がいること	住まいがあること	グループホームなどの施設が利用できること	働く場所や仕事があること	訓練・体験が行えること 自立生活のための	日中の行き場（通所施設、作業所、デイケアなど）があること
全体(n=1,010)		80.0	71.9	64.9	28.1	65.8	38.9	41.8
障がい種別	身体(n=182)	78.6	70.3	64.8	30.2	55.5	46.2	46.2
	知的(n=550)	78.7	70.0	65.8	44.5	66.5	60.0	60.0
	精神(n=68)	72.1	80.9	75.0	22.1	73.5	32.4	32.4
	難病(n=3)	100.0	100.0	100.0	-	66.7	-	-
	発達(n=555)	80.2	73.0	65.6	26.3	66.7	39.6	39.6
	高次(n=9)	88.9	77.8	66.7	77.8	33.3	66.7	66.7
	強行(n=15)	73.3	66.7	73.3	53.3	40.0	60.0	73.3
	重心(n=44)	70.5	52.3	56.8	59.1	13.6	31.8	79.5

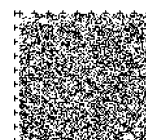
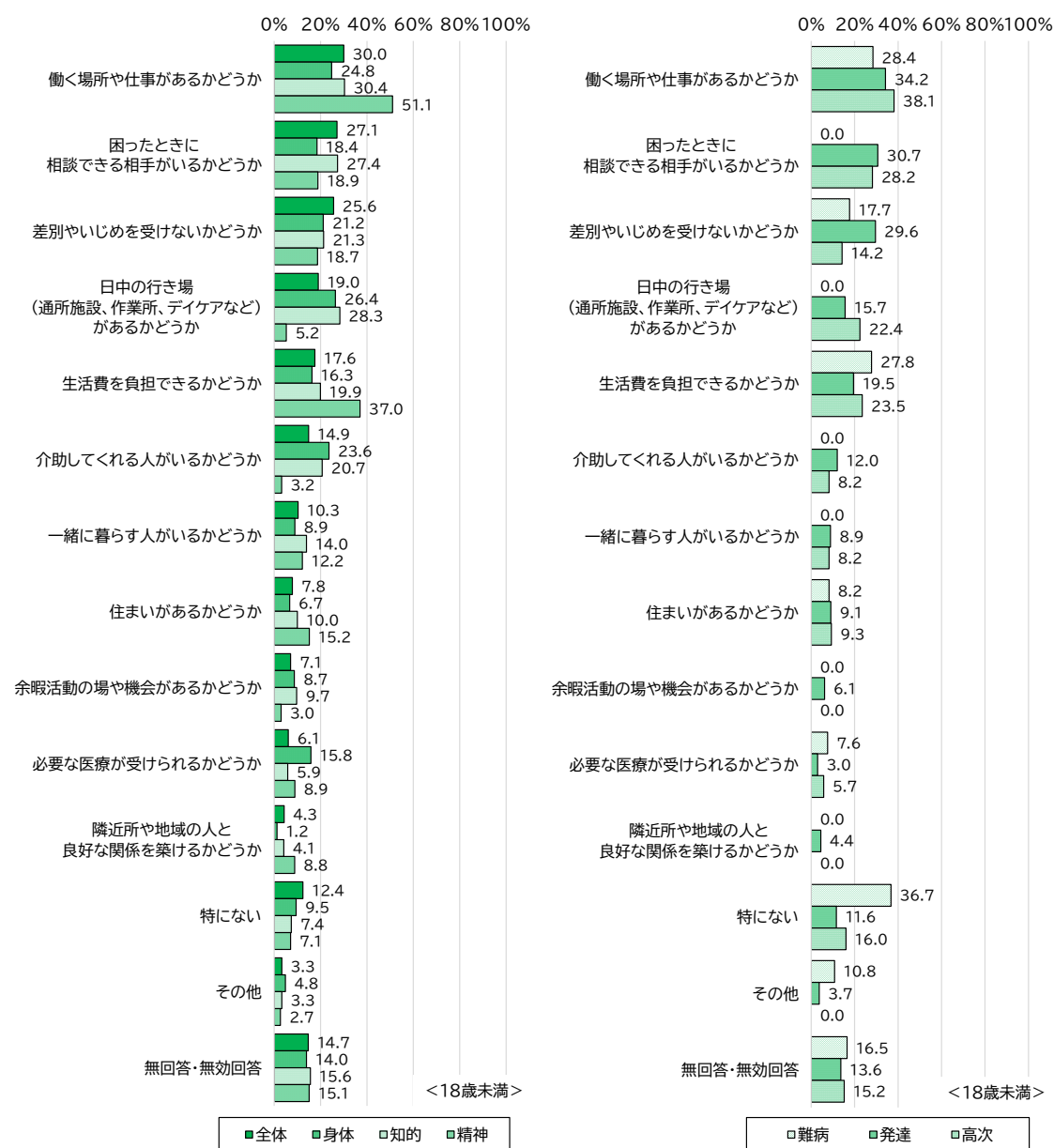
		自宅で過ごすための訪問系サービスが受けられること	経済的負担が軽減されること	必要な医療が受けられること	道路・交通・建物がバリアフリー化されること	地域の人たちの障がいに対する理解が進むこと	特にな	その他	無回答
全体		14.2	49.8	35.3	10.8	37.5	3.1	1.5	2.8
障がい種別	身体	25.8	59.3	52.7	31.3	45.6	1.6	1.6	2.2
	知的	19.1	56.5	39.6	11.5	47.8	2.2	2.4	1.5
	精神	8.8	60.3	48.5	10.3	39.7	1.5	2.9	5.9
	難病	-	100.0	66.7	33.3	33.3	-	-	-
	発達	12.4	47.4	32.3	6.5	34.1	2.9	1.6	3.2
	高次	22.2	55.6	44.4	11.1	33.3	-	11.1	-
	強行	26.7	60.0	60.0	6.7	60.0	6.7	-	6.7
	重心	59.1	65.9	68.2	52.3	52.3	-	2.3	-



参考：前回調査結果 希望する暮らし方や進路・生活設計を実現する上での不安（18歳以上）



参考：前回調査結果 希望する暮らし方や進路・生活設計を実現する上での不安（18歳未満）



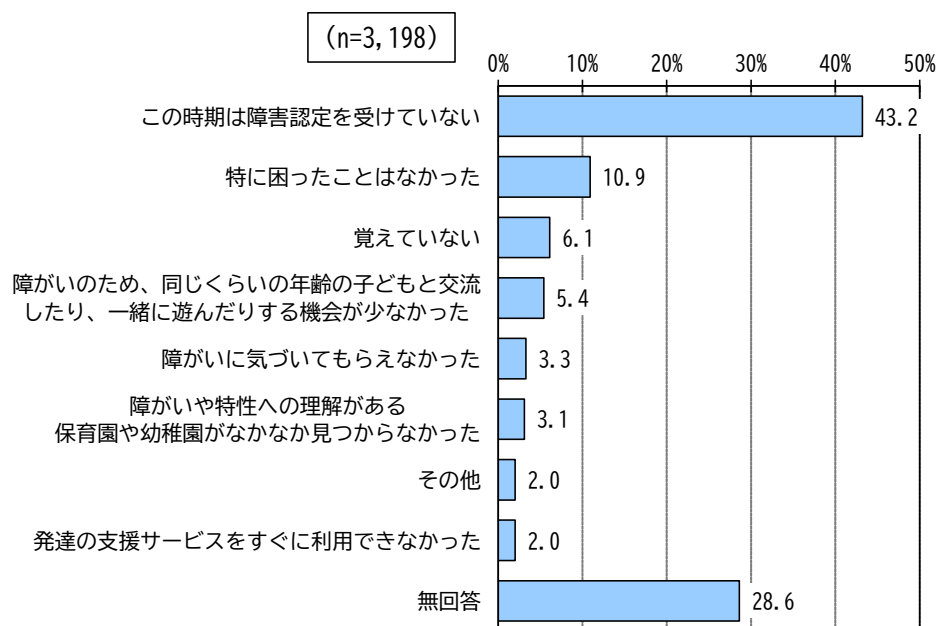
10. ライフステージごとの課題

(1) 乳幼児期(就学前)

- 乳幼児期の課題について、18 歳以上の方全体では、「この時期は障害認定を受けていない」が 43.2%で最も多く、次いで「特に困ったことはなかった」が 10.9%、「覚えていない」が 6.1%となっています。

【18 歳以上 問 42】あなたのこれまでの人生を振り返り、【A】～【D】の時期で、障がいがあるために以下に該当するような困ったことはありましたか。障害認定を受けた時期以降の設問にのみご回答ください。(それぞれ複数回答)

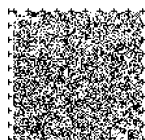
【ライフステージごとの課題（乳幼児期<就学前>）（18 歳以上）】



【ライフステージごとの課題（乳幼児期<就学前>）（18 歳以上）（障がい種別）】

単位：%

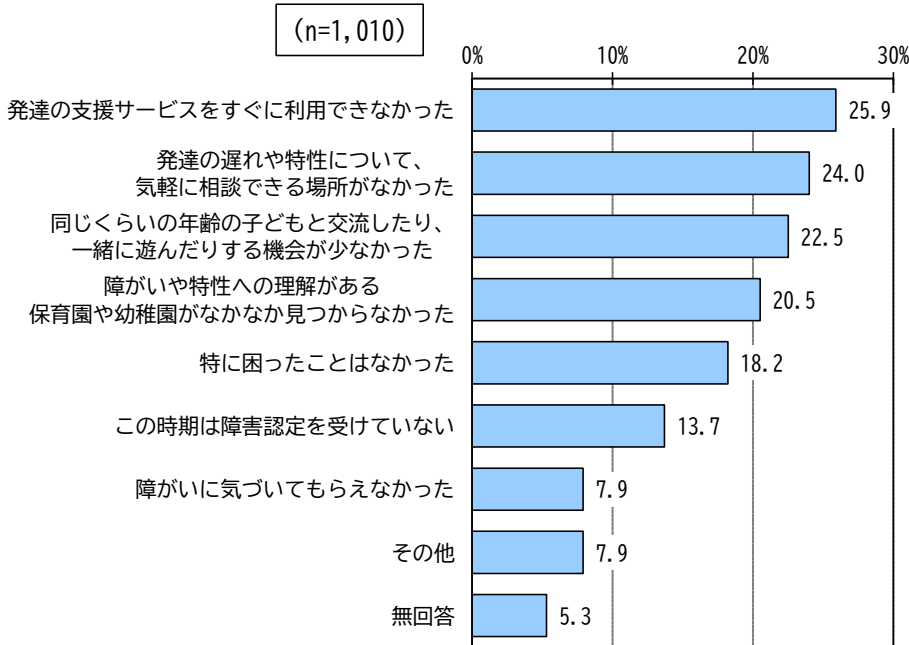
回答者数(人)		この時期は障害認定を受けていない	発達の支援サービスをすぐに利用できなかった	障がいのため、同じくらいの年齢の子どもと交流したり、一緒に遊んだりする機会が少なかった	障がいや特性への理解がある保育園や幼稚園がなかなか見つからなかった	障がいに気づいてもらえなかった	特に困ったことはなかった	その他	覚えていない	無回答
全体(n=3,198)		43.2	2.0	5.4	3.1	3.3	10.9	2.0	6.1	28.6
障がい種別	身体(n=1,722)	40.4	1.0	3.7	1.9	1.7	9.6	1.6	5.4	37.0
	知的(n=588)	26.5	8.7	21.9	13.9	6.6	13.9	4.4	13.4	9.4
	精神(n=760)	57.6	1.7	5.0	2.9	7.1	8.6	2.1	6.7	14.9
	難病(n=730)	45.6	0.5	1.4	1.0	1.6	13.7	1.5	2.7	33.3
	発達(n=221)	42.1	7.7	19.5	8.1	13.6	7.2	3.6	8.6	7.7
	高次(n=87)	46.0	1.1	5.7	-	-	3.4	2.3	4.6	37.9



○ 18 歳未満の方全体では、「発達の支援サービスをすぐに利用できなかった」が 25.9%で最も多く、次いで「発達の遅れや特性について、気軽に相談できる場所がなかった」が 24.0%、「同じくらいの年齢の子どもと交流したり、一緒に遊んだりする機会が少なかった」が 22.5%となっています。

【18 歳未満 問 43】 あなたのこれまでの人生（または、あなたのお子さんのこれまでの成長）を振り返り、
【A】【B】【C】の時期で、特に困ったことは何ですか。障害認定を受けた時期以降の
設問にのみご回答ください。（複数回答）

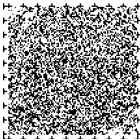
【ライフステージごとの課題（乳幼児期＜就学前＞）（18 歳未満）】



【ライフステージごとの課題（乳幼児期＜就学前＞）（18 歳未満）（障がい種別）】

単位：%

回答者数（人）		この時期は障害認定を受けていない	発達の遅れや特性について、気軽に相談できる場所がなかった	発達の支援サービスをすぐに利用できなかった	同じくらいの年齢の子どもと交流したり、一緒に遊んだりする機会が少なかった	障がいや特性への理解がある保育園や幼稚園がなかなか見つからなかった	障がいに気づいてもらえなかった	特に困ったことはなかった	その他	無回答
全体(n=1,010)		13.7	24.0	25.9	22.5	20.5	7.9	18.2	7.9	5.3
障がい種別	身体(n=182)	6.0	17.6	19.8	29.1	29.1	7.1	25.3	8.8	7.1
	知的(n=550)	9.1	25.8	30.7	25.8	27.5	7.3	17.3	7.1	4.0
	精神(n=68)	25.0	29.4	22.1	13.2	19.1	20.6	8.8	4.4	7.4
	難病(n=3)	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-	33.3
	発達(n=555)	14.2	27.6	27.4	21.8	20.5	9.9	15.9	7.7	4.7
	高次(n=9)	22.2	11.1	33.3	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	-

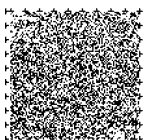
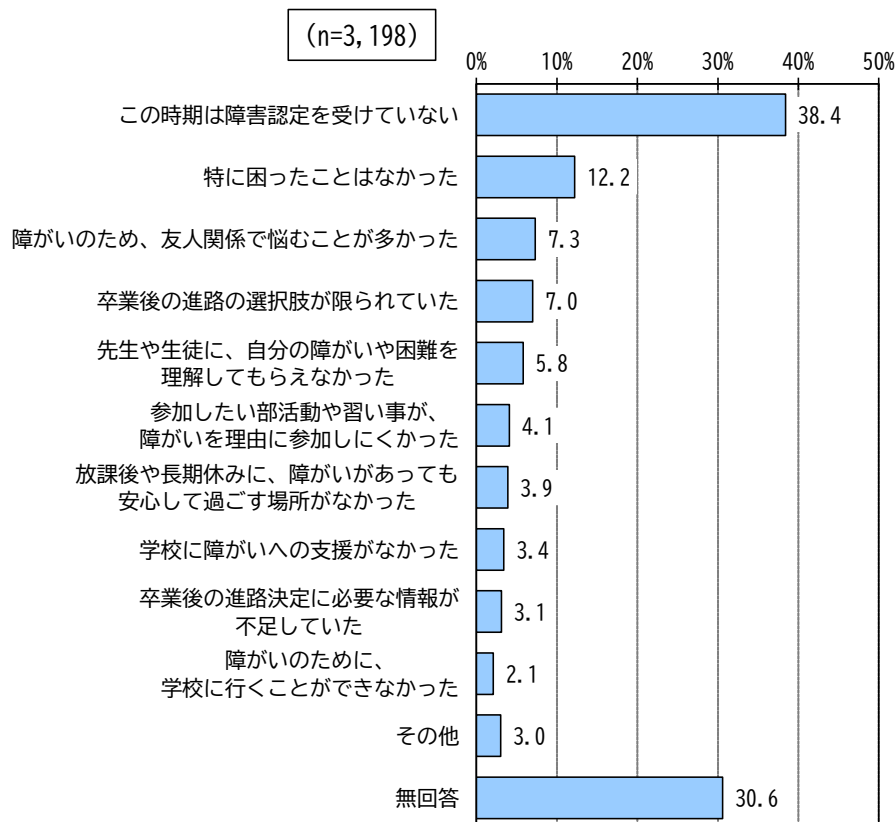


(2) 学齢期(18歳以上調査：小・中・高校生、18歳未満調査：小・中学生)

- 学齢期の課題について、18 歳以上の方全体では、「この時期は障害認定を受けていない」が 38.4%で最も多く、次いで「特に困ったことはなかった」が 12.2%、「障がいのため、友人関係で悩むことが多かった」が 7.3%となっています。

【18 歳以上 問 42】あなたのこれまでの人生を振り返り、【A】～【D】の時期で、障がいがあるために以下に該当するような困ったことはありましたか。障害認定を受けた時期以降の設問にのみご回答ください。(それぞれ複数回答)

【ライフステージごとの課題（学齢期≪小・中・高校生≫）（18 歳以上）】

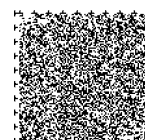


【ライフステージごとの課題（学齢期≪小・中・高校生≫）（18歳以上）（障がい種別）】

単位：％

回答者数(人)		この時期は障害認定を受けていない	学校に障がいへの支援がなかった	障がいのため、友人関係で悩むことが多かった	参加したい部活動や習い事が、障がいを理由に参加しにくかった	先生や生徒に、自分の障がいや困難を理解してもらえなかった	放課後や長期休みに、障がいがあっても安心して過ごす場所がなかった
全体(n=3,198)		38.4	3.4	7.3	4.1	5.8	3.9
障がい種別	身体(n=1,722)	38.6	1.9	4.4	3.5	3.7	2.7
	知的(n=588)	8.8	9.7	19.2	11.7	15.1	15.1
	精神(n=760)	51.3	5.3	12.5	4.7	10.0	3.6
	難病(n=730)	44.7	0.8	1.9	1.2	1.4	0.5
	発達(n=221)	28.5	11.3	26.7	8.1	21.7	12.7
	高次(n=87)	46.0	-	5.7	6.9	4.6	2.3

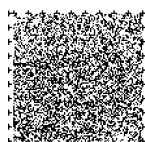
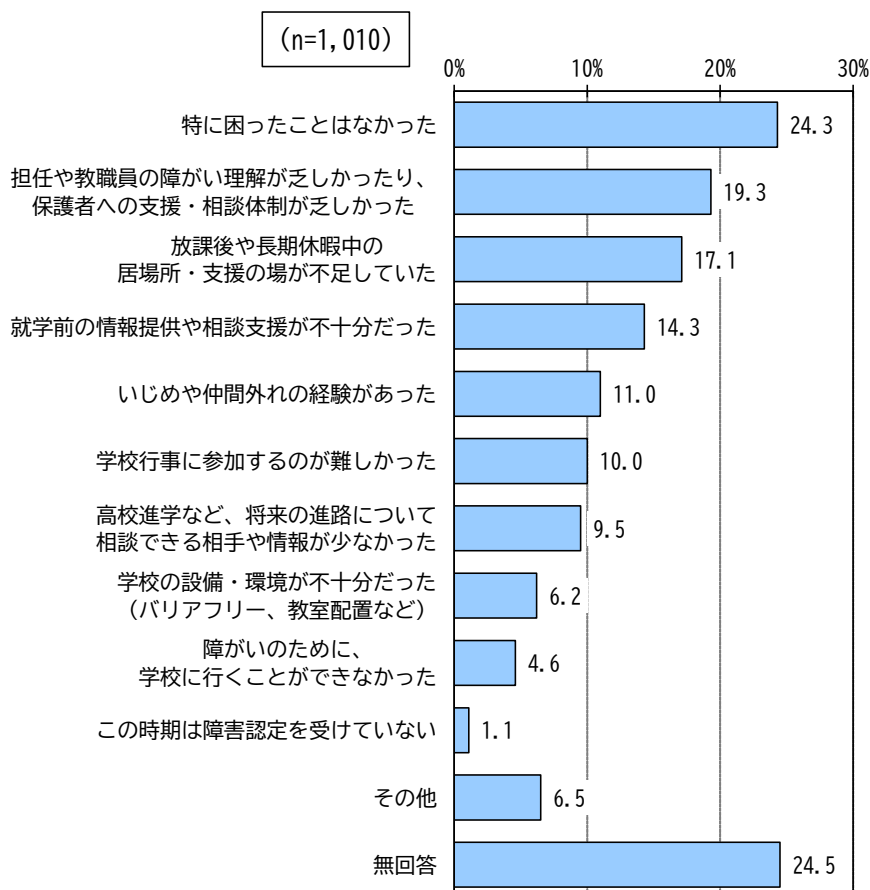
		卒業後の進路の選択肢が限られていた	卒業後の進路決定に必要な情報が不足していた	障がいのために、学校に行くことができなかった	特に困ったことはなかった	その他	無回答
全体		7.0	3.1	2.1	12.2	3.0	30.6
障がい種別	身体	4.8	2.5	0.8	10.3	1.7	39.1
	知的	25.0	8.3	3.1	19.7	7.5	14.3
	精神	7.1	4.5	6.1	8.4	4.2	15.3
	難病	1.9	0.8	0.8	14.1	2.1	35.2
	発達	18.1	8.6	8.6	10.0	5.4	10.4
	高次	2.3	1.1	1.1	4.6	3.4	37.9



- 18 歳未満の方全体では、「特に困ったことはなかった」が 24.3%で最も多く、次いで「担任や教職員の障がい理解が乏しかったり、保護者への支援・相談体制が乏しかった」が 19.3%、「放課後や長期休暇中の居場所・支援の場が不足していた」が 17.1%となっています。

【18 歳未満 問 43】 あなたのこれまでの人生（または、あなたのお子さんのこれまでの成長）を振り返り、【A】【B】【C】の時期で、特に困ったことは何ですか。障害認定を受けた時期以降の設問にのみご回答ください。（複数回答）

【ライフステージごとの課題（学齢期≪小・中学生≫）（18 歳未満）】

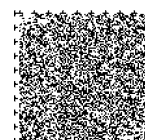


【ライフステージごとの課題（学齢期≪小・中学生≫）（18歳未満）（障がい種別）】

単位：％

回答者数(人)		この時期は障がい認定を受けていない	就学前の情報提供や相談支援が不十分だった	担任や教職員の障がい理解が乏しかったり、保護者への支援・相談体制が乏しかった	いじめや仲間外れの経験があった	学校の設備・環境が不十分だった（バリアフリー、教室配置など）	放課後や長期休暇中の居場所・支援の場が不足していた
全体(n=1,010)		1.1	14.3	19.3	11.0	6.2	17.1
障がい種別	身体(n=182)	0.5	13.2	14.8	6.6	13.7	19.8
	知的(n=550)	0.2	13.6	16.5	8.0	5.3	23.3
	精神(n=68)	2.9	23.5	41.2	35.3	13.2	20.6
	難病(n=3)	-	33.3	66.7	-	33.3	-
	発達(n=555)	1.1	14.4	22.0	13.5	5.6	16.2
	高次(n=9)	-	22.2	22.2	22.2	22.2	44.4

		学校行事に参加するのが難しかった	高校進学など、将来の進路について相談できる相手や情報が少なかった	障がいのために、学校に行くことができなかった	特に困ったことはなかった	その他	無回答
全体		10.0	9.5	4.6	24.3	6.5	24.5
障がい種別	身体	8.2	8.8	2.2	28.6	6.0	24.2
	知的	8.2	10.0	1.5	29.6	6.0	17.8
	精神	32.4	20.6	22.1	11.8	8.8	13.2
	難病	33.3	-	-	-	33.3	33.3
	発達	12.6	8.8	5.9	20.7	7.4	24.5
	高次	33.3	11.1	11.1	22.2	11.1	22.2

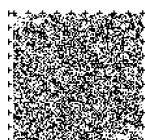


【ライフステージごとの課題（学齢期≪小・中学生≫）（18歳未満）（回答者別）】

単位：％

回答者数(人)		この時期は障がい認定を受けていない	就学前の情報提供や相談支援が不十分だった	担任や教職員の障がい理解が乏しかったり、保護者への支援・相談体制が乏しかった	いじめや仲間外れの経験があった	学校の設備・環境が不十分だった（バリアフリー、教室配置など）	放課後や長期休暇中の居場所・支援の場が不足していた
全体(n=1,010)		1.1	14.3	19.3	11.0	6.2	17.1
回答者別	本人(n=48)	4.2	4.2	14.6	29.2	6.3	6.3
	本人の意見を聞いて家族回答(n=345)	0.9	19.7	31.3	18.3	7.0	14.8
	本人の意向を考えて家族回答(n=570)	0.9	12.3	12.6	4.7	6.1	19.8

		学校行事に参加するのが難しかった	高校進学など、将来の進路について相談できる相手や情報が少なかった	障がいのために、学校に行くことができなかった	特に困ったことはなかった	その他	無回答
全体		10.0	9.5	4.6	24.3	6.5	24.5
回答者別	本人	12.5	12.5	2.1	35.4	8.3	10.4
	本人の意見を聞いて家族回答	13.9	10.4	7.8	24.3	7.2	11.6
	本人の意向を考えて家族回答	7.5	8.2	2.5	23.3	5.6	33.3

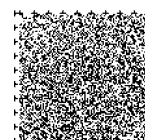
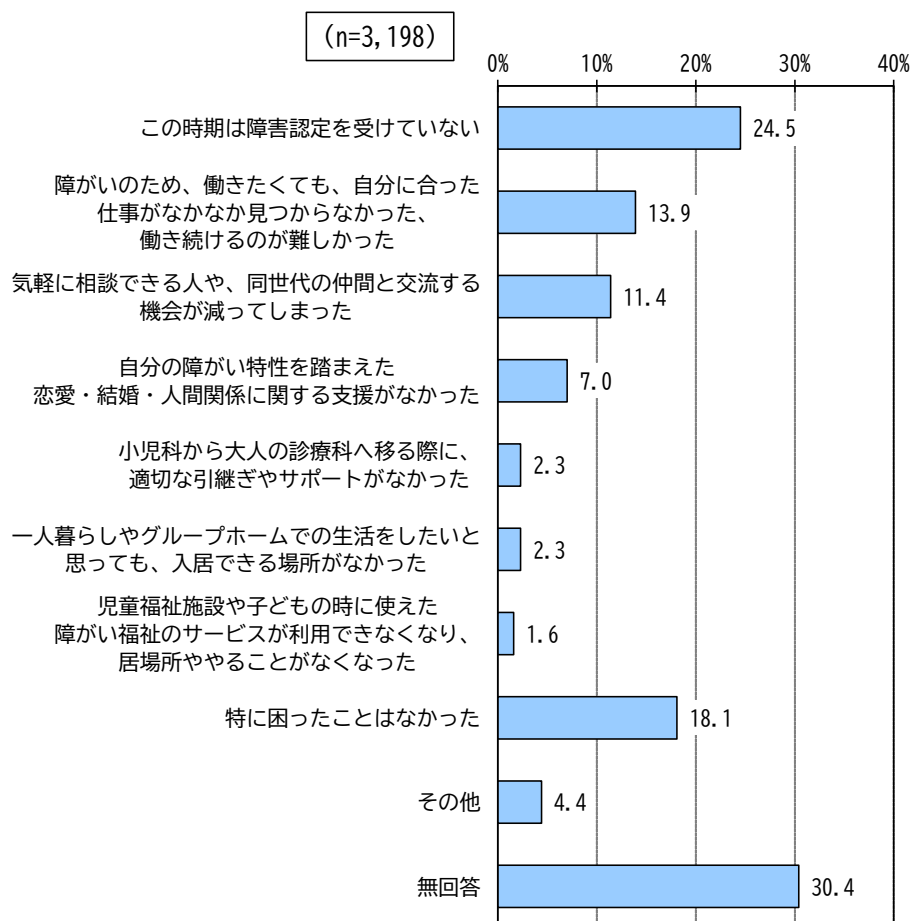


(3) 青年期・成人期（18歳以上調査：19～39歳、18歳未満調査：高校生）

- 青年期・成人期の課題について、18歳以上の方全体では、「この時期は障害認定を受けていない」が24.5%で最も多く、次いで「特に困ったことはなかった」が18.1%、「障がいのため、働きたくても、自分に合った仕事が見つからなかった、働き続けるのが難しかった」が13.9%となっています。

【18歳以上 問 42】あなたのこれまでの人生を振り返り、【A】～【D】の時期で、障がいがあるために以下に該当するような困ったことはありましたか。障害認定を受けた時期以降の設問にのみご回答ください。（それぞれ複数回答）

【ライフステージごとの課題（青年期・成人期≪19～39歳≫）（18歳以上）】

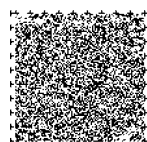


【ライフステージごとの課題（青年期・成人期≪19～39歳≫）（18歳以上）（障がい種別）】

単位：％

回答者数(人)		この時期は障害認定を受けていない	障がいのため、働きたくても、自分に合った仕事が見つからなかった、働き続けるのが難しかった	一人暮らしやグループホームでの生活をしたと思うても、入居できる場所がなかった	気軽に相談できる人や、同世代の仲間と交流する機会が減ってしまった	小児科から大人の診療科へ移る際に、適切な引継ぎやサポートがなかった
全体(n=3,198)		24.5	13.9	2.3	11.4	2.3
障がい種別	身体(n=1,722)	30.8	6.2	1.1	6.0	1.8
	知的(n=588)	4.1	16.3	9.0	19.2	7.7
	精神(n=760)	20.8	35.3	3.8	24.3	2.5
	難病(n=730)	28.8	8.9	0.7	6.7	1.1
	発達(n=221)	4.5	39.8	6.8	33.9	8.1
	高次(n=87)	35.6	4.6	2.3	10.3	-

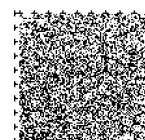
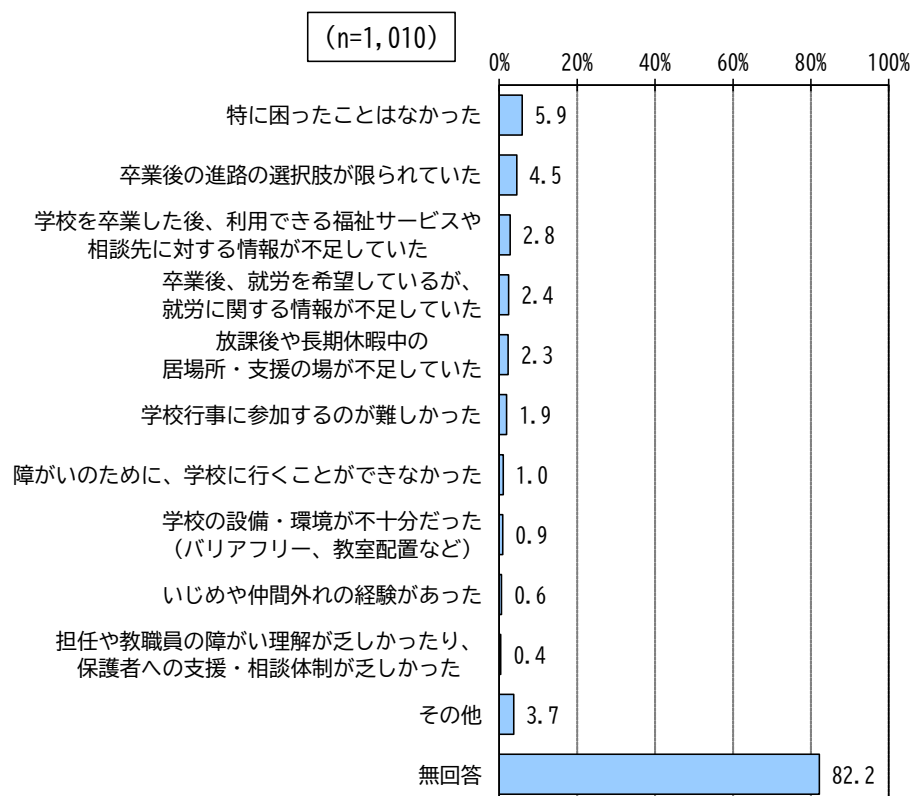
		児童福祉施設や子どもの時に使えた障がい福祉のサービスが利用できなくなり、居場所ややる事がなくなった	自分の障がい特性を踏まえた恋愛・結婚・人間関係に関する支援がなかった	特に困ったことはなかった	その他	無回答
全体		1.6	7.0	18.1	4.4	30.4
障がい種別	身体	1.0	4.4	16.1	2.3	38.4
	知的	7.3	9.0	28.7	6.3	19.6
	精神	1.7	15.4	11.7	8.6	13.7
	難病	0.1	4.5	20.8	3.8	33.3
	発達	6.3	19.9	14.0	8.1	12.7
	高次	2.3	5.7	10.3	3.4	34.5



- 18 歳未満の方全体では、「特に困ったことはなかった」が 5.9%で最も多く、次いで「卒業後の進路の選択肢が限られていた」が 4.5%、「学校を卒業した後、利用できる福祉サービスや相談先に対する情報が不足していた」が 2.8%となっています。

【18 歳未満 問 43】 あなたのこれまでの人生（または、あなたのお子さんのこれまでの成長）を振り返り、
【A】【B】【C】の時期で、特に困ったことは何ですか。障害認定を受けた時期以降の
設問にのみご回答ください。（複数回答）

【ライフステージごとの課題（青年期≪高校生≫）（18 歳未満）】



【ライフステージごとの課題（青年期≪高校生≫）（18歳未満）（障がい種別）】

単位：％

回答者数(人)		担任や教職員の障がい理解が 乏しかったり、保護者への支援・ 相談体制が乏しかった	いじめや仲間外れの経験が あった	学校の設備・環境が不十分だった (バリアフリー、教室配置など)	放課後や長期休暇中の居場所・ 支援の場が不足していた	学校行事に参加するのが 難しかった	卒業後の進路の選択肢が 限られていた
全体(n=1,010)		0.4	0.6	0.9	2.3	1.9	4.5
障がい種別	身体(n=182)	0.5	0.5	-	2.2	1.1	5.5
	知的(n=550)	-	0.5	1.6	3.6	2.2	7.1
	精神(n=68)	5.9	2.9	-	2.9	5.9	10.3
	難病(n=3)	-	-	-	-	-	-
	発達(n=555)	0.4	0.4	0.9	2.2	2.3	4.5
	高次(n=9)	-	-	-	11.1	-	11.1

		学校を卒業した後、利用できる 福祉サービスや相談先に対する 情報が不足していた	卒業後、就労を希望しているが、 就労に関する情報が不足していた	障がいのために、学校に行く ことができなかった	特に困ったことはなかった	その他	無回答
全体		2.8	2.4	1.0	5.9	3.7	82.2
障がい種別	身体	2.7	1.6	1.1	11.0	4.9	75.3
	知的	3.8	3.5	0.7	5.3	3.8	80.0
	精神	4.4	5.9	5.9	5.9	4.4	67.6
	難病	33.3	-	-	-	33.3	33.3
	発達	2.3	1.8	1.4	4.7	3.8	84.1
	高次	-	-	-	22.2	-	66.7

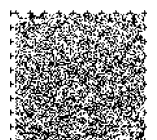
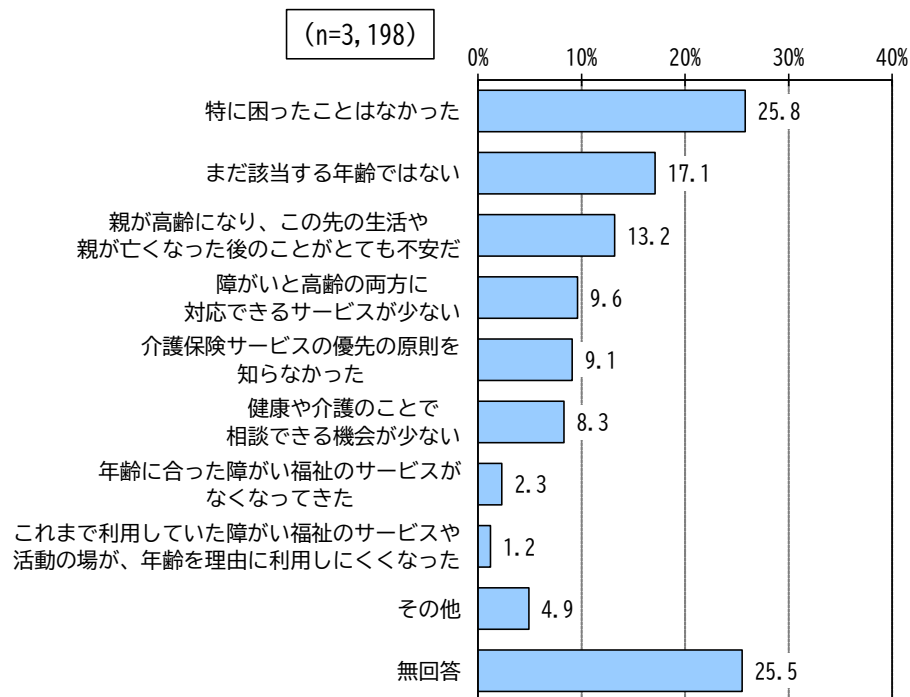


(4) 中高年期以降（40歳以上）

- 中高年期以降の課題について、18歳以上の方全体では、「特に困ったことはなかった」が25.8%で最も多く、次いで「まだ該当する年齢ではない」が17.1%、「親が高齢になり、この先の生活や親が亡くなった後のことがとても不安だ」が13.2%となっています。

【18歳以上 問 42】あなたのこれまでの人生を振り返り、【A】～【D】の時期で、障がいがあるために以下に該当するような困ったことはありましたか。障害認定を受けた時期以降の設問にのみご回答ください。（それぞれ複数回答）

【ライフステージごとの課題（中高年期以降≪40歳以上≫）（18歳以上）】

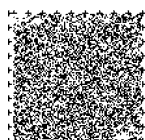


【ライフステージごとの課題（中高年期以降≪40 歳以上≫）（18 歳以上）（障がい種別）】

単位：％

回答者数(人)		まだ該当する年齢ではない	親が高齢になり、この先の生活や親が亡くなった後のことがとても不安だ	障がいと高齢の両方に対応できるサービスが少ない	健康や介護のことで相談できる機会が少ない	これまで利用していた障がい福祉のサービスや活動の場が、年齢を理由に利用しにくくなった
全体(n=3,198)		17.1	13.2	9.6	8.3	1.2
障がい種別	身体(n=1,722)	10.7	8.7	11.1	7.8	1.2
	知的(n=588)	29.6	23.5	8.3	3.7	1.4
	精神(n=760)	27.2	21.7	12.0	15.0	1.8
	難病(n=730)	12.1	10.1	6.8	7.9	0.8
	発達(n=221)	43.0	15.8	10.9	8.1	1.4
	高次(n=87)	10.3	17.2	18.4	14.9	3.4

		年齢に合った障がい福祉のサービスがなくなってきた	介護保険サービスの優先の原則を知らなかった	特に困ったことはなかった	その他	無回答
全体		2.3	9.1	25.8	4.9	25.5
障がい種別	身体	2.3	10.4	31.8	4.4	26.8
	知的	2.6	5.8	9.5	2.9	32.0
	精神	3.3	9.2	13.9	7.6	17.1
	難病	1.8	8.6	33.2	4.8	24.0
	発達	2.7	6.3	3.6	2.7	30.8
	高次	3.4	13.8	19.5	4.6	21.8



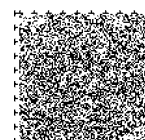
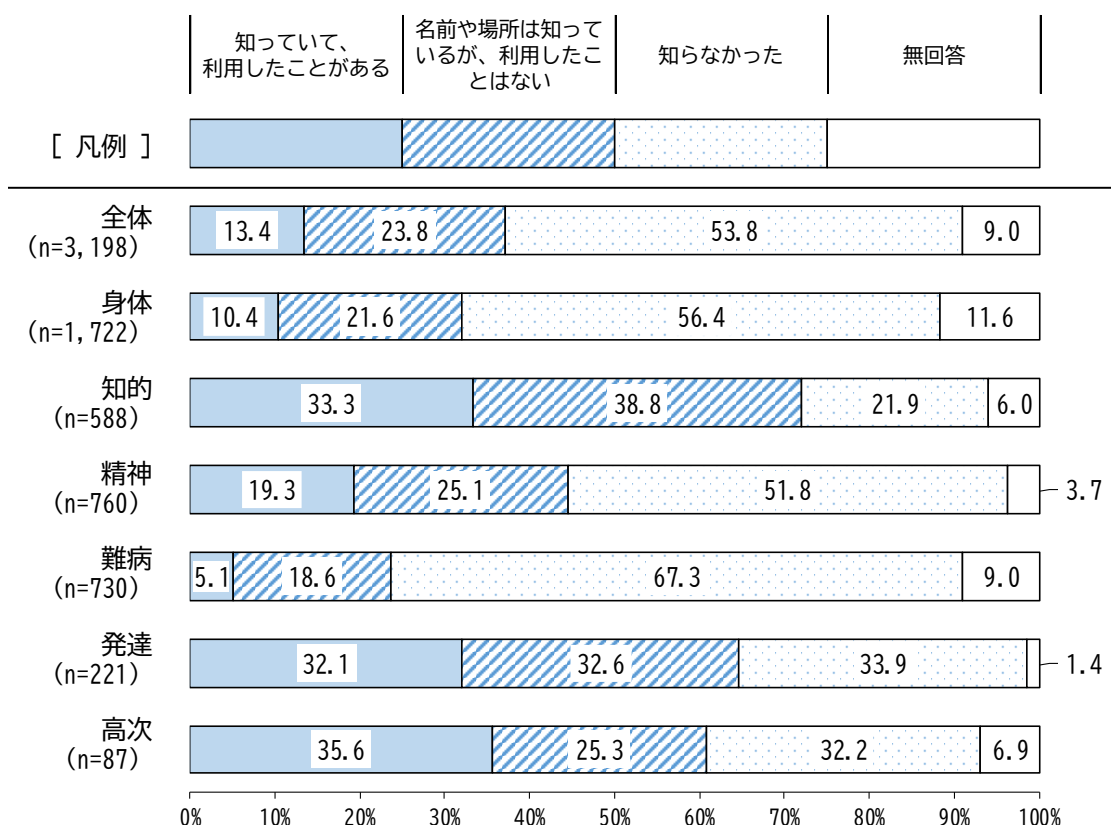
11. 区の施策

(1) 「さぽーとぴあ」の認知度

- 「さぽーとぴあ」の認知度について、18 歳以上の方全体では、「知らなかった」が 53.8%で最も多く、次いで「名前や場所は知っているが、利用したことはない」が 23.8%、「知っていて、利用したことがある」が 13.4%となっています。

【18 歳以上 問 43】 あなたは「大田区立障がい者総合サポートセンターさぽーとぴあ」を知っていますか。
(単一回答)

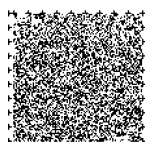
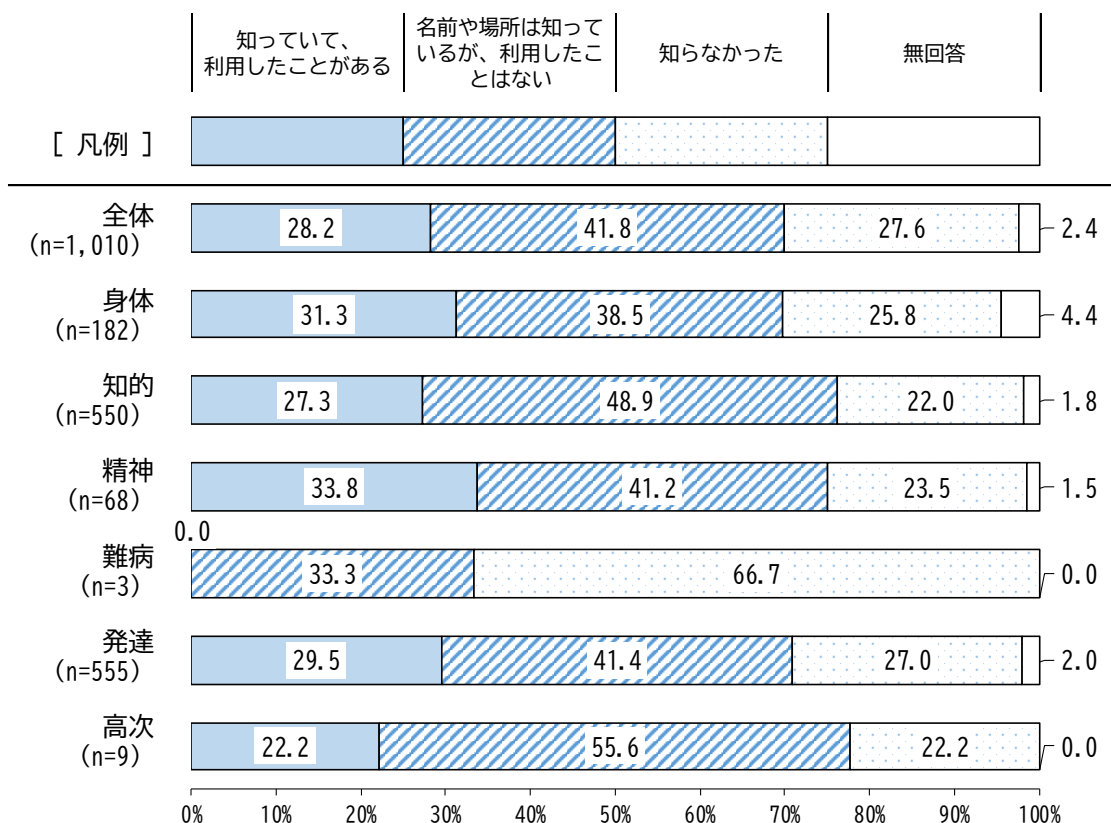
【「さぽーとぴあ」の認知度（18 歳以上）】



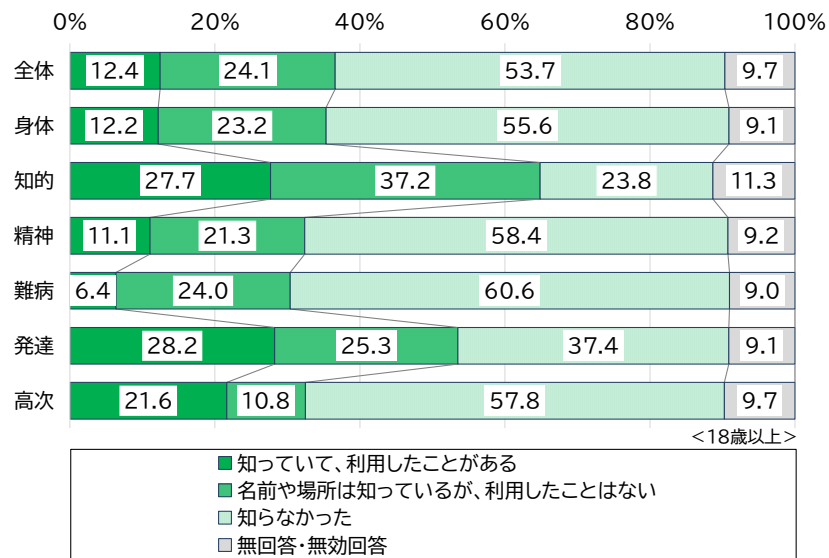
○ 18 歳未満の方全体では、「名前や場所は知っているが、利用したことはない」が 41.8%で最も多く、次いで「知っていて、利用したことがある」が 28.2%、「知らなかった」が 27.6%となっています。

【18 歳未満 問 44】 あなたは「大田区立障がい者総合サポートセンターさぽーとぴあ」を知っていますか。
(単一回答)

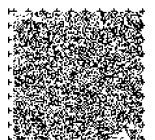
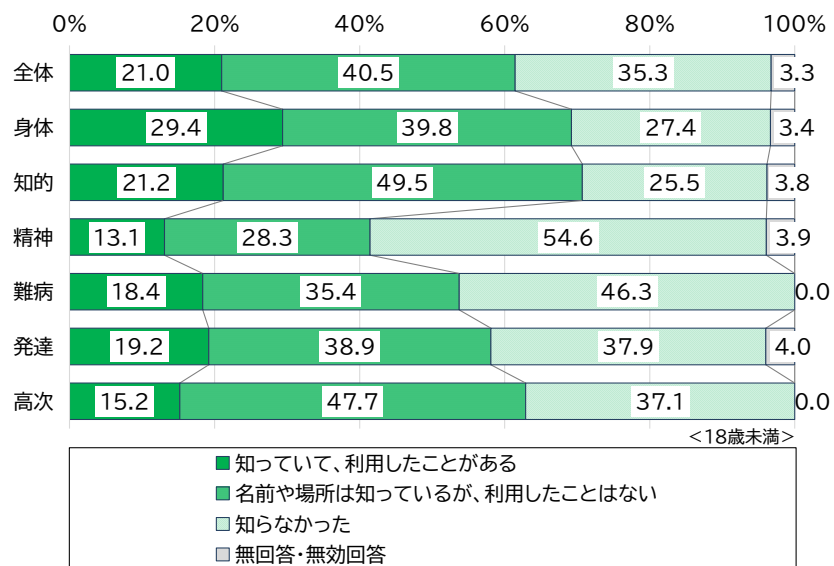
【「さぽーとぴあ」の認知度（18 歳未満）】



参考：前回調査結果 「さぼーとぴあ」の認知度（18歳以上）



参考：前回調査結果 「さぼーとぴあ」の認知度（18歳未満）

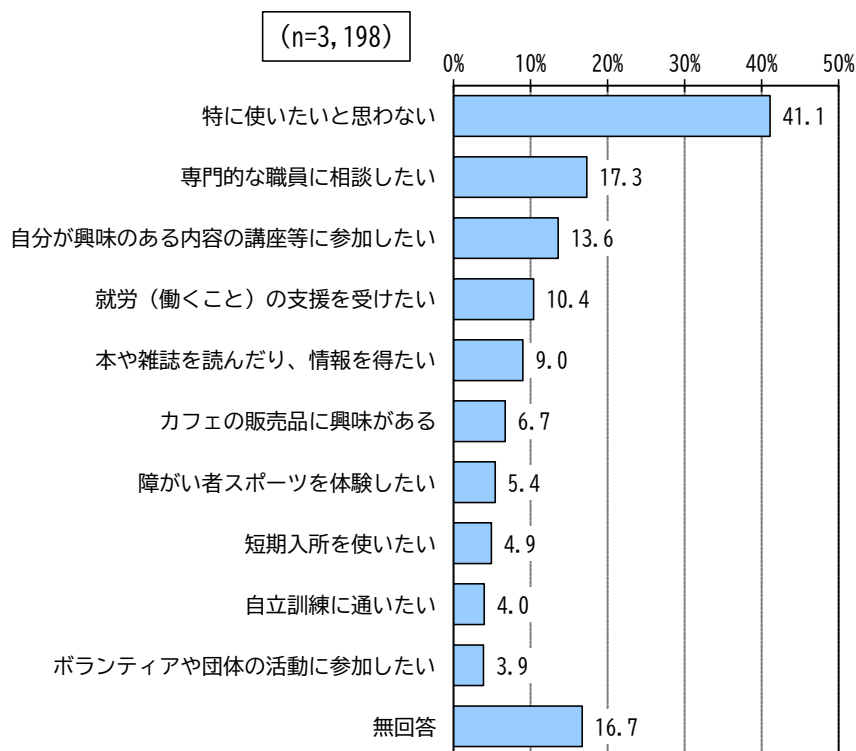


(2)「さぽーとぴあ」の利用意向

- 「さぽーとぴあ」の利用意向について、18 歳以上の方全体では、「特に使いたいと思わない」が 41.1%で最も多く、次いで「専門的な職員に相談したい」が 17.3%、「自分が興味のある内容の講座等に参加したい」が 13.6%となっています。

【18 歳以上 問 44-1】「大田区立障がい者総合サポートセンターさぽーとぴあ」では、下に書かれているようなことができます。あなたは、次のうち、どれを使いたいですか。(複数回答)

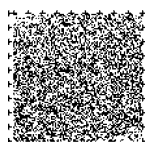
【「さぽーとぴあ」の利用意向（18 歳以上）】



【「さぽーとぴあ」の利用意向（18 歳以上）（障がい種別）】

単位：%

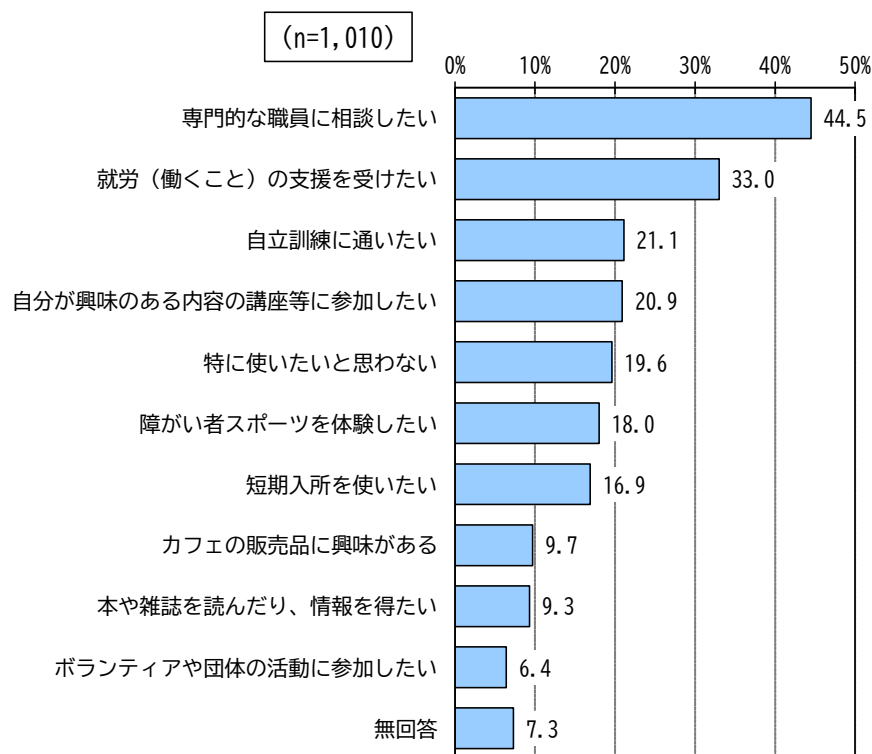
回答者数(人)		専門的な職員に相談したい	就労（働くこと）の支援を受けたい	短期入所を使いたい	自立訓練に通いたい	自分が興味のある内容の講座等に参加したい	障がい者スポーツを体験したい	本や雑誌を読んだり、情報を得たい	ボランティアや団体の活動に参加したい	カフェの販売品に興味がある	特に使いたいと思わない	無回答
全体(n=3, 198)		17.3	10.4	4.9	4.0	13.6	5.4	9.0	3.9	6.7	41.1	16.7
障がい種別	身体(n=1, 722)	12.5	5.1	4.1	2.9	13.1	5.1	8.2	3.0	4.6	43.1	21.0
	知的(n=588)	21.1	13.9	16.7	5.4	11.6	13.3	5.8	4.1	9.0	30.4	13.8
	精神(n=760)	29.1	21.4	3.9	7.5	17.2	5.0	12.8	5.3	10.0	34.2	9.1
	難病(n=730)	14.9	7.8	2.5	3.7	13.8	3.2	7.9	4.8	5.9	47.5	15.9
	発達(n=221)	37.6	25.8	10.0	8.6	22.2	11.3	10.4	3.2	13.1	28.5	4.1
	高次(n=87)	21.8	16.1	4.6	8.0	13.8	6.9	3.4	4.6	4.6	31.0	20.7



○ 18 歳未満の方全体では、「専門的な職員に相談したい」が 44.5%で最も多く、次いで「就労（働くこと）の支援を受けたい」が 33.0%、「自立訓練に通いたい」が 21.1%となっています。

【18 歳未満 問 45-1】 「大田区立障がい者総合サポートセンターさぼーとぴあ」では、下に書かれているようなことができます。あなたは、次のうち、どれを使いたいですか。（複数回答）

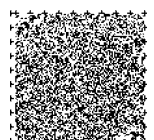
【「さぼーとぴあ」の利用意向（18 歳未満）】



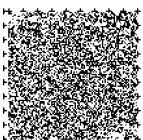
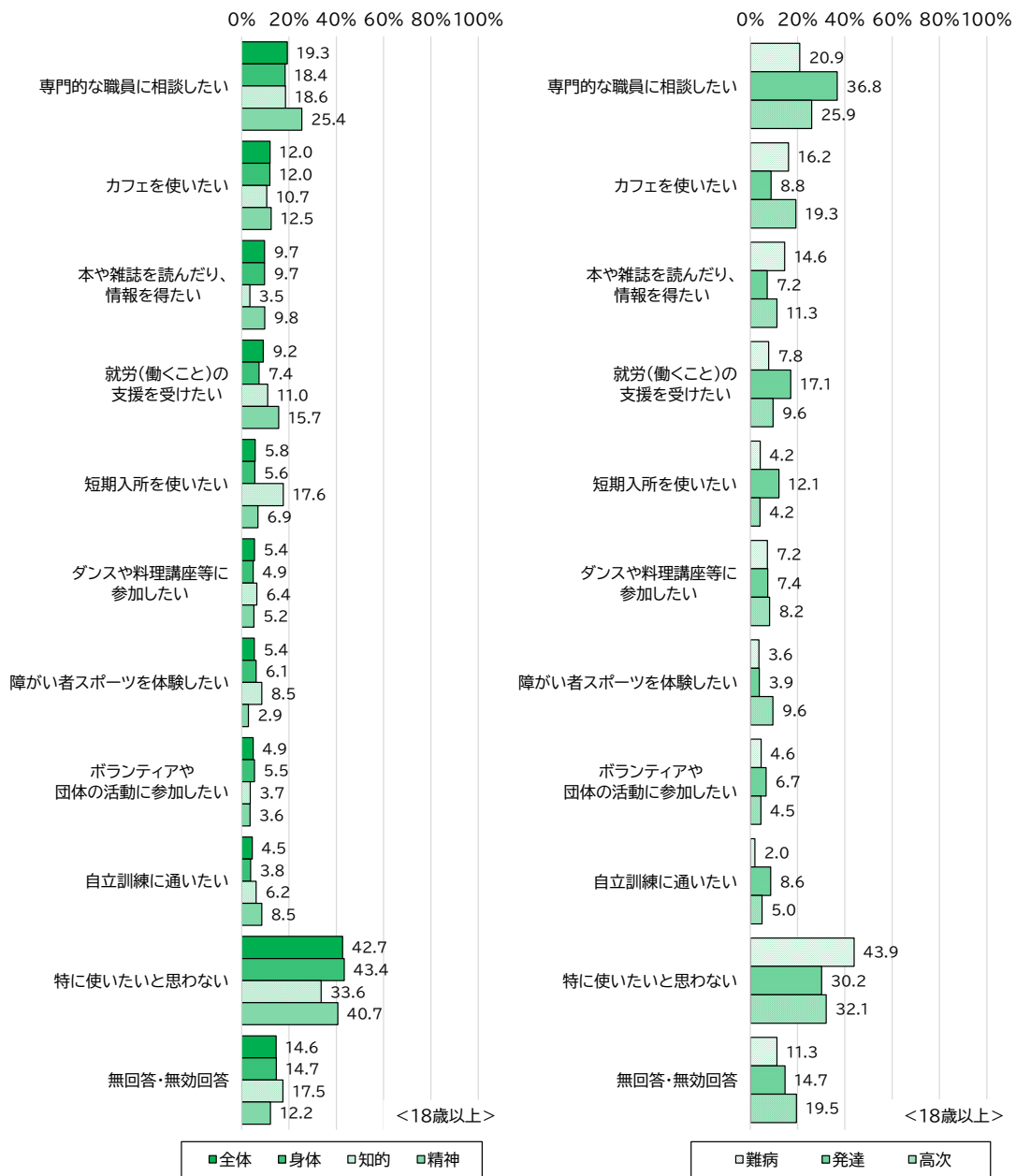
【「さぼーとぴあ」の利用意向（18 歳未満）（障がい種別）】

単位：%

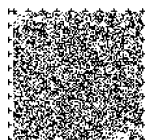
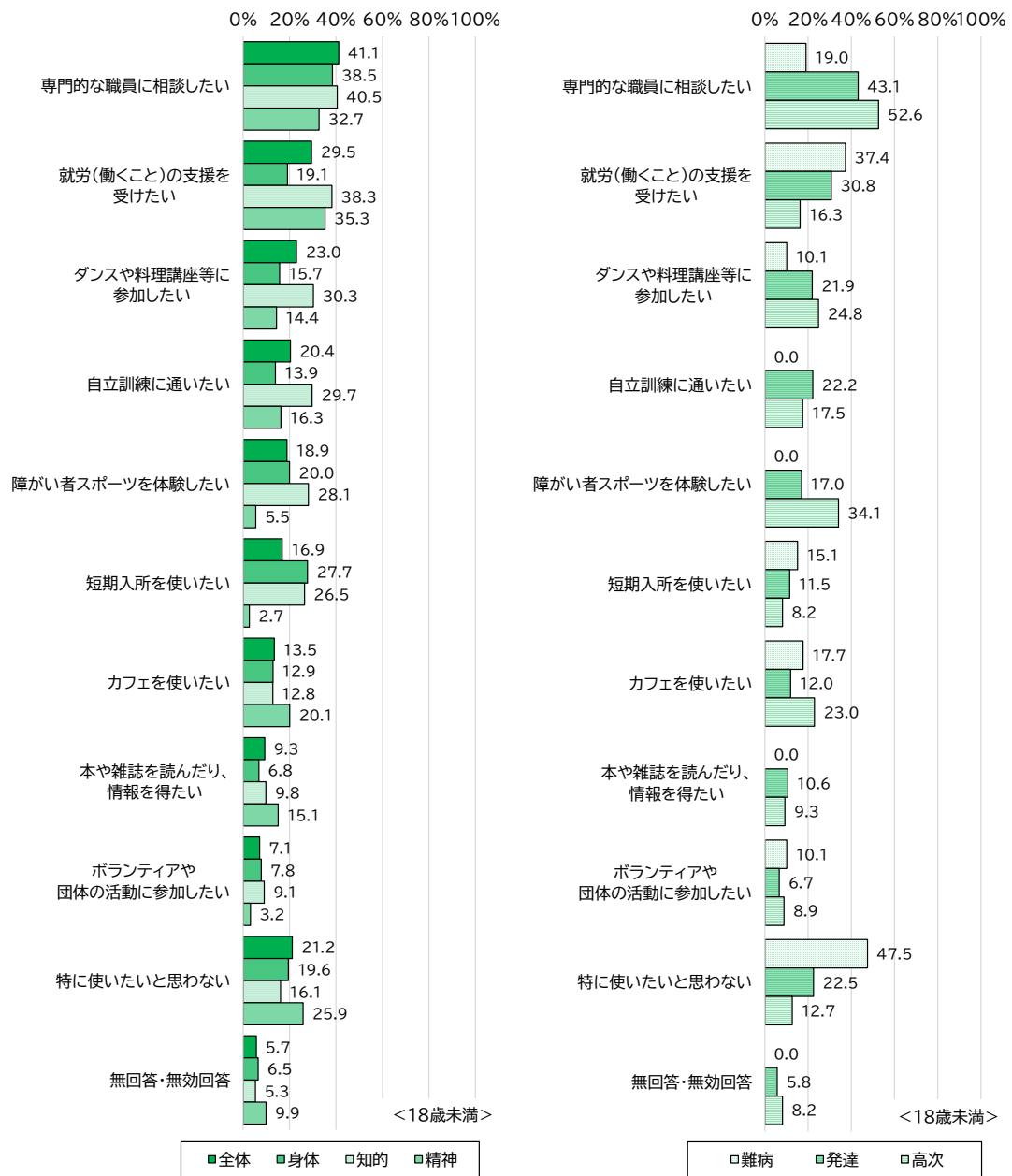
回答者数(人)		専門的な職員に相談したい	就労（働くこと）の支援を受けたい	短期入所を使いたい	自立訓練に通いたい	自分が興味のある内容の講座等に参加したい	障がい者スポーツを体験したい	本や雑誌を読んだり、情報を得たい	ボランティアや団体の活動に参加したい	カフェの販売品に興味がある	特に使いたくない	無回答
全体(n=1,010)		44.5	33.0	16.9	21.1	20.9	18.0	9.3	6.4	9.7	19.6	7.3
障がい種別	身体(n=182)	40.7	21.4	28.0	17.6	18.1	23.1	8.2	7.7	8.8	15.4	10.4
	知的(n=550)	45.5	43.6	26.5	27.3	22.2	26.0	9.3	8.4	12.2	14.5	6.5
	精神(n=68)	45.6	39.7	14.7	23.5	25.0	13.2	13.2	8.8	16.2	23.5	7.4
	難病(n=3)	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	66.7	-
	発達(n=555)	47.4	33.2	15.9	22.3	22.0	16.0	9.5	5.8	9.5	19.8	7.0
	高次(n=9)	55.6	22.2	22.2	33.3	22.2	22.2	11.1	11.1	-	22.2	-



参考：前回調査結果 「さぼーとぴあ」の利用意向（18歳以上）



参考：前回調査結果 「さぼーとぴあ」の利用意向（18歳未満）

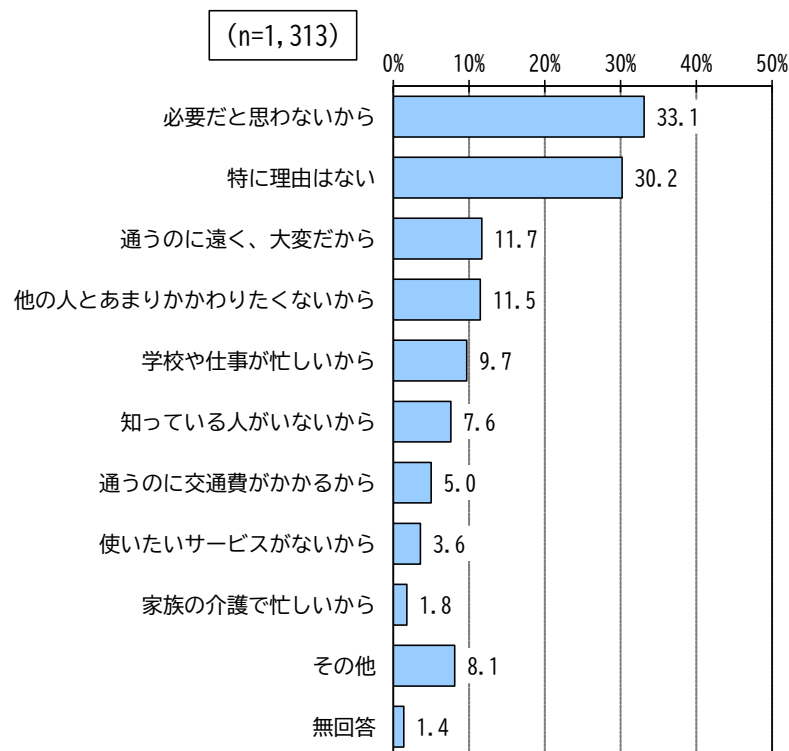


(3)「さぽーとぴあ」を使いたいと思わない理由

- 「さぽーとぴあ」を使いたいと思わない理由について、18 歳以上の方全体では、「必要だと思わないから」が 33.1%で最も多く、次いで「特に理由はない」が 30.2%、「通うのに遠く、大変だから」が 11.7%となっています。

【18 歳以上 問 44-2】使いたいと思わない理由は何ですか。(複数回答)

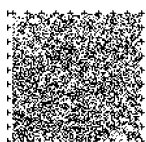
【「さぽーとぴあ」を使いたいと思わない理由（18 歳以上）】



【「さぽーとぴあ」を使いたいと思わない理由（18 歳以上）（障がい種別）】

単位：%

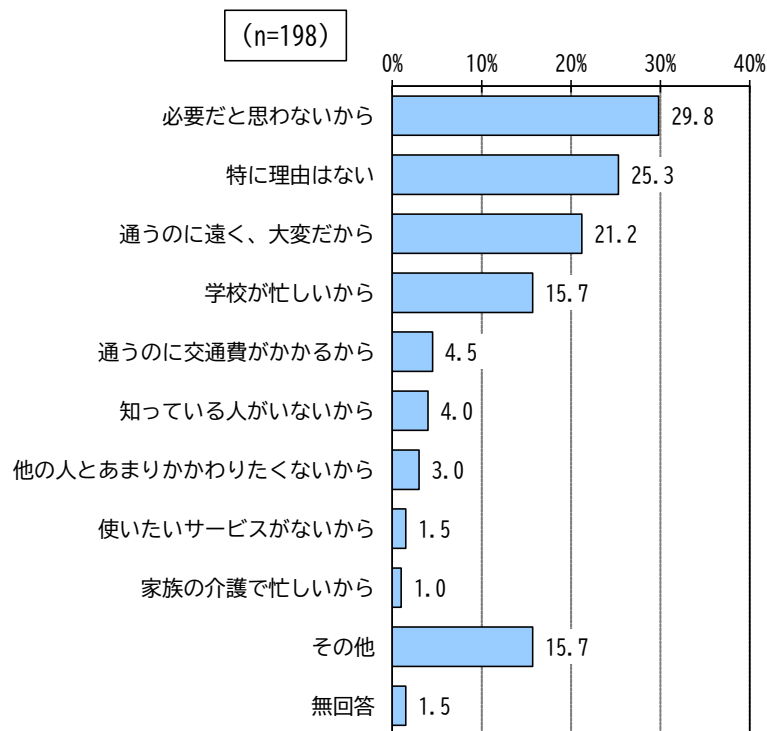
回答者数(人)		通うのに交通費がかかるから	通うのに遠く、大変だから	学校や仕事が忙しいから	家族の介護で忙しいから	知っている人がいないから	使いたいサービスがないから	他の人とあまりかかわりたくないから	必要だと思わないから	特に理由はない	その他	無回答
全体(n=1,313)		5.0	11.7	9.7	1.8	7.6	3.6	11.5	33.1	30.2	8.1	1.4
障がい種別	身体(n=743)	3.1	11.4	7.1	2.2	6.7	3.4	9.6	32.3	33.1	8.1	1.6
	知的(n=179)	5.0	19.6	11.2	1.7	11.2	6.1	14.0	26.8	27.4	10.6	1.1
	精神(n=260)	12.3	15.4	11.2	1.9	12.3	3.8	25.8	27.7	22.3	11.9	0.8
	難病(n=347)	4.0	8.6	12.4	1.7	6.6	3.2	8.4	40.3	28.8	6.1	1.4
	発達(n=63)	12.7	14.3	20.6	4.8	14.3	3.2	19.0	25.4	22.2	11.1	-
	高次(n=27)	3.7	22.2	11.1	-	11.1	-	11.1	18.5	25.9	7.4	7.4



○ 18 歳未満の方全体では、「必要だと思わないから」が 29.8%で最も多く、次いで「特に理由はない」が 25.3%、「通うのに遠く、大変だから」が 21.2%となっています。

【18 歳未満 問 45-2】使いたいと思わない理由は何ですか。（複数回答）

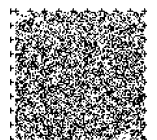
【「さぽーとぴあ」を使いたいと思わない理由（18 歳未満）】



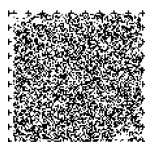
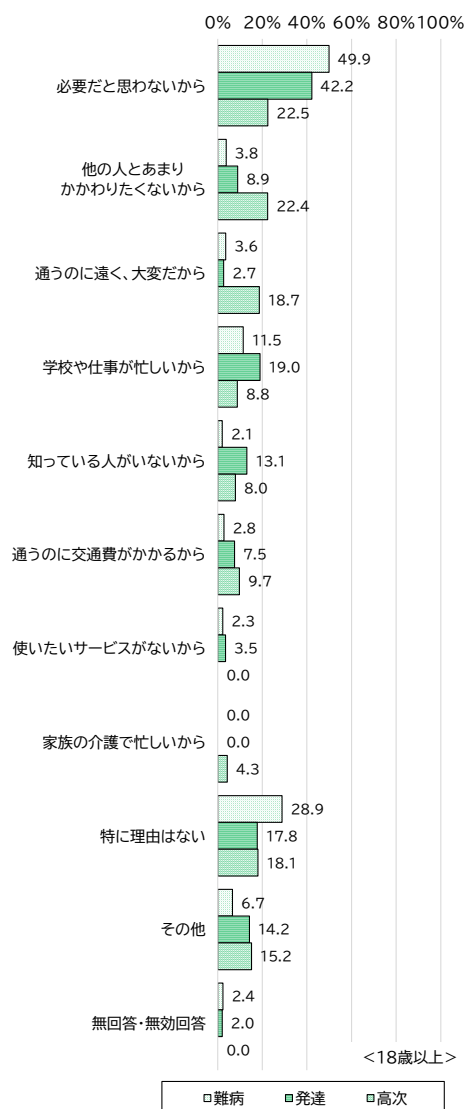
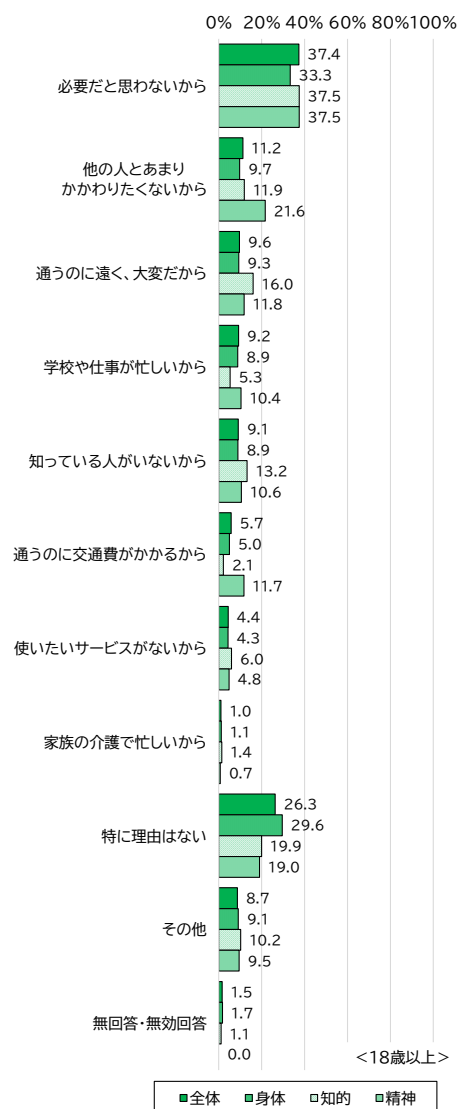
【「さぽーとぴあ」を使いたいと思わない理由（18 歳未満）（障がい種別）】

単位：%

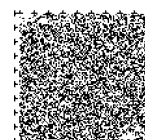
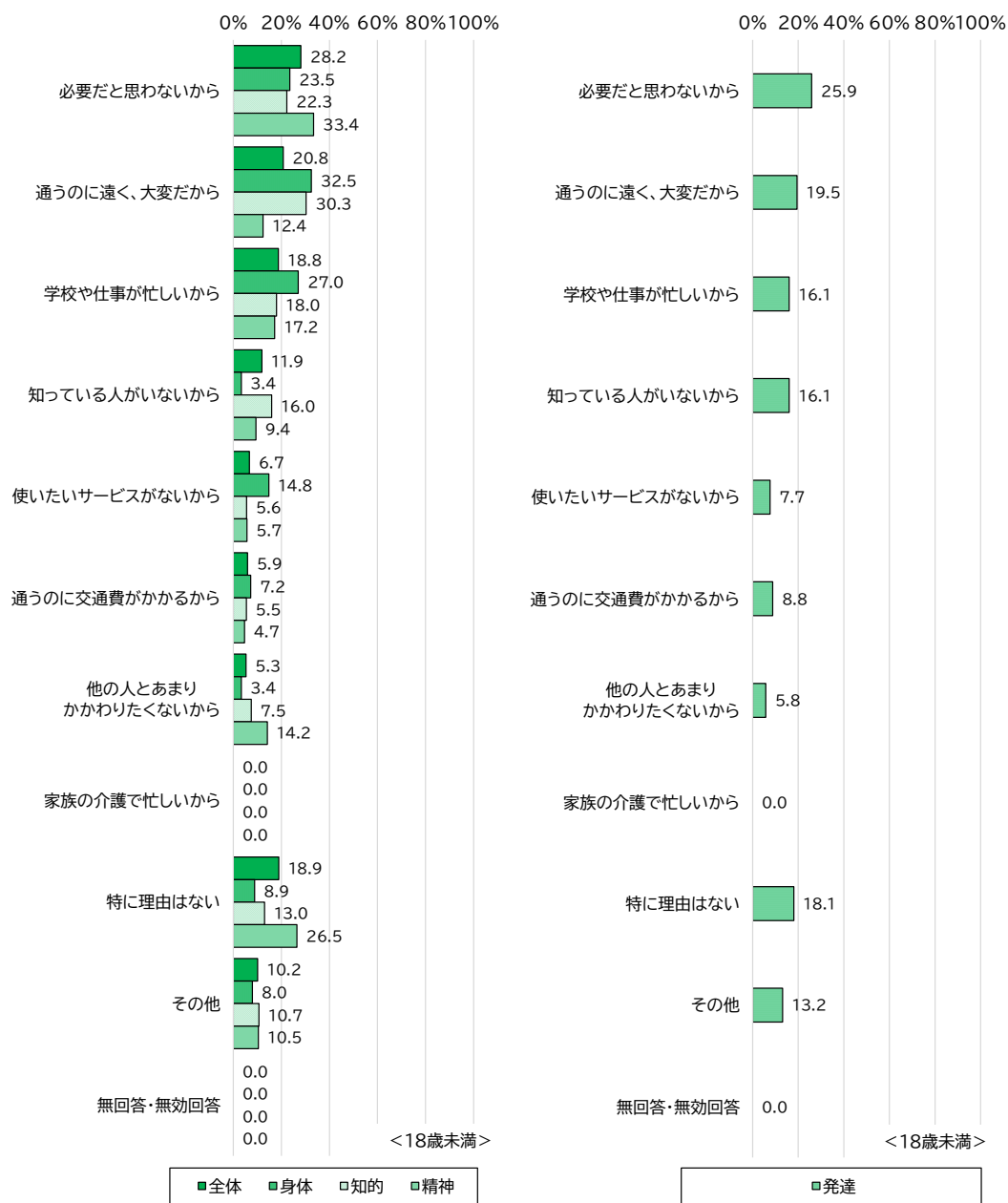
回答者数(人)		通うのに交通費がかかるから	通うのに遠く、大変だから	学校が忙しいから	家族の介護で忙しいから	知っている人がいないから	使いたいサービスがないから	他の人とあまりかかわりたくないから	必要だと思わないから	特に理由はない	その他	無回答
全体(n=198)		4.5	21.2	15.7	1.0	4.0	1.5	3.0	29.8	25.3	15.7	1.5
障がい種別	身体(n=28)	-	21.4	17.9	3.6	7.1	3.6	3.6	35.7	14.3	25.0	-
	知的(n=80)	3.8	26.3	11.3	2.5	2.5	2.5	2.5	23.8	25.0	18.8	-
	精神(n=16)	12.5	25.0	31.3	-	6.3	-	-	25.0	31.3	6.3	6.3
	難病(n=2)	-	50.0	50.0	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-
	発達(n=110)	6.4	24.5	14.5	0.9	5.5	0.9	1.8	31.8	24.5	11.8	1.8
	高次(n=2)	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-



参考：前回調査結果 「さぼーとぴあ」を使いたいと思わない理由（18歳以上）



参考：前回調査結果 「さぼーとぴあ」を使いたいと思わない理由（18歳未満）

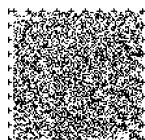
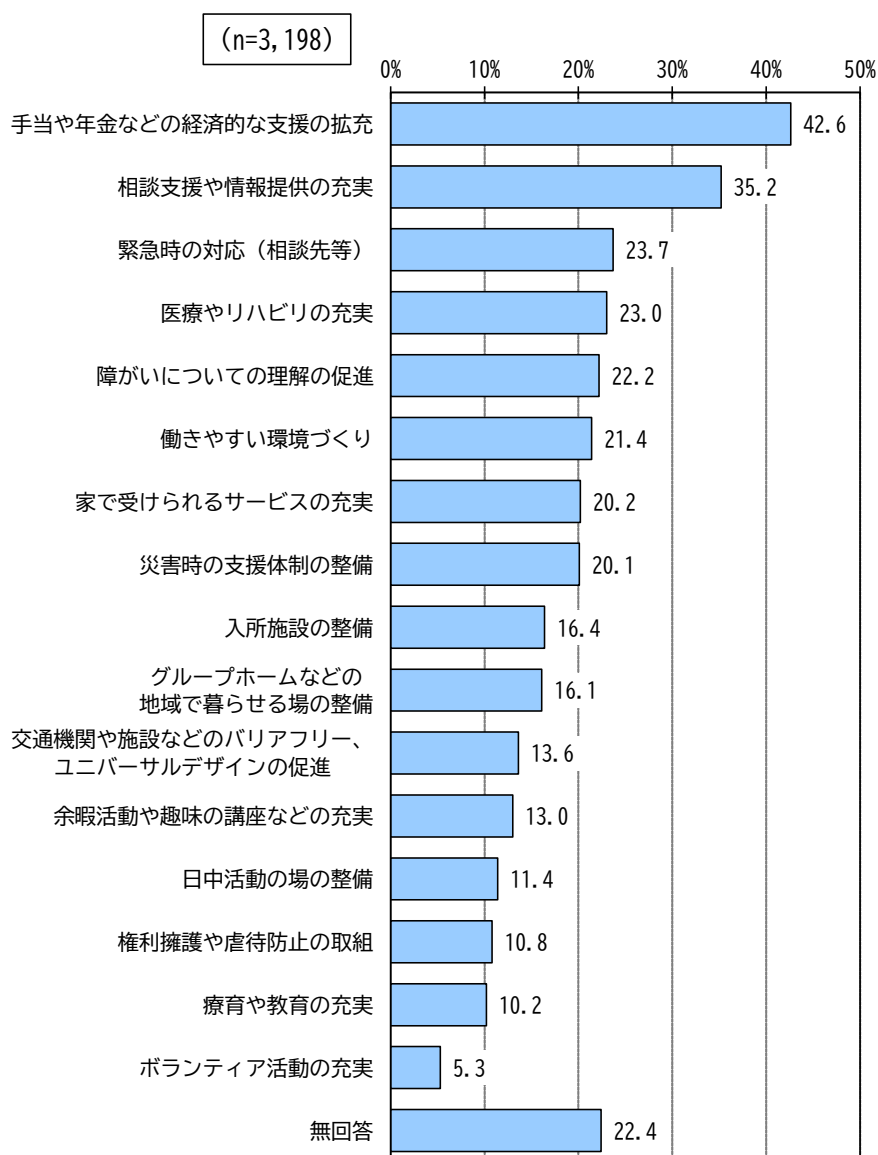


(4) 今後充実を希望する障がい施策

- 今後充実を希望する障がい施策について、18 歳以上の方全体では、「手当や年金などの経済的な支援の拡充」が 42.6%で最も多く、次いで「相談支援や情報提供の充実」が 35.2%、「緊急時の対応（相談先等）」が 23.7%となっています。

【18 歳以上 問 45】大田区の障がい児・者への取組について、特にどのようなことを充実させてほしいですか。（複数回答）

【今後充実を希望する障がい施策（18 歳以上）】

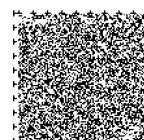


【今後充実を希望する障がい施策（18歳以上）（障がい種別）】

単位：％

回答者数(人)		相談支援や情報提供の充実	グループホームなどの地域で暮らせる場の整備	入所施設の整備	日中活動の場の整備	余暇活動や趣味の講座などの充実	働きやすい環境づくり	療育や教育の充実	交通機関や施設などのバリアフリー、ユニバーサルデザインの促進
全体(n=3,198)		35.2	16.1	16.4	11.4	13.0	21.4	10.2	13.6
障がい種別	身体(n=1,722)	30.1	11.7	15.2	8.5	11.3	13.4	6.9	16.8
	知的(n=588)	41.5	41.3	32.0	20.7	18.5	24.0	13.4	10.0
	精神(n=760)	46.2	18.2	14.9	15.7	16.4	37.1	14.5	9.6
	難病(n=730)	34.1	11.0	14.1	9.3	11.4	20.3	11.9	16.3
	発達(n=221)	57.5	33.9	24.4	24.0	19.9	48.0	27.6	14.9
	高次(n=87)	36.8	19.5	20.7	10.3	14.9	27.6	10.3	24.1
	強行(n=25)	44.0	48.0	52.0	48.0	32.0	16.0	28.0	20.0
	重心(n=53)	34.0	35.8	50.9	30.2	20.8	7.5	15.1	26.4

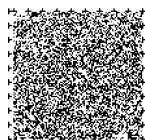
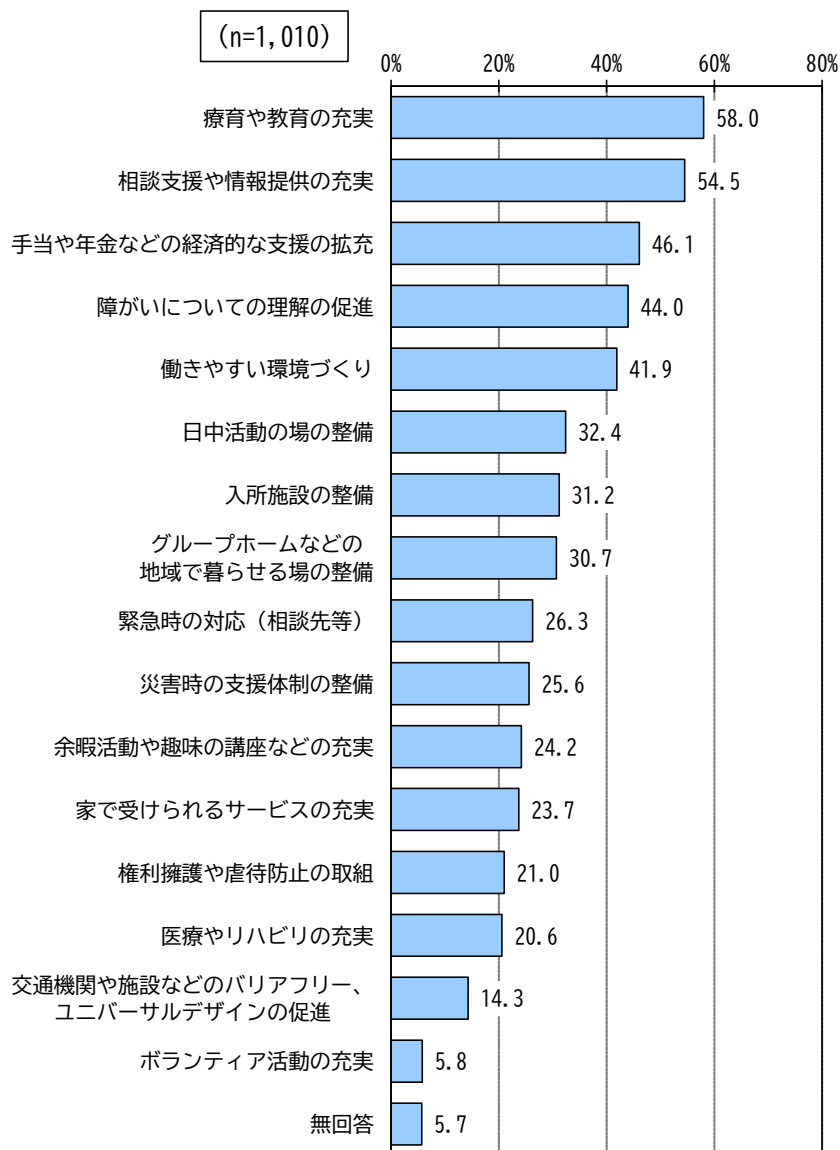
		医療やリハビリの充実	手当や年金などの経済的な支援の拡充	家で受けられるサービスの充実	災害時の支援体制の整備	緊急時の対応（相談先等）	ボランティア活動の充実	障がいについての理解の促進	権利擁護や虐待防止の取組	無回答
全体		23.0	42.6	20.2	20.1	23.7	5.3	22.2	10.8	22.4
障がい種別	身体	24.4	39.5	19.9	19.9	22.0	4.8	17.5	8.2	27.5
	知的	17.5	41.0	18.9	26.4	31.3	7.3	35.4	19.6	13.1
	精神	21.6	51.6	24.9	19.3	26.2	5.0	32.6	13.7	13.3
	難病	28.4	45.2	19.2	18.8	23.3	5.6	16.3	8.2	23.3
	発達	19.0	55.7	29.4	34.4	35.7	10.4	52.0	22.6	5.9
	高次	35.6	39.1	23.0	20.7	27.6	4.6	31.0	11.5	20.7
	強行	56.0	44.0	32.0	36.0	60.0	24.0	60.0	36.0	8.0
	重心	34.0	41.5	37.7	34.0	41.5	7.5	32.1	22.6	18.9



- 18 歳未満の方全体では、「療育や教育の充実」が 58.0%で最も多く、次いで「相談支援や情報提供の充実」が 54.5%、「手当や年金などの経済的な支援の拡充」が 46.1%となっています。

【18 歳未満 問 46】 大田区の障がい児・者への取組について、特にどのようなことを充実させてほしいですか。（複数回答）

【今後充実を希望する障がい施策（18 歳未満）】

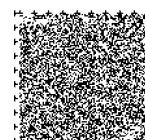


【今後充実を希望する障がい施策（18歳未満）（障がい種別）】

単位：％

回答者数(人)		相談支援や情報提供の充実	グループホームなどの 地域で暮らせる場の整備	入所施設の整備	日中活動の場の整備	余暇活動や趣味の 講座などの充実	働きやすい環境づくり	療育や教育の充実	交通機関や施設などの バリアフリー、ユニバーサル デザインの促進
全体(n=1,010)		54.5	30.7	31.2	32.4	24.2	41.9	58.0	14.3
障がい種別	身体(n=182)	49.5	30.2	35.2	34.1	21.4	31.9	44.0	30.8
	知的(n=550)	53.6	47.3	43.8	43.8	31.8	48.2	55.5	15.3
	精神(n=68)	55.9	27.9	22.1	27.9	26.5	51.5	54.4	16.2
	難病(n=3)	33.3	-	-	-	33.3	-	33.3	33.3
	発達(n=555)	56.4	27.9	29.5	32.3	24.9	42.0	62.0	11.2
	高次(n=9)	66.7	44.4	55.6	33.3	22.2	11.1	33.3	22.2
	強行(n=15)	73.3	53.3	60.0	33.3	20.0	20.0	46.7	13.3
	重心(n=44)	47.7	50.0	63.6	50.0	18.2	13.6	45.5	43.2

		医療やリハビリの充実	手当や年金などの 経済的な支援の拡充	家で受けられるサービス の充実	災害時の支援体制の整備	緊急時の対応 (相談先等)	ボランティア活動の充実	障がいについての 理解の促進	権利擁護や虐待防止の 取組	無回答
全体		20.6	46.1	23.7	25.6	26.3	5.8	44.0	21.0	5.7
障がい種別	身体	41.2	56.6	34.6	25.8	29.1	3.3	42.9	16.5	7.1
	知的	22.0	55.5	27.5	33.5	32.9	8.2	49.6	25.5	5.1
	精神	23.5	48.5	32.4	22.1	27.9	10.3	54.4	26.5	4.4
	難病	33.3	100.0	-	33.3	33.3	-	-	-	-
	発達	16.8	44.9	21.4	25.0	25.0	5.2	43.1	21.4	5.8
	高次	55.6	66.7	11.1	11.1	22.2	11.1	55.6	22.2	-
	強行	13.3	40.0	46.7	33.3	53.3	13.3	33.3	13.3	6.7
	重心	50.0	54.5	52.3	36.4	43.2	9.1	36.4	15.9	6.8

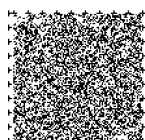


【今後充実を希望する障がい施策（18歳未満）（回答者別）】

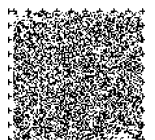
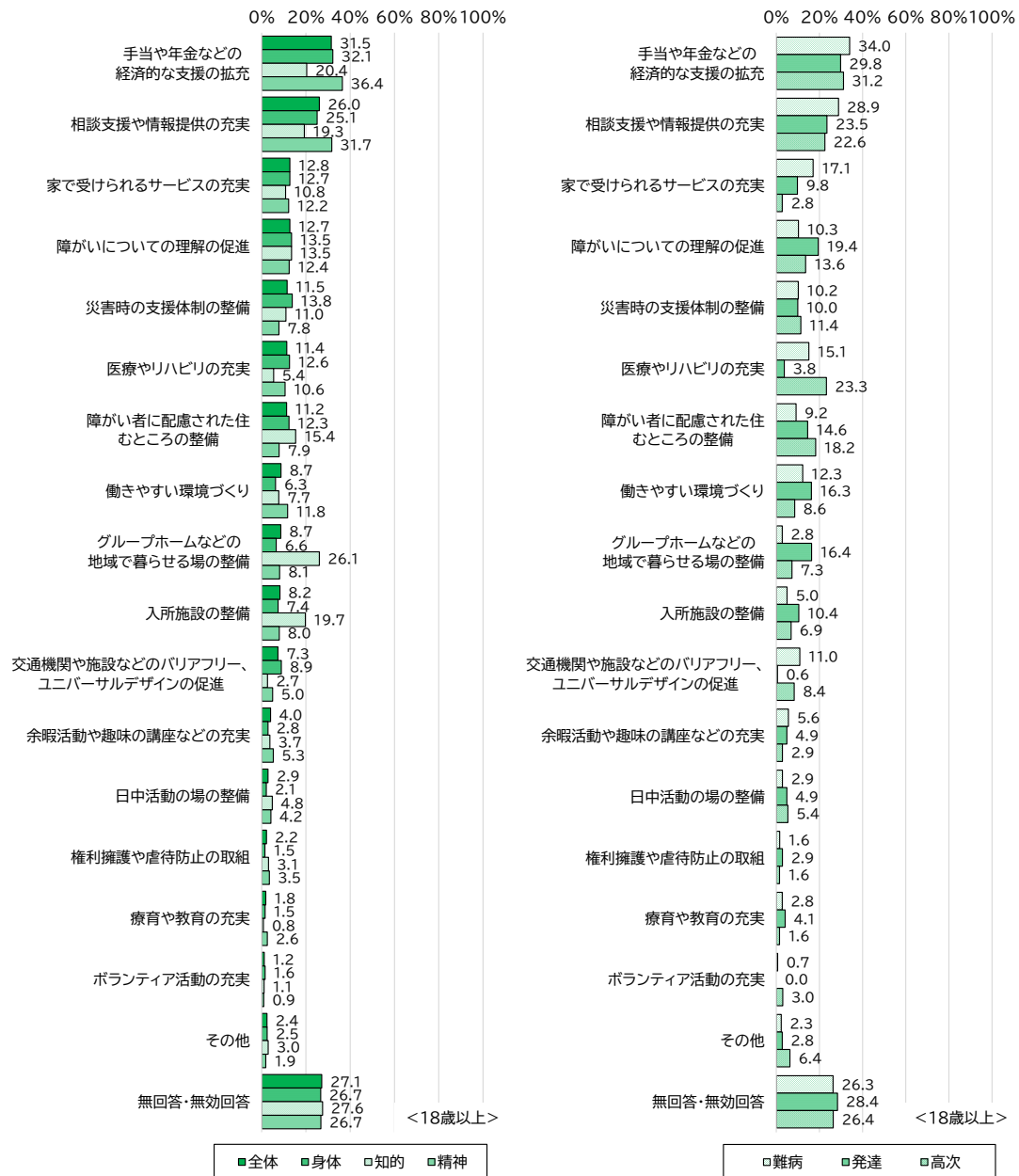
単位：％

回答者数(人)		相談支援や情報提供の充実	グループホームなどの地域で暮らせる場の整備	入所施設の整備	日中活動の場の整備	余暇活動や趣味の講座などの充実	働きやすい環境づくり	療育や教育の充実	交通機関や施設などのバリアフリー、ユニバーサルデザインの促進
全体(n=1,010)		54.5	30.7	31.2	32.4	24.2	41.9	58.0	14.3
回答者別	本人(n=48)	29.2	4.2	4.2	6.3	10.4	43.8	25.0	16.7
	本人の意見を聞いて家族回答(n=345)	53.6	20.0	16.2	24.3	22.0	44.9	56.8	11.9
	本人の意向を考えて家族回答(n=570)	57.9	40.5	42.1	40.5	27.7	39.3	63.0	16.1

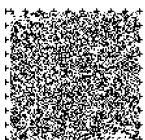
		医療やリハビリの充実	手当や年金などの経済的な支援の拡充	家で受けられるサービスの充実	災害時の支援体制の整備	緊急時の対応(相談先等)	ボランティア活動の充実	障がいについての理解の促進	権利擁護や虐待防止の取組	無回答
全体		20.6	46.1	23.7	25.6	26.3	5.8	44.0	21.0	5.7
回答者別	本人	10.4	33.3	12.5	14.6	22.9	-	41.7	20.8	8.3
	本人の意見を聞いて家族回答	16.5	40.0	19.7	20.6	22.6	4.6	41.7	18.0	5.5
	本人の意向を考えて家族回答	24.4	52.1	27.5	30.4	29.8	6.7	46.1	24.0	4.7



参考：前回調査結果 今後充実を希望する障がい施策（18歳以上）



参考：前回調査結果 今後充実を希望する障がい施策（18歳未満）



(5) 区に充実してほしい施策

- 充実してほしい施策について自由記述で尋ねたところ、18 歳以上においては 483 件の意見について 22 の大カテゴリに分類できました。このうち件数が多いものとして、「経済的支援について」が 53 件、「居住支援について」が 47 件、「サービスについて」が 40 件、「相談支援の充実について」が 34 件、「働きやすい職場や仕事について」が 32 件となっています。

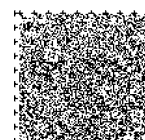
【18 歳以上 問 46】 区に充実してほしい施策について、ご自由にご意見をお書きください。
(自由記述)

【区に充実してほしい施策（18 歳以上、大カテゴリ）】

大カテゴリ	件数
経済的支援について	53
居住支援について	47
サービスについて	40
相談支援の充実について	34
働きやすい職場や仕事について	32
バリアフリーについて	29
各種手続きについて	28
障がいへの理解促進について	26
情報発信の充実について	26
親亡き後について	23
社会参加・社会活動について	21
行政機関の充実について	20
交通費支援について	14
医療費について	13
福祉人材について	10
アンケートについて	10
災害時対応の充実について	9
補装具支援について	8
医療・健康について	7
教育について	7
権利擁護について	3
その他	23
総件数	483

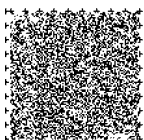
※本設問では、18 歳以上の方からの自由記述回答を意見内容で整理し、483 件の意見を抽出しました。

なお、「特になし」等の区の施策への要望ではない意見 48 件を除いています。

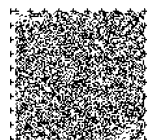


【区に充実してほしい施策（18歳以上、小カテゴリ）】

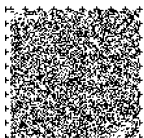
大カテゴリ	小カテゴリ	件数
経済的支援について		53
	金銭的支援の拡充	36
	障害年金・手当の増額	7
	障害年金・手当の支給要件の緩和	3
	生活保護費の増額	3
	自立し就労することにより年金・手当が減額になり手取りが減少する	3
	税制の優遇（減税、相続税軽減等）	1
居住支援について		47
	障がい者が入居できる住居の充実	38
	一人暮らしできる住宅の支援	3
	住宅手当の支給	3
	物件情報のわかりやすい提供	2
	公営住宅への入居支援	1
サービスについて		40
	ショートステイの充実	7
	障がい特性・重度に配慮したサービスの充実	7
	各種要望	4
	公平なサービスの提供	3
	訪問系サービスの充実	3
	居宅介護の充実	2
	日中活動系サービスの充実	2
	自立支援の充実	2
	手話通訳の増加	2
	現行サービスへの不満	2
	施設入所の充実	1
	家族のケアの充実	1
	緊急時のサービスの充実	1
	事業所の立地の利便性	1
	サービス提供時間の柔軟性	1
	サービス提供事業所の監査	1



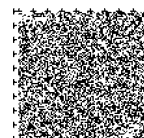
大カテゴリ	小カテゴリ	件数
相談支援の充実について		34
	身近で気軽に相談できること	15
	相談員の育成	7
	困りごとを具体的に解決できること	3
	必要なサービスへのつなぎ	3
	訪問相談の実施	2
	障がい者の高齢化・重度化の不安	1
	テーマごとの専門相談員（DV/ハラスメント、経済支援、就労）の配置	1
	ひきこもり相談の充実	1
	当事者同士の相談・情報交換	1
働きやすい職場や仕事について		32
	障がい者雇用の充実	21
	職場の障がい理解の促進	6
	柔軟に働ける（時間、休み、場所等）仕事の充実	5
バリアフリーについて		29
	道路・歩道の整備（段差、白線、信号機等）	10
	駅・駅周辺のバリアフリー化推進	5
	バリアフリーを意識したまちづくり	4
	公共交通機関のバリアフリー化	3
	使いやすいトイレの整備	2
	エスカレーター・エレベーターの充実	2
	視覚情報の充実	2
	公共施設のバリアフリー化推進	1
各種手続きについて		28
	手続き（手帳、年金、補装具等）の簡素化	16
	サービス受給情報等のデジタル化の推進	10
	難病手帳の創設	1
	障害認定可能な医師の増加	1
障がいへの理解促進について		26
	様々な障がいやその特性の理解の促進	14
	障がいを理由とする差別の解消	6
	障がいのある人となない人の相互理解の促進	5
	家族の理解促進	1
情報発信の充実について		26
	施設・サービス情報のわかりやすい発信・提供	20
	障がい特性を踏まえたわかりやすい情報発信・情報提供	6



大カテゴリ	小カテゴリ	件数
親亡き後について		23
	親亡き後の不安一般	9
	親亡き後の住居・施設の確保	8
	親亡き後のためのグループホームの充実	3
	親亡き後の経済的支援の充実	2
	親亡き後の訪問系サービスの充実	1
社会参加・社会活動について		21
	趣味・余暇活動が出来る施設の充実	10
	障がい者向けの趣味・余暇活動の充実	10
	障がい者向けの各種教室の充実	1
行政機関の充実について		20
	職員の対応や説明のわかりやすさの改善	11
	地域庁舎の職員数の増加	5
	窓口の開設時間延長・土日窓口の設置	4
交通費支援について		14
	タクシー券の配布	6
	交通費支援	4
	電車・バスの運賃助成の充実	3
	ガソリン券の交付	1
医療費について		13
	医療費の自己負担額の軽減	7
	現行の医療費助成の継続	3
	医療費助成の対象拡大	2
	入院費の助成の充実	1
福祉人材について		10
	人材確保	5
	人材育成	4
	福祉人材への給与・手当の充実	1
アンケートについて		10
	設問が多い・用語が不明等により回答が困難	6
	送らないでほしい	3
	定期的な調査実施の必要性	1
災害時対応の充実について		9
	災害時の医療提供の仕組みづくり	5
	災害時のわかりやすい情報発信	4



大カテゴリ	小カテゴリ	件数
補装具支援について		8
	補助具の充実	6
	補聴器等の手当・助成の充実	2
医療・健康について		7
	医療体制の充実	3
	リハビリ支援の充実	2
	精神科デイケアの充実	2
教育について		7
	インクルーシブ教育の推進	7
権利擁護について		3
	権利擁護	3
その他		23



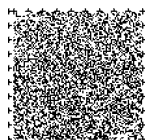
- 充実してほしい施策について自由記述で尋ねたところ、18 歳未満においては 310 件の意見について 15 の大カテゴリに分類できました。このうち件数が多いものとして、「その他」を除き、「教育・療育について」が 91 件、「サービスについて」が 68 件、「経済的支援について」が 42 件、「行政等の手続きについて」が 17 件、「親亡き後について」が 12 件となっています。

【18 歳未満 問 47】 区に充実してほしい施策について、ご自由にご意見をお書きください。
(自由記述)

【区に充実してほしい施策（18 歳未満、大カテゴリ）】

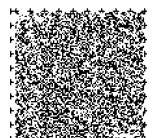
大カテゴリ	件数
教育・療育について	91
サービスについて	68
経済的支援について	42
行政等の手続きについて	17
親亡き後について	12
社会参加・社会活動について	10
遊び場・習い事の場について	9
情報発信の充実について	8
バリアフリー・ユニバーサルデザインについて	8
相談体制・窓口について	8
障がいへの理解促進について	7
医療について	5
労働環境について	3
アンケートについて	2
その他	20
総件数	310

※本設問では、18 歳未満の方からの自由記述回答を意見内容で整理し、310 件の意見を抽出しました。
なお、「特になし」等の区の施策への要望ではない意見 2 件を除いています。

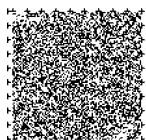


【区に充実してほしい施策（18歳未満、小カテゴリ）】

大カテゴリ	小カテゴリ	件数
教育・療育について		91
	特別支援学級の増設・充実	34
	障がい特性や能力に応じた教育	11
	療育サービスの質の向上	6
	療育機関の増設・開設時間の拡充	6
	学校における合理的配慮の提供	5
	進路の充実と進路支援	4
	盲・ろう学校の充実	4
	インクルーシブ教育の推進	3
	サポートルームの充実	3
	学校における支援手続き	3
	制度の狭間の子ども向けの施策	3
	通学時の支援や送迎の充実	3
	フリースクールの充実	2
	障がい児の受け入れ体制の整備	2
	年齢で途切れない支援	1
	療育を含めた教育の充実	1
サービスについて		68
	ショートステイの充実	12
	居場所の充実	9
	年齢で途切れない支援	8
	放課後等デイサービスの拡充・増設・質の向上	7
	グループホームの充実	6
	サービス内容の充実	5
	家族支援の充実	4
	さぽーとぴあの増設	3
	移動支援の充実	3
	医療的ケアが必要な障がい児の受け入れ体制の充実	3
	親が働ける環境の整備	3
	緊急一時保護の充実	2
	事業所の受け入れ拡大・増設・質の向上	2
	障がいの特性に合わせたサービスの提供	1
経済的支援について		42
	経済的支援の充実	27
	サービス自己負担額の軽減	15



大カテゴリ	小カテゴリ	件数
行政等の手続きについて		17
	手続きの簡素化	14
	手続き窓口の一元化	2
	区役所と地域庁舎間の手続きの一元化	1
親亡き後について		12
	親亡き後の支援の充実	7
	親亡き後の暮らしに関する情報の充実	5
社会参加・社会活動について		10
	就労経験	8
	交流の機会	2
遊び場・習い事について		9
	遊び場の充実	6
	スポーツ・習い事ができる場の充実	3
情報発信の充実について		8
	行政サービスに関する情報の充実	8
バリアフリー・ユニバーサルデザインについて		8
	バリアフリーの充実	4
	視覚障がい児に対するサービスの充実	3
	ユニバーサルデザインの普及	1
相談体制・窓口について		8
	相談体制・窓口の充実	5
	相談窓口の一元化	3
障がいへの理解促進について		7
	障がいへの理解の促進・教育	7
医療について		5
	障がいがあっても受け入れて診てくれる病院の不足	5
労働環境について		3
	サービス提供事業所の労働環境の改善	3
アンケートについて		2
	告知していない本人に配慮した送付の必要性	1
	設問が多い・用語が不明等により回答が困難	1
その他		20



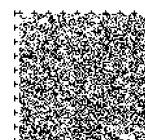
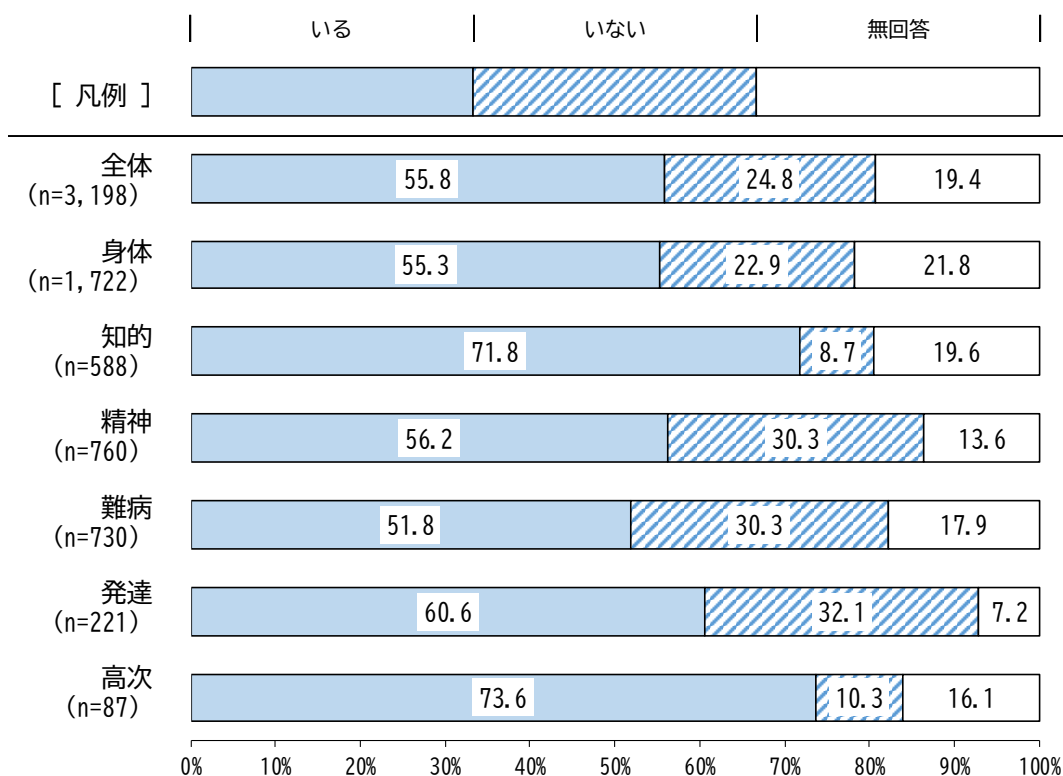
12. 家族のニーズ

(1) 介助者・支援者の有無

○ 介助者・支援者の有無について、18 歳以上の方全体では、「いる」が 55.8%、「いない」が 24.8%となっています。

【18 歳以上 問 47】 ふだん、あなたを介助・支援している（助けてくれる）人はいますか。（単一回答）

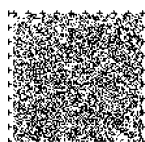
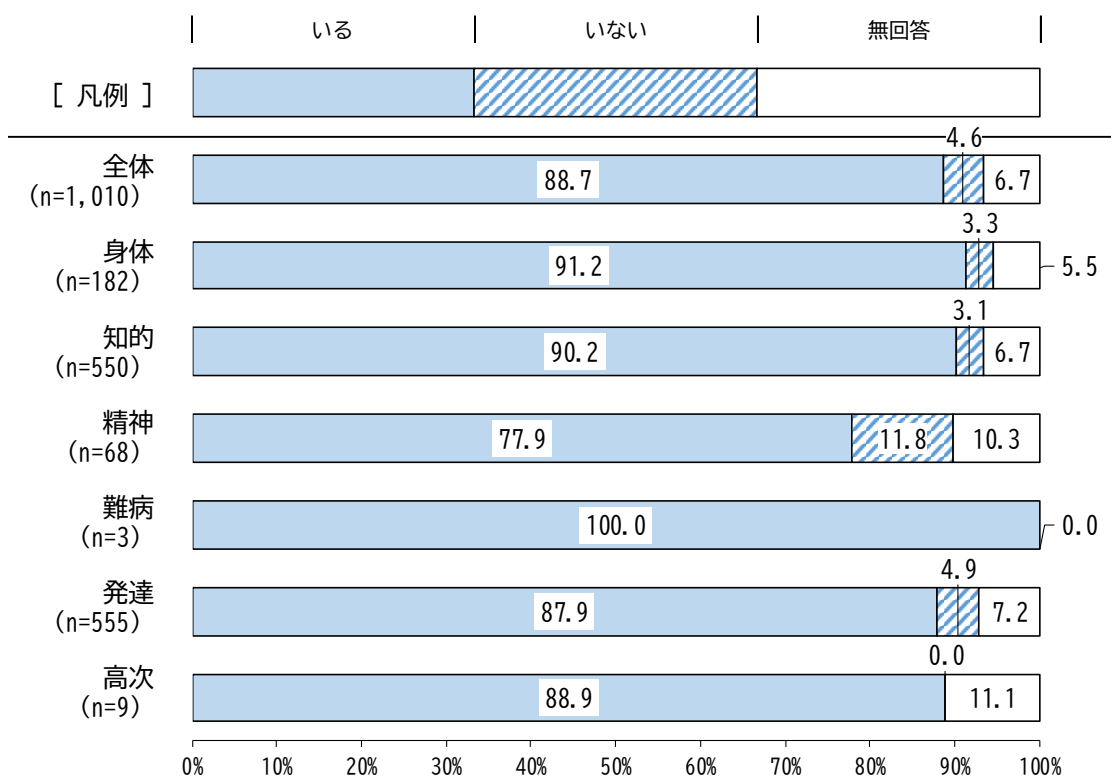
【介助者・支援者の有無（18 歳以上）】



○ 18 歳未満の方全体では、「いる」が 88.7%、「いない」が 4.6%となっています。

【18 歳未満 問 48】 ふだん、あなたを介助・支援している（助けてくれる）人はいますか。（単一回答）

【介助者・支援者の有無（18 歳未満）】

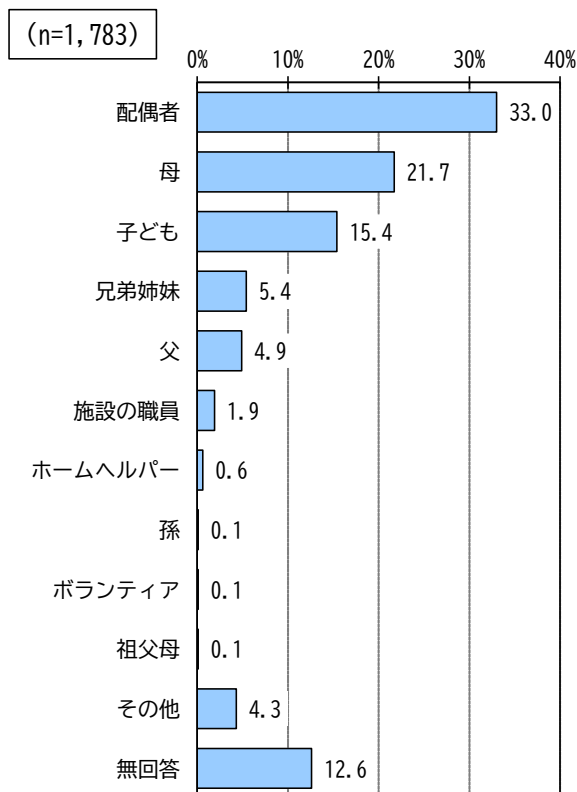


(2) 障がいのある方本人からみた回答者の続柄

- 障がいのある方本人からみた回答者の続柄について、18 歳以上の方全体では、「配偶者」が 33.0%で最も多く、次いで「母」が 21.7%、「子ども」が 15.4%となっています。

【18 歳以上 問 48】 障がいのある方本人（あて名の方）からみて、あなたの続柄は何ですか。（単一回答）

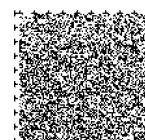
【障がいのある方本人からみた回答者の続柄（18 歳以上）】



【障がいのある方本人からみた回答者の続柄（18 歳以上）（障がい種別）】

単位：%

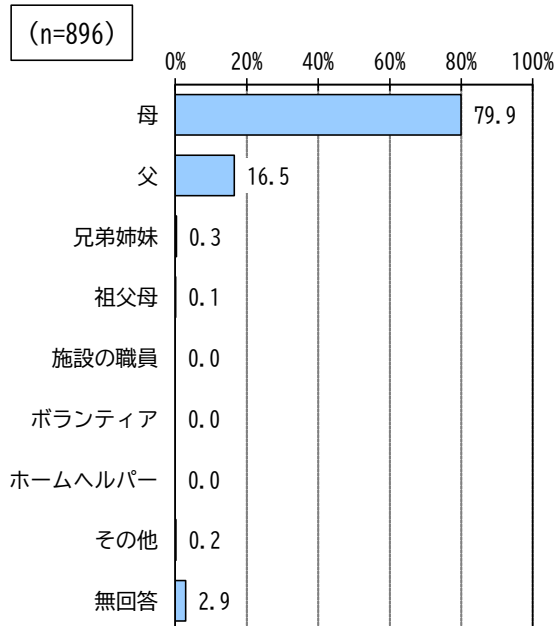
回答者数(人)		父	母	兄弟姉妹	子ども	孫	配偶者	祖父母	施設の職員	ボランティア	ホームヘルパー	その他	無回答
全体(n=1,783)		4.9	21.7	5.4	15.4	0.1	33.0	0.1	1.9	0.1	0.6	4.3	12.6
障がい種別	身体(n=952)	3.6	11.8	3.6	22.2	0.1	39.8	-	1.2	0.1	0.8	4.6	12.3
	知的(n=422)	10.0	58.3	10.0	2.6	-	0.5	-	5.0	-	-	2.4	11.4
	精神(n=427)	5.2	26.5	7.5	6.8	-	28.3	0.2	3.5	-	0.5	7.0	14.5
	難病(n=378)	3.7	9.3	4.8	16.9	-	50.5	-	0.8	0.3	0.3	3.2	10.3
	発達(n=134)	6.7	53.7	3.7	4.5	-	12.7	0.7	0.7	-	-	4.5	12.7
	高次(n=64)	6.3	21.9	4.7	7.8	-	43.8	-	1.6	-	-	4.7	9.4



○ 18 歳未満の方全体では、「母」が 79.9%で最も多く、次いで「父」が 16.5%、「兄弟姉妹」が 0.3%となっています。

【18 歳未満 問 49】 障がいのある方本人（あて名の方）からみて、あなたの続柄は何ですか。（単一回答）

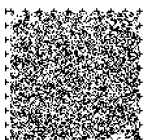
【障がいのある方本人からみた回答者の続柄（18 歳未満）】



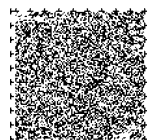
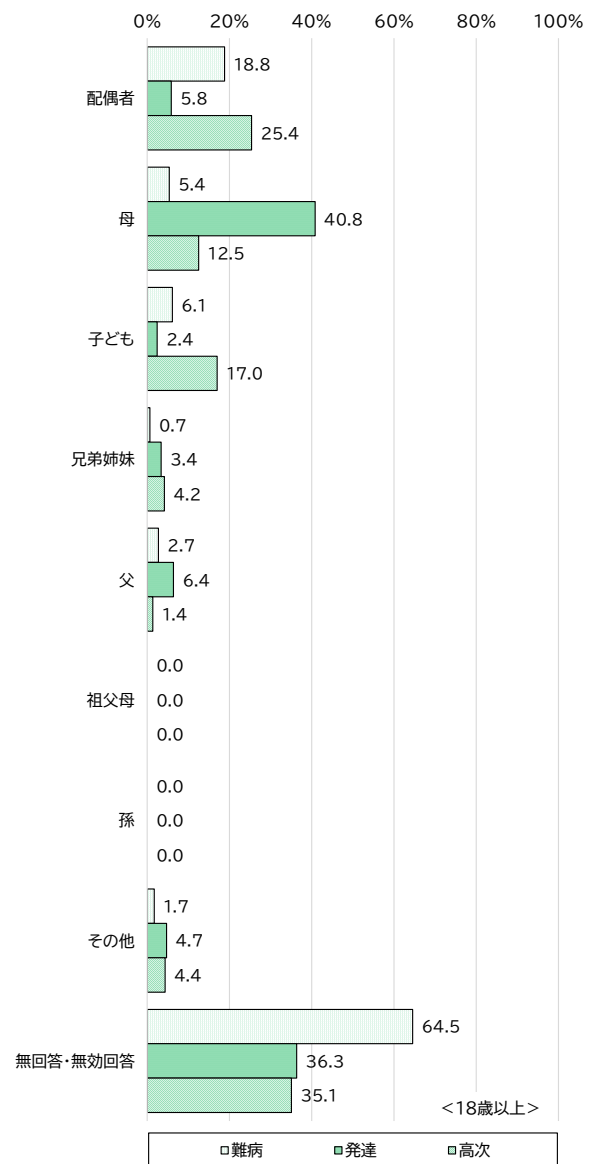
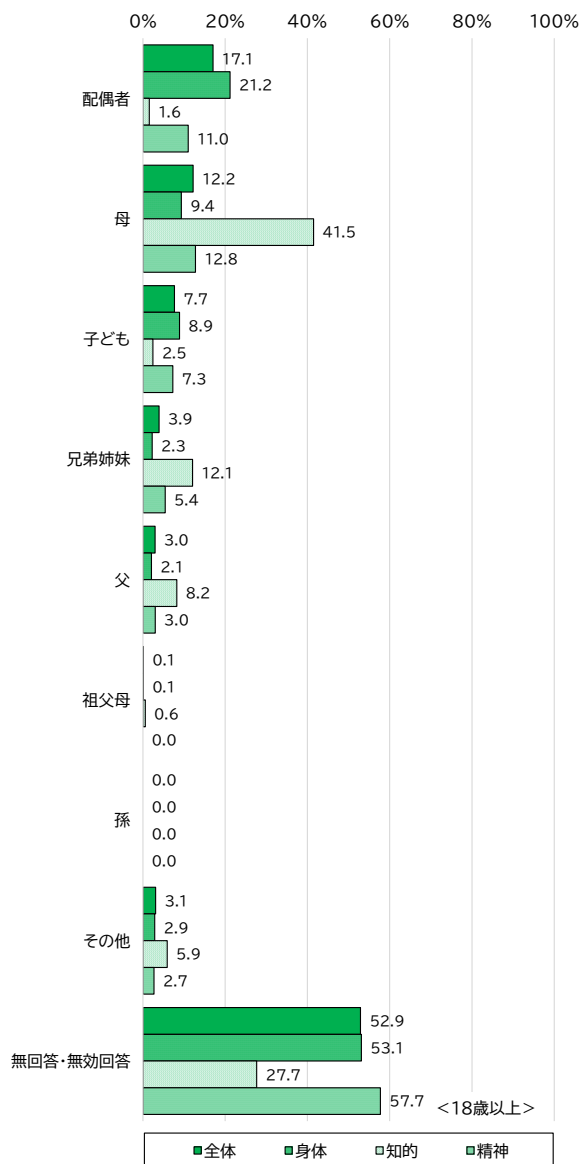
【障がいのある方本人からみた回答者の続柄（18 歳未満）（障がい種別）】

単位：%

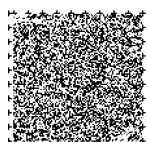
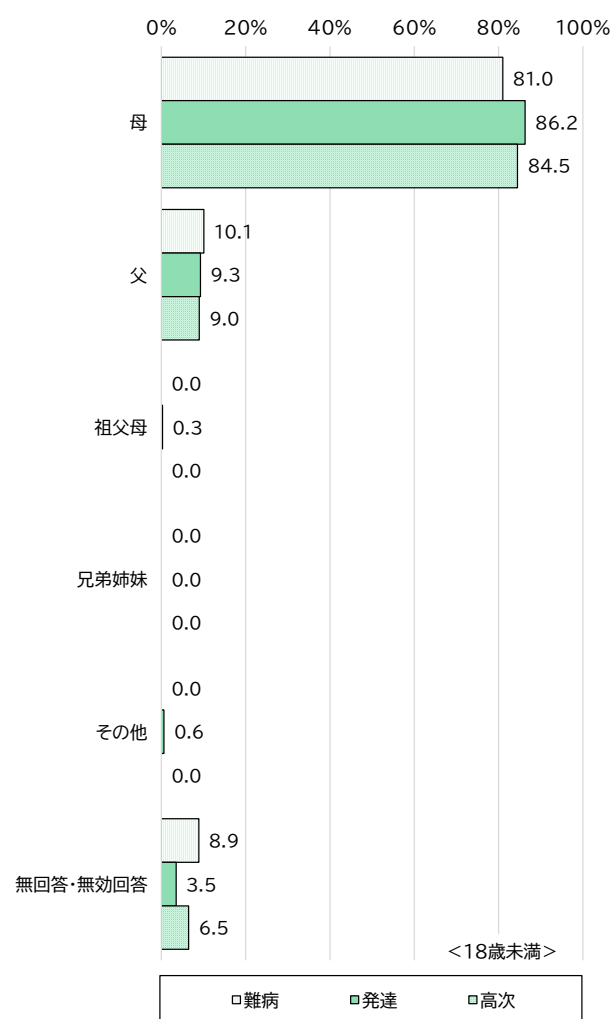
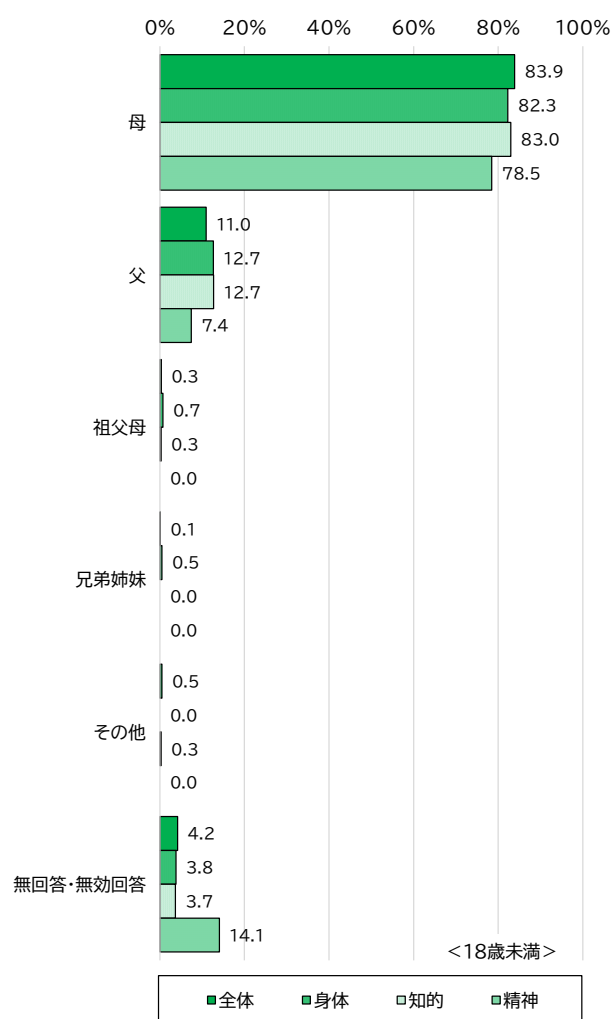
回答者数（人）		父	母	兄弟姉妹	祖父母	施設の職員	ボランティア	ホームヘルパー	その他	無回答
全体(n=896)		16.5	79.9	0.3	0.1	-	-	-	0.2	2.9
障がい種別	身体(n=166)	16.3	81.3	-	0.6	-	-	-	0.6	1.2
	知的(n=496)	19.4	77.8	0.4	-	-	-	-	0.2	2.2
	精神(n=53)	11.3	83.0	-	-	-	-	-	-	5.7
	難病(n=3)	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-	-
	発達(n=488)	17.4	79.9	0.4	-	-	-	-	-	2.3
	高次(n=8)	12.5	87.5	-	-	-	-	-	-	-



参考：前回調査結果 障がいのある方本人からみた回答者の続柄（18歳以上）



参考：前回調査結果 障がいのある方本人からみた回答者の続柄（18歳未満）

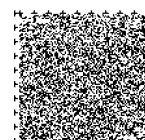
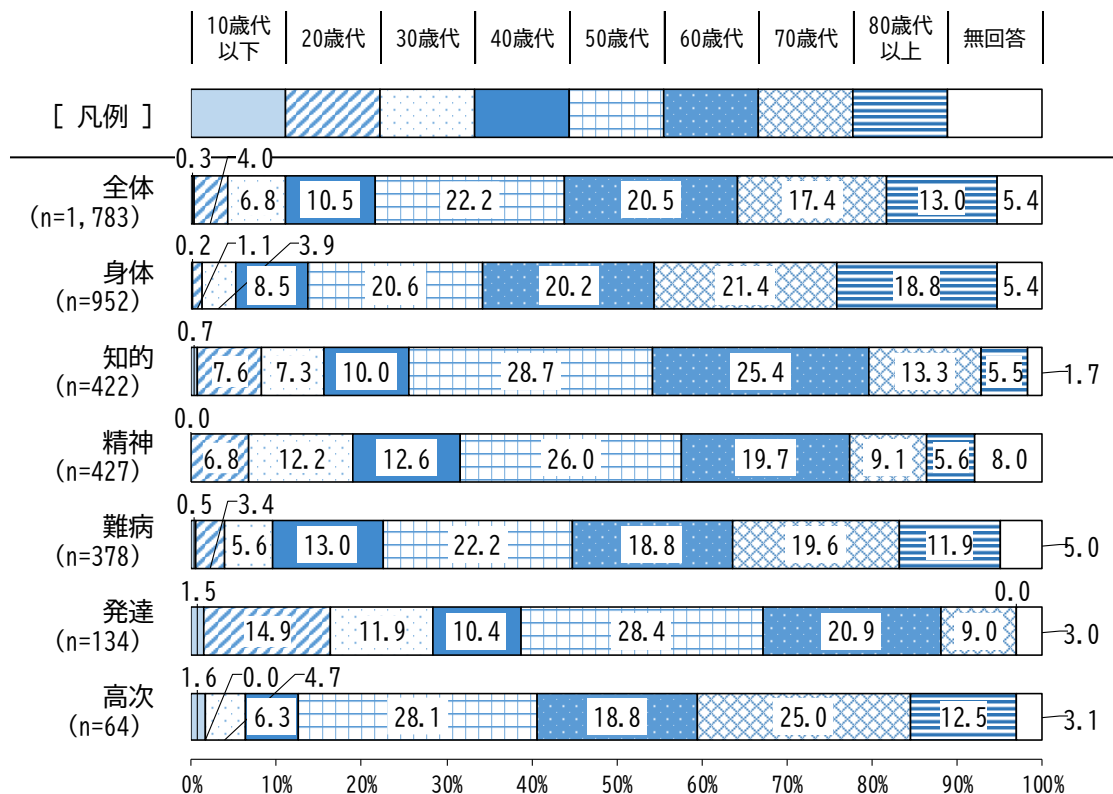


(3) ケアを担われている方の年代

- ケアを担われている方の年代について、18歳以上の方全体では、「50歳代」が22.2%で最も多く、次いで「60歳代」が20.5%、「70歳代」が17.4%となっています。

【18歳以上 問49】(1) あなたの年代を教えてください。(単一回答)

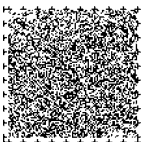
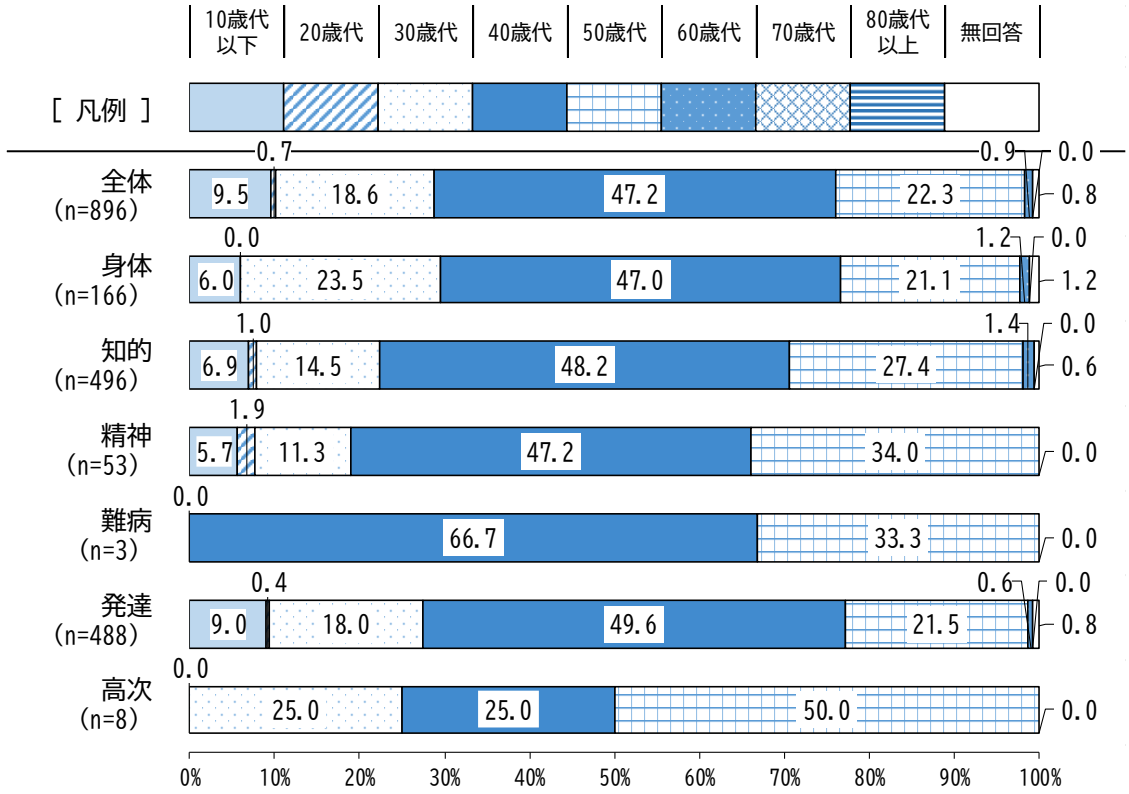
【ケアを担われている方の年代（18歳以上）】



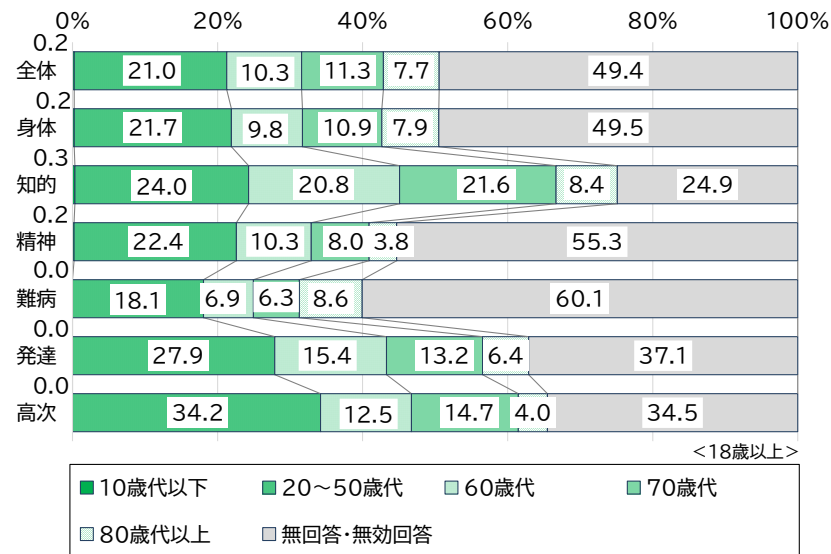
○ 18歳未満の方全体では、「40歳代」が47.2%で最も多く、次いで「50歳代」が22.3%、「30歳代」が18.6%となっています。

【18歳未満 問50】（1）あなたの年代を教えてください。（単一回答）

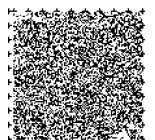
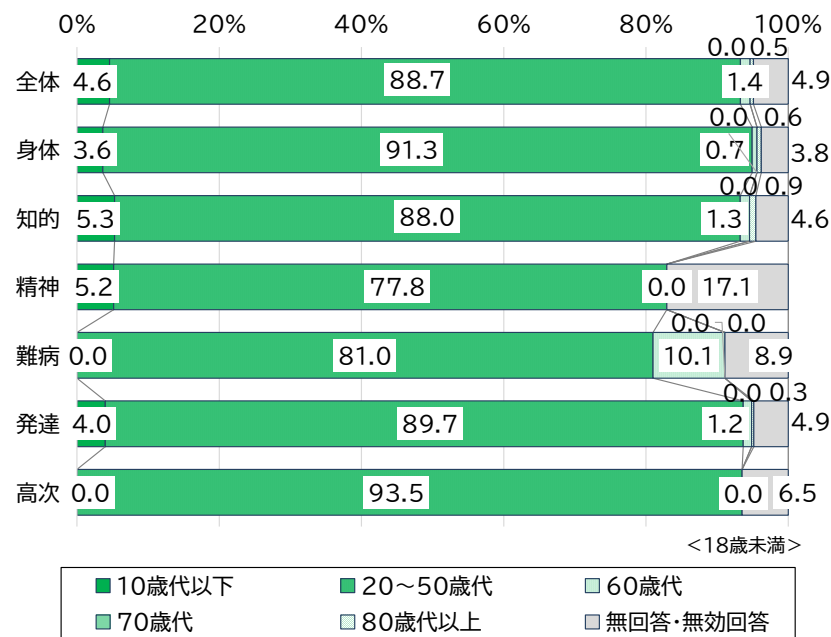
【ケアを担われている方の年代（18歳未満）】



参考：前回調査結果 ケアを担われている方の年代（18歳以上）



参考：前回調査結果 ケアを担われている方の年代（18歳未満）

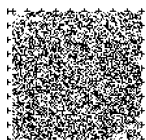
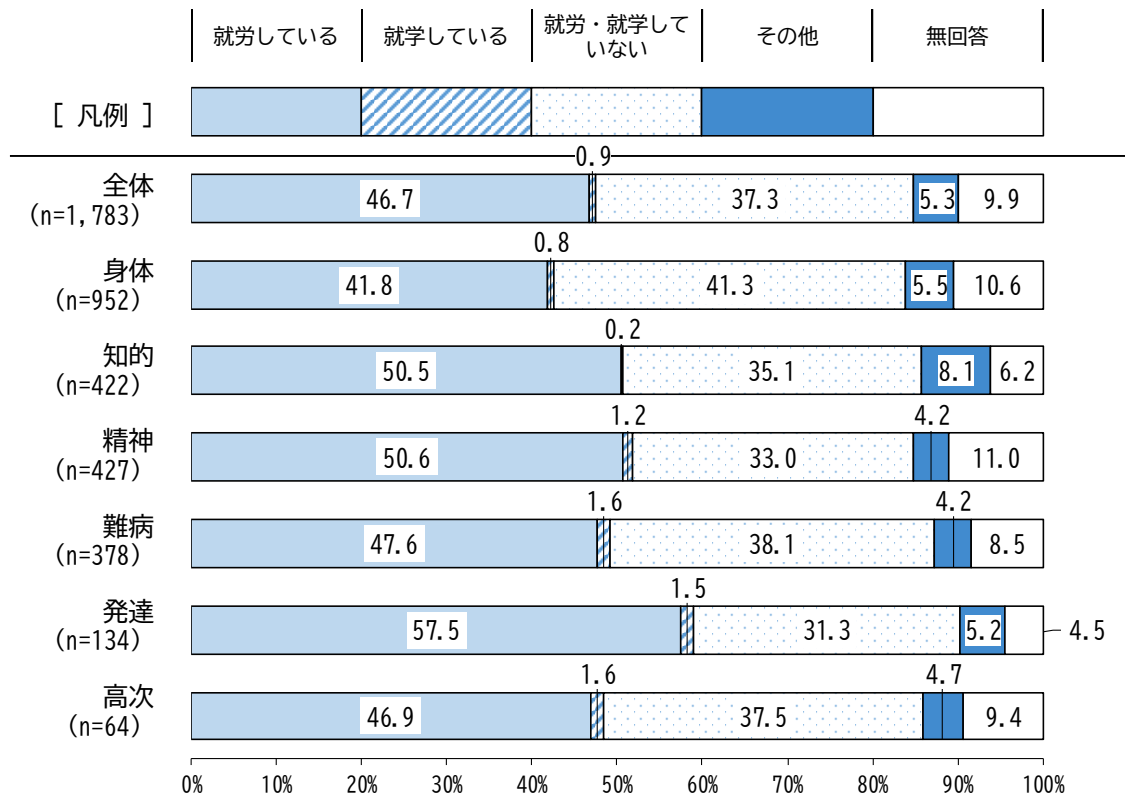


(4) ケアを担われている方の就労・就学状況

- ケアを担われている方の就労・就学状況について、18 歳以上の方全体では、「就労している」が 46.7%で最も多く、次いで「就労・就学していない」が 37.3%、「就学している」が 0.9%となっています。

【18 歳以上 問 49】(2) あなたの就労・就学状況を教えてください。(単一回答)

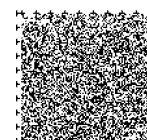
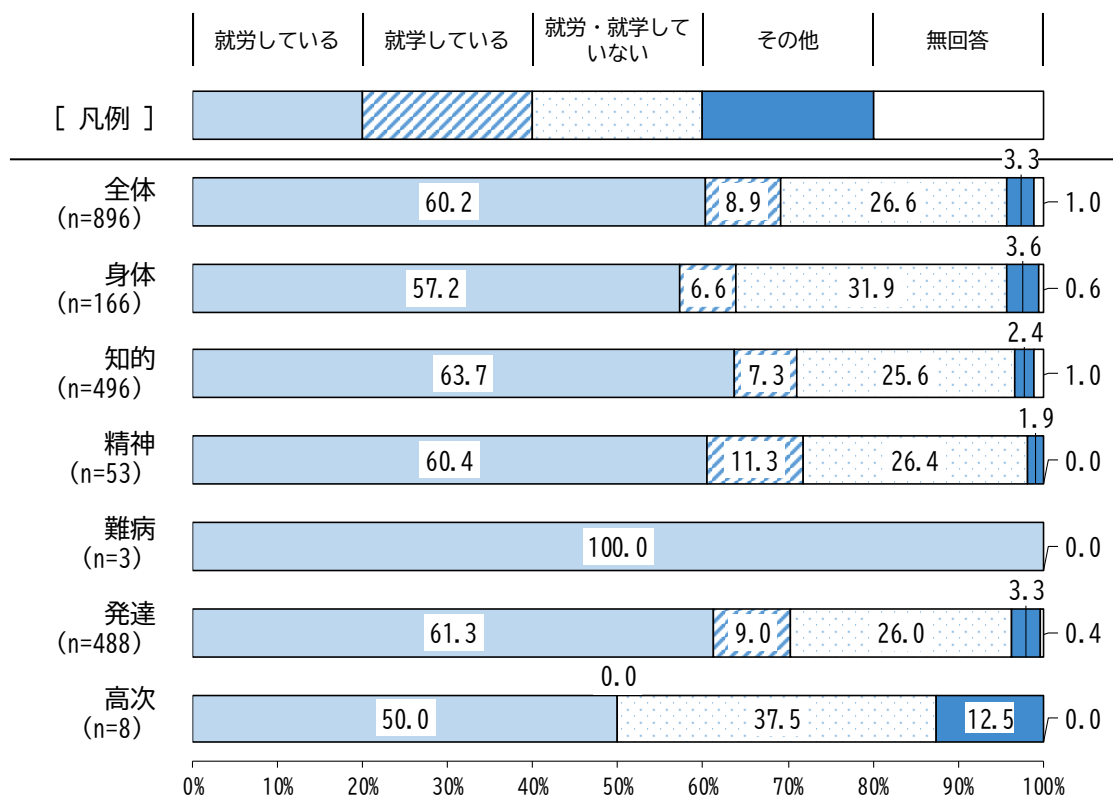
【ケアを担われている方の就労・就学状況 (18 歳以上)】



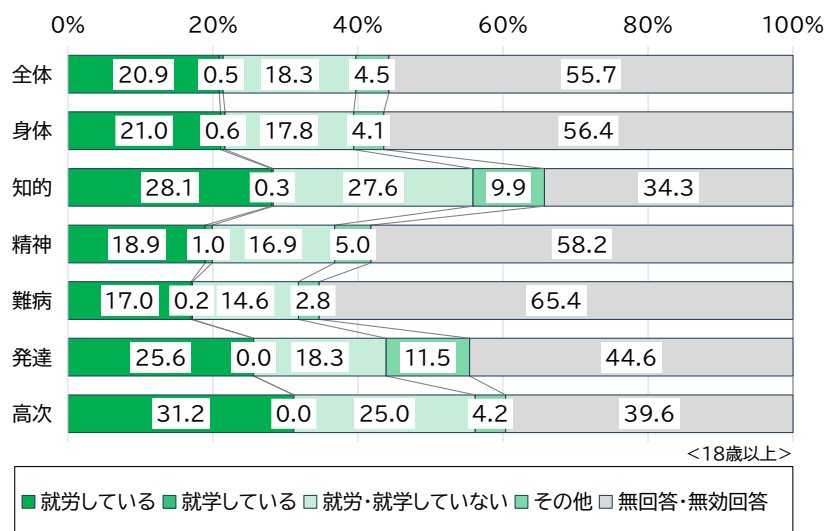
○ 18 歳未満の方全体では、「就労している」が 60.2%で最も多く、次いで「就労・就学していない」が 26.6%、「就学している」が 8.9%となっています。

【18 歳未満 問 50】（2）あなたの就労・就学状況を教えてください。（単一回答）

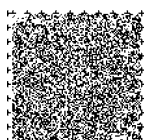
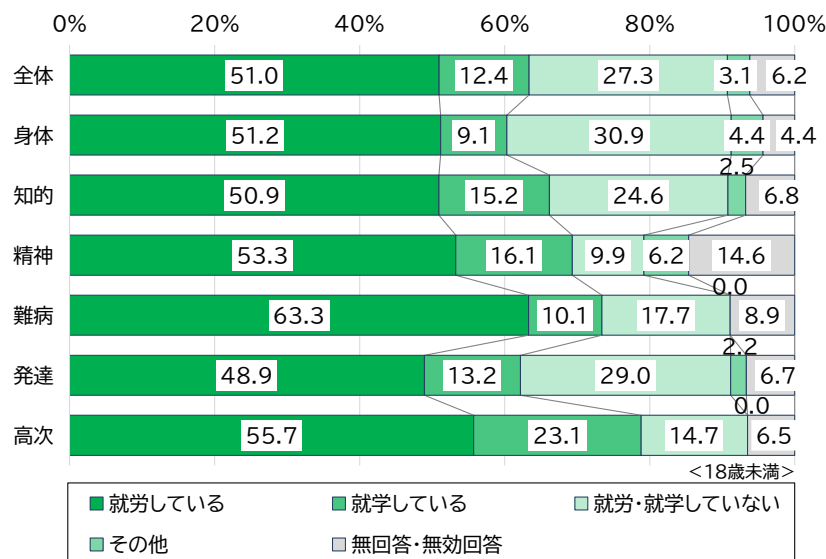
【ケアを担われている方の就労・就学状況（18 歳未満）】



参考：前回調査結果 ケアを担われている方の就労・就学状況（18歳以上）



参考：前回調査結果 ケアを担われている方の就労・就学状況（18歳未満）

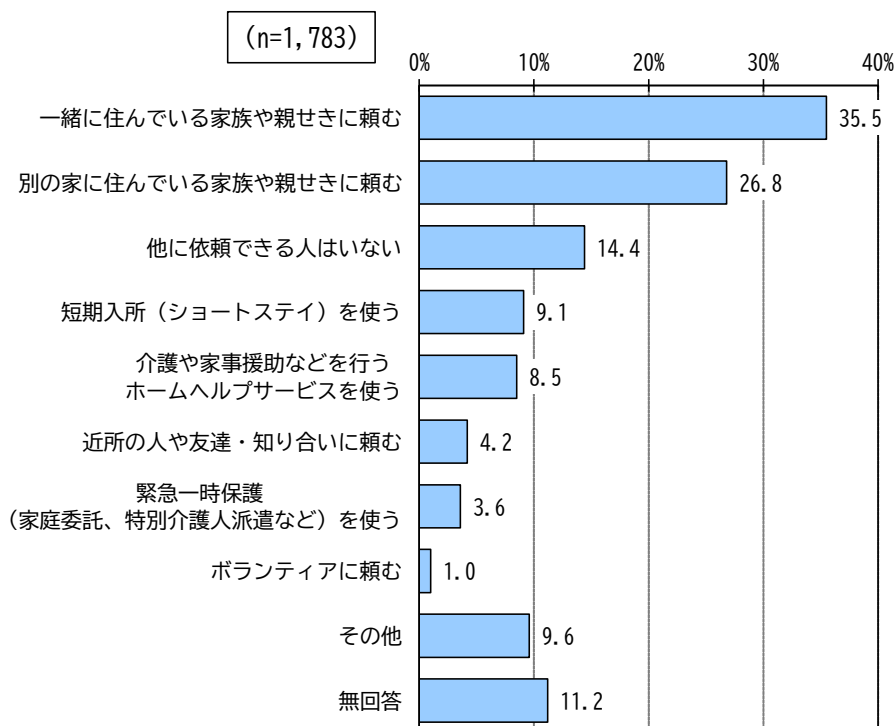


(5) 主な介助者・支援者が不在時の対応

- 主な介助者・支援者が不在時の対応について、18 歳以上の方全体では、「一緒に住んでいる家族や親せきに頼む」が 35.5%で最も多く、次いで「別の家に住んでいる家族や親せきに頼む」が 26.8%、「他に依頼できる人はいない」が 14.4%となっています。

【18 歳以上 問 50】主にケアをされているあなたがいなくて、障がいのある方本人（宛名の方）に支援が必要になった場合、どのようにしていますか。（複数回答）

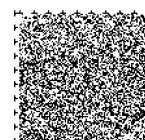
【主な介助者・支援者が不在時の対応（18 歳以上）】



【主な介助者・支援者が不在時の対応（18 歳以上）（障がい種別）】

単位：%

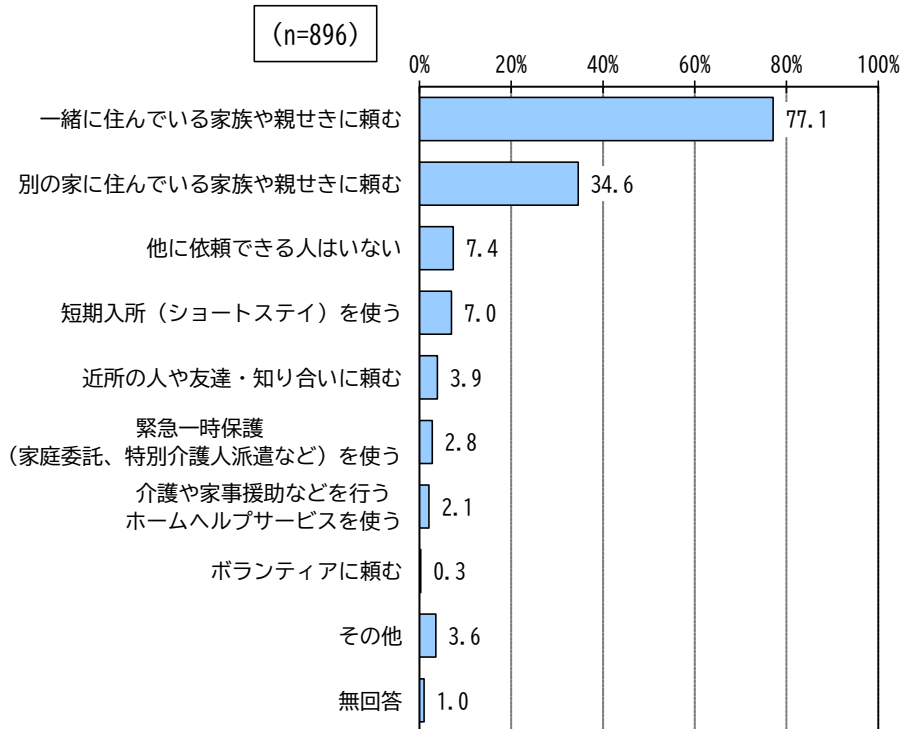
回答者数(人)		一緒に住んでいる家族や親せきに頼む	別の家に住んでいる家族や親せきに頼む	緊急一時保護（家庭委託、特別介護人派遣など）を使う	介護や家事援助などを行う ホームヘルプサービスを使う	短期入所（ショートステイ）を使う	近所の人や友達・知り合いに頼む	ボランティアに頼む	他に依頼できる人はいない	その他	無回答
全体(n=1,783)		35.5	26.8	3.6	8.5	9.1	4.2	1.0	14.4	9.6	11.2
障がい種別	身体(n=952)	31.0	29.1	3.5	11.2	9.5	4.5	1.1	12.2	10.6	11.8
	知的(n=422)	56.6	20.4	9.0	5.9	21.1	4.5	1.4	8.8	10.7	5.2
	精神(n=427)	33.0	19.7	2.6	6.8	5.4	4.7	1.2	22.0	8.2	11.0
	難病(n=378)	30.7	28.8	2.1	9.8	4.0	1.9	0.3	15.9	7.9	13.0
	発達(n=134)	53.7	17.2	7.5	4.5	11.9	4.5	0.7	20.1	6.7	3.7
	高次(n=64)	35.9	34.4	1.6	9.4	10.9	1.6	1.6	17.2	6.3	3.1



- 18 歳未満の方全体では、「一緒に住んでいる家族や親せきに頼む」が 77.1%で最も多く、次いで「別の家に住んでいる家族や親せきに頼む」が 34.6%、「他に依頼できる人はいない」が 7.4%となっています。

【18 歳未満 問 52】 主にケアをされているあなたがいなくて、障がいのある方本人（宛名の方）に支援が必要になった場合、どのようにしていますか。（複数回答）

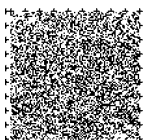
【主な介助者・支援者が不在時の対応（18 歳未満）】



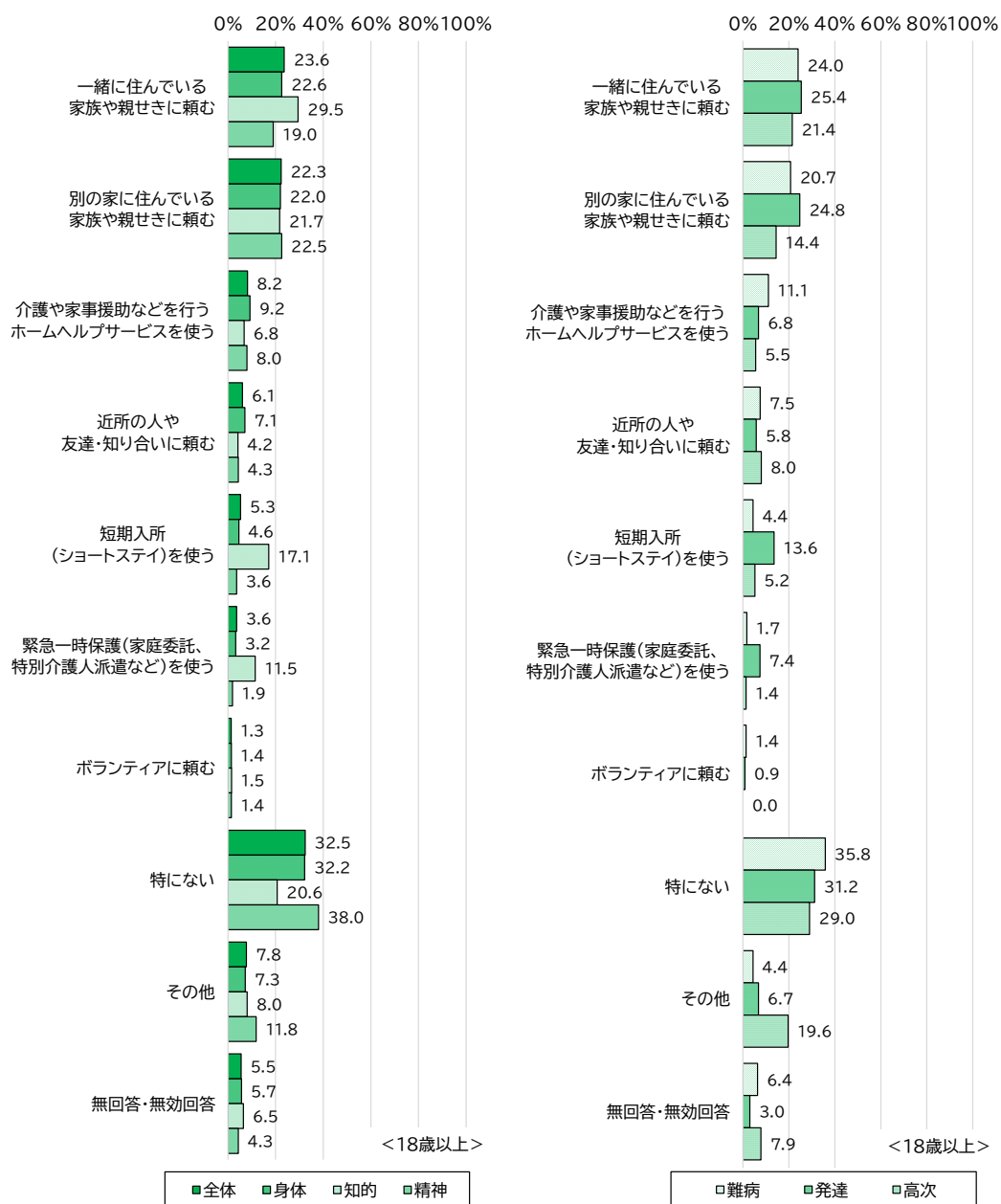
【主な介助者・支援者が不在時の対応（18 歳未満）（障がい種別）】

単位：%

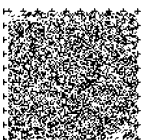
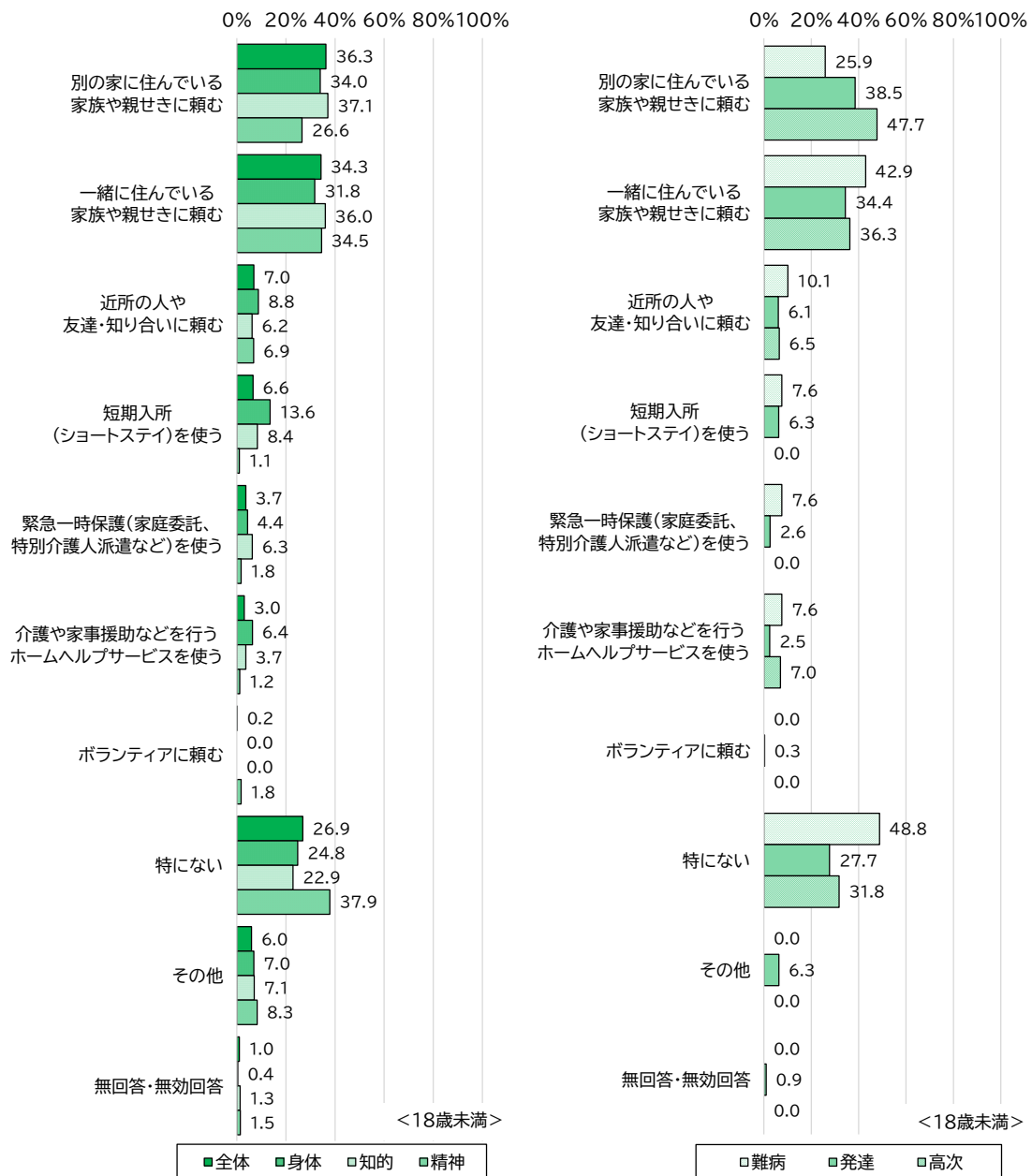
回答者数(人)		一緒に住んでいる家族や親せきに頼む	別の家に住んでいる家族や親せきに頼む	緊急一時保護（家庭委託、特別介護人派遣など）を使う	介護や家事援助などを行うホームヘルプサービスを使う	短期入所（ショートステイ）を使う	近所の人や友達・知り合いに頼む	ボランティアに頼む	他に依頼できる人はいない	その他	無回答
全体(n=896)		77.1	34.6	2.8	2.1	7.0	3.9	0.3	7.4	3.6	1.0
障がい種別	身体(n=166)	85.5	28.3	4.8	6.0	15.7	4.2	-	4.2	4.8	-
	知的(n=496)	76.4	32.3	4.2	2.4	9.9	3.8	0.4	8.5	4.4	0.6
	精神(n=53)	45.3	43.4	5.7	-	7.5	9.4	-	5.7	11.3	-
	難病(n=3)	33.3	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-	-
	発達(n=488)	74.6	35.7	2.7	1.8	6.1	3.7	0.2	7.8	2.5	0.8
	高次(n=8)	75.0	25.0	-	12.5	12.5	-	-	-	-	-



参考：前回調査結果 主な介助者・支援者が不在時の対応（18歳以上）



参考：前回調査結果 主な介助者・支援者が不在時の対応（18歳未満）

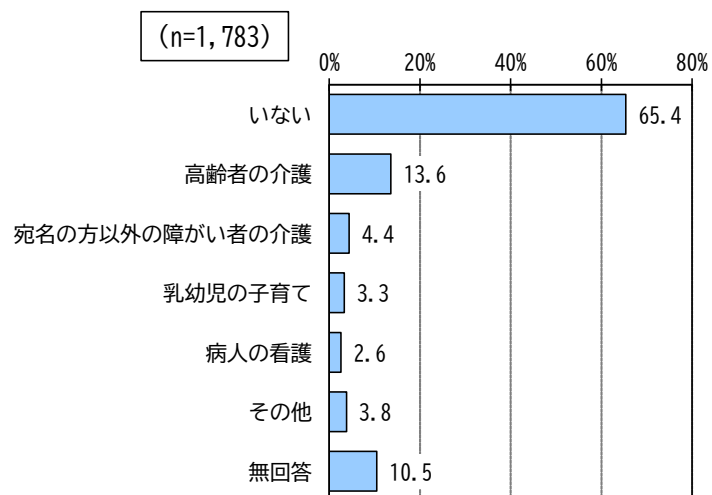


(6) 本人以外に介護や育児等が必要な方

- 本人以外に介護や育児等が必要な方について、18 歳以上の方全体では、「いない」が 65.4%で最も多く、次いで「高齢者の介護」が 13.6%、「宛名の方以外の障がい者の介護」が 4.4%となっています。

【18 歳以上 問 51】あなたは、障がいのある方本人（宛名の方）以外の人を介助、支援等をすることはありますか。（複数回答）

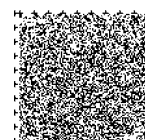
【本人以外に介護や育児等が必要な方（18 歳以上）】



【本人以外に介護や育児等が必要な方（18 歳以上）（障がい種別）】

単位：%

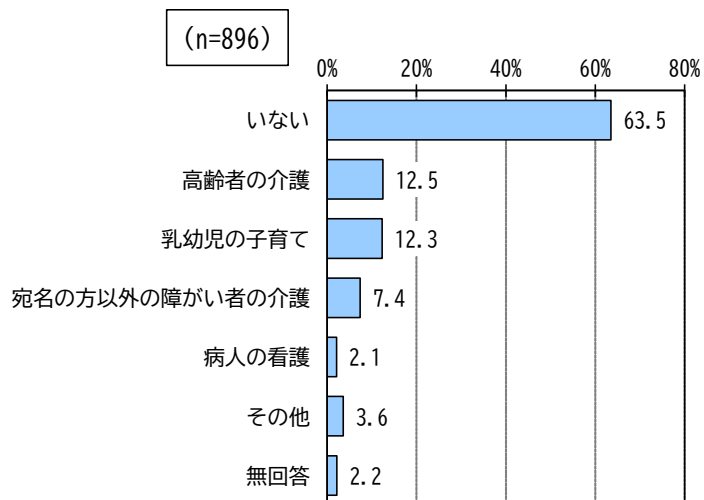
回答者数(人)		高齢者の介護	乳幼児の子育て	病人の看護	宛名の方以外の障がい者の介護	いない	その他	無回答
全体(n=1,783)		13.6	3.3	2.6	4.4	65.4	3.8	10.5
障がい種別	身体(n=952)	12.4	2.9	2.6	3.2	66.9	4.2	11.1
	知的(n=422)	19.7	2.8	3.1	9.0	60.7	4.5	5.2
	精神(n=427)	14.3	3.7	2.6	5.9	61.4	5.2	11.0
	難病(n=378)	13.0	3.4	2.1	1.6	68.0	3.4	10.8
	発達(n=134)	17.2	5.2	1.5	9.0	63.4	3.0	5.2
	高次(n=64)	21.9	6.3	1.6	-	62.5	6.3	4.7



○ 18歳未満の方全体では、「いない」が63.5%で最も多く、次いで「高齢者の介護」が12.5%、「乳幼児の子育て」が12.3%となっています。

【18歳未満 問 53】 あなたは、障がいのある方本人（宛名の方）以外の人を介助、支援等をすることはありますか。（複数回答）

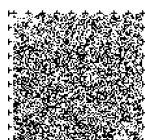
【本人以外に介護や育児等が必要な方（18歳未満）】



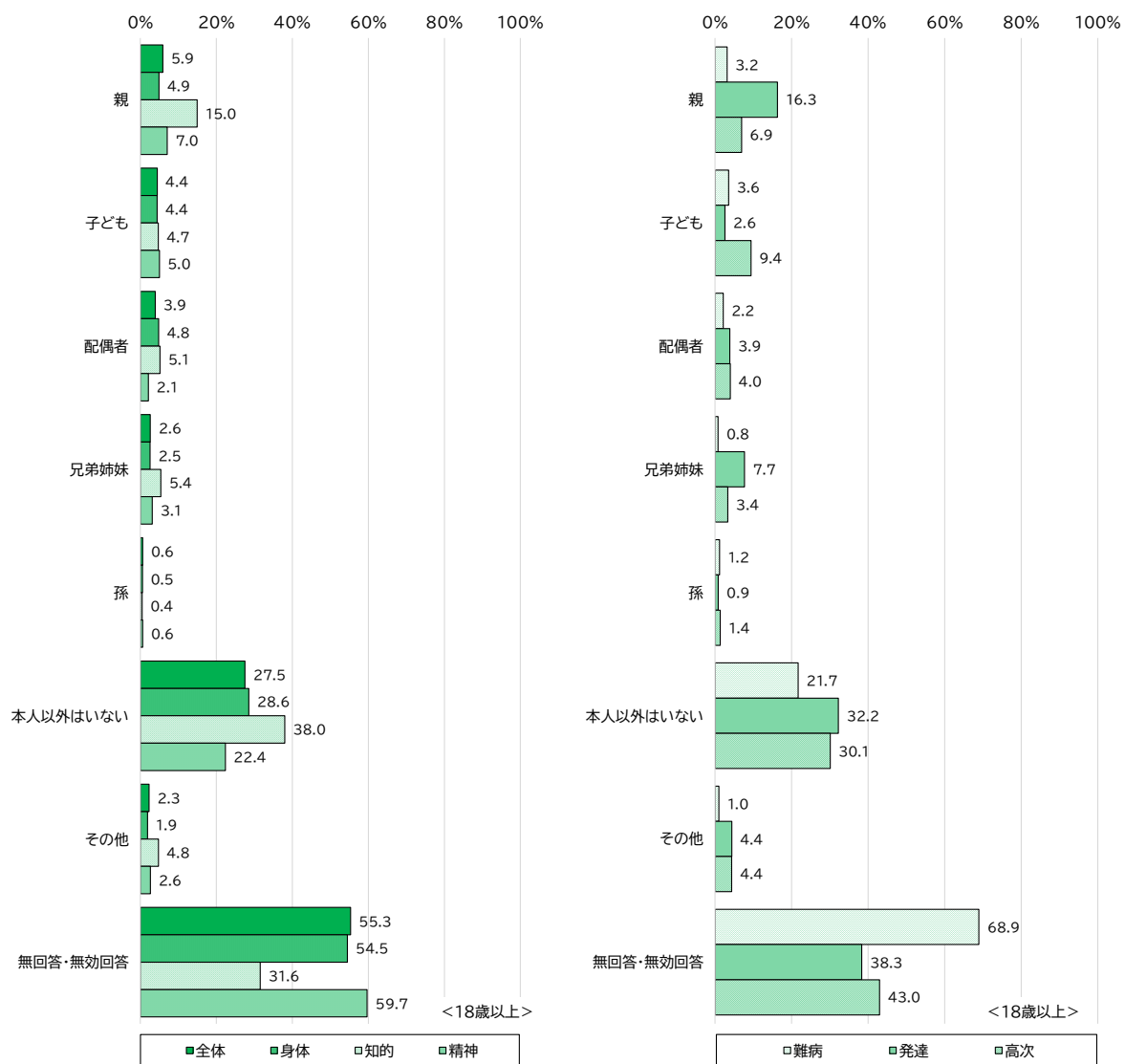
【本人以外に介護や育児等が必要な方（18歳未満）（障がい種別）】

単位：%

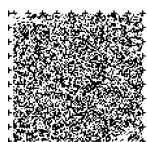
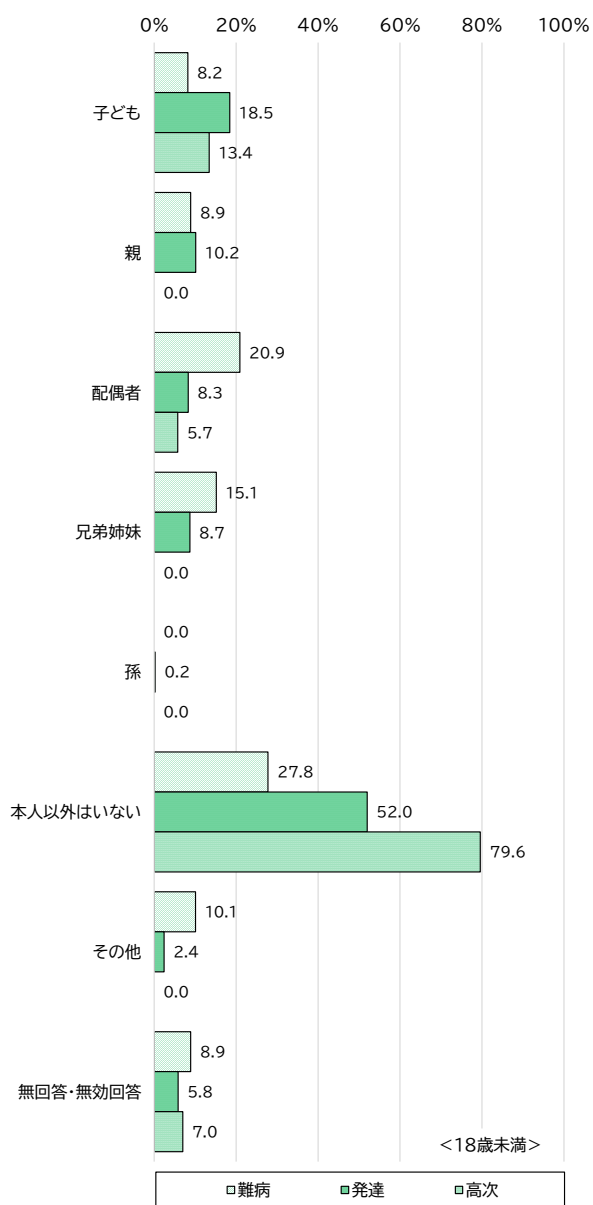
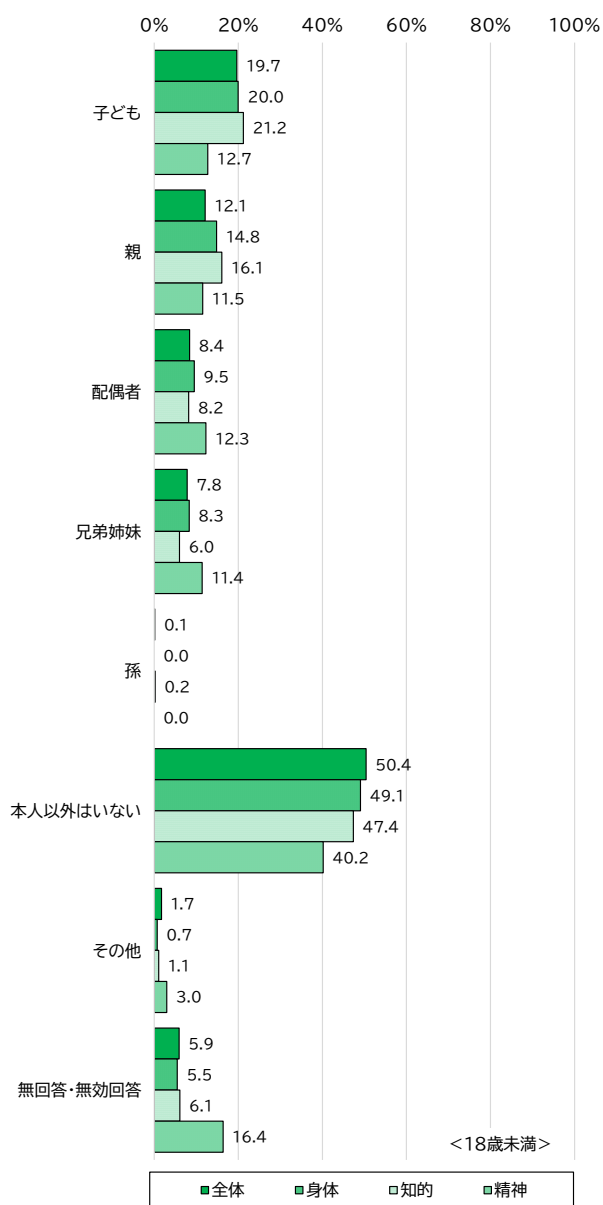
回答者数（人）		高齢者の介護	乳幼児の子育て	病人の看護	宛名の方以外の障がい者の介護	いない	その他	無回答
全体(n=896)		12.5	12.3	2.1	7.4	63.5	3.6	2.2
障がい種別	身体(n=166)	13.3	13.9	1.8	6.6	67.5	1.8	-
	知的(n=496)	13.5	9.9	2.8	7.1	63.7	3.8	2.0
	精神(n=53)	13.2	9.4	-	13.2	54.7	15.1	-
	難病(n=3)	33.3	-	-	33.3	33.3	-	-
	発達(n=488)	12.9	13.5	2.7	8.4	59.8	4.9	1.4
	高次(n=8)	-	25.0	-	-	75.0	-	-



参考：前回調査結果 本人以外に介護や育児等が必要な方（18歳以上）



参考：前回調査結果 本人以外に介護や育児等が必要な方（18歳未満）

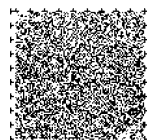
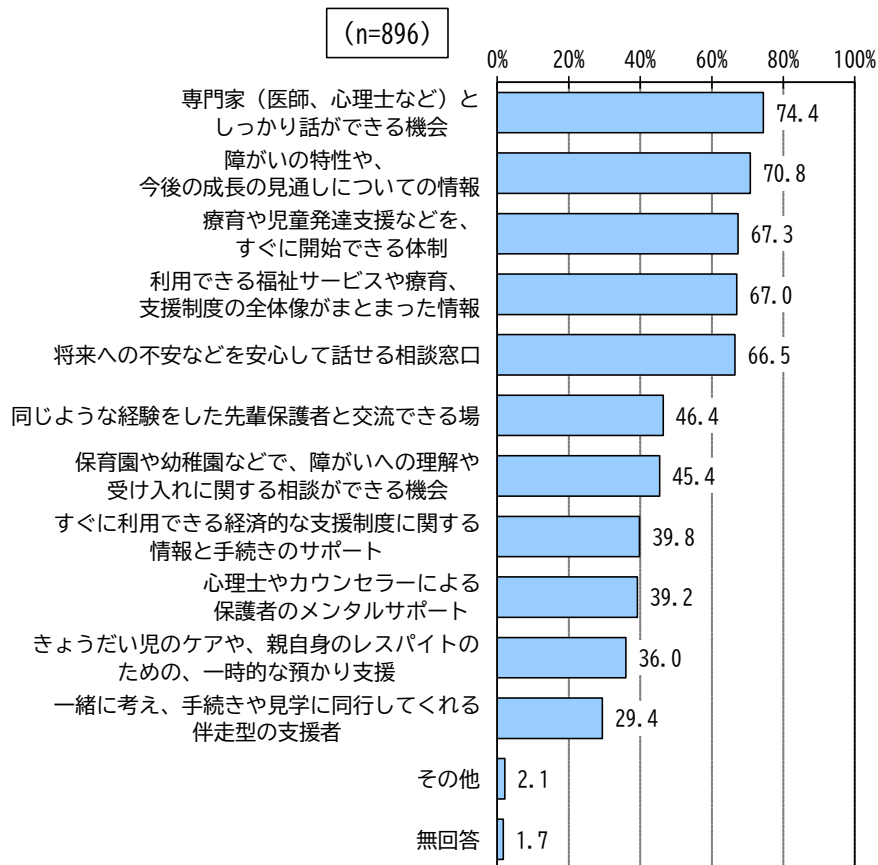


(7) 障がいの疑いや障害認定があったとき、初めに必要なこと (18歳未満)

- 障がいの疑いや障害認定があったとき、初めに必要なことについて、18歳未満の方全体では、「専門家（医師、心理士など）としっかり話ができる機会」が74.4%で最も多く、次いで「障がいの特性や、今後の成長の見通しについての情報」が70.8%、「療育や児童発達支援などを、すぐに開始できる体制」が67.3%となっています。

【18歳未満 問54】 障がいの疑いや障害認定があったとき、初めにどのようなことが必要だと思いますか。
(複数回答)

【障がいの疑いや障害認定があったとき、初めに必要なこと (18歳未満)】

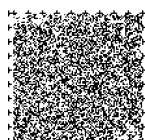


【障がいの疑いや障害認定があったとき、初めに必要なこと（18歳未満）（障がい種別）】

単位：％

回答者数（人）		専門家（医師、心理士など）と しっかり話ができる機会	将来への不安などを 安心して話せる相談窓口	同じような経験をした 先輩保護者と交流できる場	障がいの特性や、今後の成長の 見通しについての情報	利用できる福祉サービスや 療育、支援制度の全体像が まとまった情報	療育や児童発達支援などを、 すぐに開始できる体制
全体(n=896)		74.4	66.5	46.4	70.8	67.0	67.3
障 が い 種 別	身体(n=166)	74.1	63.3	54.8	71.1	67.5	57.8
	知的(n=496)	72.2	68.5	50.4	72.8	72.2	70.8
	精神(n=53)	77.4	71.7	43.4	69.8	64.2	71.7
	難病(n=3)	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	－
	発達(n=488)	75.8	67.6	45.1	72.5	68.9	69.9
	高次(n=8)	87.5	62.5	50.0	75.0	62.5	62.5

		一緒に考え、手続きや見学に 同行してくれる伴走型の支援者	心理士やカウンセラーに よる保護者のメンタルサポート	保育園や幼稚園などで、 障がいへの理解や受け入れに 関する相談ができる機会	すぐに利用できる経済的な 支援制度に関する情報と 手続きのサポート	きょうだい児のケアや、 親自身のレスパイトのための、 一時的な預かり支援	その他	無回答
全体		29.4	39.2	45.4	39.8	36.0	2.1	1.7
障 が い 種 別	身体	39.2	36.1	53.0	49.4	41.6	1.8	0.6
	知的	30.6	37.9	45.2	42.7	41.7	2.0	1.2
	精神	34.0	54.7	34.0	52.8	47.2	5.7	－
	難病	－	33.3	33.3	33.3	－	－	－
	発達	30.5	41.4	45.1	38.3	35.9	2.0	1.4
	高次	25.0	62.5	50.0	50.0	50.0	12.5	－

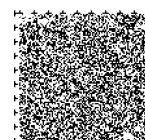


【障がいの疑いや障害認定があったとき、初めに必要なこと（18歳未満）（回答者別）】

単位：％

回答者数（人）		専門家（医師、心理士など）と しっかり話ができる機会	将来への不安などを 安心して話せる相談窓口	同じような経験をした 先輩保護者と交流できる場	障がいの特性や、今後の成長の 見通しについての情報	利用できる福祉サービスや 療育、支援制度の全体像が まとまった情報	療育や児童発達支援などを、 すぐに開始できる体制
全体(n=896)		74.4	66.5	46.4	70.8	67.0	67.3
回答者別	本人(n=32)	84.4	56.3	43.8	59.4	46.9	37.5
	本人の意見を 聞いて家族回答 (n=314)	70.4	65.9	44.3	69.1	59.9	60.5
	本人の意向を 考えて家族回答 (n=516)	76.6	67.8	47.7	72.3	73.3	72.9

		一緒に考え、手続きや見学に 同行してくれる伴走型の支援者	心理士やカウンセラーに よる保護者のメンタルサポート	保育園や幼稚園などで、 障がいへの理解や受け入れに 関する相談ができる機会	手続きのサポート	きょうだい児のケアや、 親自身のレスパイトのための、 一時的な預かり支援	その他	無回答
全体		29.4	39.2	45.4	39.8	36.0	2.1	1.7
回答者別	本人(n=32)	21.9	37.5	40.6	25.0	34.4	-	6.3
	本人の意見を 聞いて家族回答	24.8	38.9	40.1	34.1	29.6	1.9	2.2
	本人の意向を 考えて家族回答	33.3	39.5	49.4	43.8	40.5	2.1	1.2

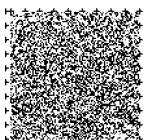
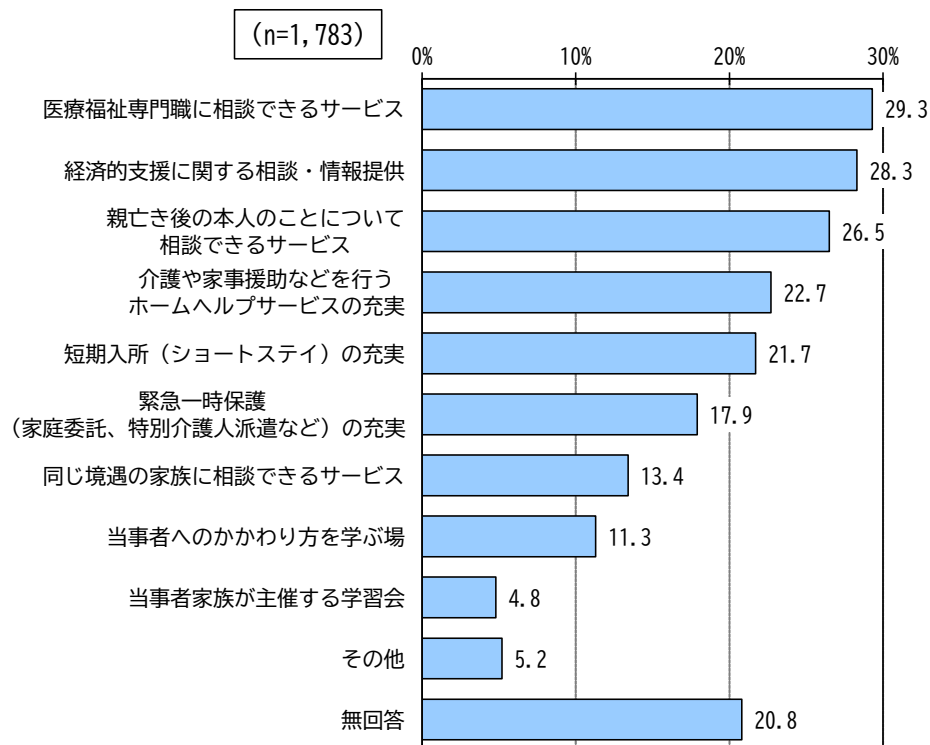


（８）充実を希望する家族に対する支援

- 充実を希望する家族に対する支援について、18 歳以上の方全体では、「医療福祉専門職に相談できるサービス」が 29.3%で最も多く、次いで「経済的支援に関する相談・情報提供」が 28.3%、「親亡き後の本人のことについて相談できるサービス」が 26.5%となっています。

【18 歳以上 問 52】 いつも介助や支援してくれる（助けてくれる）家族に対する支援サービスとして、どのようなことを充実させていけばよいと思いますか。（複数回答）

【充実を希望する家族に対する支援（18 歳以上）】

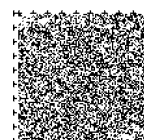


【充実を希望する家族に対する支援（18歳以上）（障がい種別）】

単位：％

回答者数(人)		同じ境遇の家族に 相談できるサービス	医療福祉専門職に 相談できるサービス	当事者家族が 主催する学習会	当事者への かかり方を学ぶ場	経済的支援に関する 相談・情報提供
全体(n=1,783)		13.4	29.3	4.8	11.3	28.3
障がい種別	身体(n=952)	11.6	28.7	3.7	10.1	27.3
	知的(n=422)	16.6	25.1	8.1	13.0	21.6
	精神(n=427)	19.4	34.2	7.0	17.1	37.2
	難病(n=378)	10.1	34.4	2.4	9.3	29.1
	発達(n=134)	21.6	26.1	11.9	19.4	35.8
	高次(n=64)	23.4	35.9	7.8	17.2	35.9
	強行(n=19)	15.8	31.6	10.5	31.6	42.1
重心(n=38)		15.8	31.6	18.4	10.5	28.9

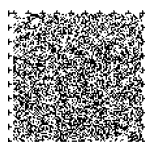
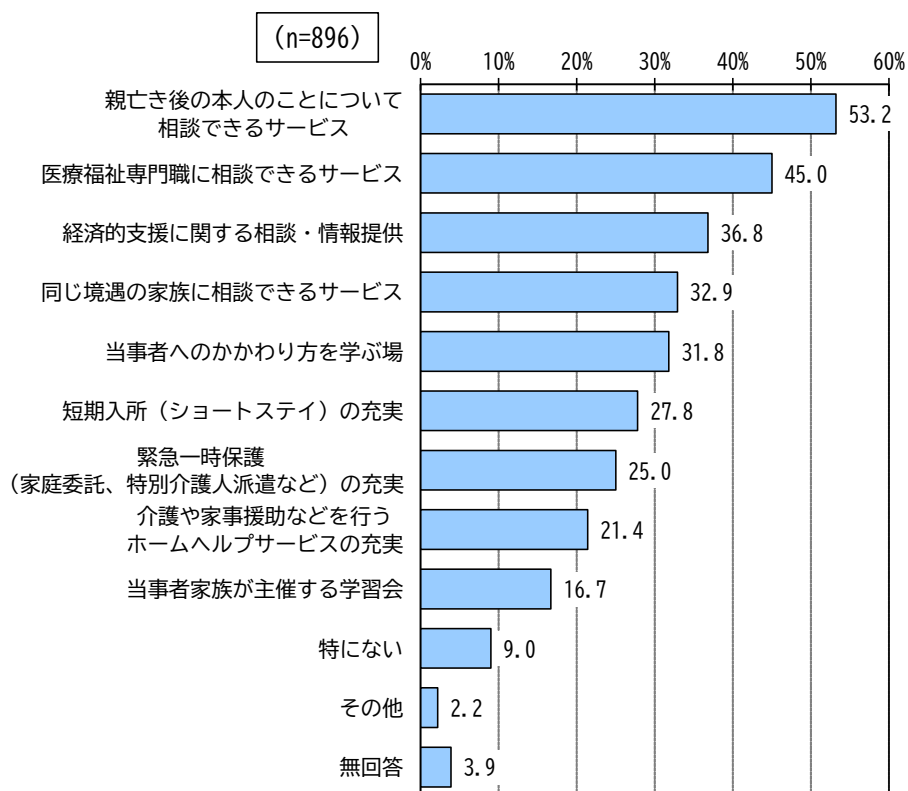
		緊急一時保護（家庭委託、 特別介護人派遣など）の充実	介護や家事援助などを行う ホームヘルプサービスの充実	短期入所（ショートステイ） の充実	親亡き後の本人のことに ついて相談できるサービス	その他	無回答
全体		17.9	22.7	21.7	26.5	5.2	20.8
障がい種別	身体	17.9	25.9	22.7	14.5	4.7	24.4
	知的	28.9	24.6	41.2	65.6	6.2	9.2
	精神	14.1	17.3	15.0	37.7	5.4	16.2
	難病	13.2	20.9	14.8	11.9	5.6	24.6
	発達	25.4	23.9	26.9	64.2	4.5	8.2
	高次	17.2	18.8	17.2	34.4	6.3	12.5
	強行	57.9	47.4	63.2	63.2	10.5	-
重心		52.6	42.1	73.7	71.1	13.2	2.6



- 18 歳未満の方全体では、「親亡き後の本人のことについて相談できるサービス」が 53.2%で最も多く、次いで「医療福祉専門職に相談できるサービス」が 45.0%、「経済的支援に関する相談・情報提供」が 36.8%となっています。

【18 歳未満 問 55】 いつも介助や支援してくれる（助けてくれる）家族に対する支援サービスとして、どのようなことを充実させていけばよいと思いますか。（複数回答）

【充実を希望する家族に対する支援（18 歳未満）】

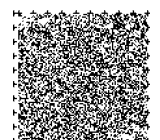


【充実を希望する家族に対する支援（18歳未満）（障がい種別）】

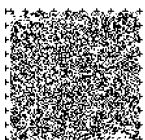
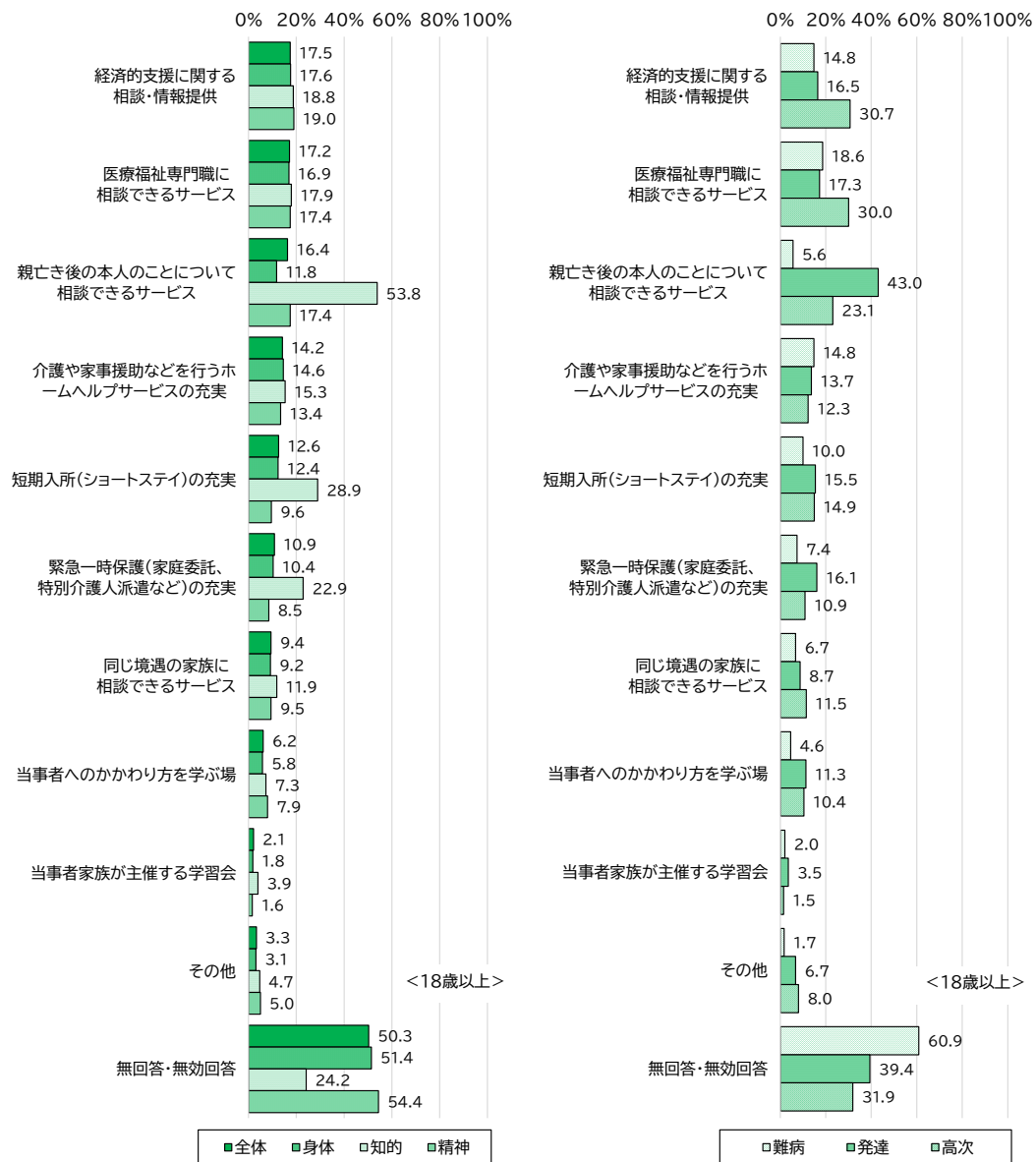
単位：％

回答者数（人）		同じ境遇の家族に 相談できるサービス	医療福祉専門職に 相談できるサービス	当事者家族が 主催する学習会	当事者への かわり方を学ぶ場	経済的支援に関する 相談・情報提供	緊急一時保護（家庭委託、 特別介護人派遣など）の 充実
全体(n=896)		32.9	45.0	16.7	31.8	36.8	25.0
障 が い 種 別	身体(n=166)	38.6	44.0	20.5	23.5	38.0	32.5
	知的(n=496)	31.0	44.0	17.1	29.8	39.9	33.9
	精神(n=53)	43.4	45.3	22.6	39.6	54.7	26.4
	難病(n=3)	33.3	33.3	-	-	33.3	-
	発達(n=488)	32.8	47.3	16.4	36.9	36.7	25.8
	高次(n=8)	50.0	50.0	25.0	25.0	50.0	25.0

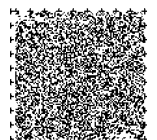
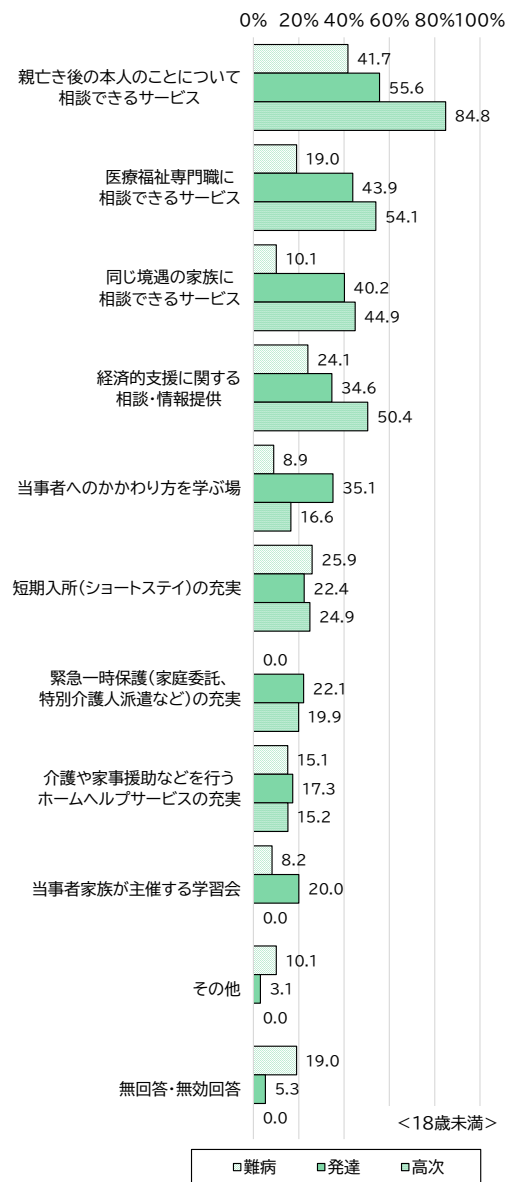
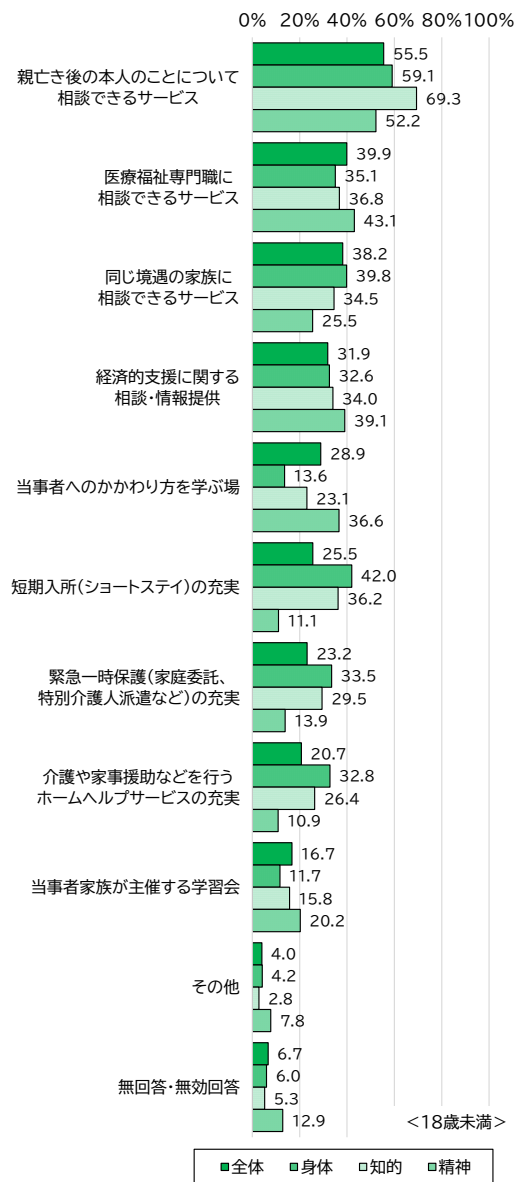
		介護や家事援助などを行う ホームヘルプサービスの充実	短期入所（ショートステイ） の充実	親亡き後の本人のことに ついて相談できるサービス	特 に ない	そ 他	無 回 答
全体		21.4	27.8	53.2	9.0	2.2	3.9
障 が い 種 別	身体	36.1	39.2	56.0	7.8	1.8	3.0
	知的	26.8	40.3	68.5	6.9	2.4	2.4
	精神	20.8	32.1	56.6	3.8	5.7	1.9
	難病	-	-	66.7	-	33.3	-
	発達	20.1	27.3	53.7	7.8	2.5	3.9
	高次	25.0	37.5	50.0	-	12.5	-



参考：前回調査結果 充実を希望する家族に対する支援（18歳以上）



参考：前回調査結果 充実を希望する家族に対する支援（18歳未満）



第4章 アンケート調査結果（サービス提供事業所）

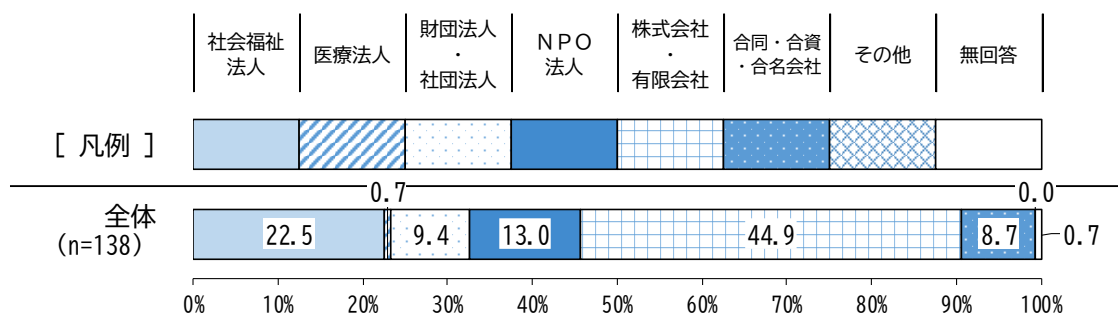
1. 事業所概要について

（1）法人種別

- 法人種別について、「株式会社・有限会社」が44.9%で最も多く、次いで「社会福祉法人」が22.5%、「NPO法人」が13.0%となっています。

【事業所 問1】 貴事業所の運営主体の法人種別をお答えください。（単一回答）

【法人種別】

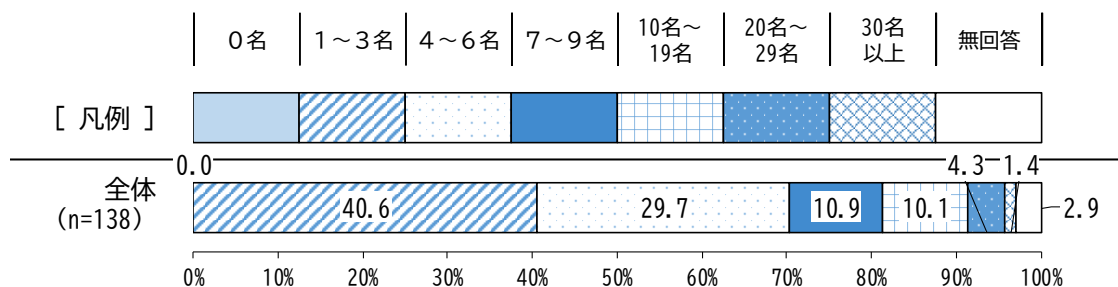


（2）職種別人員

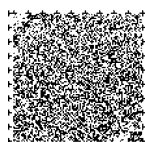
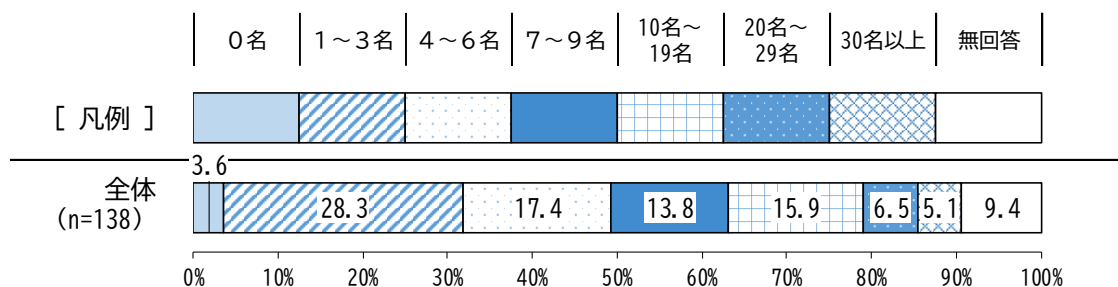
- 職種別人員について、常勤は、「1～3名」が40.6%で最も多く、次いで「4～6名」が29.7%、「7～9名」が10.9%となっています。
- 非常勤は、「1～3名」が28.3%で最も多く、次いで「4～6名」が17.4%、「10名～19名」が13.8%となっています。

【事業所 問2】 貴事業所で働いている「常勤」と「非常勤」の方の11月1日時点の人数をご記入ください。

【職種別人員（常勤）】



【職種別人員（非常勤）】



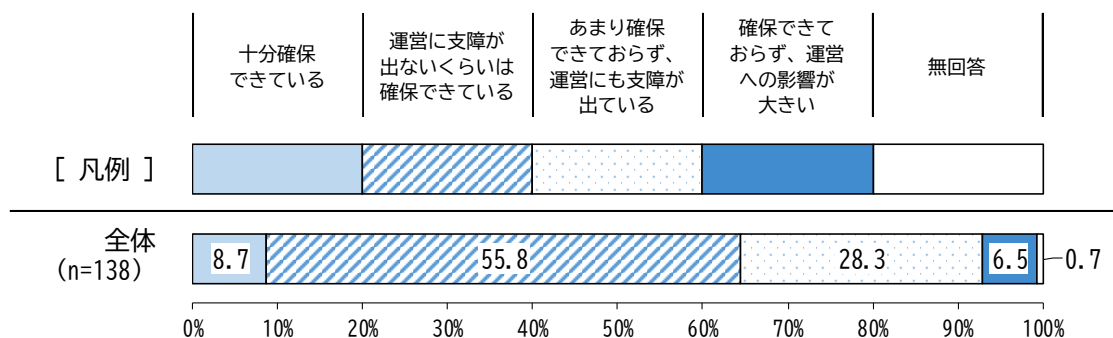
(3) 職員の確保

1) 職員の確保状況

- 職員の確保状況について、「運営に支障が出ないくらいは確保できている」が 55.8%で最も多く、次いで「あまり確保できておらず、運営にも支障が出ている」が 28.3%、「十分確保できている」が 8.7%となっています。

【事業所 問3-1】 貴事業所では、職員の確保状況についてどのように感じていますか。(単一回答)

【職員の確保状況】

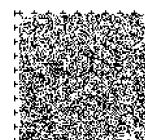
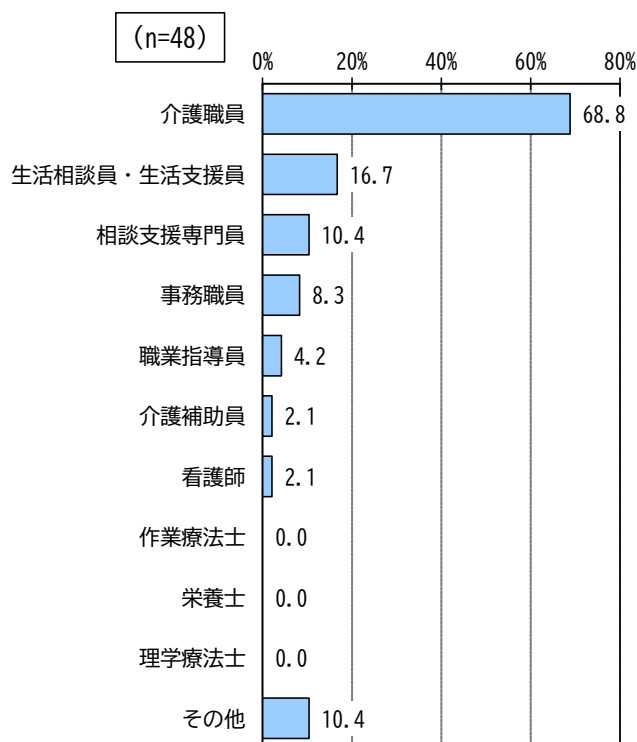


2) 不足している職種

- 不足している職種について、「介護職員」が 68.8%で最も多く、次いで「生活相談員・生活支援員」が 16.7%、「相談支援専門員」が 10.4%となっています。

【事業所 問3-2】 現在、サービスの提供にあたり不足している職種をお答えください。(複数回答)

【不足している職種】

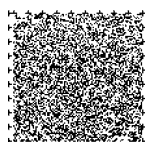
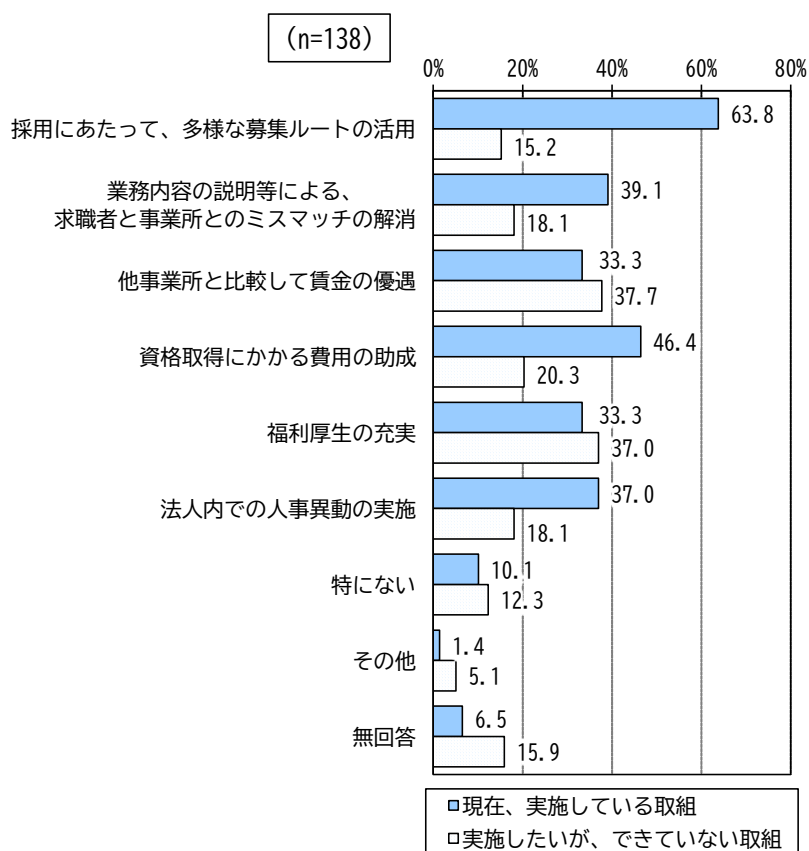


3) 実施している取組・実施したいができていない取組（職員確保）

- 職員の確保において実施している取組について、「採用にあたって、多様な募集ルートを活用」が63.8%で最も多く、次いで「資格取得にかかる費用の助成」が46.4%、「業務内容の説明等による、求職者と事業所とのミスマッチの解消」が39.1%となっています。
- 実施したいができていない取組について、「他事業所と比較して賃金の優遇」が37.7%で最も多く、次いで「福利厚生の充実」が37.0%、「資格取得にかかる費用の助成」が20.3%となっています。

【事業所 問3-3】 貴事業所では、職員を確保するために、「(1)現在、実施している取組」は何ですか。また、「(2)実施したいが、できていない取組」は何ですか。（それぞれ複数回答）

【実施している取組・実施したいができていない取組（職員確保）】

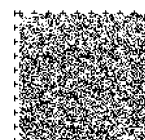
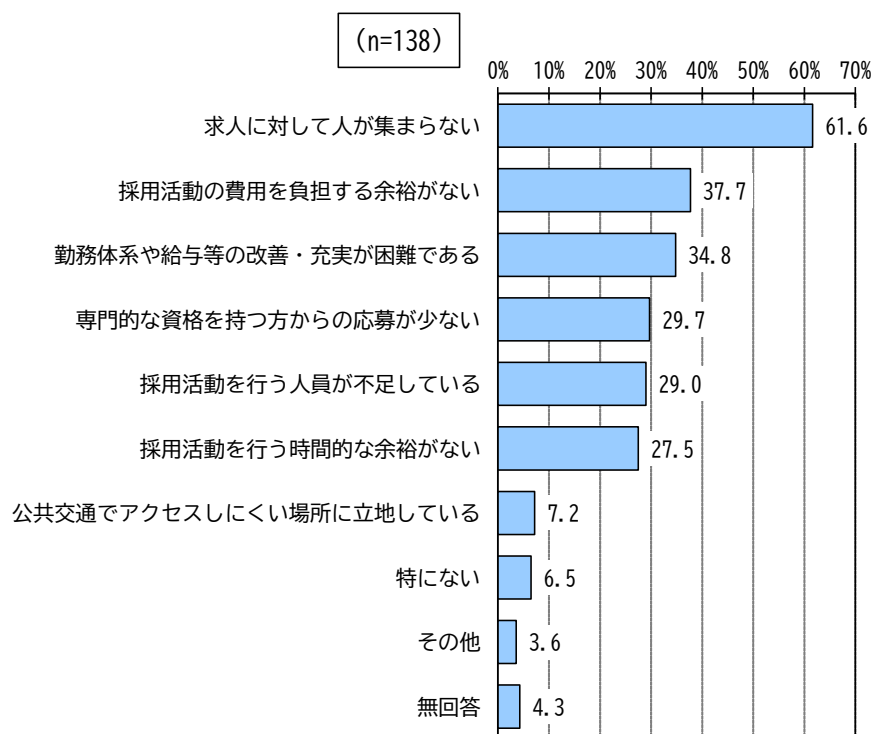


4) 職員確保の課題

- 職員確保の課題について、「求人に対して人が集まらない」が 61.6%で最も多く、次いで「採用活動の費用を負担する余裕がない」が 37.7%、「勤務体系や給与等の改善・充実が困難である」が 34.8%となっています。

【事業所 問3-4】 貴事業所での職員の確保における課題は何ですか。(複数回答)

【職員確保の課題】



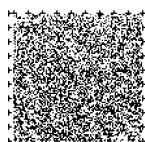
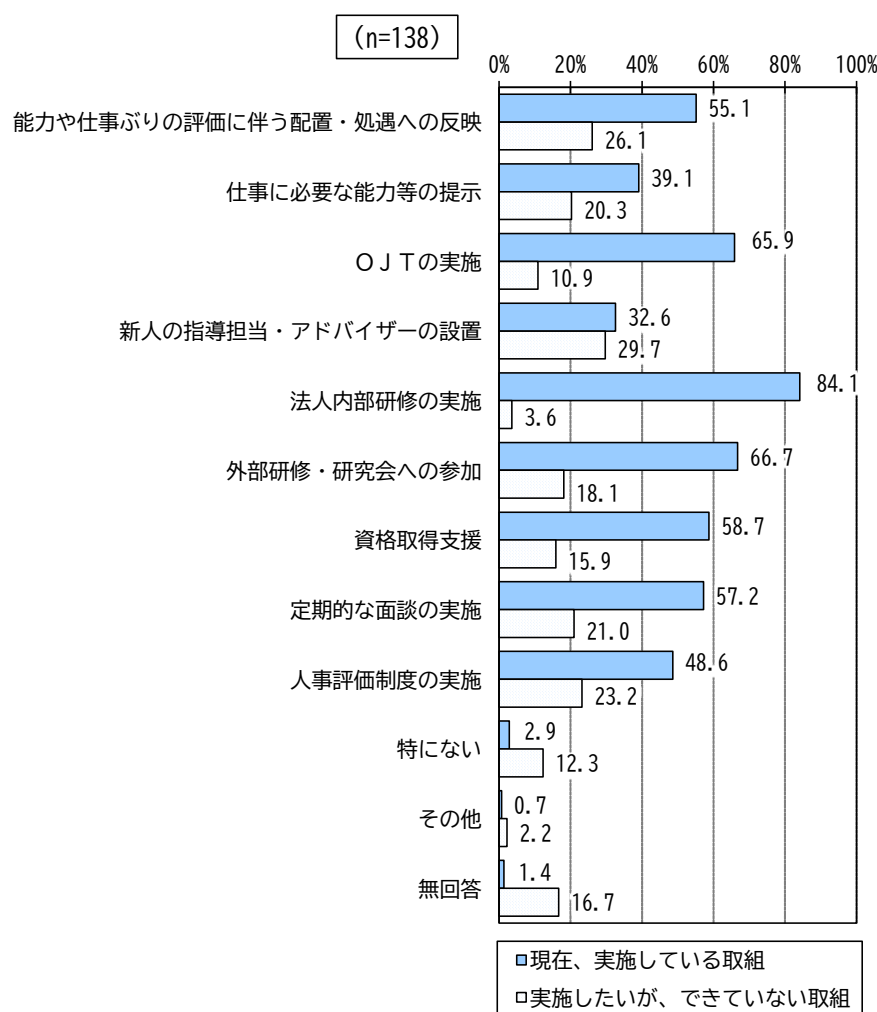
(4) 職員の育成

1) 実施している取組・実施したいができていない取組（職員育成）

- 職員の育成において実施している取組について、「法人内部研修の実施」が 84.1%で最も多く、次いで「外部研修・研究会への参加」が 66.7%、「OJTの実施」が 65.9%となっています。
- 実施したいができていない取組について、「新人の指導担当・アドバイザーの設置」が 29.7%で最も多く、次いで「能力や仕事ぶりの評価に伴う配置・処遇への反映」が 26.1%、「人事評価制度の実施」が 23.2%となっています。

【事業所 問 4-1】 貴事業所では、職員の育成のために、「(1) 現在、実施している取組」は何ですか。また、「(2) 実施したいが、できていない取組」は何ですか。（それぞれ複数回答）

【実施している取組・実施したいができていない取組（職員育成）】

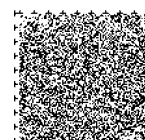
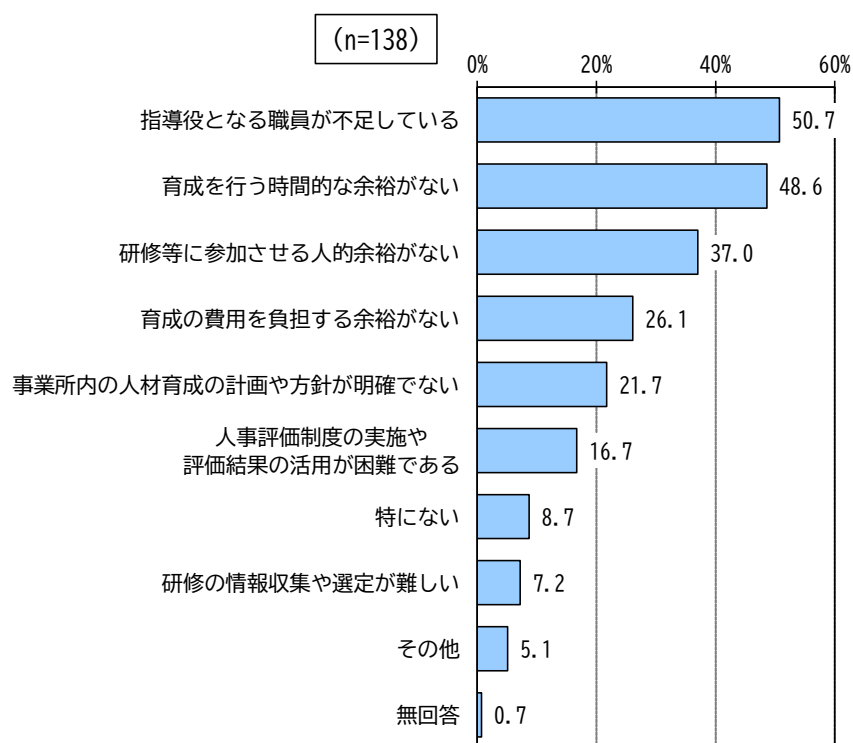


2) 職員育成の課題

- 職員育成の課題について、「指導役となる職員が不足している」が 50.7%で最も多く、次いで「育成を行う時間的な余裕がない」が 48.6%、「研修等に参加させる人的余裕がない」が 37.0%となっています。

【事業所 問4-2】 貴事業所での職員の育成における課題は何ですか。(複数回答)

【職員育成の課題】



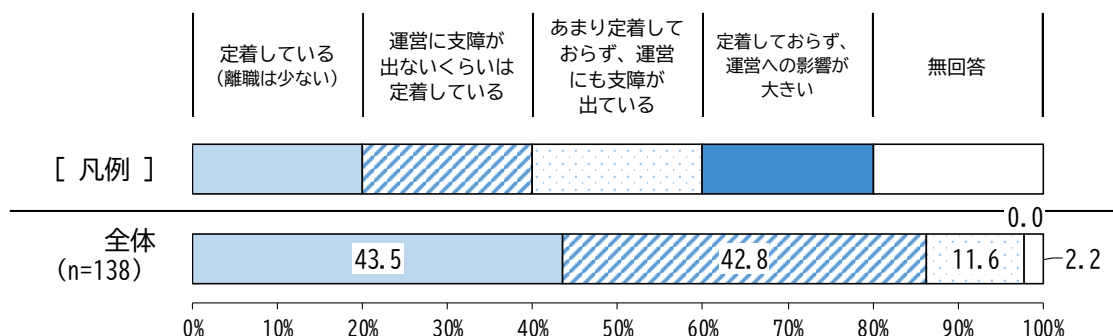
(5) 職員の定着

1) 職員の定着状況

- 職員の定着状況について、「定着している（離職は少ない）」が 43.5%で最も多く、次いで「運営に支障が出ないくらいは定着している」が 42.8%、「あまり定着しておらず、運営にも支障が出ている」が 11.6%となっています。

【事業所 問5-1】 貴事業所では、職員の定着状況についてどのように感じていますか。（単一回答）

【職員の定着状況】

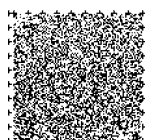
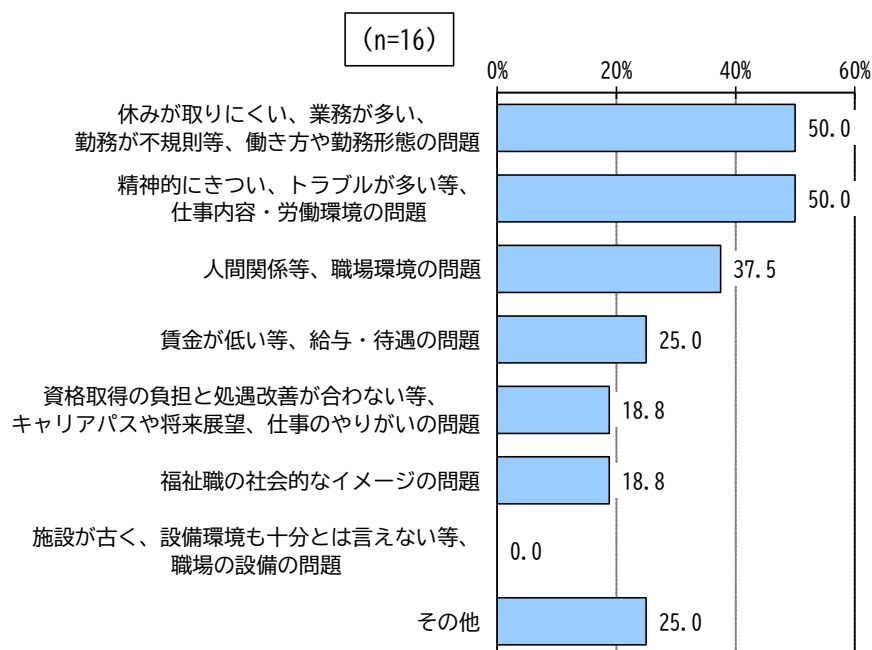


2) 定着率が低い主な原因

- 定着率が低い主な原因について、「休みが取りにくい、業務が多い、勤務が不規則等、働き方や勤務形態の問題」「精神的にきつい、トラブルが多い等、仕事内容・労働環境の問題」が 50.0%で最も多く、次いで「人間関係等、職場環境の問題」が 37.5%、「賃金が低い等、給与・待遇の問題」が 25.0%となっています。

【事業所 問5-2】 定着率が低い・離職率が高い主な原因はどこにあると考えていますか。（複数回答）

【定着率が低い主な原因】

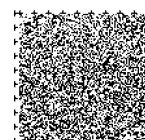
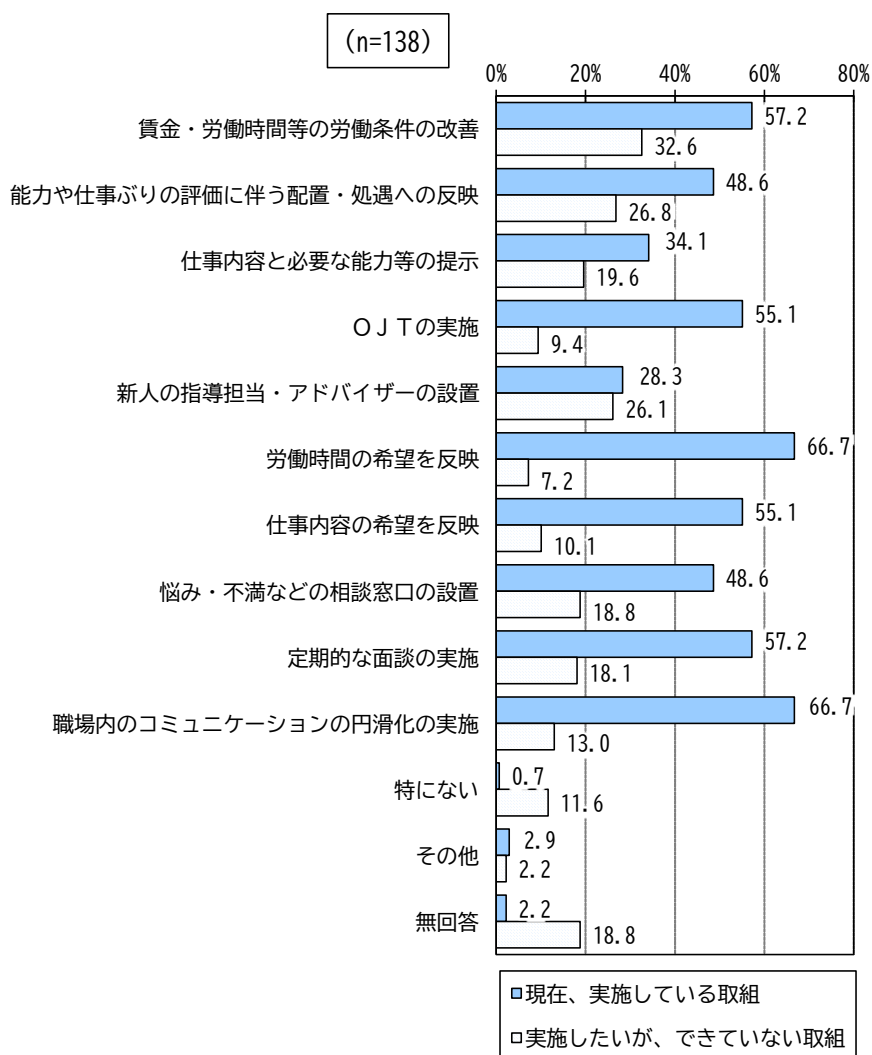


3) 実施している取組・実施したいができていない取組（職員定着）

- 職員の定着のため実施している取組について、「労働時間の希望を反映」「職場内のコミュニケーションの円滑化の実施」が66.7%で最も多く、次いで「賃金・労働時間等の労働条件の改善」「定期的な面談の実施」が57.2%、「OJTの実施」「仕事内容の希望を反映」が55.1%となっています。
- 実施したいができていない取組について、「賃金・労働時間等の労働条件の改善」が32.6%で最も多く、次いで「能力や仕事ぶりの評価に伴う配置・処遇への反映」が26.8%、「新人の指導担当・アドバイザーの設置」が26.1%となっています。

【事業所 問5-3】 貴事業所では、職員の定着のために、「(1)現在、実施している取組」は何ですか。また、「(2)実施したいが、できていない取組」は何ですか。（それぞれ複数回答）

【実施している取組・実施したいができていない取組（職員定着）】

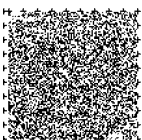
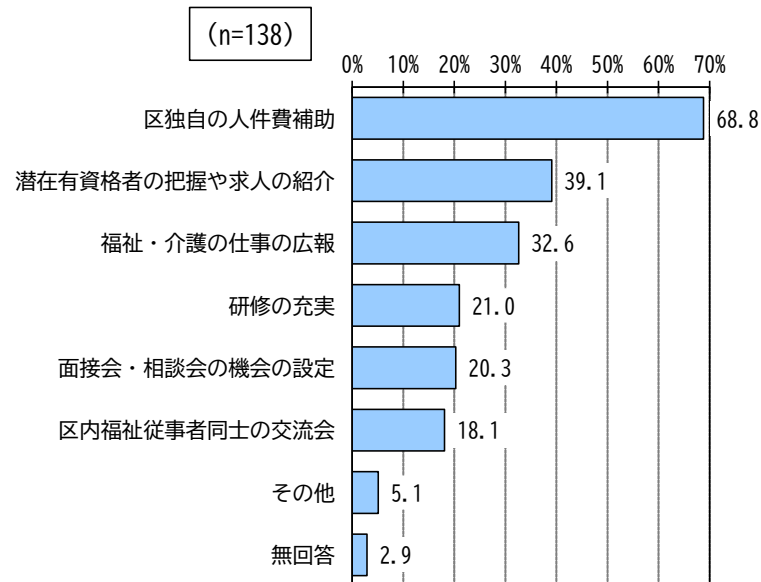


（６）福祉人材の確保・育成・定着に必要な支援施策

- 福祉人材の確保・育成・定着に必要な支援施策について、「区独自の人件費補助」が 68.8%で最も多く、次いで「潜在有資格者の把握や求人の紹介」が 39.1%、「福祉・介護の仕事の広報」が 32.6%となっています。

【事業所 問 6】 福祉人材の確保・育成・定着に向けて区に望む支援施策は何ですか。（複数回答）

【福祉人材の確保・育成・定着に必要な支援施策】

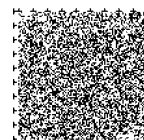
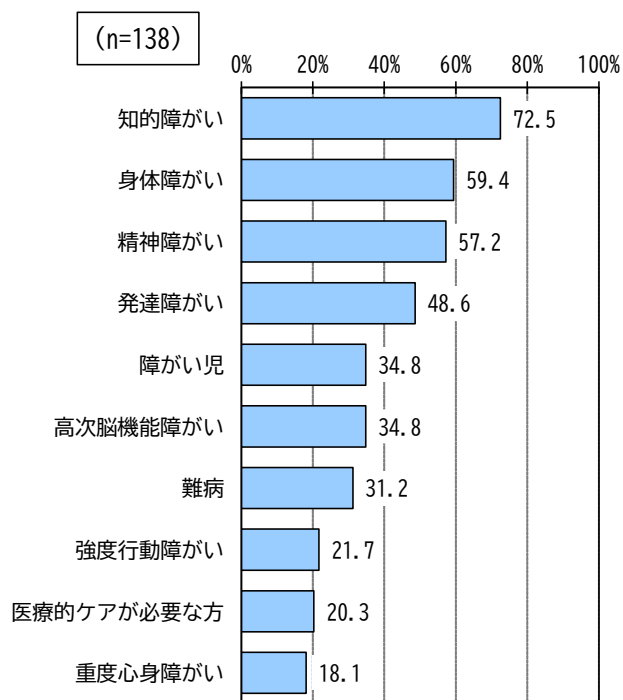


(7) 対応している障がい種別

- 対応障がい種別について、「知的障がい」が 72.5%で最も多く、次いで「身体障がい」が 59.4%、「精神障がい」が 57.2%となっています。

【事業所 問7】 貴事業所において、対応している障がい種別等は何ですか。(複数回答)

【対応している障がい種別】



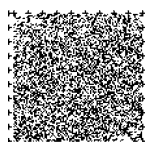
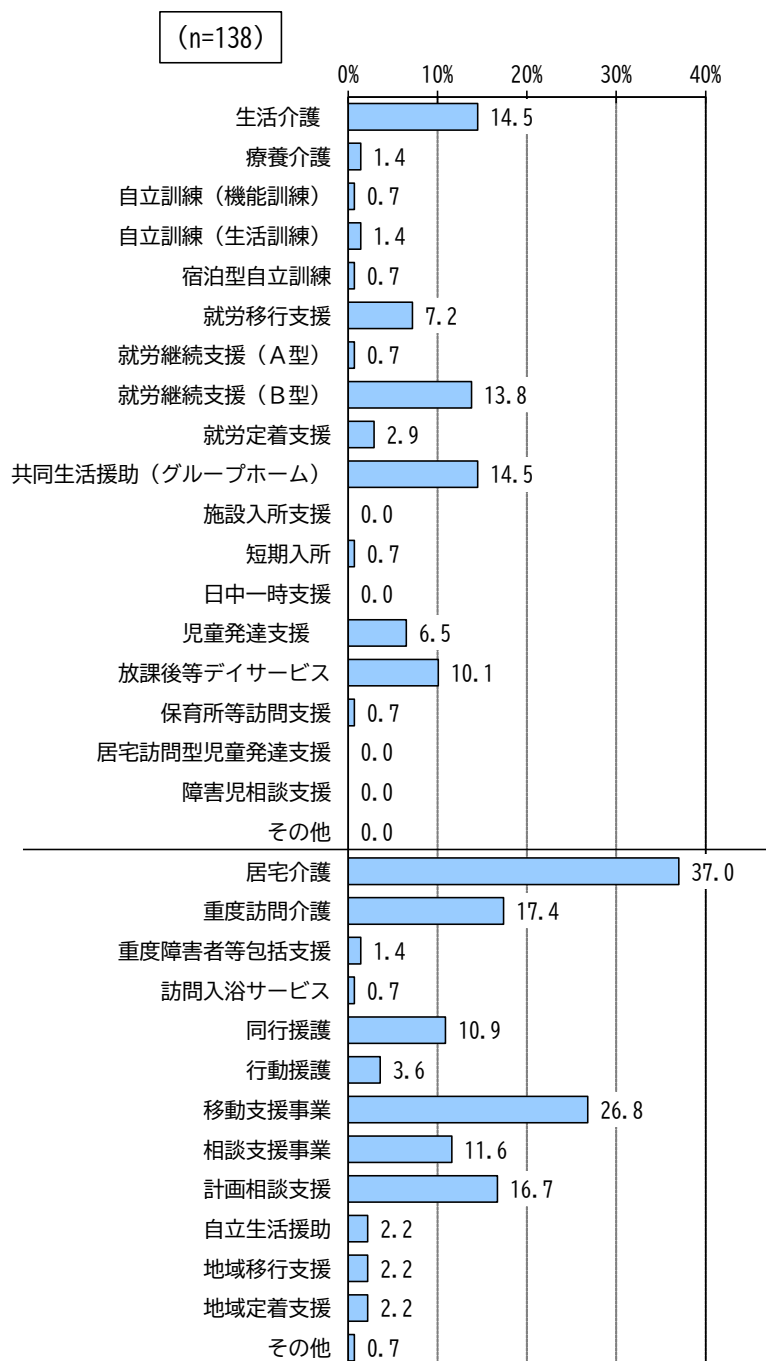
2. 提供サービスについて

(1) 現在提供しているサービス

- 現在提供しているサービスについて、「居宅介護」が 37.0%で最も多く、次いで「移動支援事業」が 26.8%、「重度訪問介護」が 17.4%となっています。

【事業所 問8-1、2】(1) 現在、貴事業所が提供している障がい者（児）に対するサービス

【現在提供しているサービス】



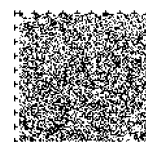
(2) 現在提供しているサービスの定員数及び利用人数

- 現在提供しているサービスの1日の定員数合計について、「就労継続支援（B型）」が 655 人/日の定員数で最も多く、次いで「生活介護」が 430.2 人/日、「共同生活援助（グループホーム）」が 244 人/日となっています。
- また、定員数の合計が 100 人/日以上サービスのうち、「共同生活援助（グループホーム）」及び「放課後等デイサービス」において、定員数の合計と実利用者数の合計が近い値となっています。

【事業所 問 8-1】(1) 現在、貴事業所が提供している障がい者（児）に対するサービスについて、
① 1日の定員数と、② 平均的な1日の利用者数について教えてください。

【現在提供しているサービスの定員数及び利用人数】

サービスの種類		回答事業所数 (箇所)	1日の定員数合計 (人/日)	1日の利用者数合計 (人/日)
日中の活動 の支援（通所）	生活介護	81	430.2	330.7
	療養介護	76	3	3
自立のための 訓練	自立訓練（機能訓練）	77	1	1
	自立訓練（生活訓練）	77	15	15
	宿泊型自立訓練	77	30	26
働くための 支援	就労移行支援	83	121	89
	就労継続支援（A型）	77	20	38
	就労継続支援（B型）	88	655	492.9
	就労定着支援	81	74	30
住む場所の 提供と支援	共同生活援助 （グループホーム）	86	244	228
	施設入所支援	75	0	0
一時預かり	短期入所	75	3	3
	日中一時支援	75	5	5
障害児支援	児童発達支援	75	78	54.5
	放課後等デイサービス	80	126	107.5
	保育所等訪問支援	75	10	0
	居宅訪問型児童発達支援	74	0	0
	障害児相談支援	75	0	0
その他	その他	56	0	5



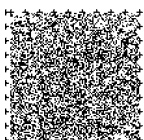
(3) 今後3年間のサービス提供の見込み

- 今後3年間のサービス提供の見込みについて、「拡大」の回答が比較的高かったのは、「生活介護」「就労継続支援（B型）」「共同生活援助（グループホーム）」「居宅介護」「重度訪問介護」「同行援護」「移動支援事業」となっています。
- 一方で「縮小」の回答が比較的高かったのは、「生活介護」「居宅介護」「移動支援事業」となっています。

【事業所 問8-1、8-2】(2) 今後3年間のサービス提供の見込みを教えてください。(単一回答)

【今後3年間のサービス提供の見込み】

サービスの種類		回答 事業所数 (箇所)	今後3年間のサービス提供の見込み (%)						
			拡大	新設	縮小	廃止	現状維持	検討中	無回答
日中の活動 の支援(通所)	生活介護	53	5.8	0.7	2.9	0.7	23.2	5.1	61.6
	療養介護	37	2.2	-	0.7	1.4	18.8	3.6	73.2
自立のための 訓練	自立訓練(機能訓練)	36	-	0.7	0.7	2.2	19.6	2.9	73.9
	自立訓練(生活訓練)	34	0.7	0.7	0.7	2.2	17.4	2.9	75.4
	宿泊型自立訓練	34	-	0.7	0.7	1.4	19.6	2.2	75.4
働くための 支援	就労移行支援	44	0.7	-	0.7	1.4	24.6	4.3	68.1
	就労継続支援(A型)	33	0.7	-	0.7	1.4	18.1	2.9	76.1
	就労継続支援(B型)	48	3.6	-	1.4	1.4	24.6	3.6	65.2
	就労定着支援	40	-	-	-	1.4	24.6	2.9	71.1
住む場所の 提供と支援	共同生活援助 (グループホーム)	48	3.6	-	-	2.2	23.9	5.1	65.2
	施設入所支援	32	-	-	1.4	1.4	17.4	2.9	76.8
一時預かり	短期入所	33	0.7	-	-	1.4	19.6	2.2	76.1
	日中一時支援	34	-	-	-	1.4	19.6	3.6	75.4
障害児支援	児童発達支援	40	1.4	1.4	-	1.4	20.3	4.3	71.1
	放課後等デイサービス	42	1.4	-	-	1.4	19.6	8	69.6
	保育所等訪問支援	34	-	0.7	-	1.4	19.6	2.9	75.4
	居宅訪問型児童発達支援	32	-	-	-	1.4	18.8	2.9	76.8
	障害児相談支援	34	0.7	-	-	1.4	19.6	2.9	75.4
その他	その他	27	0.7	-	-	1.4	15.9	1.4	80.4
自宅での 生活支援 (ホーム ヘルプ等)	居宅介護	80	10.9	0.7	4.3	1.4	36.2	4.3	42
	重度訪問介護	66	5.8	-	1.4	2.2	31.9	6.5	52.2
	重度障害者等包括支援	47	1.4	-	-	1.4	25.4	5.8	65.9
	訪問入浴サービス	44	-	-	-	1.4	26.8	3.6	68.1
外出・移動の サポート	同行援護	57	5.1	0.7	1.4	2.9	29	2.2	58.7
	行動援護	48	2.2	0.7	-	2.2	26.8	2.9	65.2
	移動支援事業	68	5.1	0.7	2.2	0.7	35.5	5.1	50.7
相談支援・ サービス 利用計画 の作成	相談支援事業	57	0.7	2.2	-	2.9	29.7	5.8	58.7
	計画相談支援	59	1.4	2.2	-	2.9	30.4	5.8	57.2
地域で生活する ための支援	自立生活援助	45	0.7	0.7	-	1.4	27.5	2.2	67.4
	地域移行支援	46	-	-	-	0.7	30.4	2.2	66.7
	地域定着支援	47	-	-	-	1.4	30.4	2.2	65.9
その他	その他	36	-	-	-	1.4	23.9	0.7	73.9



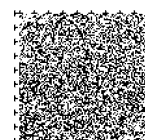
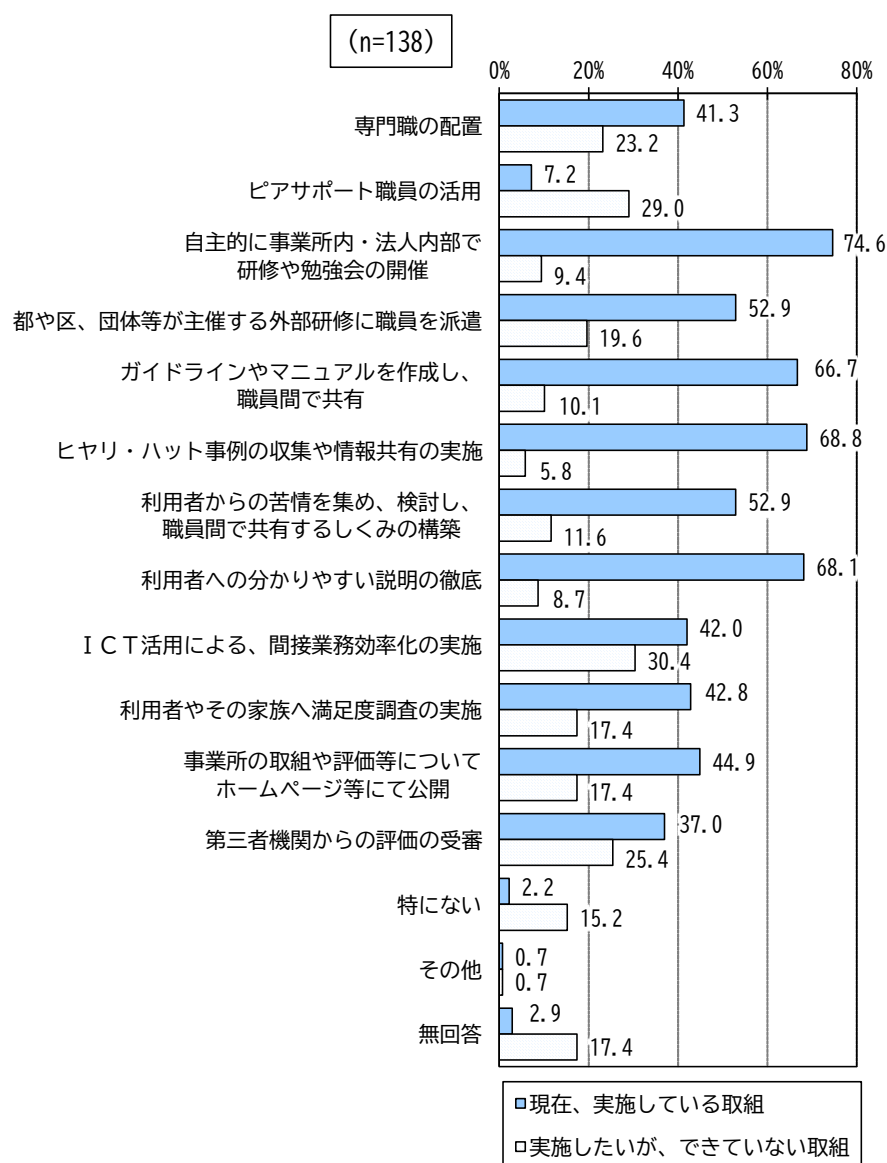
(4) サービスの質の向上の取組

1) 実施している取組・実施したいができていない取組（サービスの質の向上）

- サービスの質の向上のため実施している取組について、「自主的に事業所内・法人内部で研修や勉強会の開催」が74.6%で最も多く、次いで「ヒヤリ・ハット事例の収集や情報共有の実施」が68.8%、「利用者への分かりやすい説明の徹底」が68.1%となっています。
- 実施したいができていない取組について、「ICT活用による、間接業務効率化の実施」が30.4%で最も多く、次いで「ピアサポート職員の活用」が29.0%、「第三者機関からの評価の受審」が25.4%となっています。

【事業所 問9-1】 貴事業所では、現在提供しているサービスの質の向上のために、「(1)現在、実施している取組」は何ですか。また、「(2)実施したいが、できていない取組」は何ですか。（それぞれ複数回答）

【実施している取組・実施したいができていない取組（サービスの質の向上）】

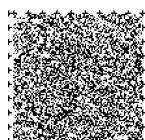
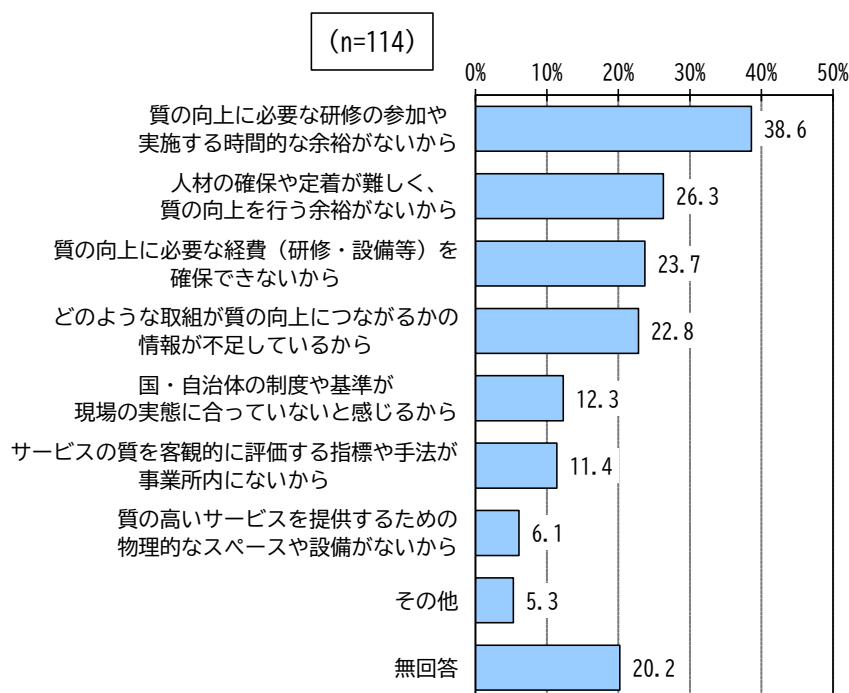


2) サービスの質の向上の取組を実施できていない理由

- サービスの質の向上の取組を実施できていない理由について、「質の向上に必要な研修の参加や実施する時間的な余裕がないから」が38.6%で最も多く、次いで「人材の確保や定着が難しく、質の向上を行う余裕がないから」が26.3%、「質の向上に必要な経費（研修・設備等）を確保できないから」が23.7%となっています。

【事業所 問9-2】 実施できていない理由は何ですか。（複数回答）

【サービスの質の向上の取組を実施できていない理由】

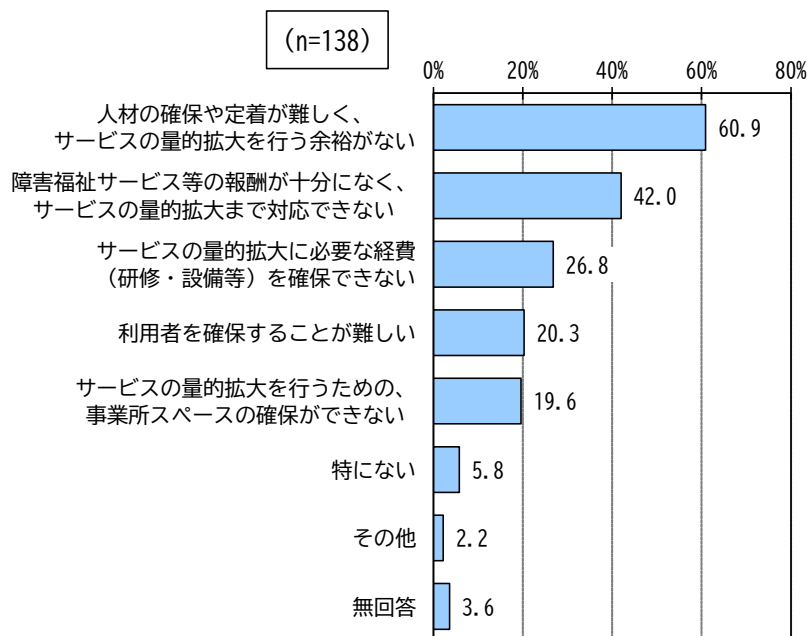


(5) サービスの量的拡大に向けた課題

- サービスの量的拡大に向けた課題について、「人材の確保や定着が難しく、サービスの量的拡大を行う余裕がない」が 60.9%で最も多く、次いで「障害福祉サービス等の報酬が十分になく、サービスの量的拡大まで対応できない」が 42.0%、「サービスの量的拡大に必要な経費（研修・設備等）を確保できない」が 26.8%となっています。

【事業所 問 10】 サービスの量的拡大に向けた課題はありますか。（複数回答）

【サービスの量的拡大に向けた課題】



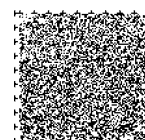
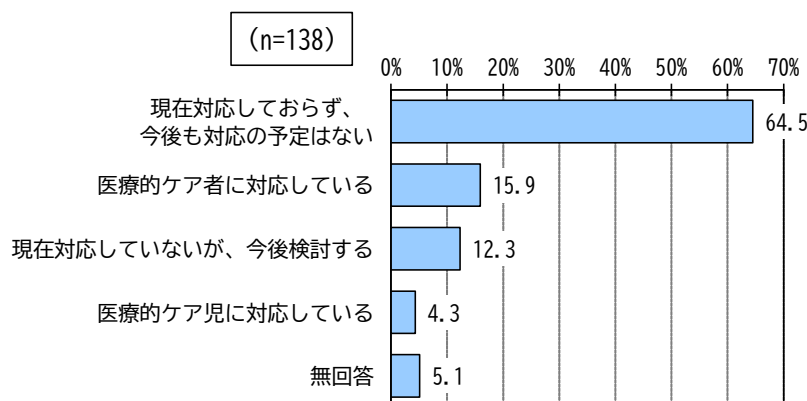
(6) 医療的ケアへの対応

1) 医療的ケアへの対応状況

- 医療的ケアへの対応状況について、「現在対応しておらず、今後とも対応の予定はない」が 64.5%で最も多く、次いで「医療的ケア者に対応している」が 15.9%、「現在対応していないが、今後検討する」が 12.3%となっています。

【事業所 問 11-1】 貴事業所では、「医療的ケア」に対応していますか。（複数回答）

【医療的ケアへの対応状況】

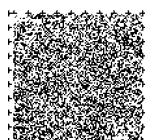
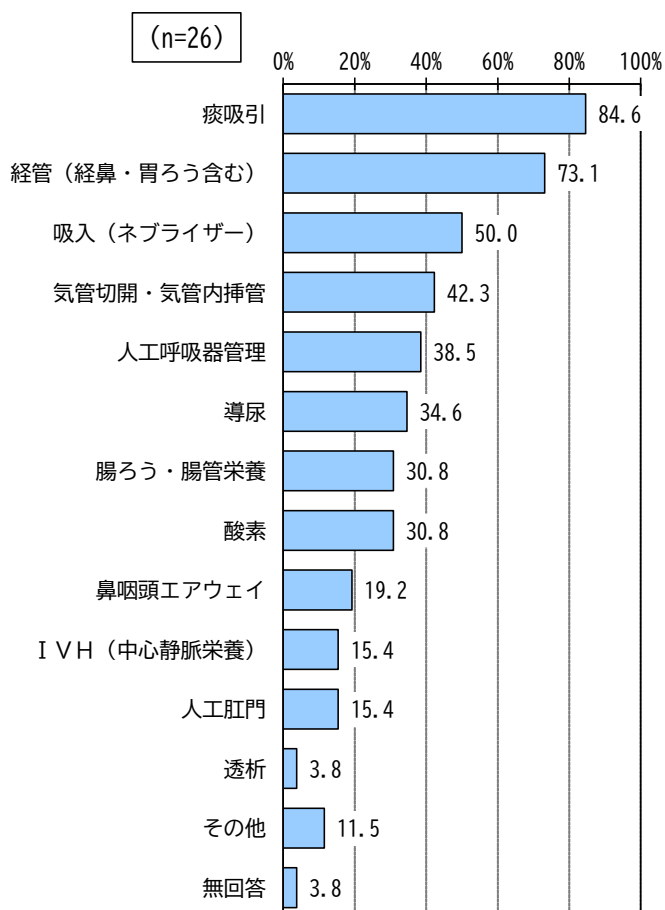


2) 対応している医療的ケアの内容

- 対応している医療的ケアの内容について、「痰吸引」が 84.6%で最も多く、次いで「経管（経鼻・胃ろう含む）」が 73.1%、「吸入（ネブライザー）」が 50.0%となっています。

【事業所 問 11-2】 対応している医療的ケアは何ですか。（複数回答）

【対応している医療的ケアの内容】

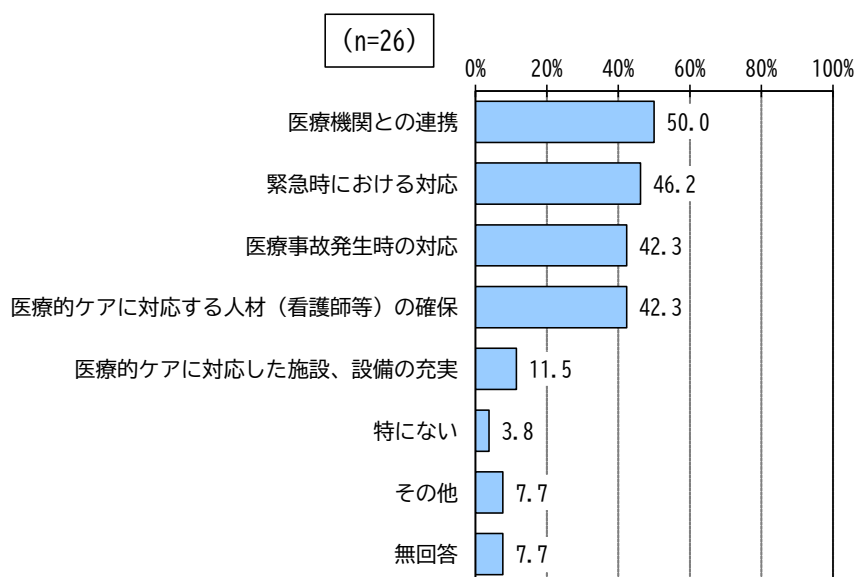


3) 医療的ケアを実施する上での課題

- 医療的ケアを実施する上での課題について、「医療機関との連携」が 50.0%で最も多く、次いで「緊急時における対応」が 46.2%、「医療事故発生時の対応」「医療的ケアに対応する人材（看護師等）の確保」が 42.3%となっています。

【事業所 問 11-3】 貴事業所で医療的ケアを実施するにあたって、課題はありますか。（複数回答）

【医療的ケアを実施する上での課題】

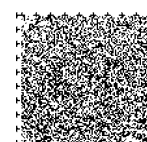
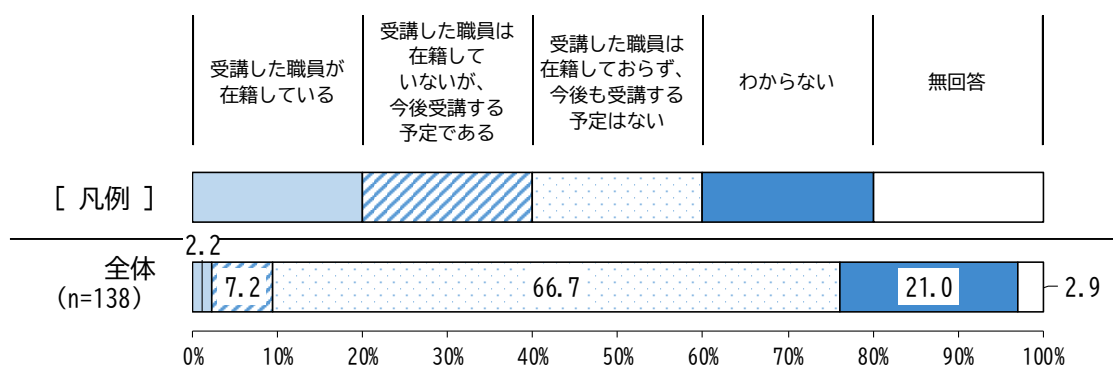


4) 東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修修了者・受講予定

- 東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修修了者・受講予定について、「受講した職員は在籍しておらず、今後も受講する予定はない」が 66.7%で最も多く、次いで「わからない」が 21.0%、「受講した職員は在籍していないが、今後受講する予定である」が 7.2%となっています。

【事業所 問 12-1】 貴事業所では、東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修修了者が在籍していますか。また、今後、貴事業所における東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修の受講予定はありますか。（単一回答）

【東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修修了者・受講予定】

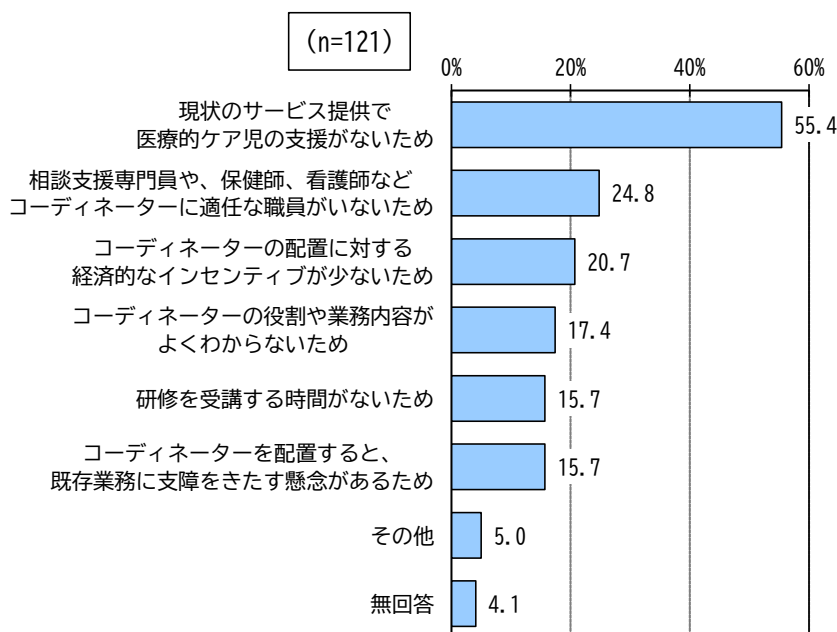


5) 東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修の受講に前向きでない理由

- 研修の受講に前向きでない理由について、「現状のサービス提供で医療的ケア児の支援がないため」が 55.4%で最も多く、次いで「相談支援専門員や、保健師、看護師などコーディネーターに適任な職員がいないため」が 24.8%、「コーディネーターの配置に対する経済的なインセンティブが少ない」が 20.7%となっています。

【事業所 問 12-2】東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修の受講に前向きでない理由は何ですか。(複数回答)

【東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修の受講に前向きでない理由】



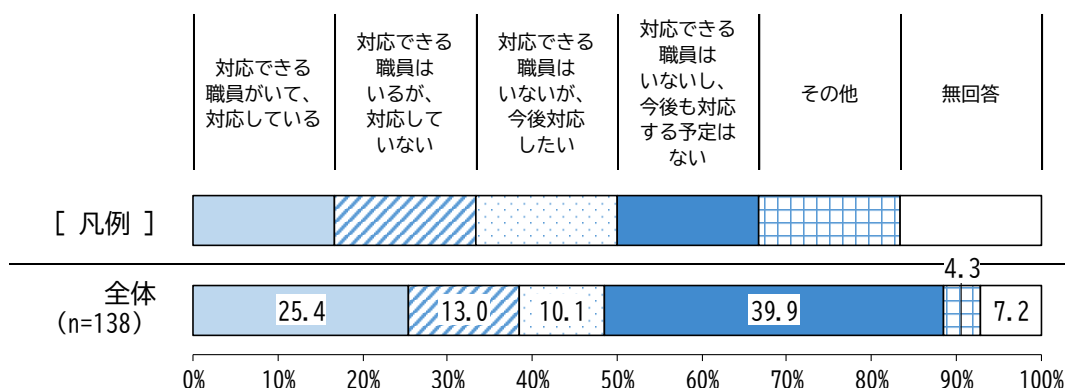
(7) 強度行動障がい児・者への対応

1) 強度行動障がい児・者への対応状況

- 強度行動障がい児・者への対応状況について、「対応できる職員はいないし、今後も対応する予定はない」が 39.9%で最も多く、次いで「対応できる職員がいて、対応している」が 25.4%、「対応できる職員はいるが、対応していない」が 13.0%となっています。

【事業所 問 13-1】「強度行動障がい児・者」に対して、資格者や研修修了者がいる等、対応できる体制になっていますか。(単一回答)

【強度行動障がい児・者への対応状況】



2) 強度行動障がい児・者への対応の課題

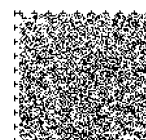
- 強度行動障がい児・者への対応の課題について自由記述で尋ねたところ、56件の意見について7の大カテゴリに分類できました。このうち件数が多いものとしては、「人材確保」が18件、「知識・技術の不足や偏り」が14件、「報酬・加算、公的支援」と「環境整備」がそれぞれ7件となっています。

【事業所 問 13-2】 貴事業者で、強度行動障がい児・者を対応するにあつての課題は何ですか。

【強度行動障がい児・者への対応の課題】

大カテゴリ	小カテゴリ	件数
人材確保		18
	人材不足	8
	対応可能な人材の不足	8
	複数名・マンツーマンの配置対応	2
知識・技術の不足や偏り		14
	知識・技術の不足	7
	属人化解消・統一した対応の実現	4
	研修・育成の実施・拡大	3
報酬・加算、公的支援		7
	報酬不足	5
	加算要件への対応	2
環境整備		7
	他の利用者との方との共存	5
	物理的なスペース不足	2
職員の負担		6
	心身への負担	2
	体力的な限界	2
	虐待の疑いへの対応	2
安全管理		3
	突発行動への対応	3
利用者ニーズへの対応		1
	保護者支援	1
総件数		56

※本設問では、51事業所からの自由記述回答を意見内容で整理し、56件の意見を抽出しました。なお、「課題なし」、「事業が対象外」等の強度行動障害児・者への対応の課題ではない意見4件を除いています。



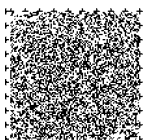
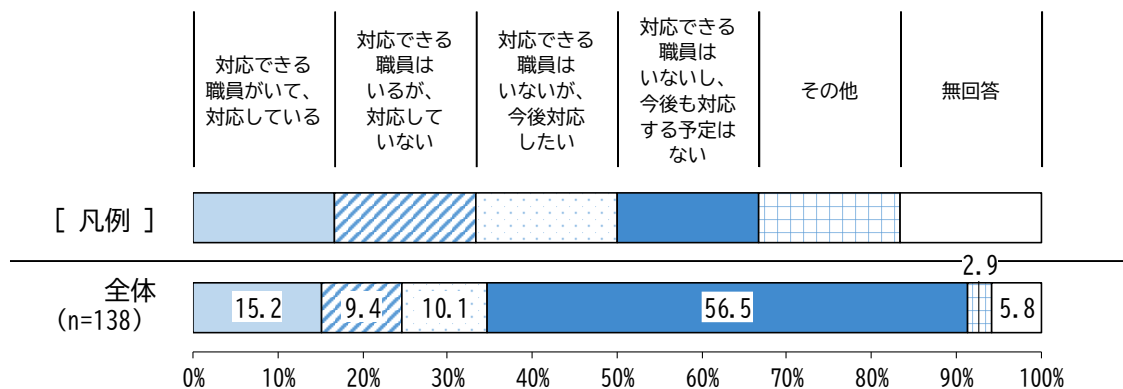
（８）重度心身障がい児・者への対応

１）重度心身障がい児・者への対応状況

- 重度心身障がい児・者への対応状況について、「対応できる職員はいないし、今後も対応する予定はない」が 56.5%で最も多く、次いで「対応できる職員がいて、対応している」が 15.2%、「対応できる職員はいないが、今後対応したい」が 10.1%となっています。

【事業所 問 14-１】 「重度心身障がい児・者」に対して、資格者や研修修了者がいる等、対応できる体制になっていますか。（単一回答）

【重度心身障がい児・者への対応状況】



2) 重度心身障がい児・者への対応の課題

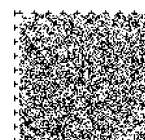
- 重度心身障がい児・者への対応の課題について自由記述で尋ねたところ、48件の意見について6の大カテゴリに分類できました。このうち件数が多いものとしては、「人材確保」が18件、「環境整備」が11件、「知識・技術の不足や偏り」が9件となっています。

【事業所 問 14-2】 貴事業者で、重度心身障がい児・者に対応するにあつての課題は何ですか。

【重度心身障がい児・者への対応の課題】

大カテゴリ	小カテゴリ	件数
人材確保		18
	人材不足	10
	対応可能な人材の不足	8
環境整備		11
	物理的なスペース不足	2
	設備不足	6
	医療的ケア対応	2
	法人の体力不足	1
知識・技術の不足や偏り		9
	知識・技術の不足	4
	研修・育成の実施・拡大	5
報酬・加算、公的支援		6
	報酬不足	5
	公的支援	1
職員の負担		2
	心身への負担	2
利用者ニーズへの対応		2
	利用者ニーズへの対応	1
	保護者支援	1
総件数		48

※本設問では、42事業所からの自由記述回答を意見内容で整理し、48件の意見を抽出しました。なお、「課題なし」、「事業が対象外」等の重度心身障がい児・者への対応の課題ではない意見7件を除いています。

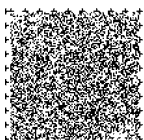
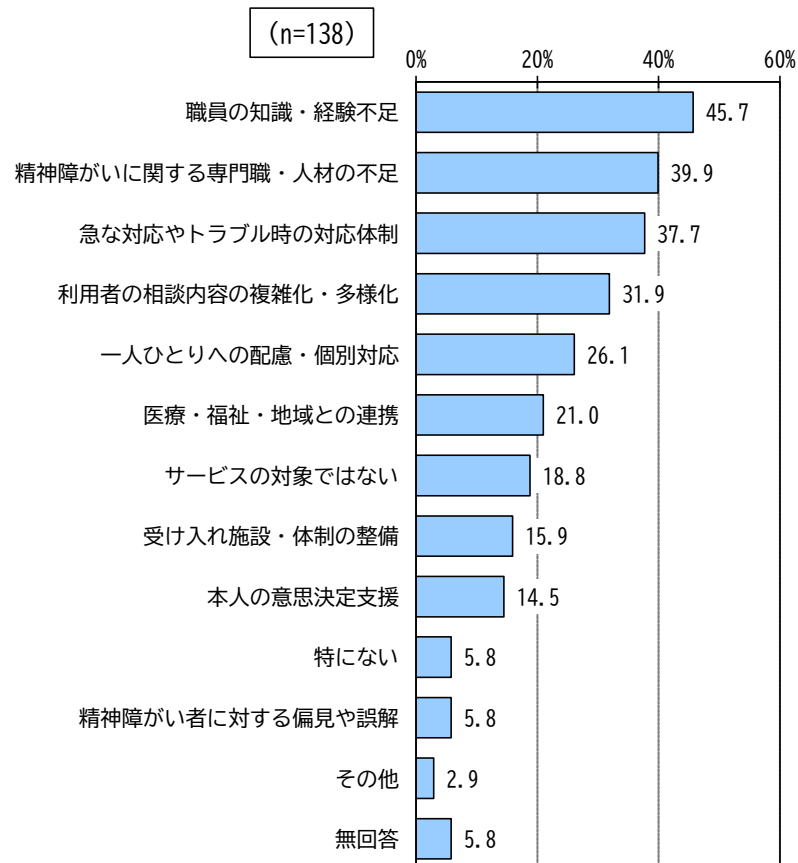


(9) 精神障がい者の受け入れや対応の課題

- 精神障がい者の受け入れや対応の課題について、「職員の知識・経験不足」が 45.7%で最も多く、次いで「精神障がいに関する専門職・人材の不足」が 39.9%、「急な対応やトラブル時の対応体制」が 37.7%となっています。

【事業所 問 15】 現在、精神障害者保健福祉手帳所持者が増加しているためお聞きします。貴事業所として精神障がい者の受け入れや対応にどのような課題がありますか。（複数回答）

【精神障がい者の受け入れや対応の課題】



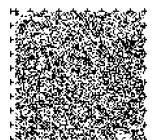
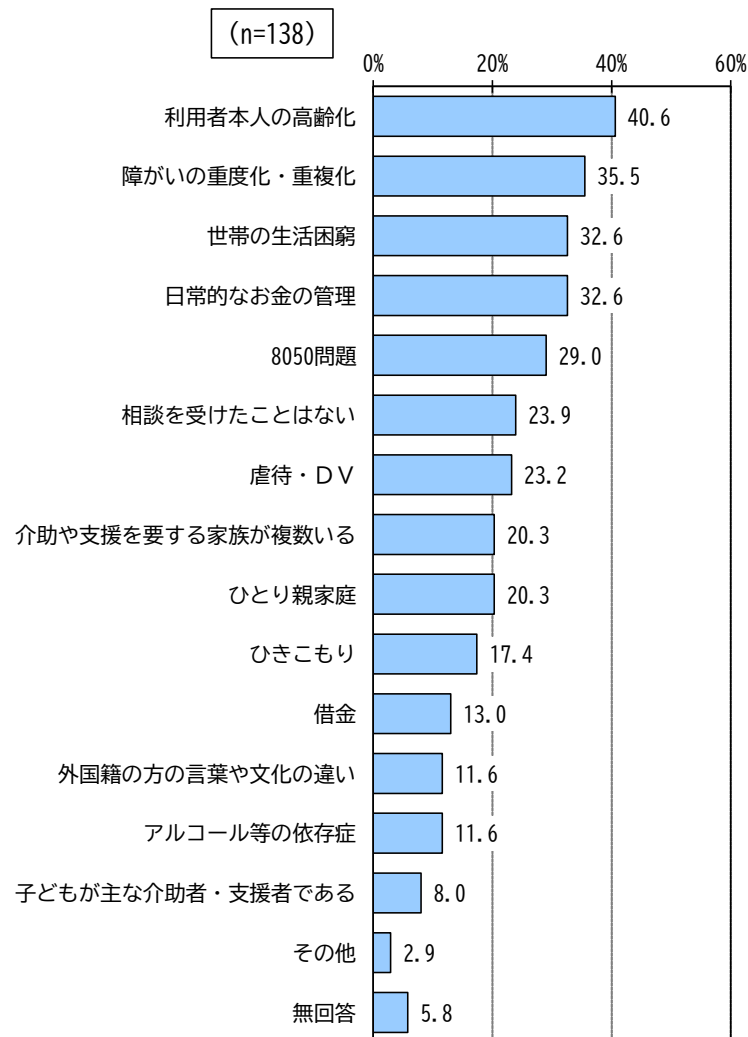
(10) 複合的な課題への対応

1) 複合的な課題に関する利用者や家族からの相談状況

- 複合的な課題に関する利用者や家族からの相談状況について、「利用者本人の高齢化」が40.6%で最も多く、次いで「障がいの重度化・重複化」が35.5%、「世帯の生活困窮」「日常のお金の管理」が32.6%となっています。

【事業所 問 16-1】 次に挙げるような複合的な課題を抱えている等の困難事例について、利用者やその家族から相談を受けたことはありますか。相談を受けたことのある事例は何か。（複数回答）

【複合的な課題に関する利用者や家族からの相談状況】

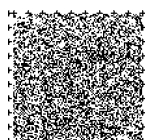
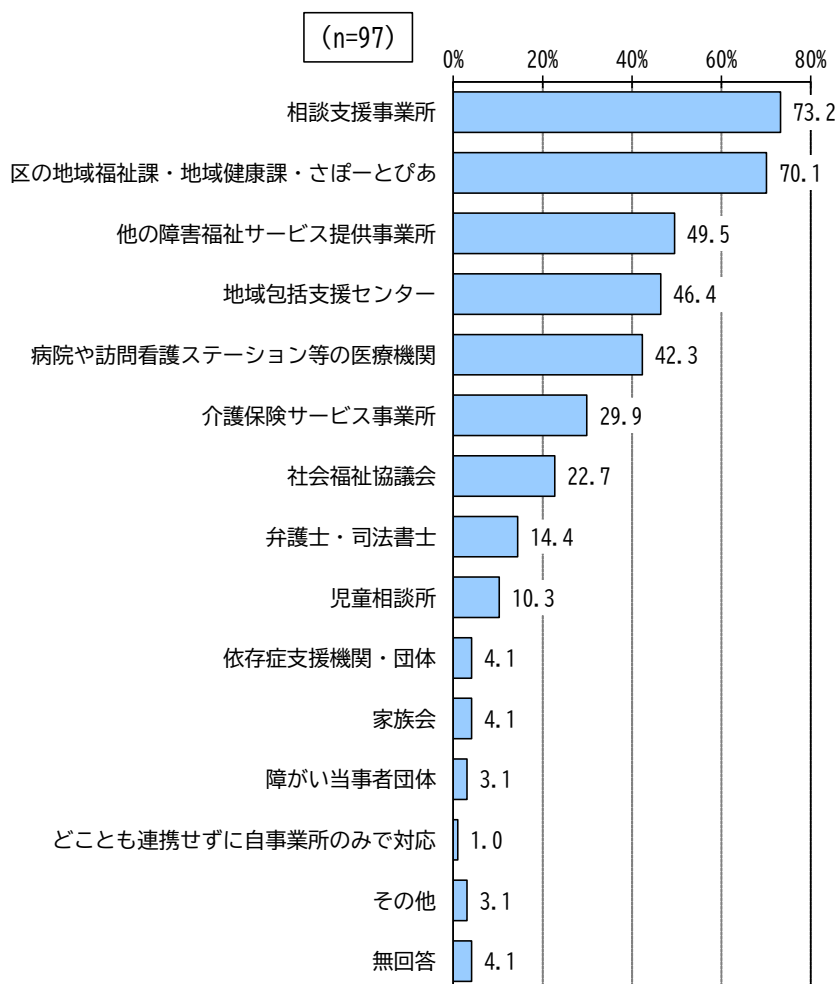


2) 複合的な課題に関する現在の連携先

- 複合的な課題に関する現在の連携先について、「相談支援事業所」が 73.2%で最も多く、次いで「区の地域福祉課・地域健康課・さぽーとぴあ」が 70.1%、「他の障害福祉サービス提供事業所」が 49.5%となっています。

【事業所 問 16-2】 複合的な課題を抱えている等の困難事例の相談を受けたときに、現在どのような機関や団体と連携していますか。(複数回答)

【複合的な課題に関する現在の連携先】

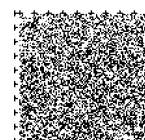
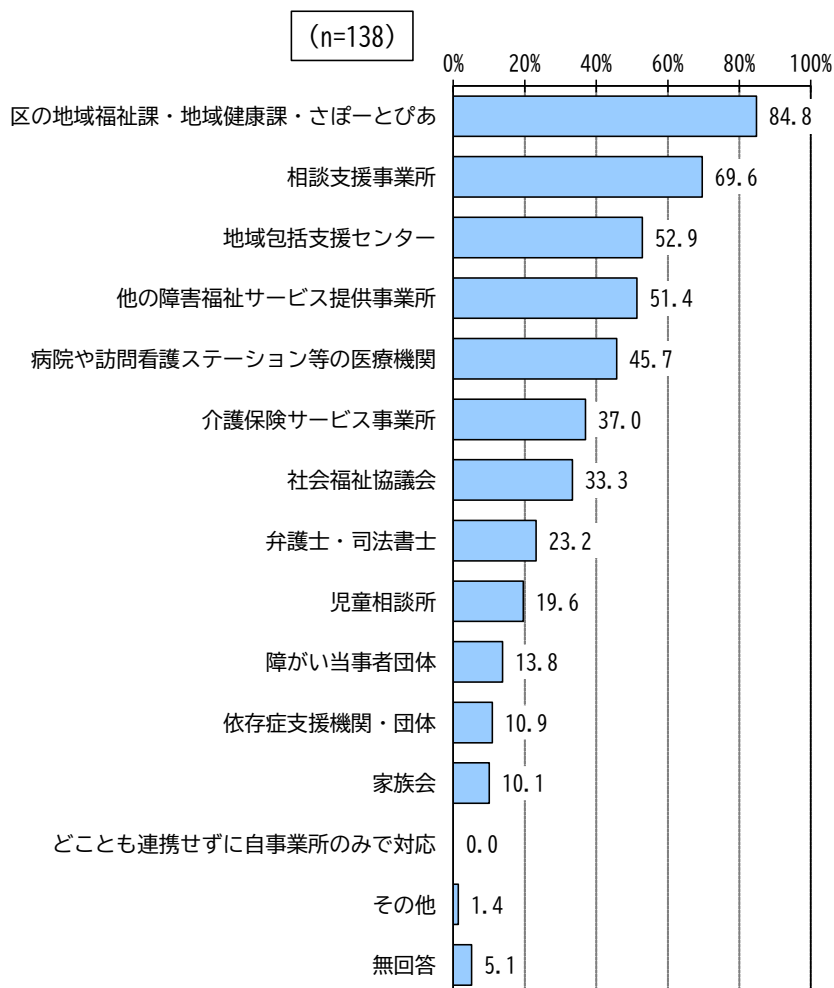


3) 複合的な課題に関する今後の連携先の希望

- 複合的な課題に関する今後の連携先の希望について、「区の地域福祉課・地域健康課・さぽーとぴあ」が84.8%で最も多く、次いで「相談支援事業所」が69.6%、「地域包括支援センター」が52.9%となっています。

【事業所 問 17】 今後、複合的な課題を抱えている等の困難事例の相談を受けることを想定した場合、どのような機関や団体と連携したいと思いますか。（複数回答）

【複合的な課題に関する今後の連携先の希望】

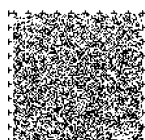
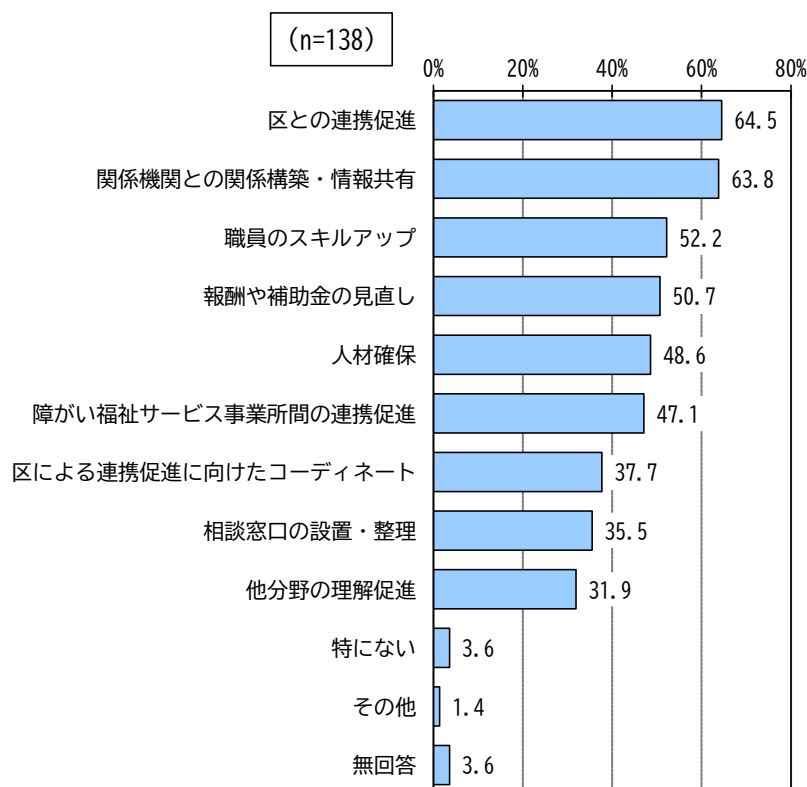


4) 複合的な課題に対する相談体制強化に向けた課題

- 複合的な課題に対する相談体制強化に向けた課題について、「区との連携促進」が 64.5%で最も多く、次いで「関係機関との関係構築・情報共有」が 63.8%、「職員のスキルアップ」が 52.2%となっています。

【事業所 問 18】 貴事業所では、他事業所・他団体との連携をはじめ、複合的な課題を抱えている等の困難事例に対する相談体制の強化に向けて、どのようなことが必要ですか。
(複数回答)

【複合的な課題に対する相談体制強化に向けた課題】

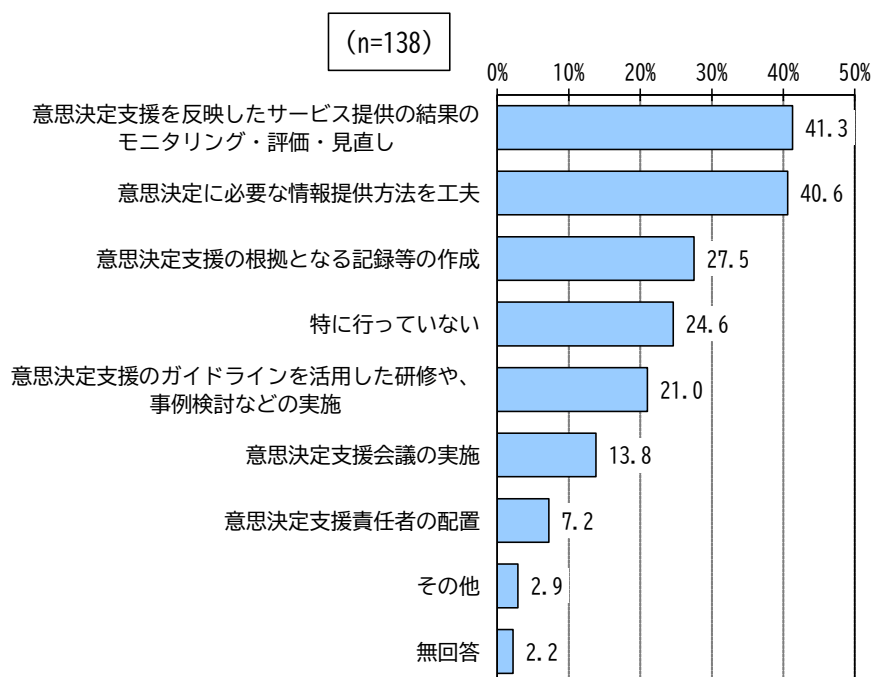


(11) 意思決定支援の取組

- 意思決定支援の取組について、「意思決定支援を反映したサービス提供の結果のモニタリング・評価・見直し」が41.3%で最も多く、次いで「意思決定に必要な情報提供方法を工夫」が40.6%、「意思決定支援の根拠となる記録等の作成」が27.5%となっています。

【事業所 問 19】 貴事業所では、利用者の意思決定を支援する取組をしていますか。(複数回答)

【意思決定支援の取組】



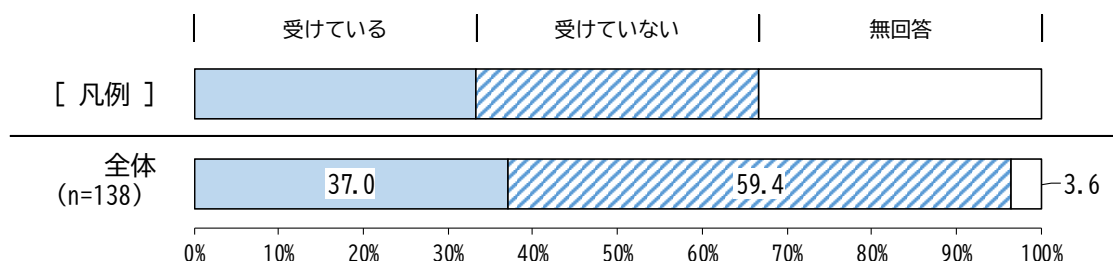
(12) 介護保険サービスの提供

1) 介護保険サービスの指定の有無

- 介護保険サービスの指定の有無について、「受けている」が37.0%、「受けていない」が59.4%となっています。

【事業所 問 20-1】 貴事業所は、介護保険サービスの指定を受けていますか。(単一回答)

【介護保険サービスの指定の有無】



2) 介護保険サービス提供の課題

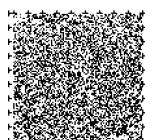
- 介護サービスの提供・移行の課題について自由記述で尋ねたところ、57 件の意見について 6 の大カテゴリに分類できました。このうち件数が多いものとしては、「サービス量・内容の低下」が 14 件、「情報提供・周知不足」が 11 件、「制度上の課題」が 10 件となっています。

【事業所 問 20-2】介護保険サービスの指定を受けている事業所は、サービスを提供する上での課題を、介護保険サービスの指定を受けていない事業所は、利用者が障害福祉サービスから介護保険サービスへ切り替わる際の課題等があれば教えてください。

【介護保険サービス提供の課題】

大カテゴリ	小カテゴリ	件数
サービス量・内容の低下		14
	時間・回数の低下	9
	内容・質の低下	3
	算定・加算対象の違い	2
情報提供・周知不足		11
	事業所への情報・周知不足	5
	利用者・家族への情報・周知不足	5
	自治体の知識不足	1
制度上の課題		10
	年齢による移行の限界	3
	制度の複雑さ	5
	ハラスメント対応の必要性	2
職員の知識や技術の違い		9
	制度間の考えの違い	1
	必要な知識・技術の違い	8
区役所職員の対応改善		9
	事務負担	4
	関係機関との情報共有・連携	5
人材確保		4
	人材不足	3
	職員の意向	1
総件数		57

※本設問では、41 事業所からの自由記述回答を意見内容で整理し、57 件の意見を抽出しました。なお、「課題なし」、「事業が対象外」等の介護サービスの提供・移行の課題ではない意見 6 件を除いています。



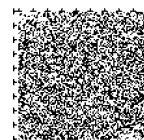
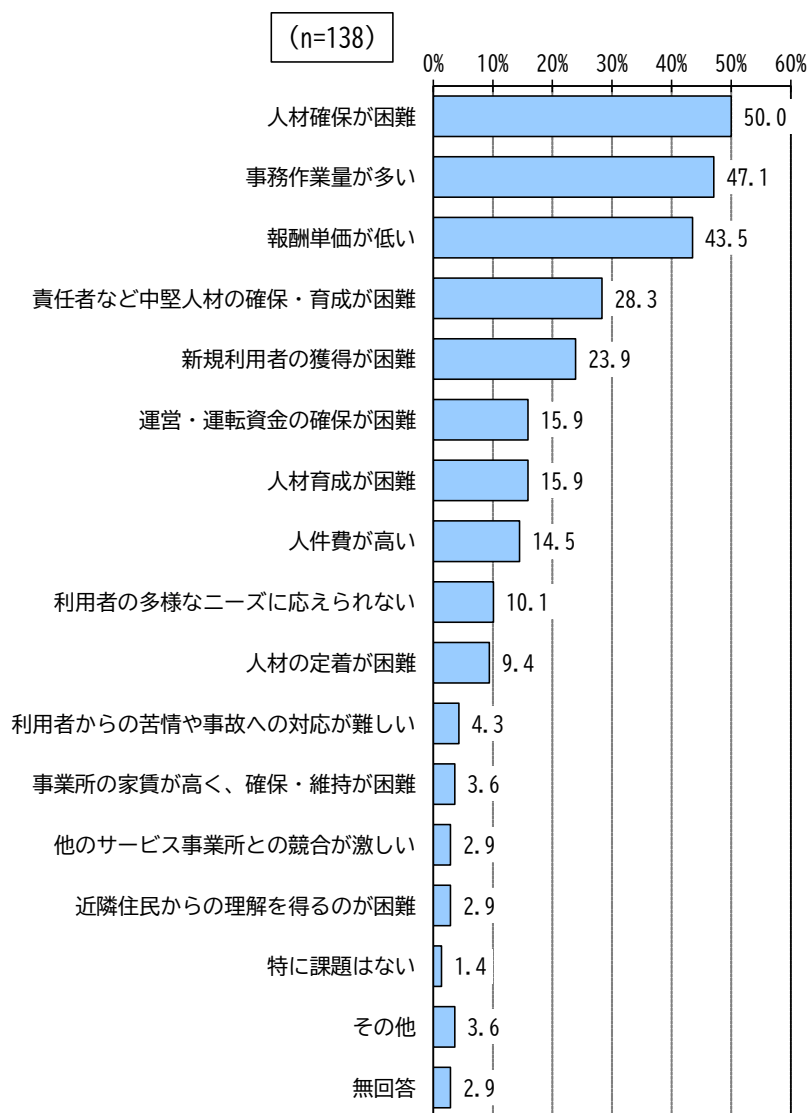
3. 事業運営の概要について

(1) 事業を運営する上での主な課題

- 事業を運営する上での主な課題について、「人材確保が困難」が 50.0%で最も多く、次いで「事務作業量が多い」が 47.1%、「報酬単価が低い」が 43.5%となっています。

【事業所 問 21】 貴事業所が事業を運営する上での主な課題は何ですか。（3つまで回答）

【事業を運営する上での主な課題】



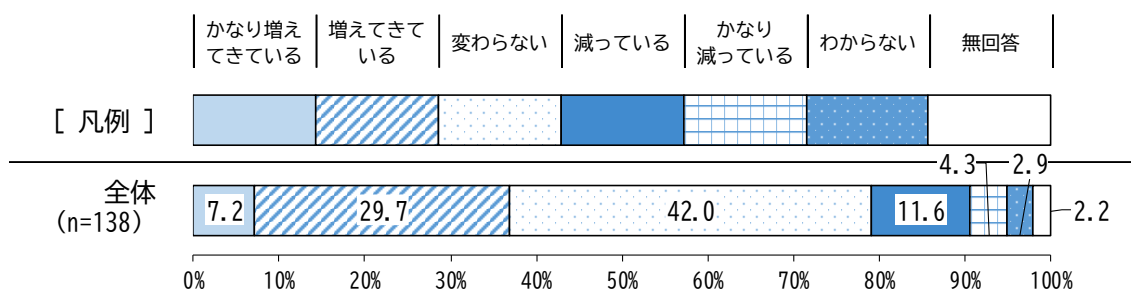
(2) サービス提供依頼者への対応状況

1) サービス提供依頼者数の動向

- サービス提供依頼者数の動向について、「変わらない」が42.0%で最も多く、次いで「増えてきている」が29.7%、「減っている」が11.6%となっています。

【事業所 問 22-1】 昨年度に比べて、貴事業所における新規のサービス提供依頼者数の動向を教えてください。(単一回答)

【サービス提供依頼者数の動向】

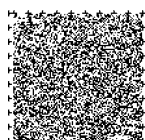
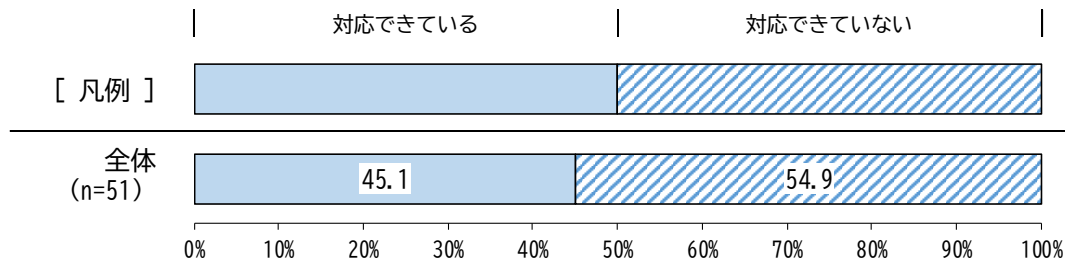


2) サービス提供依頼者数の増加への対応状況

- サービス提供依頼者数の増加への対応状況について、「対応できている」が45.1%、「対応できていない」が54.9%となっています。

【事業所 問 22-2】 サービス提供依頼者数の増加に対応できていますか。(単一回答)

【サービス提供依頼者数の増加への対応状況】

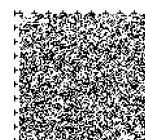
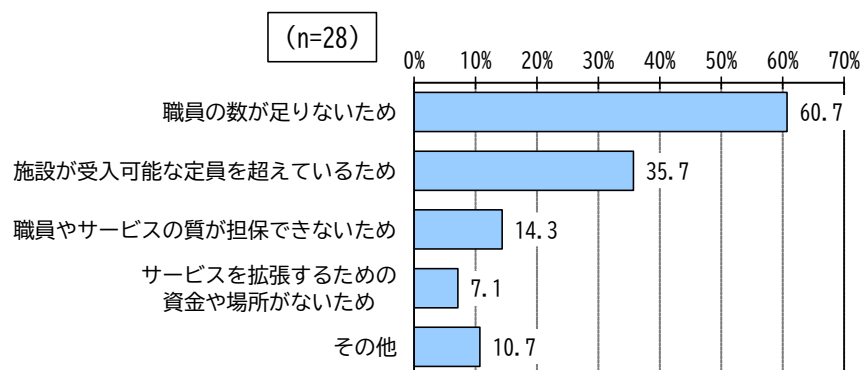


3) 新規のサービス提供依頼に対応できていない理由

- 新規のサービス提供依頼に対応できていない理由について、「職員の数が足りないため」が 60.7%で最も多く、次いで「施設が受入可能な定員を超えているため」が 35.7%、「職員やサービスの質が担保できないため」が 14.3%となっています。

【事業所 問 22-3】 対応できていない理由は何ですか。(複数回答)

【新規のサービス提供依頼に対応できていない理由】

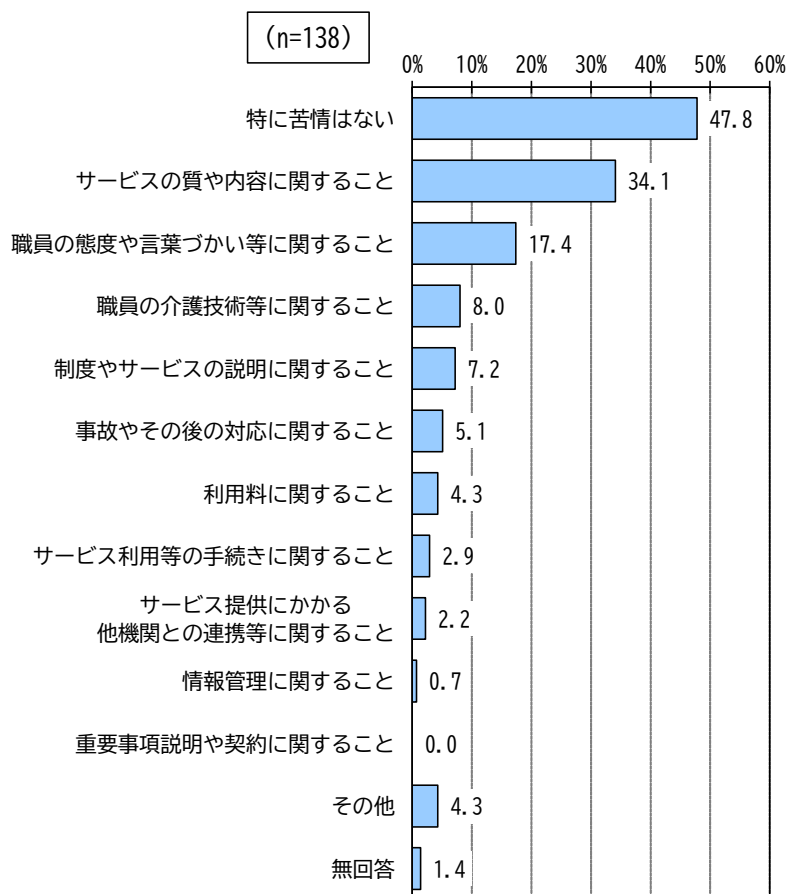


(3) 利用者や家族から寄せられる苦情

- 利用者や家族から寄せられる苦情について、「特に苦情はない」が 47.8%で最も多く、次いで「サービスの質や内容に関すること」が 34.1%、「職員の態度や言葉づかい等に関すること」が 17.4%となっています。

【事業所 問 23】 利用者や家族から貴事業所に寄せられる苦情はどのようなものですか。(3つまで回答)

【利用者や家族から寄せられる苦情】



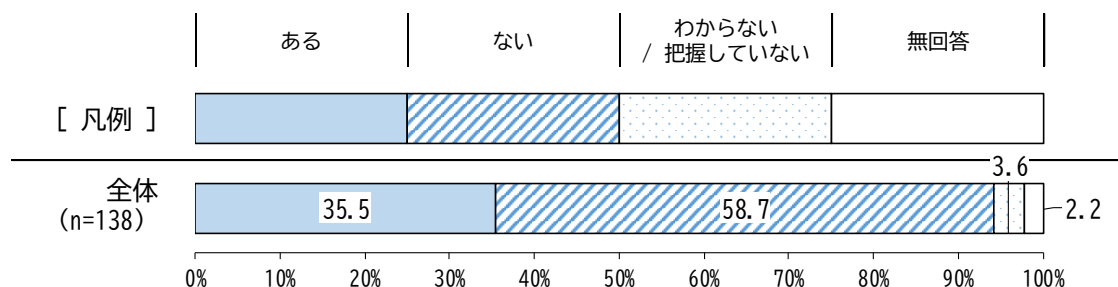
(4) カスタマーハラスメント対応

1) 利用者や家族からのハラスメントの有無

- 利用者や家族からのハラスメントについて、「ある」が 35.5%、「ない」が 58.7%、「わからない/把握していない」が 3.6%となっています。

【事業所 問 24-1】 利用者やその家族からの対応において、ハラスメントと思われるケースはありますか。(単一回答)

【利用者や家族からのハラスメントの有無】

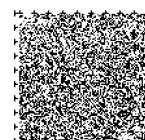
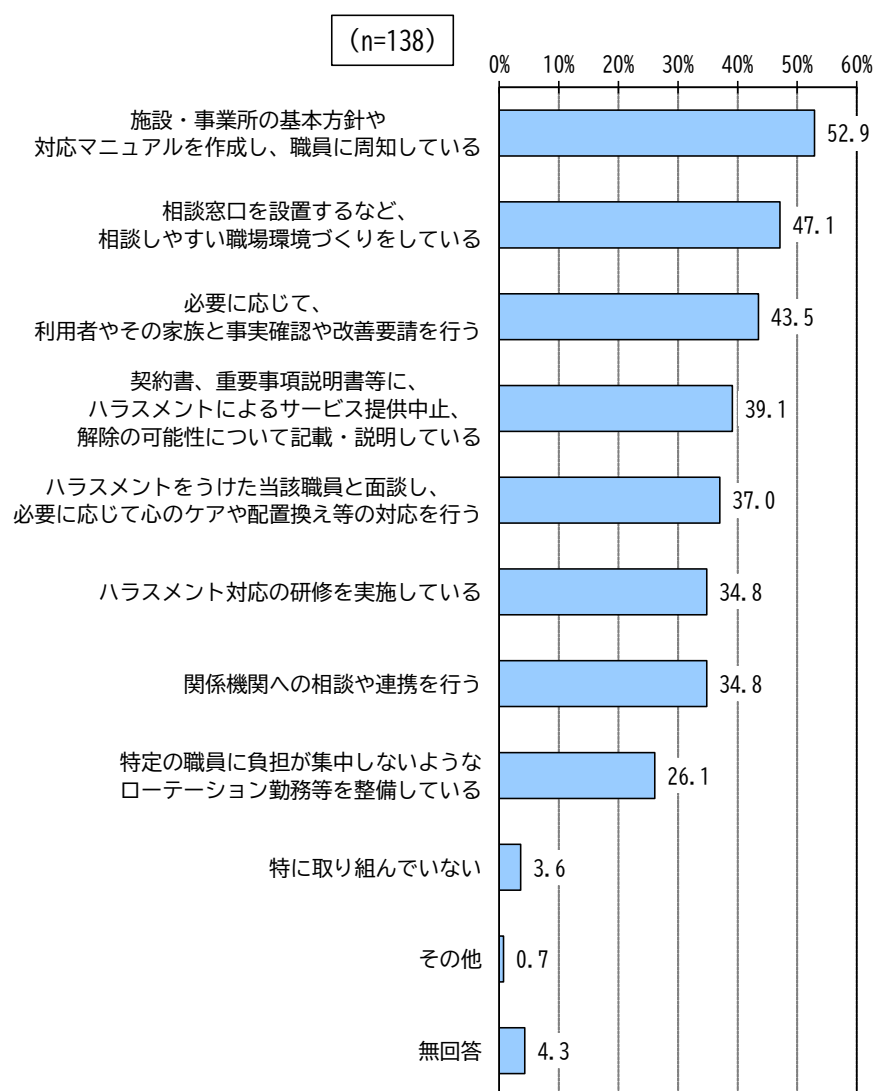


2) 利用者や家族からのハラスメントへの対応状況

- 利用者や家族からのハラスメントへの対応状況について、「施設・事業所の基本方針や対応マニュアルを作成し、職員に周知している」が52.9%で最も多く、次いで「相談窓口を設置するなど、相談しやすい職場環境づくりをしている」が47.1%、「必要に応じて、利用者やその家族と事実確認や改善要請を行う」が43.5%となっています。

【事業所 問 24-2】 利用者やその家族からのハラスメントに対しとしてどのような対策や対応を行っていますか。（複数回答）

【利用者や家族からのハラスメントへの対応状況】

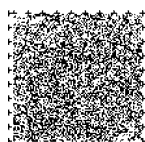
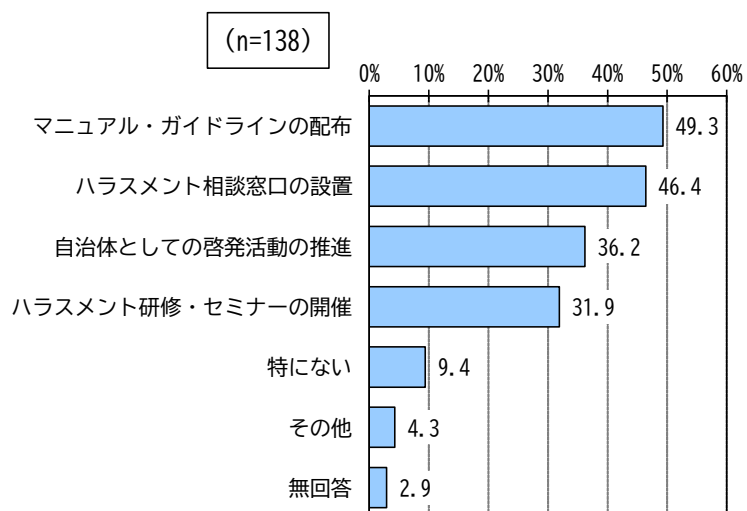


3) カスタマーハラスメント対策に必要な支援

- カスタマーハラスメント対策に必要な支援について、「マニュアル・ガイドラインの配布」が 49.3%で最も多く、次いで「ハラスメント相談窓口の設置」が 46.4%、「自治体としての啓発活動の推進」が 36.2%となっています。

【事業所 問 24-3】 利用者やその家族からのハラスメント対策として、区に実施してほしいことはありますか。(複数回答)

【カスタマーハラスメント対策に必要な支援】

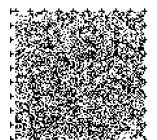
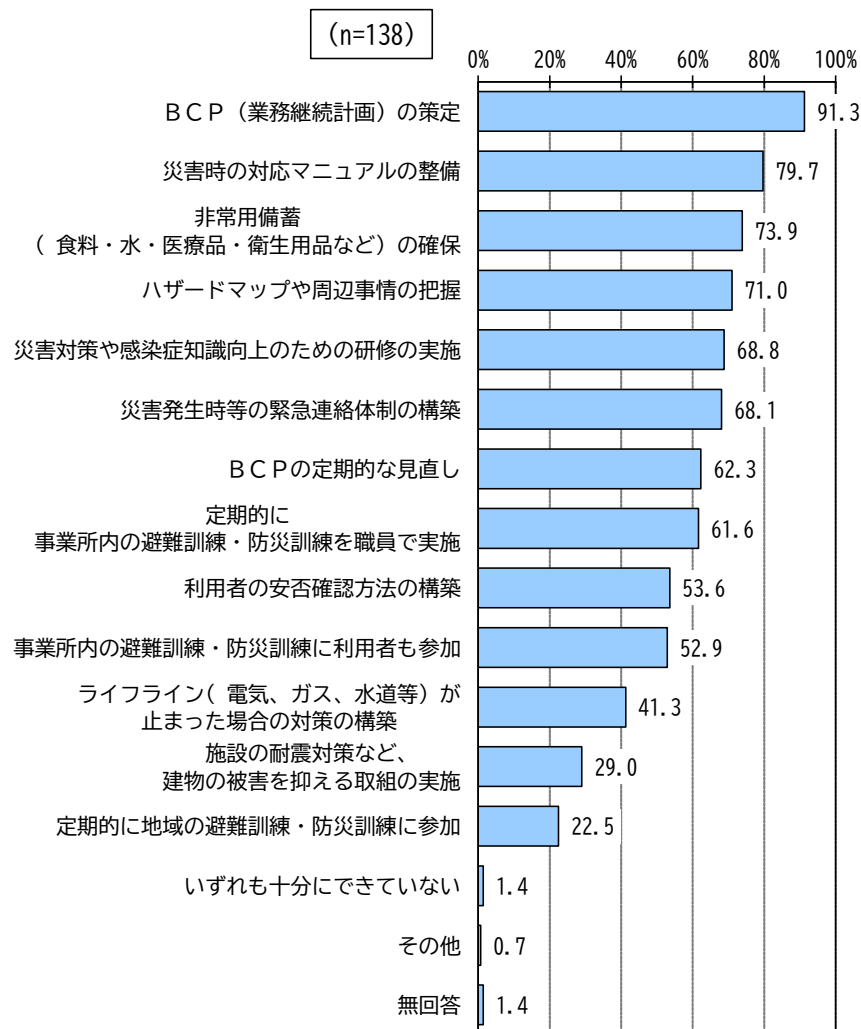


（５）災害発生時への対策状況

- 災害発生時への対策状況について、「ＢＣＰ（業務継続計画）の策定」が 91.3%で最も多く、次いで「災害時の対応マニュアルの整備」が 79.7%、「非常用備蓄（食料・水・医療品・衛生用品など）の確保」が 73.9%となっています。

【事業所 問 25】 貴事業所では、災害発生時に備えた対策を講じていますか。（複数回答）

【災害発生時への対策状況】



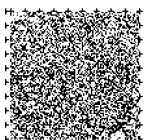
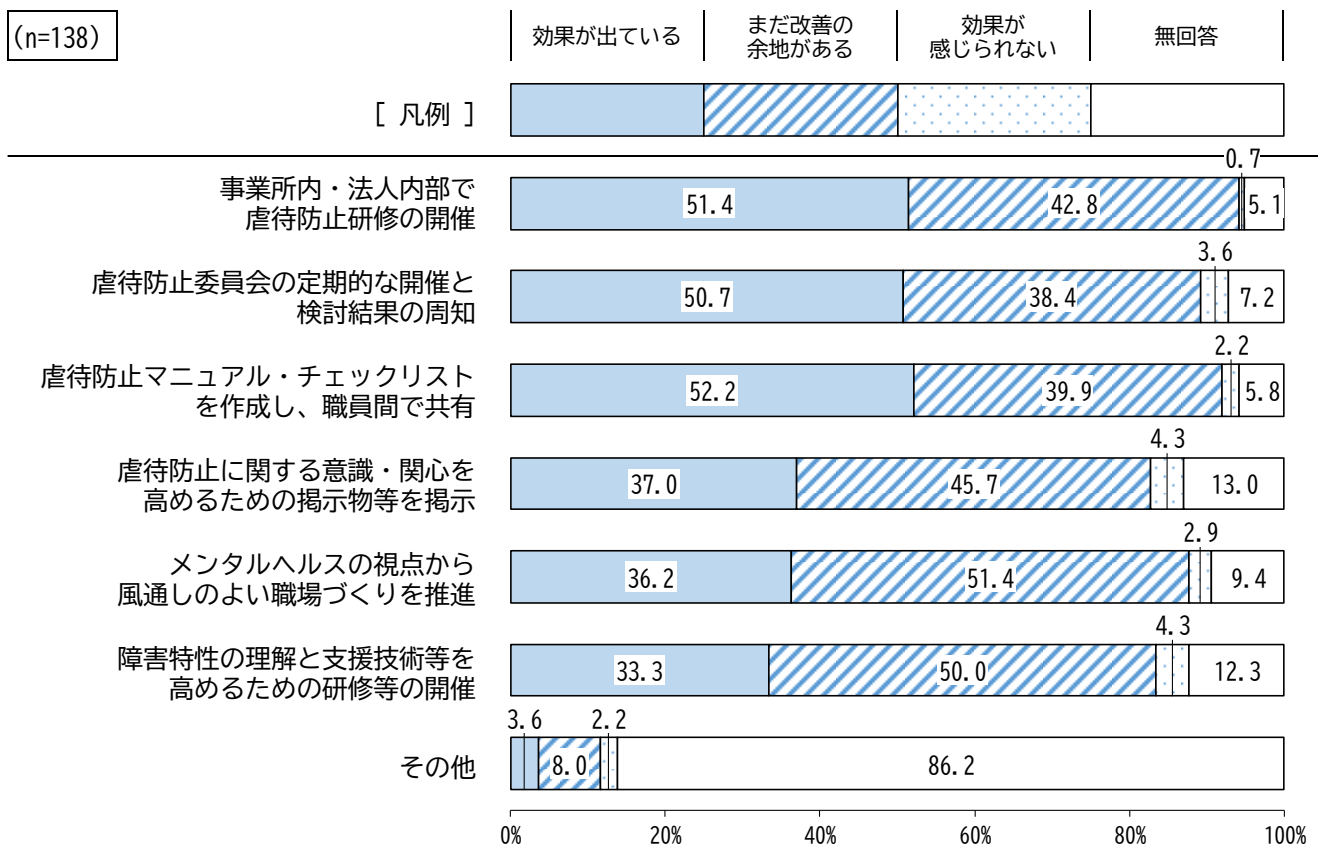
4. 権利擁護

(1) 虐待防止に向けた取組と効果

- 虐待防止に向けた取組と効果について、「虐待防止マニュアル・チェックリストを作成し、職員間で共有」「虐待防止に関する意識・関心を高めるための掲示物等を掲示」は半数以上が「効果が出ている」と回答しており、「メンタルヘルスの視点から風通しのよい職場づくりを推進」「障害特性の理解と支援技術等を高めるための研修等の開催」は半数近くが「まだ改善の余地がある」と回答しています。
- 全ての取組において「効果が感じられない」との回答はほとんど見られません。

【事業所 問 26】 現在、虐待防止のために行っている取組はありますか。ある場合は、その効果について、該当するものに○をつけてください。(単一回答)

【虐待防止に向けた取組と効果】

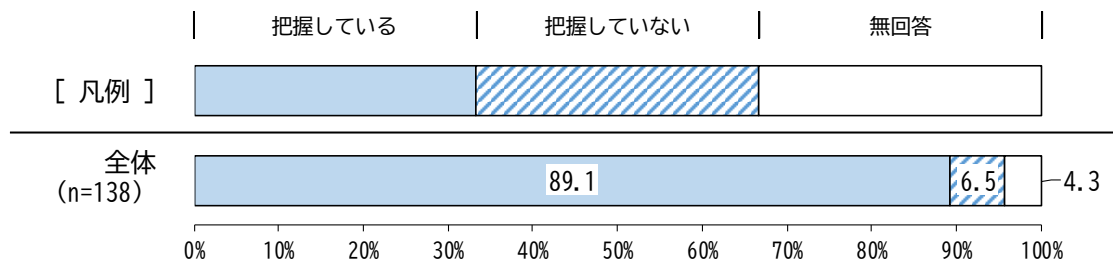


(2) 虐待発見時の通報先の認知

- 虐待発見時の通報先の認知について、「把握している」が 89.1%、「把握していない」が 6.5%となっています。

【事業所 問 27】 虐待を受けたと思われる障がい児・者を発見した場合の通報先を把握していますか。
(単一回答)

【虐待発見時の通報先の認知】

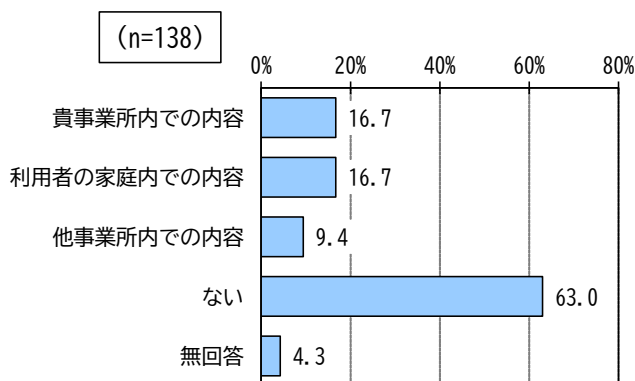


(3) 虐待通報の有無

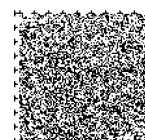
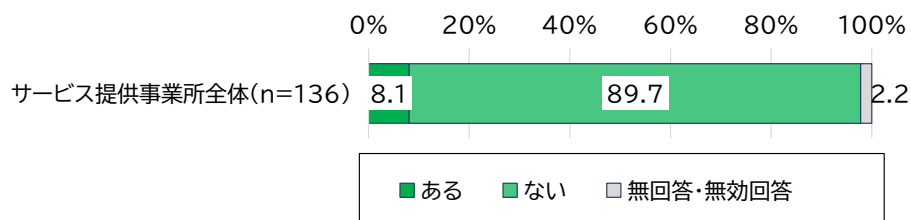
- 虐待通報について、「ない」が 63.0%で最も多く、次いで「貴事業所内での内容」「利用者の家庭内での内容」が 16.7%、「他事業所内での内容」が 9.4%となっています。

【事業所 問 28】 これまでに貴事業所から通報したことはありますか。ある場合、該当するものを教えてください。(複数回答)

【虐待通報の有無】



参考：前回調査結果 虐待発生の有無（サービス提供事業所）

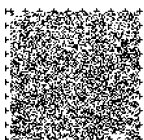
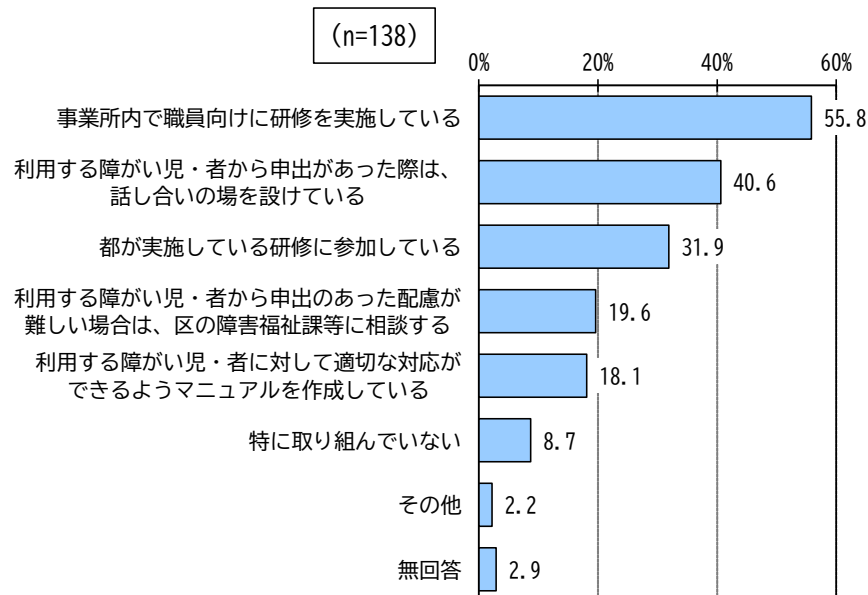


(4) 合理的配慮の提供に関する取組

- 合理的配慮の提供に関する取組について、「事業所内で職員向けに研修を実施している」が55.8%で最も多く、次いで「利用する障がい児・者から申出があった際は、話し合いの場を設けている」が40.6%、「都が実施している研修に参加している」が31.9%となっています。

【事業所 問 29】 「障害者差別解消法」等により、「合理的配慮」の提供が、事業者にも義務化されています。貴事業所は、どのような取組をしていますか。(複数回答)

【合理的配慮の提供に関する取組】



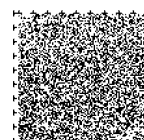
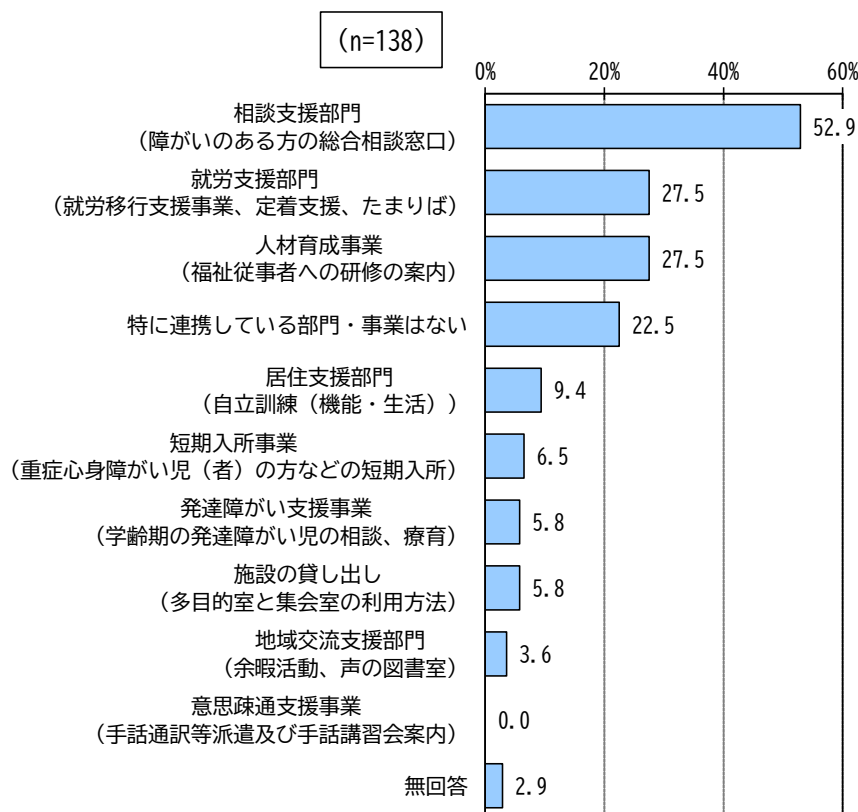
5. 障がい者総合サポートセンター（さぽーとぴあ）との連携について

（１）連携・活用したことがあるさぽーとぴあの部門・事業

- 連携・活用したことがあるさぽーとぴあの部門・事業について、「相談支援部門（障がいのある方の総合相談窓口）」が 52.9%で最も多く、次いで「就労支援部門（就労移行支援事業、定着支援、たまりば）」「人材育成事業（福祉従事者への研修の案内）」が 27.5%、「特に連携している部門・事業はない」が 22.5%となっています。

【事業所 問 30-1】 貴事業所において、連携・活用したことがある「障がい者総合サポートセンター さぽーとぴあ」の部門・事業はありますか。（複数回答）

【連携・活用したことがあるさぽーとぴあの部門・事業】

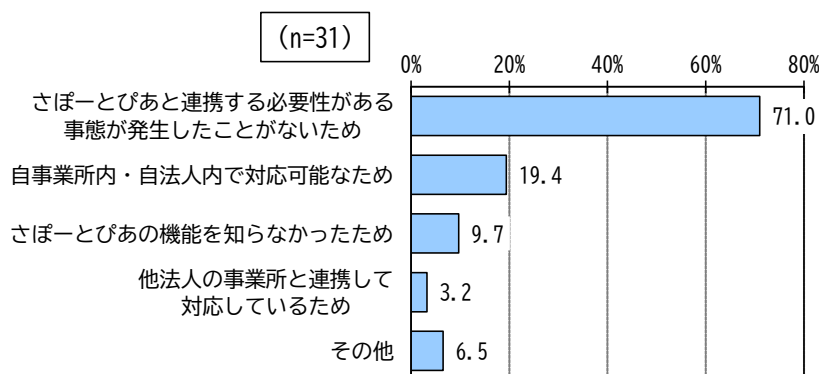


(2) さぼーとぴあ連携していない理由

- さぼーとぴあ連携していない理由について、「さぼーとぴあ連携する必要性がある事態が発生したことがないため」が71.0%で最も多く、次いで「自事業所内・自法人内で対応可能なため」が19.4%、「さぼーとぴあの機能を知らなかったため」が9.7%となっています。

【事業所 問 30-2】 特に連携していない理由は何ですか。(複数回答)

【さぼーとぴあ連携していない理由】

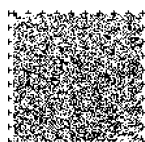
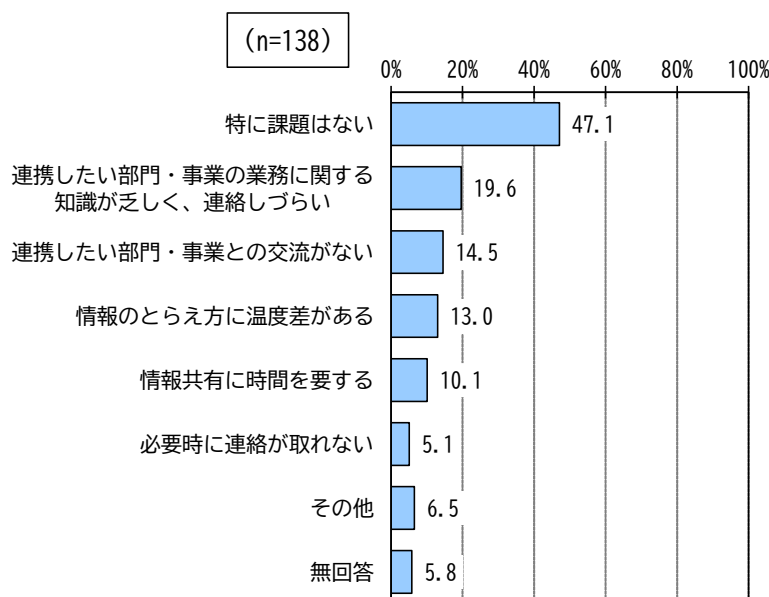


(3) さぼーとぴあ連携する際の課題

- さぼーとぴあ連携する際の課題について、「特に課題はない」が47.1%で最も多く、次いで「連携したい部門・事業の業務に関する知識が乏しく、連絡しづらい」が19.6%、「連携したい部門・事業との交流がない」が14.5%となっています。

【事業所 問 31】 「障がい者総合サポートセンターさぼーとぴあ」と連携する際の課題はありますか。(複数回答)

【さぼーとぴあ連携する際の課題】



6. 大田区の障がい施策について

(1) 大田区の障がい施策について

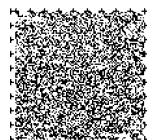
- 大田区の障がい施策について自由記述で尋ねたところ、31件の意見について6の大カテゴリーに分類できました。このうち件数が多いものとしては、「サービスの充実」が8件、「連携の促進」が7件、「事業所職員の人材育成・確保」と「区役所職員の対応改善」が5件となっています。

【事業所 問 32】 区の障がい施策について、ご意見などがございましたらご自由にご記入ください。
(自由記述)

【大田区の障がい施策について】

大カテゴリー	小カテゴリー	件数
サービスの充実		8
	グループホームの質の改善	1
	ショートステイ先の増設	1
	就労継続支援の充実	2
	地域移行支援の充実	1
	移動支援の拡充	3
連携の促進		7
	区と事業所の連携	2
	多機関の連携促進	3
	虐待対応の明確化	1
	利用申請窓口の一本化	1
事業所職員の人材育成・確保		5
	人材確保	3
	研修等の取組強化と実施	2
区役所職員の対応改善		5
	担当者の質の向上・統一	1
	職員の対応の改善	4
助成金や支援の充実		4
	報酬の改善	1
	物価高騰に対する助成	1
	事業所の経営・運営への支援	1
	事業所の家族支援負担の軽減	1
災害時の対応		2
	災害時の福祉施設の利用方法改善	1
	災害支援窓口の明確化	1
総件数		31

※本設問では、24事業所からの自由記述回答を意見内容で整理し、31件の意見を抽出しました。なお、「特になし」、「ありがとうございます」等の大田区の障がい施策への意見ではない4件を除いています。



第5章 ヒアリング調査

1. ヒアリング調査実施概要

(1) 調査の目的

障がい児が抱えている困りごとなどについてより詳しい現状を把握し、次期「おおた障がい施策推進プラン」に反映することを目的に、今回の実態調査では、アンケート形式による調査に加えてヒアリング調査を実施することとした。

調査テーマについては、障がい児のなかでも近年増加が著しい発達障がいを主な対象とした。

(2) 調査対象

主に発達障がい児支援に携わる、以下の計9団体

- ・ 公共施設：2施設（障がい者総合サポートセンターB棟、こども発達センターわかばの家）
- ・ 民間事業者：4事業者（児童発達支援・放課後等デイサービス事業所等）
- ・ 学校：3校（サポートルーム、特別支援学級）

(3) 調査期間

令和7年11月26日（水）～令和8年1月14日（水）

(4) 調査方法

- ・ 対面による聞き取り調査
- ・ ヒアリング実施依頼時に、ヒアリングシートを送付し、事前に回答を回収（設問項目10問程度）
- ・ 事前回答の内容（事前回答がない場合はヒアリングシートの設問）をもとに、ヒアリングを実施（1時間～1時間30分程度）

■ヒアリングシートイメージ

障がい者総合サポートセンターB棟 ヒアリングシート			
ご記入者名	役職()		
ご連絡先 メー ル		ご連絡先 電話番号	
以下、当日ヒアリングさせていただきたい内容です。事前に可能な範囲でご回答ください。 なお、回答物は必要に応じて自由に増やしてください。			
1. 現在の利用者数と近年の増減状況、利用者の特徴や変化を教えてください。			
2. 利用者と保護者のニーズや課題の変化、特に支援が必要だと思われる層を教えてください。			
3. 利用者からはどのような相談が多いですか。また、相談の変化はありますか。サービス以外の課題とした相談や、いわゆる複合的な相談もありますか（受けていますか）。			
4. 相談対応までの待機期間を減らすためにどのような対応が必要と考えますか。			
5. セルフプランの割合を減らし、専門家からの計画策定が受けられるための支援策としてどのような取り組みが必要と考えますか。			
6. 区内のサービス事業所との連携は図られていますか。より連携を図っていくためにはどのようにすればよいと思いますか。			
7. 学校との連携において、最も困難を感じる点は何ですか。			
8. 相談支援部門として、サービス事業所や学校への情報連携について課題に感じていることを教えてください。			
9. 区全体においてや各分野、部署（教育、子育て、医療、福祉等）においての計画策定に対し、相談支援や児童発達支援に関して、どのような施策があるかよいと思いますか。			



2. ヒアリング結果

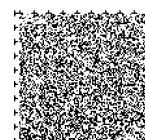
(1) 公共施設（障がい者総合サポートセンターB棟、こども発達センターわかばの家）

1) 利用者のニーズ、課題、相談内容の変化

- 外国籍の方の利用が増加傾向にある。通訳者を依頼したり、タブレット翻訳を利用したりして相談を実施しているが、保護者との意思疎通を図ることが難しいと感じている。
- こどもが発達的な課題を抱えているというだけでなく、保護者自身に精神疾患がある等、保護者を含めた支援が必要なケースが増えている。
- 「自発的に調べて早期に相談を始める方、過剰に反応される方」と「今は困っていないからと就学間近まで相談支援を考えない方」の二極化が見られているように思われる。
- 特に支援が必要な方に限って、困りごとを発信することが難しい場合が多い。また、地域のつながりが弱まっているため、自ら発信できない方を拾い上げることがさらに難しくなり、支援につながりにくい状況である。
- 就園時期が早まっているため、1歳児、2歳児であっても「集団適応が難しい」という指摘を受けて相談を申し込む方が増えている。また、不登園のこどもが増えている印象がある。
- 就学児の利用も低年齢化しており、小学1年生や未就学児からの相談が増えている。
- 小学1年生から不登校という相談も増えている印象がある。
- 養育上の課題から、家庭での対応が困難となり相談に至るケースや不登校、引きこもり、家庭内暴力、万引きなどの問題が複合しているケースもある。
- 学校でのトラブルや事業者との問題、さらには事業者探しなど、幅広い「困りごと全般」を相談されるケースもある。

2) 相談対応の待機期間短縮への対応、セルフプラン、計画策定支援について

- 相談電話から一定の待機期間（1週間～1か月程度）ののち初回相談を実施している。待機時間の中で優先度を見極め、対応を図っている。
- 大田区の人口に見合った公的な相談場所の設置が必要と考える。また、入り口の相談対応を専門職が行うことで、実質的な待機期間を軽減できると思う。
- 民間が相談対応を行うには、自治体の支援（資金、研修体制整備等）が不可欠だと思う。
- セルフプランの割合が高いことについては、まずセルフプランであることの問題はなにかを明らかにすべきである。セルフプランを全て無くすことは難しく、保護者がサービス利用に主体的に関わるという点から考えると、セルフプランはあっていいとも感じる。一方で、障害児通所サービスと障害福祉サービスの両方を利用しているケースや、家庭の養育力が不安定なため常に相談支援が必要なケースなどにおいては、相談支援専門員の関与が必要であり、保護者のニーズの把握が重要である。



3) 関係機関との連携

<全般>

- ネットワーク会議等で連携は図られている。
- 重層的支援体制整備事業の見守りの輪で関係機関と連携して見守りを行っているが、拒絶されるご家庭もある。アウトリーチと効果的な支援に繋げるためには、他機関との連携や役割の確認などが大切になる。
- 情報連携においては、個人情報の取り扱いに対して慎重にならざるを得ない。

<区内サービス事業者との連携>

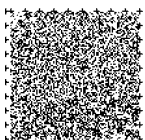
- 相談支援部門としては、児童発達支援事業所や放課後等デイサービス事業所の空き状況などが定期的に把握できるとありがたい。

<保育園・幼稚園・学校との連携>

- サポートセンターB 棟の役割が十分に理解されていないためか、学習面でのつまづきに対する見守りやフォローなど、学校で支援ができる段階での相談がある。情報共有や支援の役割分担を確認する場が必要であると感じる。
- 園の方針から「発達支援」「相談支援」を必要に感じていないケースもあり連携の仕方に各園で温度差が出てしまっている。また、保育士や幼稚園教諭が多忙のため外部からの支援を取り入れにくい環境があると感じる。

4) 大田区が今後の障害福祉施策で注力すべき内容

- 関係機関同士の連携の場づくりが必要である。こどもに関わる部署の定期的な会議への参加などサービス利用者にとって必要な支援をつなげていく仕組みづくりが大事だと考える。
- 障がいを含めてこどもの相談がワンストップで行えるような場があるとよい。気軽に相談できる場から関係機関につないでいくような仕組みにしていく。そのために、福祉コンシェルジュのような人の配置も必要と考える。
- 相談支援事業所を増やし、望めば誰でも計画相談を受けられるような環境ができるとよい。計画相談を利用することで、細かな変化や SOS を見つけられる確率が増える。そのためにも支援を受けることがプラスになるという体制を整えていく必要があると考える。
- 一方で、「早期発見と支援につなげること」だけが目的となってしまう、当事者の気持ちや意向がおざなりにならないようにすることも必要。
- 長期の人材育成計画（5～10 年）を立て、こどもの療育に対して理解のある人材を育成していくことが大切であると感じる。



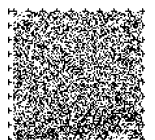
(2) 民間事業者（児童発達支援・放課後等デイサービス事業所等）

1) 利用者のニーズ、課題、相談内容の変化

- 利用のきっかけは、わかばの家の親子通園や単独通園が保護者の共働きにより時間が合わず利用できないため、民間の利用を検討したという方が多い印象である。
- 民間の事業者が増えてきて、利用を希望されている待機者の数は年々少なくなっているように感じる。
- 他の児童発達支援事業所と併用する利用者が増加しており、現在では併用している方が大半を占めている。保護者の間では、自らのニーズにあった事業者を選択することで、より多角的な視点から支援の幅を広げたいとの意識が高まっているように感じる。
- 保護者の共働きが増えたため、週末や平日の遅い時間の利用希望が増え、その結果利用希望枠が重なることが多い。
- 当事業所では送迎を行っていない。共働きのため、保護者が登下校や施設への移動に同行できないことが多い場合、移動支援のニーズが高いと思われるのに対して供給が不足していると思う。
- 保護者自身に精神疾患などの課題を抱えている方が増えた印象があり、保護者も相談の場が必要だと感じる。
- 大田区だけでなく、品川区、川崎市、横浜市からも通所する利用者がいる。
- 小学校入学が近くなってくると、支援学級と通常級・支援学校のどちらがよいかと保護者の方の悩みをよく聞くが、支援学級の設置数が限られているために希望通りとならない保護者の方も少なくない。
- 小学生以降になると学習や友人関係、生活習慣などの悩みが出てきて、苦しんでいるこどもを多くみてきた。IQ など数字では測ることのできない“偏り”のあるこどもへの支援が必要である。
- 登校がづらい、友人関係の悩みなど、中学生からの相談も多い。不登校になるこどもも増えてきているように感じる。
- 中高生は福祉サービスを利用していることをまわりに知られたくないため、事業所による学校見学を拒否する子も少なくない。
- 高校卒業後の就職や進学に伴い、「福祉との関わりが途切れてしまうのではないか」と不安に思うご家族からの相談が多い。

2) 職員体制と不足職種

- 女性の多い職場であるため、自らの育児で辞める方が多くいる。30代、40代の職員がいないため、将来の中間層に不安がある。例えば、勤務時間など人員配置基準がより柔軟になり、子育て世代でも働きやすい環境にできるとよい。
- 日々の業務においては不足なく職員を配置できているが、専門職が数名増えると、より充実した支援が可能になると考えている。
- 運営費補助や設備投資支援など、施設のハード・ソフトの両面で区の支援が充実することにより、人材が安定していくと思う。
- 働きやすい環境づくりも支援の質を担保する1つの要素であると考える。
- 職員の採用においては、事業所が医療的な施設であると看護師等は採用しやすいが、保育士等の採用は難しい傾向にある。



3) 関係機関との連携

<全般>

- ・ 保護者に支援を受けることへの強い意思があると連携を図りやすいが、保護者が支援を受けることに消極的な場合や重要視していない場合もあり、そのときは連携して支援することの大切さを保護者に根気強く説明する必要がある。
- ・ 教育機関や医療機関への情報提供・情報連携依頼や面談依頼に対して、その意義や目的、理由が正しく理解されず断られるケースがある。区からの周知や支援があるとより包括的な支援につなげやすい。

<行政との連携>

- ・ 虐待、苦情、要保護児童などの困難なケースについては、情報量も必然的に増える傾向にあり、情報共有の内容や方法が適切か判断に迷うことがある。
- ・ 児童相談所や子ども家庭支援センターとの情報共有が薄いと感じている。個人情報や保護者の意向などもあると思うが、事態が大きくなる前に地道な連携は必要だと思う。

<保育園・幼稚園・学校との連携>

- ・ 関係者にお互いのことを知ってもらう機会があると、連携がしやすくなる。信頼関係の構築に時間がかかるため、橋渡し役となる人、場が必要である。
- ・ 保育所等訪問支援を行っているが、学校によって対応に温度差があり、1法人のみでの対応には限界があると感じている。
- ・ 連絡方法が電話やFAXのみなど限定的だったり、パソコンやスマートホンの台数が十分でないために、連絡を取ることが難しいケースもあった。

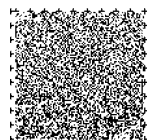
<区内サービス事業者との連携>

- ・ 他の事業者から利用を変更する場合は、保護者の了承を得たうえで、以前利用していた事業者との情報共有は行っているが、児童発達支援事業所から、放課後等デイサービス事業所へ引継ぎを行うケースは少ない。
- ・ 他事業者との連携は支援方針の違いもあり少ない。大田区児童発達支援地域ネットワーク会議で顔見知りになった事業者とは保護者の了承を得て情報共有をすることはあるが、支援内容のすり合わせまでは難しい。
- ・ 同種の他事業者とも横のつながりを持ちたいと考えているが、大田区児童発達支援地域ネットワーク会議の場だけでは、難しいと感じている。オンラインの活用などで補える可能性もあるのではないか。



4) 大田区が今後の障害福祉施策で注力すべき内容

- こどもの相談を気軽にワンストップでできるような窓口と、福祉以外の他のサービスを広く紹介できるような体制が必要である。さらに、相談場所へ向かうことが難しい方へは訪問事業がその役割も担えるようになるとうい。
- こどもへの直接的な支援だけでなく、保護者も含めた「家庭」への支援が重要と考えている。
- 発達支援を希望する当事者や保護者が、必要なサービスを十分に、適切に受けられることが重要であるとする。
- 学校と家庭、地域との連携による一貫性のある、切れ目のない支援を行うことでこどもが安心して成長できる基盤が作れるようになるのではないかなと思う。
- 民間事業所の利用者は、現状では、わかばの家の OT（作業療法士）・PT（理学療法士）・ST（言語聴覚士）などの専門職からの訓練を受けづらう。
- わかばの家以外にも中度～重度に対応ができる公共施設を増やしてほしい。
- 不登校などにより、日中居場所のないこどもが安心して過ごせるフリースペースや、つばさ教室等をさらに増やしてほしい。
- 社会人や大学・専門学校に通いはじめると福祉的な居場所などの情報が入手しづらくなるので、誰でも情報が入手しやすい仕組みや情報発信機関があるとよい。



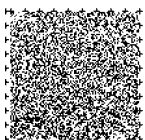
(3) 学校（サポートルーム、特別支援学級）

1) 利用した児童や保護者の変化

- 少人数の安心感、特性に合わせた対応、整備された環境などから、利用する児童・生徒の状態は改善している。また、不登校だった児童・生徒のなかには、再び登校できるようになった子もいた。
- 通常の学級のこどもたちも普通の友達として接しており、自閉症・情緒の特別支援学級に遊びに行く子もいたり、休み時間に交流もある。
- 外部専門家による講演や直接質問できる場を開催しており、保護者からも好評である。
- 保護者からも「在籍（転校）させてよかった」との声を多く聞いている。
- 大田区のホームページで本校の特別支援教育に関する情報を知り、遠方から引っ越してくる方もいた。

2) 教室運営に必要なこと

- 担当教員だけでなく、校長や他の教員も特別支援教育に対して理解を深めることが大切である。
- さらに、外部専門家の積極的な支援がないと円滑な運営は難しい。
- 通常の学級の教員も、サポートルームや特別支援学級の担当教員と積極的に情報共有を図っている。情報共有の中で、担当教員から学ぶことも多いようで、頼りにされている様子が見受けられる。
- 児童・生徒の支援のためには保護者からの理解を得ることが大切であり、そのためには、検査結果という科学的な根拠と外部専門家の意見の両方があることが重要である。
- サポートルームの存在を知らない保護者が多い。そのため、こどもの様子が気になったときには、保護者会の後などの機会に声掛けなど行い、学校として、いつでも相談を受ける姿勢（土曜授業の公開時に相談会を開く等）でいる。
- 特に自閉症・情緒障害特別支援学級は設置校が限られており、大田区は広いために遠方からの通学には、送迎対応が必要となる。移動支援の周知方法、条件緩和、スクールバスなどの支援を求める声がある。
- 教室の場所、教室内の環境整備は重要であり、学校内に複数の空き教室があるなどスペースの余裕がなければ、円滑な運営は難しく感じる。
- 担当教員が区外の学校から異動してくると、自治体による制度の違いのため混乱することがある。



3) 関係機関との連携

<行政との連携>

- 小学校では「さぼーとぴあ」に通っている児童が多くいるものの情報共有の機会がないため、お互いの役割を確認する場が必要だと思う。
- 特別支援教室やサポートルームの利用に向けた検査内容や結果が出るまでのスケジュール、保護者からの相談内容等について、教育センターともっと共有できるとよい。
- 行政からの呼びかけで入学前のケース会議が開かれたことがあった。子ども家庭支援センター、児童相談所、わかばの家、福祉関係各課、保健師などが集まり、有意義な情報共有ができた。
- 行政機関同士の情報連携が図られ、情報の引き継ぎが十分にされて、行政の担当者が異動しても変わらないやりとりができるとよい。

<小学校・中学校との連携>

- 小・中学校間の連携は図られているが、サポートルームに関する引継ぎも漏れなくできるよう、チェックリスト等があるとよい。小学校卒業前にサポートルームを退室している児童の情報や、また、通級歴がなくても特別な支援を要する児童の情報も必要と考える。

<幼稚園・保育園との連携>

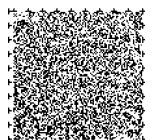
- 新1年生の情報の交換会などができる場があるとよい。
- 就学時の際の面談では時間が限られており、保護者が小学校へ伝えられる内容には限界がある。より良い支援のために、就学支援シートを活用し、保育園・幼稚園から積極的な情報の提供があるとありがたい。

<医療との連携>

- 保護者を通じて医師へ情報を正確に伝えることが難しいため、学校の様子が正確に伝わるように、担当教員が保護者の同意を得て医療機関に同行をしたり、状況を報告書にまとめて保護者を通して医師に渡したりしている。

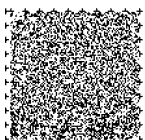
<区内サービス事業者との連携>

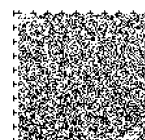
- 放課後等デイサービス事業所とは、保護者を通して報告書をもらったり、様子を聞いたりしているが、直接話すことはほとんどない。また、事業者からの学校訪問の要望もあまり聞かない。
- 放課後等デイサービス事業所の職員、保護者との情報交換の機会があり、有意義な情報共有ができた。放課後等デイサービスや他の関係機関との連携を図っていくためには、連携が上手くいった事例を積み重ね、関係者の理解を深めていくことが必要である。

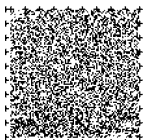


4) 大田区が今後の障害福祉施策で注力すべき内容

- 中学生の放課後の居場所が少ないと感じる。放課後等デイサービス等の利用があればよいが、自宅以外にも居場所が必要と考える。
- 中学校卒業後の進路について、区から生徒や保護者、学校に情報が提供される機会があるとよい。「サポートルームは高校でもあるのか」「どのように選んだらよいか」という保護者からの相談が多い。
- 保護者の方が気軽に相談できる場所が必要である。保護者にとって身近な場所で相談できるようになれば孤立や一人で抱え込むことを防ぐことができると思う。
- 外国籍の方が増えてきて、保護者が日本語を理解できずに、支援の意図が伝わりにくかったり、こどもの特性を把握できなかったりするケースがある。外国籍の方にも対応できるカウンセラー等が必要であると思う。
- 関係機関をつなぐセンター的な役割や仕組みが必要と考える。
- 支援が必要な園児に対し、入学後も切れ目のない支援ができるよう、実際に保育園を見に行き、保護者と面談をするなど事前に確認できる仕組みがあるとよい。
- 自閉症・情緒障害特別支援学級を入学時（小学1年生）から利用できるようにしてほしい。また、教室数に対しての利用希望数が多いため、教室数も増やしてほしい。
- サポートルームを利用するための公的な施設での検査が、現状では教育センター（池上会館）のみで行われている。スムーズな利用につなげるためにも、その他の場所でも検査や相談を受けられるようにしてほしい。
- 主治医がいないと検査の予約待ちが長くてすぐに相談できないため、優先的に検査ができる仕組みが必要と感じる。
- 障がいに関する情報をアップデートしていくために、区で教職員を対象とした研修会を開いてほしい。







インターネット回答用ID : xxxxxx
パスワード : xxxxxx
※全て小文字です

18歳以上の方

「大田区障がい者実態調査」へのご協力をお願い

日頃から区行政へのご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

このアンケートは、次期「おおた障がい施策推進プラン」の策定、事業の改善・向上に向けて障がいのある方のご意向を把握するためのものです。

障がいのある方や支援の必要な方の日頃の生活状況や大田区の障がい施策に対するご意見・ご希望などを把握するため、お忙しいところ恐縮ですが、ぜひご協力ををお願い申し上げます。

なお、この調査は無記名であり、結果の集計・分析は統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。

令和7年11月 大田区長 鈴木 晶雅

「1. インターネット」が「2. 紙(郵送)」のいずれかでご回答ください。

1. インターネットでご回答される場合

二次元バーコード等から調査専用サイトへアクセスいただき、最初の設問に、このページの左上のシール内にある

ID・パスワードをご入力の上、11月30日(日)までにご回答

ください。

URL : <https://smilesurvey.co/s/d511854a/o>

2. 紙(郵送)でご回答される場合

この調査票にご回答いただき、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、11月30日(日)までにお近くの郵便ポストに投函してください。

- ◆ このアンケートは、基本的には宛名のご本人のことをお聞きしています。ご本人がご記入できない場合は、ご本人の立場になって、代理の方がご記入ください。
- ◆ 答えたくない質問については、無理にお答えいただく必要はありません。無理のない範囲でご回答をお願いします。

【お問い合わせ先】

大田区 福祉部 障害福祉課 障害者支援担当(計画)
電話 03(5744)1700 (月曜日～金曜日(祝日を除く) 9時～17時)
FAX 03(5744)1592 E-mail shoufuku-chousa@city.ota.tokyo.jp

資料編

1. アンケート調査票 (18歳以上の方)

問1. この調査票はどなたが記入されますか。次のうち、あてはまるものをお書きください。(あてはまるもの1つだけ○)

- 本人が記入
- 本人の意見を聞いて、家族などの介助者が記入
- 本人の意見を聞きながら、本人の意向を考慮して記入
- 本人の意見を聞いて、事業所や施設職員が記入
- 本人の意見を聞きながら、本人の意向を考慮して記入

1. あなたご自身について

問2-1. あなたがご自身の身体・受給者証はどれですか。(あてはまるもの全てに○)

- 身体障害者手帳
1級 2級 3級 4級 5級 6級
- 愛の手帳
1度 2度 3度 4度
- 精神障害者保健福祉手帳
1級 2級 3級
- 自立支援医療受給者証(精神通院)
- 特定医療費受給者証(難病医療費)
- その他()

問2-2. あなたの障害者総合支援法に基づく障害区分はどれですか。(あてはまるもの1つだけ○)

- 区分1 2. 区分2 3. 区分3
- 区分4 5. 区分5 6. 区分6
- 認定を受けていない(非該当の方を含む) 8. わからない

問2-3. あなたは、次のうちどれに診断・認定などされていますか。(あてはまるもの全てに○)

- 聴覚障害
- 聴覚・平衡機能障害
- 音声・言語・そしゃく機能障害
- 体幹や下肢などの運動機能障害
- 内臓や発育機能などの内部障害
- 知的障害
- 精神疾患
- 発達障害
- 難病
- 高度脳機能障害
- 強度行動障害(※1)
- 重度心身障害(※2)
- その他()

※1 「強度行動障害」とは、自分の気持ちをうまくコントロールするのが難しく、自分を叩いたり、人を傷つけたり、物を壊してしまったり、自分もまわりの人も困ってしまう行動が多く、特別な気遣いや支援が必要な状態を指します。今回の調査では、「行動関連項目自身の合計点数が10点以上である方」とします。

※2 今回の調査では「重度心身障害」とは、「身体心も、両方にとても重い障がいがあり、食事や着替えるなどでいつも特別な手助けを必要とする方」とします。

問3. あなたは、どのような「医療的ケア※」を受けていますか。(あてはまるもの全てに○)

※たんの吸引などの、毎日のように行っている医療的な介助のことを、「医療的ケア」と言います。

1. 医療的ケアを受けていない	2. 人工呼吸器	3. 気管内挿管、気管切開
4. 鼻咽喉エラウエイ	5. 酸素吸入	6. 吸引
7. ネブライザー(吸入器)使用	8. 中心静脈栄養(IVH)	9. 経管(経鼻・胃ろう含む)
10. 腸ろう・腸管栄養	11. 透析	12. 定時導尿
13. 人工肛門	14. その他〔	〕

問4. あなたは、介護保険制度で要支援または要介護の認定を受けていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 要支援の認定を受けている	2. 要介護の認定を受けている	3. 受けていない
4. 要介護・要支援の認定を受けていない(期限切れを含む)		

問5. あなたは、どなたと暮らしていますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 一人暮らし	2. 自分の親
3. 自分の兄弟姉妹	4. 自分の配偶者
5. 自分子ども、またはその配偶者	6. 自分の姉せき
7. 施設(グループホーム、通所療養等)の仲間や職員	8. 病院に入院している
9. その他〔	〕

問6. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふつう
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	6. 答えられない・答えない

問7. この一年間でコミュニケーションや意思の伝達等においてどのような場面でも困りましたか、(あてはまるもの全てに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 相手の話している内容を、正確に理解することが難しかった |
| 2. 文書を読み書きすることが難しかった |
| 3. 専門用語や手続きの説明が難しく、内容がよく理解できなかった |
| 4. 案内表示やアサウスの、わかりにくかった |
| 5. 自分の希望や意見、症状等を、正確に伝えることができなかった |
| 6. 相手の障がいに対する理解が足りなかった |
| 7. その他〔 |
| 8. 特に困ったことはない |

問8. 最志の伝達を認る際、特別な手段や道具や通員等を使っていますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 必要ではない	2. 口話(読唇)	3. 手話
4. 補聴器や人工耳等の補聴機器	5. 筆談・装約筆記	6. 文字盤
7. 点字	8. ハンコウ	9. スマートフォン・タブレット
10. 携帯用会話補助装置・発音補助機	11. 同行援護	
12. その他〔		〕

2. 障害福祉サービス等

問9. 以下A～の障害福祉サービス等において、あなたが、「(1)現在利用している」「サービスと、(2)今後利用する予定(今後利用する予定)」のサービスを教えてください。

利用パターン別の回答方法
①現在利用している、今後利用する ⇒ 「1」「2」ともに○ ②現在利用していない ⇒ 「1」だけ○
③現在利用しておらず、今後利用する ⇒ 「2」だけ○ ④現在も今後とも利用しない ⇒ ○をつけない

	(1)現在 利用している	(2)今後(も) 利用する予定
A. 自宅での生活支援(ホームヘルプ)等 ヘルパーが自宅を訪問し、入浴や食事などの生活全般を支援します。 (個別サービス名) ○居宅介護 ○重度訪問介護 ○重度障害者等包括支援 ○訪問入浴サービス	1	2

	(1)現在 利用している	(2)今後(も) 利用する予定
B. 外出・移動のサポート 外出に同行し、移動の援助や危険回避、社会参加のための支援をします。 (個別サービス名) ○同行援護 ○行動援護 ○移動支援事業	1	2

	(1)現在 利用している	(2)今後(も) 利用する予定
C. 一時預かり(レスパイト) 家族の休意などのため、日中や短期間の預かり支援を行います。 (個別サービス名) ○短期入所 ○日中一時支援 ○在宅レスパイト	1	2

	(1)現在 利用している	(2)今後(も) 利用する予定
D. 日常生活の支援 日常生活に必要な用具の給付や意思疎通を支える支援を行います。 (個別サービス名) ○日常生活用具給付事業 ○意思疎通支援事業	1	2

	(1)現在 利用している	(2)今後(も) 利用する予定
E. 相談支援、サービス等利用計画の作成 サービス利用の計画作成や相談、権利を守るための手続きを支援します。 (個別サービス名) ○計画相談支援 ○相談支援事業 ○成年後見制度利用支援事業	1	2

F. 日中の活動の支援(通所)	
日中に施設へ通い、介護や医療的ケアを提供します。 (個別サービス名) ○生活介護 ○療養介護	(1)現在 利用している 1
	(2)今後(も) 利用する予定 2

G. 自立のための訓練	
身体機能の回復や生活スキルなど、自立生活のための訓練をします。 (個別サービス名) ○自立訓練(機能訓練) ○自立訓練(生活訓練) ○宿泊型自立訓練	(1)現在 利用している 1
	(2)今後(も) 利用する予定 2

H. 働くための支援	
就職に必要な訓練、働く場の提供、職場への定着までを支援します。 (個別サービス名) ○就労継続支援(A型) ○就労継続支援(B型) ○就労移行支援 ○就労定着支援	(1)現在 利用している 1
	(2)今後(も) 利用する予定 2

I. 住む場所の提供と支援	
グループホームや施設で、主に夜間に介護を受けながら生活します。 (個別サービス名) ○共同生活援助(グループホーム) ○施設入所支援	(1)現在 利用している 1
	(2)今後(も) 利用する予定 2

J. 地域で生活するための支援	
施設等から地域へ移り、一人暮らしなどを安定して続ける支援です。 (個別サービス名) ○自立生活援助 ○地域移行支援 ○地域定着支援	(1)現在 利用している 1
	(2)今後(も) 利用する予定 2

問10. サービスを利用しやすくするために必要だと想うことは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 特に必要と思うことはない
2. サービス利用に関する決まりや仕組みをわかりやすくすること
3. 自分に合った事業所が選べる
4. 重度の障がいや医療的ケアにも対応できること
5. 使いたいときに使えるように利用できる曜日・時間を増やすこと
6. サービスに携わるスタッフ・人材の知識・技術・意識を高めること
7. サービスを提供している部屋や建物を広くすること
8. 通いやすい場所にサービスを利用できる施設・事業所があること
9. その他 ()

問11～15は、障害福祉サービス等を利用されている方にお伺いします。】

問11. 現在、利用しているサービスの満足度について教えてください。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 満足している
2. おおよそ満足している
3. 不満である

問12. あなたが現在利用しているサービス事業所を選んだ理由は何か。(あてはまるもの全てに○)

1. 自宅から近いなど、交通アクセスが良かった
2. 送迎があるから
3. 相談支援専門員・医師などにすすめられたから
4. 以前から知っていて安心感があったから
5. 知っている利用者や職員がいたから
6. 必要なサービスが受けられるから
7. 提供されているプログラムに魅力を感じたから
8. 見学時等に職員の対応が丁寧・安心だったから
9. 職員の専門性が高いと感じたから
10. 施設の設備環境、雰囲気や印象が良かったから
11. 過去の実績や評判が良かったから
12. 個別のニーズに対応してくれたから
13. 利用料や負担が比較的少なかったから
14. 他に空きがなく、そこだけ利用可能だったから
15. 利用したい曜日や時間帯に空きがあったから
16. その他 ()

問13-1. あなたが、「障害福祉サービス等」を使いたいと思ったときに、困ったことはどのようなことですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 制度や手続きがわかりにくい
2. 手続きが大変
3. サービスの利用までに時間がかかる
4. 自分に合った事業者が見つからない
5. 事業者から断られた →問13-2へ
6. 金額が高い(経済的負担が大きい)
7. どうやってサービスを探したらいいかわからない
8. 特にな
9. その他 ()

問13-2. 【問13-1で「5. 事業者から断られた」と回答した方にお伺いします】

事業者から断られた理由について、差し支えない範囲で教えてください。(あてはまるもの全てに○)

1. 医療的ケアが必要なため
2. 本人の活動性が高いため
3. 住所がサービス提供範囲外のため
4. 病状の変動が大きい
5. 事業所が人材不足のため
6. すでに定員いっぱいであるため
7. 利用日程が合わないため
8. 送迎の対応が難しいため
9. 公営サービスの対象となっていないため
10. わからない
11. その他 ()

問14. あなたが現在利用されているサービスに不満はありますか。不満がある場合は、どのような点ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 不満は特になし
2. 必要なサービスが提供されていない
3. 回数や時間が足りない
4. 使いたいときに使えない(日程などの条件が合わない)
5. 希望するサービスが対象外である
6. サービス情報が必要が不足していたり取得が難しかった
7. 事業者を比べたい
8. 事業所の職員の専門性やスキル等が不足していると感じた
9. 家族との連携がとれていない
10. 他の事業所との連携がとれていない
11. 事業所の設備の環境がよくない
12. 施設が遠い
13. 同じ事業所を継続して使い続けられない(金額が高い(経済的負担が大きい))
14. 金額が高い(経済的負担が大きい)
15. その他〔 〕

問15-1. あなたの障害福祉サービスの利用計画は誰が作成していますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 本人
2. 家族
3. 相談支援事業所
4. 介護保険のケアマネジャー
5. わからない・覚えていない
6. その他〔 〕

問15-2. 問15-1で「1. 本人」「2. 家族」と回答した方にお伺いします

計画相談支援を利用しない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 自分が使うサービスは自分で決めたから(計画相談支援が必要だと思わなかったから)
2. 相談支援のサービスは自分で決めたから(計画相談支援が必要だと思わなかったから)
3. 相談支援のサービスがあることを知らなかったから
4. 計画相談支援を利用するための手続きが大変そうだと思ったから
5. 相談支援事業所に断られたから
6. 計画相談支援を利用したことがあるが、自分には合わなかったから
7. 相談支援事業所に自分が求める知識がなかったから
8. 特に理由はない
9. その他〔 〕

問16. いずれのサービスも利用していない方にお伺いします

あなたがサービスを利用していない理由は何か。(あてはまるもの全てに○)

1. 自力で生活できるから
2. 家族が介助してくれるから
3. 介護保険サービスを利用しているから
4. サービスを知らなかったから
5. 自分がサービスを受けられるかわからないから
6. 利用方法がわからないから
7. サービスの内容がよくないから
8. 必要なサービスが提供されていないから
9. 金額が高い(経済的負担が大きい)から
10. 家の近くに施設がないから
11. 家族以外に介助してもらうことに不安があるから
12. 事業者が断られたから
13. 以前利用したがよくなかったから
14. 相談先がわからないから
15. 特に理由はない
16. その他〔 〕

3. 情報や相談

問17. 福祉についての情報などを、どのような方法で手に入れていますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 友達・知り合いから
2. 区報、区のホームページで
3. インターネット
4. SNS等
5. 相談支援専門員から
6. 医療機関の相談窓口で
7. 障がい者団体や家族会から
8. テレビ、新聞などで
9. その他〔 〕

問18. 福祉についての情報などを、手に入れたときに困ったことは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. どのように調べればよいかわからない、どこで相談すればよいかわからなかった
2. ホームページなどの情報量が多すぎて、自分に必要な情報がわからなかった
3. 情報の内容が難しく、理解できなかった
4. 広報誌や窓口で配布されるパンフレットだけでは、内容が不十分と感じた
5. 障がい・特性に合った情報提供方法ではなかった(手話、点字、音声読み上げ、やさしい日本語など)
6. 窓口等で必要な情報を説明することが難しい
7. その他〔 〕
8. 特に困ったことはなかった

問19. あなたが日常生活で困っていたり、相談したいと思っていることはどのようなことですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 身の回りの介助をしてくれる人のこと
2. 相談できる人がいないこと
3. 移動手段が乏しいこと
4. 就労・就学先が見つからないこと
5. 十分な収入が得られないこと
6. 趣味や生きがいを持っていないこと
7. 生活に必要な情報が得られないこと
8. 病院・診療所や医療サービスのこと
9. 家の管理が難しいこと
10. 障がいや地域住民との関係がうまくいかないこと
11. お金の管理が難しいこと
12. 親が亡くなった後のこと
13. 特に困っていることはない
14. その他〔 〕

問20-1. いま、あなたが相談できるのは、どのようなところ(人)ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 区役所(地域福祉課や地域健康課など)
2. 障がい、者総合サポートセンター
3. 相談支援事業所
4. 身体障害者相談員、知的障害者相談員、精神障害者相談員
5. 家族・友達・知り合い
6. 福祉施設の職員
7. 医療関係者(医師・看護師など)
8. 同じ障がいをもつ仲間(当事者団体等)
9. 自治会・町会や民生委員・児童委員
10. 勤務先(同僚、上司等)
11. 特にいない
12. その他〔 〕

問20-2. 【問20-1 で「1. 区役所（地域福祉課や地域健康課など）」「2. 障がい者総合サポートセンター」
「3. 相談支援事業所」と回答した方にお伺いします】

その相談によって、あなたの悩みや困りごとは解決しましたか。（それぞれにあってはまるもの1つだけ○）

	解決した	どちらとも言えない	解決しなかった
区役所（地域福祉課や地域健康課など）	1	2	3
障がい者総合サポートセンター	1	2	3
相談支援事業所	1	2	3

問21. 日常生活での困りごとなどを相談しやすくするために、どのようなことが必要だと思いますか。
（あてはまるもの全てに○）

1. 身近な場所でも相談できること
2. 相談員が自宅に訪問してくれること
3. 休日や夜間でも相談できること
4. 対応する人が障がい特性を理解していること
5. 専門的な相談や助言ができる人材がいること
6. 同じ障がいをもつ方に相談できること
7. 電話やオンラインで相談できること
8. 手話通訳などのコミュニケーションの支援が充実していること
9. 予約をしなくても話を聞いてもらえること
10. 定期的に相談できること
11. どのような相談にも1か所の窓口で対応して 12. どこで、どんな相談ができるかわかりやすい
もらえること
13. 実際に相談した方の評価（口コミ）が確認できること 14. その他（ ）
15. 特に必要だと思うことはない

4. 就労や外出

問22-1. あなたは、現在、仕事をしていますか。（あてはまるもの1つだけ○）

1. 仕事をしている（自営業や在宅勤務を含む）⇒問22-2へ
2. 働く練習や社会生活を学ぶために作業などを行う施設に通っている ⇒問22-3へ
3. 現在は仕事をしていない ⇒問23へ

問22-2. 【問22-1 で「1. 仕事をしている（自営業や在宅勤務を含む）」と回答した方にお伺いします】
仕事をすると上で不安や不満はありますか。（あてはまるもの全てに○）

1. 給料（もらえるお金）が少ない
2. 仕事が難しい
3. 障がいの重度化や体調不良
4. 相談する人や場所がない
5. 仕事内容が単純（単純）すぎる
6. 職場の人たちとの人間関係が難しい
7. 技能習得や研修等の機会が少ない
8. 障がいの理解が十分でない
9. トイレなど障がい者の設備が十分でない
10. 通うのが大変
11. 働く条件や契約の内容に不安がある（雇用契約に期限があるなど）
12. 一般の社員と比べて昇給や昇進に遅い（なかなか給料（もらえるお金）が上がらない）
13. 特に不安や不満はない
14. その他（ ）

⇒問23へ

問22-3. 【問22-1 で「2. 働く練習や社会生活を学ぶために作業などを行う施設に通っている」と回答した方にお伺いします】

自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、生活介護などの施設に通う上で、不安や不満はありますか。（あてはまるもの全てに○）

1. 人間関係が難しい
2. 長続きしない
3. 工賃（もらえるお金）が少ない
4. 場所が遠い
5. 通う手段（バス、電車など）が少ない（通うのが大変）
6. 自分に合った内容のサービスがない（自分に合った作業がない）
7. 成果が出せるか不安（作業や訓練などがうまくできるか不安）
8. 特に不安や不満はない
9. その他（ ）

問23. あなたは、障がいのある方が働くためには、特にどのようなことが大切だと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

1. 自分の家や、家の近くで働ける
2. 健康状態に合わせて働ける
3. 働くところの紹介や相談が受けられる
4. 職業訓練ができる施設の充実
5. 企業（会社）への雇用の働きかけ
6. 職場の人の障がいの理解
7. 障がい者の利用に配慮された設備や職場
8. 障がいの程度や能力に応じた仕事の内容
9. 一般の社員並みの賃金
10. 重度の障がいや医療的ケアが必要であっても働けること
11. わからない
12. その他（ ）

問24. ふだん、あなたはどのくらい外に出かけていますか。「(1)通勤・通学・通所等」と「(2)レジャー・余暇等」の目的ごとに教えてください。(それぞれあてはまるもの1つだけ○)

(1)通勤・通学・通所等

1. ほとんど毎日出かけている	2. 週に3～4日出かけている
3. 週に1～2日出かけている	4. 通勤・通学・通所等はしていない

(2)レジャー・余暇等

1. ほとんど毎日出かけている	2. 週に3～4日出かけている
3. 週に1～2日出かけている	4. ほとんど出かけていない

5. 保健・医療

問25. あなたは、現在、医師の治療（歯科診療を含む）を受けていますか。「(1)障がいに関わること」と「(2)障がい以外のこと」のそれぞれで教えてください。(それぞれあてはまるもの1つだけ○)

(1)障がいに関わること

1. 定期的に通院している	2. ときどき通院している	3. 自宅で訪問看護や往診を受けている
4. 入院している	5. 特に治療はしていない	6. その他（ ）

(2)障がい以外のこと

1. 定期的に通院している	2. ときどき通院している	3. 自宅で訪問看護や往診を受けている
4. 入院している	5. 特に治療はしていない	6. その他（ ）

問26. 最後に健康診断（人間ドックを含む）を受けたのはいつですか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. この1年以内	2. 1～2年前	3. 3～5年前	4. 5年以上前
5. 受けたことがない（理由： ）			

問27. あなたは、ご自分の健康や医療のことで、困っていることや不安に思っていることがありますか。(あてはまるもの全てに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 障がいの重度化や病気が悪くなる |
| 2. 服薬管理や栄養管理が難しい |
| 3. 障がいがあっても受診しやすい病院がない |
| 4. かかりつけの医療機関や医師がいない |
| 5. 今のかかりつけの医師にいつまで診てもらえるか不安 |
| 6. 治療内容の説明がわからない |
| 7. 病院にかかるお金が負担が大きい |
| 8. 障がいを含めた健康状態を相談できる医療機関がない |
| 9. 通院のための介助者がいない（病院に行ってくれる人がいない） |
| 10. 感染症に対する不安 |
| 11. 病院にかかることへの心理的な抵抗がある |
| 12. 特になし |
| 13. その他（ ） |

6. 災害時の対応

問28. あなたは「ヘルプカード（たすけてねカード※）」を知っていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

※大田区立支援協議会が障がいのある方の災害対策の一環として作成したカードであり、障がいのある方が災害時や日常の外出時の緊急時など困ったときに、手助けを求めることができるカードです。

- | |
|-------------------------|
| 1. 持っている・使っている |
| 2. 知っているが、持っていない・使っていない |
| 3. 知らない |



ヘルプカード
(たすけてねカード)

ヘルプカード（たすけてねカード）は、障害福祉課や地域福祉課、地域健康課、特別出張所の窓口、障がい者総合サポートセンターでお受け取りいただけます。紙に限りがございますので、事前に在庫状況をお問い合わせください。

問29. あなたは、災害（地震や台風など）のとき、無事かどうかの確認や避難の手助けなどのために作成されている「避難行動要支援者名簿※」を知っていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

※災害時に自ら避難することが難しい方（避難行動要支援者）の安否確認や避難支援を迅速に行うため、本人の同意に基づき作成される名簿です。この名簿は、地域の支援者（民生委員や自治会・町会など）と共有され、いざという時に地域で支え合う仕組みづくりに活用されます。

- | |
|------------------------------|
| 1. 名簿があることを知っており、登録している |
| 2. 名簿があることを知っているが、登録していない |
| 3. 名簿があることを知っているが、登録の方がわからない |
| 4. 名簿があることを知らなかった |

問30. あなたは、災害（地震や台風など）時に自ら避難することが困難な避難行動要支援者が作成することを推奨されている、「個別避難計画※」を知っており作成していますか。(あてはまるもの1つだけ○)

※災害時に、自ら避難することが困難な要支援者一人一人の状況に合わせ、避難誘導等ができるよう、あらかじめどのように避難するか、誰が支援するか、どんな配慮が必要かなどを定めておく計画です。

- | |
|--------------------------|
| 1. 知っており、作成している |
| 2. 知っているが、作成していない |
| 3. 作成する必要がある（作成するつもりがない） |
| 4. 知らなかった |

問31. あなたは「マイ・タイムライン※」を知っていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

※風水害の発生に備えて、自身や家族の取るべき行動について「いつ」「誰が」「何を」するかを時系列に整理した個人の防災行動計画のことです。

- | |
|-----------------------|
| 1. 作成の目的を知っている |
| 2. 言葉は知っているが、目的はわからない |
| 3. 言葉も目的も知らない |

問32-1. あなたは、災害(台風の水害等含む)が起きた際に、どのような行動(避難など)をすればよいかわかるか。準備している 2. 理解しているが、準備していない 3. 理解しておらず、準備していない

問32-2へ 問33へ

問32-2. 問32-1で「1. 理解し、準備している」と回答した方にお伺いします

どのような準備をされていますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 避難計画の策定 2. 備蓄(食糧や飲み物、薬) 3. 非常用電源等 4. 避難所の確認 5. 地域の支援団体との連携 6. ヘルプカードの作成 7. その他

問33. あなたは、災害(地震や台風など)があったときに、困ることや不安に思うことは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 自宅での避難の備蓄(食糧や飲み物、薬)や備え(非常用電源、耐震補強等)が不十分 2. 家族と連絡がとれるか不安だ 3. 実際に被害にあったとき、どう行動していいかわからない 4. 避難所(学校避難所、福祉避難所等)を知らない 5. 避難所までひとりで行くことができない、または、避難する途中に不安な場所がある 6. 被害の状況などの情報を手に入れない 7. 避難所で、エロートやトイレなどの設備が十分整っていないか、不安だ 8. 避難所で、自分にあった投薬や治療が受けられない 9. 避難所での周りの人の目が気になる 10. 特になし 11. その他

7. 権利擁護

問34-1. 障がいがあることを理由として差別をされたと感じた・いやな思いをしたことがありますか。あった方はどのような場所や場面でそのようなことがあったか教えてください。(あてはまるもの全てに○)

1. 学校や教育の場面 2. 職場(仕事をしているとき) 3. 公共交通機関や公共施設(駅など) 4. 区役所などの行政機関 5. 病院や診療所などの医療機関 6. 銀行などの金融機関 7. 飲食店や買い物をするとき 8. 福祉サービスを受けるとき 9. 家を借りるとき 10. 地域のイベントに参加するとき 11. 近隣や地域(家の近く) 12. 特になし 13. その他

問34-2. 問34-1の場所や場面で、あなたが差別をされたと感じた・いやな思いをしたのは、どのような内容でしたか。よろしければお書きください。(下欄に記入)

問35. あなたは、「障害者差別解消法※」を知っていますか。(あてはまるもの1つだけ○) ※障害者差別解消法とは、役所や会社、お店などの事業者が、障がいのある人に対して、正当な理由なく、障がいを理由として差別することを禁止する法律です。

1. 法律の内容まで知っている 2. 法律があることは知っている 3. 知らない

問36. あなたは、成年後見制度※を使っていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

※成年後見制度とは、財産(お金など)の管理や契約をする際、判断するのが難しい人を支援する制度です。詳細は、若の二次元バーコードを読み取り、大田区の「成年後見制度の概要」のWebページにアクセスしてください。

1. すでに使っている 2. 将来必要になったら後見、補佐、補助のいずれかを使いたい 3. 特に必要ではない 4. 必要になるかわからない 5. 制度を知らない

問37. あなたは、障害者虐待防止センターがあることを知っていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 内容や場所まで知っている 2. 名前知っている 3. 知らない

8. 日中の活動・将来の暮らし方

問38-1. あなたは、日中(昼間)、主にどのような活動をしていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 会社などで働いている、または、自分で商売(自営業)や在宅勤務などを行っている 2. 働く練習や社会生活を学ぶために作業などをを行う施設に通っている 3. デイサービスやデイケアなどに通っている 4. 家で家事や育児、介護などを行っている 5. 学校に通っている 6. 治療やリハビリのために、入院している 7. 1～6に該当することはない ⇒問38-2へ

問38-2. 問38-1で「7. 1～6に該当することはない」と回答した方にお伺いします

仕事・就学・家事等をしていない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 高齢のため 2. 障がいや病気のため 3. 自分に合った仕事や職場がないため 4. 通勤・通学が困難なため 5. 仕事を探しても、就労に結びつかないため 6. 働く必要がないため 7. 特に理由はない 8. その他

問39. 勤務時間や学校・施設に通っている時間以外の、余暇の時間の過ごし方についてお伺いします。
(1)現在、どのように過ごしていますか。また、(2)今後、どのように過ごしたいですか。(それぞれ
あてはまるものを全てに○)

	(1)現在の過ごし方	(2)今後の過ごし方
① 家でくつろぐ(テレビを見る、家族と過ごす)	1	1
② ゲームをする、インターネット (SNS等) を見る	2	2
③ 友人・知人と会って交流を深める	3	3
④ 買い物や映画に行くなど外出して過ごす	4	4
⑤ 講座や講演会に参加する	5	5
⑥ 読書をする、音楽を聴く	6	6
⑦ スポーツ・レクリエーション活動に参加する	7	7
⑧ 障害者団体の活動に参加する	8	8
⑨ 地域の行事やお祭りに参加する	9	9
⑩ ボランティアなど社会貢献活動に参加する	10	10
⑪ 趣味やサークルなどの活動に参加する	11	11
⑫ 資格取得等の勉強をする	12	12
⑬ その他〔 〕	13	13

問40-1. 10年後、あなたはどのように暮らしたいと思っていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 家族と暮らしたい	2. 一人で暮らしたい	3. 施設で暮らしたい	→問40-2へ
4. わからない	5. その他〔 〕		

問40-2. 【問40-1で「3. 施設で暮らしたい」と回答した方にお伺いします】

グループホームを利用する意向はありますか。(あてはまるもの1つだけ○)			
1. 現在利用している	2. 将来、利用したい	3. 利用の意向はない	4. わからない

問41. 希望する暮らし方や道路・生活設計を実現する上で、どのようなことを望みますか。(あてはまるものを全てに○)

1. 家族との関係が良好であること	2. 困ったときに相談できる相手がいること
3. 住まいがあること	4. グループホームなどの施設が利用できること
5. 働く場所や仕事があること	6. 自立生活のための訓練・体験が行えること
7. 日中の行き場 (通所施設、作業所、デイケアなど) があること	8. 自宅で過ごすための訪問系サービスが受けられること
9. 経済的負担が軽減されること	10. 必要な医療が受けられること
11. 道路・交通・建物がバリアフリー化されること	12. 地域の人たちの障がいに対する理解が進むこと
13. 特にない	
14. その他〔 〕	

9. ライフステージごとの課題

問42. あなたのこれまでの人生を振り返り、[A]～[D]の時期で、障がいがあるために以下に該当するよう
な困ったことはありましたか。障害認定を受けた時期以降の設問にのみご回答ください。

[A]乳幼児期(就学前)(あてはまるものを全てに○)

1. この時期は障害認定を受けていない
2. 送迎の支援サービスをすぐに利用できなかった
3. 障がいのため、同じくらいの年齢の子とも交流したり、一緒に遊んだりする機会が少なかった
4. 障がいや特性への理解がある保育園や幼稚園がなかなか見つからなかった
5. 障がいに気づいてもらえなかった
6. 特に困ったことはなかった
7. その他〔 〕
8. 覚えていない

[B]学齢期(小・中・高校生)(あてはまるものを全てに○)

1. この時期は障害認定を受けていない
2. 学校に障がいへの支援がなかった
3. 障がいのため、友人関係で悩むことが多かった
4. 参加したい部活動や習い事が、障がいを理由に参加しにくかった
5. 先生や生徒に、自分の障がいや困難を理解してもらえなかった
6. 放課後や長期休みに、障がいがあったても安心して過ごす場所がなかった
7. 卒業後の進路の選択が限られていた
8. 卒業後の進路決定に必要な情報が不足していた
9. 障がいのために、学校に行くことができなかった
10. 特に困ったことはなかった
11. その他〔 〕

[C]青年期・成人期(19～39歳)(あてはまるものを全てに○)

1. この時期は障害認定を受けていない
2. 障がいのため、働きたくても、自分に合った仕事が見つからなかった、働き続けるのが難しかった
3. 一人暮らしやグループホームでの生活をしたいと思っても、入居できる場所がなかった
4. 気軽に相談できる人や、同世代の仲間と交流する機会が減ってしまった
5. 小児科から大人の診療科へ移る際に、適切な引継ぎやサポートがなかった
6. 児童福祉施設や子どもの時に使えた障がい福祉のサービスが利用できなくなり、居場所ややる ことがなくなった
7. 自分の障がい特性を踏まえた恋愛・結婚・人間関係に關する支援がなかった
8. 特に困ったことはなかった
9. その他〔 〕

【D】中高年期以降(40歳～)(あてはまるもの全てに○)

1. まだ該当する年齢ではない
2. 親が高齢になり、この先の生活や親が亡くなった後のことがとても不安だ
3. 障がいと高齢の両方に対応できるサービスが少ない
4. 健康や介護のことで相談できる機会が少ない
5. これまで利用していた障がい福祉のサービスや活動の場が、年齢を理由に利用しにくくなった
6. 年齢に合った障がい福祉のサービスがなくなってきた
7. 介護保険サービスの優先の原則を知らなかった
8. 特に困ったことはなかった
9. その他 []

10. 区の施策

問4-3. あなたは「大田区立障がい者総合サポートセンター さぼーとびあ※」を知っていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

※「障がい者総合サポートセンター さぼーとびあ」とは、相談支援や地域交流支援など障がいのある方の暮らしを総合的に支える拠点です。詳細は、若の三次元バーコードを読み取り、さぼーとびあのWebページにアクセスしてください。



1. 知っていて、利用したことがある
2. 名前や場所は知っているが、利用したことはない
3. 知らなかった

問4-4-1. 「大田区立障がい者総合サポートセンター さぼーとびあ」では、下に書かれているようなことができます。あなたは、次のうち、どれを使いたいですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 専門的な職員に相談したい
2. 就労（働くこと）の支援を受けたい
3. 短期入所を使いたい
4. 自立訓練に通いたい
5. 自分が興味のある内容の講座等に参加したい
6. 障がい者スポーツを体験したい
7. 本や雑誌を読んだり、情報を得たい
8. ボランティアや団体の活動に参加したい
9. カラエの販売品に興味がある
10. 特に使いたいと思わない ⇒問4-2へ

問4-4-2. 【問4-4-1で「10. 特に使いたいと思わない」と回答した方にお伺いします】使いたいと思わない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 通うのに交通費がかかるから
2. 通うのに遠く、大変だから
3. 学校や仕事が多いから
4. 家族の介護で忙しいから
5. 知っている人がいないから
6. 使いたいサービスがないから
→使いたいサービス []
7. 他の人とあまりかわりたくないから
8. 必要だと思わないから
9. 特に理由はない
10. その他 []

問4-5. 大田区の障がい児・者への取組について、特にどのようなことを充実させてほしいですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 相談支援や情報提供の充実
2. グループホームなどの地域で暮らせる場の整備
3. 入所施設の整備
4. 日中活動の場の整備
5. 余暇活動や趣味の講座などの充実
6. 働きやすい環境づくり
7. 療育や教育の充実
8. 交通機関や施設などのバリアフリー、ユニバーサルデザインの促進
9. 医療やリハビリの充実
10. 手当や年金などの経済的な支援の拡充
11. 家で受けられるサービスの充実
12. 災害時の支援体制の整備
13. 緊急時の対応（相談先等）
14. ボランティア活動の充実
15. 障がいについての理解の促進
16. 権利擁護や虐待防止の取組

問4-6. 区に充実してほしい施策について、ご自由にご意見をお書きください。(下欄に記入)

問4-7. ふだん、あなたを介助・支援している(助けてくれる)人はいいますか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. いる ⇒問4-8へ
2. いない ⇒調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

11. 家族（子、配偶者、親等）のニーズ

※以下の設問は、ご本人のケアを主に担われているご家族がご記入ください。

※以下の設問は、ケアを主に担われている方を「あなた」としています。

問48. 障がいのある方本人(宛名の方)からみて、あなたの続柄は何ですか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 父	2. 母	3. 兄弟姉妹
4. 子ども	5. 孫	6. 配偶者
7. 祖父母	8. 施設の職員	9. ボランティア
10. ホームヘルパー	11. その他	

問49. (1)あなたの年代を教えてください。また、(2)あなたの就労・就学状況を教えてください。(それぞれあてはまるもの1つだけ○)

(1)あなたの年代

1. 10歳代以下	2. 20歳代	3. 30歳代
4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60歳代
7. 70歳代	8. 80歳代以上	

(2)あなたの就労・就学状況

1. 就労している	2. 就学している
3. 就労・就学していない	4. その他

問50. 主にケアをされているあなたがいなくて、障がいのある方本人(宛名の方)に支援が必要になった場合、どのようにしていますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 一緒に住んでいる家族や親せきに頼む	2. 別の家に住んでいる家族や親せきに頼む
3. 緊急一時保護(家庭委託、特別介護人派遣など)を使う	4. 介護や家事援助などを行うホームヘルプサービスを使う
5. 短期入所(ショートステイ)を使う	6. 近所の人や友達・知り合いに頼む
7. ボランティアに頼む	8. 他に依頼できる人はいない
9. その他	

問51. あなたは、障がいのある方本人(宛名の方)以外の人を介護、支援等することはありますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 高齢者の介護	2. 乳幼児の子育て	3. 病人の看護
4. 宛名の方以外の障がい者の介護	5. いなし	
6. その他		

問52. いつも介護や支援している家族に対する支援サービスとして、どのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 同じ境遇の家族に相談できるサービス	
2. 医療福祉専門職に相談できるサービス	
3. 当事者家族が主催する学習会	
4. 当事者へのかわり労を学ぶ場	
5. 経済的支援に関する相談・情報提供	
6. 緊急一時保護(家庭委託、特別介護人派遣など)の充実	
7. 介護や家事援助などを行うホームヘルプサービスの充実	
8. 短期入所(ショートステイ)の充実	
9. 親亡き後の本人のことについて相談できるサービス	
10. その他	

調査は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に封入の上、

2025年11月30日(日)までにご投函ください。

2. アンケート調査票（18歳未満の方）

問1. この調査票はどなたが記入されますか。次のうち、あてはまるものをお答えください。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 本人が記入 ほんじんがきりゅう
2. 本人の意見を聞いて、家族などの介助者が記入 ほんじんのい意見をきいて、けいぞうなどのかいしゅしゃがきりゅう
3. 本人の意見を確認することが難しいので、本人の意向を考えて家族などの介助者が記入 ほんじんのい意見をかくんしんすることがむずかしいので、ほんじんのい意向をかんがえてけいぞうなどのかいしゅしゃがきりゅう
4. 本人の意見を聞いて、事業所や施設職員が記入 ほんじんのい意見をきいて、じぎょうしょやせつしつしやくいんがきりゅう
5. 本人の意見を確認することが難しいので、本人の意向を考えて事業所や施設職員が記入 ほんじんのい意見をかくんしんすることがむずかしいので、ほんじんのい意向をかんがえてじぎょうしょやせつしつしやくいんがきりゅう

1. あなたご自身^{じしん}について

問2-1. あなたが^もお持ちの^{てちょう}手帳・^{じゅきやうしやう}受給者証はどれですか。(あてはまるもの全てに○)
すべ

1. 身体障害者手帳	1級	2級	3級	4級	5級	6級
2. 愛の手帳	1度	2度	3度	4度		
3. 精神障害者保健福祉手帳	1級	2級	3級			
4. 自立支援医療受給者証(精神通院)						
5. 特定医療費受給者証(難病医療券)						
6. その他「						

問2-2. あなたは、次のうちどれに**診断**認定などされていますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 視覚障害がい、めがくしょうがい
2. 聴覚・平衡機能障害がい、めがくしょうがい
3. 音声・言語・しゃく機能障害がい、めがくしょうがい
4. 体幹や上下肢などの運動機能障害がい、めがくしょうがい
5. 内臓や免疫機能などの内部障害がい、めがくしょうがい
6. 知的障害がい、めがくしょうがい
7. 精神疾患せしんしやう
8. 発達障害がい、めがくしょうがい
9. 難病なんびやう
10. 高次脳機能障害がい、めがくしょうがい
11. 強度行動障害がい、(※1)めがくしょうがい
12. 重度心身障害がい、(※2)めがくしょうがい

※1 1段階行動障がいとは、自分の気持ちやうまくコントロールするのが難しく、自分を叩いたり、人を傷つけた
り、物を壊してしまったり、自分もまわりの人も困ってしまう行動が多く、特別な支援や支援が必要ない状態を指
します。今回の調査では、行動関連項目等の合計点数が10点以上である方とします。

※2 今回の調査では「重度心身障がい」とは、「¹体も心も、²両方にとても重い障がいがあった、食事や着替えなどで
いつも特別な手助けを必要とする方」とします。

問3. あなたは、どのような「医療的ケア※」を受けていますか。(あてはまるものを全てに○) すべて

※**さん**の**吸引**などの、**毎日**のように行っている**医療的介助**のことを、「**医療的ケア**」と言います。

1. 医療的ケアは受けていない
2. 人工呼吸器
3. 気管内挿管、気管切開
4. 鼻咽頭エラウエイ
5. 酸素吸入
6. 吸引
7. 経口栄養
8. 中心静脈栄養(IVH)
9. 結管(経鼻・胃ろう含む)
10. 腸ろう・腸胃栄養
11. 透析
12. 定期療養

- 2 -

18歳未満の方

おおた くしょう
「大田区障がい者実態調査」への協力をお願い
ねが

日頃から区行政へのご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

このアンケージは、次期「おおた陣」が「施策推進プラン」の策定、事業の改善・向上に向けて陣がいのある方のご意向を把握するためのものです。

障がいのある方や支援が必要な方の日頃の生活状況や大田区の障がい施策に対するご意見・ご希望などを把握するため、お忙しいところ恐縮ですが、ぜひご協力をお願い申し上げます。

なお、この調査は無記名であり、結果の集計・分析は統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。

令和7年11月 大田区長 鈴木 晶雅

「1. インターネット」が「2. 紙(郵送)」のいずれかで「ご回答ください。」

- ## 1. インターネットでご回答される場合

二次元コーコード等から調査専用サイトへアクセスいただき、最初の設問に、このページの左上のシール内にある

11月30日(日)までにご回答

URL : <https://smilesurvey.co/s/73e5843f/o>

2. 紙(郵送)でご回答される場合
この調査票にご回答いただき、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、11月30日(日)までにお近くの郵便ポストに投入してください。

◆このアンケートは、あんにょ
基本的には宛名の^{おとこ}本人の^{おもてな}ことをお聞きしています。
おとこ

ご本人が記入できない場合は、ご本人の立場になって、代理の方が記入ください。

◆ 答えたくない質問については、無理にお答えいただく必要はありません。
無理のない範囲でご回答をお願いします。

【お問とい合あわせ先せん】

大田区 福祉部 障害福祉課 障害者支援担当(計画)

電話 03(5744)1700
FAX 03(5744)1592
E-mail shoufuku-chousa@city.ota.tokyo.jp

1.

問4. あなたは、どなたと暮らしていますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 親	2. 兄弟姉妹
3. 親せき	4. 施設の仲間や職員
5. 病院に入院している	6. その他〔 〕

問5. この一年間でコミュニケーションや意思の伝達等においてどのような場面でも困りませんでしたか。(あてはまるもの全てに○)

1. 相手の話している内容を、正確に理解することが難しかった
2. 文書を読み書きすることが難しかった
3. 専門用語や手紙の説明が難しく、内容がよく理解できなかった
4. 案内表示やチラシなどが、わかりにくかった
5. 自分の希望や意見、症状等を、正確に伝えることができなかった
6. 相手の障がいに対する理解が足りなかった
7. その他〔 〕
8. 特に困ったことはない

問6. 意思の伝達を図る際に、特別な手段や道具や用具等を使っていますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 必要ではない	2. 口話 (話し言葉)	3. 手話
4. 補聴器や人工内耳等の補聴機器	5. 筆談・契約筆記	6. 文字盤
7. 点字	8. パソコン	9. スマートフォン・タブレット
10. 携帯用会話補助装置・発声補助機	11. 同行援護	
12. その他〔 〕		

2. 障害福祉サービス等

問7-1. 以下A～Fの障害福祉サービス等において、あなたが、「(1)現在利用している」「サービスと(2)今後利用する予定(今後とも利用する予定)」のサービスを教えてください。

利用パターン別の回答方法	
①現在利用していて、今後も利用する ⇒ 「1」「2」ともに○	②現在利用していない ⇒ 「1」だけ○
③現在利用しておらず、今後利用する ⇒ 「2」だけ○	④現在も今後とも利用しない ⇒ ○をつけない

A. こどもの発達支援、療育	(1)現在 利用している	(2)今後(も) 利用する予定
こどものニーズに合わせた計画を立て、療育や日常生活の支援を行います。 (個別サービス名) ○児童発達支援 ○放課後等デイサービス ○障害所等訪問支援 ○居宅訪問型児童発達支援 ○障害児相談支援	1	2
B. 自宅での生活支援(ホームヘルプ)等	(1)現在 利用している	(2)今後(も) 利用する予定
ヘルパーが自宅を訪問し、入浴や食事などの生活全般を支援します。 (個別サービス名) ○居宅介護 ○重度訪問介護 ○重度障害者等包括支援 ○訪問入浴サービス	1	2
C. 外出・移動のサポート	(1)現在 利用している	(2)今後(も) 利用する予定
外出に同行し、移動の援護や危険回避、社会参加のための支援をします。 (個別サービス名) ○同行援護 ○行動援護 ○移動支援事業	1	2
D. 一時預かり(レスパイト)	(1)現在 利用している	(2)今後(も) 利用する予定
家族の休息などのため、日中や短期間の預かり支援を行います。 (個別サービス名) ○短期入所 ○日中一時支援 ○在宅レスパイト	1	2
E. 日常生活の支援	(1)現在 利用している	(2)今後(も) 利用する予定
日常生活に必要な用具の給付や、意思疎通を支える支援を行います。 (個別サービス名) ○日常生活用具給付等事業 ○意思疎通支援事業	1	2

F. 相談支援、サービス等利用計画の作成	
サービス利用の計画作成や相談、権利を守るための手続きを支援します。 (個別サービス名) ○計画相談支援 ○相談支援事業	(1)現在 利用している
	1
	2

問7-2. 以下G～Kの障害福祉サービス等について、将来(18歳以降)の利用意向を教えてください。
今後利用したい場合は、G～K それぞれの「1」に○をつけてください。

G. 日中の活動の支援(通所)	今後利用したい
日中に施設へ通い、介護や医療的ケア、創作活動の機会を提供します。 (個別サービス名) ○生活介護 ○療養介護	1

H. 自立のための訓練	今後利用したい
身体機能の回復や生活スキルなど、自立生活のための訓練をします。 (個別サービス名) ○自立訓練(機能訓練) ○自立訓練(生活訓練) ○宿泊型自立訓練	1

I. 働くための支援	今後利用したい
就 職 に必要 な訓練、働く場の提供、職場への定着までを支援します。 (個別サービス名) ○就労継続支援 (A型) ○就労継続支援 (B型) ○就労移行支援 ○就労定着支援	1

J. 住む場所の提供と支援	今後利用したい
グループホームや施設で、主に夜間に介護を受けながら生活します。 (個別サービス名) ○共同生活援助 (グループホーム) ○施設入所支援	1

K. 地域で生活するための支援	今後利用したい
施設等から地域へ移り、一人暮らしなどを安定して続ける支援です。 (個別サービス名) ○自立生活援助 ○地域移行支援 ○地域定着支援	1

問8. サービスを利用しやすくするために必要だと思うことは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 待つ必要と考えることはない
2. サービス利用に関する決まりや仕組みをわかりやすくすること
3. 自分に合った事業所が選べること
4. 重度の障がいや医療的ケアにも対応できること
5. 使いたいときに使えるように利用できる曜日・時間を増やすこと
6. サービスに携わるスタッフ・人材の知識・技術・意識を高めること
7. サービスを提供している部屋や建物を広げること
8. 通いやすい場所にサービスを利用できる施設・事業所があること
9. その他 []

【問9～13は、障害福祉サービス等を利用されている方にお伺いします。】

問9. 現在、利用しているサービスの満足度について教えてください。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 満足している
2. おおよそ満足している
3. 不満足である

問10. あなたが現在利用しているサービス事業所を選んだ理由は何か。(あてはまるもの全てに○)

1. 自宅から近いなど、交通アクセスが良かった	2. 送迎があるから
3. 相談支援専門員・医師などにすすめられたから	4. 以前から知っていて安心感があったから
5. 知っている利用者や職員がいたから	6. 必要なサービスが受けられるから
7. 提供されているプログラムに魅力を感じたから	8. 見学時等に職員の対応が丁寧・安心だったから
9. 職員の専門性が高いと感じたから	10. 施設の設備環境、雰囲気や印象が良かったから
11. 過去の実績や評判が良かったから	12. 個別のニーズに対応してくれたから
13. 利用料や負担が比較的少なかったから	14. 他に空きがなく、そこだけ利用可能だったから
15. 利用したい曜日や時間帯に空きがあったから	
16. その他 []	

問11-1. あなたが、「障害福祉サービス等」を使いたいと思ったときに、困ったことはどのようなことですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 制度や手続きがわかりにくい	2. 手続きが大変
3. サービスの利用までに時間がかかる	4. 自分に合った事業者が見つからない
5. 事業者から断られた	→問11-2へ
6. 金額が高い (経済的負担が大きい)	
7. どうやってサービスを探したらいいかわからない	8. 特になし
9. その他 []	

問11-2. 【問11-1で「5. 事業者から断られた」と回答した方にお伺いします】

事業者から断られた理由について、差し支えない範囲で教えてください。(あてはまるもの全てに○)

1. 医療的ケアが必要のため
2. 本人の活動性が低いいため
3. 住所がサービス提供範囲外のため
4. 病状の変動が大きいため
5. 希望するサービスが人材不足のため
6. すでに定員いっぱいであるため
7. 利用日程が含まれないため
8. 送迎の対応が難しいため
9. 公的サービスの対象となっていないため
10. わからない
11. その他 []

問12. あなたが現在利用されているサービスに不満はありますか。不満がある場合は、どのような点ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 不満は特にない
2. 必要なサービスが提供されていない
3. 回数や時間が足りない
4. 使いたいときに使えない (日程などの条件が合わない)
5. 希望するサービスが対象外である
6. サービス情報が不足していたり取得が難しかった
7. 事業者を選べない
8. 事業所の職員の専門性やスキル等が求めていると感じない
9. 家族との連携がとれていない
10. 他の事業所との連携がとれていない
11. 事業所の設備面の環境がよくない
12. 施設が遠い
13. 同じ事業所を継続して使い続けられない
14. 金額が高い (経済的負担が大きい)
15. その他 []

問13-1. あなたの障害福祉サービスの利用計画は誰が作成していますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 本人または家族
2. 相談支援事業所
3. わからない・覚えていない
4. その他 []

問13-2. 【問13-1で「1. 本人または家族」と回答した方にお伺いします】

計画相談支援を利用しない理由は何か。(あてはまるもの全てに○)

1. 自分を使うサービスは自分で決めたから (計画相談支援が必要だと思わなかったから)
2. 相談支援のサービスがあることを知らなかったから
3. 相談支援事業所に近くになかったから
4. 計画相談支援を利用するための手続きが大変そうだと思ったから
5. 相談支援事業所に断られたから
6. 計画相談支援を利用したことがあるが、自分には合わなかったから
7. 相談支援事業所に自分が求める知識がなかったから
8. 特に理由はない
9. その他 []

問14. 【いずれのサービスも利用していない方にお伺いします】

あなたがサービスを利用していない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 自力で生活できるから
2. 家族が介助してくれるから
3. サービスを知らなかったから
4. 自分がサービスを受けられるかわからないから
5. 利用方法がわからないから
6. サービスの内容がよくないから
7. 必要なサービスが提供されていないから
8. 金額が高い (経済的負担が大きい) から
9. 家の近くに施設がないから
10. 家族以外に介助してもらうことに不安があるから
11. 事業者が断られたから
12. 以前利用したがよくなかったから
13. 相談先がわからないから
14. 特に理由はない
15. その他 []

3. 情報や相談

問15. 福祉についての情報などを、どのような方法で手に入れていますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 友達・知り合いから
2. 区報、区のホームページで
3. インターネット
4. SNS等
5. 相談支援専門員から
6. 医療機関の相談窓口で
7. 障がい者団体や家族会から
8. テレビ、新聞などで
9. 保育園・学校等
10. その他 []

問16. 福祉についての情報などを、手に入れたときに困ったことは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. どのような調べればよいかわからなかった
2. ホームページなどの情報量が多すぎて、自分に必要な情報がわからなかった
3. 情報の内容が難しく、理解できなかった
4. 広報誌や窓口で配布されるチラシなどだけでは、内容が不十分と感じた
5. 障がい特性に合った情報提供方法ではなかった (手話、点字、音声読み上げ、やさしい日本語など)
6. 窓口等で必要な情報を説明することが難しい
7. その他 []
8. 特に困ったことはなかった

問17. あなたが日常生活で困っていたり、相談したいと思っていることはどのようなことですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 身の回りの介助をしてくれる人のこと
2. 相談できる人がいないこと
3. 移動手段が乏しいこと
4. 就労・就学先が見つからないこと
5. 趣味や楽しみが持てないこと
6. 生活に必要な情報が得られないこと
7. 病院・診療所や医療サービスのこと
8. 友人との関係がうまくいかないこと
9. 余暇活動の場や機会がないこと
10. 薬の管理が難しいこと
11. お金の管理が難しいこと
12. 病がなくなった後のこと
13. 特に困っていることはない
14. その他 []

問18-1. いま、あなたが相談できるのは、どのようなところ(×)ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 区役所 (地域福祉課や地域健康課など)	2. 障がい者総合サポートセンター
3. 相談支援事業所	4. 身体障害者相談員、知的障害者相談員、精神障害者相談員
5. 家族・友達・知り合い	6. 福祉施設の職員
7. 医療関係者 (医師・看護師など)	8. 同じ障がいをもつ仲間 (当事者団体等)
9. 保育園や幼稚園、学校の先生	10. 特になし
11. その他 ()	

問18-2. 【問18-1 で「1. 区役所 (地域福祉課や地域健康課など)」「2. 障がい者総合サポートセンター」「3. 相談支援事業所」と回答した方にお伺いします】

その相談によって、あなたの悩みや困りごとは解決しましたか。(それぞれにあってはまるもの1つだけ○)

	解決した	どちらとも言えない	解決しなかった
区役所 (地域福祉課や地域健康課など)	1	2	3
障がい者総合サポートセンター	1	2	3
相談支援事業所	1	2	3

問19. 日常生活での困りごとなどを相談しやすいとするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 身近な場所で相談できること	2. 相談員が自宅に訪問してくれること
3. 休日や夜間でも相談できること	4. 対応する人が障がい・特性を理解していること
5. 専門的な相談や助言ができる人材がいること	6. 同じ障がいをもつ方に相談できること
7. 電話やオンラインで相談できること	8. 手話通訳などのコミュニケーションの支援が充実していること
9. 予約をしなくても話を聞いてもらえること	10. 定期的に相談できること
11. どのような相談にも1か所の窓口で対応してもらえること	12. どこで、どんな相談ができるかわかりやすいこと
13. 実際に相談した方の評価 (口コミ) が確認できること	14. その他 ()
15. 特に必要だと思うことはない	

4. 就園・就学や外出

問20. あなたは、通園や通学で困っていることがありますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 通うのが大変	2. トイレや階段などの施設が利用しにくい
3. 介助・支援体制が不十分	4. 学校など受入れ側の理解や配慮の不足
5. まわりの人たちの理解や配慮の不足	6. 人間関係がうまくいかない
7. 通園・通学先で求められる感染対策 (手洗い、消毒等) への対応が難しい	8. 医療的ケアに対応していない
9. 特になし	10. 通園・通学していない
11. その他 ()	

問21. あなたが、教育の場において、特に充実させてほしいのはどのようなことですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 障がいに応じた専門的な教育	2. 学校での受入れ体制
3. 普通学級での受入れ体制	4. 状況に応じて学ぶ場を変更できる制度
5. 障がいのある子とない子の交流機会	6. 医療的ケアが受けられる
7. 自宅での学習機会	8. カウンセリングや相談体制
9. その他 ()	

問22. ふだん、あなたはどのくらい外に出かけていますか。「(1)通学・通所等」と「(2)レジャー・余暇等」の自的ごとに教えてください。(それぞれあてはまるもの1つだけ○)

(1)通学・通所等	
1. ほとんど毎日出かけている	2. 週に3～4日出かけている
3. 週に1～2日出かけている	4. 通学・通所等はしていない
(2)レジャー・余暇等	
1. ほとんど毎日出かけている	2. 週に3～4日出かけている
3. 週に1～2日出かけている	4. ほとんど出かけていない

5. 保健・医療

問23. あなたは、現在、医師の診療 (歯科診療を含む) を受けていますか。「(1)障がいに関すること」と「(2)障がい以外のこと」のそれぞれで教えてください。(それぞれあてはまるもの1つだけ○)

(1)障がいに関すること	
1. 定期的に通院している	2. ときどき通院している
3. 自宅で訪問看護や往診を受けている	4. 入院している
5. 特に治療はしていない	6. その他 ()
(2)障がい以外のこと	
1. 定期的に通院している	2. ときどき通院している
3. 自宅で訪問看護や往診を受けている	4. 入院している
5. 特に治療はしていない	6. その他 ()

問32. あなたが、災害(地震や台風など)があったときに、困ることや不安に思うことは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 家で過ごすための準備（食べ物や飲み物、衣の用意、非常用電源や地震に強い家等）が十分
 2. 家族と連絡ができなくなること
 3. 実際に被害にあったとき、どう行動しているかわからない
 4. 避難所（近くの避難所、障ががあっても受け入れてくれる避難所等）を知らない
 5. 避難所までひとりで行くことができない、または、避難する途中に不安な場所がある
 6. 被害の様子などの情報を手に入れないことが難しい
 7. 避難所で、バリアフリーのトイレなどが入っているのが、不安だ
 8. 避難所で、いつもと同じ薬や治療を受けられない
 9. 避難所で、周りの人の目が気になる
 10. 持っていない
11. その他〔 〕

7. 権利擁護

問33-1. 障^{しょう}がいがあることを理由^{りゆう}として差別^{さべつ}をされた^をと感^{かん}じた。いやな思^{おも}いをした^{した}ことがあ^ありますか。あ^あった方^{かた}はどのよう^{よう}な場^ば所^{じょ}や場^ば面^{めん}でそのよう^{よう}なこ^こがあ^あったか教^{おし}えてくだ^{くだ}さい。(あ^あてはま^まるもの全^{ぜん}てに○)

1. 学校や教育の場面
がっこうや けいようの ばしょ
2. 公共交通機関や公共施設(駅など)
こうづうこうかんやこうきょうしせつ(えきなど)
3. 区役所などの行政機関
くやくじょなどのぎょうせいきかん
4. 病院や診療所などの医療機関
びやういん、しやんとしよなどのいりやうきかん
5. 飲食店や買物をするとき
おんじきてんやかひものをするとき
6. 福祉サービスを受けるとき
ふくしサービスをうけるとき
7. 地域のイベントに参加するとき
ちいきのいべんとにさんかするとき
8. 近隣や地域(家の近く)
きんりんやちいき(いけのちかく)
9. 特にな
とくにない
10. その他
その他

問33-2. 問33-1の場^{ばい}所^{しよ}や場^{ばい}面^{めん}で、あな^{あな}た^たが差^さ別^{べつ}を^をされ^れた^たと感^{かん}じ^じ・い^いや^やな思^{おも}い^いを^をし^した^たは、ど^どのよ^よう^うな^な内^{ない}容^{よう}で^でし^した^たか。よ^よろ^ろし^しけ^けれ^ればお書^かき^きぐ^ぐだ^ださ^さい。(下^か欄^{らん}に記^き入^{にゅう})

問題34. あなたは、「障害者差別解消法※」を知っていますか。(あてはまるもの1つだけ)○

※**障害者差別解消法**とは、**役所や会社、お店などの事業者**が、**障がいのある人**に対して、**正当な理由なく、障がいを理由として差別すること**を禁止する法律です。

1. 法律の内容まで知っている 2. 法律があることは知っている 3. 知らない

問35. あなたは、将来、成年後見制度※を使ってみたいですか。(あてはまるもの1つだけ○)

※成年後見制度は、自分で金のことや大事なことを決めるのが難しい人を、専門の人がかわりに助けるしくみです。詳細は、右の二次ページを読んで取り、大田区の「成年後見制度の概要」の2次ページにアクセスしてください。
webページにアクセスしてください。

1. 将来必要になったら後見、補佐、補助のいずれかを使いたい
2. 特に必要ではない
3. 必要になるかわからない
4. 制度を知らない

問36. あなたは、障害者虐待防止センター^{しょうがいしゃぎやうふしせんたー}があることを知っていますか。(あてはまるもの1つだけ)○

1. 内容や場所まで知っている
2. 名前は知っている
3. 知らない

8. 日中の活動・将来の暮らし方

問37. あなたが、日中(昼間)、主に過ごしている場所はどこですか。(あてはまるもの1つだけ)

1. 保育園・幼稚園 ほうえん・ようちえん
2. 療育施設 りょういくしせつ
3. 小学校・中学校 しょうがっこう・ちゅうがっこう
4. 高等学校 こうとうがっこう
5. 特別支援学校 とくべつしえんがっこう
6. 自宅 じたく
7. その他〔その他〕

問題38. 放課後の時間の過ごし方についてお伺いします。(1)現在、どのように過ごしていますか。

また、(2)今後、どのような過ごし方を希望しますか。(それぞれあてはまるものを全てに○) すべて

※「障害児通所支援」には、未就学児向けの児童発達支援、就学児向けの放課後等デイサービスなどがあります。

	(1)現在いの通し方	(2)希望する通し方
① 地域の同世代の子とも遊ぶ	1	1
② 学童保育を利用する	2	2
③ 放課後子ども教室（放課後ひろば）を利用する	3	3
④ 習い事や塾に行く	4	4
⑤ 障害児通所支援※を利用する	5	5
⑥ ショートステイを利用する	6	6
⑦ 自宅でゆっくり過ごす	7	7
⑧ 通園・通学をしない	8	8
⑨ その他〔 〕	9	9

問39. 学校・施設に通っている時間以外の、余暇の時間を過ごす方法についてお伺いします。(1)現在、どのように過ごしていますか。また、(2)今後、どのような過ごし方を希望しますか。(それぞれあてはまるもの全てに○)

	(1)現在のごほう	(2)今後のごほう
① 家でくつろぐ(テレビを見る、家族と過ごす)	1	1
② ゲームをする、インターネット(SNS等)を見る	2	2
③ 友人・知人と会う	3	3
④ 外に出て買い物や映画などに行く	4	4
⑤ 講座や講演会に行く	5	5
⑥ 読書をする、音楽を聴く	6	6
⑦ スポーツ・レクリエーション活動をしに行く	7	7
⑧ 障害者団体の活動に参加する	8	8
⑨ 地域の行事やお祭りに行く	9	9
⑩ ボランティアなど社会貢献活動に参加する	10	10
⑪ 趣味やサークルなどの活動に参加する	11	11
⑫ 資格取得等の勉強をする	12	12
⑬ その他〔 〕	13	13

問40. あなたは、今後(5年後)の進路をどのようにしたいと思っていますか。「5年後に18歳未満の方」と、「5年後に18歳を超える方」で、あてはまる方にご回答ください。

<5年後に18歳未満の方>(あてはまるもの1つだけ○)

1. 小学校・中学校・高等学校などの普通教室に通いたい	2. 小学校・中学校・高等学校などの特別支援学校に通いたい
3. 特別支援学校に通いたい	4. わからない
5. その他〔 〕	

<5年後に18歳を超える方>(あてはまるもの2つまで○)

1. 大学・専門学校などに通いたい	2. 会社などに就職したい
3. 就労に向けた支援を受けたい	4. 就労継続支援A・B型施設に通いたい
5. 機能訓練や生活訓練の施設に通いたい	6. 生活介護施設に通いたい
7. わからない	8. その他〔 〕

問41. 将来18歳を超えたら、あなたはどのように暮らしたいと思っていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 家族と暮らしたい	2. 一人で暮らしたい	3. グループホームで暮らしたい
4. その他の施設で暮らしたい	5. わからない	6. その他〔 〕

問42. 希望する暮らし方や進路・生活設計を實現する上で、どのようなことを望みますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 家族との関係が良好であること	2. 困ったときに相談できる相手がいること
3. 住まいがあること	4. グループホームなどの施設が利用できること
5. 働く場所や仕事があること	6. 自立生活のための訓練・体験が行えること
7. 日中の行き場(通所施設、作業所、デイケアなど)があること	8. 自宅で過ごすための訪問系サービスが受けられること
9. 経済的負担が軽減されること	10. 必要な医療が受けられること
11. 道路・交通・建物がバリアフリー化されること	12. 地域の人たちの障がいに対する理解が進むこと
13. 特にない	
14. その他〔 〕	

9. ライフステージごとの課題

問43. あなたのこれまでの人生(または、あなたのお子さんのこれまでの成長)を振り返り、[A][B][C]の時期で、特に困ったことは何ですか。障害認定を受けた時期以降の設問にのみご回答ください。

[A]乳幼児期(就学前)(あてはまるもの全てに○)

1. この時期は障害認定を受けていない
2. 発達の違いや特性について、気軽に相談できる場所がなかった
3. 発達の支援サービスをすぐに利用できなかった
4. 同じくらの年齢の子とも交流したり、一緒に遊んだりする機会が少なかった
5. 障がいや特性への理解がある保育園や幼稚園がなかった
6. 障がいに気づいてもらえなかった
7. 特に困ったことはなかった
8. その他〔 〕

[B]学齢期(小学校・中学校)(あてはまるもの全てに○)

1. この時期は障害認定を受けていない
2. 就学前の情報提供や相談支援が不十分だった
3. 担任や教職員の障がい理解が足りなかったり、保護者への支援・相談体制が足りなかった
4. いじめや仲間外れの経験があった
5. 学校の設備・環境が不十分だった(バリアフリー、教室配置など)
6. 放課後や長期休暇中の居場所・支援の場が不足していた
7. 学校行事に参加するのが難しかった
8. 高校進学など、将来の進路について相談できる相手や情報が少なかった
9. 障がいのために、学校に行くことができなかった
10. 特に困ったことはなかった
11. その他〔 〕

[C]青年期(高校生)(あてはまるもの全てに○)

1. 担任や教職員の障がい理解が足りなかったり、保護者への支援・相談体制が足りなかった
2. いじめや仲間外れの経験があった
3. 学校の設備・環境が不十分だった(バリアフリー、教室配置など)
4. 放課後や長期休暇中の居場所・支援の場が不足していた
5. 学校行事に参加するのが難しかった
6. 卒業後の進路の選択肢が限られていた
7. 学校を卒業した後、利用できる福祉サービスや相談先に対する情報が不足していた
8. 卒業後、就労を希望しているが、就労に関する情報が不足していた
9. 障がいのために、学校に行くことができなかった
10. 特に困ったことはなかった
11. その他〔 〕

10. 区の施策

問44. あなたは「大田区立 障がい者総合サポートセンター さぼーとびあ※」を知っていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

※「障がい者総合サポートセンター さぼーとびあ」とは、相談支援や地域交流支援など障がいのある方の暮らしを総合的に支える拠点です。詳細は、若の三次元バーコードを読み取り、さぼーとびあのWebページにアクセスしてください。



- 1. 知っていて、利用したことがある
- 2. 名前や場所は知っているが、利用したことはない
- 3. 知らなかった

問45-1. 「大田区立障がい者総合サポートセンター さぼーとびあ」では、下に書かれているようなことができます。あなたは、次のうち、どれを使いたいですか。(あてはまるもの全てに○)

- 1. 専門的な職員に相談したい
- 2. 就 労 (働くこと) の支援を受けたい
- 3. 短勤式所を使いたい
- 4. 自立訓練に通いたい
- 5. 自分が興味のある内容の講座等に参加したい
- 6. 障がい者スポーツを体験したい
- 7. 本や雑誌を読んだり、情報を得たい
- 8. ボランティアや団体の活動に参加したい
- 9. カラエの販売品に興味がある
- 10. 特に使いたいと思わない ⇒問45-2へ

問45-2. (問45-1で「10. 特に使いたいと思わない」と回答した方にお問いします)
使いたいと思わない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- 1. 通うのに交通費がかかるから
- 2. 通うのに遠く、大変だから
- 3. 学校が忙しいから
- 4. 家族の介護で忙しいから
- 5. 知っている人がいないから
- 6. 使いたいサービスが不足しないから
- 7. 他の人とあまりかわりたくないから
- 8. 必要だと思わないから
- 9. 特に理由はない
- 10. その他 []

問46. 大田区の障がい児・者への取組について、特にどのようなことを充実させてほしいですか。(あてはまるもの全てに○)

- 1. 相談支援や情報提供の充実
- 2. グループホームなどの地域で暮らせる場の整備
- 3. 入所施設の整備
- 4. 日中活動の場の整備
- 5. 余暇活動や趣味の講座などの充実
- 6. 働きやすい環境づくり
- 7. 療育や教育の充実
- 8. 交通機関や施設などのバリアフリー、ユニバーサルデザインの促進
- 9. 医療やリハビリの充実
- 10. 手当てや年金などの経済的な支援の拡充
- 11. 家で受けられるサービスの充実
- 12. 災害時の支援体制の整備
- 13. 緊急時の対応 (相談先等)
- 14. ボランティア活動の充実
- 15. 障がいについての理解の促進
- 16. 権利擁護や虐待防止の取組

問47. 区に充実してほしい施策について、ご自由にご意見をお書きください。(下欄に記入)

問48. ふだん、あなたは、あなたを介助・支援している(助けてくれる)人はいいますか。(あてはまるもの1つだけ○)

- 1. いる ⇒問49へ
- 2. いない ⇒調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

11. 家族 (子、配偶者、親等) のニーズ

※以下の設問は、ご本人のケアを主に担われているご家族がご記入ください。

※以下の設問は、ケアを主に担われている方を「あなた」としています。

問49. 障がいのある方本人(宛の方)からみて、あなたの続柄は何ですか。(あてはまるもの1つだけ○)

- 1. 父
- 2. 母
- 3. 兄弟姉妹
- 4. 祖父母
- 5. 施設の職員
- 6. ボランティア
- 7. ボームヘルパー
- 8. その他 []

問50. (1)あなたの年代を教えてください。また、(2)あなたの就労・就学状況を教えてください。(それぞれあてはまるもの1つだけ○)

- (1)あなたの年代
 - 1. 10歳代以下
 - 2. 20歳代
 - 3. 30歳代
 - 4. 40歳代
 - 5. 50歳代
 - 6. 60歳代
 - 7. 70歳代
 - 8. 80歳代以上
- (2)あなたの就労・就学状況
 - 1. 就 労 している
 - 2. 就 学 している
 - 3. 就 労 ・ 就 学 していない
 - 4. その他 []

3. アンケート調査票（サービス提供事業所）

1. 事業所概要

問1. 貴事業所の運営主体の法人種別をお答えください。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 社会福祉法人 2. 医療法人 3. 財団法人・社団法人 4. NPO法人
5. 株式会社・有限会社 6. 合同・合資・合会会社 7. その他 []

問2. 貴事業所で働いている「常勤」と「非常勤」の方の11月1日時点の人数をご記入ください。

常勤【名】	非常勤【名】
常勤	非常勤

問3-1. 貴事業所では、職員の確保状況についてどのように感じていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 十分確保できている ⇒ 問3-3入
2. 運営に支障が出ないくらいは確保できている ⇒ 問3-3入
3. あまり確保できておらず、運営にも支障が出ている ⇒ 問3-2入
4. 確保できておらず、運営への影響が大きい ⇒ 問3-2入

問3-2. 【問3-1 で「3. あまり確保できておらず、運営にも支障が出ている」、あるいは「4. 確保できておらず、運営への影響が大きい」と回答した事業所にお伺します】

1. 生活相談員・生活支援員	2. 相談支援専門員	3. 介護職員	4. 介護補助員
5. 看護師	6. 栄養士	7. 理学療法士	8. 作業療法士
9. 職業指導員	10. 車務職員	11. その他「 」	

問3-3. 貴事業所では、職員を確保するために、「(1)現在、実施している取組」は何ですか。また、「(2)実施したいが、できていない取組」は何ですか。(それぞれあてはまるものを全て○)

取 組	(1)現在 実施している取組	(2)実施したいが できていない取組
① 採用にあたって、多様な募集手段の活用	1	1
② 業務内容の説明等による、求職者と事業所とのミスマッチの解消	2	2
③ 他事業所と比較して賃金の廉価	3	3
④ 資格取得にかかる費用の助成	4	4
⑤ 福利厚生の実施	5	5
⑥ 法人内での人事異動の実施	6	6
⑦ 特になし	7	7
⑧ その他〔 〕	8	8

問3-4. 貴事業所での職員の確保の課題は何ですか。(あてはまるものを全てに○)

1. 求人に対して人が集まらない
2. 専門的な資格を持つ方からの応募が少ない
3. 採用活動を行う時間的な余裕がない
4. 採用活動の費用を負担する余裕がない
5. 採用活動を行う人員が不足している
6. 勤務体系や給与等の改善・充実に困難である
7. 公共交通でアクセスしにくい場所に立地している
8. 特にない

- 2 -

サービス提供事業所

「大田区障がい者実態調査」へのご協力をお願い

日頃から区行政へのご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

このアンケートは、次期「おおた陣がい施策推進プラン」の策定、事業の改善・向上に向けて、サービス提供事業所の方のご意向を把握するためのものです。

事業所の概要やサービスの提供状況、事業運営の状況など把握するために、お忙しいところ恐縮ですが、ぜひご協力をお願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた内容を貴事業所が特定される形で公表することはございません。

令和7年11月 大田区長 鈴木 晶雅

「1. インターネット」が「2. 紙(郵送)」のいずれかでご回答ください。



二次元バーコード等から調査専用サイトへアクセスいただき、最初の設問に、このページの左上のシール内にあるID・パスワードをご入力の上、**11月30日(日)までに「ご回答」**ください。

URL : <https://smilesurvey.co/s/d1b4cf90/o>

2. 紙(郵送)で「回答」される場合

この調査票にご回答いただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、
11月30日(日)までにお近くの郵便ポストに投函してください。

◆ 令和7年11月1日現在の状況をお答えください。

【お問い合わせ先】

大田区 福祉部 障害福祉課 障害者支援担当(計画)

電話 03(5744)1700 (月曜日～金曜日 (祝日を除く) 9時～17時)

FAX 03(5744)1592 E-mail shoufuku-chousa@city.ota.tokyo.jp

-1-

問4-1. 貴事業所では、職員の**育成**のために、「(1)現在、実施している取組」は何ですか。また、「(2)実施したいが、できていない取組」は何ですか。(それぞれあてはまるもの全てに○)

取 組	(1)現在、 実施している取組	(2)実施したいが、 できていない取組
① 能力や仕事ぶりの評価に伴う配置・処遇への反映	1	1
② 仕事に必要な能力等の提示	2	2
③ OJTの実施	3	3
④ 新人の指導担当・アドバイザーの設置	4	4
⑤ 法人内部研修の実施	5	5
⑥ 外部研修・研究会への参加	6	6
⑦ 資格取得支援	7	7
⑧ 定期的な面談の実施	8	8
⑨ 人事評価制度の実施	9	9
⑩ 特になし	10	10
⑪ その他〔 〕	11	11

問4-2. 貴事業所での職員の**育成**における課題は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 育成を行う時間的な余裕がない
2. 育成の費用を負担する余裕がない
3. 指導役となる職員が不足している
4. 研修等に参加させる人的余裕がない
5. 研修の情報収集や選定が難しい
6. 人事評価制度の実施や評価結果の活用が困難である
7. 事業所内の人材育成の計画や方針が明確でない
8. 特になし
9. その他〔 〕

問5-1. 貴事業所では、職員の**定着**状況についてどのように感じていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

※今回の調査では、3年以上勤務した場合を「定着」とします。

1. 定着している（離職は少ない）	⇒ 問5-3へ	2. 運営に支障が出ないくらいは定着している	⇒ 問5-3へ
3. あまり定着しておらず、運営にも支障が出ている	⇒ 問5-2へ	4. 定着しておらず、運営への影響が大きい	⇒ 問5-2へ

問5-2. 【問5-1で「3. あまり定着しておらず、運営にも支障が出ている」,あるいは「4. 定着しておらず、運営への影響が大きい」と回答した事業所にお伺いします】
定着率が低い・離職率が高い主な原因はどこにあると考えていますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 賃金が低い等、給与・待遇の問題
2. 休みが取りにくい、業務が多い等、働き方や勤務形態の問題
3. 精神的にきつい、トラブルが多い等、仕事内容・労働環境の問題
4. 人間関係等、職場環境の問題
5. 資格取得の負担と知識改善が合わない等、キャリアパスや将来展望、仕事のやりがいの問題
6. 施設が古く、設備環境も十分とは言えない等、職場の設備の問題
7. 福祉職の社会的なイメージの問題
8. その他〔 〕

問5-3. 貴事業所では、職員の**定着**のために、「(1)現在、実施している取組」は何ですか。また、「(2)実施したいが、できていない取組」は何ですか。(それぞれあてはまるもの全てに○)

取 組	(1)現在、 実施している取組	(2)実施したいが、 できていない取組
① 賃金・労働時間等の労働条件の改善	1	1
② 能力や仕事ぶりの評価に伴う配置・処遇への反映	2	2
③ 仕事内容と必要な能力等の提示	3	3
④ OJTの実施	4	4
⑤ 新人の指導担当・アドバイザーの設置	5	5
⑥ 労働時間の希望を反映	6	6
⑦ 仕事内容の希望を反映	7	7
⑧ 悩み・不満などの相談窓口の設置	8	8
⑨ 定期的な面談の実施	9	9
⑩ 職場内のコミュニケーションの円滑化の実施	10	10
⑪ 特になし	11	11
⑫ その他〔 〕	12	12

問6. 福祉人材の確保・育成・定着に向けて区に望む支援施策は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 面接会・相談会の機会の設定	2. 福祉・介護の仕事の広報
3. 潜在有資格者の把握や求人の紹介	4. 研修の充実
5. 区内福祉従事者同士の交流会	6. 区独自の人件費補助
7. その他〔 〕	

問7. 貴事業所において、対応している障がい種別等は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 身体障がい	2. 知的障がい	3. 精神障がい
4. 障がい児	5. 難病	6. 発達障がい
7. 高次脳機能障がい	8. 強度行動障がい（※1）	9. 重度心身障がい（※2）
10. 医療的ケアが必要な方		

※1 「強度行動障がい」とは、自傷、他傷、こだわり、もの壊し、睡眠の乱れ、異食、多動など本人や周囲の人のくらしに影響を及ぼす行動が、著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている「状態」を指します。今回の調査では、「行動関連項目等の合計点数が10点以上である方」とします。

※2 今回の調査では「重度心身障がい」とは、「心身に特に重度の障がいがあるため、常時複雑な介護を必要とする方」とします。

2. 提供サービス

問8-1. 以下【A】～【G】について、以下の(1)(2)を教えてください。

(1)現在、貴事業所が提供している障がい者(児)に対するサービスについて、①1日の定員数と、②平均的な1日の利用者数について教えてください。該当しないサービスは①②ともに「0」とご記入ください。

(2)今後3年間のサービスの提供の見込みを教えてください。(それぞれあてはまるもの1つだけ○)

【A】日中の活動の支援（通所）

サービス名	(1) 現状 (ない場合は「0」と記載)		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み
	① 1日の定員数	② 1日の利用者数	
生活介護	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
療養介護	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中

【B】自立のための訓練

サービス名	(1) 現状（ない場合は「0」と記載）		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み
	①1日の定員数	②1日の利用者数	
自立訓練（機能訓練）	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
自立訓練（生活訓練）	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
宿泊型自立訓練	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中

【c】働くための支援

サービス名	(1) 現状（ない場合は「0」と記載）		(2) 今後3年間の サービス提供の見込み
	①1日の定員数	②1日の利用者数	
就労移行支援	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
就労継続支援（A型）	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
就労継続支援（B型）	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
就労定着支援	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中

【D】住む場所の提供と支援

サービス名	(1) 現状 (ない場合は「0」と記載)		(2) 今後3年間の サービス提供の見込み
	① 1日の定員数	② 1日の利用者数	
共同生活援助 (グループホーム)	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
施設入所支援	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中

【E】一時預かり

サービス名	(1) 現状 (ない場合は「0」と記載)		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み
	①1日の定員数	②1日の利用者数	
短期入所	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
日中一時支援	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中

【F】障害児支援

サービス名	(1) 現状 (ない場合は「0」と記載)		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み
	①1日の定員数	②1日の利用者数	
児童発達支援	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
放課後等デイサービス	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
保育所等訪問支援	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
居宅訪問型児童発達支援	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
障害児相談支援	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中

【G】その他

サービス名	(1) 現状 (ない場合は「0」と記載)		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み
	①1日の定員数	②1日の利用者数	
その他 【	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中

問8-2. 以下【H】～【L】について、以下の(1)(2)を教えてください。

(1)現在、貴事業所でサービスを提供されていますか。(それぞれあてはまるもの1つだけ○)

(2)今後3年間のサービスの提供の見込みを教えてください。(それぞれあてはまるもの1つだけ×)

【H】自宅での生活支援（ホームヘルプ等）

サービス名	(1) 現状のサービス提供		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み
	①あり	②なし	
居宅介護	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
重症訪問介護	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
重症障害者等色居支援	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
訪問入浴サービス	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中

【1】 外出・移動のサポート

サービス名	(1) 現状のサービス提供		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み					
	①あり	②なし						
同行介護	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中					
行動支援	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中					
移動支援事業	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中					

【J】 相談支援・サービス利用計画の作成

サービス名	(1) 現状のサービス提供		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み					
	①あり	②なし						
相談支援事業	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中					
計画相談支援	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中					

【K】 地域で生活するための支援

サービス名	(1) 現状のサービス提供		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み					
	①あり	②なし						
自立生活援助	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中					
地域移行支援	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中					
地域定着支援	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中					

【L】 その他

サービス名	(1) 現状のサービス提供		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み					
	①あり	②なし						
その他 ()	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中					

問9-1. 貴事業所では、現在提供しているサービスの質の向上のために、「(1)現在、実施している取組」は何ですか。
また、「(2)実施したいが、できていない取組」は何ですか。(それぞれあてはまるもの全てに○)

取組	(1)現在、実施している取組		(2)実施したいが、できていない取組	
	①あり	②なし	1	2
① 専門職の配置			1	1
② ピアサポート・職員の活用			2	2
③ 自主的に事業所内・法人内部で研修や勉強会の開催			3	3
④ 都や区、団体等が主催する外部研修に職員を派遣			4	4
⑤ ガイドラインやマニュアルを作成し、職員間で共有			5	5
⑥ ヒヤリ・ハット事例の収集や情報共有の実施			6	6
⑦ 利用者からの苦情を集め、検討し、職員間で共有するしくみの構築			7	7
⑧ 利用者への分かりやすい説明の徹底			8	8
⑨ ICT活用による、間接業務効率化の実施			9	9
⑩ 利用者やその家族へ満足度調査の実施			10	10
⑪ 事業所の取組や評価等についてホームページ等にて公開			11	11
⑫ 第三者機関からの評価の受審			12	12
⑬ 特になし			13	13
⑭ その他 ()			14	14

問9-2. 【問9-1の「(2)実施したいが、できていない取組」に○をつけた事業所にお伺いします】
実施できていない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 人材の確保や定着が難しく、質の向上を行う余裕がないから	)
2. 質の向上に必要な研修の参加や実施する時間的な余裕がないから	
3. 質の向上に必要な経費（研修・設備等）を確保できないから	
4. どのような取組が質の向上につながるかの情報が不足しているから	
5. サービスの質を客観的に評価する指標や手法が事業所内にないから	
6. 質の高いサービスを提供するための物理的なスペースや設備がないから	
7. 国・自治体の制度や基準が現場の実態に合っていないと感じるから	
8. その他 ()	

問10. サービスの量的拡大に向けた課題はありますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 人材の確保や定着が難しく、サービスの量的拡大を行う余裕がない	)
2. サービスの量的拡大に必要な経費（研修・設備等）を確保できない	
3. 障害福祉サービス等の報酬が十分になく、サービスの量的拡大まで対応できない	
4. サービスの量的拡大を行うための、事業所スペースの確保ができない	
5. 利用者を確保することが難しい	
6. 特になし	
7. その他 ()	

問11-1. 貴事業所では、「医療的ケア」に対応していますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 医療的ケア者に対応している	⇒ 問11-2. 11-3へ
3. 現在対応していないが、今後検討する	⇒ 問12-1へ
4. 現在対応しておらず、今後も対応の予定はない	⇒ 問12-1へ

問11-2. 【問11-1で「1. 医療的ケア者に対応している」、あるいは「2. 医療的ケア見に対応している」と回答した事業所にお伺いします】
対応している医療的ケアは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 人工呼吸器管理	2. 気管切開・気管内挿管	3. 鼻咽喉エアウェイ
4. 酸素	5. 痰吸引	6. 吸入（ネブライザー）
7. IVH（中心静脈栄養）	8. 経管（経鼻・胃ろう含む）	9. 腸ろう・腸管栄養
10. 透析	11. 導尿	12. 人工肛門
13. その他 ()		

問11-3. 【問11-1で「1. 医療的ケア者に対応している」、あるいは「2. 医療的ケア見に対応している」と回答した事業所にお伺いします】
貴事業所で医療的ケアを実施するにあたって、課題はありますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 医療事故発生時の対応	2. 医療的ケアに対応する人材（看護師等）の確保
3. 緊急時における対応	4. 医療的ケアに対応した施設、設備の充実
5. 医療機関との連携	6. 特になし
7. その他 ()	

399

- 7 -

- 8 -

問19. 貴事業所では、利用者の意思決定を支援する取組をしていますか。(あてはまるものを全てに○)

1. 意思決定支援責任者の配置	
2. 意思決定に必要な情報提供方法を工夫	
3. 意思決定支援会議の実施	
4. 意思決定支援を反映したサービス提供の結果のモニタリング・評価・見直し	
5. 意思決定支援の根拠となる記録等の作成	
6. 意思決定支援のガイドラインを活用した研修や、事例検討などの実施	
7. 特に行っていない	
8. その他〔	〕

問20-1. 貴事業所は、介護保険サービスの指定を受けていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 受けている	2. 受けていない

問20-2. 介護保険サービスの指定を受けている事業所は、サービスを提供する上での課題を、介護保険サービスの指定を受けていない事業所は、利用者が障害福祉サービスから介護保険サービスへ切り替わる際の課題等があれば教えてください。(下欄に記入)

3. 事業運営の概要

問21. 貴事業所が事業を運営する上での主な課題は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

1. 新規利用者の獲得が困難	2. 利用者の多様なニーズに応えられない
3. 利用者からの苦情や事故への対応が難しい	4. 事務作業量が多い
5. 人材確保が困難	6. 人材の定着が困難
7. 人材育成が困難	8. 責任者など中堅人材の確保・育成が困難
9. 人件費が高い	10. 運営・運転資金の確保が困難
11. 事業所の家賃が高く、確保・維持が困難	12. 近隣住民からの理解を得るのが困難
13. 他のサービス事業所との競合が激しい	14. 報酬単価が低い
15. 特に課題はない	16. その他〔
	〕

問22-1. 昨年度に比べて、貴事業所における新規のサービス提供依頼者数の動向を教えてください。(あてはまるもの1つだけ○)

1. かなり増えている ⇒ 問22-2へ	2. 増えている ⇒ 問22-2へ	3. 変わらない ⇒ 問23へ
4. 減っている ⇒ 問23へ	5. かなり減っている ⇒ 問23へ	6. わからない ⇒ 問23へ

問22-2. 【問22-1で、「1. かなり増えている」「2. 増えている」と回答した事業所にお伺いします】サービス提供依頼者数の増加に対応できていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 対応できている ⇒ 問23へ	2. 対応できていない ⇒ 問22-3へ

問22-3. 【問22-2で「2. 対応できていない」と回答した事業所にお伺いします】

対応できていない理由は何ですか。(あてはまるものを全てに○)

1. 職員の数が足りないため	2. 職員やサービスの質が担保できないため
3. 施設が受入可能な定員を超えているため	4. サービスを拡張するための資金や場所がないため
5. その他〔	〕

問23. 利用者や家族から貴事業所に寄せられる苦情はどのようなものですか。(あてはまるもの3つまで○)

1. サービスの質や内容に関すること	2. 職員の態度や言葉づかい等に関すること
3. 職員の介護技術等に関すること	4. サービス提供にかかる他機関との連携等に関すること
5. サービス利用等の手続きに関すること	6. 制度やサービスの説明に関すること
7. 事故やその後の対応に関すること	8. 重要事項説明や契約に関すること
9. 情報管理に関すること	10. 利用料に関すること
11. 特に苦情はない	12. その他〔
	〕

4. 權利負擔

問26. 現在、虐待防止のためにに行っている取組はありますか。ある場合は、その効果について、1～3の該当するものに○をつけてください。

取 組	(1)効果が出ている	(2)まだ改善の余地がある	(3)効果が感じられない
① 事業所内・法人内で虐待防止研修の開催	1	2	3
② 虐待防止委員会の定期的な開催と検討結果の周知	1	2	3
③ 虐待防止マニュアル・チェックリストを作成し、職員間で共有	1	2	3
④ 虐待防止に関する意識・関心を高めるための掲示物等を掲示	1	2	3
⑤ メンタルヘルスの観点から風通しのよい職場づくりを推進	1	2	3
⑥ 障害特性の理解と支援技術等を高めるための研修等の開催	1	2	3
⑦ 特にない	1	2	3
⑧ その他	1	2	3
()			

問27. 虐待を受けたと思われる障がい児・者を発見した場合の通報先を把握していますか。(あてはまるもの1つだけ)

1. 把握している
-
2. 把握していない

問28. これまでに貴事業所から通報したことはありますか。ある場合、該当するものを教えてください。(あてはまるものを全てに○)

1. 費事業所内での内容	2. 利用者の家庭内での内容
3. 他事業所内での内容	4. ない

問29. 「障害者差別解消法」等により、「合理的配慮」の提供が、事業者にも義務化されています。貴事業所は、どのような取組をしていますか。(あてはまるものを全てに○)

1. 事業所内で職員向けに研修を実施している
2. 都が実施している研修に参加している
3. 利用する障がい児・者に対して適切な対応ができるようマニュアルを作成している
4. 利用する障がい児・者から申出があった際は、話し合いの場を設けている
5. 利用する障がい児・者から申出のあった配慮が難しい場合は、区の障害福祉課等に相談する
6. 特に取り組んでいない
7. その他（ ）

問24-1 利用者やその家族からの対応において、ハラスメント(※)と思われるケースはありますか。(あてはまるもの1つだけ○)

※ 本調査でのハラスメントとは、「身体的暴力(身体的な力を使って危害を及ぼす行為)」、「精神的暴力(個人の尊厳や人格を言葉や態度によって傷つけたり、おとしめたりする行為)」及び「セクシュアルハラスメント(簾に浴びない性的誘いかけ、好意的態度の要求等、性的ないやがらせ行為)」をあらわせたものとします。

1. ある	2. ない	3. わからない/把握していない

問24-2 利用者やその家族からのハラスメントに対してどのような対策や対応を行っていますか。(あてはまるものを全てに○)

1. 施設・事業所の基本方針や対応マニュアルを作成し、職員に周知している
2. 契約書、重要事項説明書等に、ハラスメントによるサービス提供中止、解除の可能性について記載・説明している
3. 相談窓口を設置するなど、相談しやすい職場環境づくりをしている
4. 特定の職員に負担が集中しないようローテーション勤務等を整備している
5. ハラスメント対応の研修（言われたときの対応法、記録の取り方など）を実施している
6. ハラスメントをうけた当該職員と面談し、必要に応じて心のケアや配置換え等の対応を行う
7. 必要に応じて、利用者やその家族と事実確認及び改善策を行う
8. 関係機関（行政、地域包括支援センター、ケアマネジャー、弁護士、医師等）への相談や連携を行う
9. 特に取り組んでいる
10. その他（

問24-3. 利用者やその家族からのハラスメント対策として、区に実施してほしいことはありますか。(あてはまるもの)
全21

1. ハラスメント研修・セミナーの開催
2. マニュアル・ガイドラインの配布
3. ハラスメント相談窓口の設置
4. 自治体としての啓発活動の推進
5. 特になし
6. その他〔

問25. 貴事業所では、災害発生時に備えた対策を講じていますか。(あてはまるもの全てに○)

1. BCP（業務継続計画）の策定
2. BCPの定期的な見直し
3. 災害時の対応マニュアルの整備
4. 施設の耐震対策など、建物の被害を抑える取組の実施
5. 非常用備蓄（食料、水、医薬品、衛生用品など）の確保
6. ライフライン（電気、ガス、水道等）が止まった場合の対策の構築
7. 災害発生時等の緊急連絡体制の構築
8. 利用者の安心確認方法の構築
9. ハザードマップや周知事情の把握
10. 災害対策や感染症知識向上のための研修の実施
11. 定期的に事業所内の避難訓練・防災訓練を利用者も参加
12. 事業所内の避難訓練・防災訓練に利用者も参加
13. 定期的に地域の避難訓練・防災訓練に参加
14. いずれも十分にできていない
15. その他（ ）

5. 障がい者総合サポートセンター（さぼーとびあ）との連携について

問30-1. 貴事業所において、連携・活用したことがある「障がい者総合サポートセンター さぼーとびあ」の部門・事業はありますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1. 相談支援部門（障がいのある方の総合相談窓口）
- 2. 地域交流支援部門（余暇活動、戸の図書室）
- 3. 就労支援部門（就労移行支援事業、定着支援、たまりば）
- 4. 居住支援部門（自立訓練（機能・生活））
- 5. 人材育成事業（福祉従事者への研修の案内）
- 6. 施設の貸し出し（多目的室と集会室の利用方法）
- 7. 意思疎通支援事業（手話通訳等派遣及び手話講習会案内）
- 8. 短期入所事業（重症心身障がい児（者）の方などの短期入所）
- 9. 発達障がい、支援事業（学齢期の発達障がい児の相談、療育）
- 10. 特に連携している部門・事業はない ⇒ 問30-2へ

問30-2. 【問 30-1 で「10. 特に連携していない」と回答した事業所にお伺いします】

特に連携していない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- 1. 自事業所内・自法人内で対応可能なため
- 2. 他法人の事業所と連携して対応しているため
- 3. さぼーとびあと連携する必要がある事態が発生したことがないため
- 4. さぼーとびあとの機能を知らなかったため
- 5. その他 []

問31. 「障がい者総合サポートセンター さぼーとびあ」と連携する際の課題はありますか。(あてはまるもの全てに○)

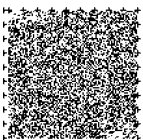
- 1. 連携したい部門・事業との交流がない
- 2. 連携したい部門・事業の業務に関する知識が乏しく、連絡しづらい
- 3. 情報共有に時間を要する
- 4. 必要時に連絡が取れない
- 5. 情報のとらえ方に温度差がある
- 6. 特に課題はない
- 7. その他 []

6. 大田区の障がい施策について

問32. 区の障がい施策について、ご意見などがございましたらご自由に記入ください。(下欄に記入)

調査は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

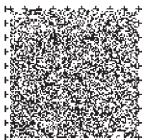
同封の返信用封筒に封入の上、2025年11月30日(日)までにご投函ください。



令和7年度
大田区障がい者実態調査結果報告書

発行年月 令和8年3月

発 行 大田区 福祉部 障害福祉課
〒144-8621 大田区蒲田 5-3-14
電話番号 03-5744-1700
FAX 番号 03-5744-1592





大田区